取扱説明ガイド

ブルーレイディスクレコーダー

形名　2B-C20BT3/2B-C10BT3



取扱説明ガイドの使いかた

- 【上下左右カーソル】ボタンを押すとカーソルが移動します。
- 【決定】ボタンを押すと選択したページが開きます。
- 【戻る】ボタンを押すと前に見たページに戻ります。
- 【終了】ボタンを押すと取扱説明ガイドが終了します。

取扱説明ガイドはシャープサポートページからダウンロードしてパソコンや携帯端末等でご覧いただく事もできます。

※最新のソフトウェアや動作確認情報はサポートページでご確認ください。

シャープ サポートページ

http://www.sharp.co.jp/support/bd/

（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

Ver.1.05

本機の便利な機能

番組録画や番組再生時に便利な本機の機能について紹介

新作連続ドラマを自動でお録りおき ― ドラ丸

- 新しく連続で放送される「ドラマ、アニメ、バラエティ」番組を予約いらずで自動で録画
→3-94ページ
- ドラマ毎にフォルダーでまとまっているので見たい番組がすぐに見つかります
→4-32ページ



見たいシーンからパッと見られる ― 見どころポップアップ

- 録画リストから再生したいシーンを子画面表示し、見たいシーンからすぐに再生
→4-12ページ
- 再生中のタイトルのシーン一覧（見どころ一覧）を表示して、見たいシーンからすぐに再生
→4-97ページ



次ページへつづく⇒

本機の便利な機能

番組録画や番組再生時に便利な本機の機能について紹介(つづき)

録画リスト内の同じタイトル名の番組をパッとまとめて連続再生 ― まと丸

- 録画した番組をタイトルごとにまとめて表示し、連続再生
→4-8ページ



ボタンひとつで、番組内容を60画面で一覧 ― 番組内容まるわかり

- リモコンの【まるわかり】ボタンを押すと60画面で番組内容を素早くチェック
- 表示された子画面を選んで見たいシーンからかんたん再生
→4-10ページ



次ページへつづく⇒

本機の便利な機能

番組録画や番組再生時に便利な本機の機能について紹介(つづき)

番組表内のお好みのジャンルを強調表示

- お好みのジャンルを選択すると選択されたジャンルの番組が強調された番組表になります。
→2-27ページ



次ページへつづく⇒

本機の便利な機能

番組録画や番組再生時に便利な本機の機能について紹介(つづき)

スマートスピーカー(Google Home)で本機を操作

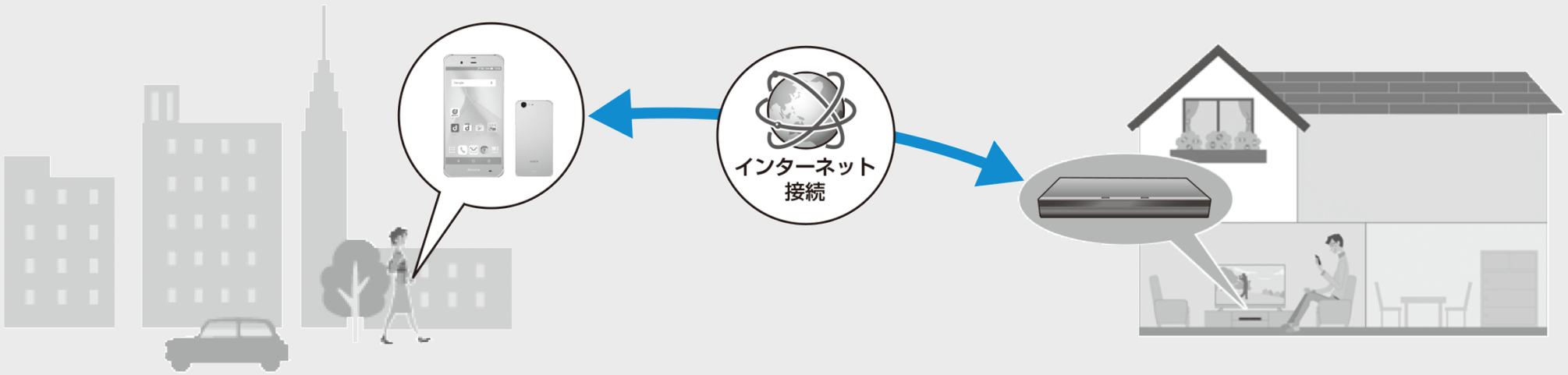


- 本機をLANに接続すると、Google Home で再生や番組検索などの操作が行えます。
→8−10ページ

◆スマートスピーカーで本機を操作の一部機能は2023年6月13日をもって終了しました。
詳しくは、シャープサポートページ・お問い合わせページ(https://jp.sharp/support/info/conversation_actions.html)をご確認ください。

スマホで楽しむ

- 本機に録画されている番組を外出先から視聴 ― リモート視聴
→8−28ページ
- 外出先から、予約し忘れた番組を予約 ― リモート予約
→9−85ページ
- スマートフォンに話しかけ番組を検索したり、リモコン操作で再生したり本機を操作 ― IPコントロール／ボイスリモコン
→9−77、9−83ページ

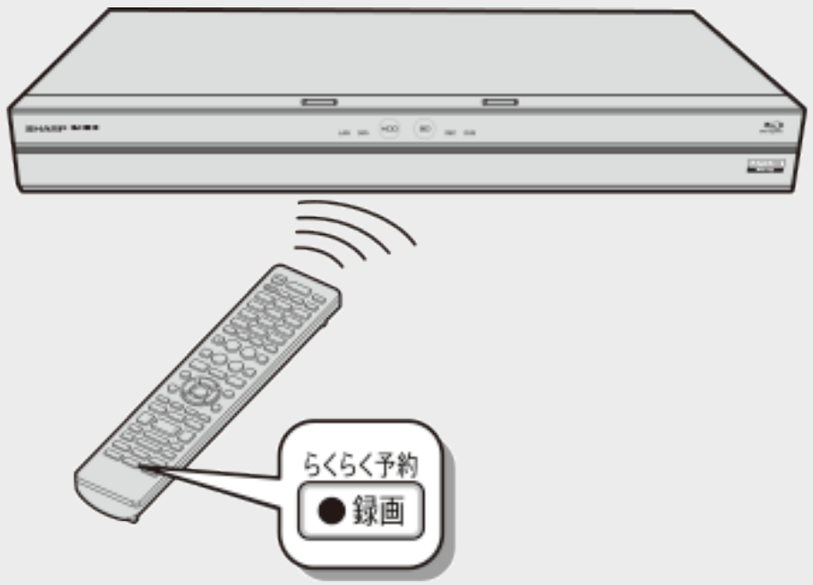


目的別早見もくじ

●ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」（→「取扱説明書（付属品）」）を必ずお読みください。

●録画 録画を行う

・録画したい番組を選局して、録画ボタンを押すだけで録画できます。



※BD、DVDディスクへの録画は行えません。

番組を選局する	2-10
電子番組表を使って番組を選局する	2-24
録画をする前に知っていただきたいこと	3-1
録画画質を設定する	3-10・3-13
現在放送されている番組を録画する（らくらく一発録画）	3-14
録画画質と録画時間	13-8～13-16

次ページへつづく⇒

目的別早見もくじ

●ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」（→「取扱説明書（付属品）」）を必ずお読みください。



予約録画を行う

・デジタル放送は、電子番組表を使って予約できます。

※BD、DVDディスクへの予約録画は行えません。

電子番組表を使って録画予約する（らくらく予約）	3-23
条件を指定して自動で録画する	3-81
ドラ丸で自動録画する	3-94
複数番組を同時に録画予約する	3-56



録画した番組などを再生する

・録画した番組の再生や市販のBDビデオやDVDビデオの再生ができます。再生中の便利機能も試してみましょう。

録画した番組を再生する	4-29
音楽用CDや市販のBD／DVDビデオを再生する	4-58・4-61
市販のブルーレイ3D™を再生する	4-72
いろいろな再生	4-75
早送りやスローなど再生時の便利機能	4-87
見終わった番組を消す	4-125

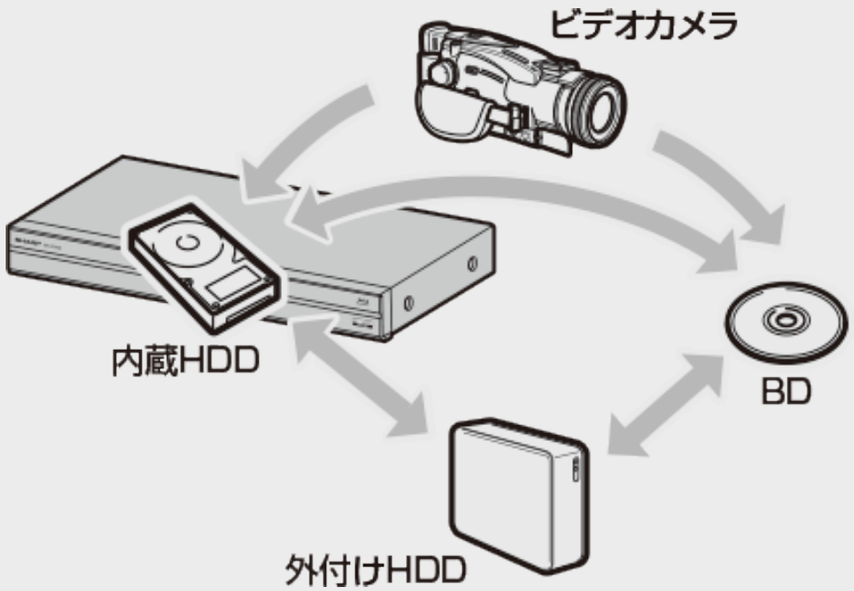
次ページへつづく⇒

目的別早見もくじ

●ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」(→「取扱説明書(付属品)」)を必ずお読みください。

ダビングする

・内蔵HDDとBD(ブルーレイディスク)や外付けHDD、外部機器とダビングできます。



ダビングについて知りましょう	5-1
録画した長時間番組を何枚かのディスクに分けてダビングする	5-21
ダビングする	5-24
AQUOSブルーレイから買換えお引っ越しダビング	5-39
ネットワーク機器からダビング	5-52
本機を使用していないときにダビングする(ダビング予約)	5-53
ビデオカメラの映像を取り込む	5-59
ダビングに使用できるディスクについて	11-15

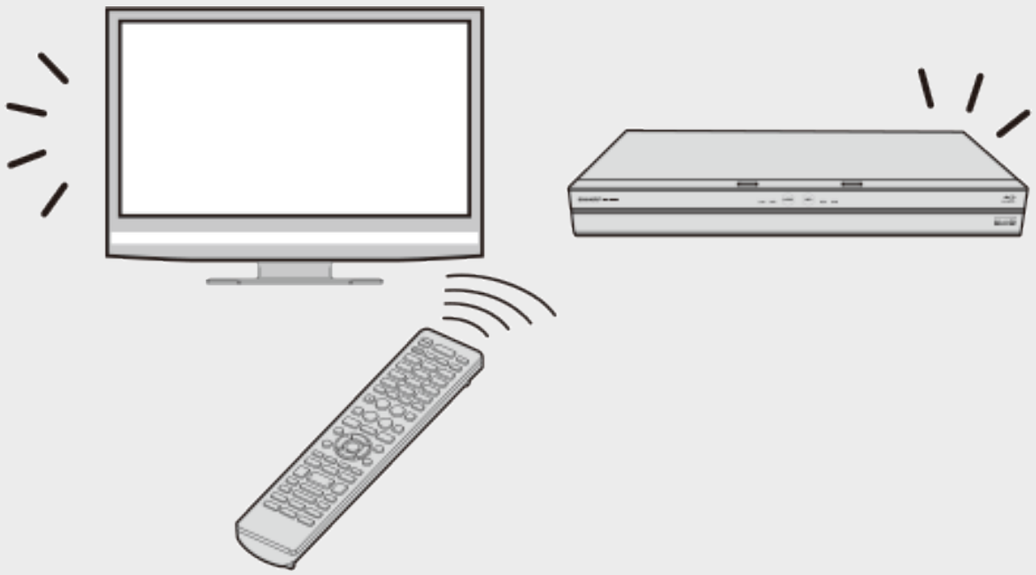
次ページへつづく⇒

目的別早見もくじ

●ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」(→「取扱説明書(付属品)」)を必ずお読みください。

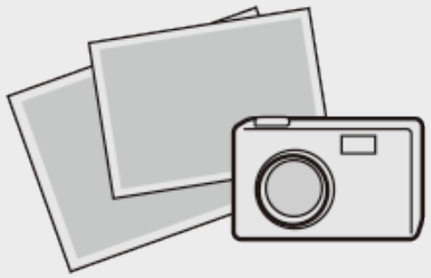
ファミリンクで便利に使う

・シャープ製のファミリンク対応テレビ「アクオス」と本機をHDMIケーブルを使って接続することにより、テレビと本機を連携させた操作が行えます。



ファミリンク機能について	6-1
ファミリンク機能で操作する	6-6
ファミリンク機能で録画予約する	6-12
AQUOSタイムシフトで視聴する	2-63

デジタルスチルカメラとつなぐ



※外付けHDDに写真をコピーすることはできません。

デジタルスチルカメラやUSBメモリーから写真を取り込む	7-1
保存した写真を見る	7-9

次ページへつづく⇒

目的別早見もくじ

●ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」(→「取扱説明書(付属品)」)を必ずお読みください。

操作ができないときは

故障かな？と思ったら	12-1
操作を受け付けなくなったときは、リセット操作をします	12-1
ランプが点滅して操作できない	12-45
お知らせ・エラーメッセージについて	2-9・9-1・12-46

シャープ サポート・お問い合わせページの「Q&A情報」もご覧ください。
▶ http://www.sharp.co.jp/support/bd/

シャープ サポート・お問い合わせ

シャープ　サポート・お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/bd/

(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

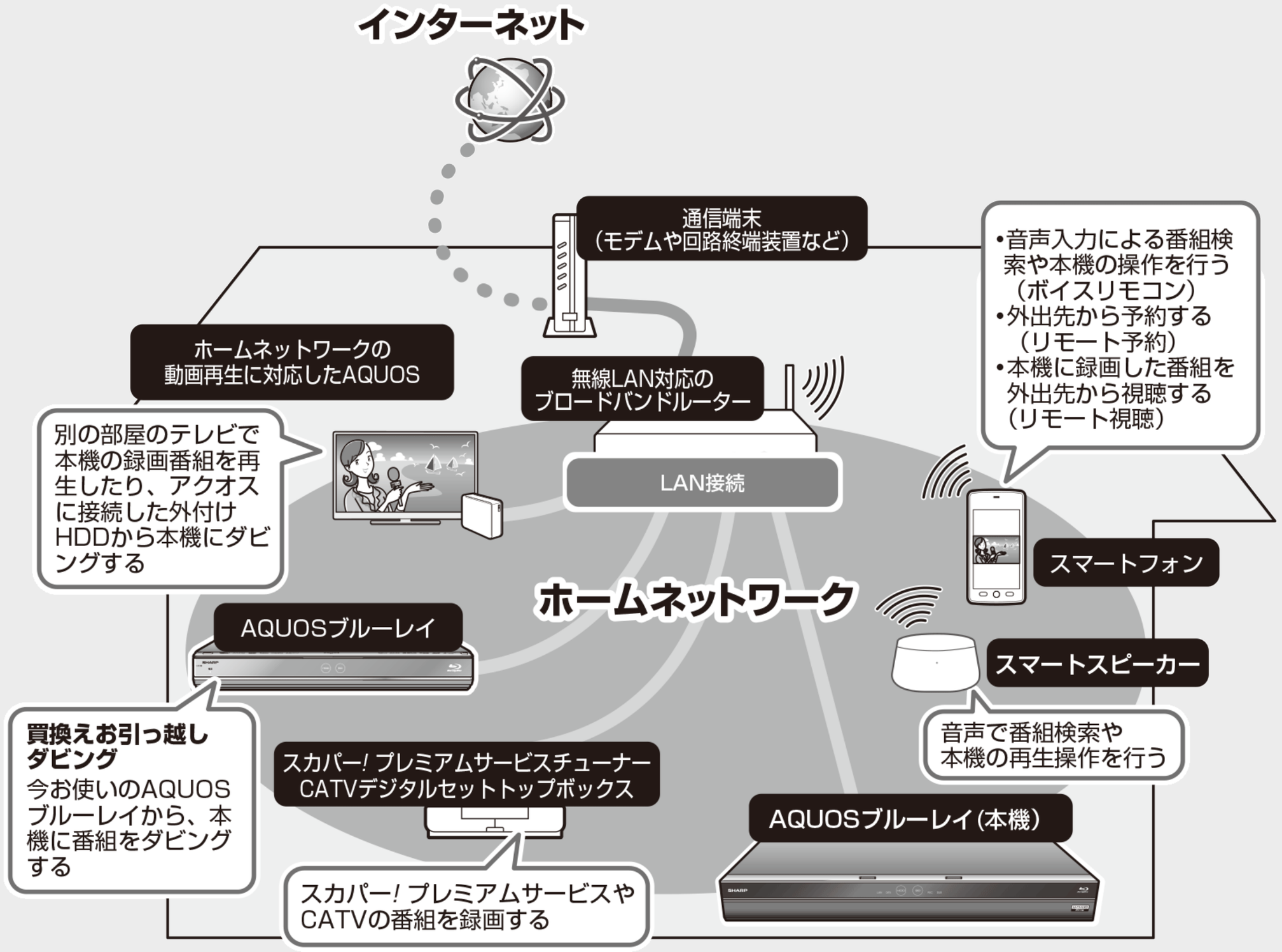
次ページへつづく⇒

目的別早見もくじ

●ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」（→「取扱説明書（付属品）」）を必ずお読みください。

- 取扱説明ガイドでは、「ブルーレイディスクレコーダー 2B-C20BT3／2B-C10BT3」を「本機」と表現しています。
- 取扱説明ガイドでは、本機に内蔵のHDD（ハードディスク）を「内蔵HDD」と、外付けのHDDを「外付けHDD」と表現しています。
- 取扱説明ガイドでは、「ブルーレイディスク」を「BD」と表現しています。
- 取扱説明ガイドでは、全機種共通の機能や操作を説明するときは、2B-C20BT3のイラストを使用しています。
- 取扱説明ガイドに掲載しているイラストは、説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なります。

ネットワーク(LAN)に接続しよう



次ページへつづく⇒

ネットワーク(LAN)に接続しよう

本機をネットワークに接続することで、インターネットサービスやスマートフォンなどとの連携が楽しめる他、本機のソフトウェアを最新の状態に保てますので大変便利です。LAN接続が可能な環境でご使用のお客様はLANに接続することをおすすめします。

LAN接続とLAN設定を行う

●ネットワーク接続には、本機のLAN接続とLAN設定が必要です。

無線LANで接続		LANケーブルで接続	
LAN接続	9-66	LAN接続	同梱取扱説明書
LAN設定	9-70	LAN設定	9-63

次ページへつづく⇒

ネットワーク(LAN)に接続しよう

ネットワーク接続で使用できる主な機能

インターネット		
4Kアクトビラの視聴	インターネットで映像配信サービスを視聴する	8-1
スマートスピーカーで本機を操作※1	スマートスピーカーを使用して番組検索や再生操作など本機の基本的な操作が行なえます。	8-10
スマートフォンでリモート視聴※2	外出先から録画番組やライブ放送番組を視聴する	8-28
スマートフォンでリモート予約※2	外出先からの番組検索や録画予約をする	9-85
ソフトウェアの更新	最新のソフトウェアをネットワークサーバーからダウンロードし本機を最新の状態に保つ	10-74
ネットワーク		
DLNAダビング・再生	ネットワーク経由で異なる機器間でデータのやり取りができ、レコーダーで録画した映像を他の部屋のテレビで見ること等ができます。	5-52 8-19
スマートフォンから本機をコントロールする(ボイスリモコン)※2	スマートフォンに音声を入力することにより、本機をコントロールすることができます。	9-83

※1　対応しているアプリケーションは Google アシスタントです。
◆スマートスピーカーで本機を操作する一部機能は2023年6月13日をもって終了しました。
詳しくは、シャープサポートページ・お問い合わせページ(https://jp.sharp/support/info/conversation_actions.html)をご確認ください。

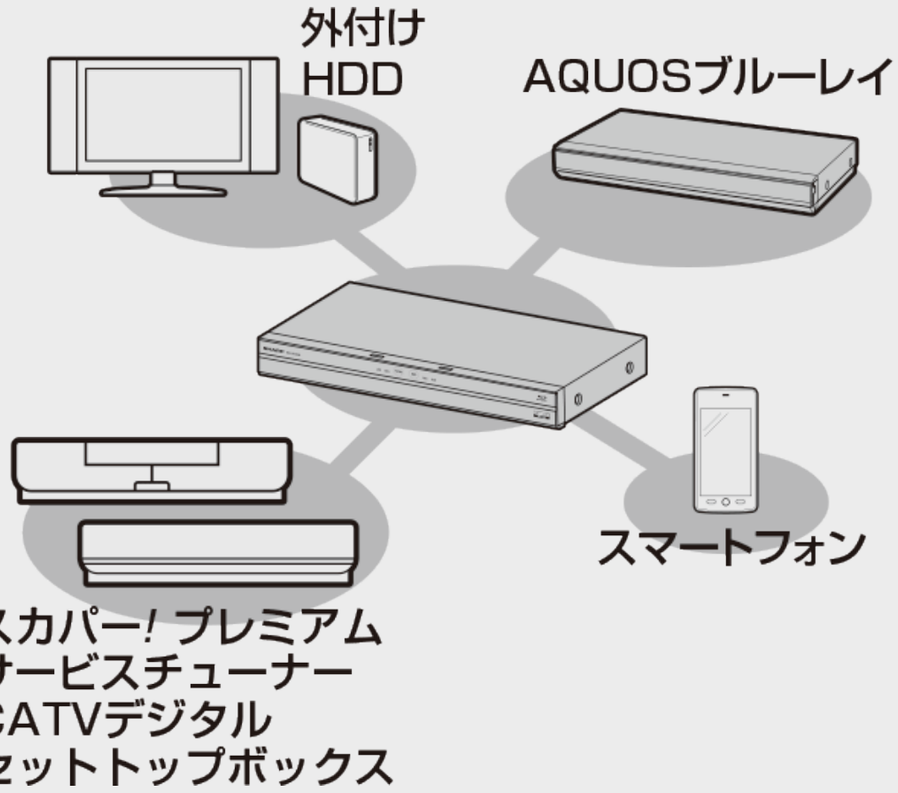
※2　スマートフォンなどとの連携操作には専用のアプリケーションソフトが必要です。
詳しくは8-8ページをご確認ください。

次ページへつづく⇒

ネットワーク(LAN)に接続しよう

ネットワーク接続で使用できる主な機能(つづき)

ダビングする



買換えお引っ越しダビング

- 今まで使っていたAQUOSブルーレイ※に保存されている番組も、LAN経由で本機にダビングできます。

※対応機種はシャープホームページ内の「サポート・お問い合わせ」でご確認ください。
【 http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/m_dubbing.html 】

ネットワークダビング

- AQUOSに接続した外付けHDDやスカパー! プレミアムサービスチューナーからネットワークを使って内蔵HDDにダビングできます。
(→5-52ページ)

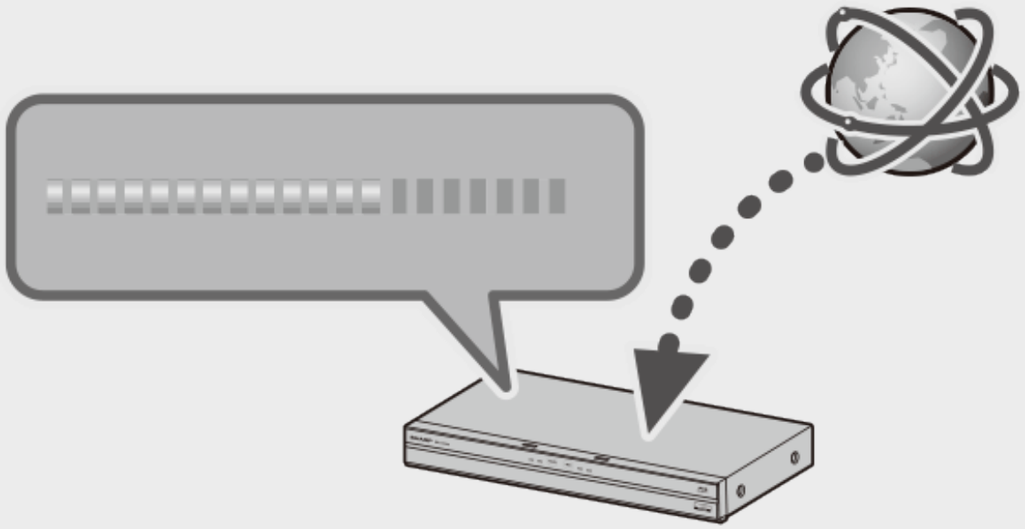
- 本機に録画した番組をスマートフォンにダビングできます。
(→8-31ページ)

次ページへつづく⇒

ネットワーク(LAN)に接続しよう

ネットワーク接続で使用できる主な機能(つづき)

ソフトウェアを更新する



- 本機をインターネットに接続しているときは、最新のソフトウェアをネットワークサーバーからダウンロードし更新が行えます。(→10−74ページ)

- ソフトウェアの更新情報は、パソコンを使用してシャープホームページ内のサポート・お問い合わせページでご確認ください。

  ☒【 http://www.sharp.co.jp/support/bd/ 】

シャープ サポート・お問い合わせ

シャープ　サポート・お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/bd/

(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

操作ができないときは

シャープ サポート・お問い合わせページの「Q＆A情報」もご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/bd/

もくじ

確認する

	各部のなまえとおもな機能	1-1
	本体前面	1-1
	本体前面（扉内）	1-4
	本体後面	1-6
	本体ランプについて	1-8
リモコンについて	リモコン	1-11

基本の使いかた

	ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）の使いかた	1-22
新しいディスクを使うとき	ディスクの入れかた・出しかた	1-38
	ディスクが取り出せないときは	1-46
ディスクを初期化する／外付けHDDを使用する		1-48

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する

番組を見る

テレビで本機を楽しむには	テレビと本機の準備をする	2-1
	チャンネルを選ぶ	2-10
	番組を見ながら使えるボタン	2-14
	番組情報を見るには（QRコードを読み取り番組ホームページを確認する）	2-14
電子番組表について	デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ	2-24
	電子番組表（Gガイド）に表示されないチャンネルがあるとき	2-30
	番組表の機能メニューについて	2-35
タイムシフト視聴について	本機のチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（タイムシフト視聴）	2-57
	AQUOSのチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（AQUOSタイムシフト視聴）	2-63

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する(つづき)

録画する

	デジタル放送の録画について	3-1
	スカパー! プレミアムサービスチューナーやCATVボックスからの録画について	3-3
録画可能時間を確認	本機の動作や録画可能時間(残時間)を確認する	3-4
録画画質を変更する	マニュアル録画画質を設定する	3-10
	録画画質を選ぶ	3-13
録画する	放送中の番組を録画する(らくらく一発録画)	3-14
	録画中に別番組を見る	3-19
複数番組同時録画	録画中に別番組を録画(視聴)する	3-20
	録画終了時刻を変更するには	3-21
録画画質と録画時間	録画画質と録画時間について	13-8

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する(つづき)

予約録画する

番組表で予約する	電子番組表（Gガイド）で予約する	3-23
	録画予約をする	3-24
	HDD（ハードディスク）の残量が不足している場合	3-34
	デジタル放送の延長予約について	3-35
日時を指定して予約する	日時を指定して予約する	3-39
予約の詳細設定	予約に関する詳細設定をする	3-47
複数番組同時録画	複数番組を同時に録画予約する	3-56
	予約設定時に表示されるメッセージについて	3-60
予約の確認と取り消し	予約内容を確認／変更／取り消す	3-64
	条件を指定して番組を探す（詳細検索）	3-74

次ページへつづく⇒

本機を操作する(つづき)

予約録画する

自動録画／ドラ丸	条件を指定して自動で録画する	3-81
	自動録画の条件を設定する	3-84
	タイトルの自動消去について	3-93
	ドラ丸を設定する	3-94
	ドラ丸リスト画面について	3-102
	ドラ丸で設定された番組を確実に録画されるようにする	3-107
	ドラ丸で自動録画された番組を確認する	3-109
	ドラ丸で自動録画されたタイトルの自動消去について	3-110
	ドラ丸で自動録画されたタイトルを自動消去されないようにする	3-111
	ドラ丸で自動録画されないようにしたいとき	3-112
スカパー! プレミアムサービスLink	スカパー! プレミアムサービスチューナーから録画する	3-113
ケーブルテレビ録画（LAN録画）	ケーブルテレビ（CATV)から録画する	3-117

再生する

再生について	再生をする前に	4-1
	録画リスト表示について	4-1
	ドラ丸リストを表示	4-3
	録画リスト／ドラ丸タイトルリストの表示を切り換える	4-4
	録画したタイトルに関連する番組を検索する	4-15
	録画リストのグループ表示切換	4-16
	録画リスト／ドラ丸タイトルリストから各機能を設定する（機能メニュー）	4-20
	録画リストの番組にスタンプを付けて表示する（機能メニュー）	4-26

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する(つづき)

再生する

HDD/BD/DVDを再生	HDDに録画した番組やBD・DVDを再生する	4-29
	BDやDVDを再生する	4-36
	プレイリスト表示(プレイリストのあるディスクを挿入したとき)	4-40
	録画したタイトルの次回の放送番組を予約する(次回番組予約)	4-42
録画した番組の再生	グループリストから再生する	4-43
音楽CD、市販のBD/DVDを再生	音楽CDや市販のBD／DVDビデオを再生する	4-58
	音楽CDを再生する	4-58
	市販のBDビデオやDVDビデオを再生する	4-61
	いろいろな再生	4-75
	再生をしながら使えるボタン(早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など)	4-87
音声・字幕の切り換え	再生中に音声(二重音声など)や字幕、映像(アングル)を切り換える	4-104
再生設定	再生中に設定をする(視聴設定)	4-110

誤消去防止(保護)設定をする

保護設定	録画した番組を消さないように設定する	4-118

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する(つづき)

録画した番組を消去する

タイトル・チャプター選択消去	タイトル(録画した番組)を消去する	4-125

編集する

	編集のあらまし	4-135
不要なシーンを消す	必要のないシーンを消去する(シーン消去)	4-141
チャプターの編集	チャプターを分割／結合／消去する	4-146
	画面リストを好みの画像に変える(インデックス画面変更)	4-161
タイトルの編集	タイトルを編集する	4-165
	タイトルを分割する	4-165
	タイトルを結合する	4-171

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する(つづき)

ダビングする

BD/DVD/HDDのダビング	本機でできるダビング	5-1
	ダビングの種類と所要時間	5-15
	ダビングと移動(ムーブ)について	5-19
	タイトル(番組)のダビングをする	5-24
	内蔵HDDからダビングする	5-25
	ドラ丸リストからダビングする	5-35
	外付けHDDからダビングする	5-37
	BDから内蔵HDD、外付けHDDへダビングする	5-38
買換えお引っ越しダビング	買換えお引っ越しダビング	5-39
ネットワークダビング	ネットワークダビング	5-52
	ダビングを予約する	5-53
デジタルビデオカメラから取り込む	AVCHD方式デジタルカメラからのダビング	5-59

次ページへつづく⇒

本機を操作する(つづき)

ディスクを管理する

	文字を入力する(ソフトウェアキーボード)	5-69
ファイナライズ	DVDを他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)	5-83

ファミリンクで便利に使う(シャープ製テレビとの連動)

	ファミリンクで操作する	6-1
動作	ワンタッチ操作をする(ファミリンク)	6-9
ファミリンクで予約する	テレビを見ながら録画予約する(ファミリンク)	6-12
	ファミリンク予約と本機の予約録画の予約時刻が重なる場合のご注意	6-18
	AQUOSオーディオ(AQUOSサラウンド)で視聴する	6-20

次ページへつづく⇒

本機を操作する(つづき)

デジタルスチルカメラを使って楽しむ

デジタルカメラから取り込む	本機で写真を取り込む(フォトシステム)	7-1
	デジタルスチルカメラ、USBメモリー、SDメモリーカードから写真を取り込む	7-3
	ディスク内の写真をコピーする	7-6
	BD-RE/-R、DVD-RW(写真フォーマット)の写真を内蔵HDDにコピーする	7-6
写真を見る	内蔵HDDに保存した写真を見る	7-9
	写真を見るための基本操作	7-12
	写真をグループにまとめる	7-17
	写真・グループを並べ換える	7-20
	写真グループ名を設定する	7-22
	写真・グループを消去する	7-24
	写真再生時の設定をする	7-27
	写真を選択してスライドショーを見る	7-28
	誤消去を防ぐために保護設定する	7-29
	シャープ製レコーダーで写真を記録したDVD-RWや、写真が記録されたBD-R/-RE、CD-R/-RWを再生する	7-31
	写真データをBD-R/-RE、USBメモリーにコピーする	7-34

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する(つづき)

ホームネットワーク(シャープ製ホームネットワーク対応テレビ・スカパー! プレミアムサービスチューナー)で楽しむ

インターネット	インターネットの動画を楽しむ(4Kアクトビラ)	8-1
アプリケーション	スマートフォン連携アプリケーションソフトについて	8-8
ホームネットワーク	ホームネットワークで楽しむ	8-14
	ホームネットワークを設定する	8-17
	別の部屋にあるホームネットワーク対応機器で本機に録画した番組や静止画を見る	8-19
	別の部屋にある機器で放送中の番組を視聴する	8-23
	転送動画の画質を選択する	8-26
	外からリモート視聴をする	8-28
	スマートフォンのカメラで撮影した動画をレコーダーへダビングする	8-30
	本機で録画したタイトルをスマートフォンへダビングする	8-31
LAN設定	LANの設定をする	9-57
	ネットワーク設定(かんたん設定)を行う	9-60
	有線LAN設定を行う	9-63
	無線LAN設定の前に	9-66
	無線LAN設定を行う	9-70
	LAN通信を制限する	9-75
IPコントロール	パソコン／スマートフォンから本機をコントロールする (IPコントロール／ボイスリモコン)	9-77
リモート予約	スマートフォンで予約する	9-85

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する(つづき)

各種設定する

クイック起動設定	クイック起動を設定をする	9-20
デジタル放送設定	デジタル放送を視聴するための設定をする	9-24
	デジタル放送設定のながれ	9-24
	地域と郵便番号設定	9-27
	BS・110度CS共用アンテナ設定	9-30
	アッテネーター(減衰器)設定／BS・CS信号出力設定	9-36
	地上デジタル放送のチャンネル自動設定	9-38
	地上デジタル放送のチャンネル更新設定	9-42
	地上デジタル放送の電子番組表データを受信する	9-44
	チャンネルの個別設定	9-47
	チャンネルの追加	9-53

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する(つづき)

各種設定する

各種設定	ホームメニューの各種設定をする	10-1
	かんたん設定	10-1
	録画・再生設定	10-5
	映像・音声設定	10-20
	本体設定	10-27
	放送視聴設定	10-40
	通信機能設定	10-45
	ディスク管理	10-48
	初期化・更新	10-53
視聴制限	視聴制限のための設定する	10-68
	暗証番号を設定する	10-68
	視聴制限とディスク優先言語を設定する	10-70
ソフトウェアの更新	ソフトウェアを更新する	10-72
	USBメモリーを使用してソフトウェアを更新する	10-72
	ネットワークサーバーからソフトウェアを更新する	10-74

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する(つづき)

お役立ち情報

お知らせ	本機から送られてくるメッセージや情報を見る（通知センター）	9-1
	ソフトウェアの更新	9-6
	放送局から送られてくるメッセージや情報を見る	9-8
できること・できないこと	録画の組み合わせと録画中にできること	11-1
	ダビングできる組み合わせとダビング中にできること	11-5
	ディスクの種類とおもにできること	11-8
	本機で使えるディスクについて	11-13
推奨ディスクについて	BDについて	11-24
	DVDについて	11-27
	ダビングしたDVDを他の機器で再生するときは	11-31
	放送の種類について	11-33

次ページへつづく⇒

本機を操作する(つづき)

故障かな？と思ったら

故障かな？	お問い合わせの前に	12-1
リセットする	操作ができないときは、まず次のことをお確かめください	12-1
	リモコンで操作ができないときは、まず次のことをお確かめください	12-2
	サポートページやスマートフォン用アプリケーションの紹介、機能別情報などをスマートフォンなど携帯端末で確認	12-4
	状態表示コードの確認方法	12-8
	リモコン	12-9
	画面が映らない／音が出ない	12-10
	強い雨や雪、雷の日に映像が映らない	12-11
	映像が正常に映らない	12-13
	録画	12-15
	電子番組表が表示されない	12-18
	予約録画	12-19

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する(つづき)

故障かな？と思ったら

	フォトシステムで楽しむ	12-26
	ファミリンク機能	12-27
	再生	12-28
	録画タイトル	12-36
	編集	12-37
	ダビング	12-38
	本体の音／動作	12-42
	その他	12-43
画面のメッセージ	エラーメッセージ(例)	12-45
	本体ランプのエラー表示一覧表	12-45
	テレビ画面	12-46

次ページへつづく⇒

もくじ

本機を操作する(つづき)

困ったときは

ご相談窓口	保証とアフターサービス	13-1
	お客様ご相談窓口のご案内	13-4
	仕様	13-8
	HDD(ハードディスク)での録画画質と録画時間	13-8
	BD(ブルーレイディスク)での録画画質と録画時間	13-13
	DVDでの録画画質と録画時間	13-16
用語	用語の解説	13-17
マークの一覧	画面に表示されるマーク	13-38

索引

さくいん	索引	14-1

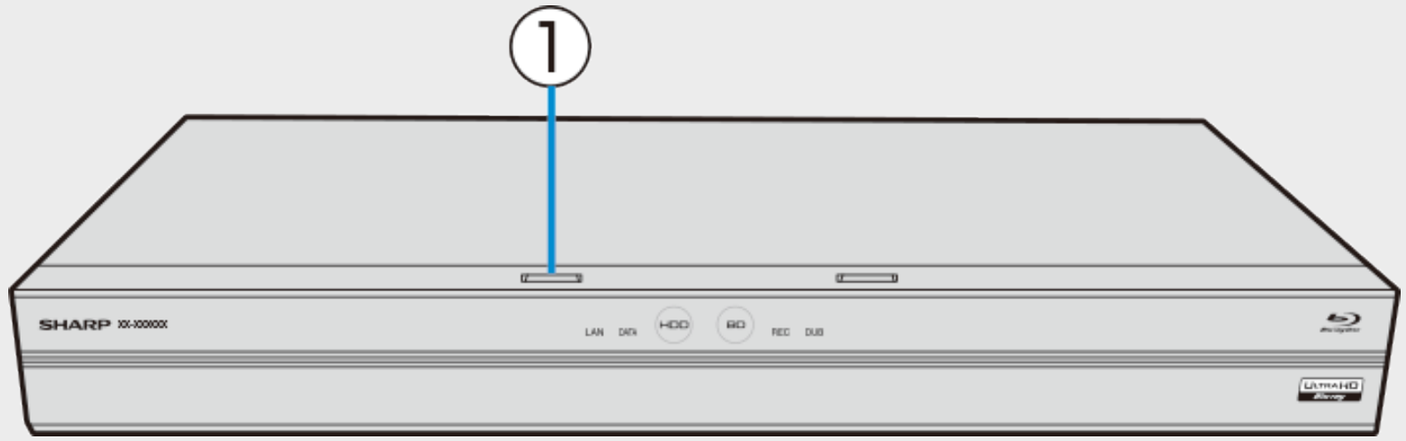
製品登録のお願い … 最終ページ

確認・基本

各部のなまえとおもな機能

- 本書内のイラストは、説明用のもので、実際のものとは多少異なります。

本体前面



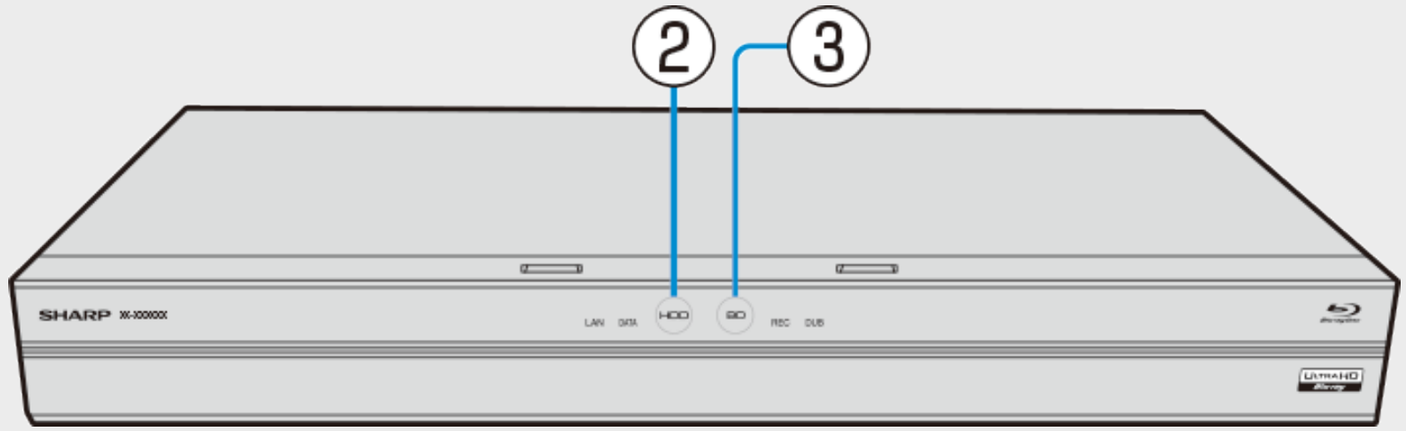
名称／説明		ページ
①	電源ボタン • 電源ボタンを5秒以上押しつづけるとエコモードが「入」になります。	2-6・2-7

次ページへつづく⇒

各部のなまえとおもな機能

- 本書内のイラストは、説明用のもので、実際のものとは多少異なります。

本体前面(つづき)



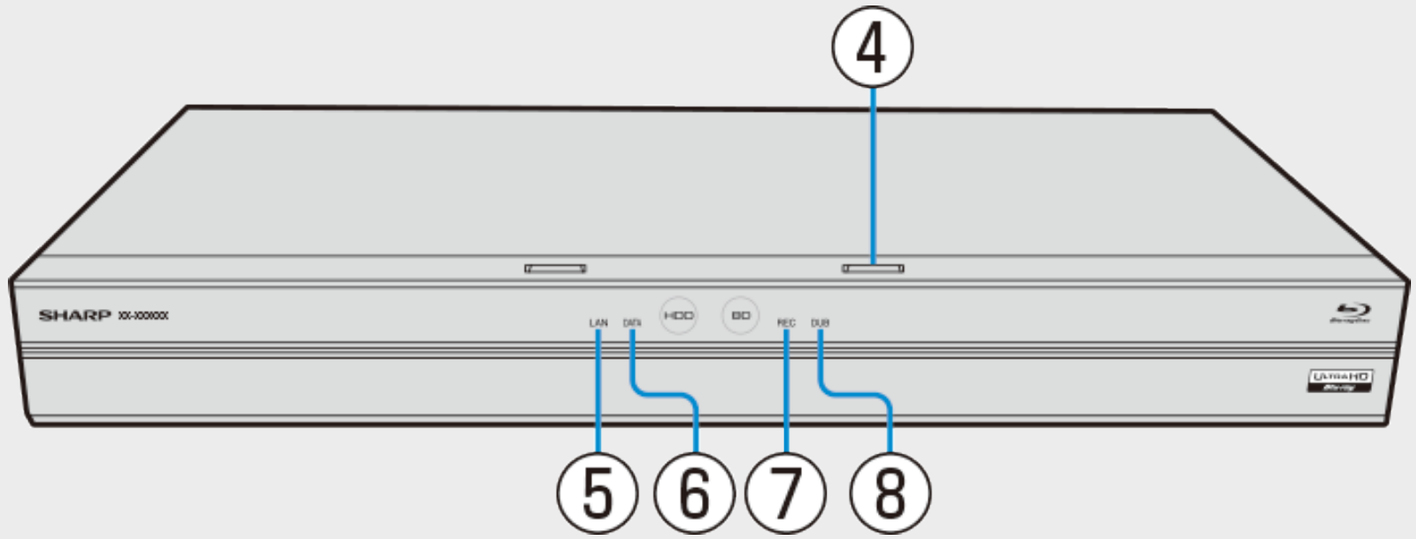
	名称／説明	ページ
②	HDDランプ • 内蔵HDD／外付けHDDモードに切換時▶白点灯 • 内蔵HDD／外付けHDD再生中▶青点灯	1-8 1-64 2-6
③	BDランプ • BD/DVDモードに切換時▶白点灯 • BD/DVD再生中▶青点灯	

次ページへつづく⇒

各部のなまえとおもな機能

- 本書内のイラストは、説明用のもので、実際のものとは多少異なります。

本体前面(つづき)

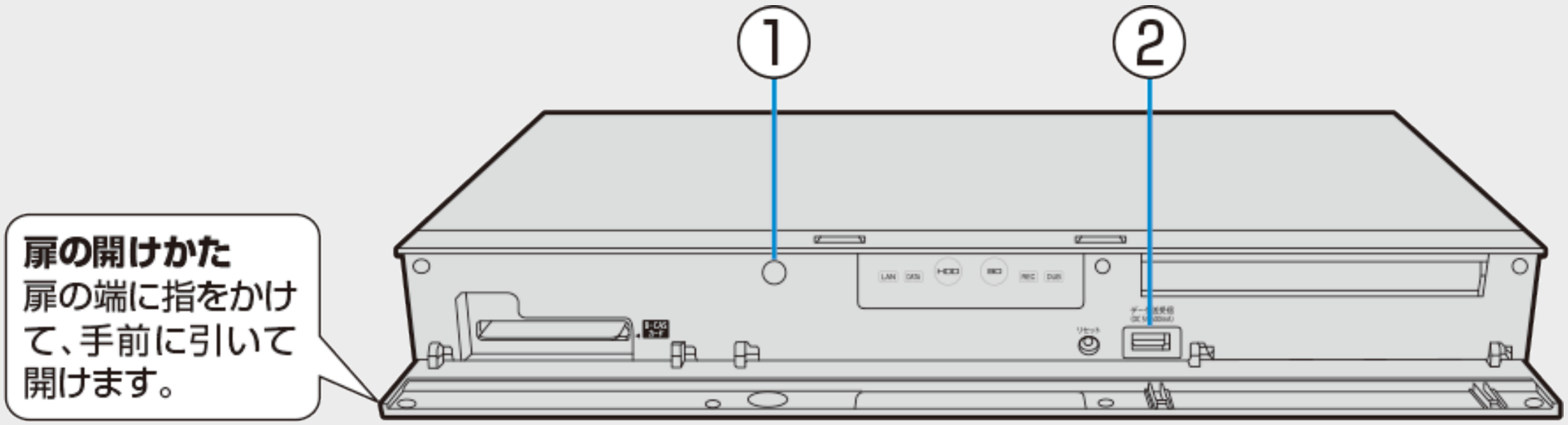


	名称／説明	ページ
④	トレイ開閉ボタン	1-38
⑤	LANランプ • アクトビラなどインターネットに接続中、ホームネットワーク接続中（買換えお引っ越しダビング中）などLAN接続中に点灯します。	1-8・3-113 5-48
⑥	DATAランプ • 電子番組表データ、Gガイド情報取得中や放送局との通信中、ダウンロードサービスによりソフトウェアの更新中など、データ取得中に点灯します。	1-8
⑦	RECランプ • 録画中に点灯します。	1-8・3-16 3-31・3-113
⑧	DUBランプ • ダビング動作中に点灯します。	1-8・5-30

各部のなまえとおもな機能

- 本書内のイラストは、説明用のもので、実際のものとは多少異なります。

本体前面（扉内）



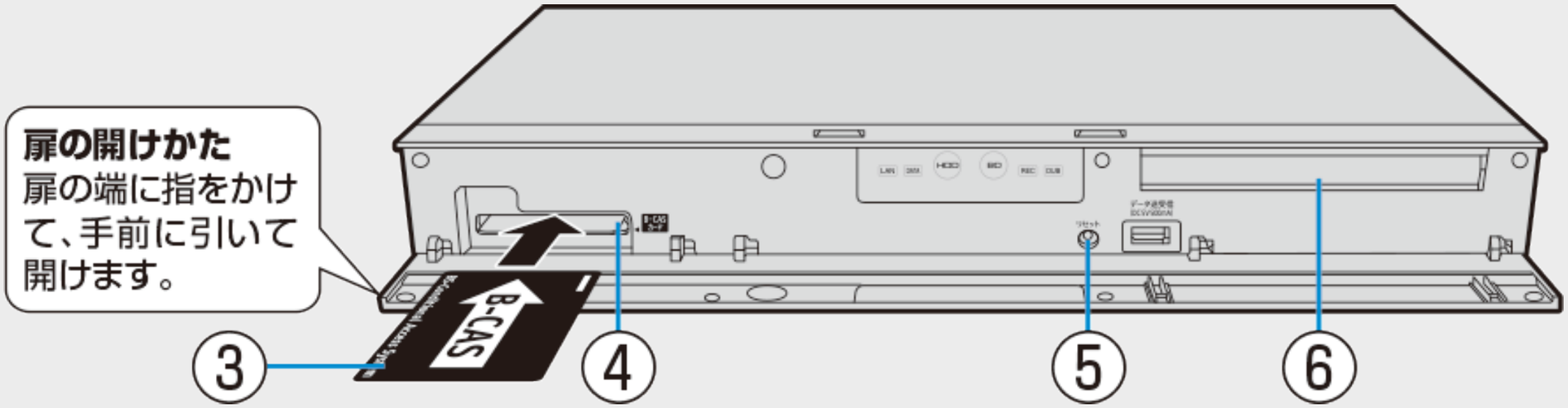
名称／説明		ページ
①	リモコン受光部	—
②	データ送受信端子 • デジタルスチルカメラやAVCHD方式のデジタルビデオカメラなどとUSBケーブルで接続します。 • シャープホームページ内のサポート・お問い合わせページから更新用ソフトウェアをパソコンにダウンロードし、USBメモリーに書き込んでソフトウェアの更新を行うことができます。	5-62 7-4 10-72

次ページへつづく⇒

各部のなまえとおもな機能

- 本書内のイラストは、説明用のもので、実際のものとは多少異なります。

本体前面（扉内）（つづき）



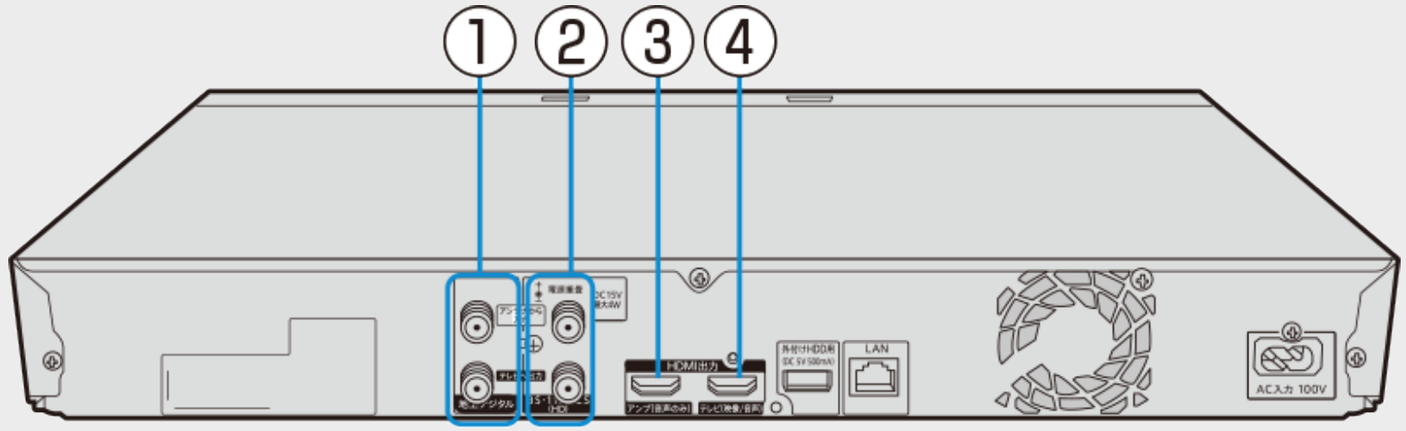
名称／説明		ページ
③	B-CAS（ビーキャス） カード（付属品）	2-1
④	B-CAS（ビーキャス）カードスロット	取扱説明書（同梱）
⑤	リセットボタン • 操作を受け付けなくなったときは、先の細いもので押します。システムがリセットされます。 • シャープペンシルや鉛筆等の先端が折れ易いものを使用すると、折れた異物が中に入り故障の原因となりますので、使用しないでください。	12-1
⑥	ディスクトレイ	1-39

確認・基本

各部のなまえとおもな機能

- 本書内のイラストは、説明用のもので、実際のものとは多少異なります。
- 接続について詳しくは、同梱の取扱説明書をご覧ください。

本体後面



	名称／説明	ページ
①	地上デジタル(UHF) (上)アンテナから入力端子　(下)テレビへ出力端子	取扱説明書(同梱)
②	BS・110度CS(HD) (上)アンテナから入力端子　(下)テレビへ出力端子	取扱説明書(同梱)
③	HDMIアンプ(音声のみ)出力端子 • オーディオ機器にHDMI経由で音声信号のみを出力するための端子です。映像は出力されません。ご使用の際はシールを剥がしてケーブルを接続してください。	取扱説明書(同梱)
④	HDMIテレビ出力端子 • HDMI入力端子付きテレビと接続します。	取扱説明書(同梱)

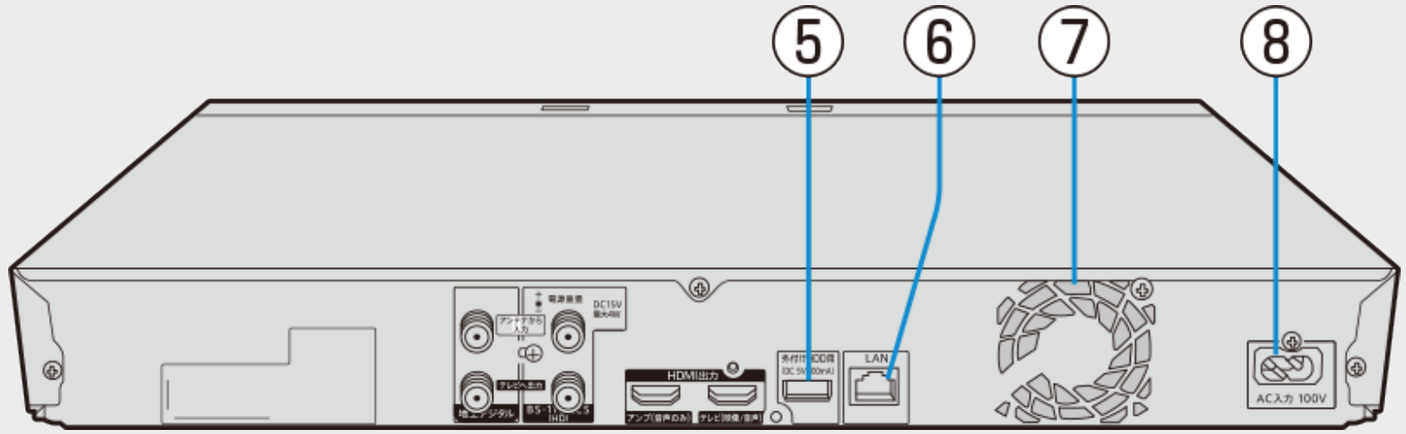
次ページへつづく⇒

確認・基本

各部のなまえとおもな機能

- 本書内のイラストは、説明用のもので、実際のものとは多少異なります。
- 接続について詳しくは、同梱の取扱説明書をご覧ください。

本体後面(つづき)

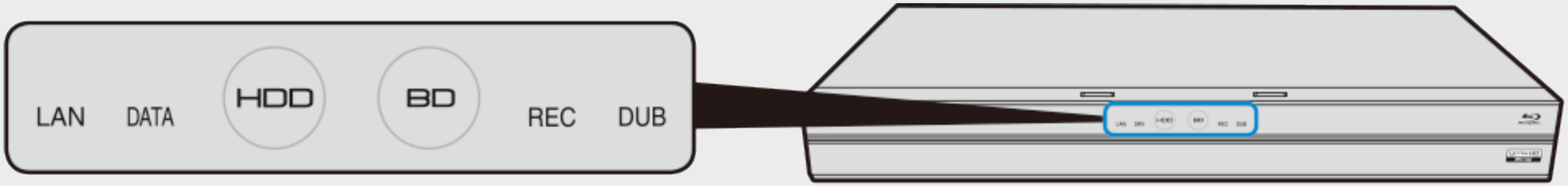


名称／説明		ページ
⑤	外付けHDD用端子 • 外付けHDDとUSBケーブルで接続します。	1-56
⑥	LAN端子	取扱説明書(同梱)
⑦	冷却ファン	取扱説明書(同梱)
⑧	電源コード接続部	取扱説明書(同梱)

確認・基本

各部のなまえとおもな機能

本体ランプについて



HDD	HDDランプ 内蔵HDD／外付けHDDの状態を表示します	電源入（起動）時	白点滅
		内蔵HDD／外付けHDDモードに切換時	白点灯
		内蔵HDD／外付けHDD再生中	青点灯
		写真アルバム表示中	青点灯
BD	BDランプ BD/DVDドライブの状態を表示します	BD/DVD読み込み中	白点滅
		BD/DVDモードに切換時	白点灯
		BD/DVD再生中	青点灯
		写真アルバム表示中	青点灯
LAN	インターネットやホームネットワーク接続中、ネットワーク機器から録画中、買換えお引っ越しダビング中		白点灯
DATA	放送局と通信中（ロゴデータや番組再編情報取得中など）		白点灯
	ソフトウェアの更新（ダウンロード） 電子番組表（EPG）データ取得中／Gガイド情報取得中など		
REC	HDD/外付けHDDへ録画（予約録画）中		赤点灯
DUB	HDD/BD/外付けHDDなどへのダビング中		赤点灯

次ページへつづく⇒

本体ランプについて（つづき）

複数のランプが点灯

- 番組の録画中に同時再生やダビング操作をしたり、LAN接続するなど複数の同時操作を行なっているときは、複数のランプが点灯します。
- スカパーチューナーなどからLANを経由して録画中は、LANランプとRECランプが点灯します。
- 買換えお引っ越しダビング中などLANを経由してダビングしているときは、LANランプとDUBランプが点灯します。
- リモコンの【HDMI出力リセット】ボタンを5秒以上長押しし、HDMI出力をリセットしたときは、本体ランプが左から順番に点灯し、リセットされると元の状態に戻ります。

ディスクの検出について

ディスクの検出

- 機器の電源を入れてディスクが検出されたときに、一定時間BDランプが白点滅します。

次ページへつづく⇒

本体ランプについて（つづき）

エラー表示一覧表

- 本機はエラーや動作状態をランプでお知らせします。
- ランプが点滅して操作ができないときは下記をご確認ください。

本体ランプの状態	エラー内容
LANとDATAが交互に点滅 	準備中です • しばらく待って点滅が終了してから電源を入れてください。
LANとDATAが同時点滅 	リモコン番号が違っています • 本機とリモコンの番号を合わせて、ご使用ください。
DATAが点滅 	動作エラー • 一度電源を切り、電源を入れ直してください。
LANとDATAとRECが同時点滅 	リセット中です • ランプが消灯後、操作してください。
HDDとBDとRECが同時点滅 	ソフトウェア更新中です • ランプが消灯するまで何も操作をせずお待ちください。



リモコン

レコーダーを操作するときのボタン

	名称／説明	ページ
①	電源	2-2
	番組情報／QRコード • 番組情報を表示	2-14
	画面表示 • ディスク情報や残量などの確認	3-5
②	取扱説明 •「取扱説明ガイド」の表示	—
	トレイ開閉	1-41
③	チャンネル・数字 • チャンネルの選局 • 番組表で放送局をダイレクト呼び出し • 視聴設定でタイトルを選択 • ソフトウェアキーボードで文字を選択	2-11・3-15 3-19・4-113 5-69・10-69

次ページへつづく⇒



リモコン(つづき)

レコーダーを操作するときのボタン(つづき)

	名称／説明	ページ
④	地上/BS/CS	2-11 3-15 3-19 3-24
	3桁入力 • デジタル放送の3桁のチャンネルの選局	2-12
	消去 • 録画したタイトルなどを消去 • 予約リストを表示し、予約を取り消す • 文字を消去	3-71 4-129 5-70

次ページへつづく⇒



リモコン(つづき)

レコーダーを操作するときのボタン(つづき)

	名称／説明	ページ
⑤	音声切換 • 主音声や副音声など音声を切り換え	2-20・4-105
	選局	2-10・2-11・3-15・3-19
	インターネット • 4Kアクトビラを表示	8-1

次ページへつづく⇒



リモコン(つづき)

レコーダーを操作するときのボタン(つづき)

	名称／説明	ページ
⑥	番組表	2-24・3-24
	裏番組 • 裏番組一覧の表示	2-29・2-37
	録画リスト • 録画済みの番組の一覧表示 トップメニュー • BDやDVDのトップメニュー画面の表示	4-1・4-20 4-31・4-66
⑦	データ • 連動データ放送の呼び出し	2-17
	ツール • レコーダーのツールメニューを表示	2-11・2-19・2-35 10-61～10-67
	決定　カーソル　終了　戻る • ホームメニューなどの設定画面での操作	1-24・2-25～2-51 3-39～3-46 3-84～3-112
⑧	青　赤　緑　黄(カラーボタン) • 番組表や機能メニュー、データ放送の画面に表示	2-14・2-26・5-28 5-70・7-10～7-11

次ページへつづく⇒



リモコン(つづき)

レコーダーを操作するときのボタン(つづき)

	名称／説明		ページ
⑨	(ポップアップ)メニュー	見どころ一覧、BDのポップアップメニュー、DVDのメニューの表示	4-12 4-67 4-97
	ホーム • ホーム画面の表示		1-24
	HDD/BD • HDD(ハードディスク)またはBD/DVDの操作モードの切り換え		1-63 3-15 4-31

次ページへつづく⇒



リモコン(つづき)

レコーダーを操作するときのボタン(つづき)

	名称／説明	ページ
⑩	再生操作に使うボタン	4-87～4-103
	停止／録画停止	2-59～2-61・3-17・3-22・3-97・4-35・4-37
⑪	ドラ丸 • 「ドラ丸リスト」を表示	3-95・3-96・3-102・4-32
	字幕 • 字幕を入／切する	2-22・4-108
	まるわかり • 「番組内容まるわかり」画面を表示	4-10
⑫	HDMI出力リセット • 5秒以上長押しするとHDMI出力をリセットします。	12-13
	録画	3-16・3-26
	チャプターマーク 検索 • 検索画面を表示 • HDDやBD再生中にチャプターマークを記録	2-23・4-92

次ページへつづく⇒



リモコン(つづき)

テレビを操作するときのボタン

	名称／説明	ページ
①	番組情報 • 番組情報を表示	—
	テレビ操作ボタン • テレビを操作するときはテレビ操作ボタンを押します。 テレビ操作ボタンが点灯しテレビ操作モードに切り換わります。もう一度押すとレコーダー操作モードに戻ります。 • テレビ操作モードで30秒間何も操作しないときはテレビ操作ボタンが消灯しレコーダー操作モードに戻ります。	—
②	☆テレビ電源	2-1
	画面表示	—
	取扱説明 • 「取扱説明ガイド」の表示	—
③	チャンネル・数字※1 • チャンネルの選局	—

☆テレビメーカー10社のテレビを操作できるボタンです。「ホーム」―「設定」―「かんたん設定」の「リモコンのテレビ操作設定」をご確認ください。
※1→1-21ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒



リモコン(つづき)

テレビを操作するときのボタン(つづき)

	名称／説明
④	地上/BS/CS※1
	3桁入力 • デジタル放送の3桁のチャンネルの選局
⑤	音声切換
	消音※1
	☆音量
	☆選局
	インターネット • インターネットの表示
	☆テレビ入力切換

☆テレビメーカー10社のテレビを操作できるボタンです。
※1→1-21ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒



リモコン(つづき)

テレビを操作するときのボタン(つづき)

	名称／説明
⑥	番組表※1
	裏番組 • 裏番組一覧の表示
	データ • 連動データ放送の呼び出し
⑦	ツール • テレビのツール画面を表示
	決定　カーソル　戻る※1 • メニューなどの設定画面での操作 終了 • メニューなどの設定画面での操作

※1→1-21ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒



リモコン(つづき)

テレビを操作するときのボタン(つづき)

	名称／説明
⑧	青　赤　緑　黄(カラーボタン) • 機能はメニューやデータ放送の画面に表示
⑨	ホーム • テレビのホーム画面の表示
⑩	ファミリンク機器や外付けHDDの再生操作に使うボタン※1
⑪	録画
⑫	検索 • スマートサーチ画面を表示

※1→1-21ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

リモコン(つづき)

※1 テレビメーカー指定をシャープC1/C2、パナソニック1、東芝、ソニー、日立、三菱、LGに設定したときに操作できるボタンです。

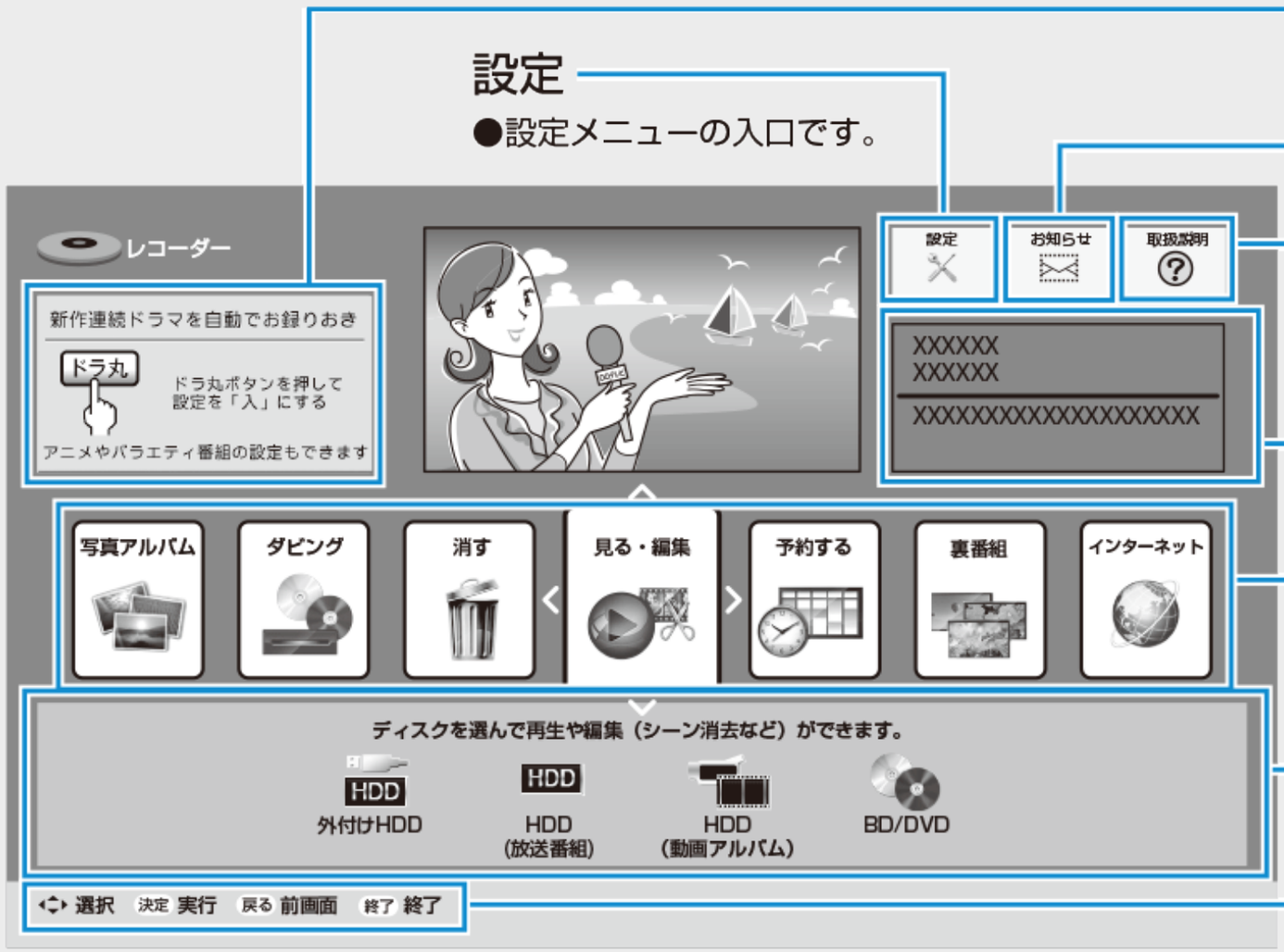
お知らせ

- テレビに搭載されていない機能は操作できません。

ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）の使いかた

- ホーム画面とは、本機の操作や設定を行うことができるメニュー画面です。

ホーム画面表示例



ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）の使いかた

設定メニュー画面例

- 設定内容については10−1～10−60ページをご覧ください。



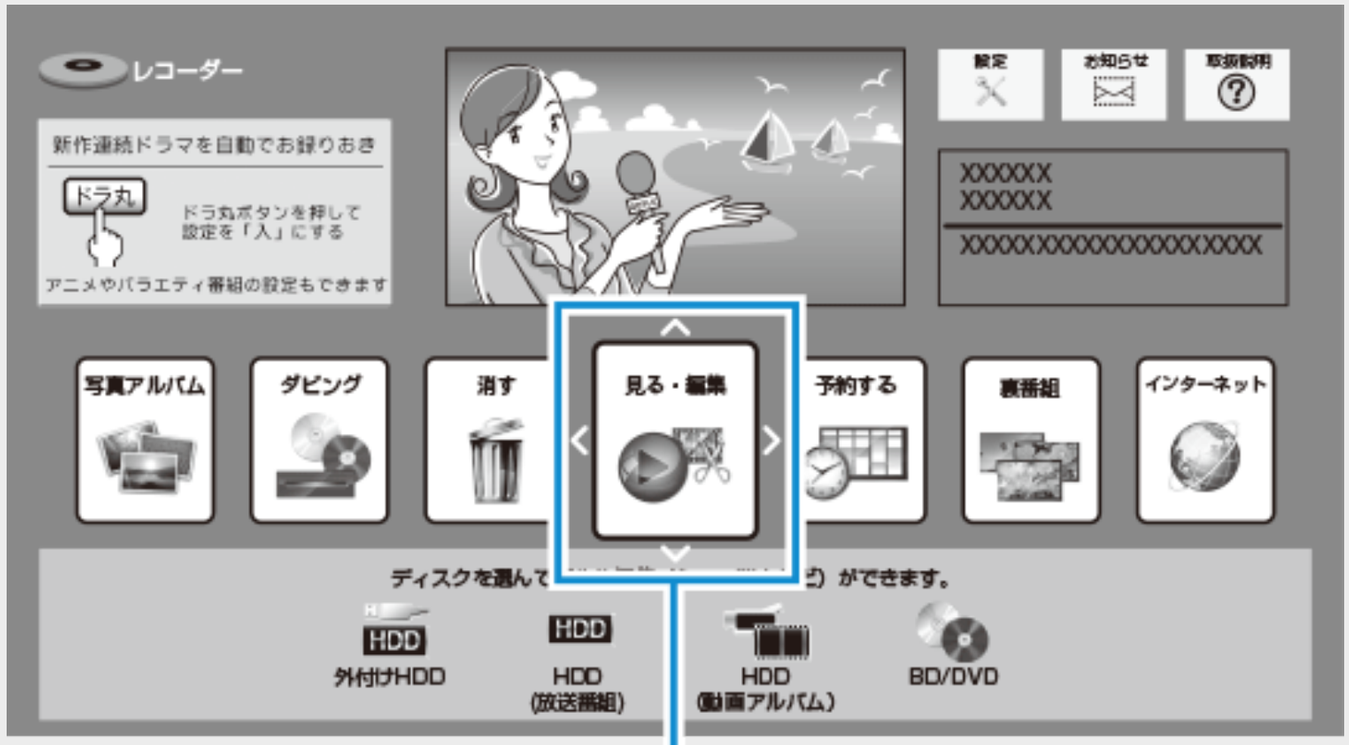
ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）の使いかた



ホーム画面表示時の操作方法

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

2. ホームメニューから目的の項目を選んで決定します
   【上下左右カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す



（例：「見る・編集」を選んだとき）

次ページへつづく⇒



ホーム画面表示時の操作方法(つづき)

3. 操作・設定したいメディアまたは項目を選んで決定します
   【上下左右カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す



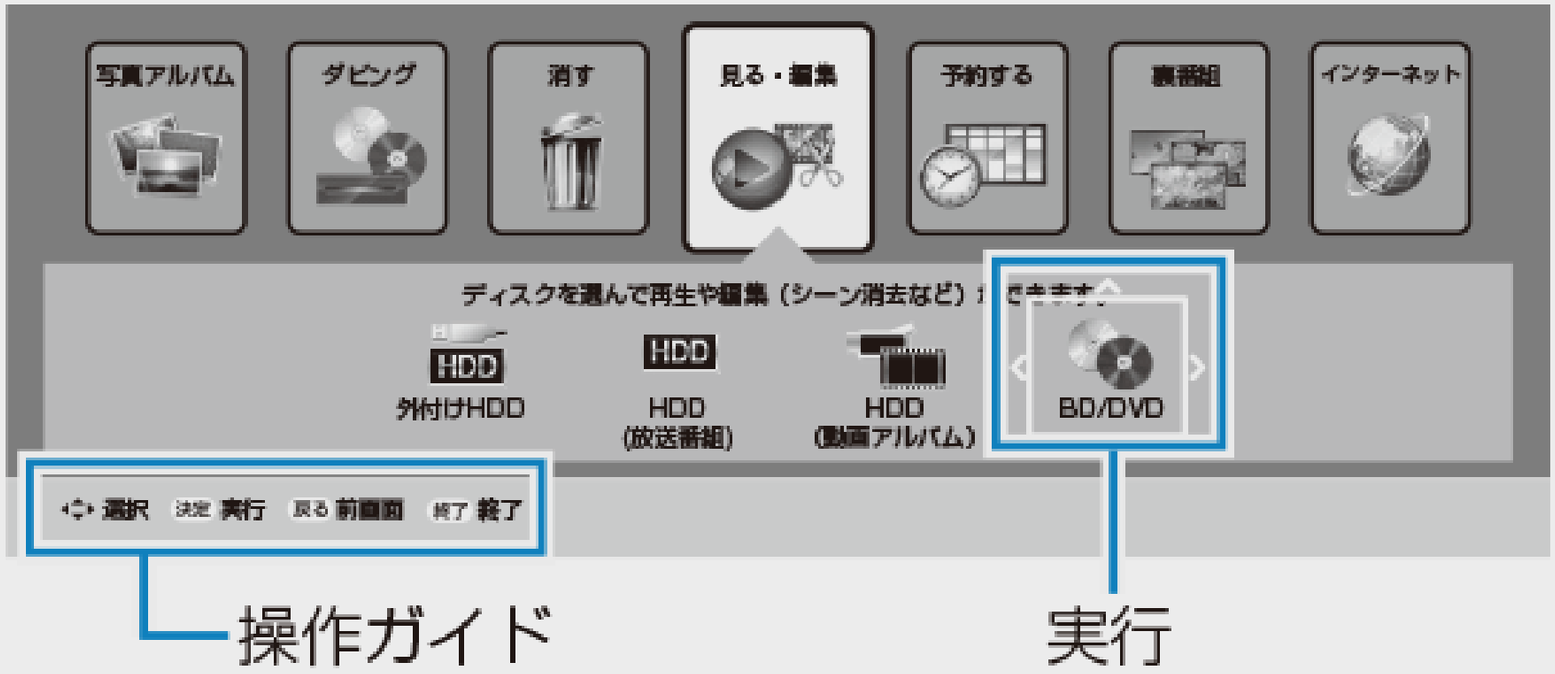
（例：「BD/DVD」を選んだとき）

次ページへつづく⇒



ホーム画面表示時の操作方法(つづき)

4. 選択・設定します
   - 選択・設定方法は項目により異なります。操作ガイドに従って設定してください。
   - 【戻る】ボタンを押すと、前に戻ります。



5. 設定を終了します
   【終了】ボタンを押す

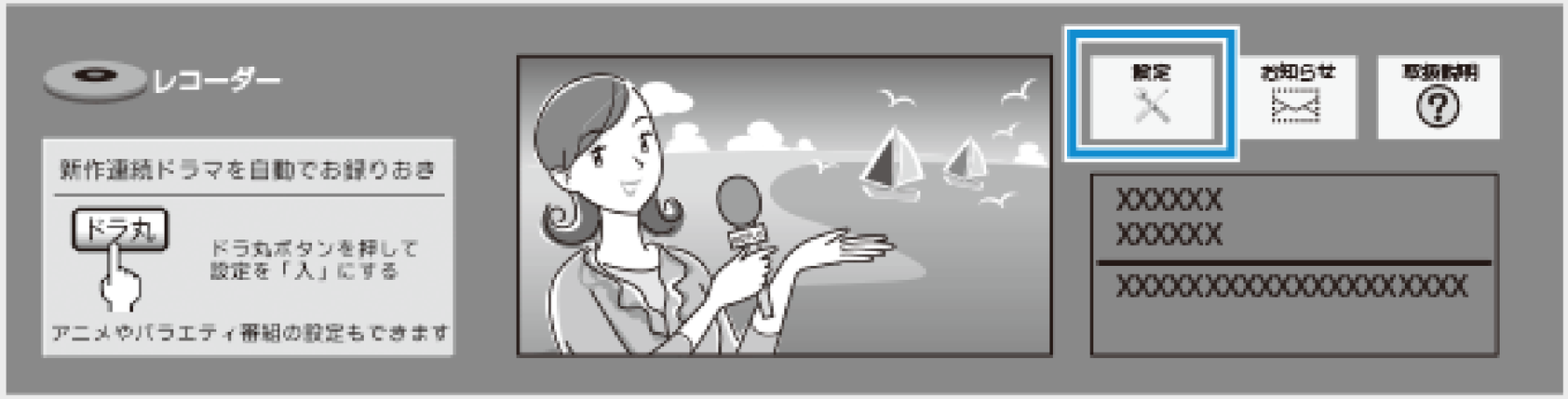
ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）の使いかた



設定メニューの操作方法

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

2. 「設定」を選んで決定します
   【上下左右カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す



次ページへつづく⇒



設定メニューの操作方法(つづき)

3. 設定メニュー（アイコン）を選び、目的の設定項目を選んで決定します
   【上下左右カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す



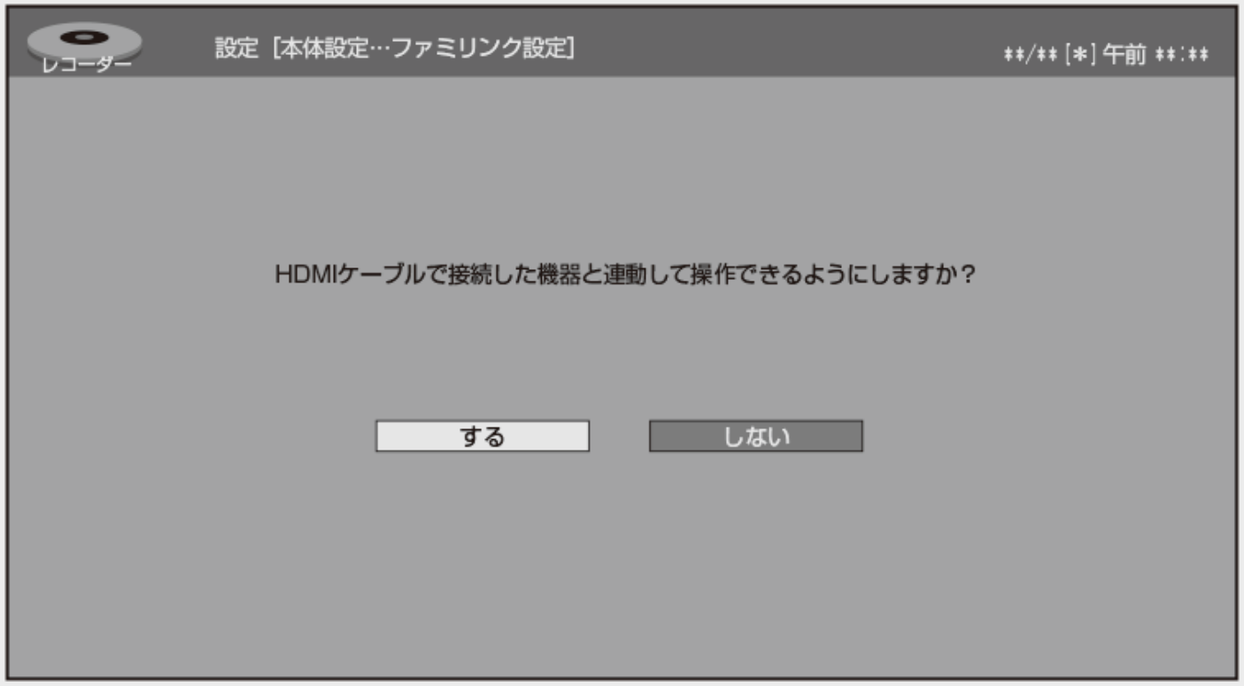
（例:「本体設定」から「ファミリンク設定」を選んだとき）

次ページへつづく⇒



設定メニューの操作方法(つづき)

4. 設定します
   - 設定方法は項目により異なります。操作ガイドに従って設定してください。



5. 設定を終了します
   【終了】ボタンを押す

ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）の使いかた

機能紹介

- ホーム画面左上には、本機の機能紹介が表示されます。
  機能紹介の内容は、順次切り換わります。
- 機能紹介を選択して【決定】ボタンを押しても表示を切り換え可能です。

機能紹介



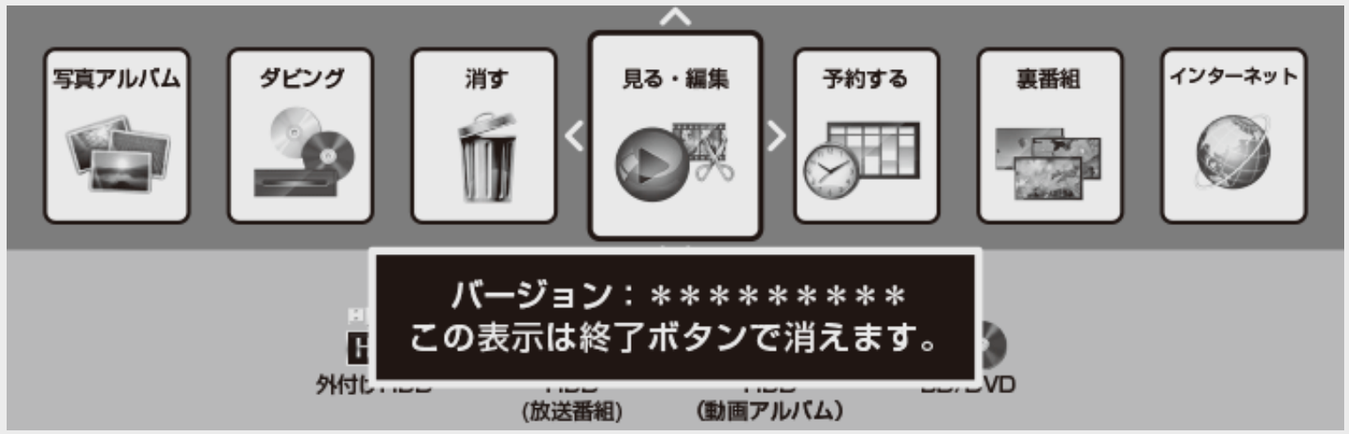
ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）の使いかた



ソフトウェアのバージョンを確認する

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

2. 【黄】ボタンを長押しします（約3秒）
   - ソフトウェアのバージョンが表示されます。

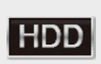


3. バージョン表示を終了します
   【終了】ボタンを押す

確認・基本

ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）の使いかた

ホームメニュー項目一覧

ホームメニュー項目	機能選択メニュー	機能別選択・設定項目	ページ
 見る・編集 「録画リスト」で録画済みの番組（「放送番組」、「動画アルバム」または「BD/DVD」）を一覧表示します。録画した番組を選んで再生できます。録画リストから「機能メニュー」で編集なども行えます。	 HDD（放送番組）	—	4-1〜4-177
	 HDD（動画アルバム）		
	 BD/DVD		
	 外付けHDD		
 ダビング 録画ダビング元とダビング先を指定してダビングを行います。	 HDD	ダビング種類選択	5-1〜5-68
	 BD		
	 デジタルカメラ（USB接続）		
	 外付けHDD		
	 ネットワーク機器		5-46

機器が接続されていない、ディスクがセットされていないなど、該当のメディアや機能が使用できないときは、メニュー項目が選択できない状態（グレー表示）になります。

次ページへつづく⇒

ホームメニュー項目一覧(つづき)

ホームメニュー項目	機能選択メニュー	機能別選択・設定項目	ページ
消す 録画した番組の中から 選んで消去したり、録画した番組をすべて消去することができます。	HDD（放送番組）	—	4-125～4-134
	HDD（動画アルバム）		
	BD		
	外付けHDD		
予約する 録画予約の設定や、予約内容の確認ができます。	予約リスト	—	3-64
	番組表		3-23
	詳細検索		3-74
	自動録画設定		3-84
	日時指定予約		3-39

機器が接続されていない、ディスクがセットされていないなど、該当のメディアや機能が使用できないときは、メニュー項目が選択できない状態（グレー表示）になります。

次ページへつづく⇒

ホームメニュー項目一覧(つづき)

ホームメニュー項目	機能選択メニュー	機能別選択・設定項目	ページ
 裏番組 番組表の裏番組一覧を表示します。	地上 地上デジタル	各チャンネル（放送局）	2-29 2-37
	BS BSデジタル		
	CS CSデジタル		
 インターネット 番組のランキング表示、ホームページアクセス用のQRコード表示、4Kアクトビラの映像を見ることができます。	 スマートフォンで確認	—	12-4
	 アクトビラ（4Kアクトビラ）		8-4
	LIVE AQUOS視聴ランキング※		2-68
	REC AQUOS録画ランキング※		

機器が接続されていない、ディスクがセットされていないなど、該当のメディアや機能が使用できないときは、メニュー項目が選択できない状態（グレー表示）になります。
※AQUOS視聴／録画ランキングサービスをお使いのお客様が、視聴したり、予約している番組のランキングを閲覧できます。

次ページへつづく⇒

ホームメニュー項目一覧(つづき)

ホームメニュー項目	機能選択メニュー	機能別選択・設定項目	ページ
 写真アルバム ディスクを選んで写真の再生ができます。	HDD HDD	—	7-9
	 BD/DVD/CD		7-31

機器が接続されていない、ディスクがセットされていないなど、該当のメディアや機能が使用できないときは、メニュー項目が選択できない状態（グレー表示）になります。

次ページへつづく⇒

ホームメニュー項目一覧(つづき)

ホームメニュー項目	機能選択メニュー	機能別選択・設定項目	ページ
 設定 放送視聴や録画、その他本機を使うための各種設定ができます。	かんたん設定	各項目は各種設定ページをご覧ください。	10-1
	録画・再生設定		10-5
	映像・音声設定		10-20
	本体設定		10-27
	放送視聴設定		10-40
	通信機能設定		10-45
	ディスク管理		10-48
	初期化・更新		10-53

機器が接続されていない、ディスクがセットされていないなど、該当のメディアや機能が使用できないときは、メニュー項目が選択できない状態（グレー表示）になります。

次ページへつづく⇒

ホームメニュー項目一覧(つづき)

ホームメニュー項目	ページ
 お知らせ 受信メッセージや受信機レポート、B-CASカード番号、ソフトウェアライセンス情報などが確認できます。	9-8～9-19
 取扱説明 取扱説明ガイドを表示します。	—

機器が接続されていない、ディスクがセットされていないなど、該当のメディアや機能が使用できないときは、メニュー項目が選択できない状態（グレー表示）になります。

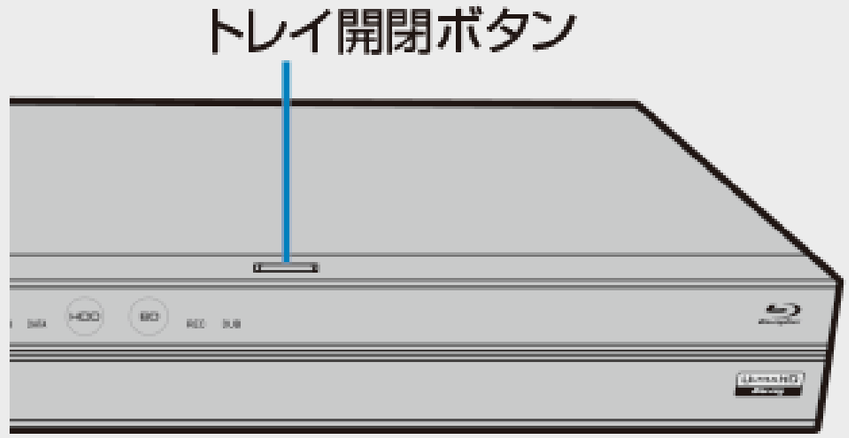


ディスクの入れかた

BD（ブルーレイディスク）やDVDの入れかたです。

1. 本機の電源を入れます
   本体またはリモコンの【電源】ボタンを押す

2. ディスクトレイを開けます
   リモコンの【トレイ開閉】ボタンまたは本体のトレイ開閉ボタンを押す



⇒ ディスクトレイが開きます。

- トレイが開くまでに時間がかかる場合があります。

ヒント

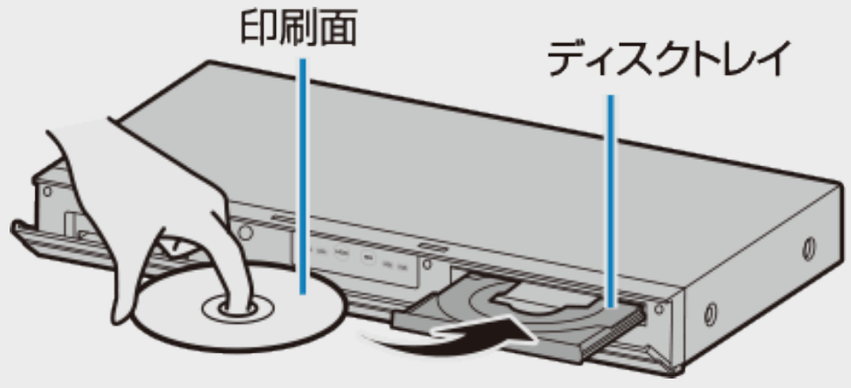
- 電源が切れているときにトレイ開閉ボタンを押した場合、電源が入り、ディスクトレイが開きます。

次ページへつづく⇒



ディスクの入れかた(つづき)

3. ディスクトレイにディスクを置きます



- 印刷面を上にして置きます。
- 両面記録のディスクは、ダビングまたは再生したい面を下にして置きます。
- ディスクトレイにセットできるディスクは1枚です。2枚以上セットすると、故障の原因となります。

ディスクの持ちかた

- 光っている面に手を触れないように持ってください。指紋などがつくと、ダビングや再生ができなくなる場合があります。



- ディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。

次ページへつづく⇒



ディスクの入れかた(つづき)

4. ディスクトレイを閉めます
   リモコンの【トレイ開閉】ボタンまたは本体のトレイ開閉ボタンを押す
   ⇒ディスクトレイが閉まります。
   - ディスクの読み込みを行いますので、しばらくお待ちください。

ヒント

- 挿入すると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。
- BDビデオやDVDビデオ、音楽用CDなど再生専用ディスクを挿入したときは、自動的に再生が始まります。

お知らせ

- 本機にディスクを入れる前に、「本機で使えるディスクについて」(→11-13ページ)をご覧ください。
- 新品(未初期化)のBD-RE/-Rディスクを挿入したときは、自動的に初期化が始まります。詳しくは「ディスクを初期化する」(→1-48ページ)をご覧ください。

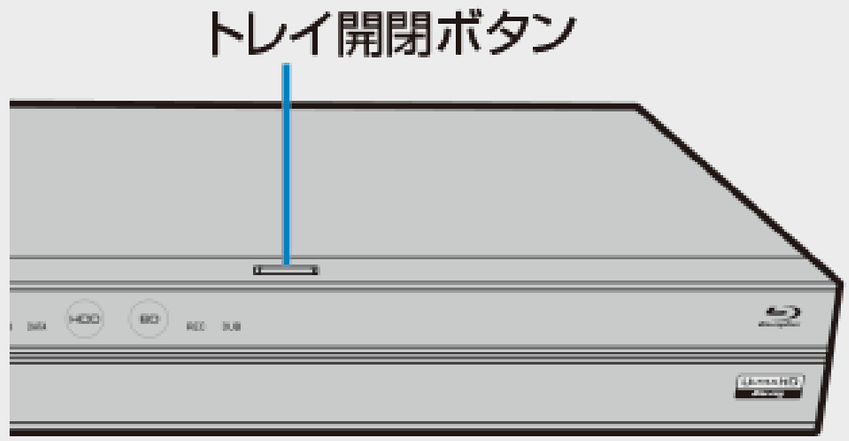


ディスクの出しかた

お知らせ

- ダビング中は、ディスクトレイが開きません。停止させてから操作してください。

1. ディスクトレイを開けます
   リモコンの【トレイ開閉】ボタンまたは本体のトレイ開閉ボタンを押す

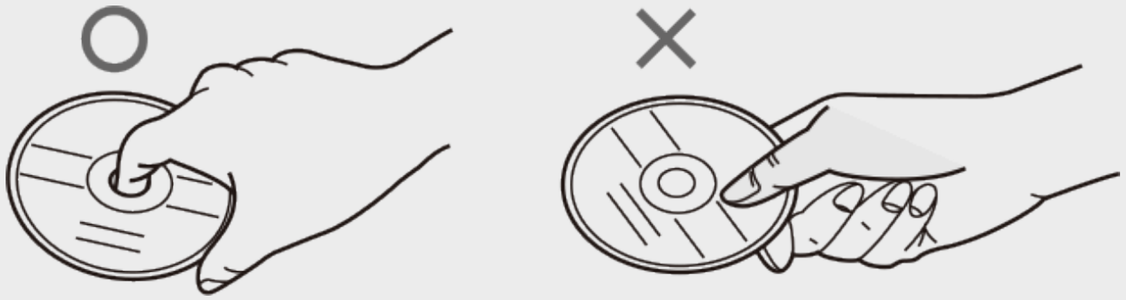


⇒ディスクを取り出す

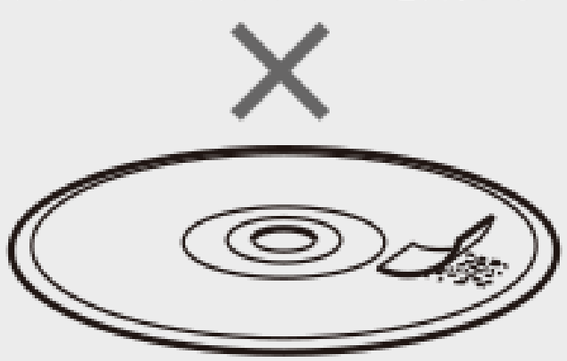
ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

ディスクの取り扱いはていねいに

- 記録面（再生面）には手を触れないでください。



- ディスクに紙やシールを貼らないでください。



次ページへつづく⇒

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ(つづき)

ディスクのお手入れについて

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。汚れがあるとディスクの再生時に音飛びしたり、画像が乱れる場合があります。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

次ページへつづく⇒

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ(つづき)

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

- ディスクの記録面に、傷や汚れが無いかお確かめください。
- ディスク読み取り部にゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。ディスク読み取り部にたまったゴミやほこりが原因の場合、推奨のレンズクリーナーを使用することで症状が改善される場合があります。
  ただし改善効果は必ずあるというわけではありません。レンズクリーナーを使用しても症状が改善されない場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（→13−4ページ）にご相談ください。

推奨レンズクリーナーについては、シャープホームページのシャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/bd/）「BDレコーダーディスク読み取り部のお手入れ（レンズクリーナー紹介）」からご覧いただけます。
※推奨以外のレンズクリーナーは、故障の原因になる場合がありますので、絶対に使用しないでください。

お知らせ

- 「通知センター設定」（→10−32ページ）で「BDドライブのお手入れ」を「入」に設定しておくとお手入れ時期をお知らせ案内いたします。
  通知センターについては、9−1ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ(つづき)

ディスクの保管のしかた

- ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。



- 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。



- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。



- ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。



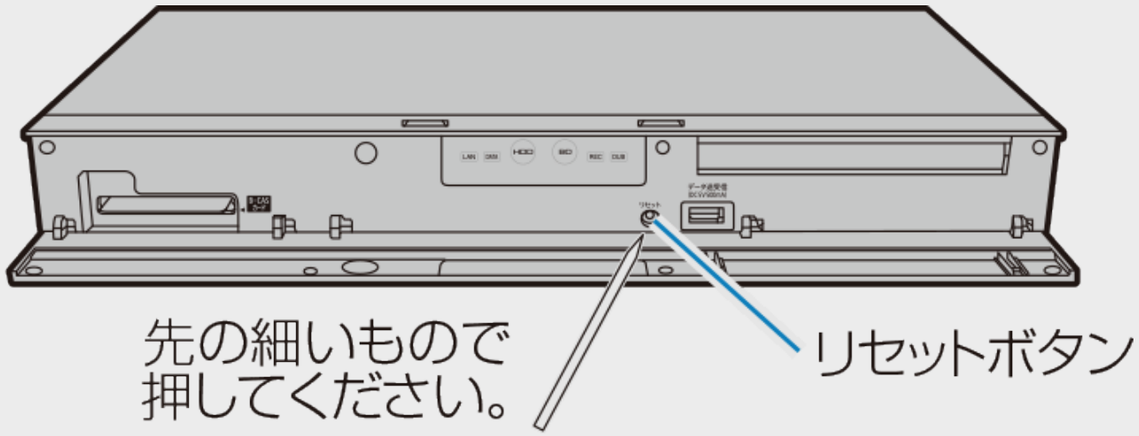
ディスクが取り出せないときは

- ディスクトレイが開かず、ディスクが取り出せないときは次のことを確認してください。
  - 本機が動作中の場合は、動作を停止できるか確認する。(ダビング中は動作が終了するまで待つ)
  - 本機の動作が停止している場合は、電源が切れるか確認する。
    上記を確認のうえトレイ開閉ボタンを押しディスクが取り出せるか確認してください。

↓

- それでもディスクトレイが開かず、ディスクが取り出せないときは、次の操作を行ってください。

1. 本体前面の扉を開き、先の細いものでリセットボタンを押します



ご注意

- シャープペンシルや鉛筆等の先端が折れ易いものを使用すると、折れた異物が中に入り故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 録画中、予約録画中、ダビング中に、リセットボタンを押したときは、電源が切れ動作が停止します。

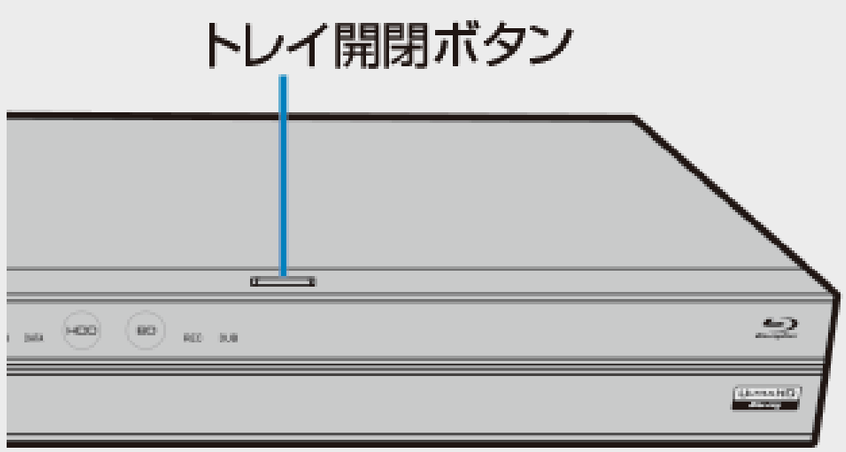
次ページへつづく⇒



ディスクが取り出せないときは(つづき)

2. 電源が切れ、HDDランプ、BDランプが消灯するまでお待ちください

3. 電源が切れた状態でトレイ開閉ボタンを押します



⇒ディスクを取り出す

- 電源が入りディスクトレイが開きますので、ディスクを取り出します。
- ディスクを取り出したあと、HDDランプが点滅中は、システムの準備を行っています。ディスクトレイの開閉は、HDDランプが点灯してから行ってください。

確認・基本

ディスクを初期化する／外付けHDDを使用する

ディスクを初期化する

- 新品（未初期化）のBD（ブルーレイディスク）に録画（ダビング）するときや、DVDにダビングするときは、ディスクの初期化が必要です。
- 新品（未初期化）のBD-RE/-RやDVD-RWを挿入したときは、自動的に初期化が始まります。
- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- 使用済みのBD-REやDVD-RWを未使用の状態に戻したい場合は、1-51ページの手順で初期化をします。

ご注意

- 初期化をすると、「タイトル保護設定」されたものも含めてそれまでに記録された番組がすべて消去されます。内容をよくご確認のうえ、初期化してください。
（→4-118ページ）
- 他社のレコーダーで録画したBD-REを挿入したときも、「初期化する」「ディスク取り出し」と表示されることがあります。「初期化する」を選ぶとディスクの内容が全て消去されます。消去したくない場合は、「ディスク取り出し」を選んで決定してください。
- 「ディスク保護」されたディスクは初期化できません。（ディスク保護設定を解除してから初期化してください）
（→4-122ページ）
- DVDはビデオフォーマットおよび写真用フォーマットでの初期化はできません。
- BD-R/DVD-Rは記録後の初期化はできません。
- デジタル放送をDVDにダビングするには、「VRフォーマット」で初期化したCPRM対応のDVDが必要です。

新しいBDの初期化について

- 新品（未初期化）のBD-RE/-Rでもディスクによっては、「初期化する」「ディスク取り出し」と表示されることがあります。このときは「初期化する」を選び決定してください。
- あらかじめ初期化されているディスクは、初期化の必要はありません。

次ページへつづく⇒

ディスクを初期化する(つづき)

初期化と録画フォーマットについて

ディスクの種類	新品のディスクへの初期化（フォーマット）
DVD-RW CPRM 対応 DVD-RW	VRフォーマットで使いたい →自動的にVRフォーマットで初期化されます。(工場出荷時) 内蔵HDD(ハードディスク)に取り込んだ写真を保存したい →初期化が必要です。(写真用フォーマット)

ディスクの種類	新品のディスクへの初期化（フォーマット）
DVD-R CPRM 対応 DVD-R	VRフォーマットで使いたい →CPRM対応の場合は、「初期化する」で決定すると、VRフォーマットで初期化されます。 →CPRM非対応の場合は、初期化が必要です。(DVD VRフォーマット)

VRフォーマット:デジタル放送を記録できるフォーマットです。

次ページへつづく⇒

ディスクを初期化する(つづき)

内蔵HDDの初期化について

- お買い上げ時、ハードディスクは初期化された状態ですので初期化の必要はありません。

こんなときに初期化をします

- ハードディスク内の番組を消去しても空き容量（残量時間）が増えないとき。
- 本機のエラーが発生し、リセット操作をしても改善されないとき。
- ハードディスク内のタイトル（録画した番組）をすべて消去しリフレッシュさせたいとき。

ご注意

- 初期化するとすべてのタイトルが消去されます。消去されたタイトルは復元できません。大切なタイトルは、BDにダビングしてから初期化を行ってください。

初期化のしかたは

- 「ホーム」―「設定」―「初期化・更新」―「個人情報初期化」で、「内蔵ハードディスク初期化」を実行します。（→10−55ページ）



- 設定メニューの操作について詳しくは1−27ページをご覧ください。



ディスクを初期化する(つづき)

BD(ブルーレイディスク)の初期化、DVDの初期化

1. テレビと本機の準備をします
   →2-1ページ
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. ディスクを挿入します
   →1-38ページ

3. ホームメニューを表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

4. ①「設定」を選んで決定します
   ②「ディスク管理」—「BD/DVD」を選んで決定します
   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

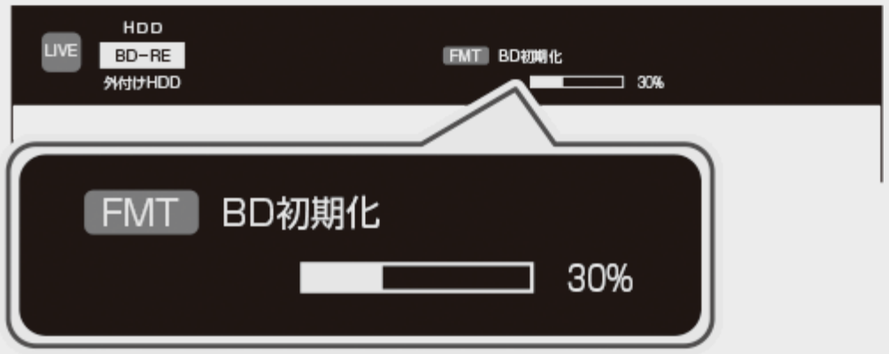


ディスクを初期化する(つづき)

BD(ブルーレイディスク)の初期化、DVDの初期化(つづき)

5. 「初期化」を選んで決定します
6. 「する」を選んで決定します
7. 「はい」を選んで決定します
   - 初期化が始まります。

動作情報画面例：BD初期化



ディスクを初期化する／外付けHDDを使用する

本機で使用できる外付けHDDについて

- 本機は内蔵のHDD（ハードディスク）以外にも、市販の外付けHDDを接続して録画容量を増やすことができます。
- 本機に増設できる外付けHDDは「通常の外付けHDD」と「SeeQVault™（シーキューボルト）対応外付けHDD」です。

SeeQVault™(シーキューボルト)とは

- 本機はコンテンツ保護技術「SeeQVault（シーキューボルト）」に対応しています。
- SeeQVault対応のUSBハードディスク※はシャープ製「SeeQVault（シーキューボルト）」対応レコーダー※に接続し、そのまま本機で録画した番組の再生が行なえます。機器の初期化（登録）は必要ありません。

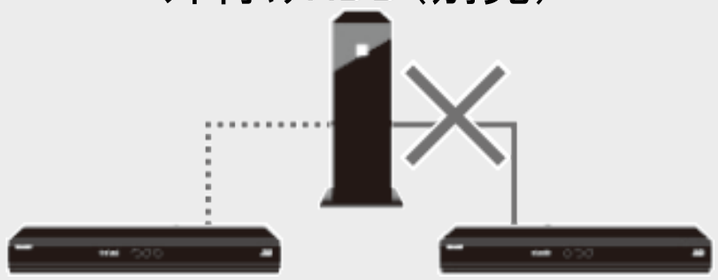
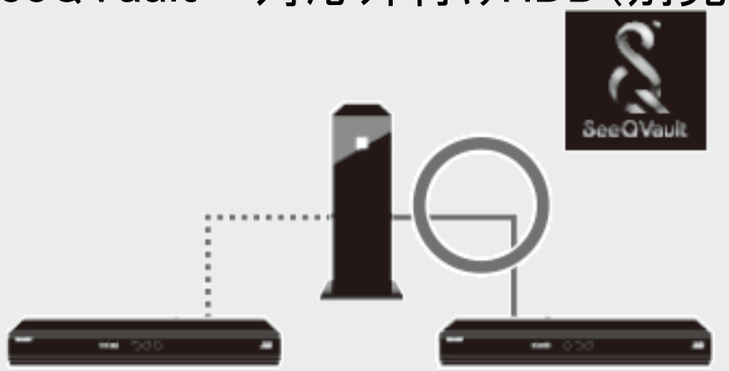
※シャープ製SeeQVaul対応機器で「SeeQVault HDD」としてフォーマットされた外付けHDDに限ります。

- SeeQVault™、および SeeQVault™ロゴは、NSM Initiatives LLCの商標です。

次ページへつづく⇒

本機で使用できる外付けHDDについて(つづき)

SeeQVault™(シーキューボルト)とは

通常(録画用)外付けHDD 本機(登録機器)のみ使用できる		SeeQVault-HDD 別のレコーダーに接続して使用できる
外付けHDD(別売)  AQUOSブルーレイ　AQUOSブルーレイ	→	SeeQVault™対応外付けHDD(別売)  SeeQVault™対応 AQUOSブルーレイ　SeeQVault™対応 AQUOSブルーレイ

※ SeeQVault™対応外付けHDDに録画した番組は、コピーワンスになります。
また、他社を含めてすべてのSeeQVault™対応機器での動作を保証するものではありません。
●SeeQVault、および SeeQVaultロゴは、NSM Initiatives LLCの商標です。

次ページへつづく⇒

本機で使用できる外付けHDDについて(つづき)

SeeQVault™対応外付けHDDをご使用になるために

- SeeQVault対応外付けHDDをSeeQVault-HDDとして使用するためには、インターネット経由で情報を取得する必要があります。
- インターネットに接続しない状態（情報未取得状態）でSeeQVault対応外付けHDDを本機に接続したときは、「通常（録画用）」（本機専用）外付けHDDとしてのみ本機に登録可能です。
  ⇒インターネット接続のためのLAN設定は→9-57ページをご覧ください。
- 取得した情報には有効期限があります。（最大18か月）有効期限は「ホーム」―「設定」―「ディスク管理」―「外付けHDD」の「使用有効期限（1-61ページ）」で確認できます。本機をインターネットに接続しておくと、有効期限1ヶ月前に自動更新されます。

SeeQVault対応外付けHDDのフォーマットについて

- SeeQVault対応外付けHDD-「SeeQVault HDD」としてフォーマット
  - 他のシャープ製「SeeQVault」対応レコーダーに接続し、そのまま本機でダビングした番組の再生や接続した機器からダビングが行えるフォーマットです。
  - 「SeeQVault HDD」フォーマットした外付けHDDは、ダビング専用として使用できます。（放送の録画/予約録画はできません）
- SeeQVault対応外付けHDD-「通常（録画用）」としてフォーマット
  - 通常の外付けHDD(本機専用)として本機に登録されます。
  - 録画した番組は本機でのみ再生が行なえます。シャープ製「SeeQVault」対応レコーダーに接続しても使用できません。

次ページへつづく⇒

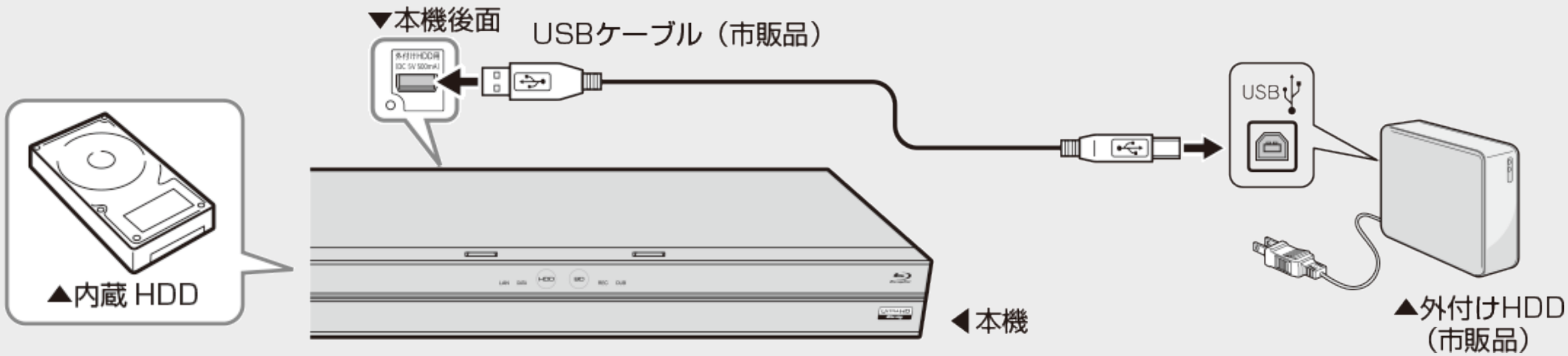
本機で使用できる外付けHDDについて(つづき)

外付けHDDを接続する

重要

- 外付けHDD（ハードディスク）を本機に接続するときは、必ず本機の電源が切れた状態で行ってください。接続した後は、「ホーム」―「設定」―「ディスク管理」―「外付けHDD」の「登録」を行ってください。（→1-61ページ）
- 未登録の外付けHDD（ハードディスク）を本機に接続したときは、電源を入れると初期化の為の画面が表示されます。（→1-57ページ）
- 外付けHDD（ハードディスク）を取り外す場合は、必ず外付けHDDの取り外しの作業を行ってください。取り外し作業を行なわず取り外した場合、他機で使用できなくなる場合があります。外付けHDDの取り外しについては、1-61ページをご覧ください。

外付けHDDは、本機後面の外付けHDD用USB端子に接続します。



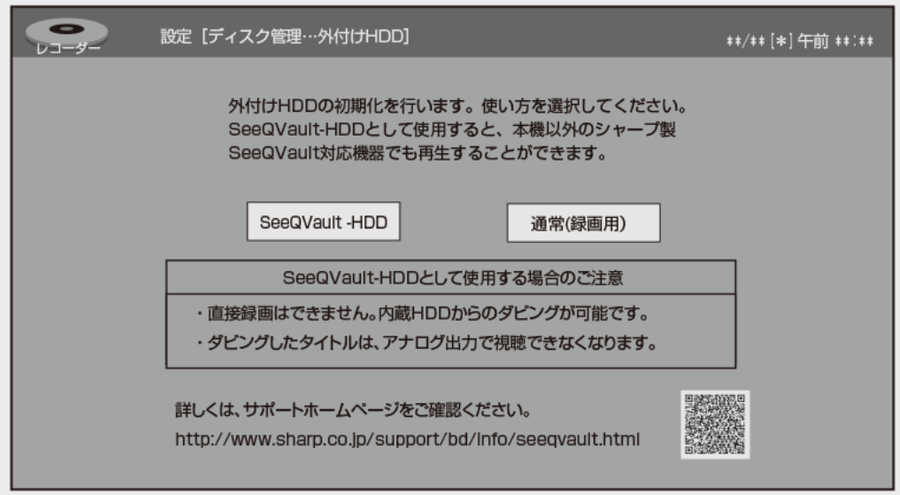
次ページへつづく⇒

本機で使用できる外付けHDDについて(つづき)

外付けHDDを接続する

本機の電源を入れます。

- 未フォーマット、未登録の外付けHDDを接続したときは初期化のための画面が表示されます。
  画面例：未フォーマットのSeeQVault対応外付けHDDを接続しているとき



画面の指示に従ってフォーマット／登録してください。
詳しくは1-61ページをご覧ください。

ご注意

- 本機に接続できる外付けHDD（ハードディスク）は、セルフパワータイプのHDDです。バスパワータイプのHDDには対応していません。誤って接続した場合は、故障の原因となります。
- 本機に接続できる外付けHDD（ハードディスク）は、1台だけです。USBハブなどを使用して、複数の外付けHDDを同時に接続した場合、本機は外付けHDDを認識できません。

お知らせ

- 動作確認済みの外付けHDD（ハードディスク）の機種については、シャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/usb_hdd.html）でご確認ください。

ディスクを初期化する／外付けHDDを使用する

SeeQVault™対応外付けHDDを使ってできること、できないこと

- SeeQVault対応外付けHDDにダビングした番組は、本機以外で再生できない場合があります。

主な機能	本機専用外付けHDD	SeeQVault対応外付けHDD
本機に登録できる台数	8台	登録不要
放送の直接録画	○	×
高速ダビング	○	○
録画画質変換ダビング	○	×
記録可能タイトル数	3000タイトル	3000タイトル
記録可能チャプター数追加	40000チャプター	40000チャプター
録画リスト（画面表示リスト）	○	×
録画リスト（タイトル名リスト）	○	○
番組情報表示	○	○
チャプター単位表示	○	×
グループ/検索	○	×
編集	○	×
本機につないでダビングした外付けHDDの番組を、シャープ製「SeeQVault」対応レコーダーで再生	×	○
他のシャープ製「SeeQVault」対応レコーダーでダビングした外付けHDD番組を再生	×	○

外付けHDDの設定をする

SeeQVault対応外付けHDDを使用するとき

- SeeQVault対応外付けHDDをSeeQVault HDDとして使用するためにはSeeQVault用の情報をインターネット経由で取得する必要があります。初めて本機にSeeQVault対応外付けHDDを接続したときは本機がインターネットに接続された状態で行なってください。

お知らせ

- 外付けHDD（ハードディスク）の登録解除は、本機に外付けHDDが接続されていない状態でも行うことができます。

次ページへつづく⇒



外付けHDDの設定をする(つづき)

ご注意

- 初期化するとすべてのタイトルが消去されます。消去されたタイトルは復元できません。大切なタイトルは、HDDまたはBDにダビング（ムーブ）してから初期化を行ってください。

1. ホームメニューを表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

2. ①「設定」を選んで決定します
   ②「ディスク管理」—「外付けHDD」を選んで決定します
   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

外付けHDDの設定をする(つづき)

3. 実行したい項目を選んで決定します

項目	説明
取り外し	別の外付けHDDを接続（登録）する場合に、現在接続している外付けHDDを取り外します。 ※本機に接続している外付けHDDを取り外すときは必ず取り外しを選んで決定後取り外してください。
名称変更	本機に接続した外付けHDDの登録名称を変更できます。最大で全角8文字、半角16文字の登録名称が入力できます。（「文字を入力する」→5-69ページ）
初期化	SeeQVault-HDD • 未フォーマットのSeeQVault対応外付けHDDを「SeeQVault-HDD」として初期化し、本機（シャープ製SeeQVault対応機器）で使用できるようにします。 通常（録画用） • 未フォーマットのSeeQVault対応外付けHDDを「通常（録画用）」として使用できるようにします。 • タイトルが保存されている外付けHDD内の番組などをすべて消去し、外付けHDDをお買い上げ時の状態に戻します。
登録	外付けHDDを「通常（録画用）」としてご使用になるとき、本機に登録します。
登録解除	「通常（録画用）」として本機に登録されている外付けHDDの登録を解除します。
使用有効期限	SeeQVault対応外付けHDDを本機で使用できる有効期限を表示します。（本機をインターネットに接続しておくと、有効期限1か月前に自動的に更新されます。有効期限は最長１８か月です）

次ページへつづく⇒



外付けHDDの設定をする(つづき)

SeeQVault非対応外付けHDDを使用するとき

- 通常の外付けHDDを本機で使用するためには初めに登録が必要です。手順3で「登録」を選択し登録をおこなってください。

重要

- 外付けHDD（ハードディスク）の登録を行うと、外付けHDDが初期化されます。
- 外付けHDD（ハードディスク）を取り外す場合は、必ず外付けHDDの取り外しの作業を行ってください。取り外し操作をせずに取り外した場合はタイトルが消失することがあります。
- 登録を解除した外付けHDD（ハードディスク）は、本機からの録画、再生の操作ができなくなります。
- 登録を解除した外付けHDD（ハードディスク）は、再度登録をすれば使用できます。ただし、再登録時にHDDが初期化され、すべてのタイトルが消去されます。

4. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

ディスクを初期化する／外付けHDDを使用する



モードの切り換え

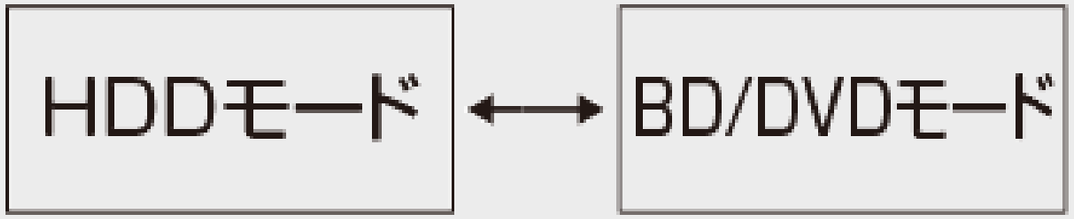
電源を入れた時点ではHDDモードです。【HDD/BD】ボタンを押すごとにモードが切り換わりますが、選択できる有効なメディアによって切り換わり方が異なります。

ご注意

- BD/DVDが挿入されていないときは、BD/DVDモードに切り換わりません。

●2つのメディアが有効な場合
【HDD/BD】ボタンを押すごとに次のようにモードが切り換わります。

画面例







次ページへつづく⇒

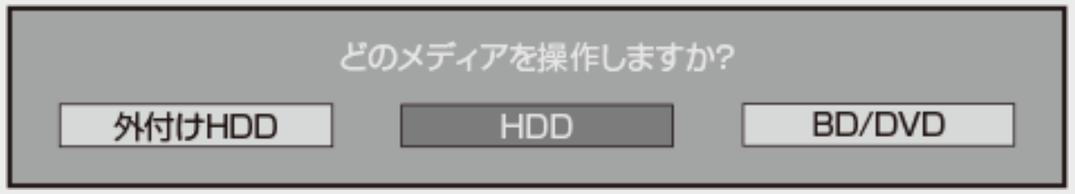


モードの切り換え(つづき)

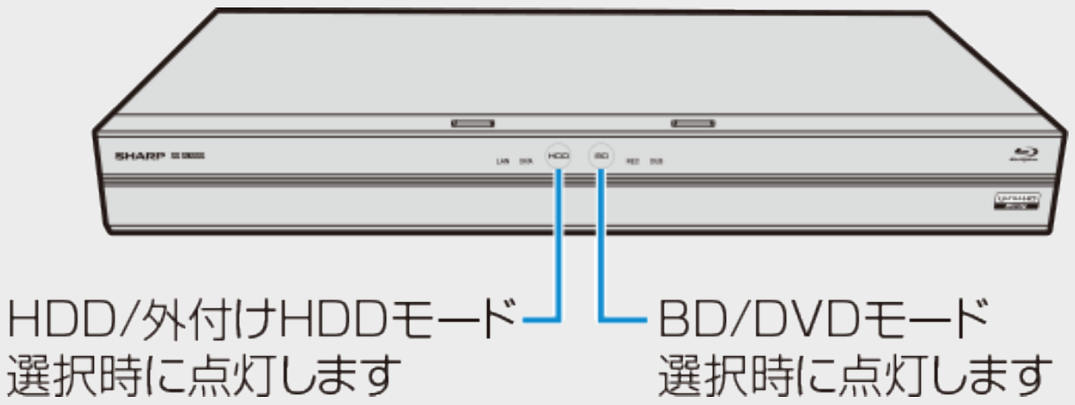
●3つのメディアが有効な場合

【HDD/BD】ボタンを押すと、次の画面が表示されます。
【左右カーソル】ボタンで操作したいメディアを選んで、【決定】ボタンを押してください。

画面例：外付けHDDを増設している場合



「外付けHDD」：外付けHDDモードになります。
「BD/DVD」：BD/DVDモードになります。



視聴

テレビと本機の準備をする

テレビで本機を楽しむための準備をします。

[準備] B-CAS(ビーキャス)カードを差し込みます(→同梱取扱説明書24ページ)

1. テレビの電源を入れます
    - テレビの主電源が切れているときは、主電源を入れてください。

■本機のリモコンでテレビを操作するときは

- 本機のリモコンはテレビメーカー10社のテレビが操作できます。
- 工場出荷時はシャープ製デジタルチューナー内蔵の液晶テレビ「AQUOS」が操作できます。それ以外のテレビを本機のリモコンで操作したいときは、あらかじめ「テレビメーカー指定」(→同梱取扱説明書)を行ってください。

ご注意

- リモコン操作をすると他のシャープ製BD・DVD機器も動作してしまうときは、「リモコン番号」を設定してください。(→同梱取扱説明書)

次ページへつづく⇒

視聴

テレビと本機の準備をする

2. 本機の電源を入れます

【電源】ボタンを押す
▼電源が入ると…



- 電源を入れると、本体のHDDランプが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、点滅が終了するまで1分～2分お待ちください。（ディスクが挿入されているときには、さらに時間がかかる場合があります）

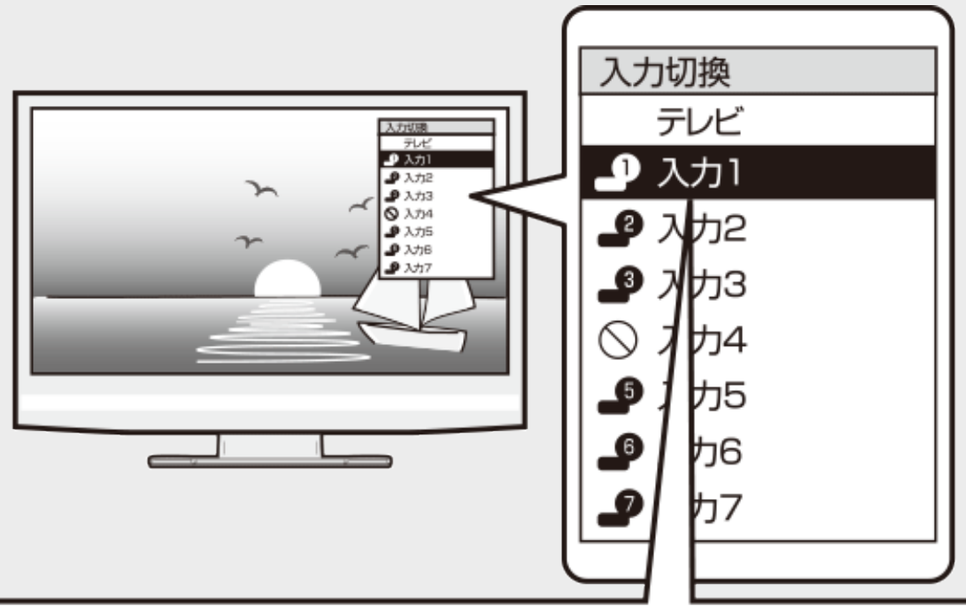
次ページへつづく⇒

テレビと本機の準備をする

3. テレビのリモコンで 、テレビの入力を本機を接続した入力（「入力1」など）に切り換えます

ヒント

- 最新の4KテレビAQUOSとの接続などは、HDRに対応している「HDMI入力1」端子に本機を接続することをおすすめします。
  例：本機をテレビの外部入力1に接続したとき



・シャープ製のファミリンク対応テレビと HDMI ケーブルで接続したときは、本機の製品名が表示されます。
製品名が表示されている外部入力を選びます。

⇒ 本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

- 接続後、初めて電源を入れたときは「初期設定」画面になります。
- 初期設定を行ってください。（→同梱取扱説明書）

テレビと本機の準備をする



本機の映像が映っているか確認したいときは

リモコンの【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押します
（→4−1ページ）

⇒ 録画リストが表示されます。

録画リスト



【終了】ボタンを押すと録画リストが消えます。

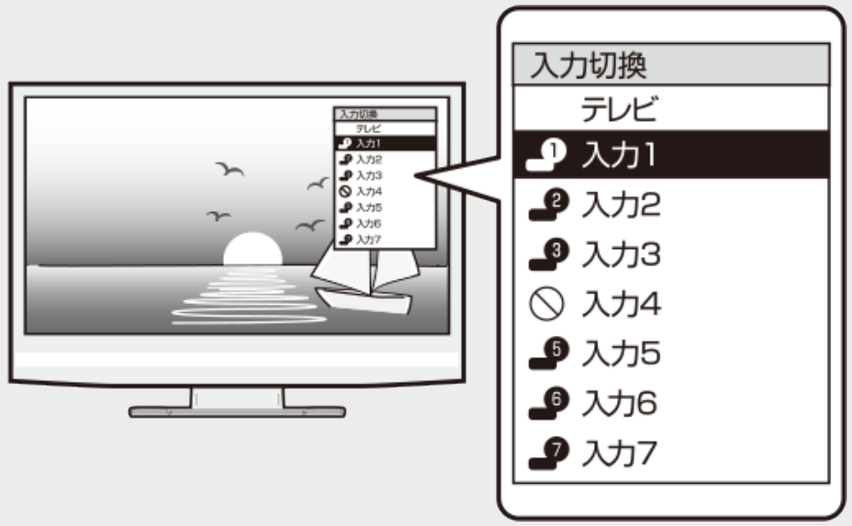
次ページへつづく⇒



本機の映像が映っているか確認したいときは(つづき)

●録画リストが表示されないときは

- 手順3を繰り返し操作し、録画リストが表示される入力を選びます。



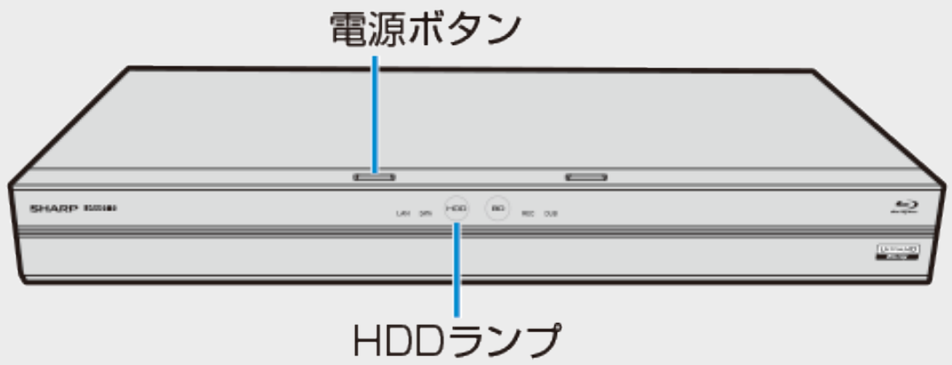
●手順3を繰り返し操作しても、録画リストが表示されないときは

- 本機の電源が入っているか確認します。
- HDMIケーブルが確実に接続されているか(抜けかかっていないか)確認します。
  取扱説明書(付属品)の巻末「接続ガイド」をご覧ください。

お知らせ

- 初めて電源を入れたときは、録画リストの番組はありません。

本体ボタンで本機の電源を入／切するとき



■本体の電源ボタンを押して電源を入れる

- 電源を入れると、本体のHDDランプが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、点滅が終了し、点灯するまでお待ちください。

■本体の電源ボタンを押して電源を切る

- 電源を切ると、HDDランプ、BDランプが消灯します。
- 電源を切った直後は、再度電源ボタンを押してもLANランプとDATAランプが点滅して電源が入らない場合があります。そのようなときはシステム準備中です。少し待って点滅が終了してから再度電源を入れてください。

お知らせ

- 電源を切ったときに電子番組表データが取得できていないときは、電子番組表データを取得するためDATAランプが点灯し、本体内部の電源が入った状態となります。電子番組表を取得後は、電源が自動で切れます。
- シャープ製ファミリンク対応テレビと接続しているとき、「ファミリンク設定」（→6-1、10-27ページ）が「する」に設定されていると、テレビの電源を切ると自動的に本機の電源も切れます。
- 録画中、ダビング中に電源を切った場合でも録画、ダビングは継続されます。（録画またはダビング終了後に自動で電源が切れます）

エコモードを動作させる

電源「切」のときに、待機電力を抑えるエコモードに設定する方法です。就寝時など本機を長時間使用しないときに、テレビの主電源を切るような感覚でお使いいただくことをおすすめします。

お知らせ

- テレビで放送を視聴中にエコモードを入／切すると、テレビ画面に一瞬ノイズが入りますが、エコモードを切り換えているためで故障ではありません。
- エコモード中は待機時の消費電力を抑えることができますが、ファミリンクによる本機の操作ができなくなりますのでご注意ください。クイック起動（→9−20ページ）も働きません。
- エコモード中は、電源ボタン、トレイ開閉ボタン以外のボタンは働きません。
- エコモード中は、テレビの電子番組表で予約したファミリンク予約は働きません。エコモード「入」状態での予約録画は本機で行ってください。
- 本機を経由してテレビへアンテナ接続をしている場合、エコモード中はテレビの映りが悪くなることがあります。この場合、アンテナ分配器を使って本機とテレビの両方にアンテナを接続することをおすすめします。
- エコモード中でも、以下の機能は働きます。
  - デジタル放送のダウンロード
  - 電子番組表のデータ取得
- エコモードになった直後など、電源ボタンを押しても本機の電源が入らない場合があります。このような場合は、しばらく待ってから、電源ボタンを押して電源を入れてください。

エコモードを「入」にする

本体の電源ボタンを5秒以上押しつづけます

⇒エコモードについてのメッセージが約20秒間テレビ画面に表示された後、本機の電源が切れてエコモードになります。

ヒント

- 本機での予約録画やダビング中にエコモードを「入」にしたときは、その動作終了後にエコモードが「入」となります。
- ファミリンクによるワンタッチ録画中にエコモードを「入」にしたときは、録画が終了するとエコモードが「入」となります。
- エコモードにすると、本体のランプが消えます。

視聴

テレビと本機の準備をする

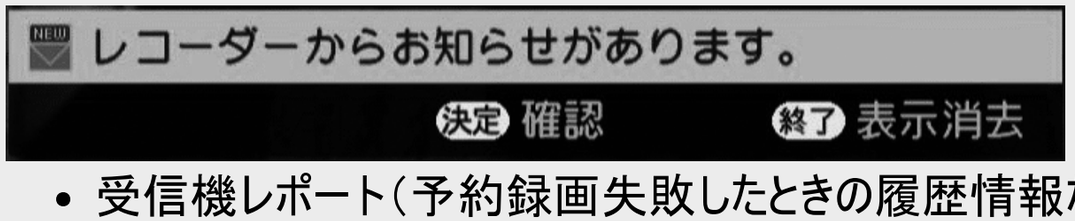
エコモードを「切」にする

本体またはリモコンの電源ボタンを押します

- トレイ開閉ボタンを押したときは電源が入り、トレイが開きます。
  （エコモードは「切」となります）

通知センターからの案内について

本機では、以下に関する情報を通知センターでお知らせします。



- 受信機レポート（予約録画失敗したときの履歴情報など）
- HDDの残量不足警告
- 放送局から送られてくるメッセージや情報
- ソフトウェアのアップデート通知
- BDドライブのお手入れ案内通知

ヒント

- 通知センターからの案内を確認したいときは
  【決定】ボタンを押し、「NEW」表示のある項目を選び、お知らせ内容を確認してください。
  一読し、終了すると通知センターからの「お知らせ」メッセージが消えます。
  そのまま表示を消したいときは、【終了】ボタンを押します。

⇒通知センターからのお知らせメッセージを表示しないように設定を変えるなど、詳しくは、9−1ページをご覧ください。

視聴

チャンネルを選ぶ



本機のチューナーでテレビ番組を選びます。

◆重要◆

- WOWOWや、スターチャンネルは有料放送、110度CSデジタル放送は有料放送サービスです。BSデジタル放送でもWOWOWやスターチャンネル以外の有料放送があります。110度CSデジタル放送で運用されているスカパー!は「有料放送サービス」です。事業者との受信契約が必要です。
- 放送局との契約については、同梱取扱説明書をご覧ください。
- CS放送を選局したとき、テレビ画面が暗く放送が映らない場合があります。「現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。」のメッセージが表示される場合もあります。この場合は手順3で【選局】ボタンを押し、放送のあるチャンネルを選局してください。

ご注意

- 放送番組によっては、上下または上下左右に黒い帯が付いて見える場合があります。(放送局の送信方式によるもので、本機の故障ではありません)
- 3番組録画中は、録画中の番組のみの選局操作となります。

次ページへつづく⇒

視聴

チャンネルを選ぶ



お知らせ

- 視聴年齢制限を設定（→10−44ページ）しているとき、設定した年齢制限に該当する番組を選局したときは、年齢制限を解除するためのパスワード入力画面が表示されます。パスワードは本機に設定されているパスワードです。

1. 放送を選びます
   【地上】【BS】【CS】ボタンを選ぶ

2. ツールメニューを表示させます
   【ツール】ボタンを押す

3. データ放送を選ぶ場合
   「テレビ/ラジオ/データ」を選んで決定するたびに、次のように切り換わります。

   テレビ放送 → （ラジオ放送） → データ放送

4. 選局します
   【選局】または【1】〜【12】ボタンを押す

視聴

チャンネルを選ぶ



デジタル放送のチャンネルを入力するには（3桁入力）

[選局時に]
【消去／3桁入力】ボタンを押す
↓
チャンネルボタン（【1】～【9】、【10】ボタン）で「3桁入力」

- 番号を間違えたときは、もう一度【消去／3桁入力】ボタンを押してから、チャンネル番号を入力し直してください。

地上デジタル放送の「4桁目（枝番選択）」について

- チャンネル番号が重複している放送局がある場合は、3桁目を入力すると、4桁目を入力する画面が表示されます。チャンネルボタンで4桁目の番号を入力して選局してください。（枝番選択）

メモ

- データ放送の画面操作方法は、各放送局によって異なります。
- 選局ボタンで選ぶ場合、スキップ設定（→9-50ページ）したチャンネルは飛び越します。
- リモコンの数字ボタンに登録されているチャンネルの変更については、9-47ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒



デジタル放送のチャンネルを入力するには（3桁入力）(つづき)

メッセージが表示されて放送が受信できないときは

現在放送されていません。【E203】
・番組表などで放送時間を確認してください。
・地上デジタル放送の場合は、「地域設定」と「チャンネル設定」を確認してください。
・アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けやゆるみがないかを確認してください。
- 地上デジタル用とＢＳ・ＣＳ用の挿し間違い
- アンテナからの入力、テレビへの出力の挿し間違い

(決定) で受信診断と対処方法の確認ができます

故障診断ナビ

- メッセージ表示中に【決定】ボタンを押すと受信状態一覧画面が表示されます。
- 受信状態を診断し、結果を表示します。表示された内容にしたがって確認してください。
- 【終了】ボタンで終了します。

視聴

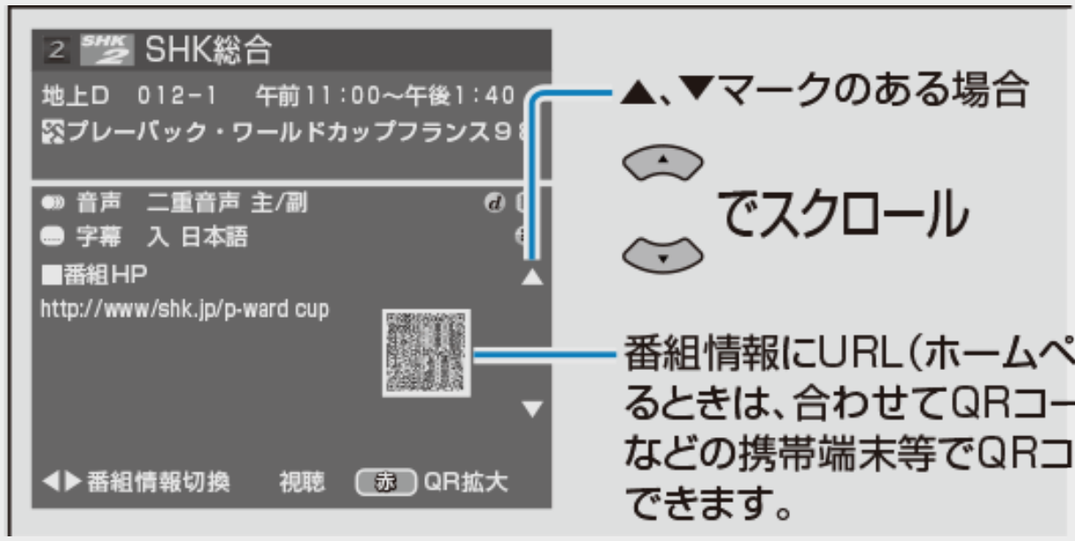
番組を見ながら使えるボタン



番組情報や連動データ放送を見たり、音声、字幕、映像を切り換えます。

番組情報を見るには

1. 視聴中に番組情報を表示させます
   【番組情報】ボタンを押す
   - もう一度押すと番組情報が消えます。



   - 番組によっては画面が異なります。
   - 複数のページがあり間のページを表示しているとき、QRコードが表示されているページにジャンプさせたいときは、【番組情報】ボタンを長押しします。
   - 【赤】ボタンを押すと、QRコードを拡大表示します。もう一度【赤】ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

次ページへつづく⇒



番組情報を見るには(つづき)

再生時の番組情報について

- HDD(ハードディスク)に録画した番組を再生したときも、【番組情報】ボタンを押すと録画した番組の番組情報を表示して確認することができます。
  ※HDD(ハードディスク)にLAN接続で記録されたスカパー! プレミアムサービスのタイトル(記録された番組)、DVDに記録されたタイトル(記録された番組)の場合、番組情報画面は表示されません。

番組情報画面

次ページへつづく⇒

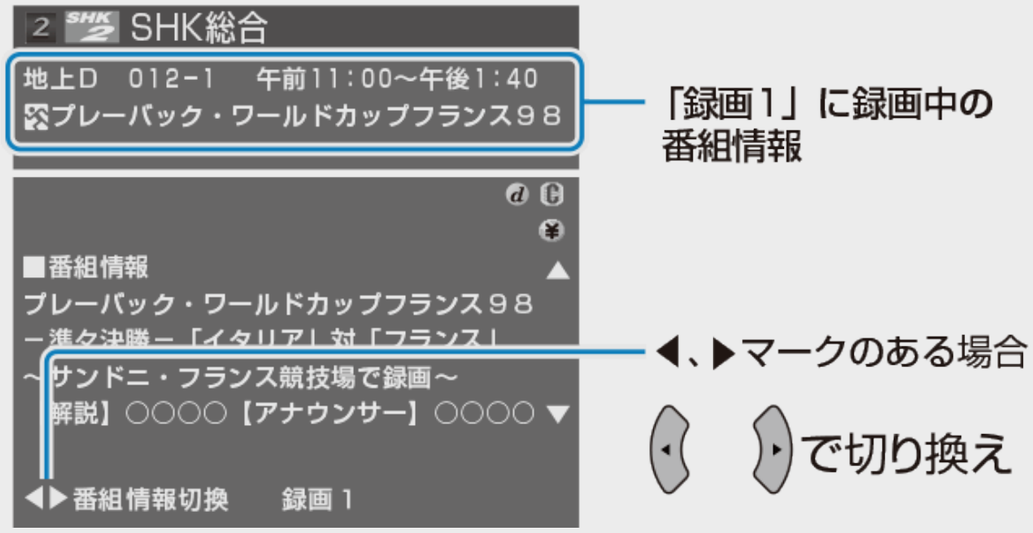


番組情報を見るには(つづき)

録画時の番組情報について

- 複数の番組を同時に録画中の場合は、【左右カーソル】ボタンを押すと録画中の番組の番組情報へ切り換えることができます。

番組情報画面



マルチビューサービス放送などをHDD（ハードディスク）またはBD（ブルーレイディスク）に録画して再生する場合は

- 主映像以外の映像を再生した場合、データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

視聴

番組を見ながら使えるボタン



連動データ放送を見るには

1. 連動データ放送を表示させます
   【データ】ボタンを押す



- 画面の案内に従って操作できます。
- 連動データ放送を終了させるには再度【データ】ボタンを押します。

次ページへつづく⇒



連動データ放送を見るには(つづき)

メモ

- 連動データ放送を録画する場合は「連動データ記録設定」(→10–9ページ)を設定してください。

お知らせ

- 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、【データ】ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく(約20秒)待ってから操作してください。(表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります)
- 連動データ放送を終了させるには再度【データ】ボタンを押します。
- 本機から出力される音声が、ビットストリーム音声の場合など、連動データ放送に切り換えたときに確認音が出ない場合があります。

視聴

番組を見ながら使えるボタン



主映像と副映像を切り換えるには

■番組情報に「映像」表示がある場合

1. 【ツール】ボタンを押してツールメニューを表示する
2. 「視聴設定」を選んで決定する
3. 「(アングル/映像切換)」を選んで決定を押し、上下カーソルボタンで映像を切り替えて決定を押します。



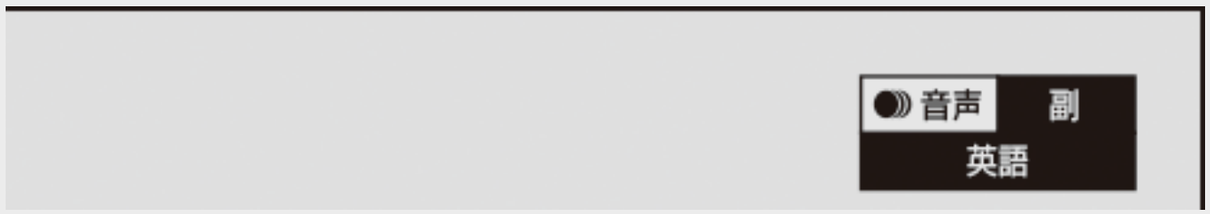


主音声・副音声を切り換えるには

■番組情報に「音声」表示がある場合

【音声切換】ボタンを押す

- 音声は【ツール】ボタンを押して、視聴設定画面からも切り換えられます。(→4-111ページ)
- ボタンを押すたびに音声が切り換わります。
  - ● 二重音声番組のとき
    - 主 →副 →主／副 →主
  - ● デジタル放送のマルチ音声(ステレオ二重音声)番組のとき
    - 音声1 →音声2 →音声1
- マルチ音声(ステレオ二重音声)番組は、録画画質を「7倍」「10倍」「12倍」にした場合、「ホーム」—「設定」—「録画・再生設定」—「音声記録設定」の「マルチ音声記録設定」で設定した音声のみ記録されます。



次ページへつづく⇒

主音声・副音声を切り換えるには(つづき)

お知らせ

音声切り換えについて

- マルチ音声(ステレオ二重音声)番組を受信したときは、前回の選択に関わらず「音声1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 本機から出力される音声がビットストリーム音声の場合、モノラル二重音声放送の音声切換はテレビ側で行ってください。
- AAC対応のテレビとHDMI接続し「音声出力設定」が「オート」の場合は、本機から出力される音声はビットストリーム音声となります。
- 二重音声やマルチ音声(ステレオ二重音声)のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。
- 二重音声放送を録画する場合については、10-7ページをご覧ください。
- モノラル放送やステレオ放送の音声は切り換わりません。
- 放送やディスクの種類により、表示される内容が異なります。



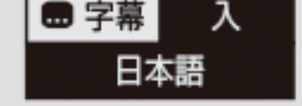
字幕を切り換えるには

■番組情報に「字幕」表示がある場合

【字幕】ボタンを押す

- 【ツール】ボタンを押し、「字幕」を選んで切り換えることもできます。

【字幕】ボタンを押すたびに字幕が切り換わります。



お知らせ

字幕を消したいときは

- 字幕「切」を選んでください。
- 「字幕表示設定」(→10-30ページ)が「する」に設定されているときは、字幕は消せません。「しない」に設定してください。



番組を検索する

番組表や録画リストの番組を検索することができます。

1. 放送視聴中に【検索／チャプターマーク】ボタンを押す



※HDDモード時のみ

2. 【左右カーソル】ボタンで検索したいボタンを選び決定します
番組表： 検索メニューを表示します。
（→2−39ページ）
録画リスト：グループ表示切換画面を表示します。
（→4−43ページ）

視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

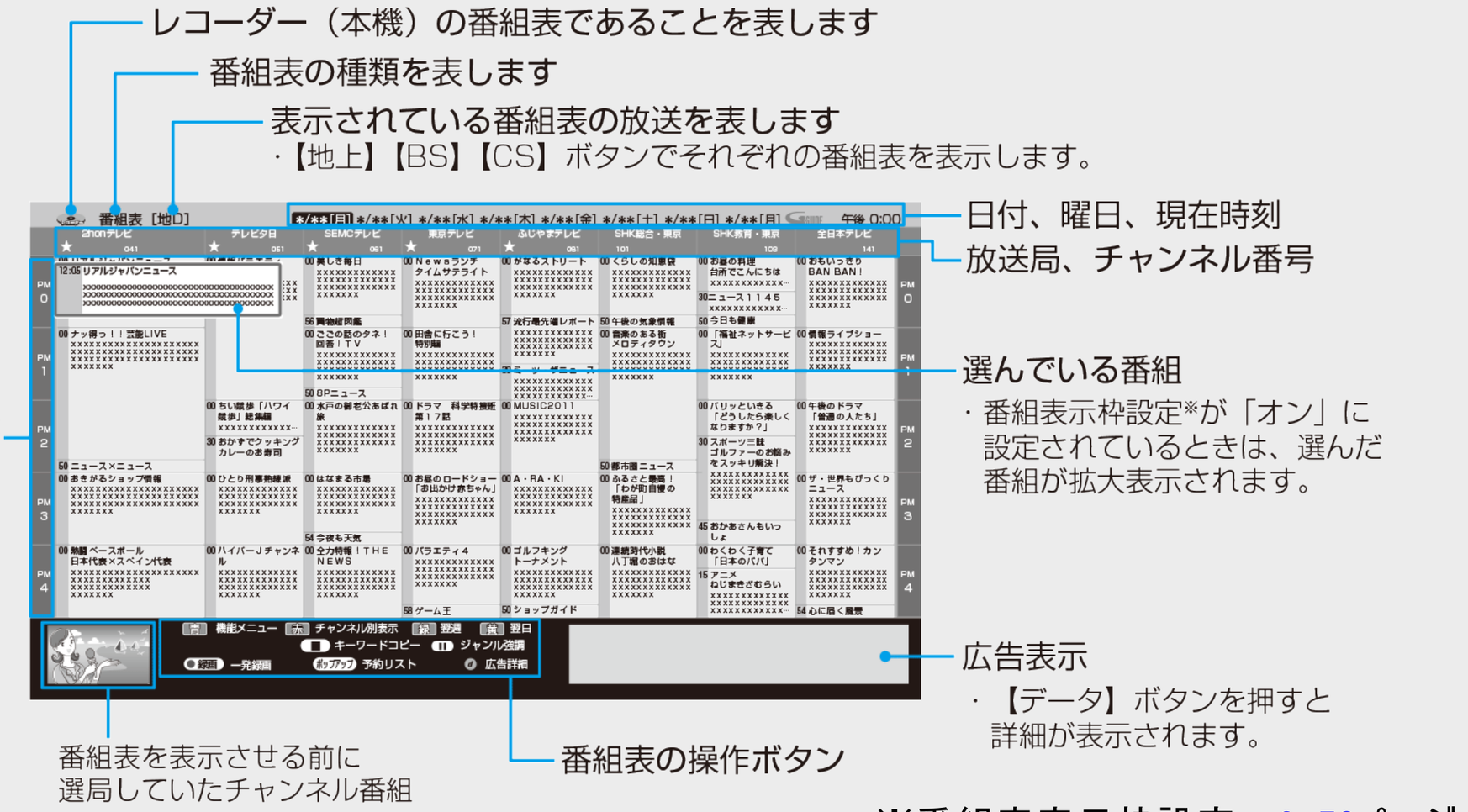


放送を見ているときにリモコンの【番組表／予約】ボタンを押すと番組表が表示されます。

- 電子番組表(Gガイド)でデジタル放送の番組を番組表から選ぶことができます。
  番組表が表示されない、空欄になるときは、2−30ページを確認してください。

■番組表の表示について

- リモコンの「番組表」ボタンを押すと、数日分の番組表を表示できます。
  テレビ放送…8日分、データ放送…最低1日分



※番組表表示枠設定→2−50ページ

視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ



番組表から番組を選ぶ

1. 【番組表】ボタンを押す
2. 【地上】【BS】【CS】ボタンを押し、表示したい放送を選ぶ
   - 地上、BS、CS 放送から番組表が表示されます。
   - 【左右カーソル】ボタンを押して「地上」⇔「BS」⇔「CS」の番組表に順次切り換わるように表示を切り換えることもできます。（→2-50ページ）
   - 数字ボタンでチャンネル番号を入力し、表示したい放送も選べます。
3. 【上下左右カーソル】ボタンを押し、番組を選ぶ

●現在放送中の番組を選んだときは
- 【録画／らくらく予約】ボタンを押す⇒録画されます
- 【決定】ボタンを押す⇒選局されます

●未放送の番組を選んだときは
- 【録画／らくらく予約】ボタンを押す⇒予約されます
- 【決定】ボタンを押す⇒番組詳細画面が表示されます→2-32ページ

ヒント

時間帯でページを送り／戻しするとき
- 次の時間帯（次ページ）を表示させたいときは【次】ボタンを押す
- 前の時間帯（前ページ）を表示させたいときは【前】ボタンを押す

翌日／ 前日の番組表を表示するとき
- 翌日の番組表を表示させたいときは【黄】ボタンを押す
- 前日の番組表を表示させたいときは【緑】ボタンを押す

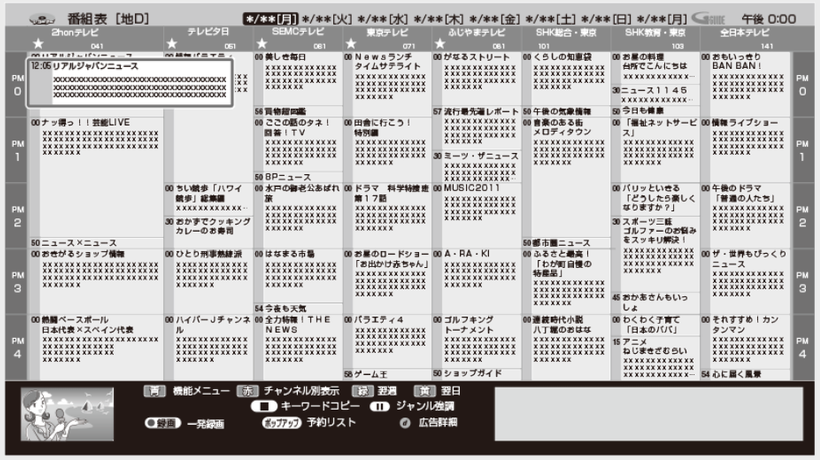
視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ



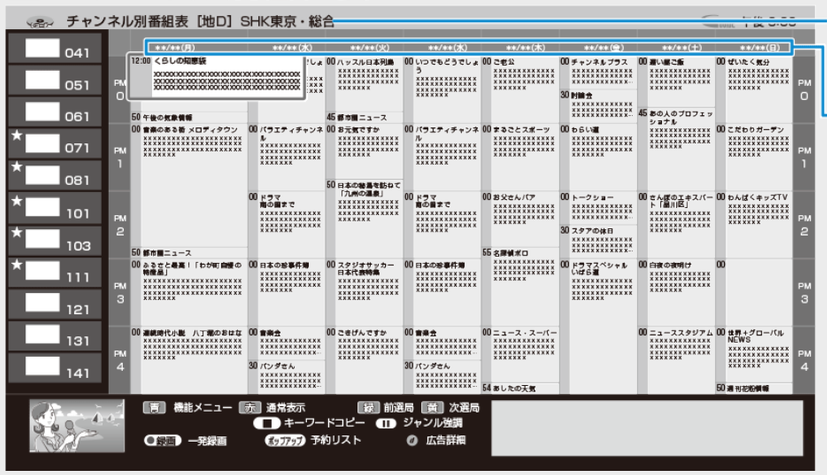
通常の番組表⇔チャンネル別番組表を切り換える

■通常の番組表



【赤】ボタンを押す

■チャンネル別番組表



数日分のチャンネル別番組表を表示できます。
テレビ放送 …8 日分
データ放送 …最低1日分

【赤】ボタンを押す

通常の番組表に戻ります。

表示する放送局を選ぶ

- 次の放送局を選ぶときは【黄】ボタンを押す
- 前の放送局を選ぶときは【緑】ボタンを押す
- カーソルを放送局欄に移動させても、【上下カーソル】ボタンで選んでも表示させたい放送局が選べます。

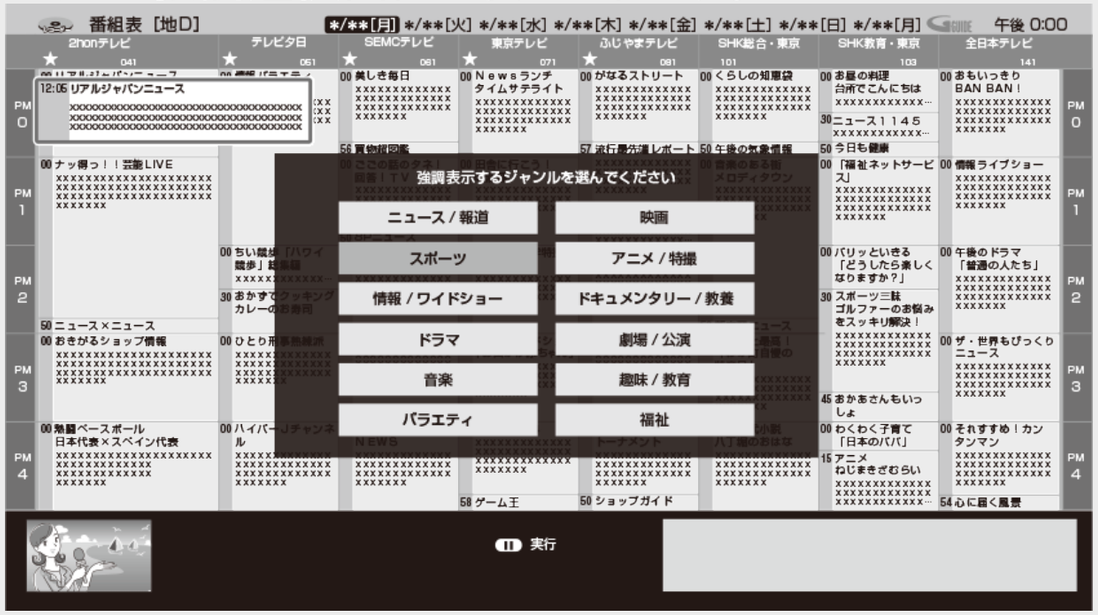
視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ



番組表内のお好みのジャンルを強調表示する

1. 【番組表】ボタンを押す
2. 【地上】【BS】【CS】ボタンを押し、強調表示したい放送を選ぶ
   - 地上、BS、CS放送の番組表が表示されます。
3. 【一時停止】ボタンを押す
   - ジャンル強調選択画面が表示されます。



4. 【上下左右カーソル】ボタンで強調表示させたいジャンルを選択し【一時停止】または【決定】ボタンを押す
   - 選択したジャンル（ドラマなど）が強調された番組表に戻ります。
   - 強調表示を解除したいときは、【一時停止】ボタンを押します。
   - 番組表を消す、放送を切り換えるなどの操作をしたときも強調表示が解除されます。

視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ



番組表で各放送局毎にマイ番組表の登録や、サブチャンネル表示などを設定する



1. 番組表の放送局（チャンネル部）を選び【決定】ボタンを押す
2. 放送局の設定メニューが表示される
3. 設定したい項目を【上下カーソル】ボタンで選んで【決定】ボタンを押す

●「★マイ番組表に登録する／外す」を選んで決定⇒マイ番組表のチャンネルとして登録／解除されます（登録された番組表は「★」マークが付きます）
●「チャンネル別番組表を見る」を選んで決定⇒チャンネル別番組表に切り換わります
●「サブチャンネルを表示する／表示しない」を選んで決定⇒選択した放送局のサブチャンネルを表示する／表示しないを設定します
●「地上波／BS注目番組」を選んで決定⇒おすすめ・特集番組一覧が表示されます
●表示された番組を選んで決定し、予約などの操作も行なえます。

お知らせ

- 番組表に表示されるメインチャンネルまたはサブチャンネルをマイ番組表に登録したときは、メインチャンネル、サブチャンネルともにマイ番組表に登録されます。登録解除したときもメインチャンネル、サブチャンネルともにマイ番組表から登録解除されます。

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ



裏番組を確認するには

1. 放送視聴中または再生中に裏番組一覧を表示させます

【裏番組】ボタンを押す

- ホームメニューの「裏番組」を選択しても表示されます。



各番組のタイトル画面や出演者の写真は本機をインターネットに接続していると表示されます。

番組を選んで決定

- 現在放送中の番組を選んで決定すると選んだ放送の画面になります。
- 未来の番組を選んだときは、番組詳細画面になります。

番組表の操作は
→2-24～2-28ページをご覧ください。
放送局で決定したときは選局され放送画面になります。

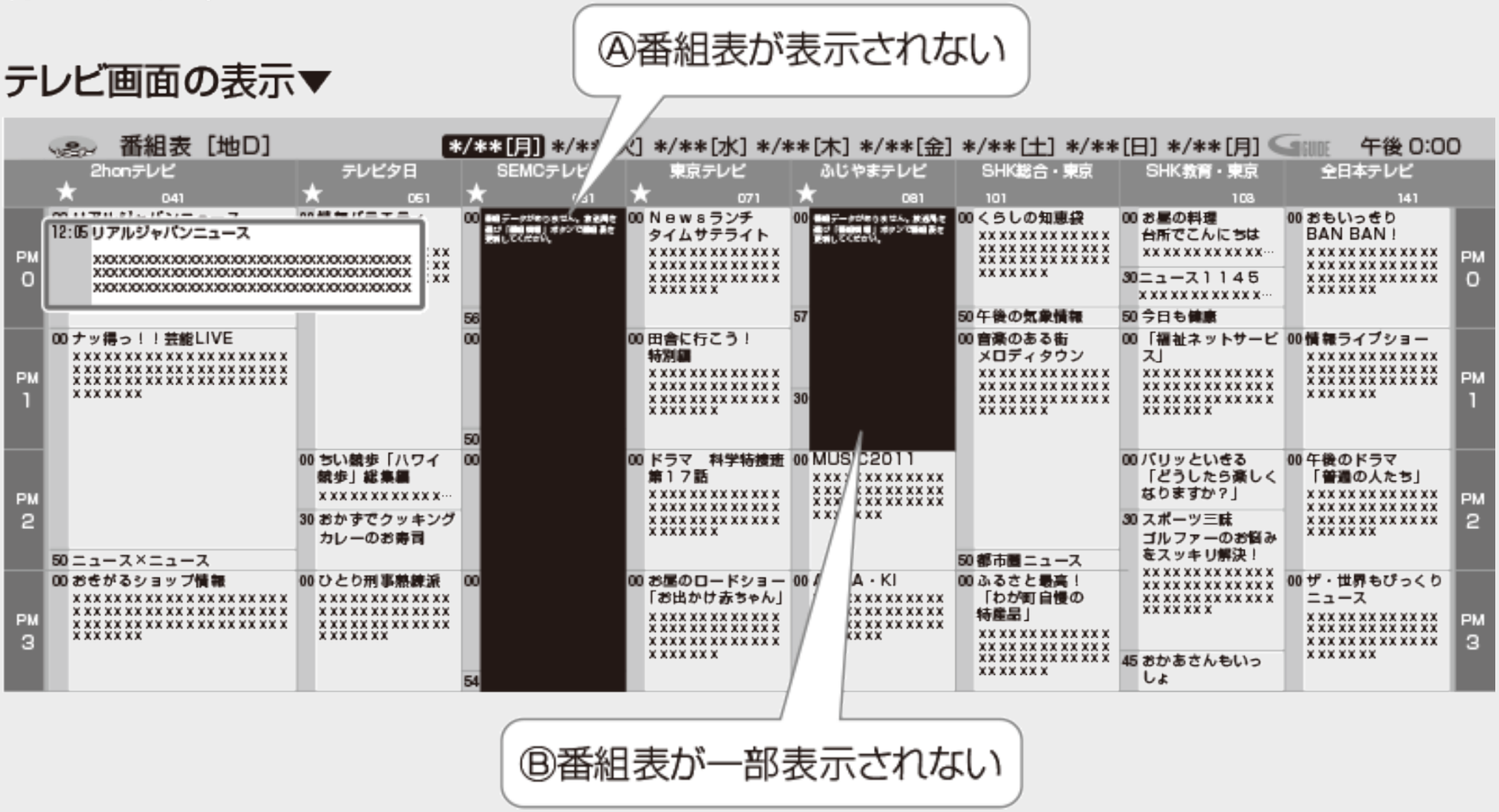
視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

電子番組表（Gガイド）に表示されないチャンネルがあるとき

番組表データが受信できていない、またはリセットされることから番組表が表示されない場合があります。その場合は次の操作を行ってください。

テレビ画面の表示▼



次ページへつづく⇒

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ



電子番組表（Gガイド）に表示されないチャンネルがあるとき(つづき)

（A）メッセージが出て番組表欄が空欄となっているときは
⇒メッセージのある番組表の欄を、【左右カーソル】ボタンで選び【番組情報】ボタンを押します
「番組データ取得中」のメッセージに切り換わり、番組表を更新します。
更新には2分程度時間がかかります。

（B）番組表の一部が空欄となっているときは
⇒空欄となっているチャンネルを選局し、放送画面のまま2分程度待ちます。
番組表データを受信し番組表を更新します。

ヒント

- 番組表データが受信できていない状態で電源を切ったときは、番組表データを自動受信します。
- 番組表データ受信中は本体内部の電源が入った状態となり、「DATA」ランプが点灯します。
- CS放送番組が表示されないときは、CS001またはCS100を一度選局してから操作してください。

視聴

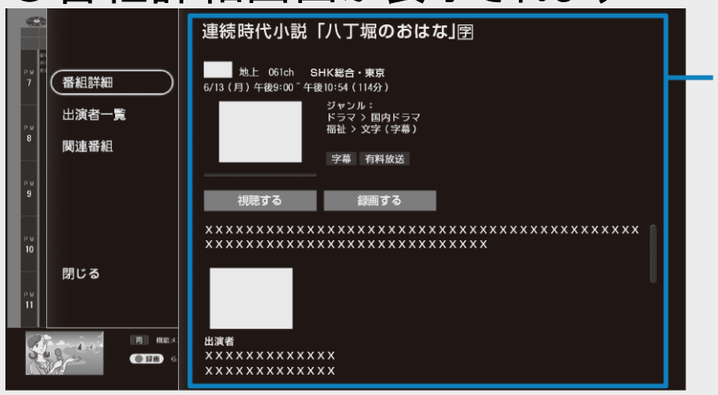
デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ



番組の情報を見るには

1. 番組表で番組情報を知りたい番組を選ぶ
2. 【番組情報】ボタンを押す
   - 手順1で未放送の番組を選んで決定したときも、つぎの番組詳細画面が表示されます。

●番組詳細画面が表示されます



番組詳細
（番組情報）

- 次ページがあるときは【下カーソル】ボタンを押します。
  【上下カーソル】ボタンを押すと番組詳細内の表示をスクロールします。
- 現在放送中の番組を選んだとき、「視聴する」を選ぶと放送画面になります。「録画する」を選ぶと録画されます。
- 手順1で未放送の番組を選んだときは、「録画予約」ボタンが表示されます。
  「録画予約」を選んで決定すると「録画予約」設定画面になります。（→3-27ページ）

●出演者一覧や関連番組を確認したいときは
【左カーソル】ボタンを押し、出演者一覧または関連番組を選んで決定します。（出演者一覧→2-34ページ／関連番組　→2-33ページ）

3. 番組表表示に戻すときは、【番組情報】ボタンまたは【戻る】ボタンを押す
   - 【終了】ボタンを押すと、放送画面になります。

次ページへつづく⇒



番組の情報を見るには（つづき）

番組の出演者や関連する番組を表示する

番組詳細からメニュー項目を選び出演者一覧や関連番組の検索が行なえます。

- 出演者一覧を選ぶと、番組出演者を確認したり、出演している番組を確認し予約したり、マイ検索に登録が行なえます。
- 関連番組を選んだときは、選択している番組に関連した番組（同一のジャンル番組など）を確認できます。（インターネットに接続している場合と、接続していない場合で検索結果に違いが出る場合があります）

1. 番組表で番組情報を知りたい番組を選ぶ

2. 【番組情報】ボタンを押す
   - 手順1で未放送の番組を選んで決定したときも、番組詳細画面が表示されます。
   - 番組情報が表示されないときは、電源を「切」にして6時間以上お待ちください。

3. 【左カーソル】ボタンを押しメニュー項目を選び、「出演者一覧」または「関連番組」を選んで【決定】ボタンを押す
   - 関連番組を選んで決定したときは、関連番組選択画面に移動します。
     放送中の番組は選局、未来番組は番組詳細から予約が行なえます。

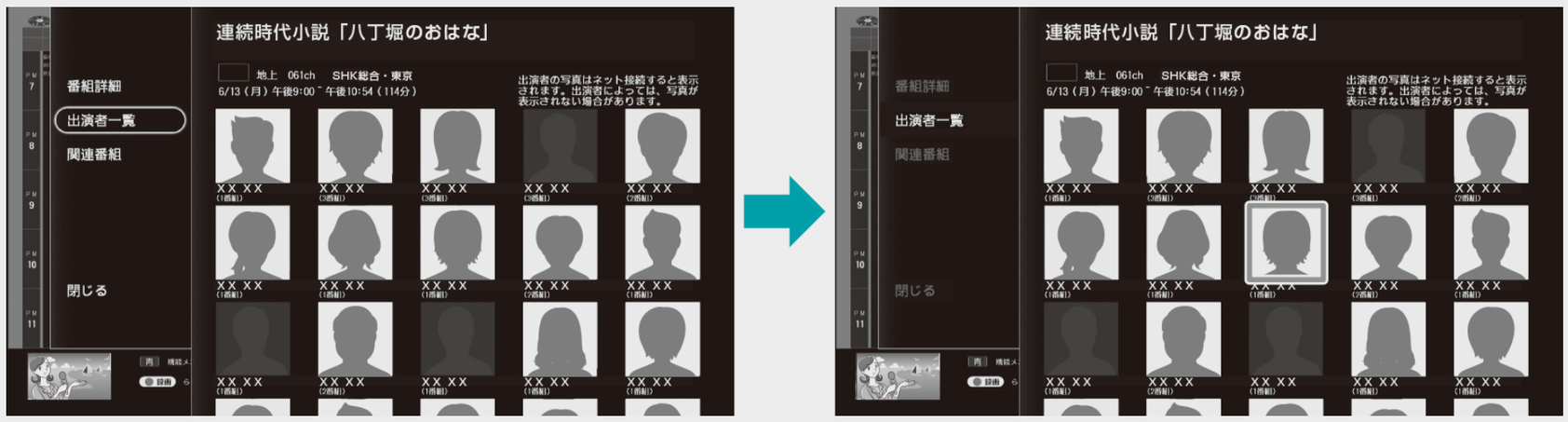
次ページへつづく⇒



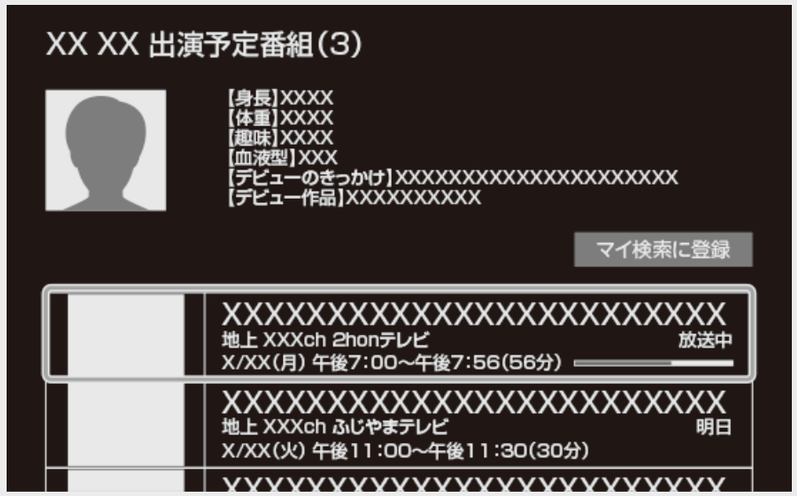
番組の情報を見るには（つづき）

番組の出演者や関連する番組を表示する（つづき）

4. 出演者から番組を選ぶ場合は「出演者一覧」を選んで【決定】ボタンを押す
   - 出演者選択画面に移動します。



5. 「出演者」を選んで【決定】ボタンを押す



- 「マイ検索に登録」を選んで決定したときはマイ検索に選んだ出演者が登録されます。
- 検索した番組を選んだときは放送中の番組は選局、未来番組は番組詳細から予約が行なえます。（この画面から自動録画設定は行なえません）



番組表の機能メニューについて

電子番組表の表示中に【青】ボタン（機能メニュー）または【ツール】ボタンを押すと、「機能メニュー」によって各種機能を呼び出すことができます。
【青】ボタンを押すたびに「機能メニュー」⇔「番組表」に切り換わります。

番組表機能メニュー

項目	サブ項目	内容	参照ページ
通常番組表	—	マイ番組表を表示しているとき通常の日別番組表を表示します。	2-24
マイ番組表	—	通常番組表を表示しているとき番組表設定で登録したマイ番組表を表示します。	2-28 2-48
マイ検索	—	登録している人名が出演する番組や登録されているキーワード、ジャンルなどの番組を検索し表示します。	2-38
番組検索	キーワード検索	キーワード（ラグビーなど）を入力し番組を検索します。	2-39
	ジャンル検索	ジャンルを選択して番組を検索します。	2-41
	人名検索	お気に入りの出演者の頭文字を入力し、表示された出演者が出演している番組を検索できます。	2-43
	番組カテゴリ検索	各カテゴリーの番組が検索できます。	2-45

次ページへつづく⇒



番組表の機能メニューについて（つづき）

番組表機能メニュー（つづき）

項目	サブ項目	内容	参照ページ
おすすめ・特集	—	放送局で選定した、おすすめ・特集番組一覧が表示されます。	2-46
予約リスト	—	予約リストを表示します。	3-65
録画画質設定	—	録画や予約録画で通常使用する録画画質を設定します。	3-13 13-37
日時指定予約	—	日時指定予約画面を表示します。	3-39～ 3-46
番組表設定	マイ番組表設定	自分で必要なチャンネルのみを登録しておくことで、マイ番組表が表示できます。	2-48
	ジャンル色設定	番組表に表示される番組のジャンルを色分け表示させるか設定します。	2-48
	表示文字設定	番組表に表示される文字に関する設定を行います。	2-49
	チャンネル表示設定	チャンネル表示に関する設定を行います。	2-50
	放送ネットワーク設定	番組表の放送ネットワーク（地上・BS・CS放送）の表示方法を変更できます。	2-50
	番組表取得設定	番組表の番組情報を取得する時間を設定します。	2-51 9-44

お知らせ

- おすすめ・特集は、インターネットに接続しないと選択できません。

次ページへつづく⇒

視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する

各機能メニューを選んで決定したときの画面や操作について説明します。

●「裏番組」を選んで【決定】ボタンを押す

現在放送中番組が表示されます。



各番組のタイトル画面や出演者の写真は本機をインターネットに接続していると表示されます。

番組を選んで決定

- 現在放送中の番組を選んで決定すると選んだ放送の画面になります。
- 未来の番組を選んだときは、番組詳細画面になります。

番組表の操作は
→2-24～2-28ページをご覧ください。

放送局で決定したときは選局され放送画面になります。

ヒント

- リモコンの【裏番組】ボタンを押したときや、ホーム画面の「裏番組」を選んだときも現在放送中の番組一覧画面が表示されます。

次ページへつづく⇒

視聴

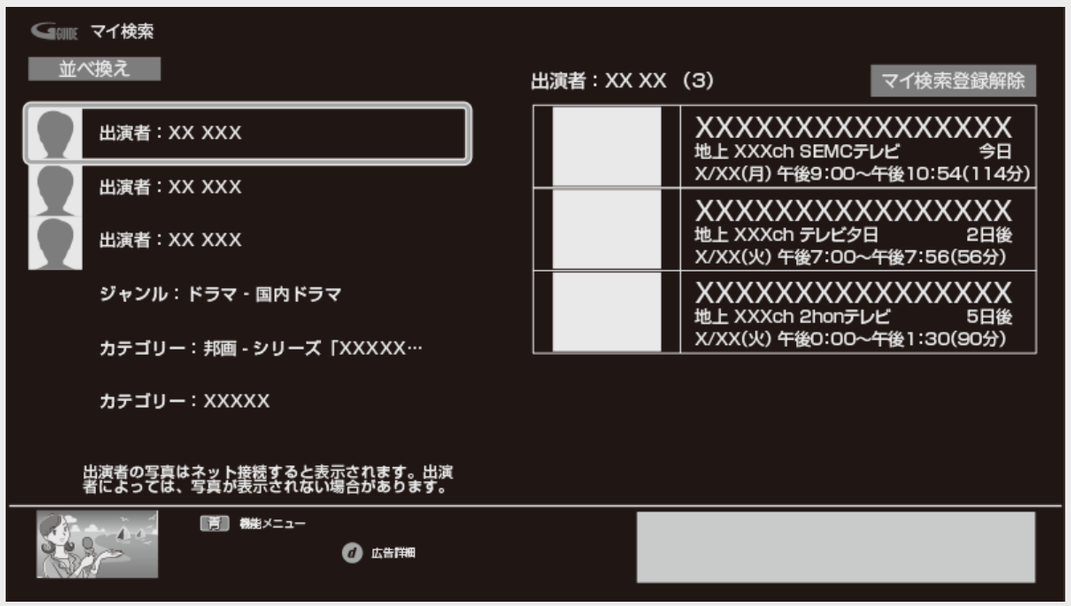
デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する（つづき）

●「マイ検索」を選んで【決定】ボタンを押す

マイ検索に登録されている番組やキーワード、ジャンル、人名、番組カテゴリなど検索条件に登録されている番組を一覧表示します。



- マイ検索登録解除を選んで決定すると登録解除されます。
- 並べ換えを選んで決定すると【上下カーソル】ボタンで並び順を変更できます。
- 現在放送中の番組を選んで決定すると選んだ放送の画面になります。
- 未来の番組を選んだときは、番組詳細画面になります。
  番組表の操作は
  →2-24～2-28ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する（つづき）

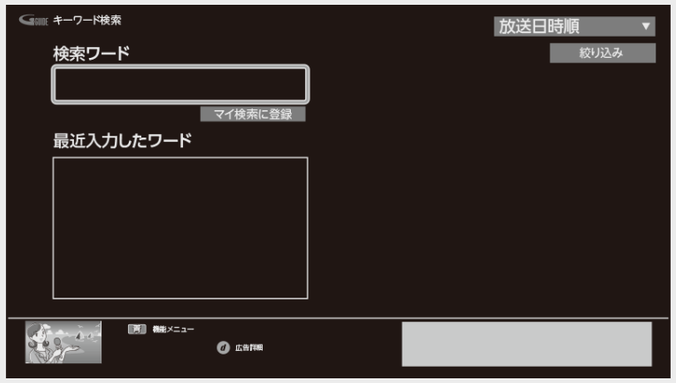
●「番組検索」を選んで【決定】ボタンを押す

キーワード、ジャンル、人名、番組カテゴリで番組検索が行なえます。

- 番組表でリモコンの【検索／チャプターマーク】ボタンを押しても表示されます。

キーワードで番組を検索する

1. キーワード検索を選んで決定
   - キーワード検索画面が表示されます。



2. 検索ワード欄を選んで決定し、検索したいワードを入力



次ページへつづく⇒

視聴

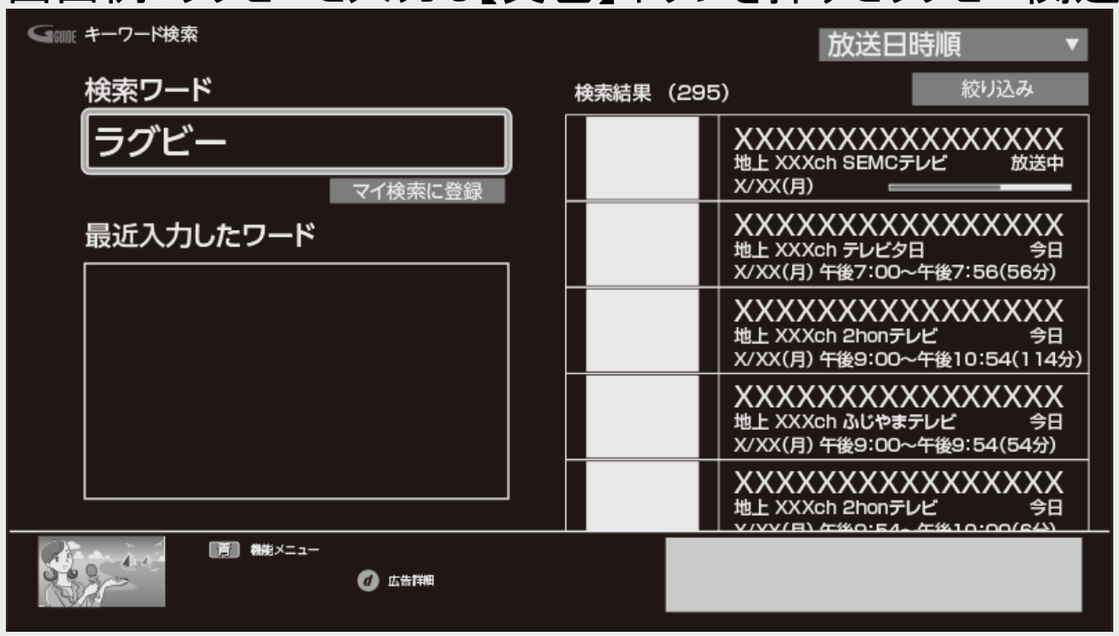
デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する（つづき）

キーワードで番組を検索する（つづき）

3. 【黄色】ボタンを押して、入力完了
画面例：ラグビーと入力し【黄色】ボタンを押すとラグビー関連番組が表示されます。



画面内のボタンを選んで決定
　マイ検索に登録⇒マイ検索に登録されます。
　放送日時順／チャンネル番号順⇒放送日時順／チャンネル番号順に並び換えできます。
　絞り込み⇒地上／BS／CS番組に絞り込み表示できます。

次ページへつづく⇒

番組表の機能メニューについて（つづき）

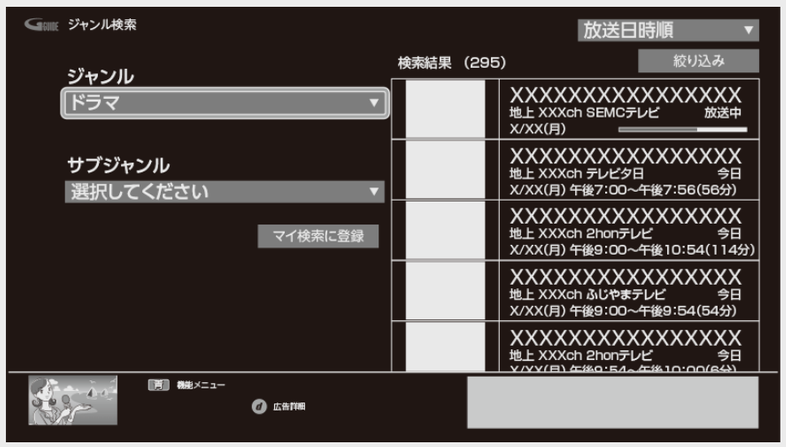
機能メニューで操作する（つづき）

ジャンルで番組を検索する

1. 「ジャンル検索」を選んで【決定】ボタンを押す
   - ジャンル検索画面が表示されます。



2. 検索したいジャンルを選んで【決定】ボタンを押す



次ページへつづく⇒

視聴

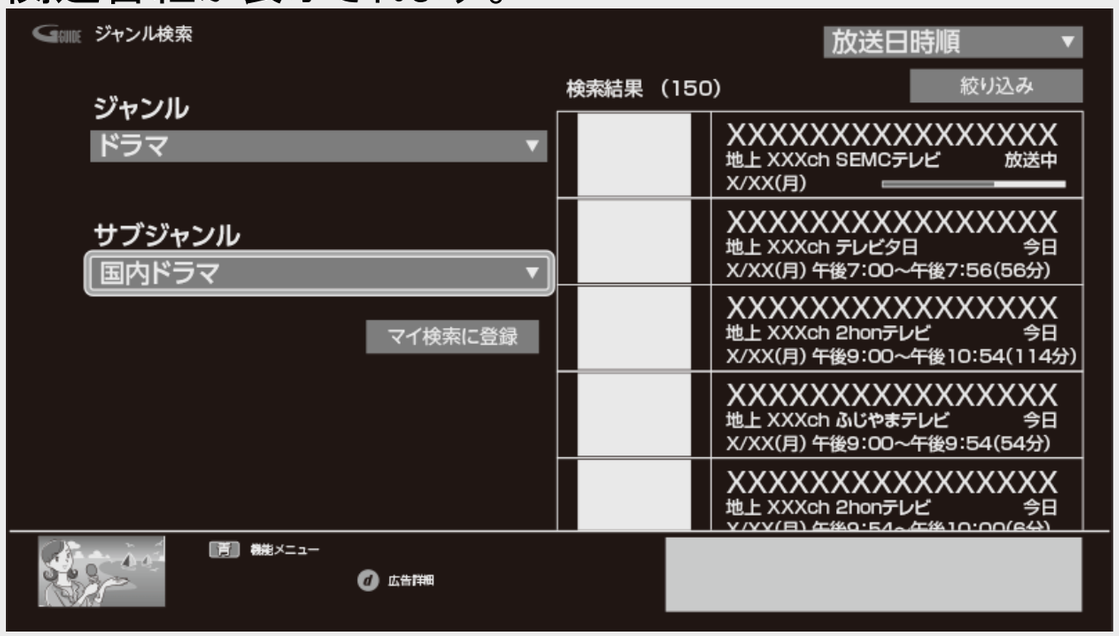
デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する（つづき）

ジャンルで番組を検索する（つづき）

3. サブジャンルを選んで【決定】ボタンを押す
   画面例：国内ドラマを選んで決定
   関連番組が表示されます。



画面内のボタンを選んで決定
　マイ検索に登録⇒マイ検索に登録されます。
　放送日時順／チャンネル番号順⇒放送日時順／チャンネル番号順に並び換えできます。
　絞り込み⇒地上／BS／CS番組に絞り込み表示できます。

次ページへつづく⇒

視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する（つづき）

人名で番組を探す

- 検索したい人名を一文字づつ文字パレットから選んで入力します。

1. 「人名検索」を選んで、【決定】ボタンを押す
   - 文字入力パレットが表示されます。



次ページへつづく⇒

視聴

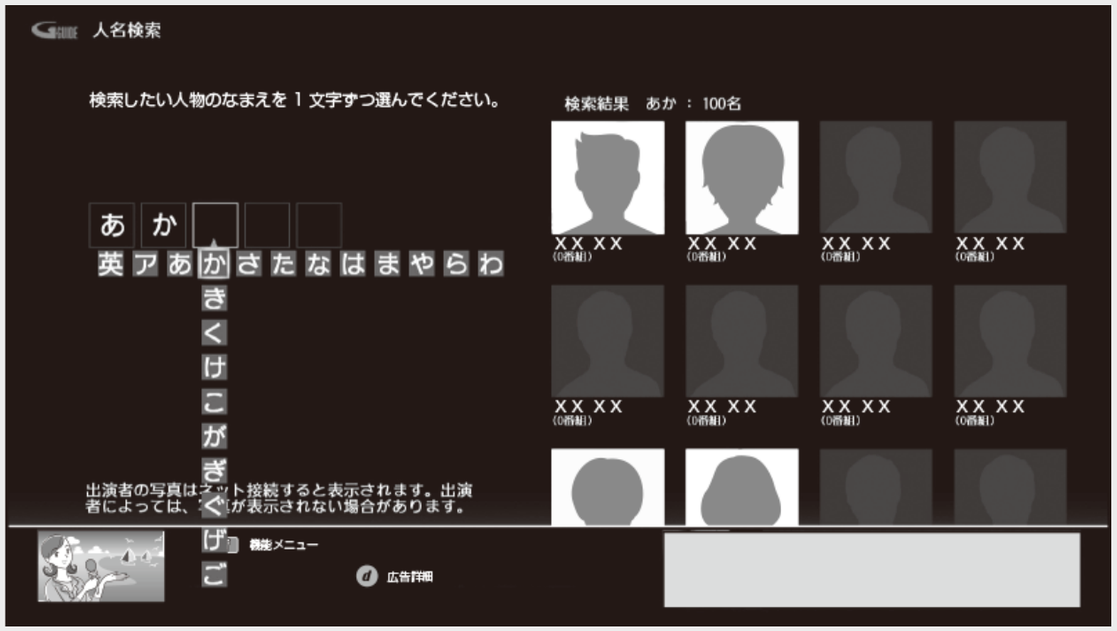
デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する（つづき）

人名で番組を探す（つづき）

2. 文字マスに検索したい人名の先頭の文字から1文字ずつ入力する
   - 入力した文字と一致する出演者が右側に表示されます。
   - 空白の文字マス上で【決定】ボタンを押すと、文字入力パレットが表示されます。
   - 出演者の写真は本機をインターネットに接続しているとき表示されます。



3. 【上下左右カーソル】ボタンで目的の出演者を選び【決定】ボタンを押す

次ページへつづく⇒

視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

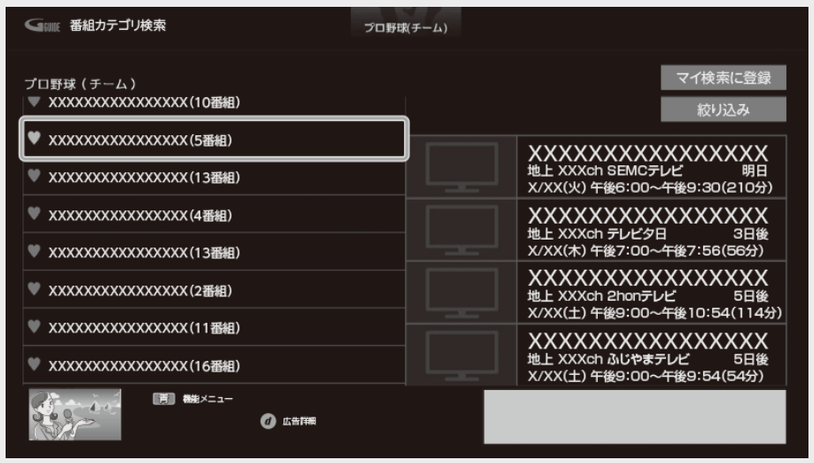
機能メニューで操作する（つづき）

カテゴリーで番組を検索する

1. 「番組カテゴリ検索」を選んで【決定】ボタンを押す
2. 番組のカテゴリーを選んで【決定】ボタンを押す



3. 番組を選んで【決定】ボタンを押す



画面内のボタンを選んで決定
　マイ検索に登録⇒マイ検索に登録されます。
　絞り込み⇒地上／BS／CS番組に絞り込み表示できます。

次ページへつづく⇒

視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する（つづき）

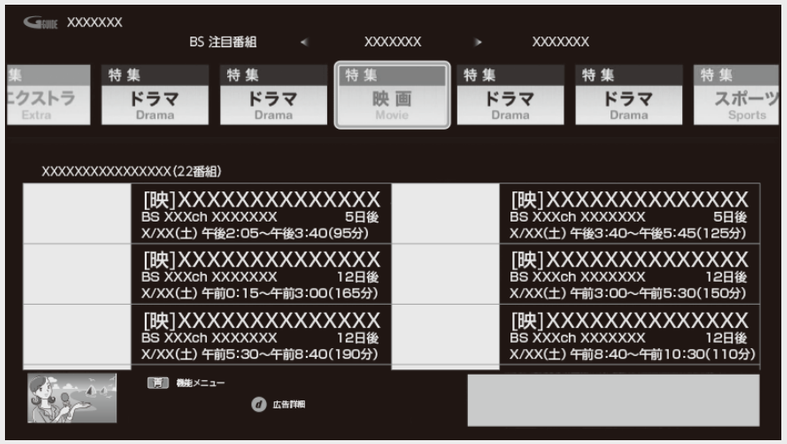
おすすめ・特集番組を探す

- 放送局で選定した、おすすめ・特集番組一覧が表示されます。

1. 「おすすめ・特集」を選んで【決定】ボタンを押す
   - 【上下カーソル】ボタンで、見たいおすすめ・特集の大項目を選びます。



2. 【決定】ボタンを押す
   - 選んだ大項目の番組が一覧表示されます。



お知らせ

- 「おすすめ・特集」はインターネットに接続しないと選択できません。

次ページへつづく⇒

視聴

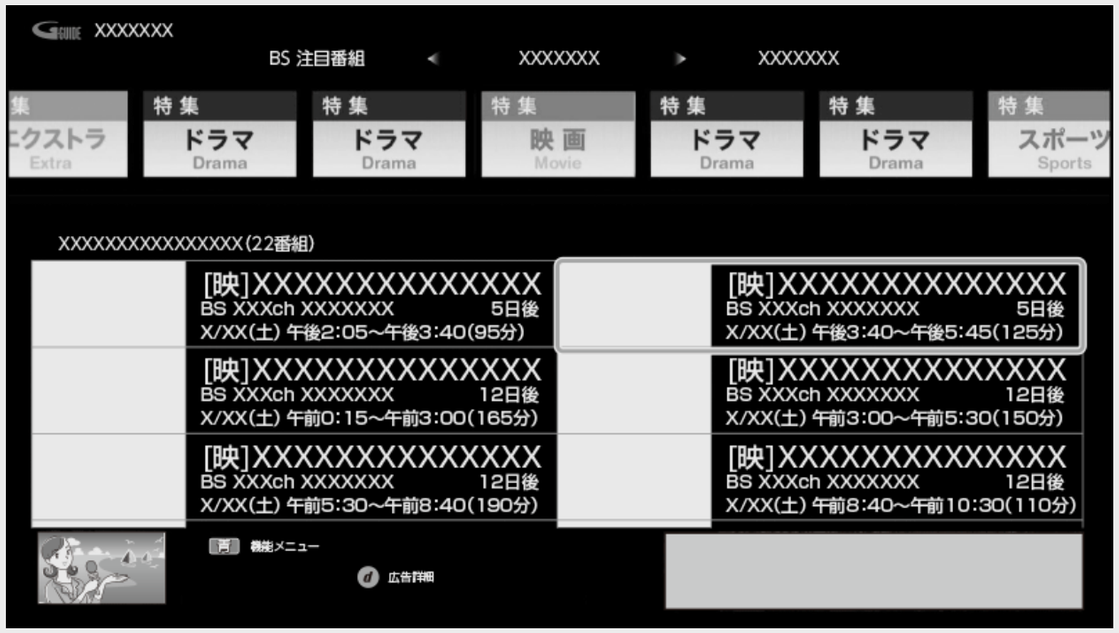
デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する（つづき）

おすすめ・特集番組を探す（つづき）

3. 見たい番組を選んで【決定】ボタンを押す



選んだ番組の番組詳細画面が表示されます。

画面内のボタン(項目）を選んで決定

- 画面の最上段で、初めに選んだ大項目を選び直せます。
- 画面上部のアイコンで、中項目が選べます。
- 未放送の番組を選択した場合は、番組詳細画面が表示され予約操作ができます。９日以上先の番組を予約した場合は、放送日から最短で8日前までは予約登録が確定になりません。大切な予約の場合は、放送日の前までに予約が休止など実行されない状態になっていないか確認いただくことをおすすめします。

次ページへつづく⇒

視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

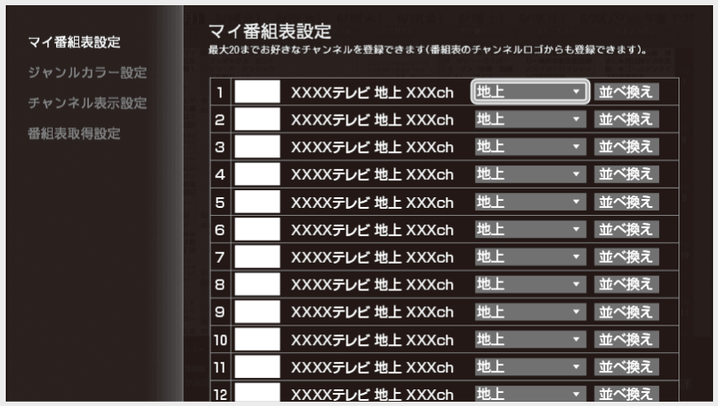
機能メニューで操作する（つづき）

番組表の設定をする

●「番組表設定」を選んで【決定】ボタンを押すと、番組表に関する設定ができます。

マイ番組表設定

- 自分で必要なチャンネルのみを登録しておくことで、マイ番組表が表示できます。

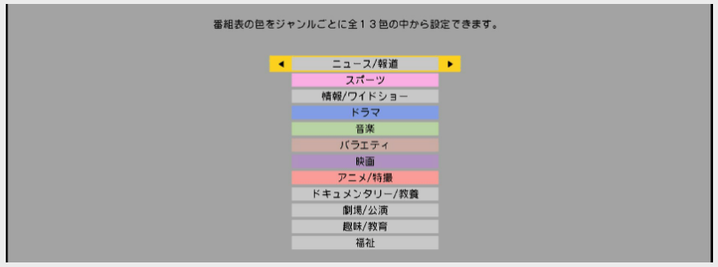


お知らせ

- マイ番組表設定画面で選べるチャンネルはメインチャンネルのみです。
  - メインチャンネルを登録すると、サブチャンネルも自動的に登録されます。
  - メインチャンネルを登録解除すると、サブチャンネルも自動的に登録解除されます。

ジャンル色設定

- 番組表に表示される番組のジャンルを色分け表示させるか設定します。



次ページへつづく⇒

視聴

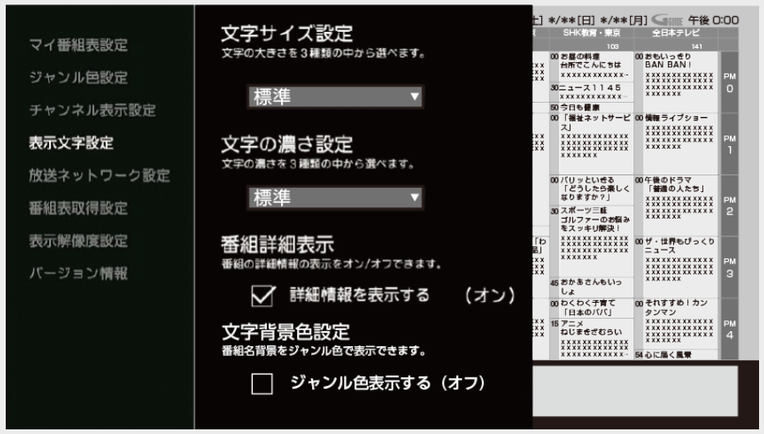
デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する（つづき）

番組表の設定をする（つづき）

表示文字設定



文字サイズ設定	番組表の文字の大きさを、大、標準、小の3種類の中から選べます。
文字の濃さ設定	番組表の文字の濃さを、濃い、標準、薄いの3種類の中から選べます。
番組詳細表示	番組名に付帯する詳細情報の表示をオン/オフできます。
文字背景色設定	番組名の背景部分をジャンル色で表示するかオン/オフできます。

次ページへつづく⇒

視聴

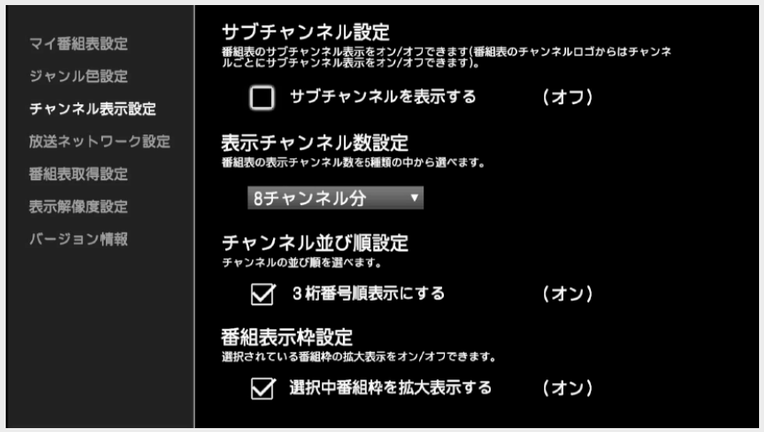
デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する（つづき）

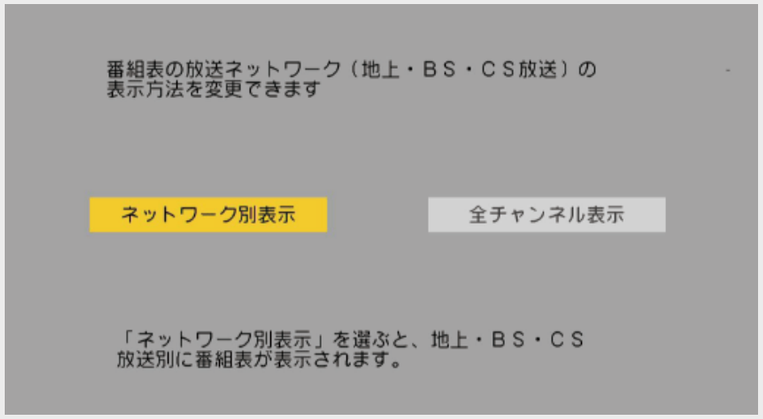
番組表の設定をする（つづき）

チャンネル表示設定



サブチャンネル設定	番組表のサブチャンネル表示をオン/オフできます（番組表のチャンネルロゴからはチャンネルごとにサブチャンネル表示をオン／オフできます）。
表示チャンネル設定	番組表の表示チャンネル数を5種類の中から選べます。
チャンネル並び順設定	チャンネルの並び順を選べます。
番組表示枠設定	選択されている番組枠の拡大表示をオン／オフできます。

放送ネットワーク設定



ネットワーク別表示	地上・BS・CS放送別に番組表が表示されます。
全チャンネル表示	地上・BS・CSすべての放送の番組表が表示されます。【左右カーソル】ボタンで「地上」⇔「BS」⇔「CS」の番組表に順次切り換わります。

次ページへつづく⇒

視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

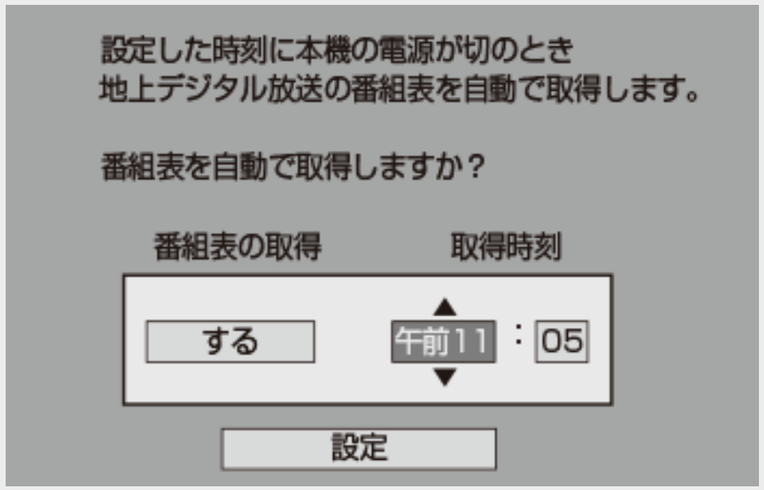
番組表の機能メニューについて（つづき）

機能メニューで操作する（つづき）

番組表の設定をする（つづき）

番組表取得設定（→9−44ページ）

- 番組表の番組情報を取得する時間を設定します。

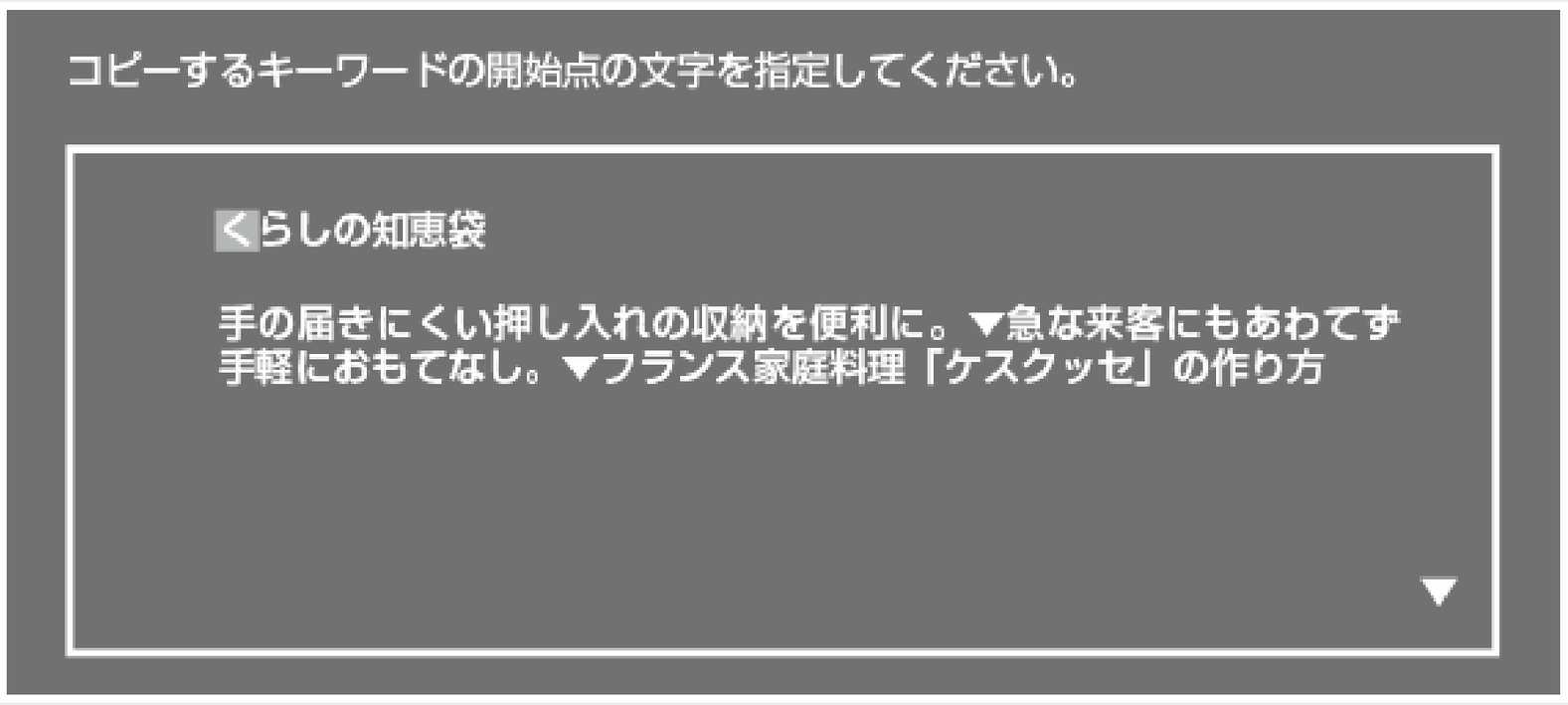


視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組情報からキーワードをコピーする

1. キーワードコピーしたい番組を選びます
2. 【停止／録画停止】ボタンを押して、キーワードコピー画面を表示させます



番組情報からキーワードをコピーする（つづき）

3. キーワードをコピーします
   開始点と終了点を決めます
   【上下左右カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンで決定
   - キーワードが設定されます。すでに設定済みのキーワードと同じものをコピーした場合、同じキーワードが設定されます。
   - コピーできるのは20文字までです。

4. 「番組表のキーワード検索を行う」を選んで決定します
   - 「自動録画の設定を行う」を選んで決定すると、コピーしたキーワードにより自動録画を設定することができます。
     （→3-92ページ「自動録画の条件を設定する」の手順5へ）
   - 「録画リストのキーワード検索を行う」を選んで決定すると、録画リストを検索します。
     （→4-53ページ）
   - 「本体に一時的に記憶させる」を選んで決定すると、キーワードを文字入力時の予測変換候補に登録できます。

お知らせ

- 番組表からキーワードをコピーしたとき、特殊文字（①～⑩や㊙や㊚など）はキーワードとして登録できません。

視聴

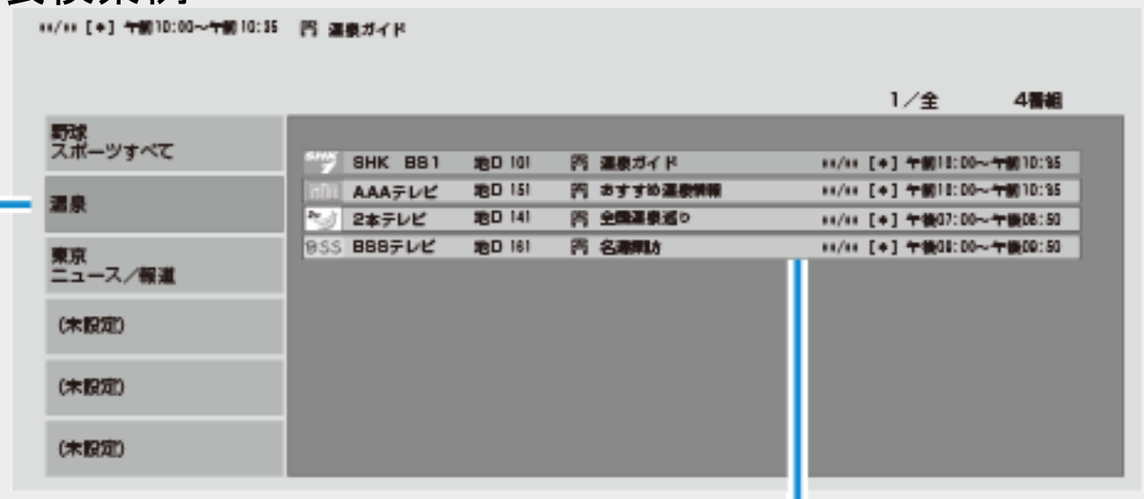
デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組情報からキーワードをコピーする（つづき）

5. 登録されたキーワードを選んで決定します

6. 「検索」を選んで決定します
   - 検索結果が表示されます。

番組表検索例



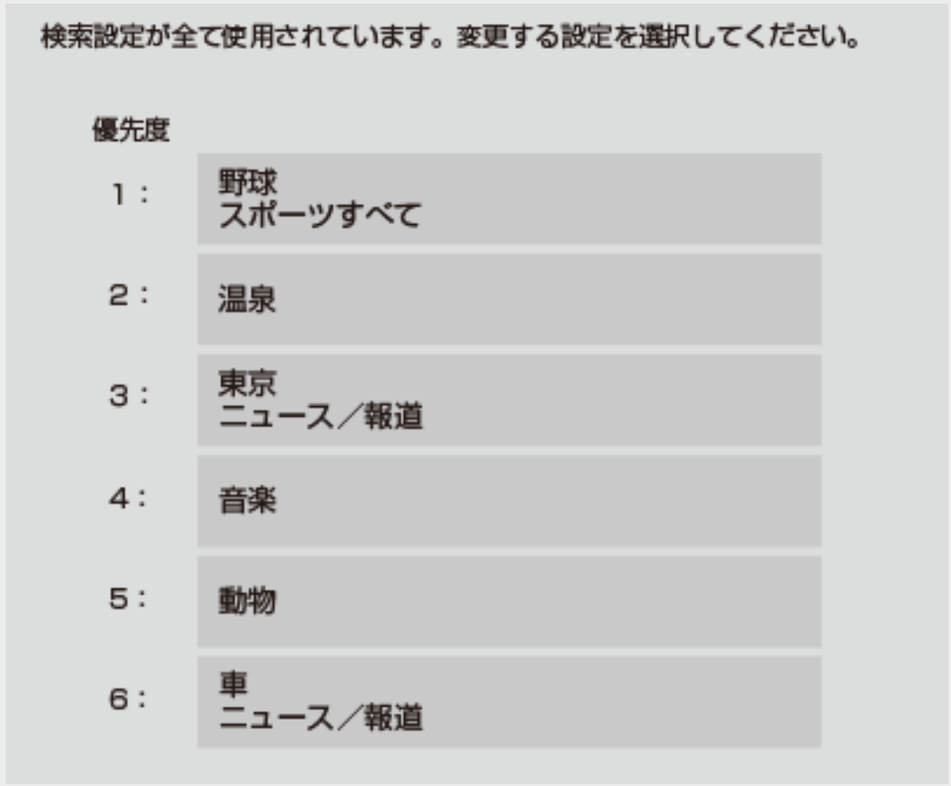
「（未設定）」のところに、
コピーしたキーワードが
設定されます。

検索結果

番組情報からキーワードをコピーする（つづき）

■ キーワードが登録できないとき

すでに6つのキーワードが設定されている場合、2–53ページの手順4の後、次の画面が表示されます。

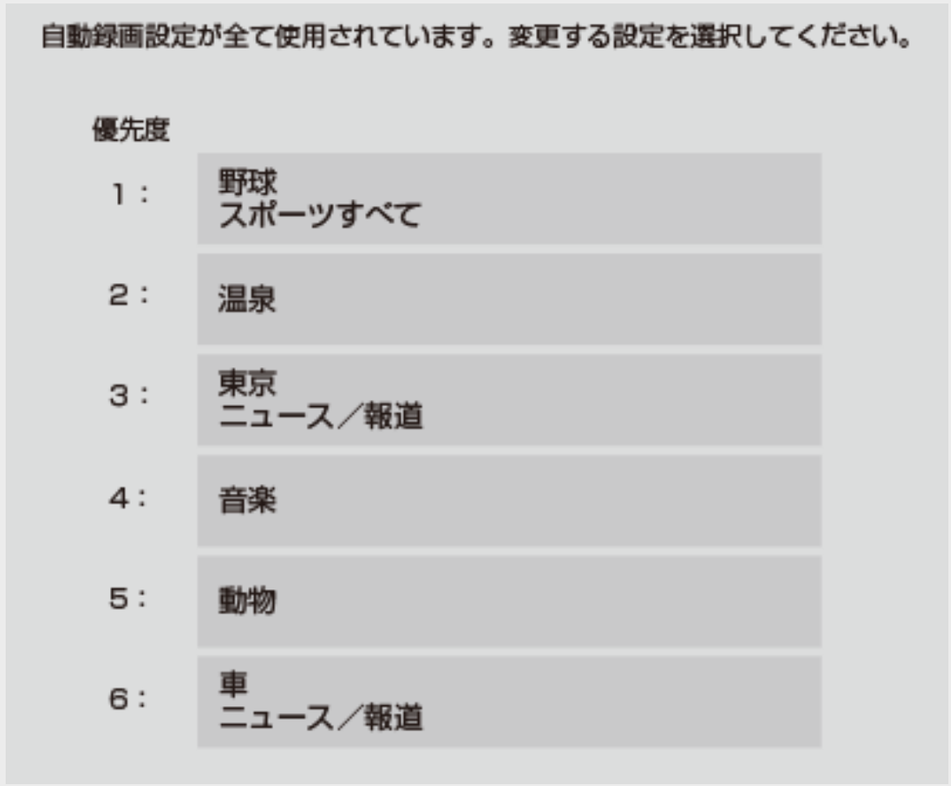


視聴

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組情報からキーワードをコピーする（つづき）

- 2-53ページの手順4で「自動録画の設定を行う」を選んだとき、すでに6つのキーワードが設定されている場合は、次の画面が表示されます。



● コピーしたキーワードを登録するときは
変更する「キーワード」選んで【決定】ボタンを押す⇒キーワードが登録されます。
● 設定済みのキーワードを変更しないときは
【終了】ボタンまたは【戻る】ボタンで画面を終了する。

視聴

本機のチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（タイムシフト視聴）

放送中のデジタル放送番組を一時停止して、つづきから再生して見ることができます。タイムシフト視聴をするためには、「ホーム」―「設定」―「本体設定」―「タイムシフト視聴設定」で「する」を選び決定後、「連動する」または「連動しない」に設定します。タイムシフト視聴では、放送中の番組を90分ぶんさかのぼって視聴できます。
AQUOSタイムシフト対応のAQUOSと接続しているときは、「連動する」に設定すると、本機のタイムシフトに加え、テレビで視聴している放送も本機のチューナーを使用してタイムシフト視聴できます。
→2-63ページ

タイムシフト操作

「ちょっと待って」視聴

来客などでテレビの前を離れるとき「一時停止」
用事が終わってテレビの前に戻ってきて「再生」
⇒ 一時停止した箇所から「タイムシフト視聴」開始
【一時停止】ボタン⇒【再生】ボタン

「今のシーンをもう一度」視聴

見逃したシーンを見たいとき
⇒ 戻した箇所から「タイムシフト視聴」開始
【10秒戻し】ボタン／【早戻し】ボタン

次ページへつづく⇒

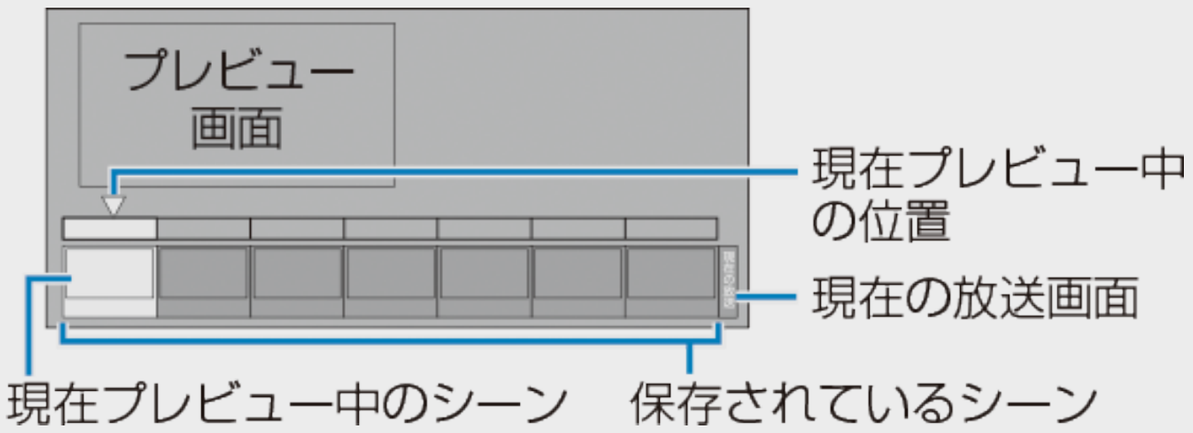
視聴

本機のチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（タイムシフト視聴）

タイムシフト操作(つづき)

「ちょっと戻っテレビ」視聴

見逃したシーンを選んで見たいとき
⇒ 見たいシーンを選んで「タイムシフト視聴」開始
【前】ボタンまたは【次】ボタンを押す⇒シーン選択画面を表示



【上下左右カーソル】ボタンでシーンを選び【決定】ボタンまたは【再生】ボタンを押す

次ページへつづく⇒

視聴

本機のチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（タイムシフト視聴）

タイムシフト操作(つづき)

「ちょっと戻っテレビ」視聴(つづき)

- 保存されているシーンは【前】ボタンまたは【次】ボタンでも選択できます。
- 左端のシーンが「ちょっと戻っテレビ」の先頭です。シーンが7つになったときは、左端のシーンと再生される画面が異なる場合があります。
- タイムシフト視聴中に【前】ボタン／【次】ボタンを押すと、シーン選択画面に戻ります。
- シーン選択画面で【停止／録画停止】ボタンを押した場合と、「現在の放送」を選んだときは、現在時刻の放送に戻ります。
- シーン選択画面で【終了】ボタン、【戻る】ボタンを押すとタイムシフト視聴中画面になります。

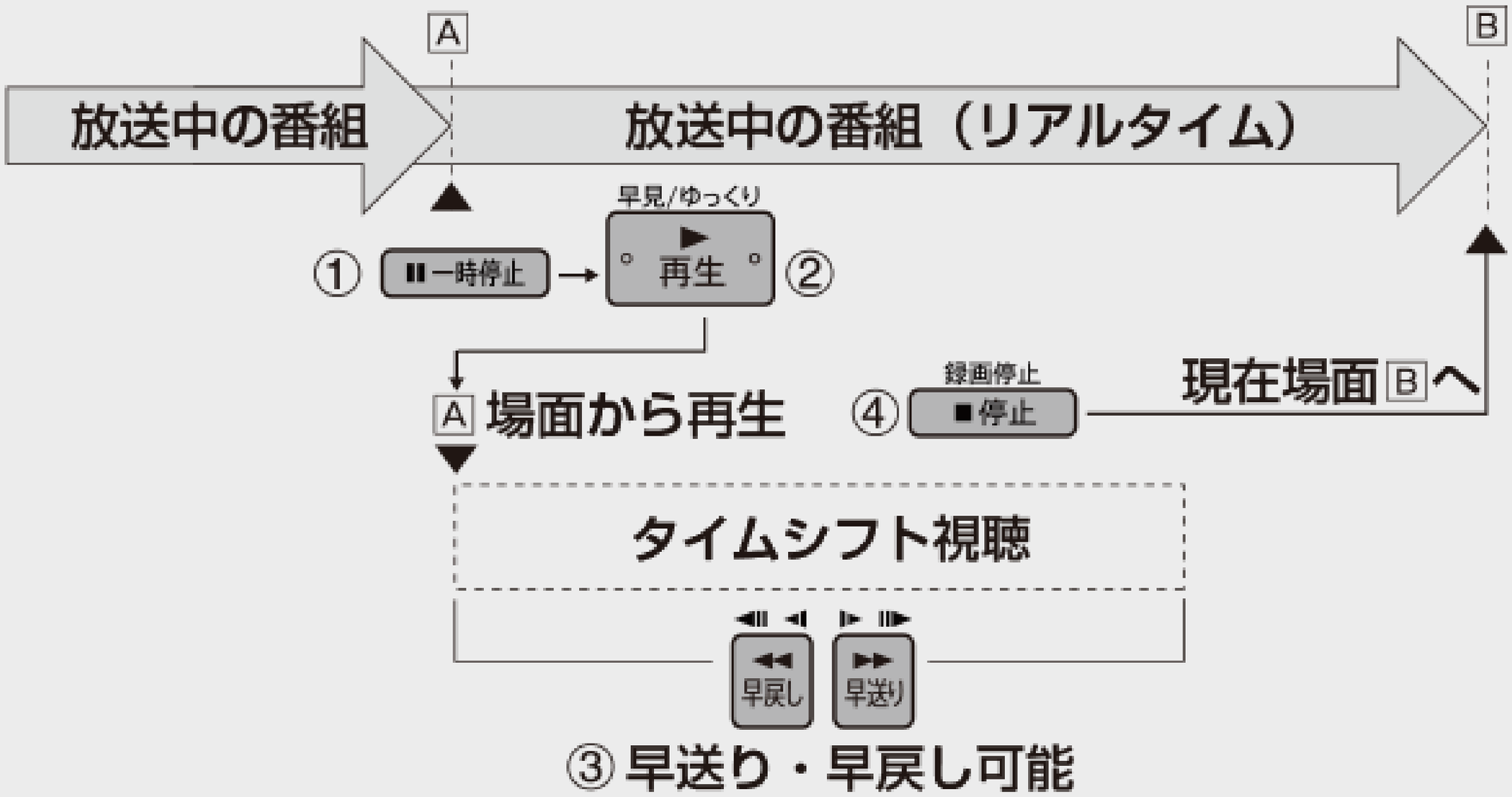
次ページへつづく⇒

視聴

本機のチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（タイムシフト視聴）

タイムシフト操作(つづき)

タイムシフト視聴例



次ページへつづく⇒

視聴

本機のチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（タイムシフト視聴）

タイムシフト操作(つづき)

タイムシフト視聴中

- 早送りや早戻ししたいとき ⇒【早送り】ボタン／【早戻し】ボタン
- 押すごとにスピードが速くなります。
- また、【左右カーソル】ボタンで速度の調整ができます。早送り時は【右カーソル】ボタンを押すたびにサーチの速度が速くなります。【左カーソル】ボタンをおすたびにサーチの速度が遅くなります。（早戻し時は逆の動作になります。）



（約4倍速）　（約10倍速）　（約30倍速）　（約100倍速）　（約250倍速）

- タイムシフト視聴中に早送りをして放送に追いついたときは、現在の放送に戻ります。
- 不要な箇所を30秒単位で飛ばしたいとき⇒【30秒送り】ボタン
- 現在時刻の放送に戻りたいとき⇒【停止／録画停止】ボタン

ご注意

- タイムシフトを設定したときは、本機が自動的に、タイムシフトのための一時的な録画をします。

次ページへつづく⇒

視聴

本機のチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（タイムシフト視聴）

タイムシフト操作(つづき)

タイムシフト視聴中(つづき)

ご注意

次の場合はタイムシフト視聴はできません。

- データ放送の場合
- 録画禁止の番組や著作権保護による場合
- 録画などが複数動作している場合

タイムシフト視聴をするときの画質について

- 録画画質「DR」となります。

お知らせ

- 一時停止状態が15分以上続いたときは、一時停止状態は解除され再生となります。

視聴

AQUOSのチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（AQUOSタイムシフト視聴）

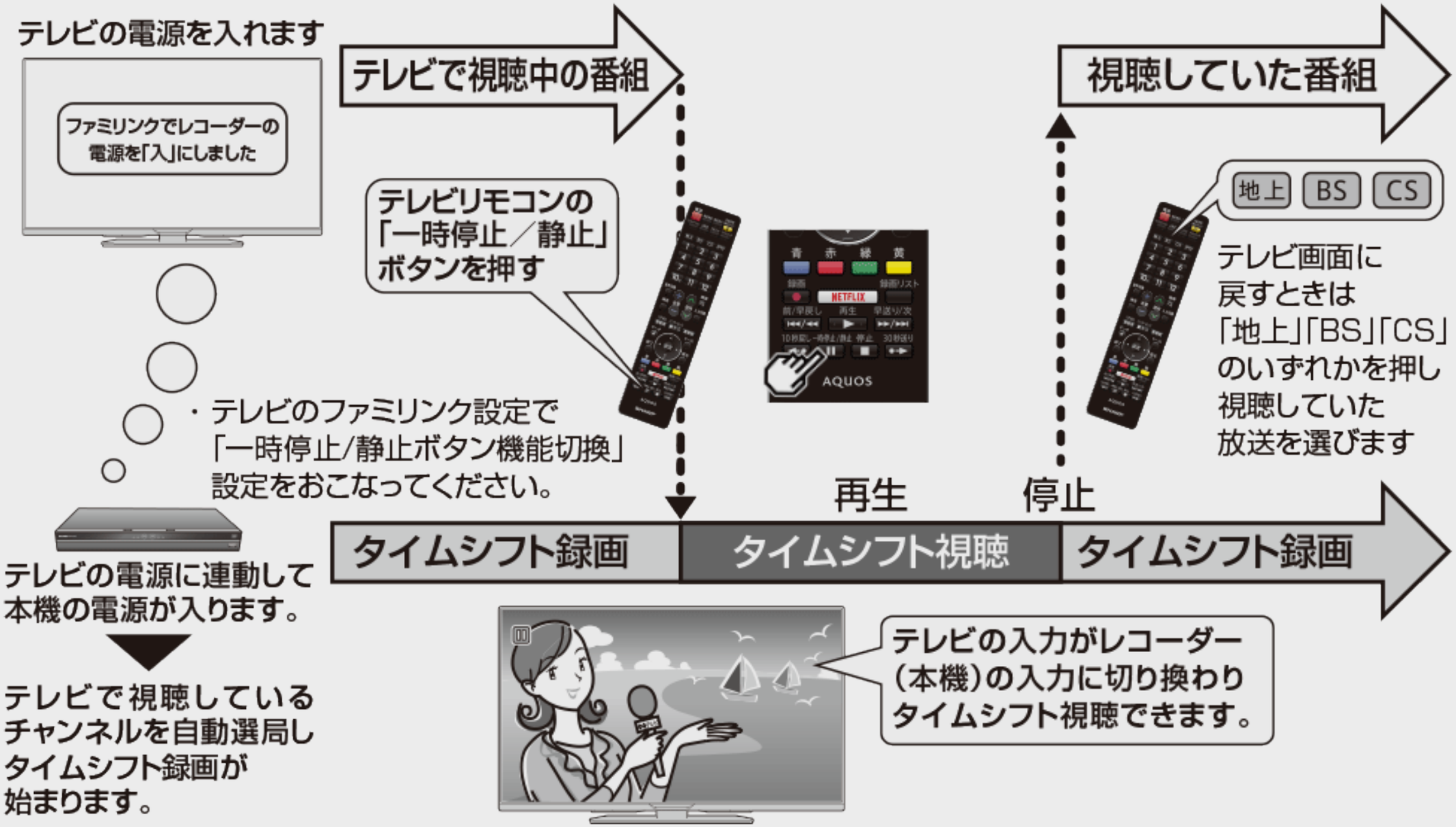
- AQUOSタイムシフトに対応しているAQUOSで視聴しているデジタル放送番組を一時停止して、つづきから再生して見ることや、ちょっと戻って視聴することができます。
- AQUOSタイムシフトで視聴するときは、「ホーム」―「設定」―「本体設定」―「タイムシフト視聴設定」で「連動する」に設定します。AQUOSタイムシフト視聴は、放送中の番組を90分ぶんさかのぼって視聴できます。（自動的にAQUOSで視聴している番組を本機のHDDに最大90分ぶん、タイムシフトのための一時的な録画をします）
- AQUOSの番組（チャンネル）を変更した場合は変更前の録画を削除して変更後の番組（チャンネル）を録画します。
- AQUOSタイムシフトを行うにはAQUOSの設定も必要になりますのでAQUOSの取扱説明書もご確認ください。

次ページへつづく⇒

視聴

AQUOSのチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（AQUOSタイムシフト視聴）

タイムシフト視聴例------「ちょっと待って視聴」



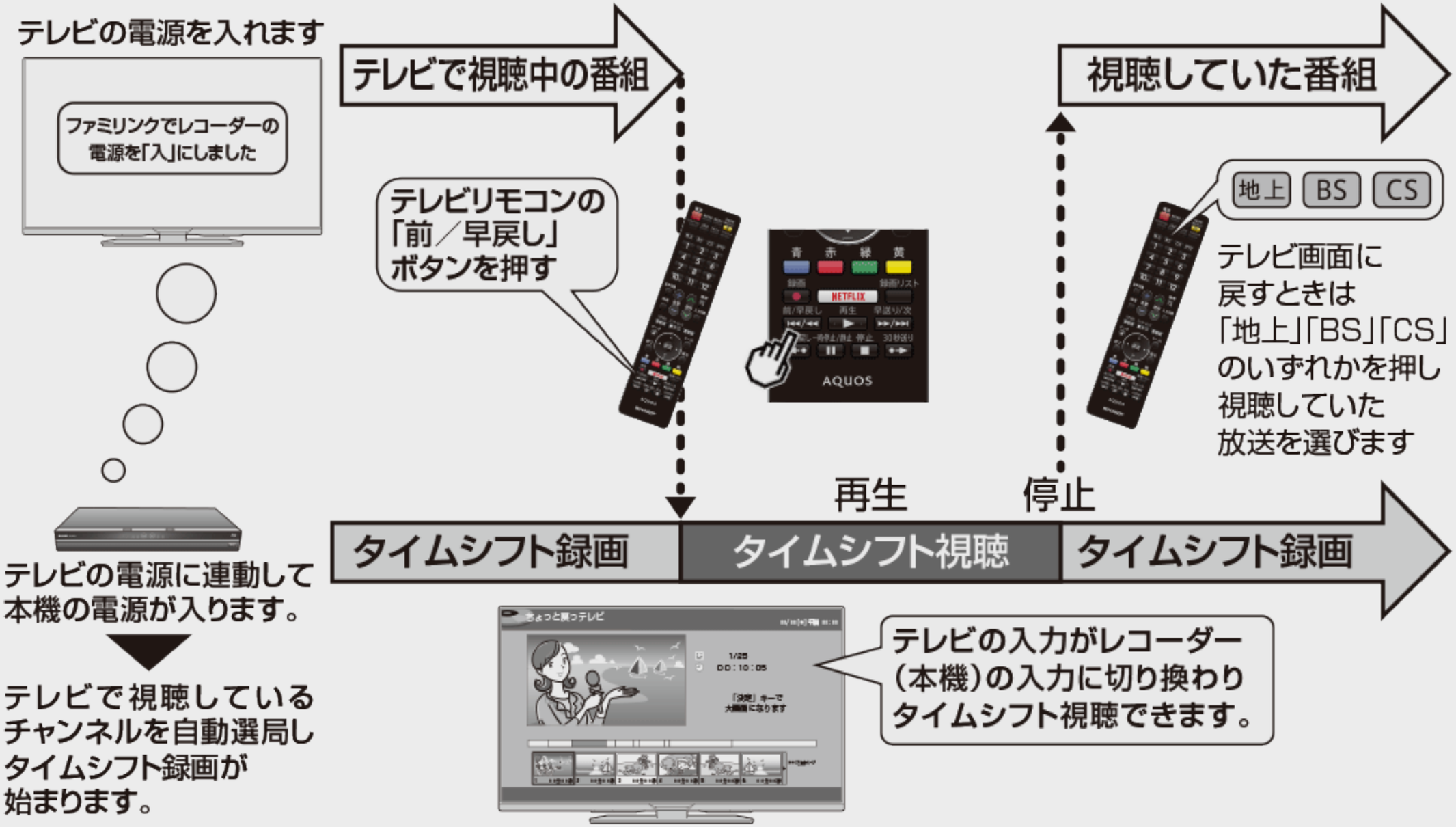
- 「ちょっと待って視聴」操作については2-57ページをご覧ください。
- タイムシフト視聴操作については2-57～2-62ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

視聴

AQUOSのチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（AQUOSタイムシフト視聴）

タイムシフト視聴例------「ちょっと戻って視聴」



- 「ちょっと戻って視聴」操作については次ページをご覧ください。
- タイムシフト視聴操作については2-57～2-62ページをご覧ください。

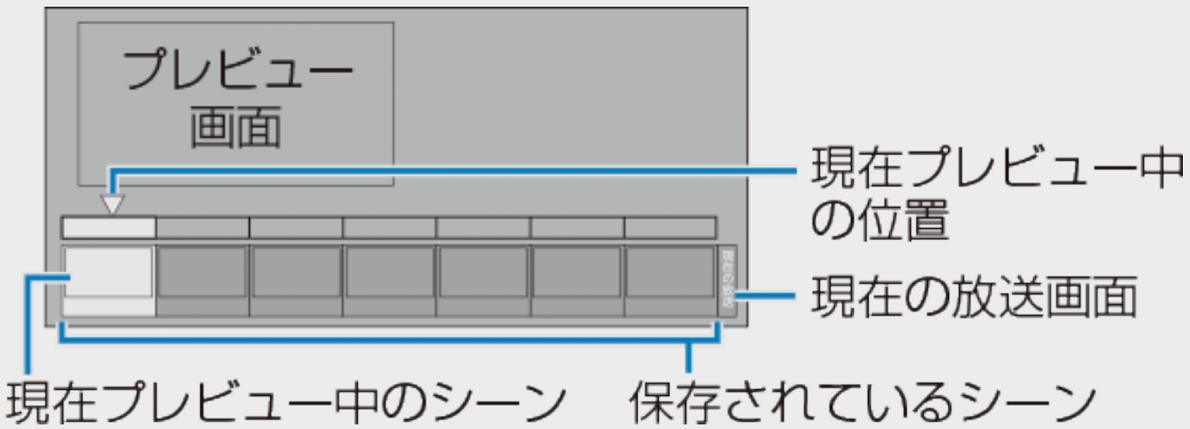
次ページへつづく⇒

視聴

AQUOSのチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（AQUOSタイムシフト視聴）

タイムシフト操作

放送視聴中にテレビリモコンの「前/ 早戻し」ボタンを押すと、テレビの入力が本機の画面に切り換わり、AQUOSタイムシフト視聴シーン選択画面になります。



- シーン選択画面で【左右カーソル】ボタンでシーンを選び 、【決定】ボタンまたは【再生】ボタンを押すと、選んだシーンから再生されます。
- AQUOSタイムシフト視聴中に「一時停止/ 静止」ボタンを押すたびに「一時停止⇔再生」になります。
- AQUOSタイムシフト視聴中に「前/ 早戻し」ボタンまたは「早送り/ 次」ボタンを押すと、シーン選択画面に戻ります。
- 「現在の放送」を選び「決定」ボタンまたは「再生」ボタンを押すと現在の放送画面になります。
- テレビ画面に戻すときは、テレビの入力切換で「テレビ」を選びます。
- タイムシフト視聴中の操作について詳しくは、2-57～2-62ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

視聴

AQUOSのチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（AQUOSタイムシフト視聴）

タイムシフト操作(つづき)

お知らせ

- 左端のシーンが「ちょっと戻っテレビ」の先頭です。シーンが7つになったときは、左端のシーンと再生される画面が異なる場合があります。
- 一時停止状態が15分以上続いたときは、一時停止状態は解除され再生となります。

次の場合はタイムシフト視聴はできません。

- テレビでデータ放送、外部入力を視聴している場合
- テレビで2画面視聴している場合
- 録画禁止の番組や著作権保護による場合
- 録画などが複数動作している場合
- レコーダーで再生をしている場合
- レコーダーが、インターネットを使用している場合

タイムシフト視聴をするときの画質について

- 録画画質「DR」となります。

視聴

AQUOS視聴ランキング、AQUOS録画ランキングで番組のランキングを確認する

- AQUOS視聴ランキングやAQUOS録画ランキングで番組のランキング情報を確認するには、本機をインターネットに接続し（→8−3ページ）、プライバシーポリシーに同意（→10−47ページ）いただく必要があります。

AQUOS視聴ランキング画面、AQUOS録画ランキング画面を表示する

1. 【ホーム】を押し、ホーム画面を表示する
2. インターネットを選択し、「AQUOS視聴ランキング」または「AQUOS録画ランキング」を選び【決定】を押す
   - インターネットに接続されていない場合は、確認画面が表示されます。インターネットに接続してください。
   - プライバシーポリシーに同意頂いていないときは同意画面が表示されます。

同意いただきますとそれぞれのランキング画面が表示されます。



上記の画面は一例です。実際の画面とは異なります。

録画・予約録画

デジタル放送の録画について

ハイビジョン放送をそのままの画質で録画するには

内蔵HDDまたは外付けHDDに録画画質「DR」で録画してください。

- 放送内容に合わせてHD（ハイビジョン画質）やSD（標準画質）で録画されます。
- HDDに録画画質「DR」で録画した番組は、画質を劣化させることなくBDに高速ダビングできます。

本機は内蔵HDD、外付けHDDに放送を直接録画します。
BD/DVDには放送を直接録画できません。

- BD/DVDに録画したいときはダビング操作を行なってください。

ハイビジョン画質で長時間録画するには

内蔵HDDまたは外付けHDDに録画画質「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「10倍」「12倍」「HD〇〇」で録画してください。

- 圧縮したハイビジョン画質で長時間録画できます。
- 4:3の放送の場合、再生時に放送と見え方が異なる場合があります。
- 録画画質によって録画できる時間が異なりますので、目的によって録画画質を設定してください。
  画質がきれいになるほどデータ量が多くなるため、録画できる時間が短くなります。
  録画画質の変更方法→3-10、3-13ページ
- スポーツや歌番組などの動きの激しい番組を「7倍」「10倍」「12倍」などの長時間録画画質で録画した場合、ブロックノイズなどが目立つ場合があります。
  また13-8～13-15ページに記載の録画時間まで録画できない場合が多くなりますので、動きの激しい番組を録画する場合は、なるべく5倍以上の録画画質で録画していただくことをおすすめします。

録画・予約録画

デジタル放送の録画について

録画画質と録画される内容・楽しめる機能

		録画画質		
		DR画質	2倍／3倍／HD〇〇／5倍	7倍／10倍／12倍
放送の種類	マルチビューサービス放送 （ステレオ二重音声）	〇	視聴中の映像 （音声は主・副両方記録されます）	視聴中の映像 （音声は、マルチ音声記録設定で設定されている音声）
	連動データ放送※	〇	〇	〇
	二重音声放送	〇	〇	〇
	字幕	〇	〇	〇
	番組情報	〇	〇	〇
	追いかけ再生	〇	〇	〇
	同時録画再生	〇	〇	〇

※「ホーム」―「設定」―「録画・再生設定」の「連動データ記録設定」で、「記録する」に設定したときに録画されます。
（→10-9ページ）
録画予約をする際に、連動データ放送を記録するかどうか、番組ごとに個別に設定することもできます。
（→3-50ページ）

録画・予約録画

デジタル放送の録画について

スカパー! プレミアムサービスチューナーやCATVボックスからの録画について

- スカパー! プレミアムサービスチューナーやCATVボックスから録画、予約録画を行なうときは、本機とセットトップボックスをLAN接続します。

ご注意

- 本機は映像・音声入力端子はありません。（映像・音声ケーブルでの接続はできません）

●本機のLAN設定は
→9-57ページをご覧ください。

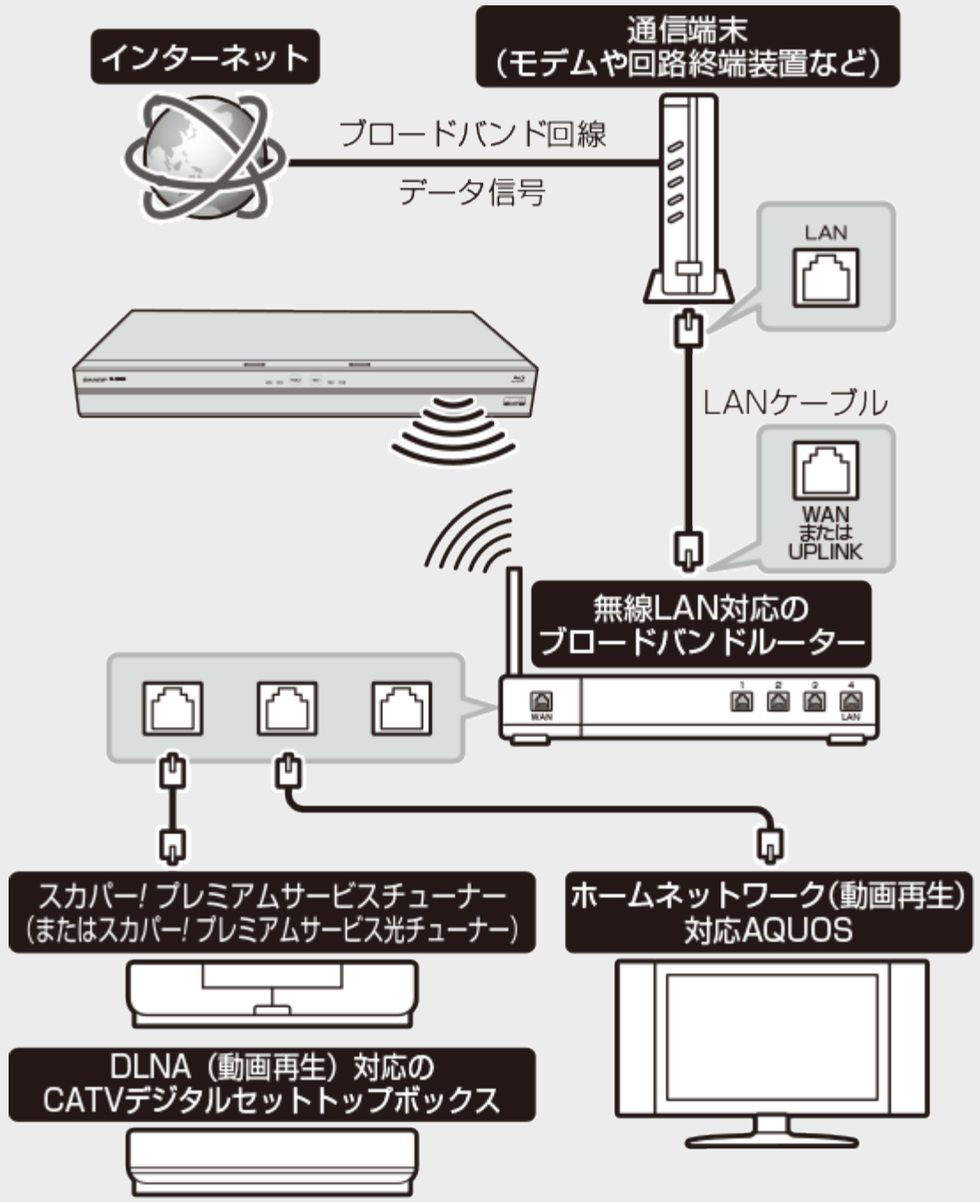
●スカパー! プレミアムサービスチューナーからの録画は
→3-113ページ

●CATVボックスからの録画は
→3-117ページ

ご注意

- 録画や予約録画操作はスカパー! プレミアムサービスチューナーやCATVボックス側で行ないます。
- 1つの番組の連続録画可能時間は12時間です。12時間を超える番組は、12時間単位で予約設定をしてください。
- 本機の電源が切れていると録画予約の設定ができません。詳しくはそれぞれのページをご確認ください。

▼接続例



録画・予約録画

本機の動作や録画可能時間（残時間）を確認する

録画やダビングなど本機の何が動作しているのか、内蔵／外付けHDDや挿入されているBD/DVDにどれだけ録画時間が残っているか（残時間）などを確認できます。

ご注意

- ディスク残量表示は、その時点で受信中の放送のきめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が録画できる時間の目安です。録画中の残量表示と停止時点での表示が一致しないことがあります。
- 一部の市販のBDビデオでは チャプターやカウンターの総時間が表示されないことがあります。
- 残量が足りないときは録画や予約ができないことがあります。

お知らせ

- 複数番組の録画が実行されているときは、残量表示が通常よりも早く減ります。
- 選択している録画画質でHDDの残時間が5時間を切ると、画面左下に通知センターの警告メッセージが表示されます。
- ダビングできないBD/DVDが挿入された場合は「残0時間00分」あるいは空欄、再生のみ可能が表示されます。

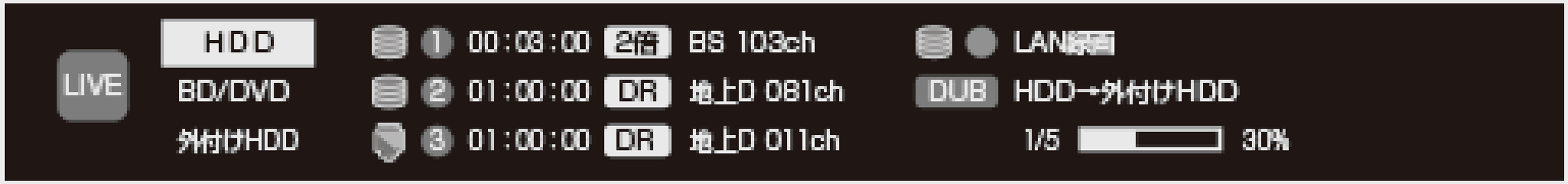
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

本機の動作や録画可能時間（残時間）を確認する

動作情報／ディスク情報の見かた

1. 動作情報またはディスク情報を表示させます
   - 【画面表示】ボタンを押す



2. 表示を切り換えます
   - 【画面表示】ボタンを押す ⇒ 押すごとに以下のように表示が切り換わります

①動作情報表示※
↓
②ディスク情報表示
↓
③通常画面に戻る

※本機の動作がライブ視聴のみのときは、動作情報は表示されません。

ヒント

- 市販のソフト再生中は、再生情報画面で再生中のディスク情報や映像出力情報が確認できます。（→3-6ページ）

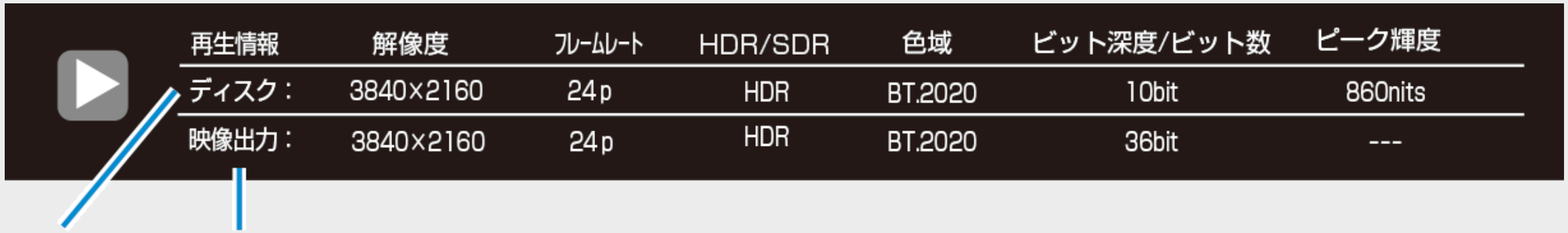
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

本機の動作や録画可能時間（残時間）を確認する

動作情報／ディスク情報の見かた(つづき)

1. 再生情報画面を表示させます
   - 市販のソフト再生時に【画面表示】ボタンを6秒以上長押しする



①ディスクの情報 ----- 再生中のディスクの情報を表示

②映像出力の情報 ----- 設定や接続環境に応じてHDMIから出力される映像情報を表示

※市販のソフト再生時に表示できます。それ以外のディスクでは表示できません。

2. 表示を消します
   - 【画面表示】、【終了】、【戻る】ボタンのいずれかを押す ⇒ 表示が消えます

お知らせ

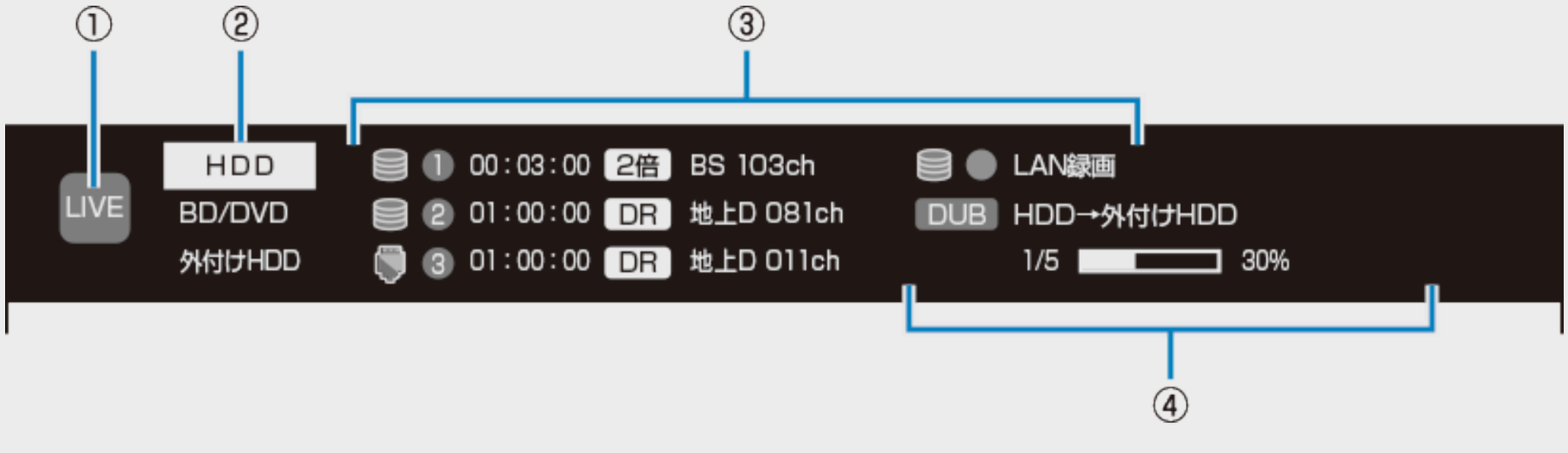
- ピーク輝度の値は、市販ソフトに含まれるコンテンツの最大輝度情報（CTA-861.3で定められているMaxCLL)を表示しています。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

本機の動作や録画可能時間（残時間）を確認する

動作情報／ディスク情報の見かた(つづき)



※上記の動作情報の画面は表示例です。

※再生時の動作情報には、画面下部にタイムバーが表示されます。タイムバーの見かたについては、4-99ページをご覧ください。

①動作状態

- ▶ 再生中（青いマーク）
- REC 録画開始時（赤いマーク）
- ■ 再生停止時（青いマーク）
- ■ 録画停止時（赤いマーク）
- LIVE 放送視聴中（青いマーク）

②モード状態

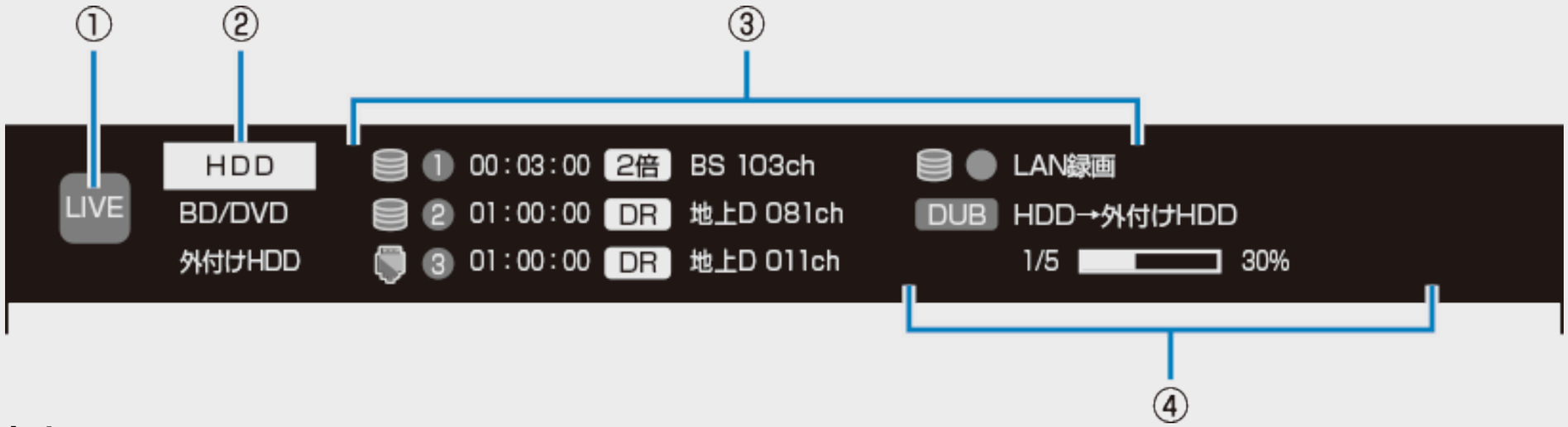
現在のモード（HDD、BD/DVD、外付けHDDのいずれか）が白またはオレンジ色で表示されます。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

本機の動作や録画可能時間（残時間）を確認する

動作情報／ディスク情報の見かた(つづき)



③録画情報

録画先のメディア、録画チューナー番号、録画カウンター、録画画質、チャンネルが確認できます。メディアアイコンの内容は以下の通りです。

内蔵HDD　　外付けHDD

④ダビングや初期化の進捗情報

バックグラウンドで実行中の進捗情報を示します。表示される内容は以下の通りです。

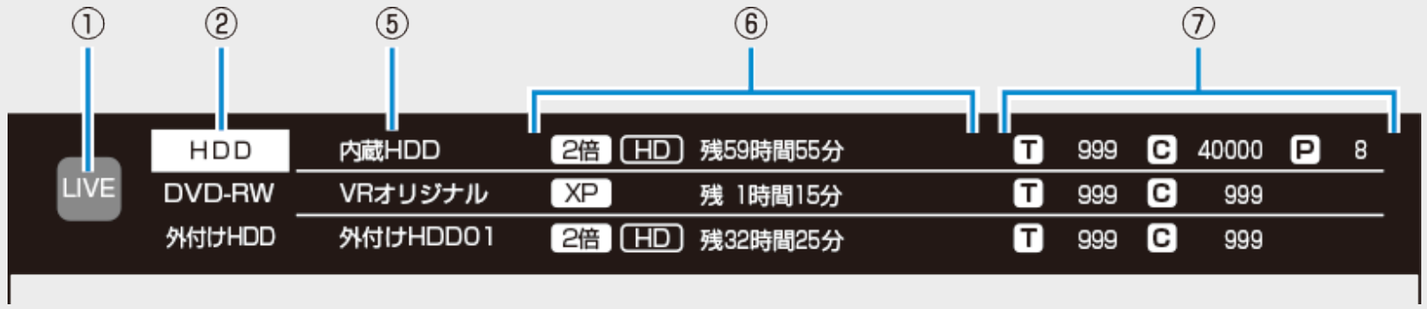
DUB ダビング　　FMT フォーマット　　FLZ ファイナライズ

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

本機の動作や録画可能時間（残時間）を確認する

動作情報／ディスク情報の見かた(つづき)



⑤使用できるメディアの名称・種類

本機にセットまたは接続されているBDや外付けHDDなどの名称・種類が表示されます。

⑥残量情報

録画画質と放送の種類（HD ハイビジョン放送、SD 標準テレビ放送）に基づく残時間（録画可能時間）が表示されます。

残時間が100時間以上あるときは「分」表示はされません。

ファイナライズしたビデオフォーマットのディスクやVRフォーマットのDVD-RW/Rを挿入したときは、「ファイナライズ済」などの表示になります（ディスクによって表示は異なります）。

⑦タイトル番号／チャプター番号／写真枚数

該当メディアの総タイトル数と総チャプター数が表示されます。

P はそのメディアに収録されている写真データ（静止画）の枚数を表します。写真データが未収録のときは空欄になります。

録画・予約録画

マニュアル録画画質を設定する

マニュアル録画画質設定による「HD○○」の画質を細かく設定できます。

- マニュアル録画画質、他の録画画質と録画時間の関係については13-8～13-15ページの表をご覧ください。

ご注意

- 「HD○○」の数字が大きいほど高画質で録画できますが、録画時間は減ります。

お知らせ

- 13-8～13-15ページの表の内蔵HDD（ハードディスク）の録画時間は目安です。録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質などの条件により表記時間を下回る場合があります。

メモ

- ダビング時の録画画質設定はダビング時に行います。

録画・予約録画

マニュアル録画画質を設定する

マニュアル録画画質「HD○○」を設定する

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

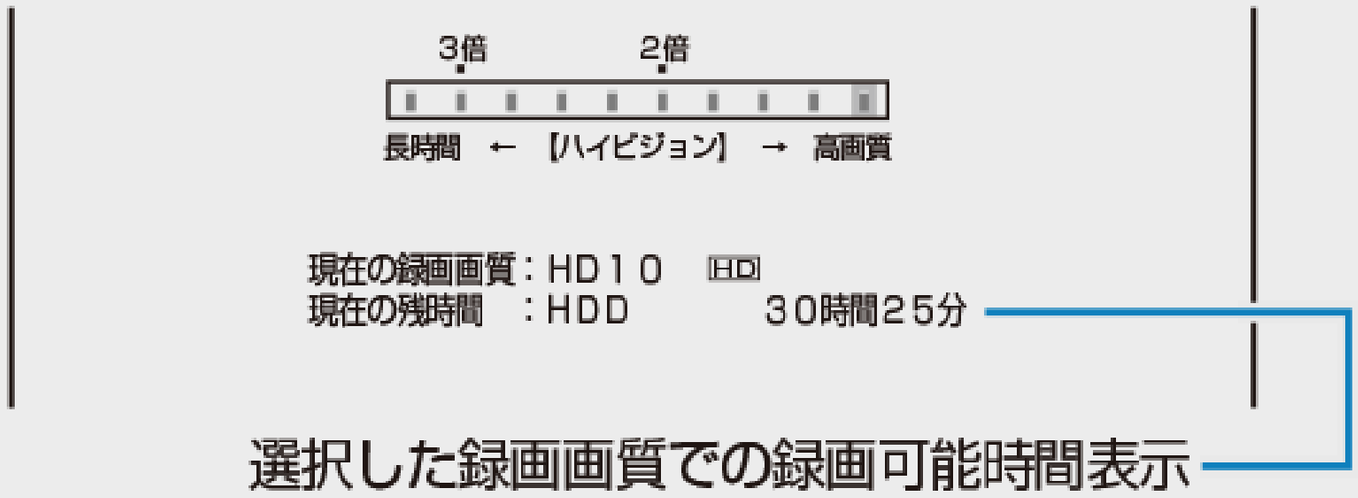
2. ①「 設定」を選んで決定します
   ②「 録画・再生設定」―「デジタル放送録画画質設定」を選んで決定します
   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

マニュアル録画画質を設定する

マニュアル録画画質「HD○○」を設定する(つづき)

3. 録画画質を設定します
   【左右カーソル】ボタンで選んで決定する



4. 設定画面を消すには
   【終了】ボタンを押す

録画・予約録画

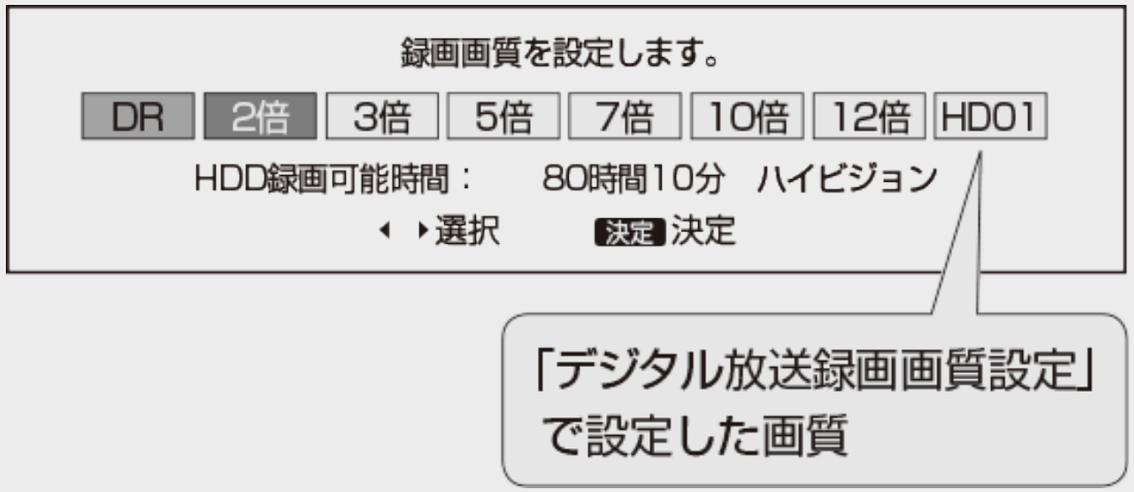
マニュアル録画画質を設定する

録画画質を選ぶ

1. 【ツール】ボタンを押し「録画画質設定」を選び決定します

2. 録画画質を選んで決定します

【左右カーソル】ボタンで選んで決定します。



録画・予約録画

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

今見ている番組をその場で内蔵／外付けHDDに録画します。

- 録画中にできること・できないことは11-1～11-4ページでご確認ください。
- スカパー! プレミアムサービスチューナーからの録画→3-113ページ
- ケーブルテレビ（CATV)をLANから録画→3-117ページ

ご注意

- 内蔵／外付けHDDの1回の録画の最長時間は12時間です。
- 録画、ダビングできる番組数（放送番組と動画アルバムの合計）
  内蔵HDD：3000タイトル／外付けHDD：3000タイトル※／BD：200タイトル／SeeQVault-HDD：3000タイトル※
  ※放送番組の合計数です。（BDやSeeQVault-HDDは放送を直接録画できません）
- 使いかたによっては、録画できる番組数が少なくなる場合があります。
- 録画ボタンでの録画中に同じチューナーでの予約録画が始まると、はじめの録画が停止します。（予約録画優先）
- 録画が禁止されている番組（→11-36ページ）や独立データ放送（→13-30ページ）は録画できません。
- 録画禁止の番組が始まったりデジタル放送の電波状況が悪くなると録画が停止・一時停止する場合があります。
- 外部チューナーなどから録画したデジタル放送番組は、「ダビング10」番組でも「1回だけ録画可能」番組として保存されます。

お知らせ

- 録画画質と録画される内容について詳しくは（→3-2ページ）をご覧ください。

ヒント

- オートチャプター機能を「おまかせ」にしておくと、再生時に飛ばし見ができるなど便利です。（→10-8ページ）

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

1. 録画先を選びます
   【HDD/BD】ボタンを押す
   - 電源を入れた時点ではHDDモードです。押すごとにモードが切り換わります。
     詳しくは「モードの切り換え」（→1-63ページ）をご覧ください。

2. 録画したい番組を選びます
   【地上】【BS】【CS】ボタンで切り換え、【選局】ボタンで選ぶ
   - リモコンの数字ボタンでも選局できます。

●録画画質を変更したいとき（→3-13ページ）
【ツール】ボタンを押し「録画画質設定」を選び決定します
変更したい録画画質を【左右カーソル】ボタンで選んで決定します。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）



3. 録画を始めます

【録画／らくらく予約】ボタンを押す

●外付けHDDモードのとき

⇒録画先の選択画面が表示されます。
録画先を選んで【決定】ボタンを押します。

- 録画中は「REC」ランプが点灯します。
- テレビ画面左上に REC マークが表示されます。

お知らせ

- BDやDVD、SeeQVault-HDDは放送を直接録画できません。内蔵HDDに録画した番組をダビングしてください。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）



4. デジタル放送の録画の場合、録画終了時刻を確認します

HDDにこの番組を最後まで録画します。
終了予定時刻　午後　9:00

⇒終了時刻になると、録画が自動停止します。

- 番組が延長しても番組の最後まで録画します。ただし、予約録画がある場合はそちらが優先されます。
- 以下の場合は番組終了時刻が設定されず、メッセージが表示されません。【停止／録画停止】ボタンを押し、「する」を選んで【決定】ボタンを押して録画を止めてください。
  - 録画開始時に番組の終わりまでが12時間を超える番組
  - 録画終了時刻と重複する予約があるとき
  - ディスク残量が不足するとき

ヒント

- 最大録画数の番組を録画中に別番組を視聴したいときは、テレビのチャンネルを変えてください。（→3-19ページ）
- 録画しながら就寝したり、外出する場合など、テレビの電源を切っても録画には影響しません。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

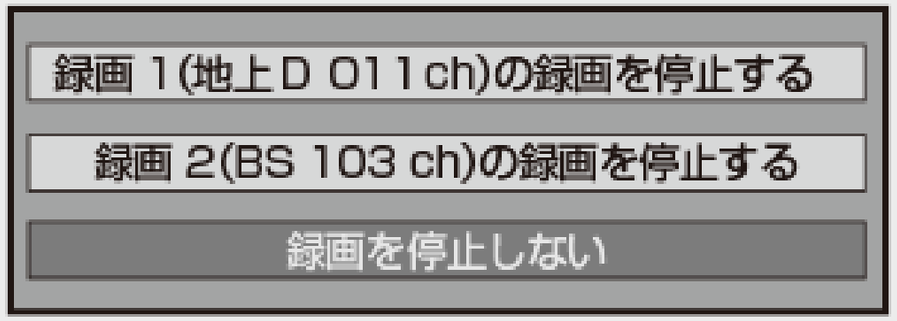
放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）



●終了時刻より前に録画を終わりたいとき

⇒【停止／録画停止】ボタンを押し、「する」を選んで【決定】ボタンを押してください。

- 複数番組同時録画（→3-56～3-59ページ）やダビングを同時に行っているときは停止の選択画面が表示されますので、停止したい録画を選んで決定します。



●終了時間を変更したいとき→3-21ページ

録画・予約録画

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）



録画中に別番組を見る

- 録画中に別の番組を視聴したいときは、テレビのチャンネルを切り換えます。
- 本機のリモコンでテレビのチャンネルを切り換えたいときは、あらかじめテレビメーカー設定を行ってください。
（設定は同梱の取扱説明書29ページをご覧ください）

本機のリモコンで操作する

1. 【テレビ操作】ボタンを押します

2. 視聴したい番組を選びます

【地上】【BS】【CS】ボタンで切り換え、【選局】ボタンで選ぶ

- リモコンの数字ボタンでも選局できます。
- 録画はそのまま継続されています。

録画・予約録画

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）



録画中に別番組を録画（視聴）する

本機では3番組を同時に録画することができます。

- 2番組を録画中は本機のチャンネルを切り換えて別番組を録画（視聴）できます。
- 3番組を録画中は録画中のチャンネルのみの切り換え操作となります。

1. 録画中に、同時に録画（視聴）したい番組を選びます

2. 録画を始めます

   【録画／らくらく予約】ボタンを押す

   - 「この番組の録画を行う」を選んで決定します。
     ⇒同時録画が始まります。
   - デジタル放送の録画の場合、録画終了時刻を確認します。

録画・予約録画

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）



録画終了時刻を変更するには

1. 終了時刻設定画面を表示させます

   録画中に【録画／らくらく予約】ボタンを押す

   - 終了時刻を変更したい録画を選んで決定します。
   - 複数番組を同時録画中は、終了時刻を設定する選択画面が表示されますので、そこから選んでください。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）



録画終了時刻を変更するには(つづき)

2. 終了時刻を選んで決定します（15分単位）



⇒終了時刻になると、録画が自動停止します。

- 番組が延長しても番組の最後まで録画したいときは「この番組の最後まで」を選んでください。（電子番組表で番組情報が取得できていない場合は設定できません）
- 設定した終了時刻を解除したいときは「設定しない（解除）」を選んでください。

●終了時刻より前に録画を終わりたいとき

⇒【停止／録画停止】ボタンを押し、「する」を選んで【決定】ボタンを押してください。

録画・予約録画

電子番組表（Gガイド）で予約する

電子番組表（Gガイド）から選ぶだけで、7日先までのデジタル放送の予約録画ができます。

・日時指定予約については3-39ページをご覧ください。

ご注意

- Wi-Fi転送用動画は1番組のみ録画されます。
- 番組表を使用した同時刻、同一番組の複数予約は行えません。

メモ

- HDD（ハードディスク）の残量が少なく録画しきれないときはタイトル消去（→4-125～4-134ページ）を行い、録画可能時間を増やしてください。
- 予約録画をする前に予約したい放送局が映っていることを確認してください。

ヒント

- 電子番組表（Gガイド）予約では予約した放送が延長されると録画も延長されます。（→3-35ページ）
- 予約後にお出かけになるときや、就寝中に予約録画が行われる場合は、本機とテレビの電源を切ってください。電源を切っても予約録画は働きます。（本機のコンセントは抜かないでください）

録画・予約録画

電子番組表（Gガイド）で予約する



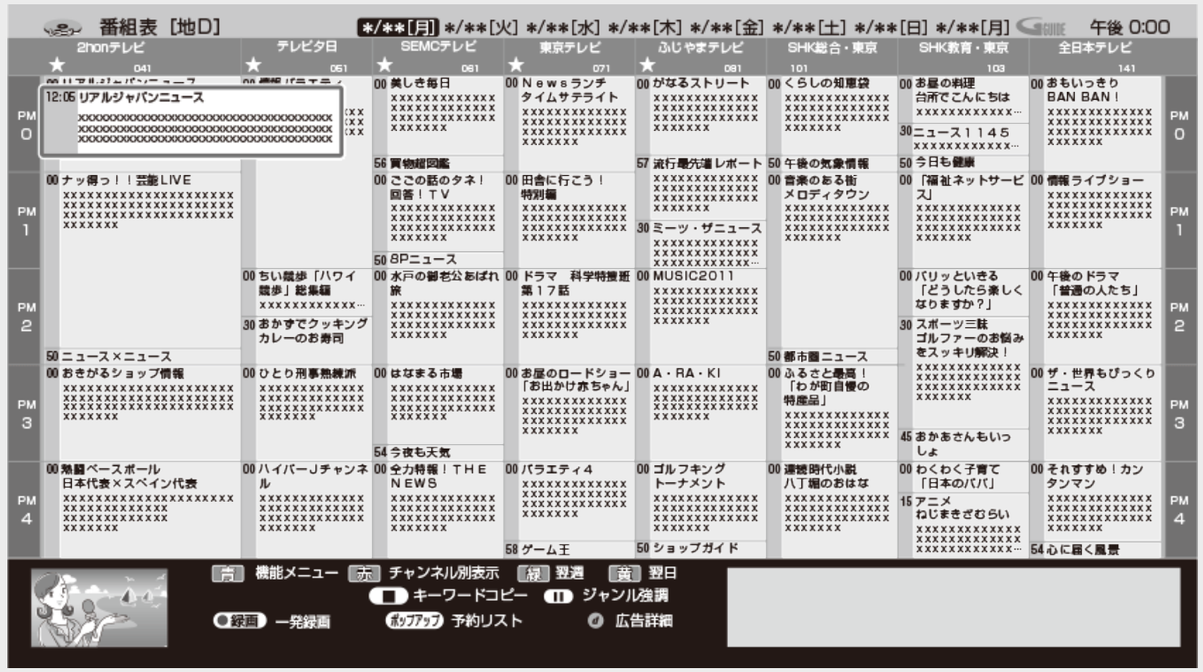
録画予約をする

1. 予約したいデジタル放送を選びます

   【地上】【BS】【CS】ボタンで選ぶ

2. 番組表を表示させます

   【番組表／予約】ボタンを押す



次ページへつづく⇒

録画・予約録画

電子番組表（Gガイド）で予約する



録画予約をする(つづき)

3. 予約する番組を選びます



放送局を選ぶ

◀ ▶ 放送局の続きがあります

ヒント

直接放送局を選びたいときは

- 予約したい放送局の番号を数字ボタンを入力し呼び出します。
- 【地上】【BS】【CS】ボタンを押すと、それぞれの放送が表示されます。
- 全放送ネットワークを同時に表示することもできます。

放送時間を選ぶ

▼ 7日間先までの続きがあります

ヒント

表示される時間帯や日にちを変更したいとき

- 【前】【次】ボタンを押すとページの戻し／送りができます。
- 翌日（【黄】ボタン）、前日（【緑】ボタン）の番組表に切り換えることができます。

次ページへつづく⇒



録画予約をする(つづき)

4. 予約内容を設定します

●予約内容を自動で設定するとき

【録画／らくらく予約】ボタンを押す ⇒ 手順7へ

- 予約内容は以下の設定となります。
- 録画先：「HDD」
- 連動データ：「連動データ記録設定」に従い記録されます。
  →10−9ページ
- フォルダー設定：「設定しない」
- 保存設定：「設定しない」
- 転送用動画記録設定：「記録しない」
- 繰り返し予約：「今回のみ予約」

●予約内容を手動で設定するとき

【決定】ボタンを押す ⇒ 手順5へ

外付けHDDに予約したり、毎日・毎週予約やドラ丸予約設定、録画画質の変更などが行なえます。

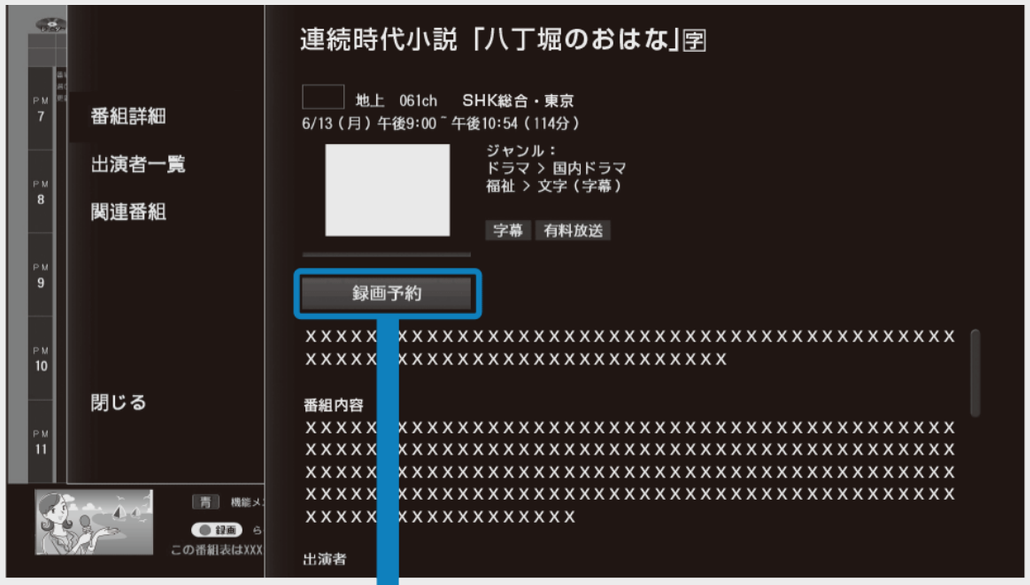
- 電子番組表（Gガイド）の使い方について詳しくは2−24〜2−51ページをご覧ください。

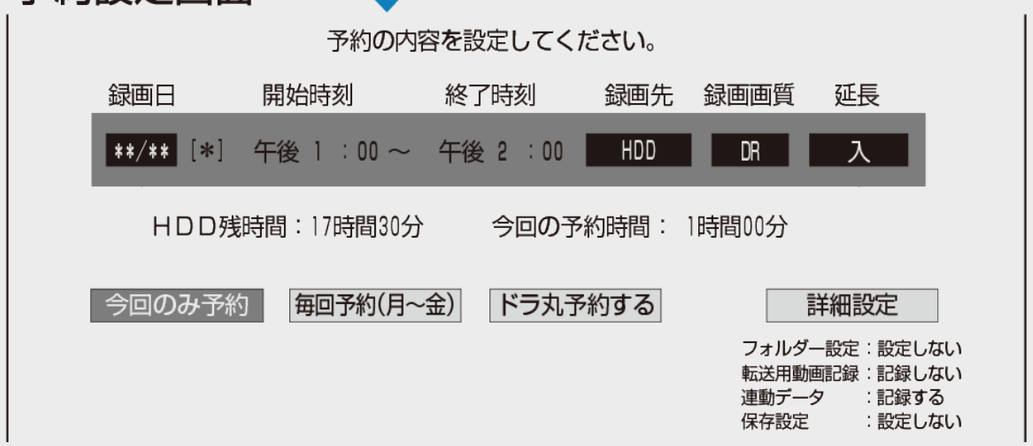
次ページへつづく⇒



録画予約をする(つづき)

5. 録画予約で決定します
   - 予約設定画面が表示されます





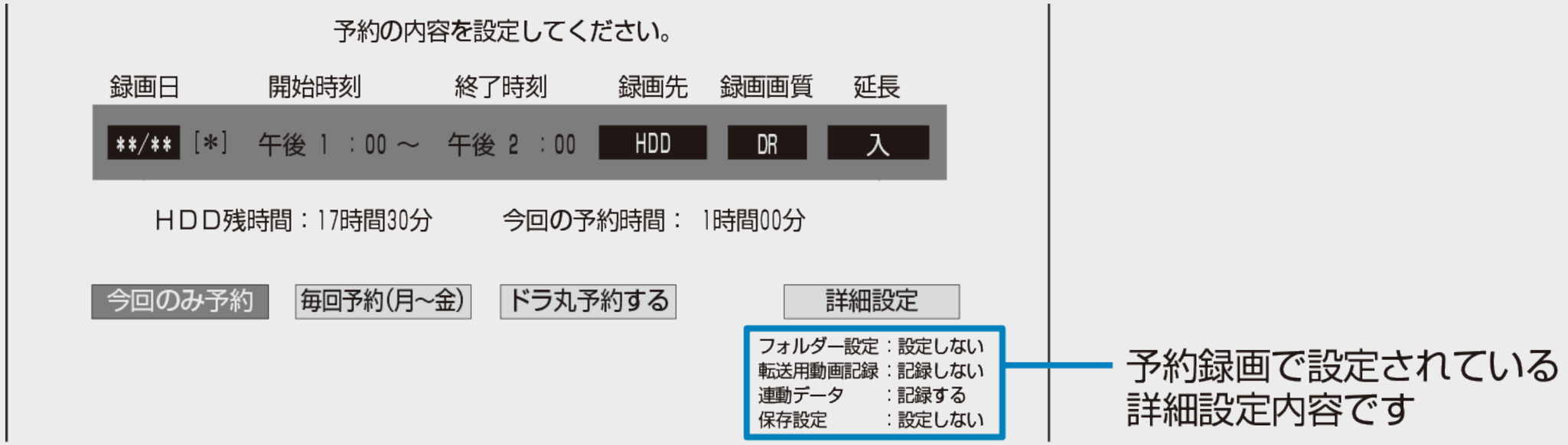
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

電子番組表（Gガイド）で予約する

録画予約をする(つづき)

6.「今回のみ予約」、「毎回予約」、「ドラ丸予約する※」、「詳細設定」のいずれかを選んで決定します



●予約を完了するとき
「今回のみ予約」を選んで決定します⇒選択した番組の予約が完了し、前の画面に戻ります

●毎回予約に変更したいとき
「毎回予約（●～●）」を選んで決定します⇒予約が完了し、前の画面に戻ります
※番組表の情報から毎日または毎週予約が自動的に選択されます。

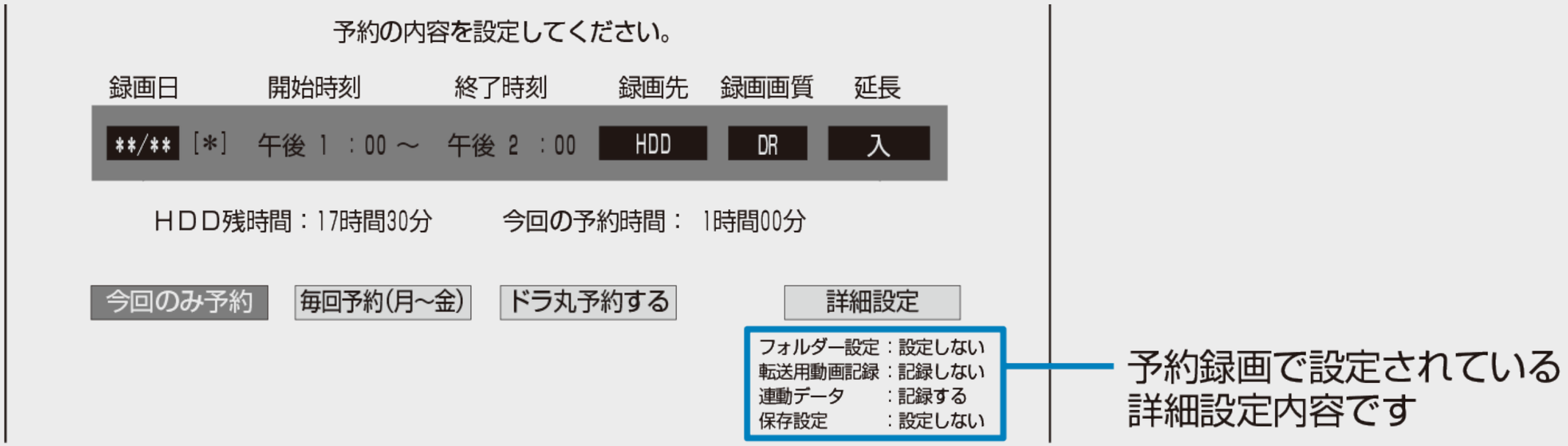
●ドラ丸予約に登録したいとき
「ドラ丸予約する」を選んで決定します⇒予約が完了し、前の画面に戻ります
※ドラ丸設定（3-94ページ）が「入」のときに設定できます。設定できる番組はドラ丸設定で録画対象に設定している地上／BS デジタル放送の連続ドラマ、アニメ、バラエティ番組です。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

電子番組表（Gガイド）で予約する

録画予約をする(つづき)



●詳細設定をしたいとき
「詳細設定」を選んで決定します⇒詳細設定画面になります（→3-54ページ）

- 詳細設定できる項目は「詳細設定」ボタンの下に表示される項目です。
  詳細設定項目について詳しくは3-47～3-53ページをご確認ください。

●「録画日」、「録画先」や「録画画質」などを変更したいときは、【上下左右カーソル】ボタンで変更したい項目を選び設定し直します。

●【緑】ボタン（日時変更）を押すと「録画開始時刻」、「録画終了時刻」を変更できます。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

電子番組表（Gガイド）で予約する

録画予約をする(つづき)

7. 別の番組を予約するときは、【戻る】ボタンを数回押して番組一覧表示にし、手順3～6を繰り返します
    - 130番組まで予約できます。（ドラ丸含む）

●予約録画時間が重なる番組を選んだときは

⇒予約重複画面が表示されます。
- 予約の重複について詳しくは、3-61ページをご覧ください。

ヒント

●「ドラ丸予約する※」を選んだとき

⇒連続ドラマ、連続アニメ、連続バラエティ番組を選んだときに「ドラ丸リスト」に登録できます。
（詳しくは、3-102ページをご覧ください）
※ドラ丸設定（3-94ページ）が「入」のときに設定できます。設定できる番組はドラ丸設定で録画対象に設定している地上デジタル放送、BSデジタル放送の連続ドラマ、アニメ、バラエティ番組です。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

電子番組表（Gガイド）で予約する

録画予約をする(つづき)

8. 番組表を消します

【終了】ボタンを押す

- 【終了】ボタンを押さずに「録画予約変更／取消」を選ぶと設定された予約の「取り消し」や「変更」、「ドラ丸予約」設定が行なえます。

⇒開始時刻になると録画が始まり、RECランプが赤点灯します。

●電源を切った状態で予約録画を行ないたいときは
⇒録画予約を設定した後、電源を切ります。

●予約録画中、予約録画終了後に電源を切りたいときは
⇒予約録画中に電源ボタンを押します。

- 予約録画中に【電源】ボタンを押しても録画が続行し、終了後自動で電源が切れます。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

電子番組表（Gガイド）で予約する

録画予約をする(つづき)

■連続した番組を予約録画するとき

連続した番組や重複している番組を予約したとき、本機は「録画1」、「録画2」または「録画3」に自動的に予約設定されます。



お知らせ

- 連続した番組が同じ録画先として予約録画されたときは、次の予約に切り換える準備のために、前の番組の最後の数十秒が録画されません。

■設定した予約を取り消したいとき

■予約の設定内容を変更したいとき

⇒番組表から取り消し／変更したい予約番組を選んで決定します。

取り消す	予約が取り消されます。
変更する	予約内容の変更・確認ができます。→3-41ページ
変更しない	番組表に戻ります。

次ページへつづく⇒

録画予約をする(つづき)

ご注意

- 録画開始時刻の2分前を過ぎると、番組表から予約の変更はできません。予約を取り消したいときは、予約リストから取り消しをしてください。

■次回の録画予約状態を確認したいとき

予約リストで確認できます。
→3-64ページ

- 次回の予約が正しく設定されていないときは「（次回該当番組なし）」と表示されます。予約名を次回予約の番組名などに変更してください。
→3-47ページ

■予約録画が中断したとき（最後まで録画されないとき）

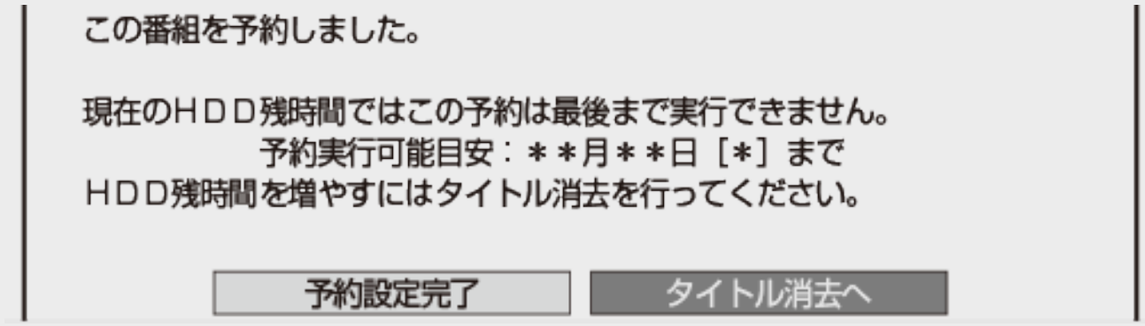
放送電波の受信感度が落ちた場合、録画が中断されることがあります。
本機の受信機レポートでご確認ください。
本機に関連したレポートを読むことができます。

- 詳しくは9-16ページをご覧ください。

HDD（ハードディスク）の残量が不足している場合

タイトルを消去する

3-26ページの手順4で以下のような画面になる場合はHDDの残量が足りません。不要なタイトルを消してHDDの残量を増やしてください。



1. 「タイトル消去へ」を選んで決定します
   ⇒タイトル消去画面が表示されます。（タイトル消去について詳しくは4-125ページをご覧ください）

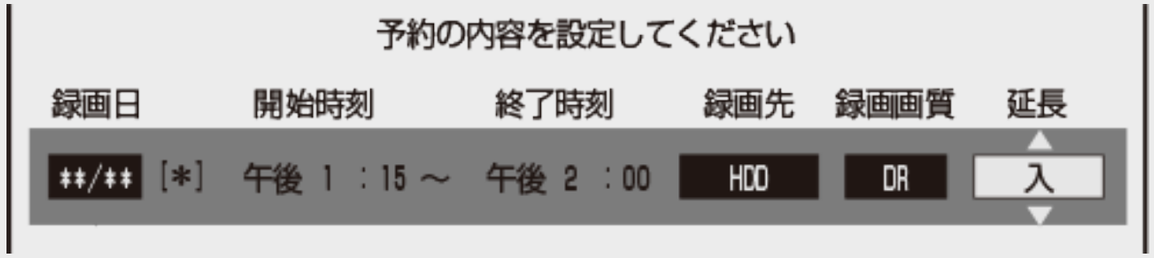
録画・予約録画

電子番組表（Gガイド）で予約する

デジタル放送の延長予約について

スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組の場合、予約録画の終了時刻を延長できます。

- 電子番組表（Gガイド）で予約した場合は「延長」が自動的に「入」に設定されます。



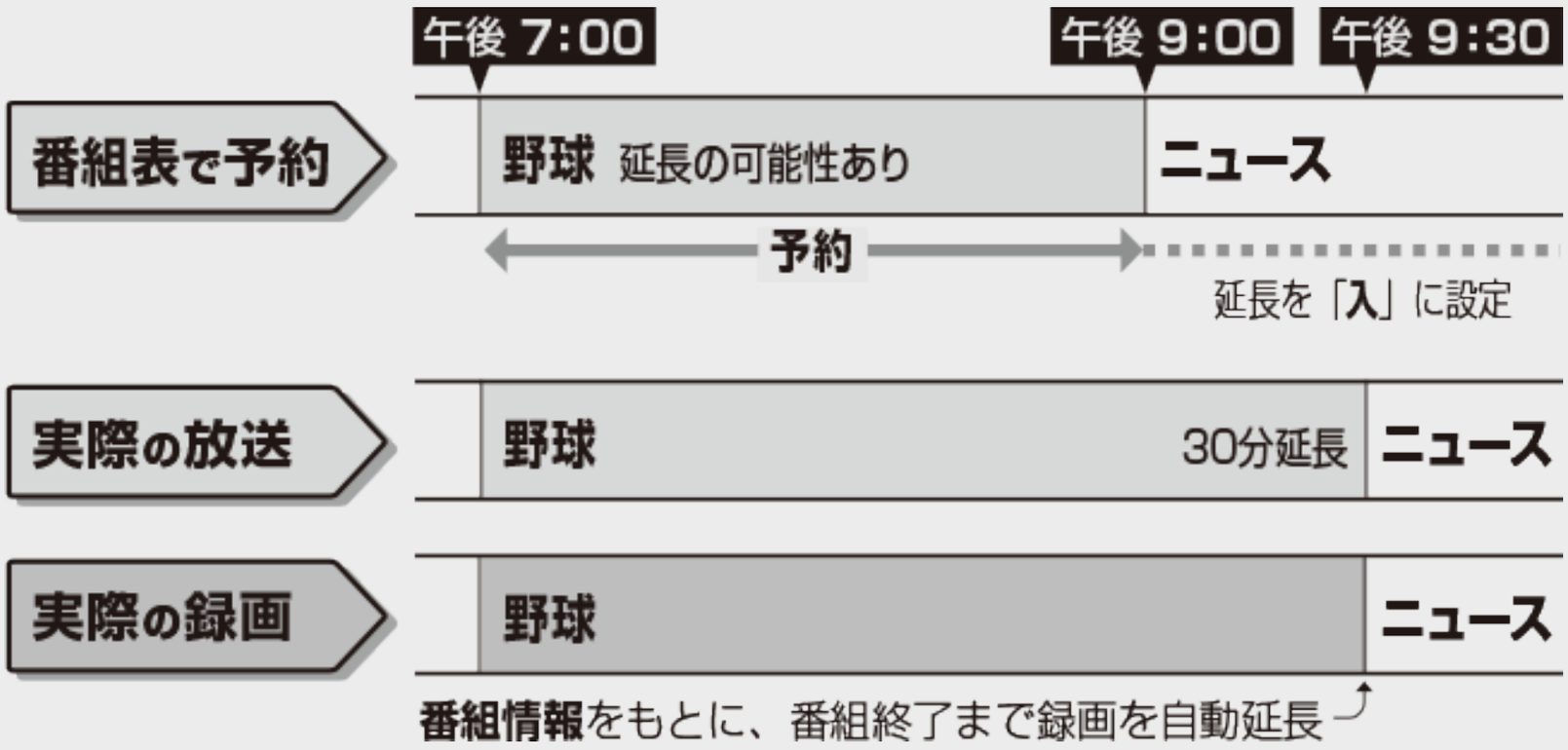
- 放送時刻が延長されて他の予約と重なった場合は、録画開始時刻の早い予約が優先されます。重なった予約が実行されない、または番組途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは延長に対応できません。
- 繰り返し予約の場合、番組表の内容によっては延長に対応できない場合があります。
- 録画している番組の放送時刻が延長になり直後の予約と重複する場合（3番組録画中）、延長した番組が終了するまで予約が開始されない場合があります。

延長を「入」にした場合

番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。

- イベントリレーサービスの場合にも自動的に追従しますが、別タイトルとして録画されます。

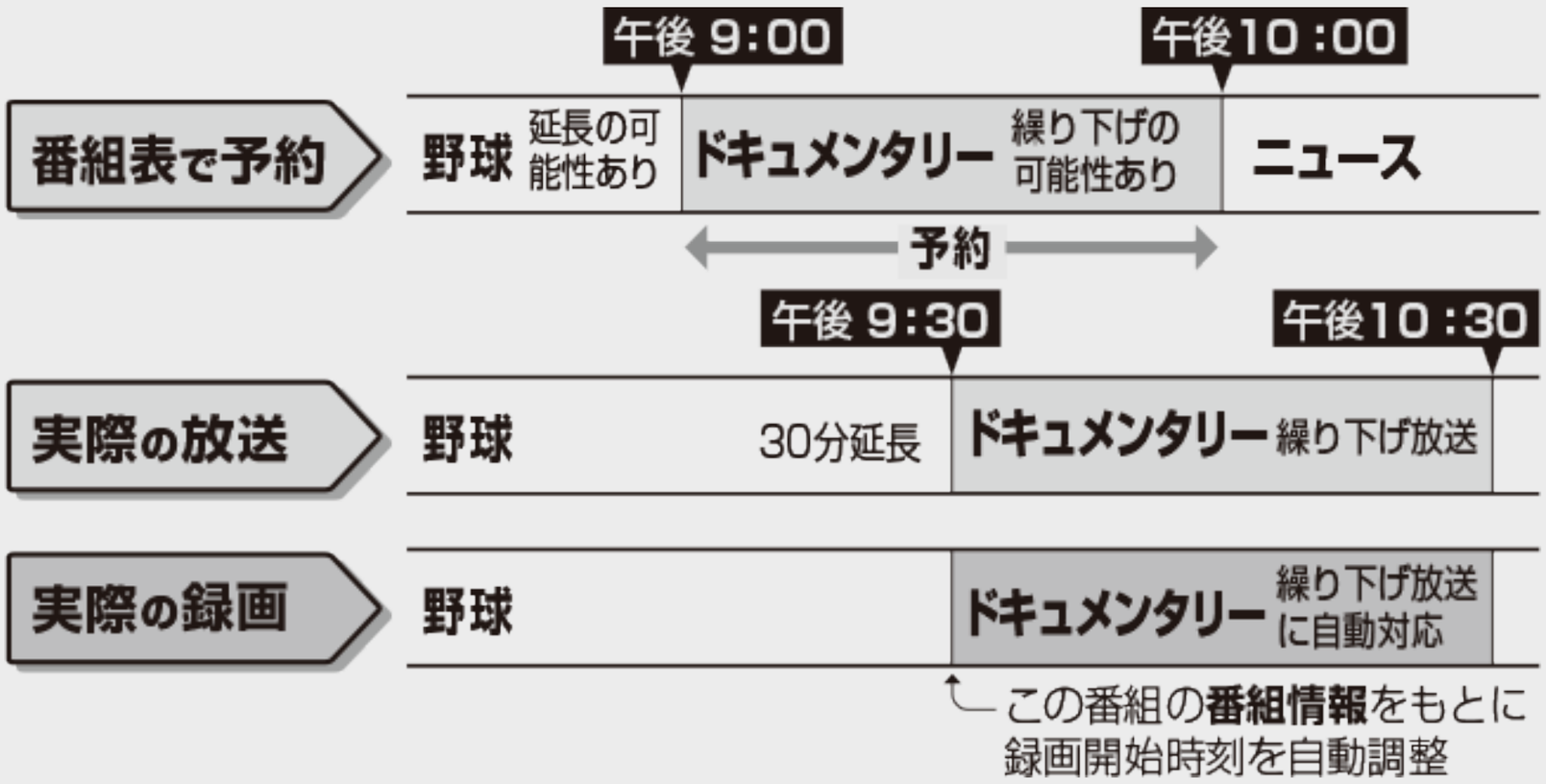
スポーツ番組を延長「入」で予約録画したとき



前の番組が延長された場合

前の番組が延長されて予約録画した番組が繰り下げられたときでも、録画時刻を自動的に変更します。（3時間までの変更に対応）

繰り下げの可能性がある番組を予約録画したとき



ご注意

- 前の番組が延長されて予約の重複が起こった場合は、いずれかの予約が休止になります。

録画・予約録画

電子番組表（Gガイド）で予約する

繰り返し予約

電子番組表（Gガイド）から連続ドラマなどを毎週（毎日）予約すると、放送開始時刻が変わったり番組放送時間が拡大されたときでも自動的に対応します。（初回予約時の開始時刻の前後3時間以内で類似した番組名を検索します）

- 他の予約との重複条件により繰り返し予約が行われない場合があります。（予約リストに「他の予約と重なるため休止しました」と表示されます）



ヒント

次回の予約が正しく設定されないときは、番組名（予約名）を変更してください。

- デジタル放送の繰り返し予約は番組名をキーワードとして予約設定します。予約が正しく設定されていないときは「（次回該当番組なし）」と表示されます。予約名を次回予約の番組名などに変更してください。
- 予約名の変更は、「詳細設定」の「予約名設定・変更」で行ってください。（→3-47ページ）

ご注意

- 他の予約との重複条件については、3-56ページをご覧ください。

録画・予約録画

日時を指定して予約する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

電子番組表（Gガイド）を使わず、放送日時とチャンネルを指定してデジタル放送を予約録画します。

ご注意

- 番組が始まる3分前までに予約を完了してください。

お知らせ

- 内蔵／外付けHDDに最大12時間まで連続録画できます。
- 予約録画に関する注意事項→11-1～11-4 、12-19～12-25ページ

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

日時を指定して予約する



1. 「予約する」画面を表示させます

   【ホーム】ボタンを押し、ホーム画面から「予約する」を選ぶ

   - 電子番組表で【青】ボタンを押し、機能メニューから「日時指定予約」を選ぶこともできます。

2. 「予約する」―「日時指定予約」を選んで決定します

   - ホームメニューの操作について詳しくは1-24ページをご覧ください。
   - ドラ丸を含め130件を超える録画予約をしようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。
     →3-64ページ

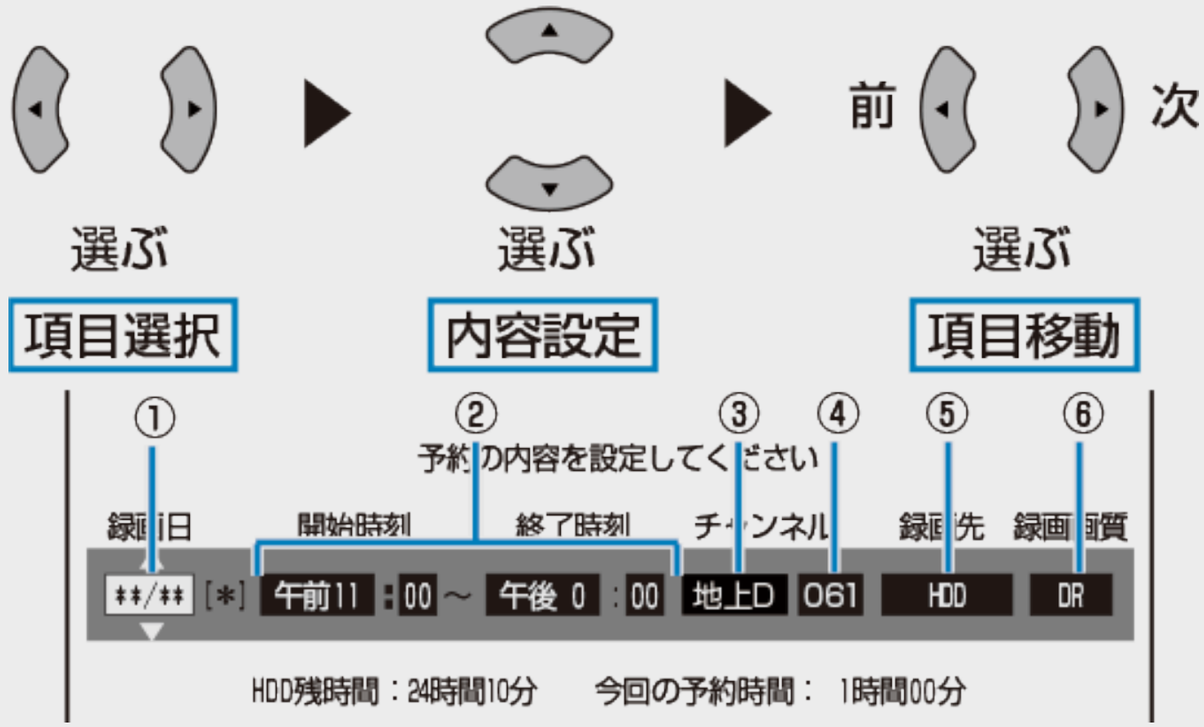
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

日時を指定して予約する



3. 予約内容を設定していきます



次ページへつづく⇒

録画・予約録画

日時を指定して予約する



■予約内容の設定項目

①録画日

今日の日付 ⟷ 明日の日付 …… 1年後の前日の日付

毎週日曜 … 毎週土曜 ↔ 毎日 ↔ 月～土 ↔ 月～金 ↔ 月～木

毎日予約したいときは、【青】ボタンを押す

毎日 → 月～土 → 月～金 → 月～木

毎週予約したいときは、【赤】ボタンを押す

毎週日曜 → 毎週月曜 …… 毎週金曜 → 毎週土曜

- 日付を入力し直すときは、【緑】ボタンを押す
- 番組表から予約したとき、【緑】ボタン（日時変更）を押すまでは、日付は番組表で選択した日付、毎週予約は番組表で選択した曜日のみとなります。

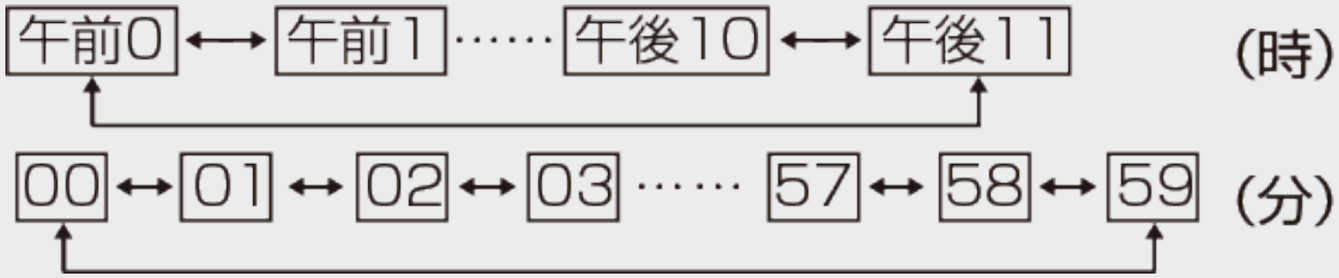
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

日時を指定して予約する

■予約内容の設定項目(つづき)

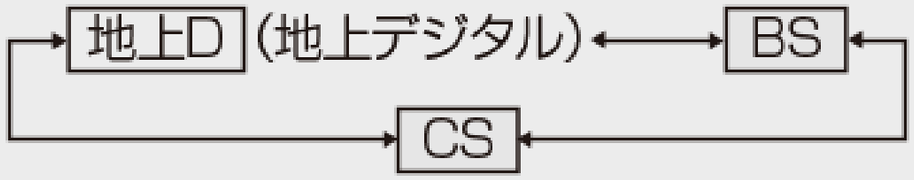
②録画開始時刻・終了時刻



- 録画開始時刻の2分前をきったときは、「予約可能時間を超過しました。予約できません。」の表示が出ます。予約開始時刻を現在時刻より3分以上あけて設定し直してください。

③放送の種類

- 番組表から予約した番組は、放送の種類は表示されません。



次ページへつづく⇒

■予約内容の設定項目(つづき)

④チャンネル

- 選んだ放送によって異なります。
- 番組表から予約した番組は、チャンネルは表示されません。

⑤録画先



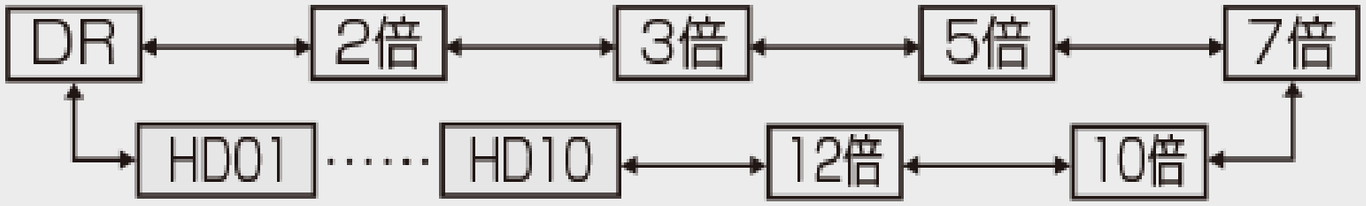
- 「外付けHDD」は外付けHDDが使用可能な場合のみ選択できます。

次ページへつづく⇒

■予約内容の設定項目(つづき)

⑥録画画質

デジタル放送を予約したとき



※「録画画質を選ぶ」(→3-13ページ)で選んだ録画画質が初期値となります。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

日時を指定して予約する



4. 設定内容を確認して「完了」を選んで決定します
   - 各設定項目を選択している状態で【決定】ボタンを押しても、「完了」を選ぶことができます。
   - 「詳細設定」を選ぶと、さらに詳細な設定ができます。
     →3-47ページ
   - 予約の重複について
     →3-57ページ
   - HDDの残量が足りないとき
     →3-34ページ
5. 【終了】ボタンを押して終了します

   ⇒ 開始時刻になると録画が始まります。

録画・予約録画

予約に関する詳細設定をする

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

録画予約時、以下のような便利な詳細設定ができます。

設定できる項目

予約名設定・変更

番組の予約名を変更／入力することができます。繰り返し予約ではこれが番組検索のキーワードになります。

- 録画した番組のタイトル名は変更されません。

(1) 詳細設定画面(→3-52ページ)で「予約名設定・変更」を選んで決定します。
(2) 「変更する」を選んで決定します。
(3) 文字を入力・確定します。(入力のしかた→5-69ページ)

次ページへつづく⇒

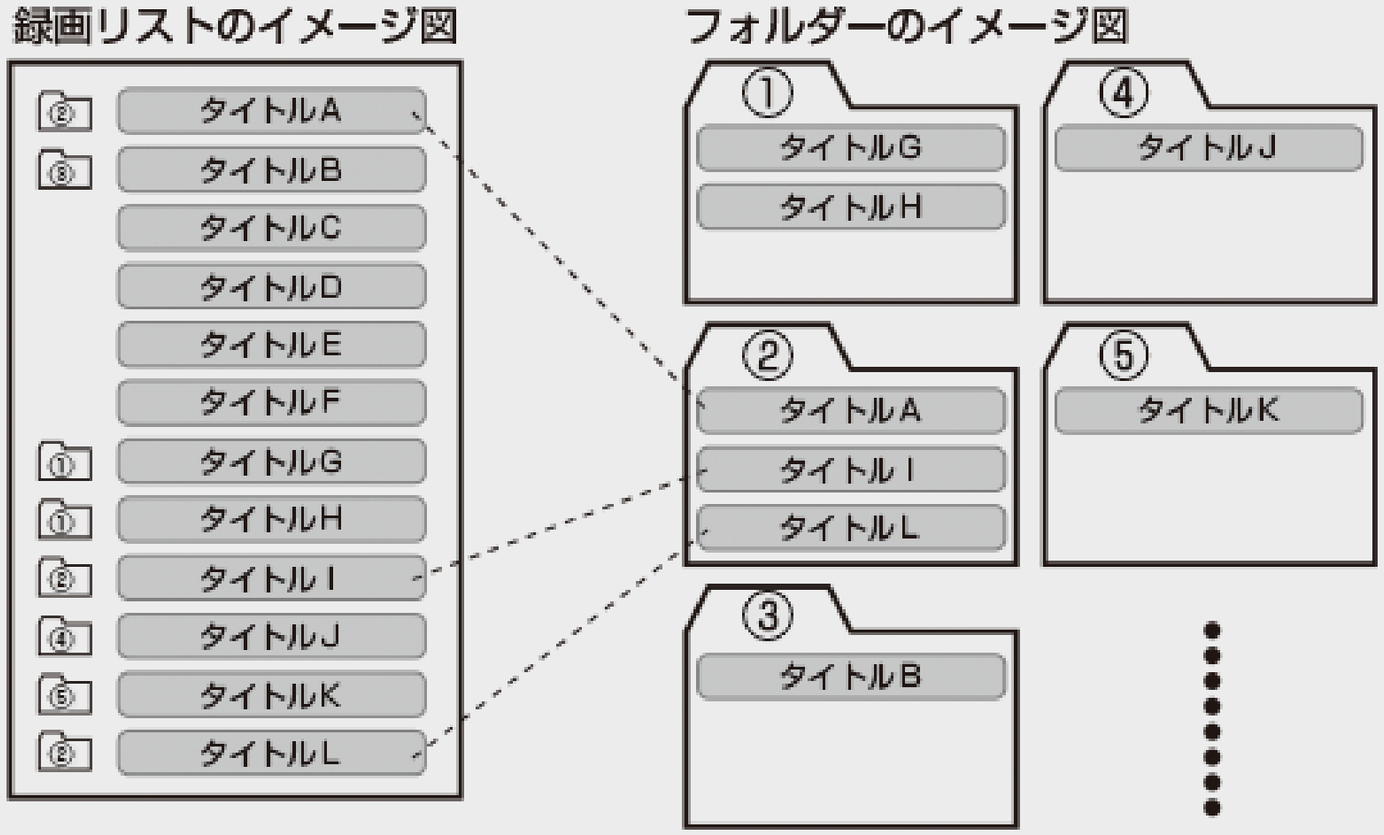
録画・予約録画

予約に関する詳細設定をする

設定できる項目(つづき)

フォルダー設定

録画予約する番組を20フォルダーに分けて分類・整理できます。



(1)詳細設定画面(→3-52ページ)で「フォルダー設定」を選んで決定します。
(2)「フォルダー1～20」のいずれかまたは「設定しない」を選んで決定します。

次ページへつづく⇒

設定できる項目(つづき)

転送用動画記録設定

予約録画した番組をスマートフォンに転送・再生することができます。

- 予約録画と同時にスマートフォン用の動画が内蔵HDDに記録されます。
  転送のしかたは8-31ページをご覧ください。
  (1) 詳細設定画面(→3-52ページ)で「転送用動画記録設定」を選んで決定します。

  (2)「記録する」を選んで決定します。
- Wi-Fi転送用動画は、1番組のみ録画されます。
- 「転送用動画記録設定」を「記録する」に設定しても、3番組録画中など本機の動作状態によっては転送用動画が録画されない場合があります。

次ページへつづく⇒

設定できる項目(つづき)

連動データ設定

デジタル放送を録画する場合、テレビ放送と同時に送られてくる連動データ放送を録画(記録)するかどうかを、予約番組ごとに個別設定することができます。

(1) 詳細設定画面(→3-52ページ)で「連動データ設定」を選んで決定します。
(2)「記録する」あるいは「記録しない」を選んで決定します。

- 通常は「ホーム」—「設定」—「録画・再生設定」—「連動データ記録設定」で設定されている内容で録画されます。(→10-9ページ)

次ページへつづく⇒

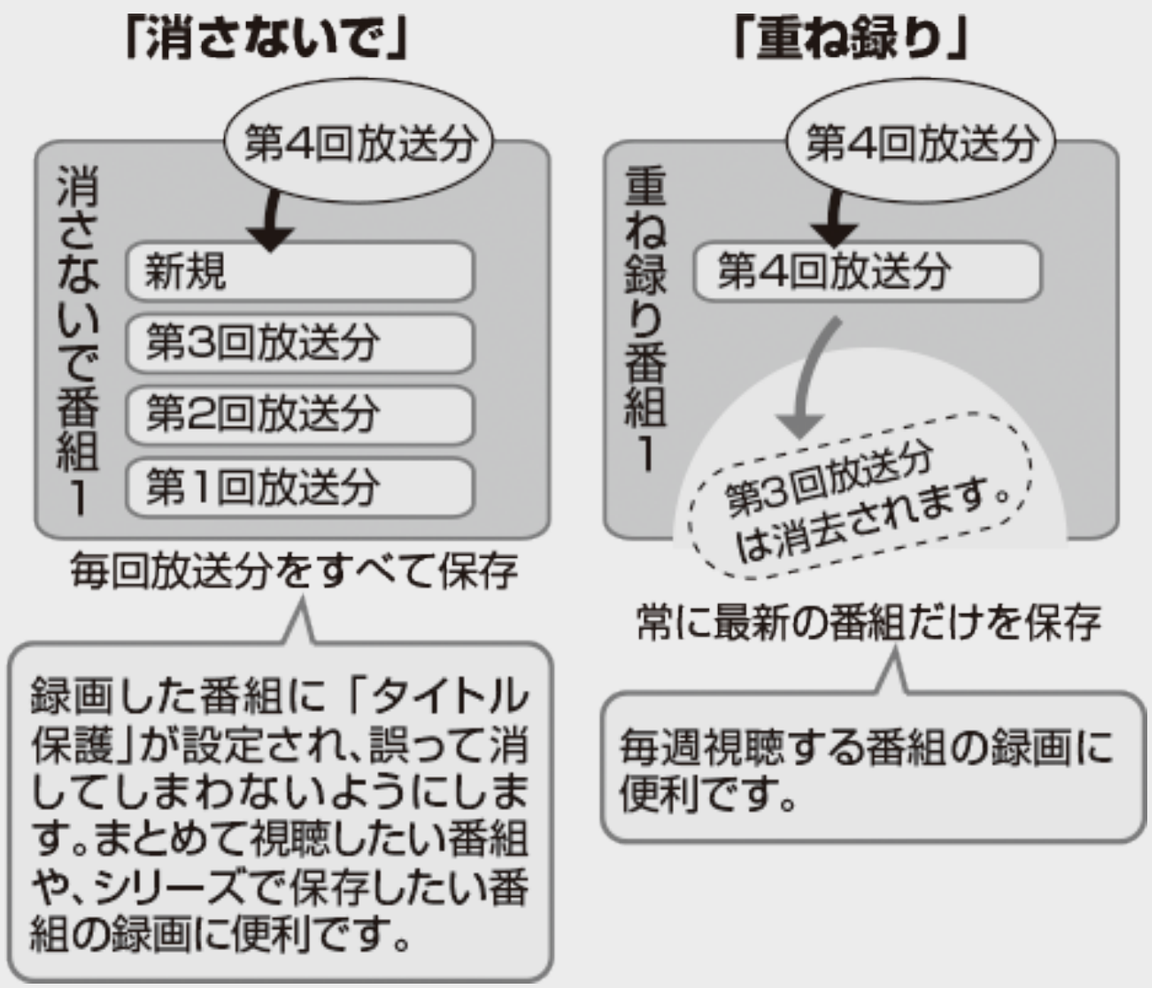
録画・予約録画

予約に関する詳細設定をする

設定できる項目(つづき)

保存設定

録画した番組の保存方法を設定できます。



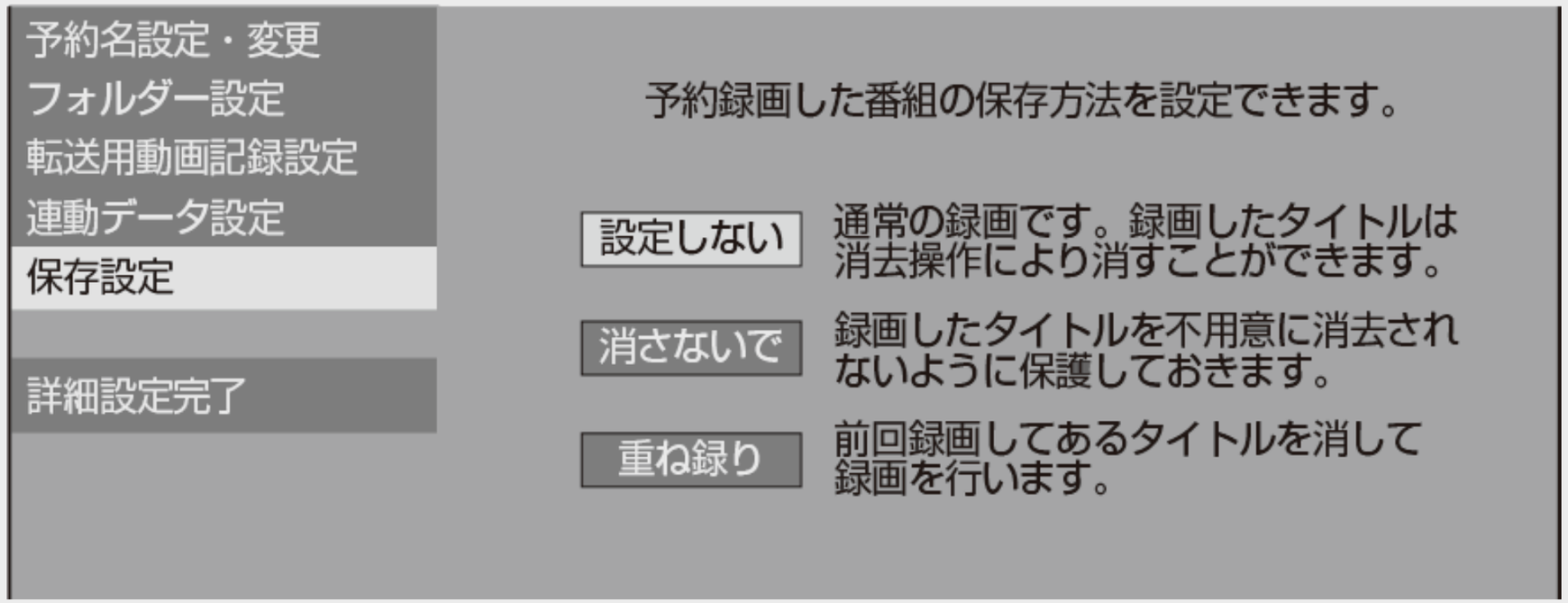
次ページへつづく⇒

予約に関する詳細設定をする

設定できる項目(つづき)

例）保存設定を選んだ場合

(1)詳細設定画面で「保存設定」を選んで決定します。
(2)「消さないで」あるいは「重ね録り」を選んで決定します。



- 録画後に「消さないで」を解除したい場合は、「タイトル保護設定」(→4-118ページ)で「保護解除」します。
- 「重ね録り」は毎日・毎週予約録画をするタイトルを選んだときだけ設定できます。
- 「重ね録り」で録画した番組を再生中に「重ね録り」 設定されている予約が始まったときは再生が停止し、その番組は重ね録りされます。

録画・予約録画

予約に関する詳細設定をする

条件別の設定可能項目一覧

■内蔵HDDに予約録画する場合

- 予約名設定・変更
- フォルダー設定
- 転送用動画記録設定
- 連動データ設定
- 保存設定

■外付けHDDに予約録画する場合

- 予約名設定・変更
- フォルダー設定
- 連動データ設定
- 保存設定

録画・予約録画

予約に関する詳細設定をする



詳細設定のながれ

1. 各録画予約画面で「詳細設定」を選んで決定します
   【左右カーソル】ボタンで選択、【決定】ボタンで決定

予約の内容を設定してください。

録画日	開始時刻	終了時刻	録画先	録画画質	延長
/ [*]	午後 1 : 00 ～	午後 2 : 00	HDD	DR	入

HDD残時間：17時間30分　　今回の予約時間： 1時間00分

今回のみ予約　毎回予約(月~金)　ドラ丸予約する　詳細設定

フォルダー設定 ：設定しない
転送用動画記録 ：記録しない
連動データ ：記録する
保存設定 ：設定しない

- 予約完了後に設定したい場合は、予約リスト画面から「変更する」を選んでください。
  （→3-64～3-73ページ）

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

予約に関する詳細設定をする



詳細設定のながれ(つづき)

2. 設定項目を選んで決定します
【上下左右カーソル】ボタンで選択、【決定】ボタンで決定
   - 予約録画の条件によって選べる項目が異なります。
(→3−53ページ)

3. 各項目を設定します
→3−42～3−45ページ

4. 設定が終わったら「詳細設定完了」を選んで決定します
【上下左右カーソル】ボタンで選択、【決定】ボタンで決定
   - 予約の重複について
→3−57ページ
   - HDDの残量が足りないとき
→3−34ページ

   ⇒ 電子番組表(Gガイド)などが表示されます。

5. 詳細設定を終了します
【終了】ボタンで決定

録画・予約録画

複数番組を同時に録画予約する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

本機は、3番組録画用の地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタル放送チューナーを搭載していますので、それぞれに録画予約すれば3番組を同時に録画することができます。また、LAN接続のスカパー! プレミアムサービスチューナー（またはスカパー! プレミアムサービス光チューナー）やホームネットワーク対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスを使用することにより、最大4番組の同時録画が可能となります。

録画できる番組			外部機器
1※1	2※1	3※1	4
地上デジタル BSデジタル 110度CSデジタル※2	地上デジタル BSデジタル 110度CSデジタル※2	地上デジタル BSデジタル 110度CSデジタル※2	スカパー! プレミアムサービスまたはCATV（LAN接続）※3

※1 Wi-Fi転送用動画は2番組同時に録画できません。
※2 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のうち、1つを録画。
※3 LAN接続のスカパー! プレミアムサービスチューナー（またはスカパー! プレミアムサービス光チューナー）やホームネットワーク対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスによるLAN録画。（→3-117ページ）

ご注意

- 複数番組同時録画中は残量表示が通常より早く減ります。
- 番組表を使用した同時刻、同一番組の複数予約は行えません。

■スカパー! プレミアムサービスチューナーやケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスをLAN接続しているとき

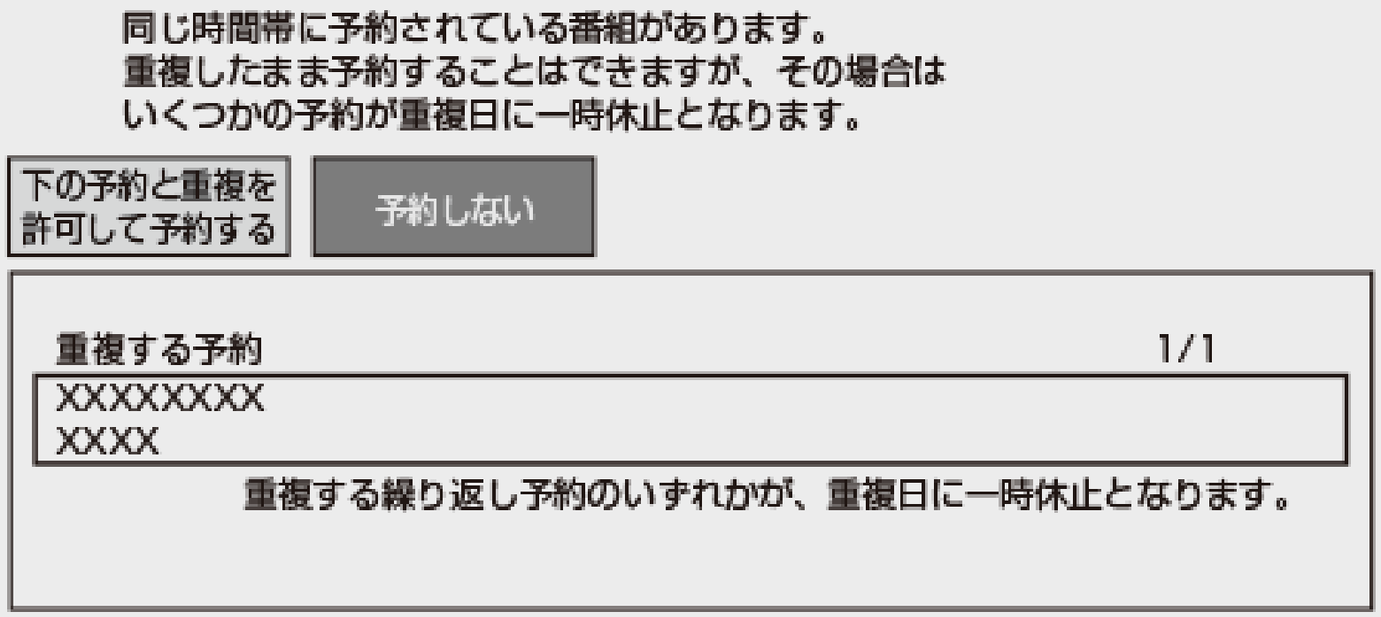
- LAN接続時のスカパー! プレミアムサービスチューナーについては3-113ページ、CATVデジタルセットトップボックスについては3-117ページをご覧ください。

同じ時間帯に3番組とも予約済みの場合

同じ時間帯に3番組が予約済みのときに、重複する新たな録画予約を設定した場合は、重複条件によりいずれかの予約が休止になります。予約の重複について詳しくは、3-61ページをご覧ください。

すでに予約済みの3番組と重なる番組を予約したとき

画面例：今回のみ予約と繰り返し予約が重複したとき



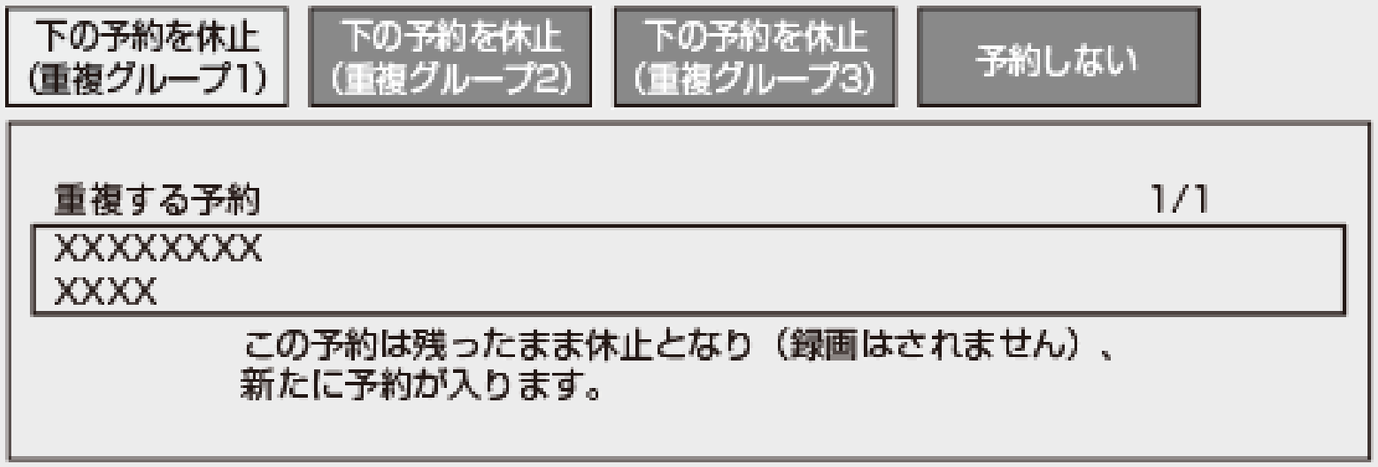
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

複数番組を同時に録画予約する

同じ時間帯に3番組とも予約済みの場合(つづき)

画面例：当日予約どうしが重複したとき



- 詳しくは画面の表示に従って操作してください。
- 優先して予約録画される重複予約の条件は次のとおりです。

次ページへつづく⇒

同じ時間帯に3番組とも予約済みの場合(つづき)

■「今回のみの予約」と「繰り返し予約」

「今回のみの予約」と「繰り返し予約」が重複した場合は、「今回のみの予約」が優先されます。



■「繰り返し予約」と「繰り返し予約」

「繰り返し予約」と「繰り返し予約」が重複した場合は、先の予約が優先されます。

録画・予約録画

予約設定時に表示されるメッセージについて



HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

電子番組表（Gガイド）でのデジタル放送番組予約時に、取得された番組情報に基づいてメッセージが表示されることがあります。以下の対応をしてください。

- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

■デジタル録画禁止の番組を予約したとき

> この番組は録画不可の番組のため
> 録画できません。

- 「確認」で【決定】ボタンを押してください。

■有料番組を予約したとき

> 予約しました。契約済みのＢ－ＣＡＳカードを
> レコーダーに入れておいてください。

次ページへつづく⇒

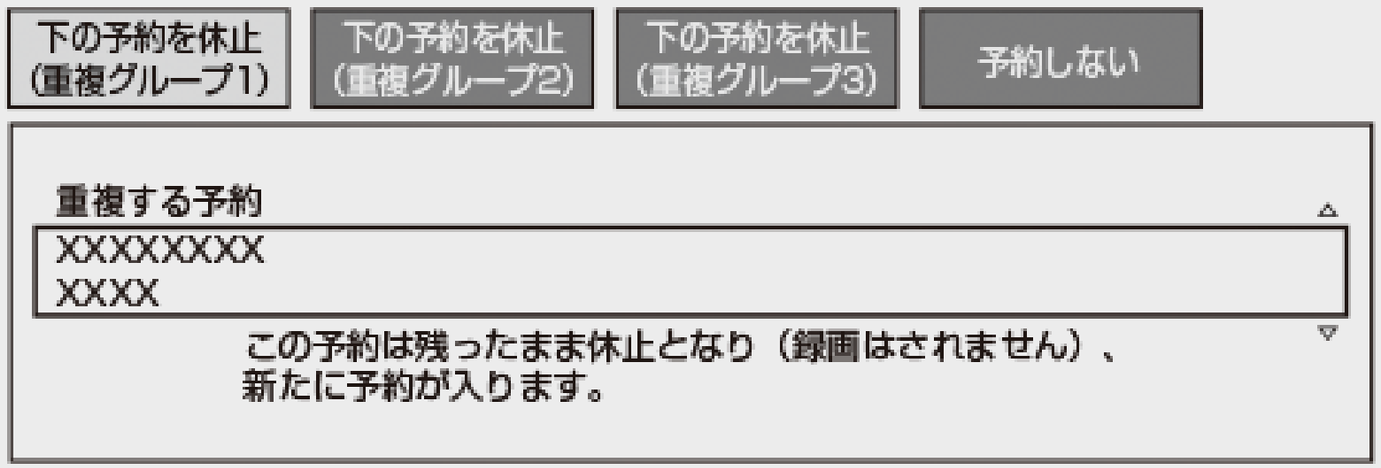
録画・予約録画

予約設定時に表示されるメッセージについて

■設定した予約が他の予約と重複しているとき

設定した予約が他の予約と重なっているときは、予約重複画面が表示されます。

予約重複画面例



次ページへつづく⇒

予約設定時に表示されるメッセージについて

■設定した予約が他の予約と重複しているとき(つづき)

- 「下の予約を休止(重複グループ1)」、「下の予約を休止(重複グループ2)」、「下の予約を休止(重複グループ3)」のいずれかを選ぶと、録画予約されていた番組を休止して今回設定した予約が実行されます。(録画予約されていた番組の予約は残ります)
- 「下の予約と重複を許可して予約する」を選ぶと、重複を許可して予約を追加することができます。ただし、いずれかの番組が重複条件により休止になります。(繰り返し予約の場合、その予約は残ります)(重複条件については、3-57～3-59ページをご覧ください)
- 「下の予約を休止し予約する」を選ぶと、録画予約されていた番組を休止して今回設定した予約が実行されます。(録画予約されていた番組の予約は残ります)
- 「予約しない」を選ぶと予約が取り消されます。

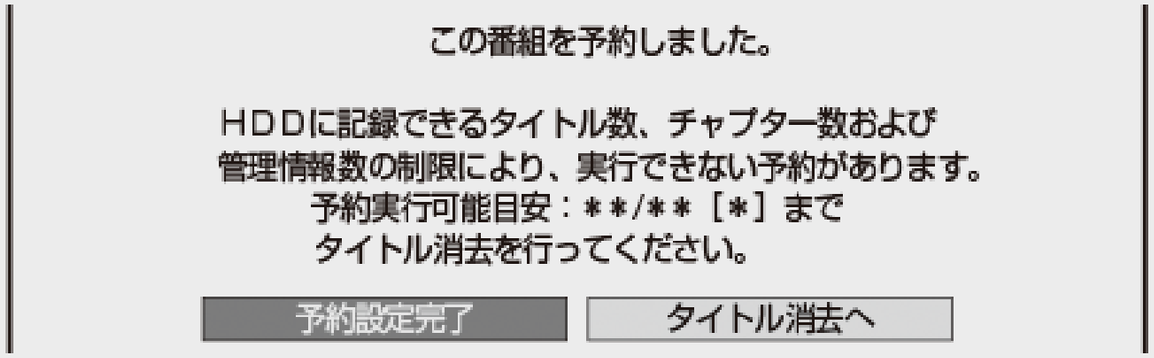
  詳しくは画面の表示に従って操作してください。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

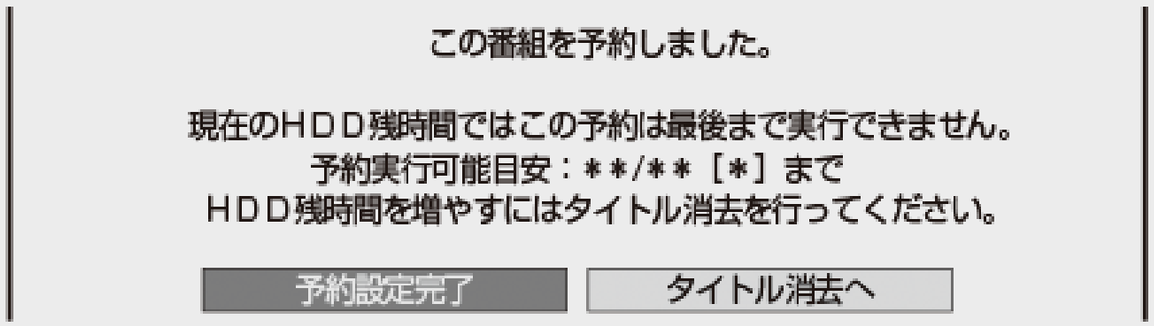
予約設定時に表示されるメッセージについて

■記録できるタイトル数、チャプター数および管理情報の制限を超えていて設定した予約が録画できないとき



詳しくは同梱取扱説明書をご覧ください。

■HDD（ハードディスク）残時間がなく設定した予約が録画できないとき



詳しくは3-34、3-68ページをご覧ください。

録画・予約録画

予約内容を確認／変更／取り消す



HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

~~BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD~~

予約している録画内容を確認したり変更、取り消すことができます。

予約リストで内容を確認・変更する、予約を取り消す

1. 「予約する」画面を表示させます

   【ホーム】ボタンを押し、ホーム画面から「予約する」を選ぶ

ヒント

- 番組表の機能メニューや【(ポップアップ)メニュー】ボタンからも予約リストを表示できます。→2-36ページ

2. 「予約リスト」を選んで決定します
   - ホームメニューの操作について詳しくは1-24ページをご覧ください。

3. 予約リストが表示されます
   - 確認のみの場合は【終了】ボタンを押して操作を終えます。
   - 予約リストに表示されるマークについては13-44～13-45ページをご覧ください。

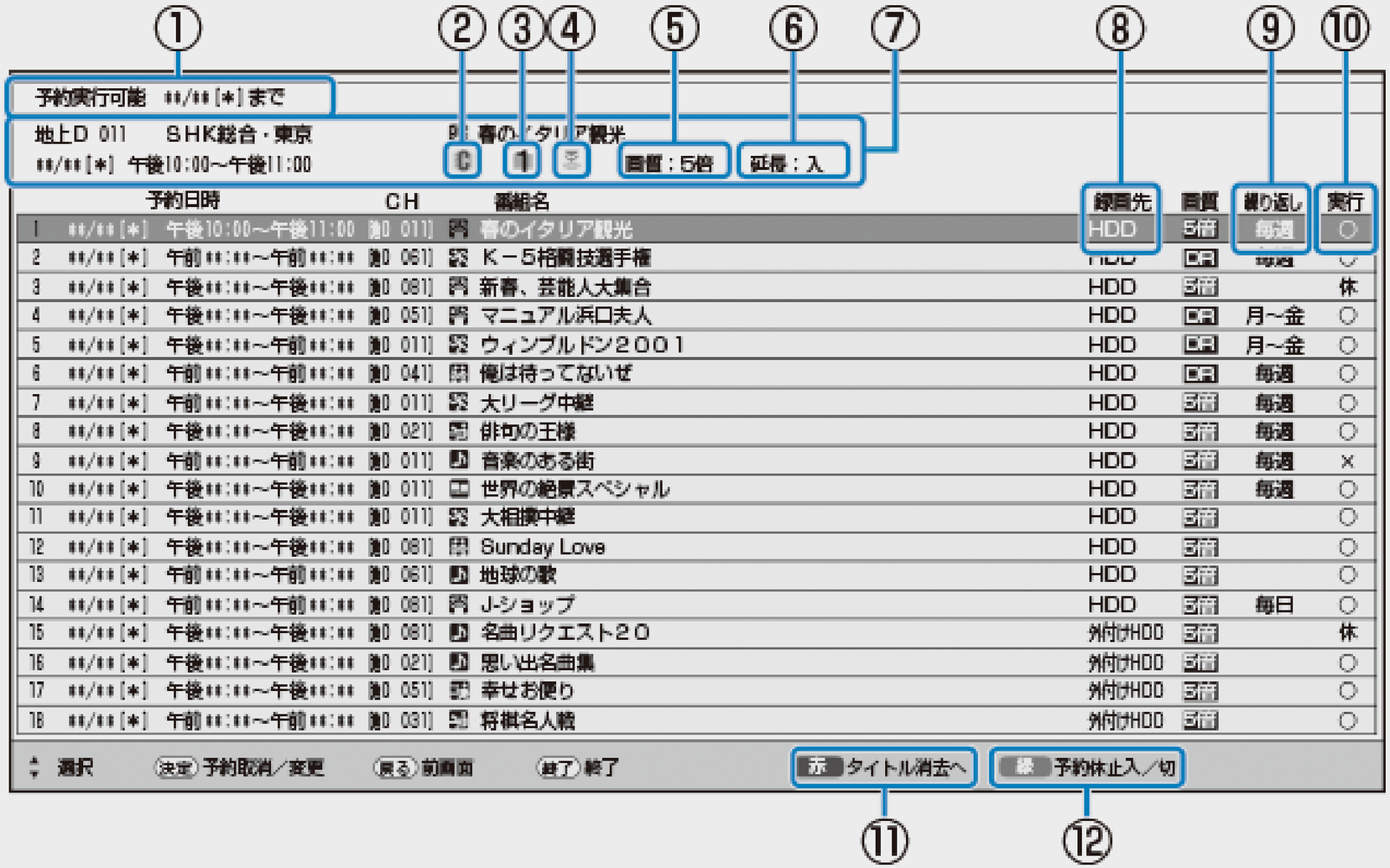
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

予約内容を確認／変更／取り消す

予約リストで内容を確認・変更する、予約を取り消す(つづき)

予約リストの画面例



次ページへつづく⇒

録画・予約録画

予約内容を確認／変更／取り消す

予約リストで内容を確認・変更する、予約を取り消す(つづき)

① HDD(ハードディスク)に予約録画ができる日付けの目安

② 予約した番組がコピー制限のある番組(「1回だけ録画可能」または「ダビング10」)であることを表します。

③ 録画先として指定されたフォルダー

④ 保存設定表示


：消さないで予約


：重ね録り予約

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

予約内容を確認／変更／取り消す

予約リストで内容を確認・変更する、予約を取り消す(つづき)

⑤ 設定されている録画画質

⑥ 予約録画延長設定表示

⑦ 予約登録時の予約内容が表示されます。

⑧ 録画先

HDD：内蔵HDDへの予約
外付けHDD ：外付けHDDへの予約

⑨ 毎日・毎週予約など繰り返し予約をした場合は設定内容が表示されます。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

予約内容を確認／変更／取り消す

予約リストで内容を確認・変更する、予約を取り消す(つづき)

⑩ 予約実行可能表示

〇 : HDD(ハードディスク)の残時間を判定し、録画可能であることを表します。

× : HDD(ハードディスク)の残時間の不足、または記録できるタイトル数の制限を超えているため予約録画が実行できないことを表します。

休 : 予約休止状態になっていることを表します。

空白(表示なし) : 録画先が「ダビング予約」のときは何も表示されません。
残時間の判定は行いません。

※「毎日予約」「毎週予約」の場合は、次回の録画が実行可能かどうかを表示します。

❶❷❸ : 「録画1」「録画2」「録画3」での録画中

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

予約内容を確認／変更／取り消す



予約リストで内容を確認・変更する、予約を取り消す(つづき)

⑪ タイトル消去リストを表示して、不要なタイトル（録画した番組）を消せます。(【赤】ボタン)

⑫ 録画予約を休止状態にしたり、休止状態になっている予約を、予約実行可能状態にします。(【緑】ボタン)

※休止した予約は録画開始時刻を過ぎると取り消されます。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

予約内容を確認／変更／取り消す

予約リストで内容を確認・変更する、予約を取り消す(つづき)

ヒント

- 休止解除したデジタル放送と重なる予約があるときは
  休止状態になっているデジタル放送の予約を実行可能状態にしたときに、重複した予約があると、予約重複画面が表示されます。予約の重複について詳しくは、3-61ページをご覧ください。
- 予約リストの文字サイズを大きくしたいときは、録画リストの表示方法で「大きい文字」を選んでください。(→4-2ページ) 予約リストの文字も連動して大きくなります。

お知らせ

- ドラ丸で録画予約を確定した番組は、放送が終了すると予約リストから消去されます。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

予約内容を確認／変更／取り消す



予約リストで内容を確認・変更する、予約を取り消す(つづき)

4. 変更・取り消したい番組を選びます

●予約内容を変更したいとき

変更したい番組を選び【決定】ボタンを押す
⇒ 手順5へ

●予約内容を取り消したいとき

取り消したい番組を選び【消去／3桁入力】ボタンを押す
⇒ 確認画面が表示されます。

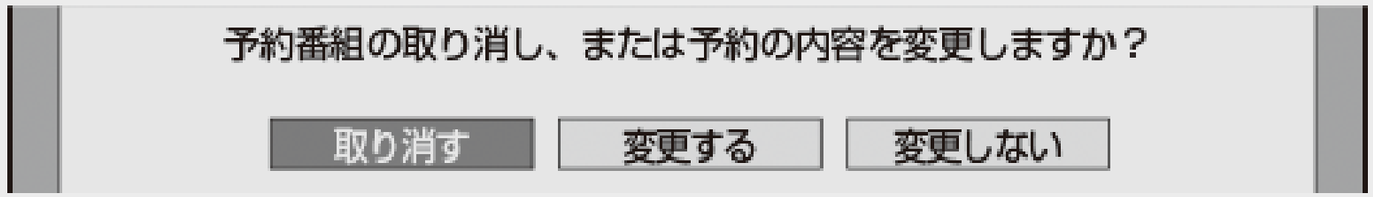
- 「する」を選んで決定すると、選択した予約が取り消されます。
- 「しない」を選んで決定すると、予約リストに戻ります。

次ページへつづく⇒



予約リストで内容を確認・変更する、予約を取り消す(つづき)

5. 実行したい項目を選んで決定します



●予約を取り消す場合

⇒「取り消す」を選び、確認画面で「する」を選びます

●予約を変更する場合

⇒「変更する」を選び、予約設定画面で変更してください。内容について詳しくは→3-41～3-46ページ

- 番組表から予約した番組の日時を変更するときは【緑】ボタン（日時変更）を押してください。

●ドラ丸予約に変更する場合

⇒「ドラ丸予約する」を選び、決定します。内容について詳しくは→3-30ページ

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

予約内容を確認／変更／取り消す

予約リストで内容を確認・変更する、予約を取り消す(つづき)

ご注意

- 番組開始まで2分を切ると予約はできません。リモコンの録画ボタンで録画してください。
- 放送局で番組の開始時刻が変更されると予約録画が行われない場合があります。「受信機レポート」にメッセージが残ります。→9-15～9-17ページ

メモ

- 予約録画に関する注意事項について→12-19～12-25ページ
- LAN接続によるスカパー！プレミアムサービスLinkやCATVのデジタルセットトップボックスからの録画（LAN録画）の予約内容の変更はそれぞれのチューナーから行ってください。

録画・予約録画

条件を指定して番組を探す（詳細検索）



- 「お好みの番組名」などのキーワードや、「番組カテゴリ」、「人名」、「ジャンル」などの複数のキーワードを設定して番組を検索できる機能です。
- 設定した条件に該当する番組を自動録画することもできます。
- ご自分でキーワードを入力する方法と、番組情報の文字をコピーしてキーワードにする方法があります。

ご注意

- 番組表を使用した同時刻、同一番組の複数予約は行えません。

1. 「予約する」画面を表示させます
   - 【ホーム】ボタンを押し、ホーム画面から「予約する」を選ぶ
2. 「詳細検索」を選んで決定します

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して番組を探す（詳細検索）



3. 検索条件が「（未設定）」の欄を選んで決定します



次ページへつづく⇒

条件を指定して番組を探す（詳細検索）



3. 検索条件が「（未設定）」の欄を選んで決定します

● 検索条件を変更するときは

(1) 変更したい検索条件を選んで【決定】ボタンを押します。
（→手順4へ）

- 検索条件を選んだ状態で【青】ボタン（自動録画条件設定）を押すと、自動録画設定画面が表示され、その検索条件に対する自動録画を設定することができます。
（→3-87ページ手順4へ）

● 検索条件を削除するときは

(1) 削除したい検索条件を選んで【黄】ボタン（検索条件削除）を押します。

(2)「する」を選び、【決定】ボタンを押します。

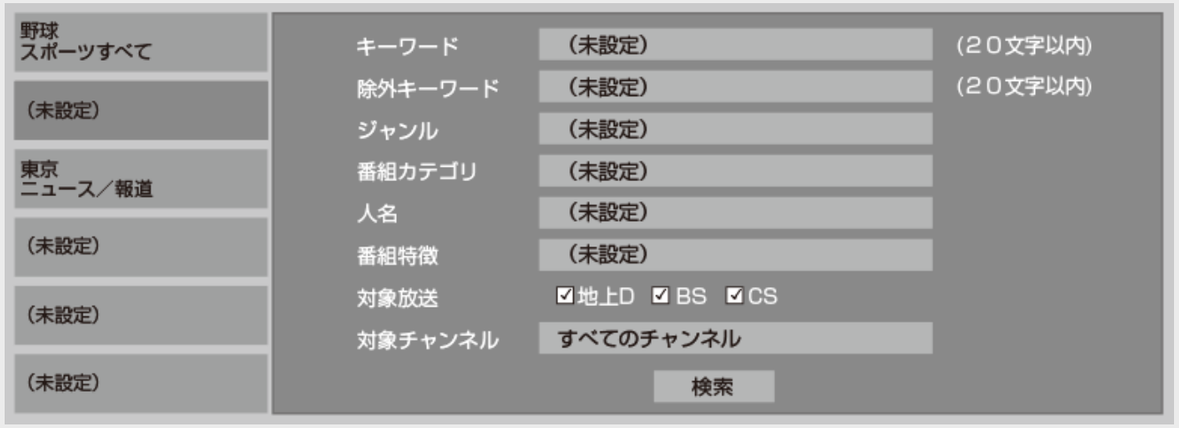
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して番組を探す（詳細検索）



4. 設定／変更したい検索条件を選んで決定します



項目	説明
キーワード (20文字以内)	ソフトウェアキーボードから録画対象にするキーワードを入力します。 ソフトウェアキーボードの使いかたは5-69ページをご覧ください。
除外キーワード (20文字以内)	ソフトウェアキーボードから録画対象から除外するキーワードを入力します。 ソフトウェアキーボードの使いかたは5-69ページをご覧ください。
ジャンル	表示される画面からジャンル（メインジャンル・サブジャンル）を選択します。
番組カテゴリ	表示される画面から番組のシリーズ名や分類を選択します。

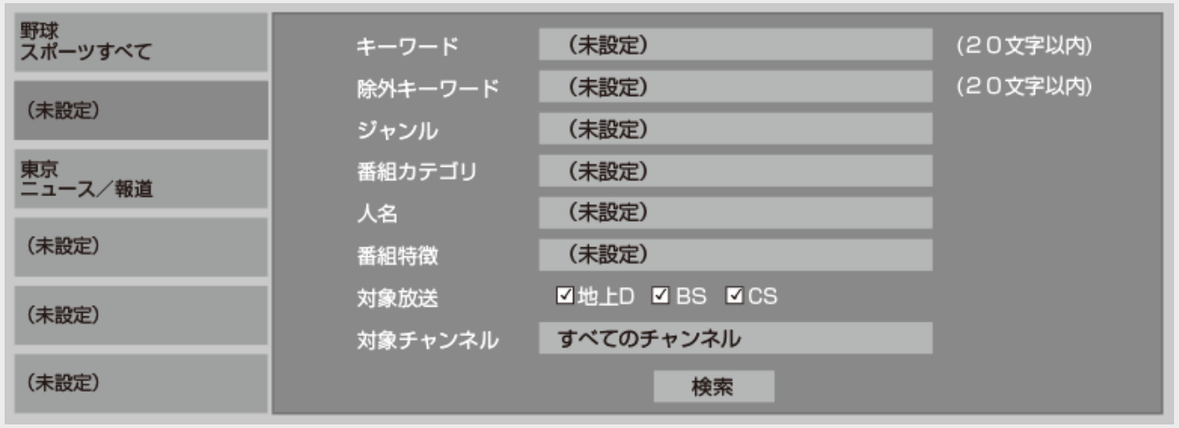
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して番組を探す（詳細検索）



4. 設定／変更したい検索条件を選んで決定します



項目	説明
人名	表示される画面から頭文字→人名の順に選択します。
番組特徴	表示される画面から特徴条件を選択します。
対象放送	検索対象ネットワークを地上D／BS／CSから選びます。
対象チャンネル	検索対象にするチャンネルを選択します。

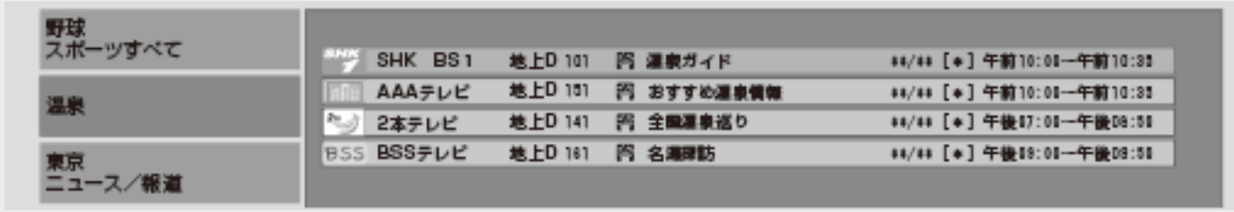
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して番組を探す（詳細検索）



5. 設定内容を確認して検索を開始します
「検索」を選び【決定】ボタンを押します。
   - 検索された番組が表示されます。



   - 番組情報を見たい場合は、番組を選んで【番組情報】ボタンを押します。

6. 番組を選びます
   - 番組を選んだ状態で【青】ボタン(検索条件変更)を押すと、検索条件変更画面が表示されます。さらに、【青】ボタン(自動録画条件設定)を押すと自動録画条件設定画面が表示されます。その検索条件に対する自動録画を設定することができます。(→3-87ページ手順4へ)
   - 検索結果をさらに絞り込みたいときは、【赤】ボタン(類似番組検索)を押します。

● 放送中の番組を選んだときは
【録画／らくらく予約】ボタンを押す⇒録画されます
【決定】ボタンを押す⇒選局されます

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して番組を探す（詳細検索）



● 未放送の番組を選んだときは

- 予約録画の設定をします。
  （→3-24ページ）
  【録画／らくらく予約】ボタンを押す⇒自動で予約内容が設定されます
  【決定】ボタンを押す⇒手動で予約内容の設定をします
- 【終了】ボタンで検索を終了します。

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する

自動録画：
→3−83ページ

キーワード／ジャンル／番組カテゴリ／人名などを登録しておくだけで、指定した条件を番組情報に含む番組を自動で内蔵／外付けHDDに録画することができます。（録画した番組は、HDDの残時間が少なくなると※自動消去されます）

ドラ丸：
→3−94ページ

地上デジタル放送またはBSデジタル放送で連続放送される「ドラマ、アニメ、バラエティ」の新番組を、初回から毎回自動で内蔵HDDに録画する機能です。
（録画した番組は、4週間経過すると自動消去されます。また、HDDの残時間が少なくなった場合※も自動消去されます）

※ 録画画質「DR」で、BSデジタル放送を録画できる時間が約10時間以下となったとき。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する



予約録画が重なった場合、優先度が高い方が録画されます。

優先度

高

電子番組表（Gガイド）からの録画予約／日時指定予約

ドラ丸録画（番組登録の早い順）
最大 60 番組まで自動録画登録。

ファミリンク予約録画／らくらく一発録画

自動録画（優先度１～６）
６つまで設定できます。

低

- 自動録画、ドラ丸で自動録画実行中、他の予約が重なったときは、自動録画、ドラ丸で自動録画が途中で中止になる場合があります。
- 自動録画やドラ丸録画を確実に録画したいときは電子番組表（Gガイド）からの録画予約または日時指定予約を行ってください。
- ドラ丸で設定された番組を確実に録画したいときは、【緑】ボタンを押します。通常の予約番組として登録されます。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する

ご注意

- 予約が重なった条件により、録画されない場合があります。
- 視聴年齢制限にふれる番組は、自動録画、ドラ丸で自動録画はできません。
- 3分未満の番組は自動録画、ドラ丸で自動録画されません。3分未満の番組を録画したいときは予約録画してください。
- ドラ丸で録画した番組は、録画して4週間経過すると未視聴でも自動的に削除されます。削除されないようにするには「ドラ丸で設定された番組を確実に録画されるようにする」(→3-107ページ)、「ドラ丸で自動録画されたタイトルを自動消去されないようにする」(→3-111ページ) をご覧ください。

お知らせ

- 録画終了時にHDDの残時間が※少なくなると、自動録画、ドラ丸録画は開始されません。
- 自動録画、ドラ丸で自動録画される番組には、Wi-Fiダビング用動画は同時録画されません。

※ 録画画質「DR」で、BSデジタル放送を録画できる時間が約10時間以下となったとき。

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する



自動録画の条件を設定する

1. 「予約する」画面を表示させます
   - 【ホーム】ボタンを押し、ホーム画面から「予約する」を選ぶ
2. 「AUTO 自動録画設定」を選んで決定します
   - ホームメニューの操作について詳しくは1-24ページをご覧ください。

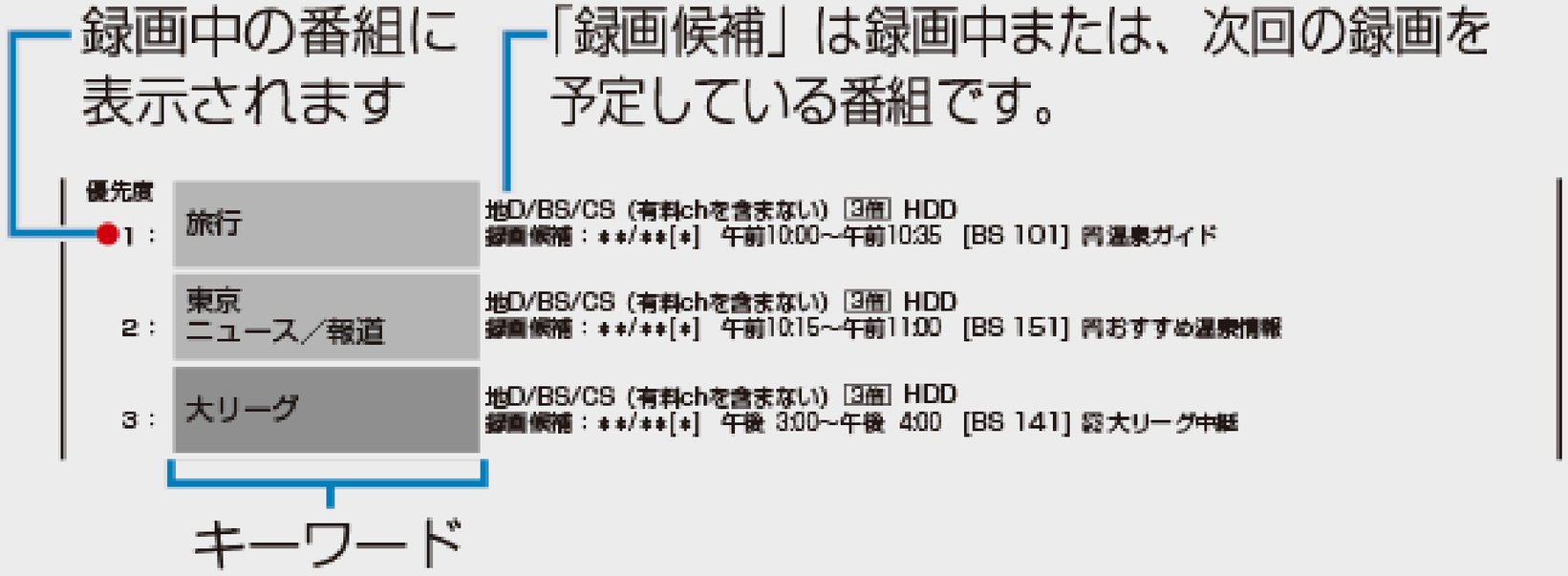
次ページへつづく⇒



自動録画の条件を設定する(つづき)

3. 設定／変更したい録画条件を選びます

(1)【上下左右カーソル】ボタンで選びます。



- 録画条件が入力されていない場合は「(未設定)」と表示されます。
- 録画条件は6つまで設定することができます。
- 登録した録画条件の番組が同じ時間帯に複数ある場合、優先度の高い1番組が自動録画されます。

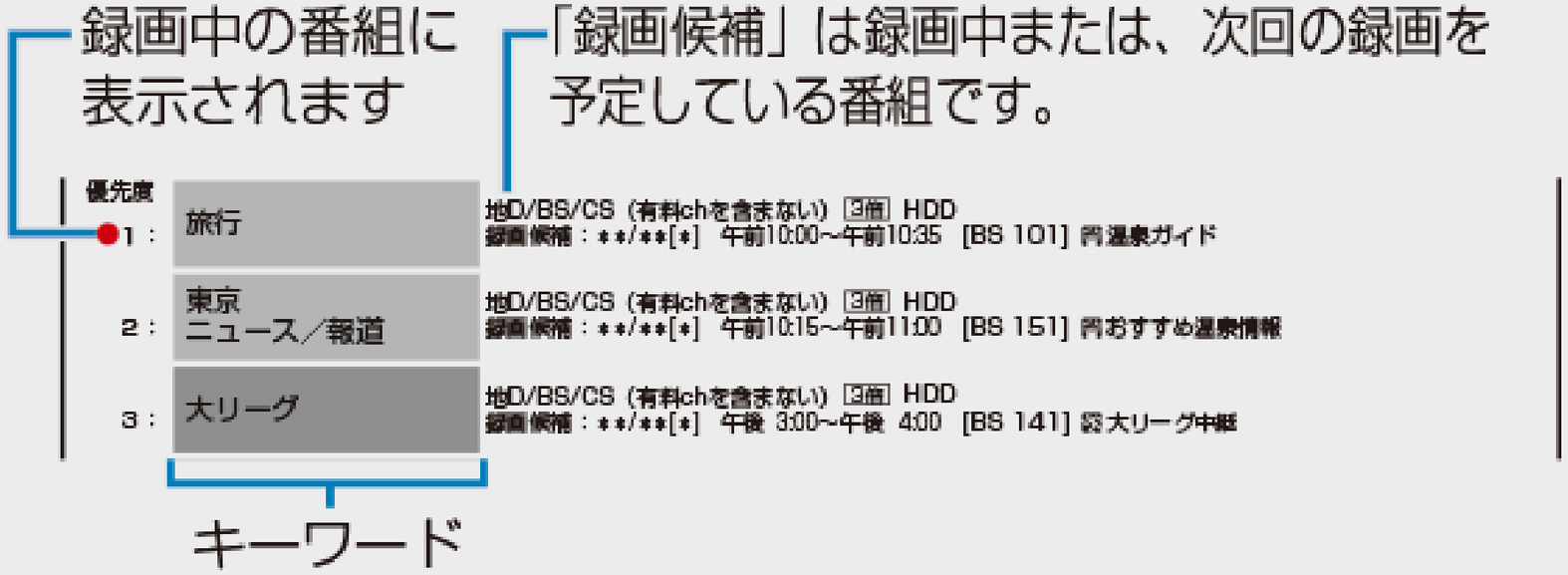
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する



自動録画の条件を設定する(つづき)



録画条件を選んでからカラーボタンを押すと、

【青】ボタン	選択している条件で録画される番組を検索して表示します。
【赤】ボタン	優先度が上がります。
【緑】ボタン	優先度が下がります。
【黄】ボタン	自動録画の有効／無効を切り換えます。 無効の場合、「現在は無効です」と表示されます。

(2)【決定】ボタンを押します。

自動録画詳細設定画面が表示されます。

次ページへつづく⇒



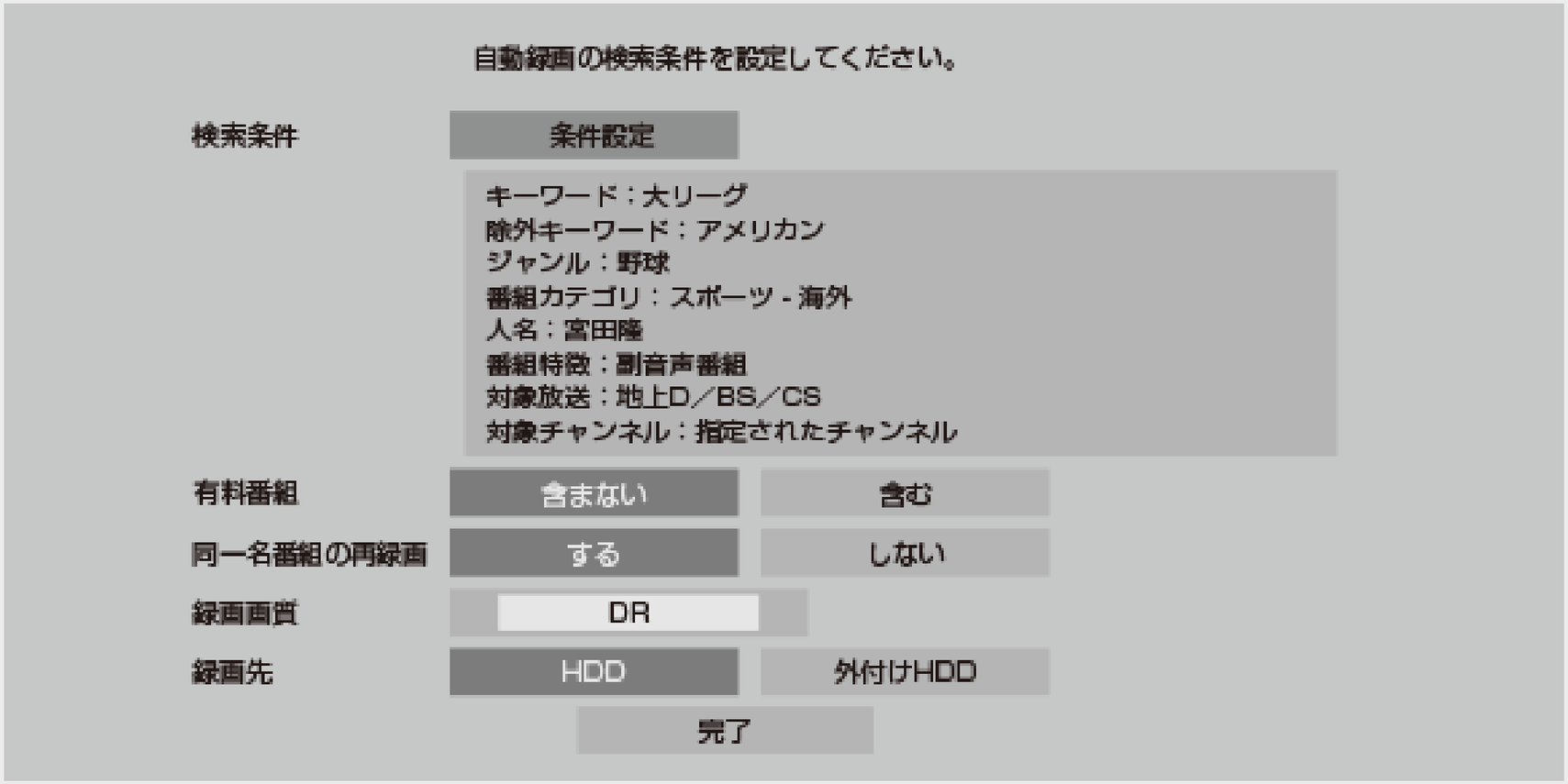
自動録画の条件を設定する(つづき)

4. 自動録画の詳細設定をします

①検索条件を設定します

⇒ 各項目を設定していきます。

自動録画詳細設定画面例



「条件設定」を選び【決定】ボタンを押す

次ページへつづく⇒



自動録画の条件を設定する(つづき)

②キーワードまたは除外キーワードを入力します

「キーワード」または「除外キーワード」を選び【決定】ボタンを押す

- ソフトウェアキーボードからキーワードを入力します。ソフトウェアキーボードの使いかたは「文字を入力する(ソフトウェアキーボード)」(→5-69ページ)をご覧ください。
- 全角20文字以内(半角カナ文字は入力できません)。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する



自動録画の条件を設定する(つづき)

③ジャンルを設定します

「ジャンル」を選び【決定】ボタンを押す

- 表示される画面からジャンル(メインジャンル・サブジャンル)を選択します。

④番組カテゴリを設定します

「番組カテゴリ」を選び【決定】ボタンを押す

- 表示される画面から番組カテゴリを選択します。

⑤人名を設定します

「人名」を選び【決定】ボタンを押す

- 表示される画面から人名を選択します。

⑥番組特徴を選択します

「番組特徴」を選び【決定】ボタンを押す

- 表示される画面から番組特徴を選択します。

次ページへつづく⇒



自動録画の条件を設定する(つづき)

⑦録画対象とする放送局を選択します

「対象放送」を選び【決定】ボタンを押す

⑧録画対象とするチャンネルを選択します

「対象チャンネル」を選び【決定】ボタンを押す

↓

「対象チャンネル」の設定まで済んだら、「完了」を選び【決定】ボタンを押す

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する

自動録画の条件を設定する(つづき)

⑨有料番組、同一名番組の再録画、録画画質、録画先を設定します

■設定項目について

項目		説明
検索条件	キーワード	ソフトウェアキーボードから録画対象にするキーワードを入力します。ソフトウェアキーボードの使いかたは5-69ページをご覧ください。
	除外キーワード	ソフトウェアキーボードから録画対象から除外するキーワードを入力します。ソフトウェアキーボードの使いかたは5-69ページをご覧ください。
	ジャンル	表示される画面からジャンル(メインジャンル・サブジャンル)を選択します。
	番組カテゴリ	表示される画面から番組のシリーズ名や分類を選択します。
	人名	表示される画面から人名を選択します。
	番組特徴	表示される画面から特徴条件を選択します。
	対象放送	検索対象ネットワークを地上D／BS／CSから選びます。
	対象チャンネル	録画対象にするチャンネルを選択します。
有料番組		有料番組を検索対象に含むかを選びます。
同一名番組の再録画		同一名番組の再放送を録画するかしないかを選びます。
録画画質		録画画質を選びます。
録画先		録画先の内蔵／外付けHDDを選びます。

次ページへつづく⇒



自動録画の条件を設定する(つづき)

5. 設定内容を確認して決定します

完了 で【決定】ボタンを押す

- 設定した条件に該当した番組を検索し、「録画候補」として自動録画設定画面に表示されます。
- 番組を検索するのに時間がかかる場合があります。

ヒント

- 検索の途中でも【終了】ボタンで放送中のテレビ番組映像に戻ります。

6. 自動録画設定を終了します

【終了】ボタンを押す

⇒ 開始時刻になると録画が始まります。

- 自動録画の予約状況は電子番組表(Gガイド)で確認できます。
(→2-24、13-38ページ)

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する

タイトルの自動消去について

自動録画されたタイトルは、視聴していなくても次の条件により自動的に消去されます。

●自動録画：

HDD内の残時間が少なくなると自動的に消去されます。

自動録画されたタイトルを自動消去されないようにする

自動録画されたタイトルが自動消去されないようにするためにはタイトルを保護してください。

1. 「録画リスト/トップメニュー」ボタンを押し、録画リストを表示します
2. 保護したい「AUTO」マークの付いたタイトルを選びます
3. 4-121ページの「タイトル保護設定」の手順2～5を行います
    - 選択したタイトルが保護設定されます。

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸を設定する

地上デジタル放送またはBSデジタル放送で連続放送される「ドラマ、アニメ、バラエティ」の新番組を、初回から毎回自動で内蔵HDDに録画する機能です。

お知らせ

- 録画できる番組がない場合は、ドラ丸リストには何も表示されません。
- 単発のドラマやアニメ、バラエティ番組は自動録画の対象になりません。
- ドラ丸で設定されている時間帯に別の番組が放送されたときは、そのまま別の番組が録画されます。
- ドラ丸で録画した番組は、録画して4週間経過すると未視聴でも自動的に削除されます。削除されないようにするには「ドラ丸で設定された番組を確実に録画されるようにする」（→3-107ページ）、「ドラ丸で自動録画されたタイトルを自動消去されないようにする」（→3-111ページ）をご覧ください。
- ドラ丸リストに録画される番組は新番組の初回からとなります。2回目以降を録画したい場合は、番組表から「ドラ丸予約」を設定してください。
- 録画リストから連続したドラマやアニメ、バラエティ番組を選び機能メニューの次回番組予約でもドラ丸予約設定がおこなえます。
- 110度CSデジタル放送は設定できません。
- WOWOW放送や、BSスカパー放送などの有料放送を録画したいときは放送局と視聴契約が必要です。（→2-10ページ）
- 他の録画との重複などにより、ドラ丸の録画が実行されない場合があります。確実に録画したい番組は番組表からの予約録画設定をしてください。また、予約リストで予約状況を確認してください。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

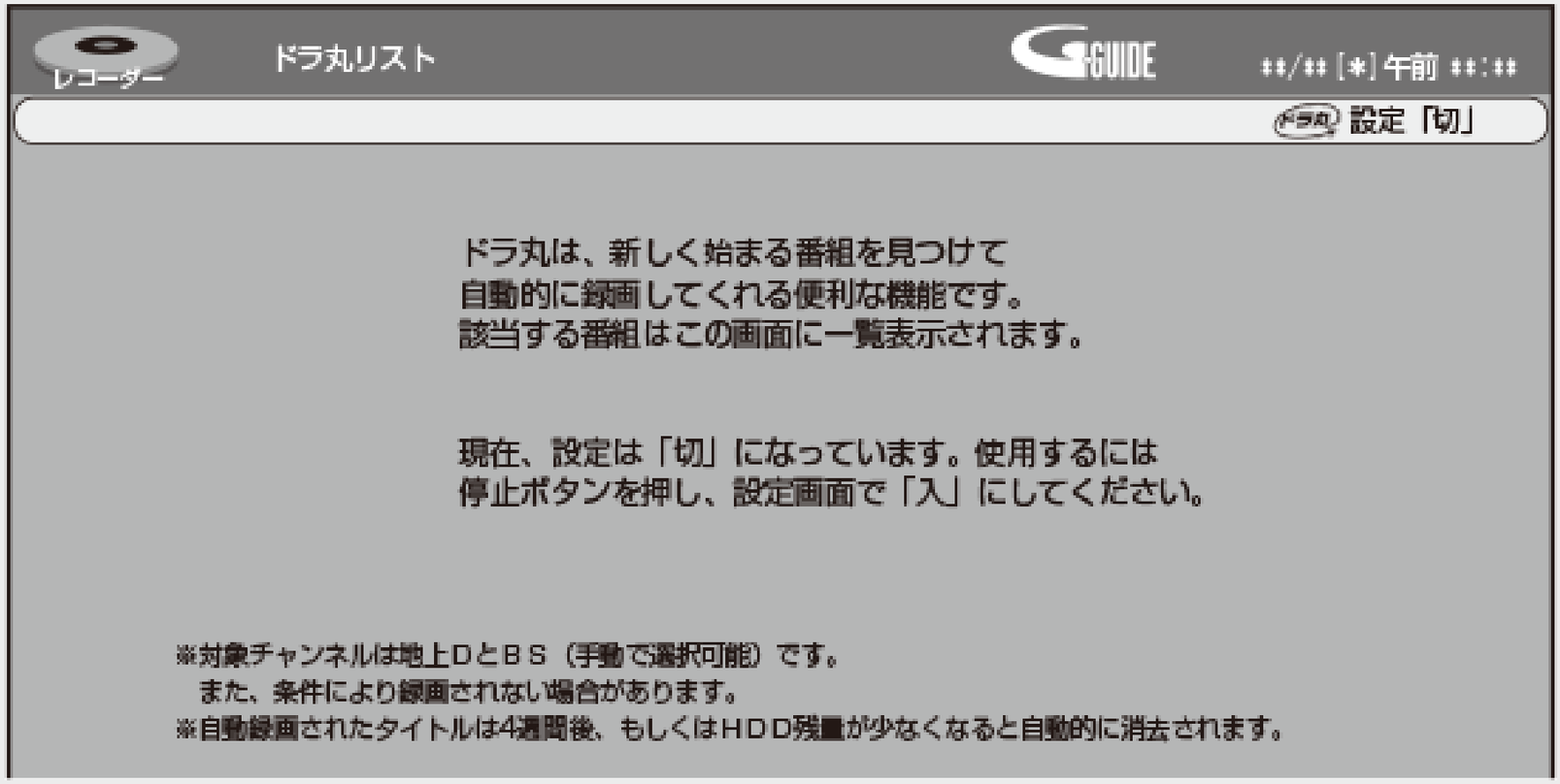
条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸を設定する(つづき)

1. リモコンの【ドラ丸】ボタンを押します

   ドラ丸リスト画面が表示されます。

   ドラ丸リスト画面（未設定状態のとき）



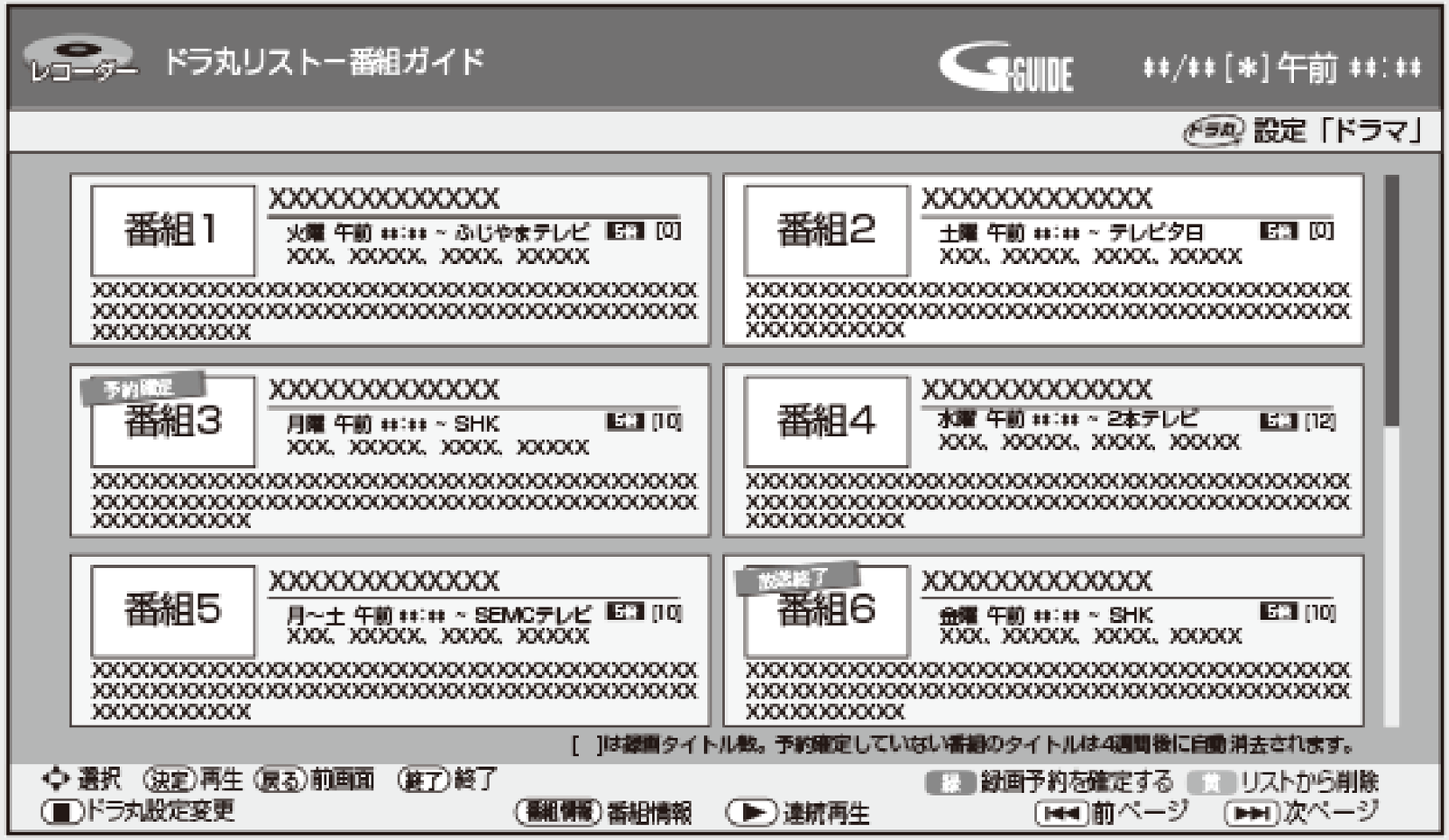
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸を設定する(つづき)

ドラ丸リスト画面（設定済みのとき）

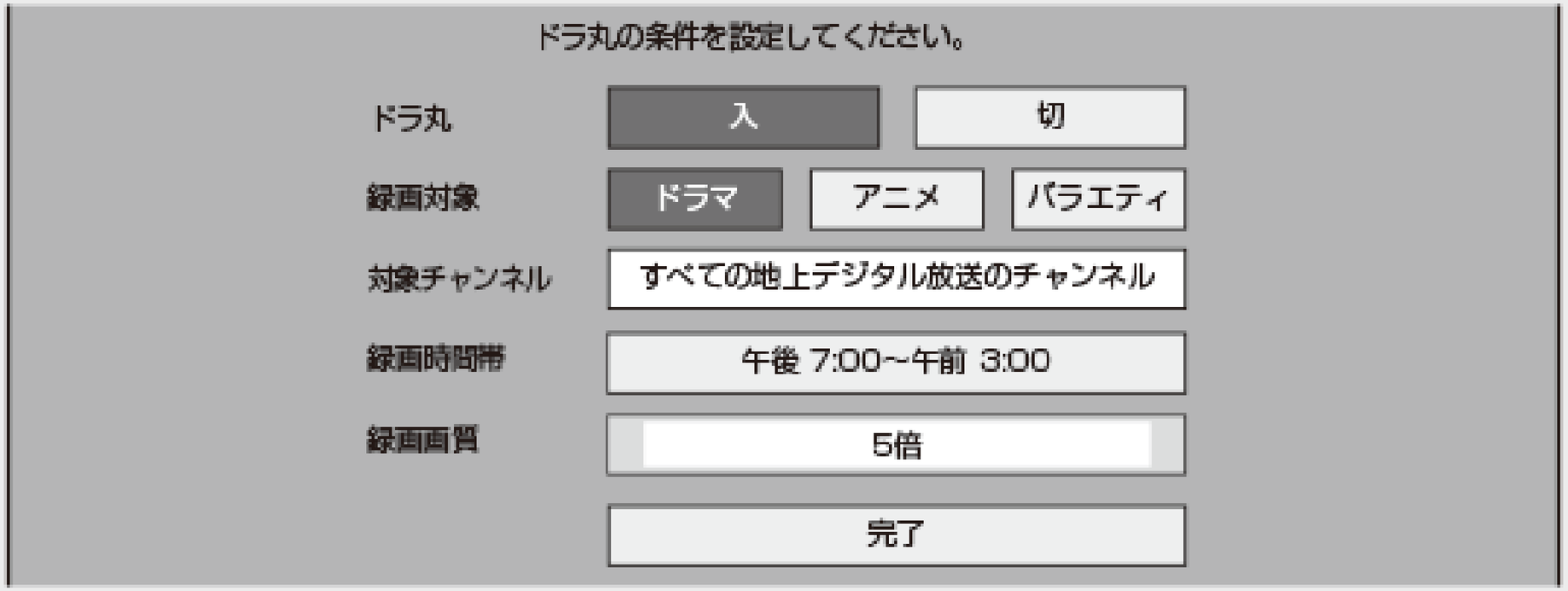

レコーダー
ドラ丸リストー番組ガイド
G-GUIDE
/[*] 午前 **:**
ドラ丸 設定「ドラマ」
番組1
XXXXXXXXXXXXX
火曜 午前 **:** ~ ふじやまテレビ 5件 [0]
XXX、XXXXX、XXXX、XXXXX
XXXXXXXXXXXX

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸を設定する(つづき)

2. 【停止／録画停止】ボタンを押し「ドラ丸」設定を行ないます



次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸を設定する(つづき)

設定項目について

項目	説明
ドラ丸	「入」：新しく始まる連続ドラマまたはアニメ、バラエティ番組を自動録画します。 「切」※：ドラ丸の自動録画を停止します。すでにリストに登録されている番組の予約情報は削除され終了扱い番組となります。
録画対象	ドラ丸で自動録画したいジャンル「ドラマ」または「アニメ」または「バラエティ」を設定します。
対象チャンネル	地上デジタル放送またはBSデジタル放送で録画したいチャンネルを設定します。
録画時間帯	ドラ丸で録画する時間帯を24時間以内で設定します。
録画画質	ドラ丸で録画する録画画質を設定します。
完了	設定を完了します。

※登録されている番組を継続して録画したいときは番組表から予約してください。

- BS放送独特の番組編成により、録画されない、同じ番組が複数録画される、異なった番組が録画される場合があります。
- １日に同じタイトルの番組が連続で放送された場合、録画予約を確定しても始めに放送される番組しか録画されない場合があります。確実に録画をしたい番組は番組表からそれぞれ予約設定してください。
- 予約設定時に重複表示がでない場合がありますので、番組表や予約リストなどで予約状況を確認してください。

次ページへつづく⇒



ドラ丸を設定する(つづき)

3. ①ドラ丸を設定します

【左右カーソル】ボタンで「入」を選び【決定】ボタンを押す

②録画対象「ドラマ」または「アニメ」または「バラエティ」を設定します

【左右カーソル】ボタンで録画対象を選び【決定】ボタンを押す

- 設定した「ドラマ」または「アニメ」または「バラエティ」の連続新番組を録画対象番組としてドラ丸リストに表示します。

次ページへつづく⇒



ドラ丸を設定する(つづき)

③録画対象とするチャンネルを選択します

「対象チャンネル」を選び【決定】ボタンを押す

- チェックマークが付いているチャンネルが録画対象になります。
  【カーソル】ボタンでチャンネルの選択、【決定】ボタンで選択/選択解除することができます。
- 「放送切換」を選ぶと、地上デジタル放送とBSデジタル放送を切り換えることができます。
- 地上デジタル放送の場合、「全選択」を選ぶと全てのチャンネルが録画対象となります。（BSデジタル放送は個別に設定してください）
- 初期設定時は地上デジタルの受信可能なチャンネルが設定されています。
- 地上デジタル放送／BSデジタル放送で「全選択解除」を選ぶとそれぞれの放送で全チャンネルが解除されます。

選択後、完了を選び【決定】ボタンを押す

④録画時間帯を設定します

「開始時刻」と「終了時刻」を【上下カーソル】ボタンで設定し【決定】ボタンを押す

- 録画時間帯は午前0時から24時間の範囲内で設定できます。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）



ドラ丸を設定する(つづき)

⑤録画画質を設定します

【左右カーソル】ボタンで設定し【決定】ボタンを押す

▼

⑥「録画画質」の設定まで済んだら、「完了」を選び【決定】ボタンを押します

- 連動データ放送を記録したいときは、「ホーム」―「設定」―「録画・再生設定」―「連動データ記録設定」で連動データを「記録する」に設定し直してください。「記録しない」設定でドラ丸リストに登録された番組は、設定を変更しても記録されません。

4. ドラ丸設定を終了します

【終了】ボタンを押す

録画・予約録画

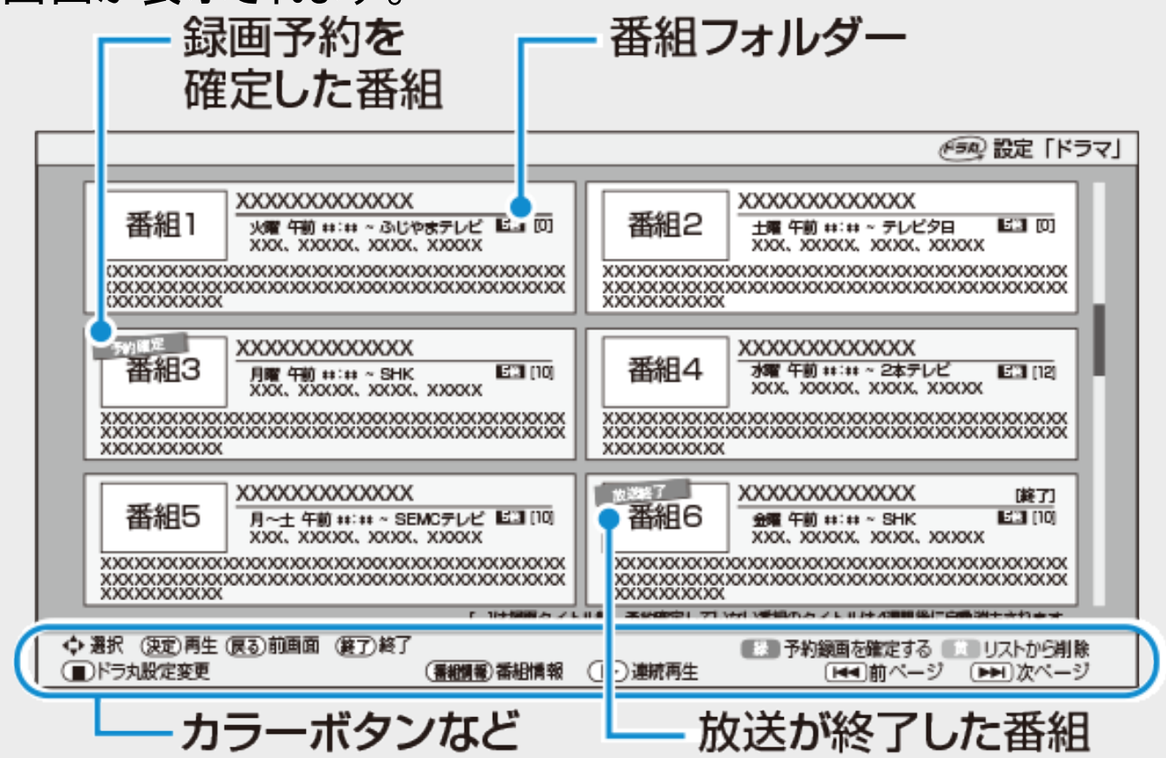
条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）



ドラ丸リスト画面について

1. 【ドラ丸】ボタンを押します

   ドラ丸リスト画面が表示されます。



緑 録画予約を確定する：通常の予約に変更します
　確定前に戻す：ドラ丸の自動録画状態に戻します

黄 リストから削除：番組フォルダーを削除します

■ ドラ丸設定変更：ドラ丸設定画面を表示します

番組情報 番組情報：番組フォルダーに登録されている番組の情報を表示します

▶ 連続再生：番組フォルダー内に録画されている番組を連続再生します

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸リスト画面について(つづき)

お知らせ

- 「ドラ丸リスト」で登録される自動録画番組は最大60番組です。
- ドラ丸リストに自動録画番組が60番組まで登録された状態で新番組を登録したいときは不要な番組フォルダーをリストから削除してください。（→3-112ページ）
- 複数の番組が同時刻に重なったときなど、条件により自動録画されない場合があります。自動録画できない番組は、番組フォルダーに「次回、自動録画されません」のメッセージを表示し、お知らせします。
- ドラ丸リスト画面に表示される番組は終了番組を含め120番組です。ドラ丸リストに登録されている自動録画番組が60番組以内でも、終了番組を含め 120番組あるときは新番組は登録されません。新たな番組を登録したいときは、不要な番組フォルダーをリストから削除してください。（→3-112ページ）
- ページを送る/ 戻すときは（ページ送り【次】ボタン）または（ページ戻し【前】ボタン）を押します。

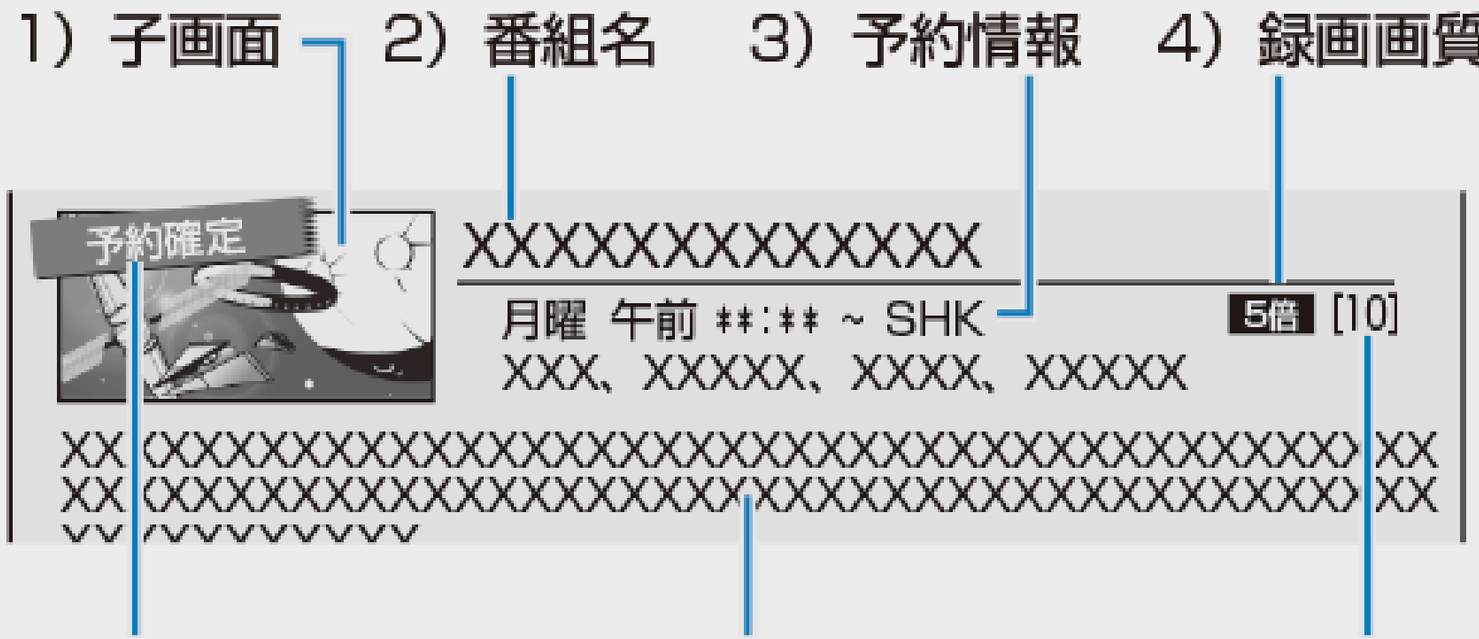
次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸リスト画面について(つづき)

2. 番組フォルダーの画面の表示内容


1）子画面
2）番組名
3）予約情報
4）録画画質表示
予約確定
XXXXXXXXXXXXXX
月曜 午前 **:** ~ SHK
5倍 [10]
XXX、XXXXX、XXXX、XXXXX
XX XXXXXXXXXXXXX

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸リスト画面について(つづき)

1）子画面

録画済み番組の最新番組の画面を表示
つぎの場合は子画面にメッセージが表示されます。

- 初回番組が未録画状態のとき⇒次回の録画日を表示
- 通常の予約録画と重複し実行されないとき
- 録画された番組を消去し、タイトルが残っていないとき

2）番組名を表示

録画タイトルと番組名が一致しない場合があります。

3）予約情報

次回の録画日を表示します。

4）録画画質表示

録画画質を表示します。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸リスト画面について(つづき)

5）予約確定表示

ドラ丸リストで【緑】ボタン（予約録画を確定する）を押し、録画予約を確定した番組です。

もうすぐ削除表示

未視聴状態の番組フォルダー（番組）が自動削除1週間前となったときにお知らせします。

予約停止表示

ドラ丸設定を「切」にするなど、ドラ丸自動録画を手動で停止したときなどに表示します。

放送終了表示

放送が終了した番組であることをお知らせ表示します。

6）番組情報

人名や番組情報を表示、【番組情報】ボタンを押すと全ての番組情報が確認できます。

7）録画タイトル数

ドラ丸で自動録画された番組数を表示します。

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸で設定された番組を確実に録画されるようにする

- ドラ丸で自動録画実行中に、他の予約が重なったときは、ドラ丸で自動録画が実行されない場合があります。
- ドラ丸で設定された番組を確実に録画したいときは、【緑】ボタン（録画予約を確定する）を押します。通常の予約番組として登録されます。
- 「予約確定」した番組を選んで【緑】ボタン（確定前に戻す）を押すとドラ丸自動録画状態に戻せます。
- ドラ丸では、1日に同じタイトルの番組が連続で放送された場合、始めに放送される番組しか録画されない場合があります。確実に録画をしたい番組は番組表からそれぞれ予約設定してください。
- 番組表から予約変更した場合も、通常予約番組として登録されます。
- 自動録画したタイトルについても通常の予約に変更することで、自動消去されません。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）



ドラ丸で設定された番組を確実に録画されるようにする(つづき)

1. 【ドラ丸】ボタンを押します

2. 録画予約を確定させたい番組フォルダーを選択して、【緑】ボタン（録画予約を確定する）を押します
   - 選択した番組が「予約確定」し、通常の予約番組として登録されます。また、予約リストに表示されます。
   - 予約確定した番組フォルダー内の録画番組は、通常の予約録画番組として録画リストに保存されます。（自動消去されません）
   - ドラ丸設定されている番組の「録画画質」を変更したいときは、【緑】ボタン（予約を確定する）で予約を確定させた後、予約リストから予約変更で「録画画質」を変更してください。
   →3-64ページ

3. 「する」を選んで【決定】ボタンを押します

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸で自動録画された番組を確認する

1. 【ドラ丸】ボタンを押します

2. 表示したい番組フォルダーを選択して、決定します

⇒ ドラ丸タイトルリストが表示されます。
- タイトルを選んで決定すると再生されます。

● ドラ丸タイトルリストや再生について詳しくは
→4-3、4-32ページ

● ドラ丸で自動録画された番組の編集について詳しくは
→4-135～4-177ページ
- 編集したタイトルは通常のタイトルとして保存されます。

● ドラ丸で自動録画された番組のダビングについて詳しくは
→5-35ページ

● ドラ丸で自動録画された番組を個別にタイトル保護したり、削除したいとき
→4-118、4-125ページ

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）

ドラ丸で自動録画されたタイトルの自動消去について

ドラ丸で自動録画された番組は、未視聴番組でもつぎの条件により、自動的に消去されます。

- ドラ丸で自動録画された番組の保存期間は4週間です。録画日から4週間経過すると自動で消去されます。
- HDD内の残時間が少なくなると自動的に消去されます。
- 4週間未視聴状態がつづいた番組フォルダーは、録画された番組も含めて自動的に消去されます。消去される1週間前になると「もうすぐ削除」表示でお知らせします。

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）



ドラ丸で自動録画されたタイトルを自動消去されないようにする

■タイトルを一括保護する

ドラ丸で自動録画されたタイトルを自動消去されないようにするためには、タイトルを保護するか、番組フォルダーを「予約確定」（通常予約に変更）します。

1. 【ドラ丸】ボタンを押します
2. 一括保護したい番組フォルダーを選択して、決定します
3. タイトルを一括保護します

   【緑】ボタン（一括保護）を押す

- 選択したタイトルが一括保護されます。
- 一括保護を解除したいときは【緑】ボタン（一括保護解除）を押します。

録画・予約録画

条件を指定して自動で録画する（ドラ丸）



ドラ丸で自動録画されないようにしたいとき

1. 【ドラ丸】ボタンを押します

2. 自動録画を取り消したい番組フォルダーを選び【黄】ボタン（リストから削除）を押します
   - 削除画面はドラ丸で自動録画された番組の有／無により異なります。
     録画番組があるときは、番組フォルダーのみを削除するか、録画されている番組を含めて削除するかを選べます。
   - 画面の案内に従って操作してください。

録画・予約録画

スカパー! プレミアムサービスチューナーから録画する

本機とスカパー! プレミアムサービスチューナー（または、スカパー! プレミアムサービス光チューナー）をLAN（Local Area Network）に接続し、ホームネットワーク機能を利用することにより、スカパー! プレミアムサービスチューナーから内蔵HDDに録画をすることができます。動作確認済みのスカパー! プレミアムサービスチューナーの機種名および操作（接続）方法についてはシャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_skyperfectv.html）でご確認ください。

1. スカパー! プレミアムサービスチューナーをLANに接続します
2. 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします→8-17ページ
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
3. スカパー! プレミアムサービスチューナーのネットワーク設定を行います
   - 本機が、スカパー! プレミアムサービスチューナーの録画機になるように設定してください。設定については、スカパー! プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。
4. 本機の電源を「入」にし、スカパー! プレミアムサービスチューナーで、本機を予約先にした録画予約を設定します
   - 予約した番組が内蔵HDDに録画されます。
   - 設定については、スカパー! プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。
   - 地上デジタル放送はスカパー! プレミアムサービスチューナーから予約録画できません。本機のチューナーで録画（予約録画）してください。
   - 外付けHDDには予約録画できません。
   - 録画中はLANランプとRECランプが点灯します。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

スカパー! プレミアムサービスチューナーから録画する

ご注意

- 本機の電源が切れていると録画予約の設定ができません。
- 本機で録画操作を行ってもLAN接続のスカパー! プレミアムサービスの録画はできません。スカパー! プレミアムサービスチューナーで録画予約してください。
- 1つの番組の連続録画可能時間は12時間です。12時間を超える番組は、12時間単位で予約設定をしてください。

ヒント

設定した予約を取り消したいときは

- スカパー! プレミアムサービスチューナーと本機の電源を入れた状態でスカパー! プレミアムサービスチューナーから予約を取り消してください。本機の予約リストから予約情報が自動で消去されます。
予約情報が自動で消去されないときは、予約リストから削除してください。
- スカパー! プレミアムサービスを録画中は、【画面表示】ボタンを押すと、画面に「● LAN録画」と表示されます。

お知らせ

「スカパー! プレミアムサービスLink」（録画）は、スカパー! プレミアムサービスの番組をホームネットワーク（家庭内LAN）内に接続された機器間でデジタル録画できる機能です。スカパー! プレミアムサービス対応チューナーと「スカパー! プレミアムサービスLink」（録画）に対応した機器をネットワーク接続することで、ハイビョン番組をハイビジョン画質のまま録画できます。
※標準画質番組は標準画質での録画となります。
※ラジオ番組は対応しておりません。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

スカパー! プレミアムサービスチューナーから録画する

スカパー! プレミアムサービスチューナーから録画できる時間

- 「スカパー! プレミアムサービスLink」録画可能時間の目安です。録画時間を保証するものではありません。
- 「スカパー! プレミアムサービスLink」録画可能時間は、録画する番組により異なります。
- 動きの激しい番組を録画した場合は、録画できる時間が減少します。
- 「スカパー! プレミアムサービスLink」では、本機で表示される録画時間の残時間と実際に録画できる残時間は異なる場合があります。

機種	内蔵HDD容量	録画できる時間 （スカパー! プレミアムサービスハイビジョン番組）
2B-C10BT3	1TB	約234時間（約130～300時間）
2B-C20BT3	2TB	約468時間（約260～600時間）

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

スカパー! プレミアムサービスチューナーから録画する

スカパー! プレミアムサービスチューナーから予約した番組の予約リスト表示について

予約実行可能　**/**[*]まで

LAN　　LAN予約

/[*]　午後10:00～午後11:00

	予約日時	CH	番組名	録画先	画質	繰り返し	実行
1	**/**[*]　午後10:00～午後11:00		LAN予約	HDD		毎週	○
2	**/**[*]　午前**:**～午前**:**	[地D 061]	K－5格闘技選手権	HDD	DR	毎週	○
3	**/**[*]　午後**:**～午後**:**	[地D 081]	新春、芸能人大集合	HDD	三画		休
4	**/**[*]　午後**:**～午後**:**	[地D 051]	マニュアル浜口夫人	HDD	DR	月～金	○
5	**/**[*]　午後**:**～午前**:**	[地D 011]	ウィンブルドン２００１	HDD	DR	月～金	○

- 番組名は「LAN予約」と表示されます。画質や予約録画延長設定などは表示されません。

録画・予約録画

ケーブルテレビ(CATV)から録画する

本機とケーブルテレビ(CATV)ボックスをLAN(LocalArea Network)に接続し、ホームネットワーク機能を利用することにより、ケーブルテレビ(CATV)を内蔵HDDに録画することができます。動作確認済みのケーブルテレビ(CATV)ボックスについてはシャープ サポート・お問い合わせページ(http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_dlna_catv.html)でご確認ください。

1. ケーブルテレビ(CATV)ボックスをLANに接続します

2. 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします→8-17ページ
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

3. ケーブルテレビ(CATV)ボックスのネットワーク設定を行います
   - 本機が、ケーブルテレビ(CATV)ボックスの録画機になるように設定してください。設定については、ケーブルテレビ(CATV)ボックスの取扱説明書をご覧ください。

4. 本機の電源を「入」にし、ケーブルテレビ(CATV)ボックスで、本機を予約先にした録画予約を設定します
   - 予約した番組が内蔵HDDに録画されます。
   - 設定については、ケーブルテレビ(CATV)ボックスの取扱説明書をご覧ください。
   - 外付けHDDには予約録画できません。

次ページへつづく⇒

録画・予約録画

ケーブルテレビ(CATV)から録画する

ご注意

- 本機の電源が切れていると録画予約の設定ができません。
- 本機で録画操作を行ってもLAN録画はできません。ケーブルテレビ(CATV)ボックスで録画予約してください。

ヒント

設定した予約を取り消したいときは

- ケーブルテレビ(CATV)ボックスと本機の電源を入れた状態でケーブルテレビ(CATV)ボックスから予約を取り消してください。
  本機の予約リストから予約情報が自動で消去されます。
  予約情報が自動で消去されないときは、予約リストから削除してください。
- LAN録画中は、【画面表示】ボタンを押すと、画面に「● LAN録画」と表示されます。

ケーブルテレビ(CATV)ボックスから予約した番組の予約リスト表示について

予約実行可能 **/**[*]まで

LAN　　LAN予約

/[*] 午後10:00～午後11:00

	予約日時	CH	番組名	録画先	画質	繰り返し	実行
1	**/**[*] 午後10:00～午後11:00		LAN予約	HDD		毎週	○
2	**/**[*] 午前**:**～午前**:**	[D 061]	K－5格闘技選手権	HDD	DR	毎週	○
3	**/**[*] 午後**:**～午後**:**	[D 081]	新春、芸能人大集合	HDD	三四		休
4	**/**[*] 午後**:**～午後**:**	[D 051]	マニュアル浜口夫人	HDD	DR	月～金	○
5	**/**[*] 午後**:**～午前**:**	[D 011]	ウィンブルドン２００１	HDD	DR	月～金	○

- 番組名は「LAN予約」と表示されます。画質や予約録画延長設定などは表示されません。

再生・消去・編集

再生をする前に



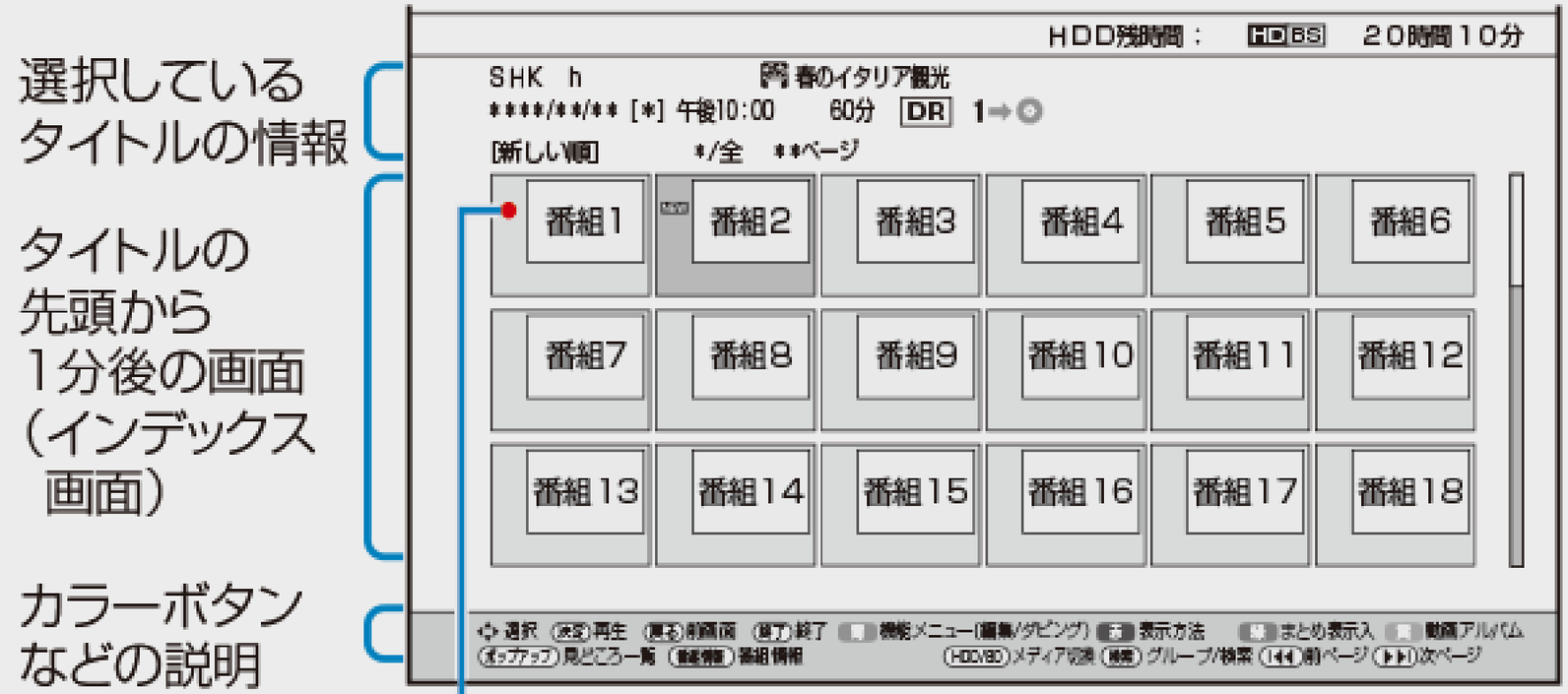
録画した番組やBD（ブルーレイディスク）、DVDなどを再生する前にお読みください。

録画リスト表示について

- 【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押します

⇒録画リストが表示されます。

- 内蔵HDDの画面リスト表示例



「●」は録画中の番組に表示されます。

次ページへつづく⇒



録画リスト表示について(つづき)

ご注意

- 4-1ページの図は内蔵HDDの画面リストの例です。外付けHDD、BD(ブルーレイディスク)、DVDの画面リストの場合は、表示される内容が異なります。
- 録画リストに表示される録画中の番組は次のことができません。
  - 機能メニューの表示
  - チャプター単位表示
- 録画リストに表示される録画中の番組を並べ換えた場合は、データ量未確定のため、容量ゼロもしくはその時点の容量になります。

お知らせ

- 視聴年齢制限を設定(→10-11、10-12、10-44ページ)しているとき、年齢制限されている番組は、録画リストが黒画面となります。タイトル名は「＊＊＊」表示となります。

録画リストの文字の大きさ

- 録画リストで【赤】ボタン(表示方法)を押し「大きい文字」⇔「普通の文字」を選ぶと、文字の大きさを変えることができます。



ドラ丸リストを表示

1. 【ドラ丸】ボタンを押します

2. 再生したい番組フォルダーを選んで決定します
   - ドラ丸タイトルリストが表示されます。

ドラ丸タイトルリストのカラーボタン

【青】ボタン	機能メニュー(編集/ダビング)	4-20
【赤】ボタン	表示方法	4-4
【緑】ボタン	一括保護	3-111
【黄】ボタン	一括ダビング:ドラ丸タイトルリスト内の番組を外付けHDD、BD/DVD、HDDに一括ダビングします。	5-35

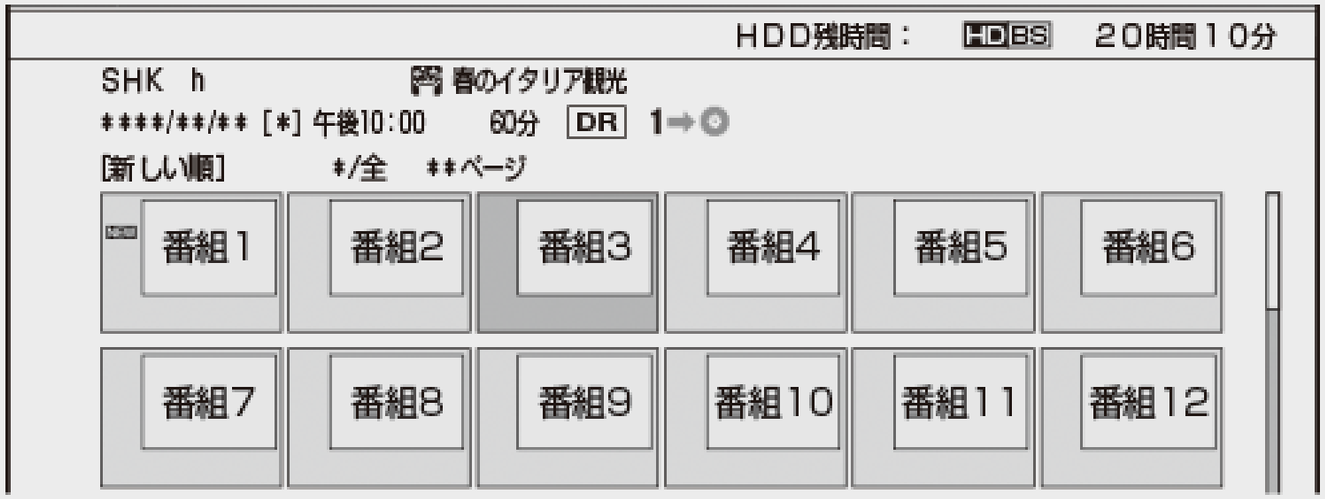


録画リスト／ドラ丸タイトルリストの表示を切り換える

1. 【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押します

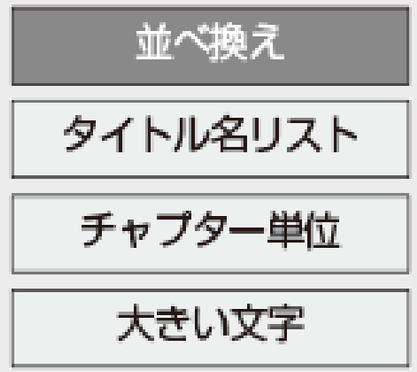
●ドラ丸タイトルリストを表示させるには
⇒ 4-3ページ「ドラ丸リストを表示」の手順1～2を行います。
確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

■画面リスト



2. 表示方法を選んで決定します

(1)【赤】ボタン(表示方法)を押します。
(2)【上下カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押します。

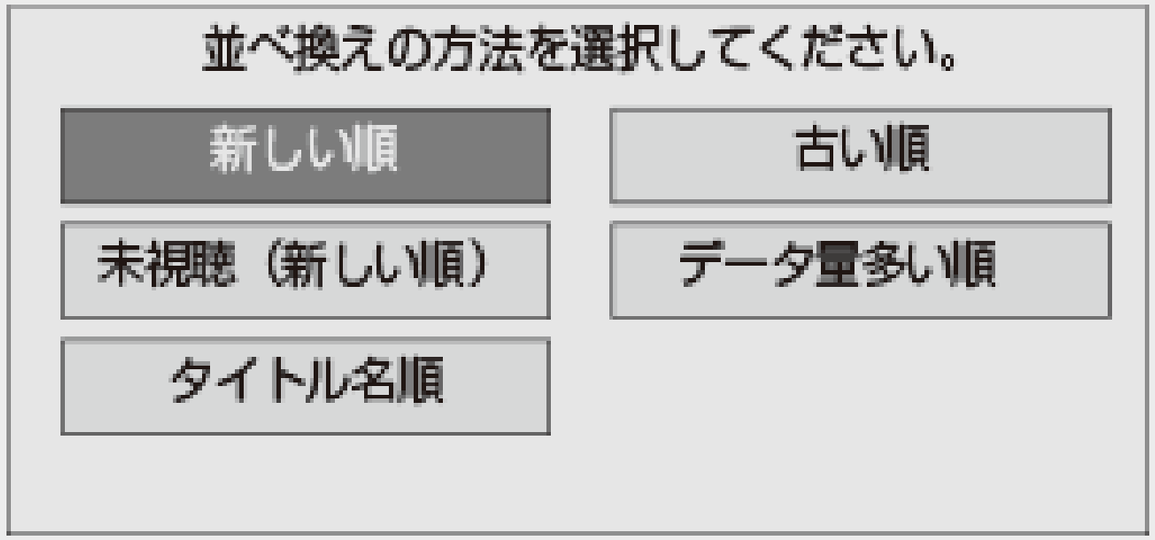


次ページへつづく⇒

再生をする前に

■タイトルを並べ換え

HDD（ハードディスク）の表示例



- BD（ブルーレイディスク）やDVDの場合は、「新しい順」「古い順」「タイトル名順」「ディスクへの録画順」の並べ換えが行えます。BDとDVD（VRフォーマット）のディスクは、並べ換えた順番で再生できます。
  ⇒並び換えられた録画リストが表示されます。

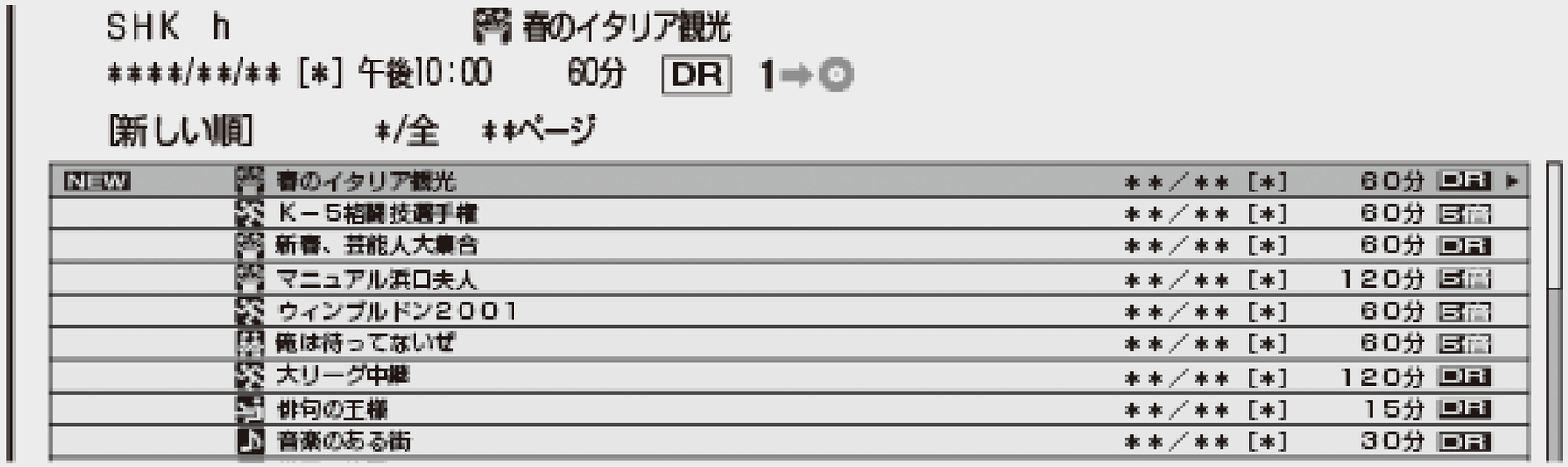
次ページへつづく⇒

再生をする前に



■タイトル名リスト

内蔵HDDの表示例



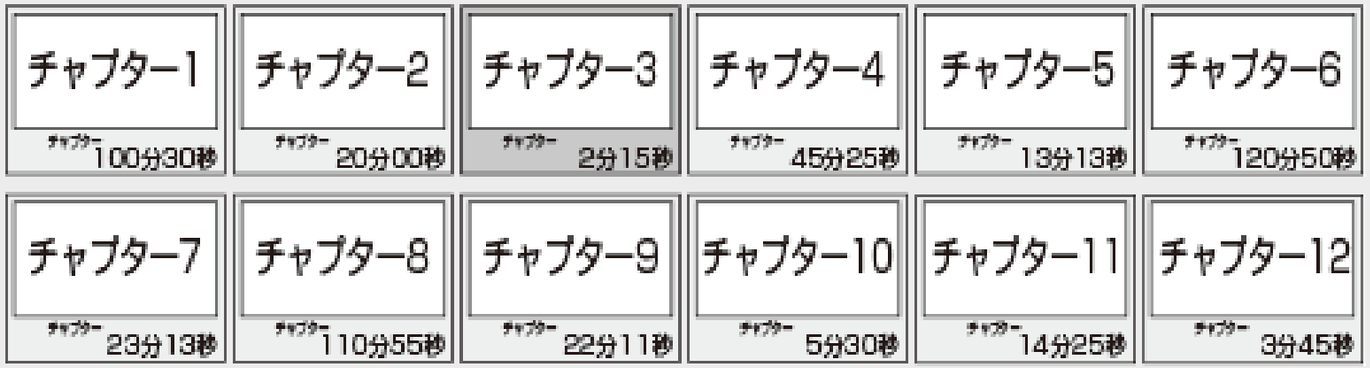
- 画面リストに戻すときは、【赤】ボタンを押して「画面リスト」を選んで決定します。

次ページへつづく⇒

再生をする前に



■チャプター単位



- タイトル単位に戻すときは、【赤】ボタン（タイトル単位）を押します。
- チャプターについて→4-92ページ

お知らせ

- DVDの再生では、チャプター単位の表示はできません。

■文字サイズ

文字サイズを変える

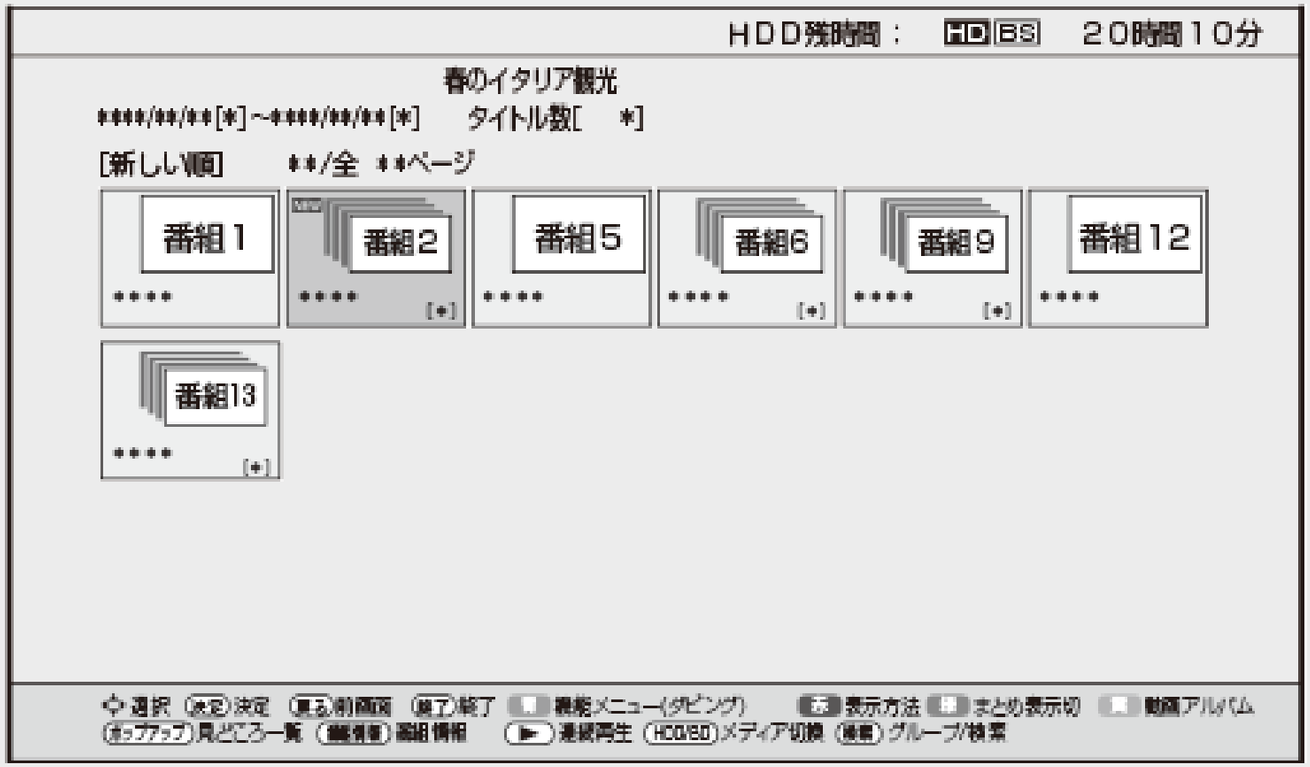
- 選択するたびに「大きい文字」⇔「普通の文字」に切り換えることができます。

再生をする前に



録画リストタイトルまとめ機能（まと丸）

録画リスト表示中に【緑】ボタンを押すと、録画した番組をタイトルごとにまとめて表示できます。
再度【緑】ボタンを押すと、まとめ表示「切」となります。



- まと丸フォルダーに表示される子画面は、最初に録画された番組です。
- 【上下左右カーソル】ボタンでフォルダーを選んで【再生】ボタンを押すと、まとめたタイトルを連続再生できます。
- 【上下左右カーソル】ボタンでフォルダーを選んで【決定】ボタンを押すと、まとめたタイトルのリスト表示に切り換えます。
- 【（ポップアップ）メニュー】ボタンを押すと、全てのタイトルの見どころ一覧を表示します。

次ページへつづく⇒



録画リストタイトルまとめ機能（まと丸）（つづき）

- 【青】ボタンを押すと、機能メニューを表示します。

消去	まとめたタイトルを一括で消去します。
ダビング	まとめたタイトルを、一括でダビングします。
タイトル保護設定	まとめたタイトル保護を、一括で設定／解除します。

お知らせ

- 本機の状態（番組情報が取得できていないなど）や、番組名を変更した番組などは、まとまらない場合があります。
- 番組の種類によっては、違ったタイトルがまとまって表示される場合があります。

再生・消去・編集

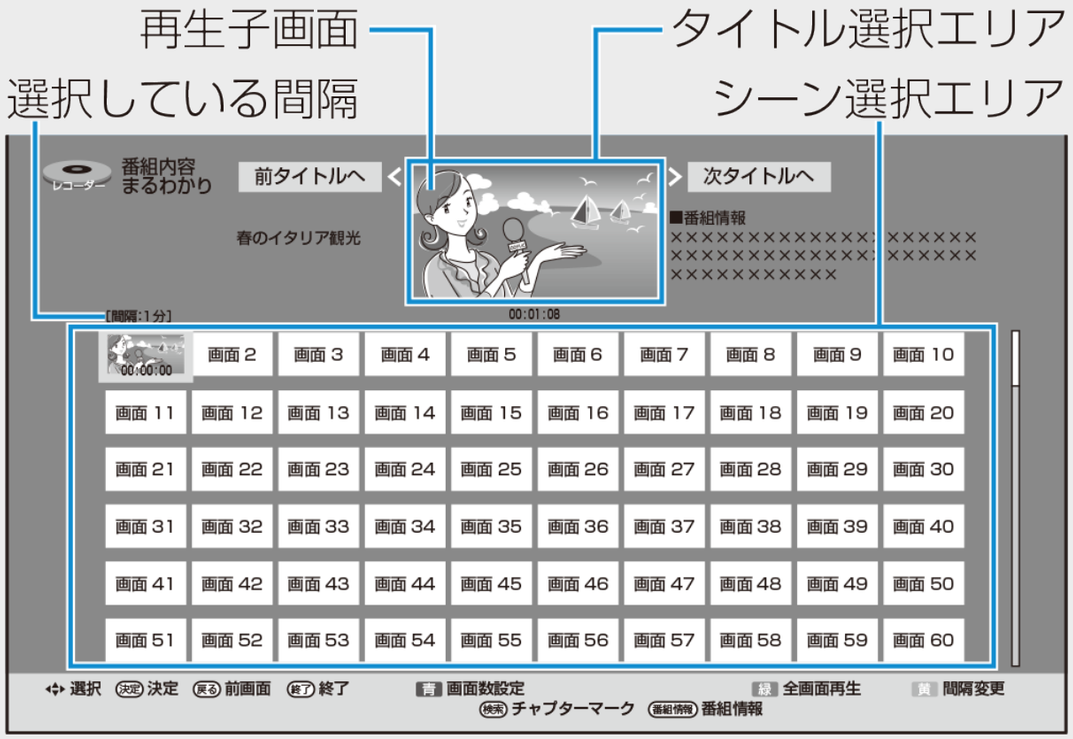
再生をする前に



番組内容まるわかり

再生したいシーンを分単位で表示させ、選んだところから再生が行える機能です。

(1)【まるわかり】ボタンを押します。



- タイトル選択エリアで【左右カーソル】ボタンを押すと前のタイトルまたはつぎのタイトルが選択できます。
- 【黄】ボタン(間隔変更)を押すごとに、「1分」単位で「5分」まで、再生したいシーン間隔を変更できます。
- 【青】ボタンを押すと、シーン選択エリアの画面表示を切り換えることができます。「60画面」「24画面」のいずれかを選び、【決定】ボタンを押します。

次ページへつづく⇒



番組内容まるわかり(つづき)

（2）シーン選択エリアで【上下左右カーソル】ボタンでシーンを選んで【決定】ボタンを押します。

- 選んだシーンから子画面再生が始まります。
- チャプターマークを追加したいときは、子画面の再生映像をみながら【検索／チャプターマーク】ボタンを押します。
- 番組情報を確認したいときは、【番組情報】ボタンを押します。
- 録画リスト表示に戻したいときは、【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押します。一覧の表示を消したいときは、【終了】ボタンを押します。放送画面に戻ります。
- 【まるわかり】ボタンを押しても放送画面に戻ります。

（3）全画面表示にするときは【緑】ボタンを押します。

- 再生画面になります。

お知らせ

- 外付けHDD、BD、DVDの再生では表示できません。
- シーンは、録画時に約1分間隔で自動で作成されます。
- シーンは、最大720場面です。



見どころ一覧（見どころポップアップ）

再生したいシーンをチャプター単位や分単位で表示させ、選んだところから再生が行える機能です。

（1）録画リストを表示します。

（2）【上下左右カーソル】ボタンで再生したいタイトルを選んで【（ポップアップ）メニュー】ボタンを押します。

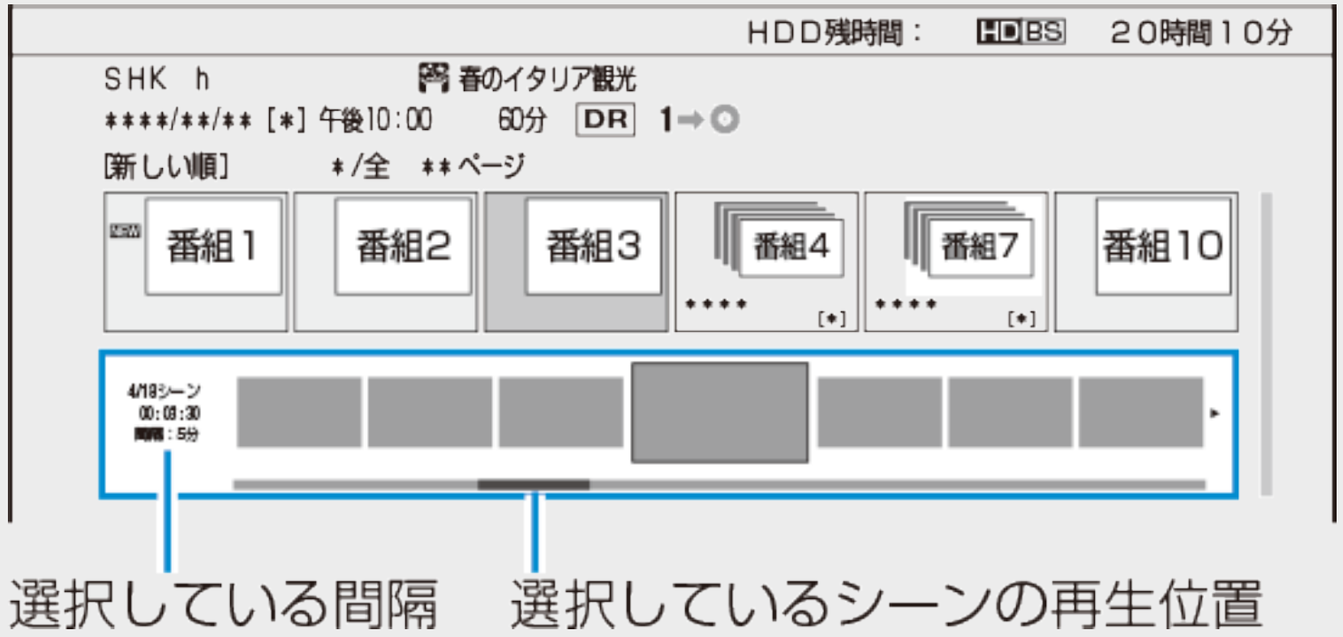
- タイトル名リストに表示しているときは、【上下左右カーソル】ボタンで選び【（ポップアップ）メニュー】ボタンを押します。
- 見どころ一覧は、再生中にも表示できます。

次ページへつづく⇒



見どころ一覧（見どころポップアップ）（つづき）

（3）選んだタイトルの見どころ一覧が表示されます。



- 【黄】ボタン（シーン間隔変更）を押すごとに、「5分」（約5分間）、「1分」（約1分間）、「チャプター」に切り換わります。
- 見どころ一覧を表示させたまま、別のタイトルの見どころ一覧を確認したいとき：
  - 画面リスト表示の場合 ⇒【早戻し】ボタン、【早送り】ボタンを押す
  - タイトル名リスト表示の場合 ⇒【上下カーソル】ボタンを押す

次ページへつづく⇒



見どころ一覧（見どころポップアップ）（つづき）

（4）【左右カーソル】ボタンでシーンを選んで【決定】ボタンを押します。

- 選んだシーンから再生が始まります。
- 見どころ一覧の表示を消したいときは、【（ポップアップ）メニュー】ボタン、【戻る】ボタンを押します。
- 【終了】ボタンを押すと録画リストが消え放送画面になります。

お知らせ

- 外付けHDD、BD、DVDの再生では見どころ一覧は表示できません。
- 見どころ一覧のシーンは、録画時に約1分間隔で自動で作成されます。
- 見どころ一覧に表示されるシーンは、最大720場面です。
- タイトルを編集した場合、見どころ一覧のシーンや、シーン間隔が変更となる場合があります。
- シーンを選んで再生したとき、多少ずれて再生される場合があります。シーンは再生ポイントの目安です。



録画したタイトルに関連する番組を検索する

1. 録画リストで「機能メニュー」を表示させます
   【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す ⇒【青】ボタンを押す

2. 「関連番組検索」を選んで決定します
   - 関連する番組カテゴリ／人名が表示されます。

3. 検索したい番組カテゴリ／人名を選んで決定します
   - 検索された番組が表示されます。



録画リストのグループ表示切換

- グループ表示はハードディスク内に録画した「放送番組」または「動画アルバム」の切り換えと、「番組カテゴリ」、「ジャンル」、「フォルダー」、「人名」、「スタンプ」、「キーワード」などのグループ単位表示に切り換えることができます。
※グループ表示切換はドラ丸リストからは行えません。

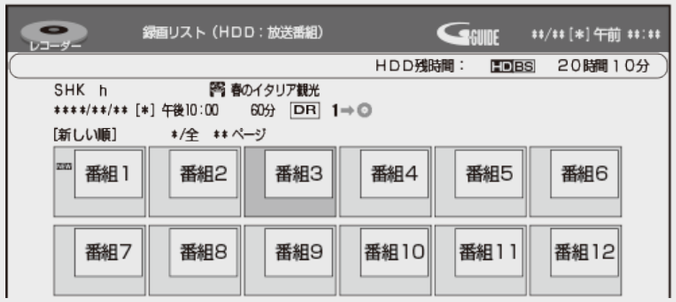
放送番組（内蔵／外付けHDD）

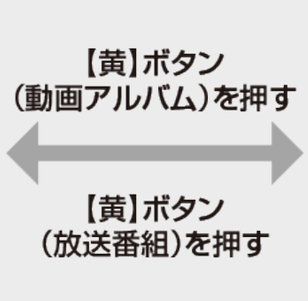
- 放送を録画した映像は、放送番組として分類されます。

動画アルバム（内蔵HDD）

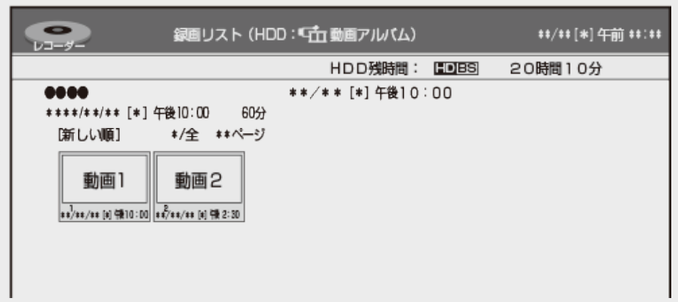
- AVCHD方式のデジタルビデオカメラから取り込んだ動画は、動画アルバムとして分類されます。

放送番組





動画アルバム



※ドラ丸タイトルリストを表示しているときは、動画アルバムへの切り換えは行えません。

次ページへつづく⇒

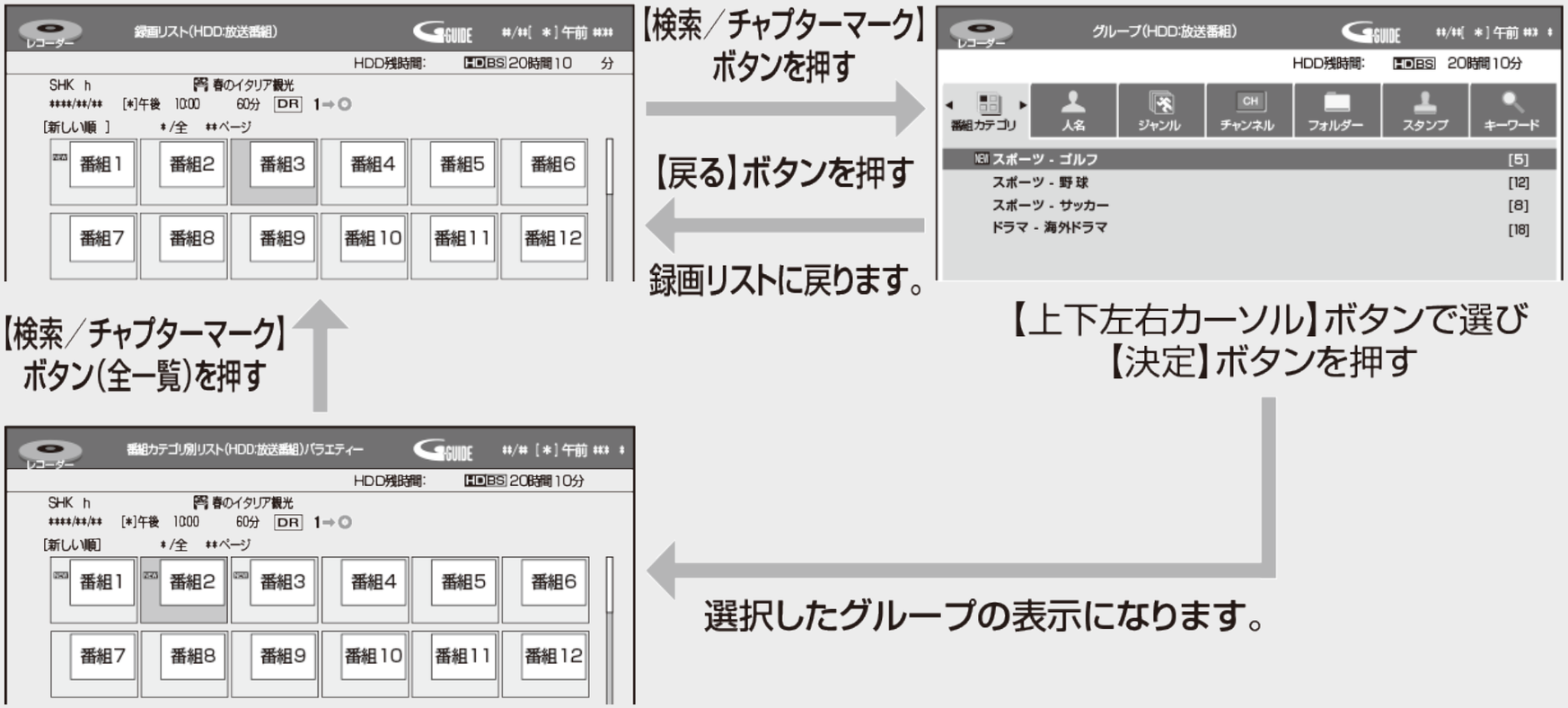


録画リストのグループ表示切換(つづき)

グループの種類について(内蔵／外付けHDD)

- 録画リスト表示を「放送番組」にしてグループ表示にすると「番組カテゴリ」、「人名」、「ジャンル」、「チャンネル」、「フォルダー」、「スタンプ」※、「キーワード」※などのグループ単位表示になります。
  ※外付けHDDでは「スタンプ」、「キーワード」グループは表示されません。
- 動画アルバムを表示させた時は「フォルダー」グループのみ表示されます。

グループ表示切換画面



次ページへつづく⇒



録画リストのグループ表示切換(つづき)

■「放送番組」を表示させたときのグループの種類

番組カテゴリ	番組のシリーズ名や分類名(カテゴリ)など選択した番組カテゴリの番組を表示。	4-45
人名	選択した人名に関連する番組を表示。	4-45
ジャンル	スポーツやドラマなど選択したジャンルの番組を表示。	4-45
チャンネル	選択したチャンネルの番組を表示。	4-46
フォルダー	予約録画時など、指定のフォルダーに設定した番組を表示。	4-47
スタンプ	設定したスタンプに該当する番組をスタンプごとに番組を表示。	4-46
キーワード	設定したキーワードに該当する番組を検索して表示。	4-53

各グループ表示と全番組表示の切り換えは、【戻る】ボタンを押します。

次ページへつづく⇒



録画リストのグループ表示切換(つづき)

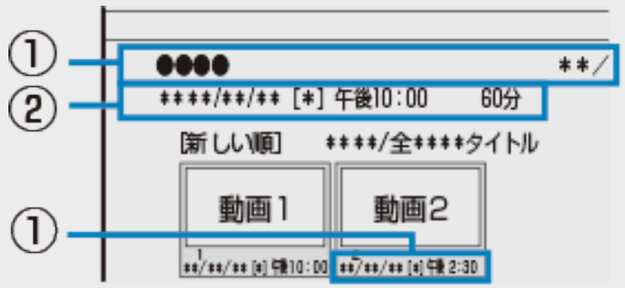
■「動画アルバム」を表示させたときのグループの種類

- フォルダー　⇒　指定のフォルダーに設定した動画を表示。
（→4-47ページ）

グループ表示と全動画表示の切り換えは、【戻る】ボタンを押します。

■動画アルバムの表示について

- AVCHD方式のカメラで撮影した日時はタイトル名として①に表示されます。（タイトル名を変更したいときは「タイトル名変更」（→4-176ページ）で行えます）



①：撮影日時がタイトル名として表示されます。
②：撮影日時が表示されます。



録画リスト／ドラ丸タイトルリストから各機能を設定する（機能メニュー）

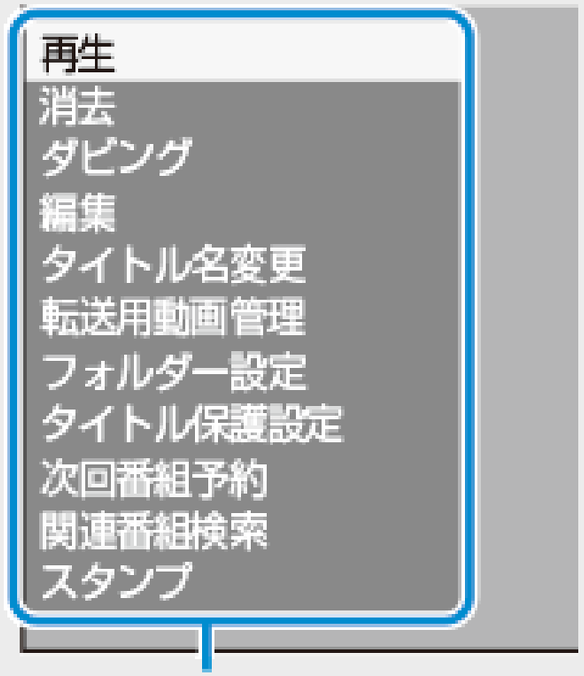
先にタイトル（録画した番組）を選んでから編集などを行うには、録画リストでタイトルやチャプターを選んでから「機能メニュー」によって各種機能を呼び出す方法が便利です。

1. 録画リスト／ドラ丸タイトルリストで「機能メニュー」を表示させます

【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す
⇒【青】ボタンまたは【ツール】ボタンを押す

- 録画リストでの切り換え（タイトル名リスト／チャプターリスト、オリジナル／プレイリスト※）によって、表示される機能は異なります。

※他機でプレイリストを作成したディスクを挿入した場合



機能メニュー

次ページへつづく⇒

録画リスト／ドラ丸タイトルリストから各機能を設定する（機能メニュー）（つづき）

2. それぞれの設定をします
    - 操作については、それぞれの参照ページをご覧ください。

「機能メニュー」では、次のような機能を呼び出すことができます。操作について詳しくは、それぞれの参照ページをご覧ください。

■再生（→4-1、4-29ページ）

HDD 外付けHDD BD DVD-RW/-R VR

録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を再生します。一度再生し、途中で停止したタイトルをはじめから見たいときに選択します。

次ページへつづく⇒

録画リスト／ドラ丸タイトルリストから各機能を設定する（機能メニュー）（つづき）

■消去（→4−125ページ）

HDD　外付けHDD　BD　DVD-RW/-R VR

録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を消去できます。DVDのタイトルはチャプター単位の消去はできません。

■ダビング（→5−1ページ）

HDD　外付けHDD　BD　DVD-RW/-R VR

HDD（ハードディスク）に録画した番組をBDにダビングしたり、さまざまなダビングをしたりできます。

次ページへつづく⇒

録画リスト／ドラ丸タイトルリストから各機能を設定する（機能メニュー）（つづき）

■編集（→4-135ページ）

HDD　外付けHDD　BD

HDD（ハードディスク）、BDに記録した番組は、編集の操作で本編以外の部分などをカットすることもできます。

- DVDは編集できません。

■タイトル名変更（→4-176ページ）

HDD　外付けHDD　BD　DVD-RW/-R VR

タイトル名を変更することができます。番組名など、わかりやすいタイトル名に変更しておくと、見たい番組を探すときに便利です。

次ページへつづく⇒

録画リスト／ドラ丸タイトルリストから各機能を設定する（機能メニュー）（つづき）

■転送用動画管理※1 ※2

HDD

Wi-Fi転送用動画の作成／消去ができます。

■フォルダー設定（→4-49ページ）

HDD 外付けHDD

録画リストで選んだタイトルを、フォルダーに分けて分類・整理できます。

■タイトル保護設定（→4-118ページ）

HDD 外付けHDD BD DVD-RW/-R VR

タイトルを保護します。誤って編集や消去をしないようにするときに設定します。

※1　動画アルバムのタイトルでは表示されません。
※2　動画アルバムの場合は、「転送用動画管理」、「次回番組予約」、「関連番組検索」は表示されません。

次ページへつづく⇒

録画リスト／ドラ丸タイトルリストから各機能を設定する（機能メニュー）（つづき）

■次回番組予約※1 ※2 ※3（→4-42ページ）

HDD 外付けHDD

録画したタイトルの次回放送の番組を番組表から検索し、予約することができます。

■関連番組検索※2 ※3（→4-15ページ）

HDD 外付けHDD

録画したタイトルに関連する「番組カテゴリ」や「人名」の番組を番組表から検索し、予約することができます。

■スタンプ（→4-26ページ）

HDD

内蔵HDDに録画した番組にお好みのスタンプを貼り付け、グループ表示でスタンプ別に番組を表示することができます。

※1　ドラ丸タイトルリストでは表示されません。
※2　動画アルバムのタイトルでは表示されません。
※3　動画アルバムの場合は、「転送用動画管理」、「次回番組予約」、「関連番組検索」は表示されません。



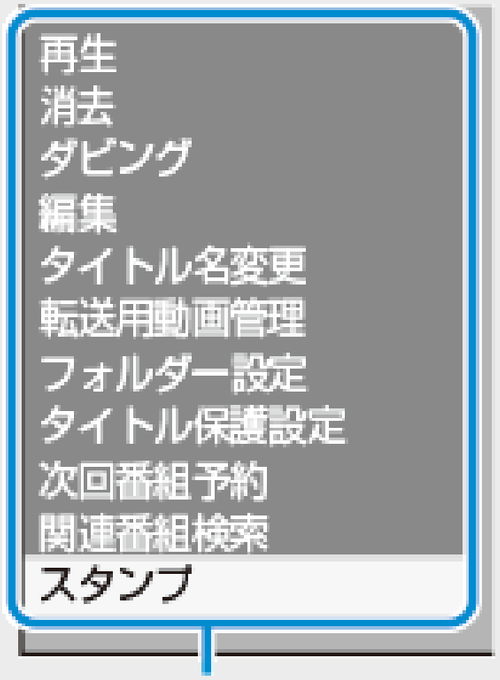
録画リスト／ドラ丸タイトルリストから各機能を設定する（機能メニュー）（つづき）

録画リストの番組にスタンプを付けて表示する

- 録画した番組にお好みのスタンプを貼り付け管理したり、グループ表示でスタンプ別に番組を表示することができます。

1. 【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押して、録画リストを表示します
2. スタンプを貼り付けたい番組を選び、【青】ボタン（機能メニュー）または【ツール】ボタンを押します
3. 【上下カーソル】ボタンで「スタンプ」を選び決定します





機能メニュー

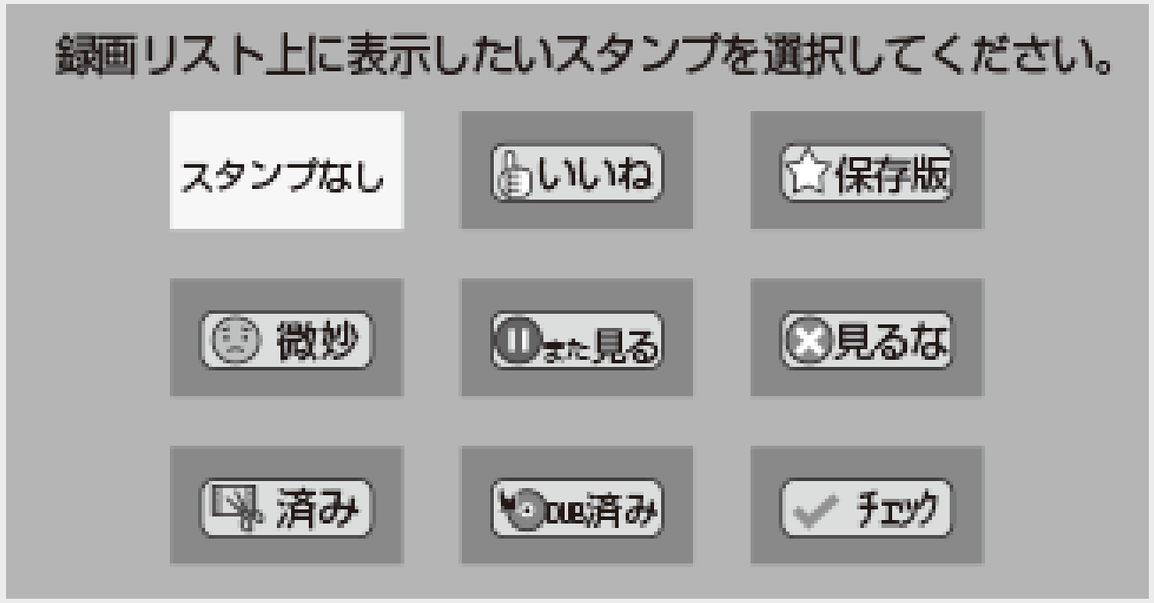
次ページへつづく⇒



録画リスト／ドラ丸タイトルリストから各機能を設定する（機能メニュー）（つづき）

録画リストの番組にスタンプを付けて表示する(つづき)

4. 貼り付けたいスタンプを選び決定します
   - 選んだスタンプが決定し機能メニュー画面に戻ります



- スタンプを消したいときは「スタンプなし」を選びます。
- 変更したいときは変更したいスタンプを選びます。

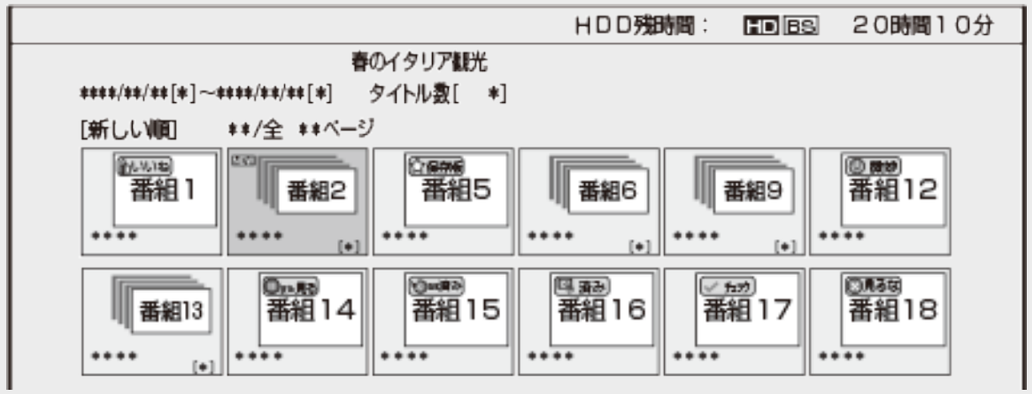
次ページへつづく⇒



録画リスト／ドラ丸タイトルリストから各機能を設定する（機能メニュー）（つづき）

録画リストの番組にスタンプを付けて表示する(つづき)

5. 【戻る】ボタンを押します
   - 選んだタイトルにスタンプが貼りつきます。
   - タイトル名リストでもスタンプは表示されます。



■スタンプ別に番組を確認したいとき

- グループ表示に切り換え、スタンプを選びます。
  （グループ表示切り換えは→4-43ページ）
  ※動画アルバムではスタンプのグループ表示はできません。

お知らせ

- スタンプを貼り付けできるタイトルは、内蔵ハードディスクに録画した番組です。
- スタンプの貼りついた番組をタイトル結合した場合は、スタンプが消去されます。
- まと丸フォルダにスタンプは表示されません。
- スタンプは機能とは連動していません。例えば、ドラ丸録画した番組などに「保存版」のスタンプを貼り付けても自動消去されます。

再生・消去・編集

HDDに録画した番組やBD・DVDを再生する

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ	市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ	音楽用CD

- 内蔵／外付けHDDに録画した番組やダビングしたBD（ブルーレイディスク）、DVDを「録画リスト」から選んで再生します。
- 他機で録画したDVDは、ファイナライズされたディスクが本機で再生できます。

ご注意

- BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機に挿入することもできません。
- 他のBDレコーダーで録画したBD-RE/-Rには、一部再生できないディスクがあります。例えば、4K放送を録画したBDやデジタルハイビジョンカメラ（HDV方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できない場合があります。
- 4Kレコーダーで4K放送を録画したBDを再生したとき、字幕は表示できません。
- AVCREC方式やHD Rec規格で記録したDVDは、再生できません。

お知らせ

- ビデオフォーマットで録画したDVDは、ファイナライズされていないと再生できません。
- ファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。
- 再生専用のディスクを挿入したときは、自動でBD/DVDモードに切り換わり、再生が始まります。
- 録画リストに表示されるタイトル名は、最大で内蔵／外付けHDDで全角40文字（BD全角40文字・DVD全角32文字）です。本機以外で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

HDDに録画した番組やBD・DVDを再生する

お知らせ

- DVDでは、ディスクを一度トレイから取り出すと、録画リストに「XP」や「SP」などの画質表示が出なくなります。
- 録画した番組で、まだ再生していない番組には「NEW」が表示されます。（BD/DVDは、一度ディスクを取り出すと表示されません。）
- 録画リストについてお困りの際は「故障かな？と思ったら」（→12-32ページ）をご覧ください。
- 視聴年齢制限を設定（→10-44ページ）しているとき、設定した年齢制限に該当する番組を再生しようとしたときは、年齢制限を解除するためのパスワード入力画面が表示されます。パスワードは本機に設定されているパスワードです。
- 録画した3D放送を3Dで視聴するには、3D対応テレビの設定が必要です。詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をお読みください。
- 長時間録画画質で録画された番組を再生するときは、お好みに応じて画質調整（→10-24ページ）することをおすすめします。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

HDDに録画した番組やBD・DVDを再生する



［準備］

BD・DVDを再生するときは再生用のディスクを挿入します→1-38ページ

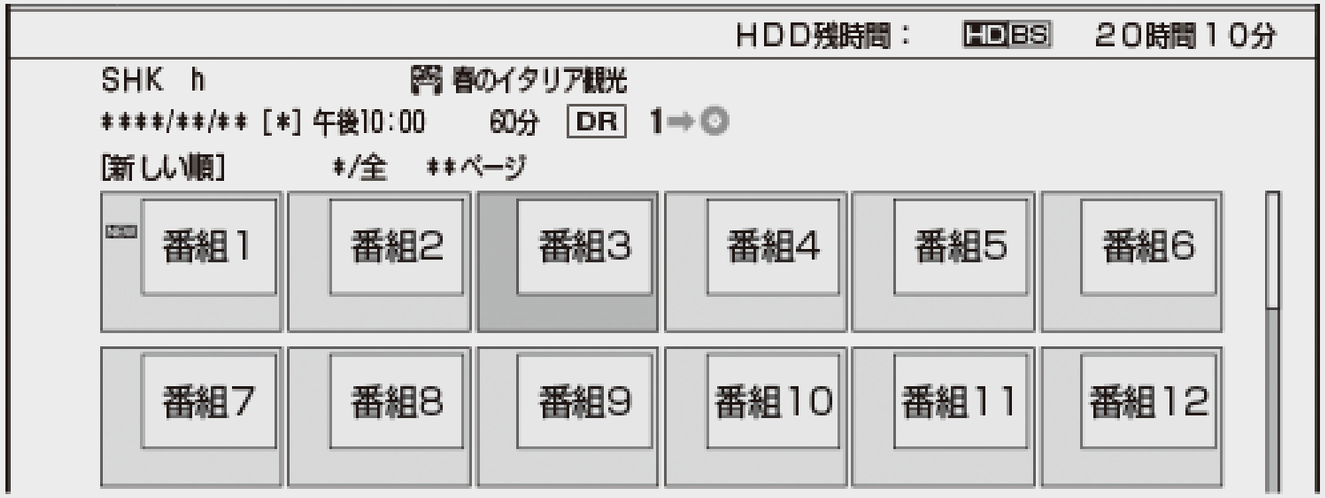
1. HDDまたはBD/DVDを選びます

【HDD/BD】ボタンを押す

- 電源を入れた時点ではHDDモードです。押すごとにモードが切り換わります。外付けHDD/BD/DVDの選択など詳しくは「モードの切り換え」（→1-63ページ）をご覧ください。

2. 録画した複数の番組の中から選んで再生したいとき

【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す ⇒ 録画リストが表示されます。手順3に進みます。



- 動画アルバムにダビングしたビデオカメラの映像を再生したいときは、【黄】ボタン（動画アルバム）を押します。

⇒ 動画アルバムが表示されます。手順3に進みます。

次ページへつづく⇒

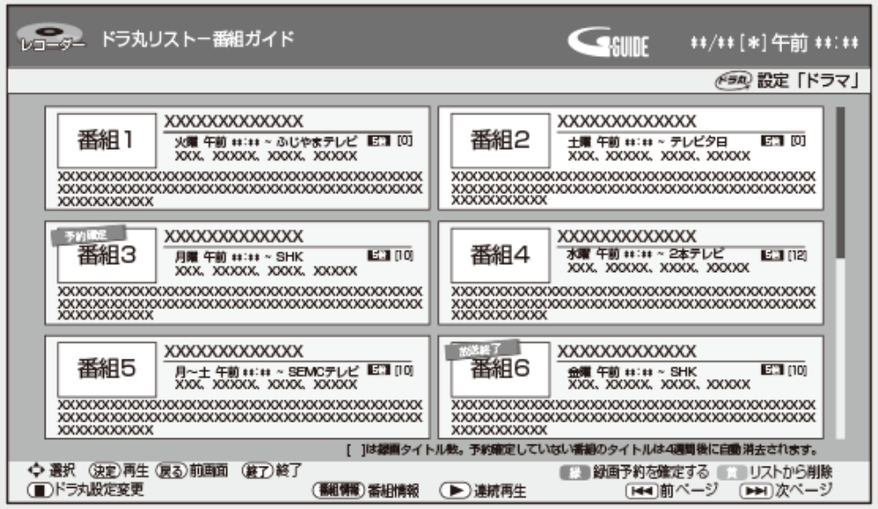
再生・消去・編集

HDDに録画した番組やBD・DVDを再生する



■ドラ丸リストから録画した番組を再生したいとき

(1)【ドラ丸】ボタンを押します



(2)再生したい番組フォルダーを選択し決定します

- ドラ丸タイトルリストが表示されます。手順3へ進みます。

■録画した番組をすぐに再生したいとき

【再生】ボタンを押す ⇒ 最後に録画または再生したタイトルが再生されます。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

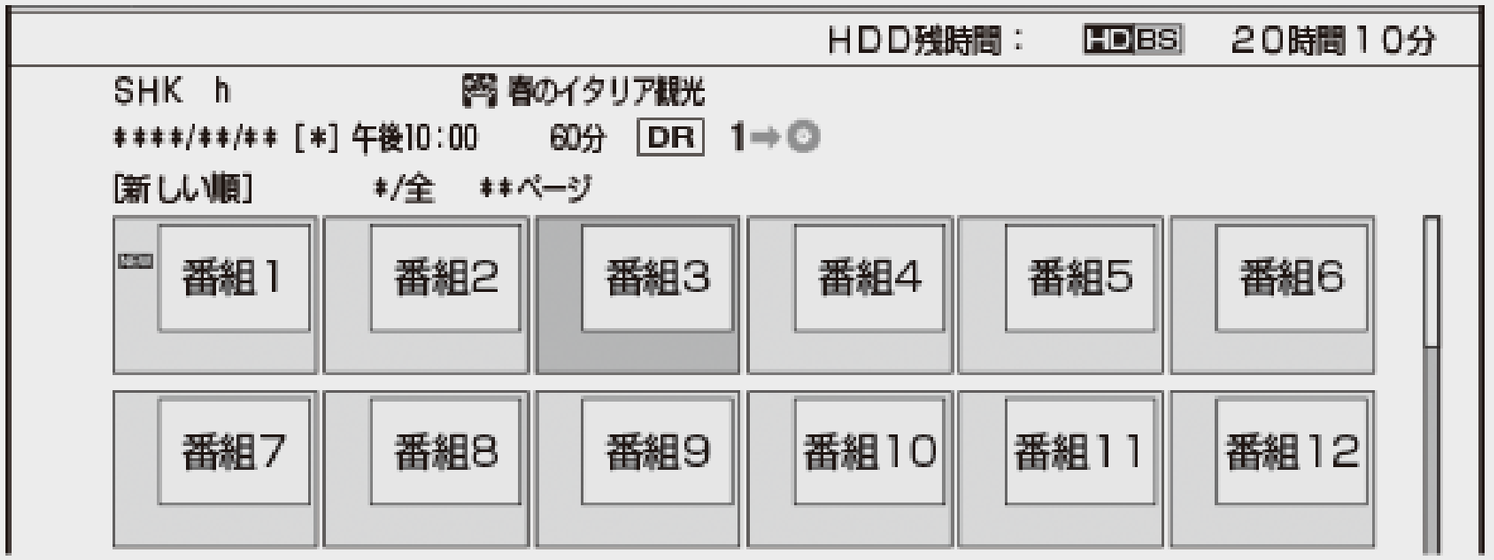
HDDに録画した番組やBD・DVDを再生する



3. 見たいタイトル（録画した番組）を選んで決定します

⇒再生が始まります。

画面リストの画面例



- 画面リストの場合、番組を選ぶと自動的に子画面のまま再生されて内容を確認できます。（【早送り】ボタンで子画面早送り、【早戻し】ボタンで子画面早戻し）
- ページが複数あるときは：【前】ボタン／【次】ボタンでページ切換

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

HDDに録画した番組やBD・DVDを再生する



ヒント

- 再生中に【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押すと、再生を停止して、録画リストを表示できます。
- HDD（ハードディスク）の録画リストで【青】ボタン（機能メニュー（編集／ダビング））を押すと、タイトルの編集や消去ができます。
- ドラ丸フォルダー、まと丸フォルダーを選んで【再生】ボタンを押したときはフォルダー内の番組が連続再生されます。
- 録画リスト表示中に番組を選んで【番組情報／QRコード】ボタンを押すと、番組情報が表示されます。QRコードが表示されたときは、【画面表示】ボタンを押すとQRコードを拡大表示できます。

次ページへつづく⇒



■再生が終わると

ドラ丸録画番組	ドラ丸「予約確定」選択画面を表示
HDD（ハードディスク）	放送中のテレビ番組映像
動画アルバム・BD・DVD	次のタイトルを再生

4. 再生を止めるときは

【停止／録画停止】ボタンを押す

- 再生をタイトルの途中で止めたときは、つづきから再生することができます。
- つづき再生について→4−75ページ

HDDに録画した番組やBD・DVDを再生する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

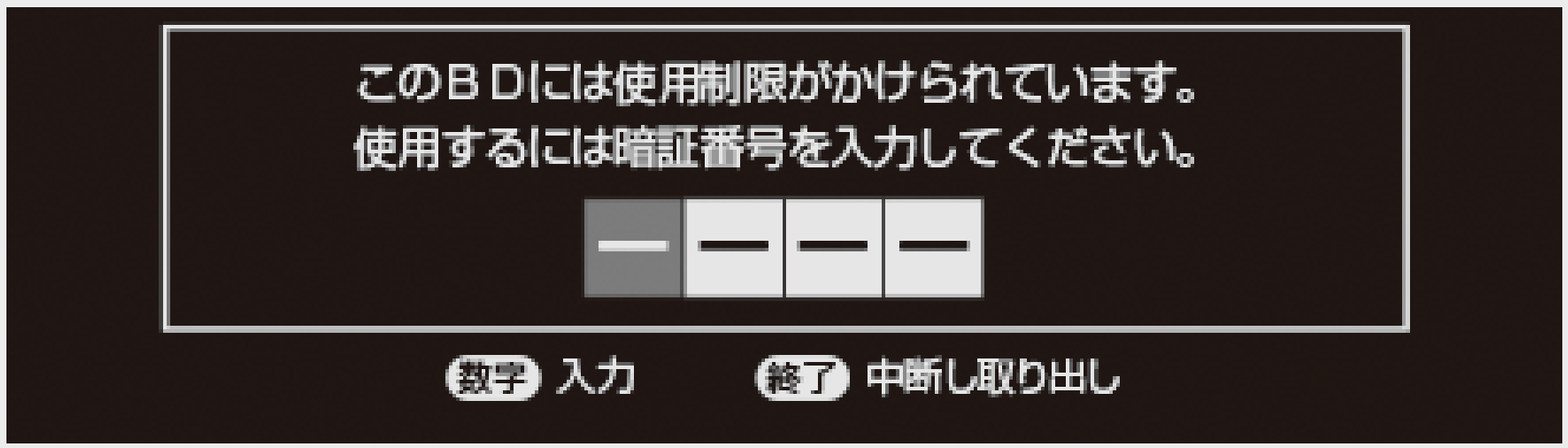
BDやDVDを再生する

1. BD/DVDモードを選び、ディスクを挿入します→1-38ページ
   - モードの切り換えについて詳しくは1-63ページをご覧ください。

ヒント

BDを挿入したとき

- 他機で使用制限をかけたBDを挿入すると、次のような画面になります。暗証番号を入力してください。



- 暗証番号を3回まちがえると、ディスクトレイが開きます。ディスクトレイを閉じてから、正しい暗証番号を入力してください。

次ページへつづく⇒



BDやDVDを再生する(つづき)

2. 自動的に再生が始まらないときは、再生ボタンを押します
   【再生】ボタンを押す⇒ 最初から再生されます。

■再生を止めるときは

【停止／録画停止】ボタンを押す

次ページへつづく⇒



BDやDVDを再生する(つづき)

タイトルを選んで再生するには

1. 停止中に録画リストまたはタイトルメニューを表示させます
   【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す
2. タイトルを選んで決定します
   ⇒ 再生が始まります。

ヒント

- 録画リスト(タイトルメニュー)が表示されない場合は、一度再生させて停止し、手順1を再度行ってください。

次ページへつづく⇒

BDやDVDを再生する(つづき)

タイトルを選んで再生するには(つづき)

ご注意

- 他のBDレコーダーで録画したBDには、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ(HDV方式)で 撮影した映像を録画したディスクなどは再生できない場合があります。
- 他のBDレコーダーで録画されたBDがH.264画質で長時間録画されているときは、本機では再生できない場合があります。
- 本機以外でダビングしたDVD-R DL(2層)ディスクは、再生できない場合があります。
- 他機で録画したDVDが再生できないときは、録画に使用した機器でファイナライズを行ってください。
- 他のDVDレコーダーで付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、
「＊＊＊＊・・・・」(最大で全角32文字分)の表示となります。
- 他のレコーダーでフレーム単位の編集をしたディスクを再生したときは、開始地点、終了地点がずれたりインデックス画面が異なる場合があります。
- 他機で録画したBD、DVDに著作権保護された映像が含まれているときは、再生できない場合があります。

再生・消去・編集

HDDに録画した番組やBD・DVDを再生する



HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR	ビデオ	市販のBD/DVDビデオ	音楽用CD

プレイリスト表示（プレイリストのあるディスクを挿入したとき）

1. 画面リストまたはタイトル名リストで「プレイリスト」を選びます

   【黄】ボタンを押す
   - 押すたびに「オリジナル」⇔「プレイリスト」表示となります。

2. リストを選んで決定します

   ⇒ 再生が始まります。

次ページへつづく⇒

プレイリスト表示（プレイリストのあるディスクを挿入したとき）（つづき）

お知らせ

- デジタル放送を録画（ダビング）したDVDを再生したとき、つぎの操作はできません。
  - 番組情報は表示できません。
  - 連動データは表示できません。
  - 字幕は表示できません。
- 本機に録画した映像を再生したとき、録画されている録画画質により放送と見え方が違って見える場合があります。
- 「2倍」～「12倍」、「HD〇〇」で録画した番組を16：9テレビで見たとき、放送と違って見える場合はテレビの画面サイズを変更してください。



録画したタイトルの次回の放送番組を予約する(次回番組予約)

録画したタイトルの次回の放送番組を予約することができます。

1. 録画リストで「機能メニュー」を表示させます
   【録画リスト/トップメニュー】ボタンを押す ⇒【青】ボタンを押す
2. 「次回番組予約」を選んで決定します
3. 「する」を選んで決定します
4. 「今回のみ予約」、「毎回予約」、「設定変更」のいずれかを選んで決定します
   - 予約録画の方法について詳しくは3-28ページをご覧ください。

再生・消去・編集

グループリストから再生する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

放送番組で「番組カテゴリ」「人名」「ジャンル」「チャンネル」「フォルダー」「スタンプ」「キーワード」ごとの録画リスト表示が行えます。

- 動画アルバムリストで選択できるのは「フォルダー」のみです。
- 外付けHDDでは「スタンプ」、「キーワード」の録画リストは表示されません。
- ドラ丸リストからグループリストは表示できません。

お知らせ

フォルダーに含まれないタイトル（録画した番組）を再生する

- 放送中の番組を録画した場合やフォルダー設定をしないで予約録画した場合は、どのフォルダーにも含まれないタイトルになります。
- どのフォルダーにも含まれていないタイトルは、フォルダー別リストからは選べません。リモコンの【戻る】ボタンを押し、録画リストから選んで再生してください。
- フォルダー別リストから選びたい場合は、「録画リスト」―「機能メニュー」―「フォルダー設定」でタイトルをいずれかの フォルダーに設定してください。

再生・消去・編集

グループリストから再生する



番組カテゴリ／人名／ジャンル／チャンネル／スタンプから再生するには

- 番組カテゴリ／人名／ジャンル／チャンネル／スタンプは、放送番組で選べるグループリストです。

1. 録画リストでグループ表示切換画面を表示させます

   【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す ⇒【検索／チャプターマーク】ボタンを押す

次ページへつづく⇒

グループリストから再生する



番組カテゴリ／人名／ジャンル／チャンネル／スタンプから再生するには(つづき)

2. リストを選びます



●番組カテゴリから再生するとき
「番組カテゴリ」を選び、再生したい番組カテゴリを選んで【決定】ボタンを押す

●人名から再生するとき
「人名」を選び、再生したい人名を選んで【決定】ボタンを押す

●ジャンルから再生するとき
「ジャンル」を選び、再生したいジャンルを選んで【決定】ボタンを押す
ジャンルの絞り込みをしたいときは、再生したいジャンルを選んで【黄】ボタンを押す

- 押すたびに「メインジャンル」⇔「サブジャンル」画面に切り換わります。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

グループリストから再生する



番組カテゴリ／人名／ジャンル／チャンネル／スタンプから再生するには(つづき)

●チャンネルから再生するとき
「チャンネル」を選び、再生したいチャンネルを選んで【決定】ボタンを押す
●スタンプから再生するとき
「スタンプ」を選び、再生したいスタンプを選んで【決定】ボタンを押す

3. 見たいタイトル(録画した番組)を選んで決定します

⇒再生が始まります。
- 再生を止めるときは【停止／録画停止】ボタンを押します。

再生・消去・編集

グループリストから再生する



フォルダーから再生するには

フォルダーは「放送番組」、「動画アルバム」の録画リストで選べるグループリストです。

1. HDDモードを選びます

   【HDD/BD】ボタンを押す
   - HDDモードを選びます。詳しくは「モードの切り換え」（→1-63ページ）をご覧ください。

2. 録画リストでグループ表示切換画面を表示させます

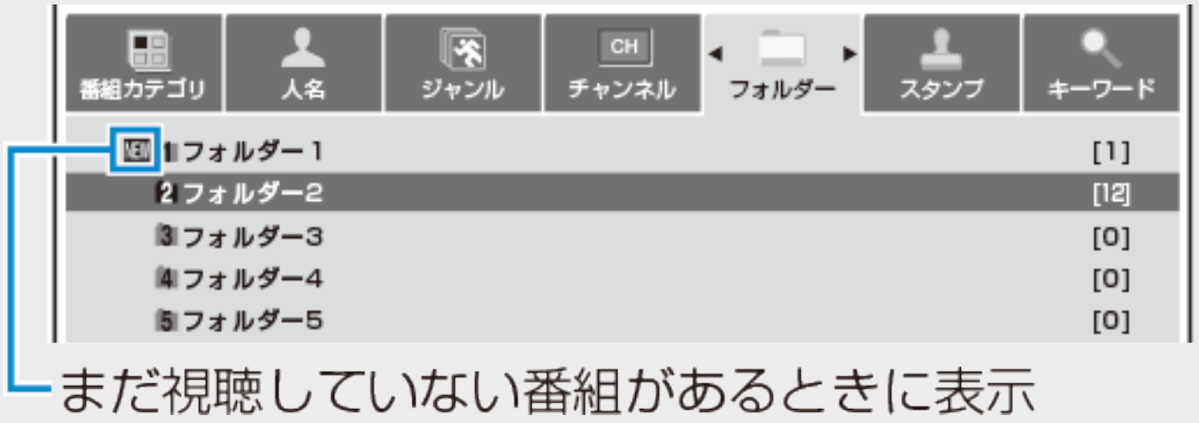
   【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す ⇒【検索／チャプターマーク】ボタンを押す

次ページへつづく⇒



フォルダーから再生するには(つづき)

3. 「フォルダー」を選び、再生したいタイトルが入っているフォルダーを選んで決定します



4. 見たいタイトル(録画した番組)を選んで決定します

⇒再生が始まります。

- 再生を止めるときは【停止／録画停止】ボタンを押します。
- 再生が終わると、放送中のテレビ番組映像になります。

次ページへつづく⇒



フォルダーから再生するには(つづき)

タイトルを他のフォルダーに移動する

1. 録画リストでグループ表示切換画面を表示させます
   【録画リスト／トップメニュー】ボタン⇒【検索／チャプターマーク】ボタンを押す
2. 「フォルダー」を選び、移動したいタイトルが入っているフォルダーを選んで決定します
3. 移動したいタイトルを選びます
4. 「機能メニュー」を表示させます
   【青】ボタンを押す
5. 「フォルダー設定」を選んで決定します

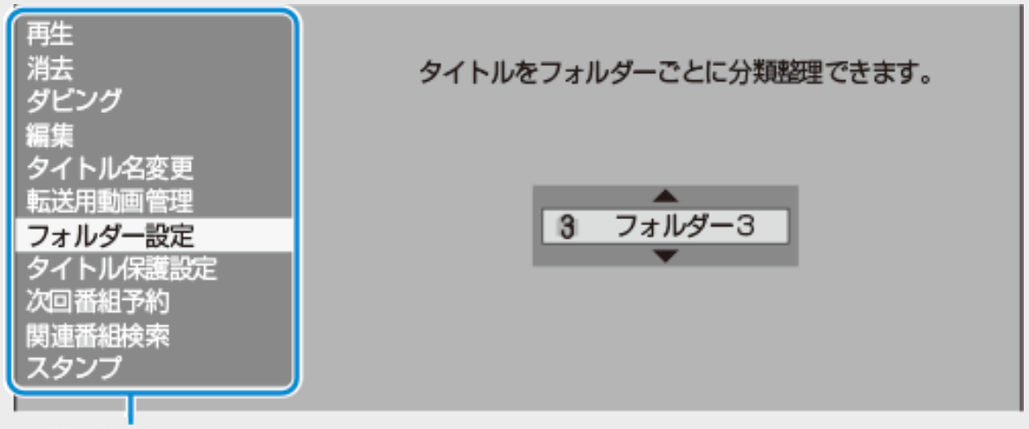
次ページへつづく⇒



フォルダーから再生するには(つづき)

タイトルを他のフォルダーに移動する(つづき)

6. 移動先のフォルダーを選んで決定します



機能メニュー

- 選べるフォルダーは、「フォルダー1」～「フォルダー20」です。

⇒ 選んだタイトルが移動先のフォルダーへ

ヒント

- 「設定しない」を選ぶと、どのフォルダーにも含まれなくなります。

7. 設定を終了します

【終了】ボタンを押す

次ページへつづく⇒



フォルダーから再生するには(つづき)

フォルダーの並び順を変更する

1. グループ表示切換画面で「フォルダー」を選び、順番を変えたいフォルダーを選びます
2. 上へ移動したいときは【赤】ボタン、下へ移動したいときは【緑】ボタンを押します

フォルダー設定していないタイトルをフォルダー設定するには

1. 録画リストを表示させます
   【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す
2. フォルダー設定したいタイトルを選びます
3. 「タイトルを他のフォルダーに移動する」の手順4～7
   (→4-49～4-50ページ)を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

次ページへつづく⇒



フォルダーから再生するには(つづき)

フォルダーの名前を変えるには

1. グループ表示切換画面で「フォルダー」を選び、名前を変えたいフォルダーを選びます

2. ソフトウェアキーボードを表示させます

   【黄】ボタンを押す

3. フォルダー名を入力します

   - 最大で全角8文字のフォルダー名が入力できます。
   - 文字を入力する→5-69ページ

グループリストから再生する



録画した番組をキーワードで検索するには

録画したタイトルの内容説明からキーワードをコピーし、録画リストの番組や番組表を検索することができます。

キーワードを入力して検索する

1. 録画リストでグループ表示切換画面を表示させます

   【録画リスト／トップメニュー】ボタン⇒【検索／チャプターマーク】ボタンを押す

2. 「キーワード」を選びます

3. キーワード(検索条件)を設定／変更／削除します

   - 「(未設定)」のところに新しいキーワードを設定できます。
   - 設定できるキーワードは6つまでです。すでに6つ設定しているときは、設定済みのキーワードを変更して新たなキーワードを設定してください。

次ページへつづく⇒



録画した番組をキーワードで検索するには(つづき)

キーワードを入力して検索する(つづき)

3. キーワード(検索条件)を設定／変更／削除します(つづき)

●キーワードを設定するときは
(1)「キーワード」で「(未設定)」を選んで【決定】ボタンを押します

●キーワードを変更するときは
(1)「キーワード」で変更したい項目を選んで【緑】ボタンを押します
(2) ソフトウェアキーボードからキーワードを入力します。
(→5-69ページ)
- 全角20文字以内(半角カナ文字は入力できません)。

●キーワードを削除するときは
(1)「キーワード」で削除したい項目を選んで【黄】ボタンを押します
(2)「する」を選び、【決定】ボタンを押します
- 消去した項目は「キーワード」に「(未設定)」と表示されます。

次ページへつづく⇒



録画した番組をキーワードで検索するには(つづき)

キーワードを入力して検索する(つづき)

4. キーワードを選んで決定します

⇒検索が始まります。
- 検索中は「キーワード検索中」が表示されます。
- 【戻る】ボタンで検索を中断できます。

5. 検索結果が表示されます

次ページへつづく⇒

グループリストから再生する



録画した番組をキーワードで検索するには(つづき)

番組情報からキーワードをコピーして検索する

1. 録画リストでキーワードをコピーしたい番組を選びます
   【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す ⇒【上下左右カーソル】ボタンで選ぶ

2. 「番組情報」を表示させます
   【番組情報】ボタンを押す

3. キーワードコピー画面を表示させます
   【停止／録画停止】ボタン(キーワードコピー)を押す

4. キーワードをコピーします
   - コピーできるのは20文字までです。
   - 開始点と終了点を決めます。

   【上下左右カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す

次ページへつづく⇒



録画した番組をキーワードで検索するには(つづき)

番組情報からキーワードをコピーして検索する(つづき)

5. 「録画リストのキーワード検索を行う」を選んで決定します

   ⇒グループ表示の「キーワード」欄にキーワードが設定されます
   例：録画リストを検索したとき



「(未設定)」のところに、コピーした
キーワードが設定されます。

6. キーワードを選んで決定します

   ⇒検索が始まります。
   - 検索中は「キーワード検索中」が表示されます。
   - 【戻る】ボタンで検索を中断できます。

7. 検索結果が表示されます

再生・消去・編集

音楽CDや市販のBD／DVDビデオを再生する



HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | **音楽用CD**

音楽CDを再生します。

音楽CDを再生する

ご注意

- ビデオCDは再生できません。

1. CDを挿入します

   →1-38ページ

   - 読み込みが完了すると自動的に最初から(1曲目から)再生されます。

   自動で再生されないときや、一時停止したときは【再生】ボタンを押します



次ページへつづく⇒



音楽CDを再生する(つづき)

2. 曲を選んで再生したいときは、再生中に曲を選んで決定します

3. 再生を止めるときは【停止／録画停止】ボタンを押します
   - 音楽CDの画面が消えます。

お知らせ

- 再生中に【早送り】ボタン／【早戻し】ボタンで、早送り/戻しすることができますが、早送り/戻し中は音声は出ません。

次ページへつづく⇒



音楽CDを再生する(つづき)

選択画面で曲を選んで再生するには

1. 選択画面の「T」を選んで決定します
   - 【左カーソル】ボタンで選択画面に移動します。
2. 曲番号を選んで決定します

ヒント

- 数字ボタンで指定して決定することもできます。
- 各設定項目については、4-112ページをご覧ください。

お知らせ

- 再生中に【早送り】ボタン／【早戻し】ボタンで、早送り/戻しすることができますが、早送り/戻し中は音声は出ません。

市販のBDビデオやDVDビデオを再生する

Ultra HDブルーレイの再生について

Ultra HDブルーレイを再生するとき
Ultra HDブルーレイを4K・HDRで楽しむには、本機の設定が必要です。

- 映像出力設定で、解像度を「4K」、ビット数を「36bit」、フレームレートを「オート」に設定してください。
- テレビによっては、4KでもHDRの入力に対応していない場合があります。HDRに対応していないときは、上記の設定でも自動的にHDRからSDRに変換して出力します。
- 4K対応テレビと接続するときは、HDCP2.2、4K60p、Ultra HDブルーレイ規格のHDR信号に対応したテレビのHDMI端子に接続してください。
- テレビによっては、テレビ側の設定が必要な場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご参照ください。
- レコーダーやテレビの設定を変えたときに映像が出力されなくなった場合は、HDMIケーブルに原因がある可能性があります。18Gbps対応のHIGH SPEED(カテゴリ2)HDMIケーブルをご使用ください。
- Ultra HDブルーレイによっては、著作権によりインターネットに本機を接続しないと再生できない場合があります。

ご注意

- 新しいBDビデオの中には、最新のソフトウェアに更新をしないと再生ができないものがあります。「ホーム」―「設定」―「初期化・更新」―「ダウンロード設定」で「する」に設定（工場出荷時の設定）しておくと、デジタル放送波を利用したソフトウェアのダウンロードが自動的に行われ、常に最新のソフトウェアに更新されます。ソフトウェアの更新について詳しくは10-72ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒



市販のBDビデオやDVDビデオを再生する(つづき)

お知らせ

- 市販のBDビデオやDVDビデオには、自動的に再生が始まるものや、「トップメニュー」や「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。（トップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります）
- 市販のBDビデオやDVDビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の指示にしたがって操作してください。
- 海外テレビ番組のDVDビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
- 市販のBDビデオの再生中など、著作物によっては自動で静止画になるものもあります。このような著作物を再生し、自動で静止画になったときは【停止／録画停止】ボタンを押して静止画を解除できます。

次ページへつづく⇒

市販のBDビデオやDVDビデオを再生する(つづき)

お知らせ

- BDビデオやDVDビデオは、収録されている音声の音量レベルにより、再生時の音量が小さくなる場合があります。ドルビーデジタルで音声を収録したディスクの場合は、「ホーム」―「設定」―「映像・音声設定」―「映像・音声出力設定」―「音声出力レベル」で「シフト」(→10-22ページ)にすることで音量を大きくすることができます。(DTS、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDで音声を収録したディスクでは働きません)

メモ

- BD-JAVAを採用した複数のBDビデオを利用した場合、まれに、再生時の操作で動作が遅くなったり、正常に再生しなくなる場合があります。そのようなときは、「ホーム」―「設定」―「録画・再生設定」―「BD／DVD再生設定」―「BDビデオ用データ消去」を行ってください。(→10-19ページ)

1. ディスクを挿入します

   →1-38ページ

   - 自動でBD/DVDモードに切り換わり、再生が始まります。
   - この後HDD(ハードディスク)のタイトルを見たい場合は、再生を停止し、HDDモードに切り換えてください。詳しくは「モードの切り換え」(→1-63ページ)をご覧ください。

   ヒント

   - 挿入すると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。

次ページへつづく⇒



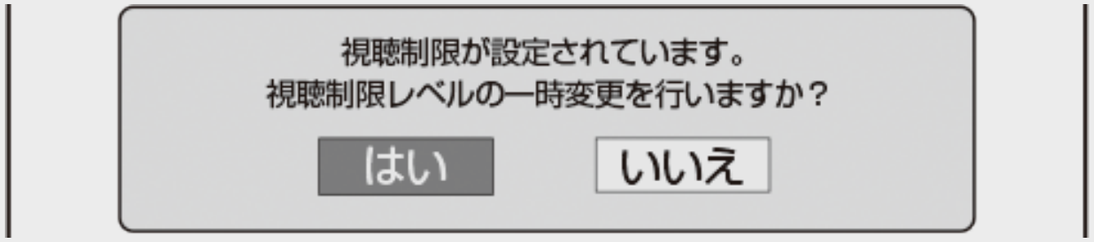
市販のBDビデオやDVDビデオを再生する(つづき)

2. 自動的に再生が始まらないときは、BD/DVDモードに切り換えてから再生を始めます

   【HDD/BD】ボタンを押す ⇒【再生】ボタンを押す ⇒ 再生

ヒント

- 視聴制限がかけられている場合



「はい」を選んだとき
暗証番号を入力して、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を3回まちがえると再生できません。(まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります)

お知らせ

- HDRに対応しているUltra HDブルーレイを再生したときテレビでHDR再生ができないときは、本機を接続しているテレビのHDMI入力端子がUltra HDブルーレイ規格のHDRに対応している端子か確認してください。また、テレビによってはテレビ側の設定が必要な場合があります。
- 本機の映像出力設定は、解像度「4K」、ビット数「36bit」、フレームレート「オート」に設定されているか確認してください。
- テレビによっては、4KでもHDRの入力に対応していない場合があります。HDRに対応していないときは、上記の設定でも自動的にHDRからSDRに変換して出力します。

次ページへつづく⇒



市販のBDビデオやDVDビデオを再生する(つづき)

「いいえ」を選んだとき
視聴制限のかかったシーンを再生しません。(視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります)

- BDビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてからBD（ブルーレイディスク）の視聴制限の設定を変更してください。

- BDビデオ視聴制限年齢について→10-12ページ

3. 再生を止めるときは

【停止／録画停止】ボタンを押す

- つづき再生について→4-75ページ

次ページへつづく⇒



HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR | ビデオ | **市販のBD/DVDビデオ** | 音楽用CD

市販のBDビデオやDVDビデオを再生する(つづき)

トップメニューを表示させるには

（トップメニューがある場合）

- ディスクを挿入して、【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押すと、トップメニューを表示します。
- 画面の指示にしたがって操作してください。

トップメニューの例

次ページへつづく⇒



HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販の DVDビデオ | 音楽用CD

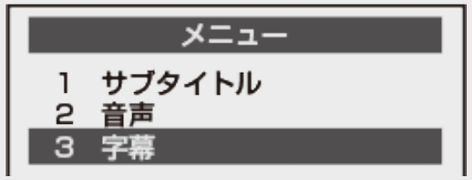
市販のBDビデオやDVDビデオを再生する(つづき)

ディスクメニューを表示させるには

(ディスクメニューがある場合)

- ディスクを挿入して、【(ポップアップ)メニュー】ボタンを押すと、ディスクメニューを表示します。
- 画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

ディスクメニューの例



お知らせ

- ディスクに記録されているメニュー画面などを、再生中に表示させたい場合は、【録画リスト／トップメニュー】ボタンまたは【(ポップアップ)メニュー】ボタンを押します。
- トップメニューやディスクメニューの表示のさせかたはディスクによって異なる場合があります。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

次ページへつづく⇒



HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD ビデオ | 音楽用CD

市販のBDビデオやDVDビデオを再生する(つづき)

ポップアップメニューを表示させるには

BDビデオには、再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

（1） ディスク再生中に【（ポップアップ）メニュー】ボタンを押すと、ポップアップメニューを表示します。

（2） 項目を選んで決定します。

- ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

（3） 操作が終わったら【（ポップアップ）メニュー】ボタンを押してポップアップメニューを消します。

- ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

BONUS VIEW™、BD-LIVEについて

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR	DVD-RW/-R ビデオ	市販のBD ビデオ	音楽用CD

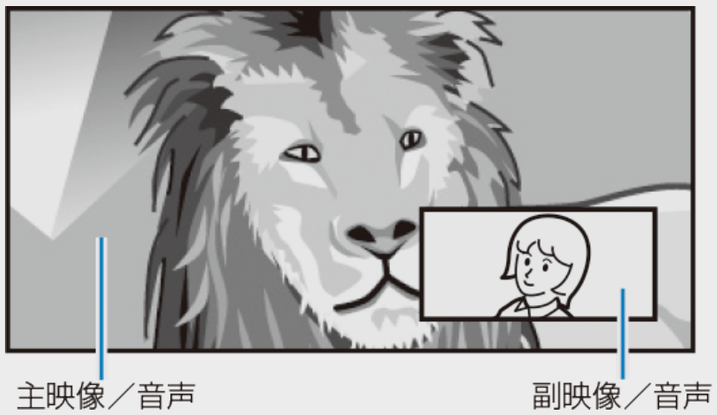
BDビデオには、BONUS VIEW™（ボーナスビュー）やBD-LIVE（BDライブ）という新しい再生機能に対応したものがあります。
- BDビデオに記録されているデータやダウンロードしたデータは、内蔵HDD（ハードディスク）に保存されます。

お知らせ

- ボーナスビューのクリック音などが出ないときは、「ホーム」—「設定」—「録画・再生設定」—「BD／DVD再生設定」—「BDビデオ付加音声」で、「する」を選んで決定しクリック音などの設定をしてください。（→10-15ページ）

BONUS VIEW™（ボーナスビュー）：2画面に対応した副映像、副音声や字幕が同時に楽しめます。本編再生中の画面に子画面で表示されます。

- ディスクによっては、副映像／音声が自動的に再生されます。また、再生可能な領域が制限されることがあります。
- 再生方法はディスクによって異なります。
- 再生するディスクに必要なメモリー容量やコピー、再生の手順は、ディスクの説明書をご覧ください。

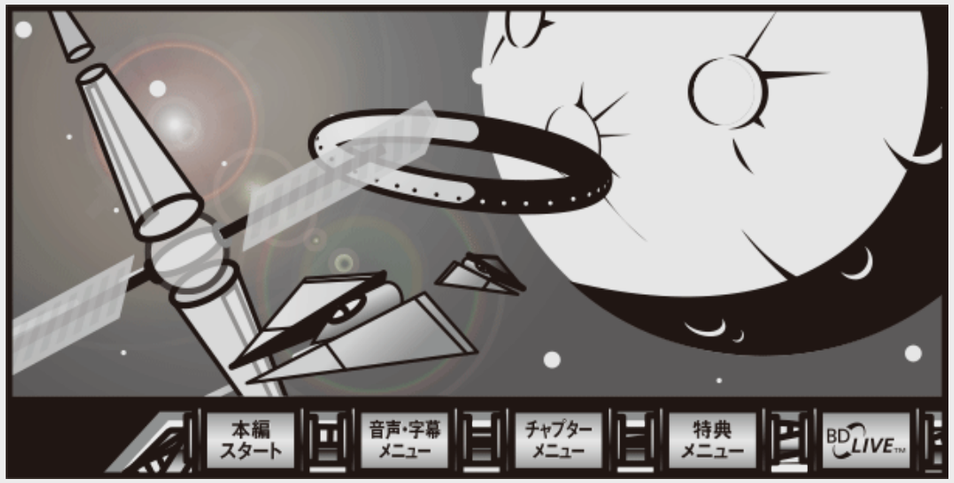


次ページへつづく⇒

音楽CDや市販のBD／DVDビデオを再生する

BONUS VIEW™、BD-LIVEについて(つづき)

BD-LIVE(BDライブ):本機をインターネットに接続して特典映像などのさまざまな情報をダウンロードすることができます。
画面例



- BD-LIVE(BDライブ)でダウンロードされた映像情報などは、内蔵HDD(ハードディスク)に保存されます。HDD(ハードディスク)から再生するときは、ダウンロード時に視聴していたディスクを本機に挿入してください。別のディスクを挿入すると、HDD(ハードディスク)に保存された情報は再生できません。
- データがHDD(ハードディスク)に保存されるまで一定の時間がかかります。(データが保存されるまでの時間は、インターネット接続速度や情報のデータ量により変わります)

次ページへつづく⇒

BONUS VIEW™、BD-LIVEについて(つづき)

お知らせ

HDD(ハードディスク)に保存されたデータは消去できます。

- BD-LIVE(BDライブ)でダウンロードした情報は、不要になれば消去することができます。「ホーム」—「設定」—「録画・再生設定」—「BD／DVD再生設定」の、「BDビデオ用データ消去」で初期化をしてください。

HDD(ハードディスク)の容量が足りないときは

- データが保存されません。画面にメッセージが表示されます。不要なデータを削除してください。

BD-LIVE(BDライブ)を楽しむためのソフトを更新できます。

- BD-LIVE(BDライブ)機能は、専用のソフトを使用しています。BD-LIVE(BDライブ)に接続すると、ソフトを最新のものに更新できます。

ヒント

- BD-LIVE(BDライブ)で楽しむために、ブロードバンドサービスに接続してお使いになることをおすすめします。
- BD-LIVE(BDライブ)で映像などの情報をHDD(ハードディスク)に保存中は、再生の操作が制限されることがあります。
- BD-LIVE(BDライブ)は、自動的にインターネットに接続し、楽しむ機能です。BD-LIVE(BDライブ)対応のディスクが、本機やディスクの識別信号(ID)をインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 本機は、自動的にインターネットに接続しないように設定することができます。
(インターネット接続制限→9-75ページ)

市販のブルーレイ3D™（3D対応BD）を再生する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR | ビデオ | 市販のブルーレイ3D™ | 音楽用CD

本機と3D対応テレビをHDMIケーブルで接続すると、市販のブルーレイ3D™を再生し、臨場感ある3D映像を楽しむことができます。

3D映像を視聴される場合のご注意

光過敏の既往症がある人、心臓に疾患がある人、および体調不良の人は視聴しない

- 病状が悪化する原因となることがあります。

3D映像の視聴年齢は、およそ5～6歳以上を目安にする

- お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、突然体調が悪くなる場合があります。お子様がご視聴になる際は、目の疲れがないかを保護者の方が、ご注意ください。

視聴中に疲労感、および不快感など異常を感じた場合には、視聴を止め、適度な休憩をとる

- 視聴を続けると体調不良の原因となることがあります。

次ページへつづく⇒

市販のブルーレイ3D™（3D対応BD）を再生する(つづき)

3D映画などを視聴する場合は、1時間程度を目安に適度な休憩をとる

- 長時間の視聴にともなう視聴疲労の原因になることがあります。

ご注意

- 本機と接続するテレビが3Dに対応していない場合は、3D映像をご覧になることはできません。
- 接続する3D対応テレビによっては、テレビ側の3D視聴設定が必要になることがあります。詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をお読みください。
- 早送り、早戻し中は2D再生となります。

（1）本機と3D対応テレビをHDMIケーブルで接続します
（2）「ホーム」—「設定」—「録画・再生設定」—「BD/DVD再生設定」—「3D切換設定」で「オート」に設定します
（→10-17ページ）

- 2Dで再生したいときは、「2D」を選びます。

次ページへつづく⇒



市販のブルーレイ3D™（3D対応BD）を再生する(つづき)

(3)ブルーレイ3D™ を挿入します
- 挿入すると、自動的にBD/DVDモードに切り換わり、再生が始まります。
- 自動的に再生が始まらないときは、BD/DVDモードに切り換えてから【再生】ボタンを押します。

(4)ブルーレイ3D™ の再生に関する注意文が表示されたら、「確認」を選んで決定します

ヒント

- 3D視聴時の注意文を表示させたくないときは、「ホーム」—「設定」—「録画・再生設定」—「BD/DVD再生設定」—「3D通知設定」で「しない」に設定します。（→10-18ページ）

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ | 市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ | 音楽用CD

つづき再生

前回停止したところから、つづきを再生できます。

ご注意

- 市販のBDビデオ、DVDビデオ、BD-RE/-R、DVD-RW/-Rと音楽用CDのつづき再生は、ディスクを取り出すと働かなくなります。
- ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。
- BONUS VIEWやBD-LIVEなどのBDJ(Java)に対応したBDビデオはつづき再生が働かない場合があります。

次ページへつづく⇒



つづき再生(つづき)

再生ボタンでつづき再生するには

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ	市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ	音楽用CD

- 再生を停止した後で【再生】ボタンを押したり、録画リストから選んで再生すると、つづきを再生できます。

はじめから再生するには

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ	市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ	音楽用CD

- 【再生】ボタンを押すとつづき再生になる場合でも、「機能メニュー」を使って、はじめから再生できます。

1. 録画リストで再生したいタイトルを選びます

→4-31ページ

次ページへつづく⇒



つづき再生(つづき)

はじめから再生するには(つづき)

2. 「機能メニュー」を表示させます
   【青】ボタンまたは【ツール】ボタンを押す ⇒ 機能メニュー表示
3. 「再生」を選んで決定します
4. 「最初から」を選んで決定します
   ⇒ 選んだタイトルが最初から再生されます。

BDビデオやDVDビデオ、音楽用CDなどの場合

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍				
BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR	ビデオ	市販のBD/DVDビデオ	音楽用CD		

- 【停止／録画停止】ボタンを2回押して停止した後、【再生】ボタンを押すと、はじめから再生されます。

早見・早聞き・ゆっくり再生

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

タイトルを早見・早聞き再生できます。また、再生中に音声が聴きとりにくいときは、ゆっくりしたテンポで聴くことができます。

- 自動スキップモードを「一定間隔」に設定すると、一定間隔でスキップしながら早見・早聞き再生できます。
- 自動スキップモードを「チャプター」に設定すると、短いチャプター（本編以外の部分など）をスキップしながら早見・早聞き再生できます。

ご注意

- 自動スキップモードは内蔵HDD、外付けHDDに録画されているタイトルで設定できます。
（→4-80ページ）

1. 録画リストでタイトルを選びます

→4-31ページ

次ページへつづく⇒



早見・早聞き・ゆっくり再生(つづき)

2. 早見・早聞き再生を始めます

- 【再生／早見／ゆっくり】ボタンを押すたびに、次の順で切り換わります。

→通常再生→早見再生→ゆっくり再生

- 【右カーソル】ボタンを押すたびに早見の速度が速くなります。(～2.0倍速まで)
  【左カーソル】ボタンを押すたびに早見の速度が遅くなります。(～1.1倍速まで)
- 「早見再生」または「ゆっくり再生」モードで停止した後、再生したときは「通常再生」モードで再生されます。
- 「早見再生」または「ゆっくり再生」モード中にスロー再生などの特殊再生をした後、再度映像に戻したときは、再生していた「早見再生」または「ゆっくり再生」モードに戻ります。

次ページへつづく⇒



早見・早聞き・ゆっくり再生(つづき)

■自動スキップモードの設定について

- 早見・早聞き再生中に【(ポップアップ)メニュー】ボタンを押すとポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニュー表示中に【緑】ボタンを押すごとに、自動スキップモードが「なし」、「一定間隔」、「チャプター」に切り換わります。

モード	説明
なし	自動スキップを行いません。
一定間隔	一定間隔の先頭約8秒間だけを連続再生します。
チャプター	本編以外と判別したチャプターを自動でスキップして再生します。

- 自動スキップモードを解除したいときは、「なし」を選びます。
- 再生を停止すると早見・早聞き再生は解除されます。



追いかけ再生

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE　BD-R　DVD-RW/-R VR ビデオ　市販のBD/DVDビデオ　音楽用CD

内蔵／外付けHDDに録画中の番組をはじめから再生できます。

ご注意

- 追いかけ再生が開始するまで、多少時間がかかることがあります。
- 番組によっては追いかけ再生ができない場合があります。

1. 追いかけ再生するメディアを選びます

【HDD/BD】ボタンを押す

- 詳しくは「モードの切り換え」（→1-63ページ）をご覧ください。

次ページへつづく⇒



追いかけ再生(つづき)

2. 録画リストを表示させます

   【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す

3. 録画中の番組を選んで決定します

   - 録画中の番組には「●」が表示されます。
   - 再生されると、画面左上に緑色の再生マークが出ます。

次ページへつづく⇒



追いかけ再生(つづき)

■追いかけ再生中の操作について

- 追いかけ再生中に【早戻し】ボタンまたは【早送り】ボタンを押すたびに、次のように早戻し／早送り再生ができます。
- 押すごとにスピードが速くなります。
- また、【左右カーソル】ボタンで速度の調整ができます。
  【右カーソル】ボタンを押すたびにサーチの速度が速くなります。【左カーソル】ボタンを押すたびにサーチの速度が遅くなります。(早戻し時は逆の動作になります。)



(約4倍速)　(約10倍速)　(約30倍速)　(約100倍速)　(約250倍速)

- 一時停止するときは【一時停止】ボタンを押します。

お知らせ

- 追いかけ再生中に録画禁止の映像になったときや録画が12時間以上続いたときは、追いかけ再生用の録画が停止します。続きの映像を見るときは、録画リストから「つづき再生」(→4-75ページ)をしてください。
- 追いかけ再生中に早送りサーチをしたとき、現在放送されている場面(録画中の画面)の手前になると追いかけ再生が解除されます。



同時録画再生

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ	市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ	音楽用CD

録画をしながら録画中のタイトルやすでに録画されている別のタイトルの再生を行うことができます。

お知らせ

- 同時録画再生を行っているとき、録画の状態によっては再生に影響が出る場合がありますが、録画は正常に行われます。
- 重ね録りで録画した番組を再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止し、重ね録りされます。

メモ

- 同時録画再生中に放送視聴（録画中）の画面に戻すには【停止／録画停止】ボタンを押して再生を止めます。

次ページへつづく⇒



同時録画再生(つづき)

1. BD/DVD/CDを再生するときは、ディスクを挿入します

2. 録画中に

   【HDD/BD】ボタンを押す
   ●HDD録画中にディスクを再生するとき
   - BD/DVDモードを選びます。

   ●HDD録画中にHDDのタイトルを再生するとき
   - HDDモードを選びます。

   ●HDD録画中に外付けHDDを再生するとき
   - 外付けHDDを選びます。

- 詳しくは「モードの切り換え」(1-63ページ)をご覧ください。

次ページへつづく⇒



同時録画再生(つづき)

3. 録画リストを表示させます

   【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す

   ヒント

   - DVDビデオソフト、CDの場合は、【再生】ボタンを押します。

4. 録画リストで再生します

   →4−31ページ

再生・消去・編集

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）

再生中に使えるいろいろな機能です。

ご注意

- 各機能は、ディスクによって操作が異なったり、禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

マルチビューサービス放送などをHDD（ハードディスク）に録画して再生する場合は

- 主映像以外の映像を再生した場合、連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）



静止画にするには（静止画再生）

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ	市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ	音楽用CD

静止画再生ができます。

- VRフォーマットのDVD-RW/-R以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
- BDビデオやDVDビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送り再生の操作が禁止されているものもあります。

1. 再生中に

【一時停止】ボタンを押す ⇒ 静止画再生になります。

- 音楽用CDを再生しているときは、一時停止の状態になります。
- 【再生】ボタンを押すと、再生画面に戻ります。
- 静止画再生からコマ送り再生やスロー再生などの特殊再生が行えます。



スローモーションで見るには（スロー再生／逆スロー再生）

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR	ビデオ	市販のBD/DVDビデオ	音楽用CD

スローモーション再生できます。
- タイトルをまたぐスロー再生は行えません。
- Ultra HDブルーレイ、BDビデオ、DVDの場合は、逆スロー再生は行えません。

1. 静止画再生中に

【早戻し】ボタンまたは【早送り】ボタンを2秒以上押し続ける
- 内蔵／外付けHDD、BD-RE／BD-Rの場合は、スロー再生中に【早送り】ボタンを押すたびに、4段階でスロー再生の速さが切り換わります。（【左右カーソル】ボタンでも速度を調節できます。）逆スロー再生は、1段階（約1/16倍速）となります。
- DVDのタイトルは約1/8倍速のスロー再生となります。
- BDビデオのタイトルは、約1/2倍速のスロー再生になります。
- 【再生】ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

再生・消去・編集

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）



コマ送り／コマ戻しするには（コマ送り再生）

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ	市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ	音楽用CD

コマ送り再生できます。

- Ultra HDブルーレイ、BDビデオ、DVDの場合、コマ戻し再生は行えません。

1. 静止画再生中に

   【早送り】ボタンまたは【早戻し】ボタンを押す

   - 【再生】ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

早送り／早戻しするには（サーチ）

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ	市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ	音楽用CD

再生中の映像を早送り／早戻しして見ることができます。

- タイトルをまたぐサーチはできません。
- HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルの最後までサーチすると、再生が停止します。

次ページへつづく⇒



早送り／早戻しするには（サーチ）（つづき）

- 早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。
- 早送り／早戻し中は、ブルーレイ3D™ は2D再生となります。

1. 再生中に

   【早送り】ボタンまたは【早戻し】ボタンを押す
   押すたびにサーチの速さが変わります。（再生しているメディアによって速さは異なります）
   - 【再生】ボタンを押すと、再生画面に戻ります。
   - 【左右カーソル】ボタンで速度の調整ができます。早送り時は【右カーソル】ボタンを押すたびにサーチの速度が速くなります。【左カーソル】ボタンを押すたびにサーチの速度が遅くなります。（早戻し時は逆の動作になります。）

お知らせ

- ディスクの種類や記録状態によっては、記載のスピードにならない場合があります。

  ◀1／▶1 ↔ ◀2／▶2 ↔ ◀3／▶3 ↔ ◀4／▶4 ↔ ◀5／▶5
  （約4倍速）　（約10倍速）　（約30倍速）　（約100倍速）　（約250倍速）

  ※BDビデオとDVDでは、250倍速での早送り・早戻しはできません。
- 市販のBD/DVDビデオと音楽用CDでは左右カーソルと決定ボタンによる操作は対応していません。

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）



チャプターマーク（しおり）を付けるには

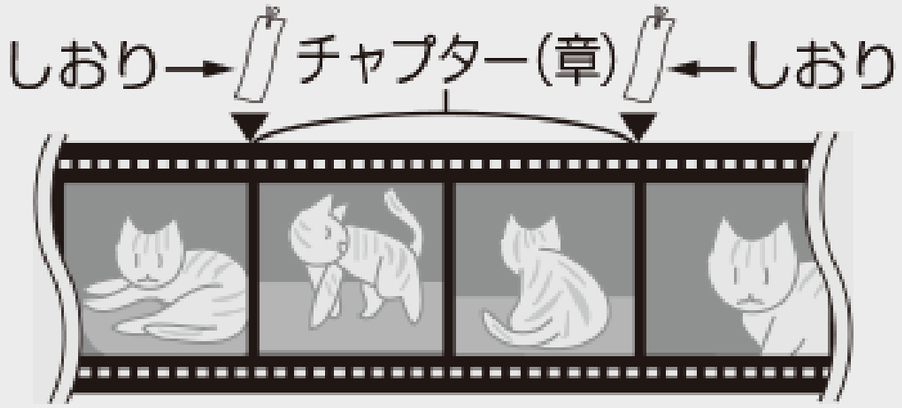
HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR	ビデオ	市販のBD/DVDビデオ	音楽用CD

あとで編集するときや頭出しのために、再生中にチャプターマーク（しおり）を記録できます。

■チャプターマークとは

映像の区切りのことです。（本に例えると「しおり」のようなものです）お好みの場所に記録させておくと、再生時の頭出しや編集するときに便利です。



HDDの再生中やBDの再生中にマークを付けたい箇所で【検索／チャプターマーク】ボタンを押す

次ページへつづく⇒



チャプターマーク（しおり）を付けるには(つづき)

お知らせ

- 追いかけ再生中（→4-81ページ）はチャプターマークを記録できません。
- BDの再生中にチャプターマークを記録したとき、数秒遅れて「チャプターマークを記録しました」と表示されますが、チャプターマークは、【検索／チャプターマーク】ボタンを押した地点に記録されます。
- ホームネットワークの再生には、チャプターマークボタンでチャプターマークを付けることができません。

再生・消去・編集

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）



チャプター（章）の頭出しをするには（スキップ）

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ	市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ	音楽用CD

- チャプター（章）やトラック（曲）などを飛ばして頭出しができます。
- オートチャプター機能を「おまかせ」で録画した番組は、本編以外の部分などを飛ばし見できます。（→10-8ページ）

1. 再生中または静止画再生中に

   【次】ボタンまたは【前】ボタンを押す

   - 【次】ボタンを押すと、次のチャプター（トラック）を頭出しします。
     【前】ボタンを押すと、いま見ているチャプター（トラック）の先頭に戻ります。2回続けて押すと、前のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。
   - HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルをまたぐ頭出しができません。最後のチャプター（トラック）まで進むと、画面に END が表示されます。

再生・消去・編集

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）



少し先に飛ぶには（30秒送り）

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ	市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ	音楽用CD
---	---	---	---	---

約30秒先に送ることができます。
連続して押すと、さらに先へ送ることができます。

- 本編以外の部分などを飛ばして見たいときなどに便利です。
- 連続押しは、6回（約3分先）までできます。

1. 再生中または静止画再生中に

30秒送り を１回押す ⇒ 30秒 約30秒先にジャンプします。

⋮ ⋮

30秒送り を６回押す ⇒ 180秒 約３分先にジャンプします。

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）



少し前に戻すには（10秒戻し）

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ	市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ	音楽用CD

約10秒前に戻すことができます。

- ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。
- 連続押しは、6回（約1分前）までできます。

1. 再生中に

10秒戻し を１回押す ⇒ 約10秒前に戻って再生します。

⋮

10秒戻し を６回押す ⇒ 約１分前に戻って再生します。

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）



見たいシーンから再生するには（見どころ一覧）

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE　BD-R　DVD-RW/-R VR ビデオ　市販のBD/DVDビデオ　音楽用CD

再生中のタイトルのシーン一覧（見どころ一覧）を表示して、見たいシーンから再生することができます。

1. 再生中に

   【（ポップアップ）メニュー】ボタンを押す
   - 見どころ一覧が表示されます。
   - 【黄】ボタンを押すごとに表示されるシーンの間隔が、「5分」（約5分間隔）、「1分」（約1分間隔）、「チャプター」に切り換わります。



次ページへつづく⇒



見たいシーンから再生するには（見どころ一覧）（つづき）

2. 見たいシーンを選んで決定します

【左右カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す

- 選んだシーンからの再生が始まります。
- 見どころ一覧の表示を消したいときは、【（ポップアップ）メニュー】ボタン、【戻る】ボタン、【終了】ボタンを押します。

お知らせ

- 外付けHDD、BD、DVDの再生では、見どころ一覧は表示できません。
- 見どころ一覧のシーンは、録画時に約1分間隔で自動で作成されます。
- 見どころ一覧に表示されるシーンは、最大720場面です。
- タイトルを編集した場合、見どころ一覧のシーンや、シーン間隔が変更となる場合があります。
- シーンを選んで再生したとき、多少ずれて再生される場合があります。シーンは再生ポイントの目安です。

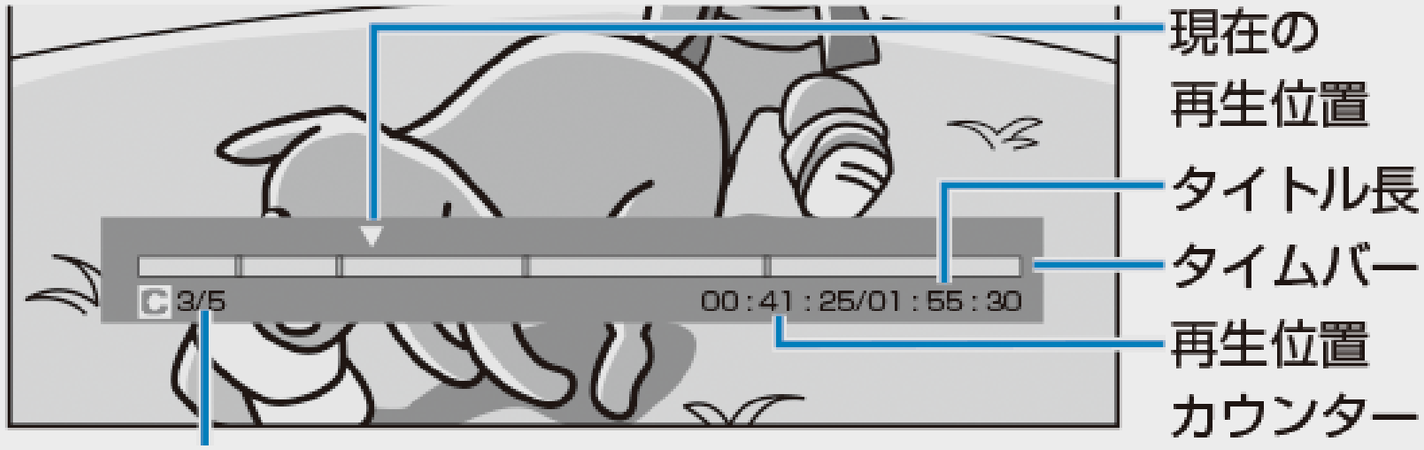
次ページへつづく⇒

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）

■タイムバー表示について

- 「ホーム」—「設定」—「本体設定」—「画面表示設定」—「タイムバー表示設定」を「する」に設定すると、再生状況に応じ、タイムバーを自動表示します。（→10-28ページ）

タイムバー表示画面例



次ページへつづく⇒

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）



■タイムバー表示について(つづき)

- 以下の操作時、タイムバーが約5秒間だけ表示されます。
  - 再生を開始したとき
  - 静止画（一時停止）にしたとき
  - チャプター（章）の頭出し（スキップ）をしたとき
- 早送り／早戻し（サーチ）をしたとき、タイムバーは表示され続けます。
- 再生中はリモコンの【画面表示】ボタンを押してタイムバーを表示させることもできます。

お知らせ

- BDビデオ、DVDビデオ再生時、タイムバーは自動表示されません。
- BDビデオ、DVDビデオ再生時にタイムバーを表示させたとき、チャプター（章）の区切り位置は表示されません。
- 音楽CD再生時、タイムバーは表示されません。

再生・消去・編集

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）

くり返し再生する（リピート再生）

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ | 市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ | 音楽用CD

選んだタイトルやチャプター（章）をくり返しリピート再生できます。

ご注意

- ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。
- タイトルをまたぐ部分指定リピートはできません。
- マルチアングル部分では部分指定リピートはできません。
- BDビデオの場合、部分指定リピートは行えません。

お知らせ

- くり返し再生しているタイトルやチャプターを停止させると、リピート再生は「切」になります。

次ページへつづく⇒



くり返し再生する（リピート再生）（つづき）

1. くり返したいタイトル（トラック）またはチャプターを選んで再生します

2. 視聴設定画面を表示させます

   【ツール】ボタンを押し、ツールメニューから「視聴設定」を選ぶ
   - 音楽用CDの場合は、【左カーソル】ボタンで選択画面に移動します。

3. 「↻」を選んで決定します

   - リピート再生を解除するには、視聴設定で「↻」→「切」を選んでください。

次ページへつづく⇒



くり返し再生する（リピート再生）（つづき）

4. リピート再生の種類を選んで決定します

項目	説明
タイトルリピート	再生中のタイトルをくり返し再生
チャプターリピート	再生中のチャプターをくり返し再生
部分リピート	開始点と終了点を設定して、設定した範囲で繰り返し再生

ヒント

- 音楽用CDの場合は、「ディスクリピート」、「トラックリピート」、「部分リピート」から選びます。

■視聴設定画面を消すには

【ツール】ボタンを押します。

再生・消去・編集

再生中に音声（二重音声など）や字幕、映像（アングル）を切り換える

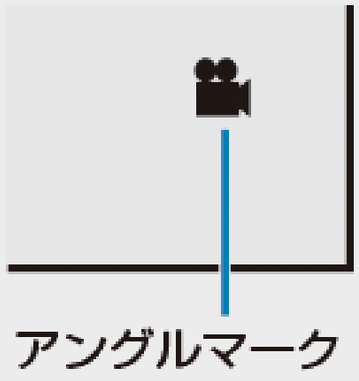
再生中に音声や字幕、主音声や副音声、映像（アングル）を切り換えることができます。

メモ

各機能の切り換えについて

- 字幕、アングル（主映像／副映像）、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

アングル表示を出したいとき



- アングルが記録されているシーンで、アングルマークを表示するように設定できます。
- 「ホーム」—「設定」—「録画・再生設定」—「BD/DVD再生設定」—「アングルマーク表示」（→10−14ページ）で設定します。

再生中に音声（二重音声など）や字幕、映像（アングル）を切り換える



主音声と副音声を切り換えるには

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ビデオ	市販のBD/DVDビデオ	音楽用CD

1. 主・副音声のあるタイトル再生中に

   【音声切換】ボタンを押す ⇒ 押すたびに音声が切り換わります。
   音声表示の例



- 【ツール】ボタンを押し、視聴設定画面（→4-111ページ）でも切り換えられます。
- 音声の表示は、約3秒後に消えます。

次ページへつづく⇒

主音声と副音声を切り換えるには(つづき)

押すたびに次のように切り換わります。

二ヶ国語（二重音声）放送を録画した場合：

- 「主」、「副」、または「主　副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：

- 音声切換はできません。

BDビデオ／DVDビデオ：

- 現在再生されている音声番号、音声フォーマットが表示されます。（音声フォーマットは、ソフトによっては表示されない場合もあります）

音楽用CD：

- 「L」→「R」→「L＋R」

次ページへつづく⇒

主音声と副音声を切り換えるには(つづき)

ご注意

- 次のような場合は、二ヶ国語放送などモノラル二重音声の番組を録画しても、音声切換ができません。
  - ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスク
  - PCM音声を記録したDVD-RW/-Rディスク
  - ビットストリーム音声が出力されているときは、モノラル二重音声の音声切換が行えません。音声切換はテレビ側で行ってください。

再生・消去・編集

再生中に音声（二重音声など）や字幕、映像（アングル）を切り換える



字幕を切り換えるには

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ビデオ	市販のBD/DVDビデオ	音楽用CD

1. 字幕のあるタイトル再生中に

   【字幕】ボタンを押し、字幕言語を切り換えます。
   【ツール】ボタンを押し、ツールメニューから「字幕切換」を選んで切り換えることもできます。
   - 操作について詳しくは2-22ページをご覧ください。
   - 4K放送を録画したBDは字幕を表示できません。

再生・消去・編集

再生中に音声（二重音声など）や字幕、映像（アングル）を切り換える



主映像と副映像（アングル）を切り換えるには

HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍
BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ビデオ	市販のBD/DVDビデオ　音楽用CD

1. 主・副映像のあるタイトル再生中に

   「ツール」―「視聴設定」―「🎥（映像切換）」で映像を切り換えます。

   - 操作について詳しくは2-19ページをご覧ください。

お知らせ

マルチビューサービス放送などをHDD（ハードディスク）に録画またはBD（ブルーレイディスク）にダビングしたタイトルを再生する場合は

- 主映像以外の映像を再生した場合、連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

BDにダビングしたタイトルの再生について

- 「DR」以外の録画画質でBDへダビングしたタイトルは、映像の切り換え操作ができません。

再生・消去・編集

再生中に設定をする（視聴設定）

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ﾋﾞﾃﾞｵ | 市販のBD/DVDﾋﾞﾃﾞｵ | 音楽用CD

再生しながら視聴設定画面でまとめて設定を行うことができます。

ご注意

- BDビデオやDVDビデオ再生中に視聴設定画面にすると、BDビデオやDVDビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は視聴設定画面を消してください。

お知らせ

- 市販のディスクによってはディスクメニューを使って機能を選択する場合や、視聴設定での機能が選択できないものがあります。ディスクの説明書をご覧ください。
- 字幕の切り換えができる番組はHDD（ハードディスク）に録画したデジタル放送の番組と、BD（ブルーレイディスク）にダビングしたデジタル放送の番組です。
- アングルや字幕などの表示が「--」となる場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

再生中に設定をする（視聴設定）



1. 再生中に

   【ツール】ボタンを押し「視聴設定」を選ぶ ⇒ 視聴設定画面表示

2. 設定項目を選んで決定します

DVD ビデオ再生時



設定項目
- 再生しているディスクによって設定できる項目が異なります。

操作ガイド表示

- 音楽用CDの再生中は、4-58ページの画面になります。

3. 設定します
   - 【戻る】ボタンまたは【終了】ボタンを押して設定を終了します。

ヒント

- 画面の「操作ガイド」に従って操作してください。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

再生中に設定をする（視聴設定）



HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ビデオ	市販のBD/DVDビデオ	音楽用CD

各設定項目について

T タイトル（トラック）選択

- BDビデオやDVDビデオで、再生中のタイトル番号（CD再生中はトラック番号）が表示されます。番号を選択してタイトル（トラック）の頭出しができます。
- BD/DVDモードで、セットされているBDビデオまたはDVDビデオのタイトル番号を選択して再生するには、【ツール】ボタンを押し、ツールメニューから「視聴設定」を選びます。

C チャプター選択

- 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。
- 音楽用CDはチャプターがありません。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

再生中に設定をする（視聴設定）



各設定項目について(つづき)

再生経過時間（タイムサーチ）

- ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。

  ①「時」「分」「秒」を選びます

  ②時間を指定して【決定】ボタンを押します

- 数字ボタン（【1】～【10】）で時間を指定することもできます。

次ページへつづく⇒

各設定項目について(つづき)

音声切換

- 現在選ばれている音声の種類が表示されます。
  吹き替え音声や二重音声が収録されている場合は、音声を切り換えて楽しめます。
- BDビデオソフトで第1音声（主音声、プライマリオーディオ）の他に、第2音声（副音声、セカンダリオーディオ）が収録されている場合、両方が表示されます。



※視聴設定でセカンダリオーディオの切り換えはできません。

アングル番号／映像切換

- 現在選ばれているアングルの番号が表示されます。
- 複数のアングルが収録されている映像の場合は、アングルを切り換えて楽しめます。
- 「アングルマーク表示」（→10-14ページ）設定により、アングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマーク「」を表示させるように設定することができます。



各設定項目について(つづき)

HDMI音声出力設定

- 本機のHDMIテレビ（映像／音声）出力端子またはHDMIアンプ（音声のみ）出力端子のどちらから音声を出力させるかを設定できます。（本機のHDMIテレビ（映像／音声）出力端子とHDMIアンプ（音声のみ）出力端子の両方から音声信号を同時に出力することはできません。）
- オーディオ機器との接続については、同梱取扱説明書をご覧ください。

再生中に設定をする（視聴設定）



各設定項目について(つづき)

音声遅延（ディレイ）調整

- HDMIケーブルで接続したアンプで視聴中に、テレビの映像が音声より遅れて再生される場合は、この調整で映像信号と音声信号を同期させることができます。
- 【上カーソル】ボタンを押すと数値が上がり、【下カーソル】ボタンを押すと数値が下がります。
- 0～300msec（ミリセカンド：1000分の1秒）の範囲を、10msecの単位で音声の遅延を調整することができます。
- 音声遅延（ディレイ）自動機能付きHDMI機器と接続しているときは、「オート」を選ぶと、最適な音声遅延状態に設定されます。
- 「オフ」を選ぶと音声遅延（ディレイ）調整が無効になります。

リピート再生

- 再生中のタイトル（チャプター）を繰り返し再生したり、部分的に繰り返し再生することができます。（→4-101ページ）

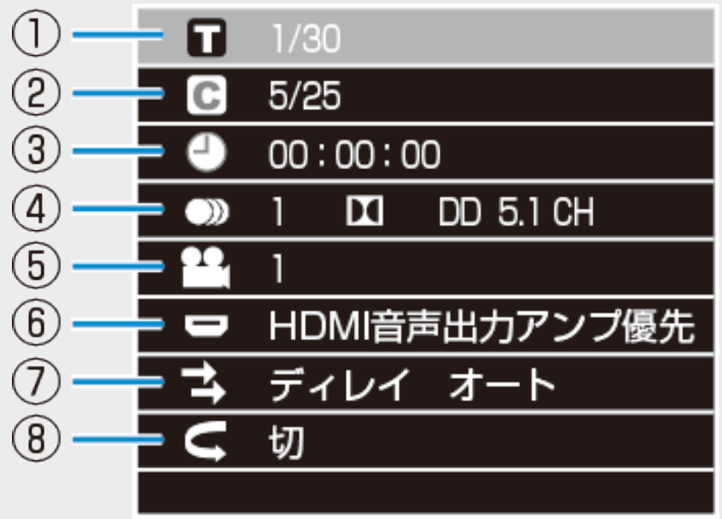
※BDビデオの場合、部分指定リピートは行えません。

再生・消去・編集

再生中に設定をする（視聴設定）

視聴設定画面に表示されるマーク（視聴設定については→4-110ページ）





音楽CDの再生方法については、4-58ページをご覧ください。

①	タイトル（トラック）番号	⑤	アングル番号/映像切換
②	チャプター番号	⑥	HDMI音声出力設定
③	再生経過時間	⑦	音声遅延（ディレイ）調整
④	音声種類	⑧	リピート再生設定

再生・消去・編集

録画した番組を消さないように設定する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

タイトル保護設定

自動録画やドラ丸録画で録画されたタイトルが、自動消去されないようにしたり、間違って消さないように保護できます。

ご注意

- 次のタイトルを「保護する」に設定すると、そのタイトルはHDD（ハードディスク）からダビング（ムーブ）できなくなります。
  - 「1回だけ録画可能」のタイトル
  - 「ダビング10」で9回ダビングを終えたタイトル
- 「保護する」に設定したタイトルは外付けHDD（ハードディスク）にダビング（ムーブ）できなくなります。

次ページへつづく⇒

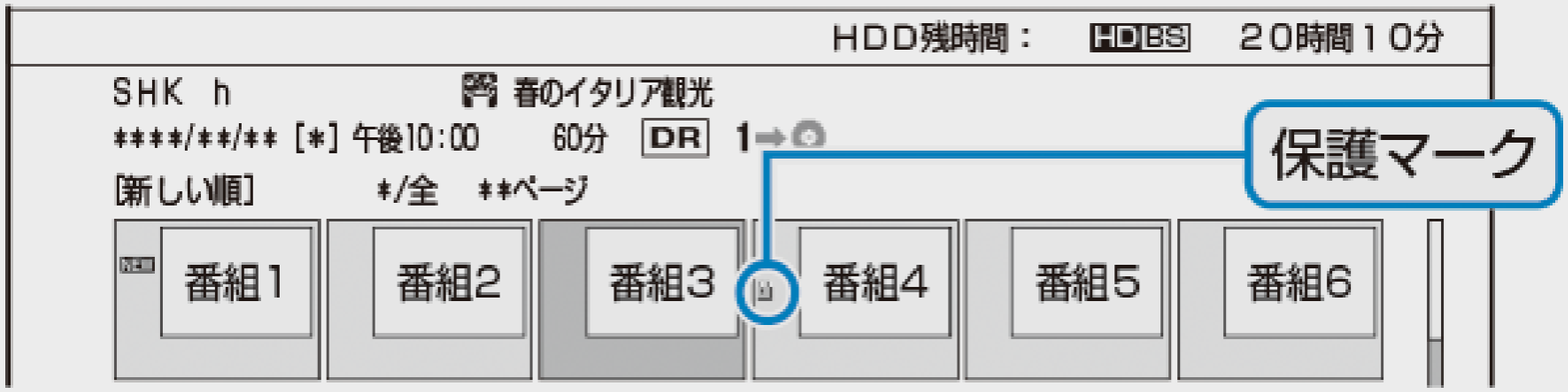
タイトル保護設定(つづき)

お知らせ

- 予約録画時に予約の詳細設定で「消さないで」を設定したタイトルの保護設定は、録画終了後に手順4で保護解除できます。
- BD(ブルーレイディスク)に録画した録画制限のある番組をタイトル保護設定したとき、そのタイトルはダビングできません。

メモ

- タイトル保護を設定したタイトルには、録画リストを表示させたとき保護マーク「 」が付きます。



次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

録画した番組を消さないように設定する



タイトル保護設定(つづき)

1. 録画リスト／ドラ丸タイトルリストで保護したい番組を選びます

【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す ⇒【上下左右カーソル】ボタンで選ぶ

■ドラ丸タイトルリストから番組を保護したいとき

(1)【ドラ丸】ボタンを押します
(2)保護したい番組フォルダーを選択し決定します
- ドラ丸タイトルリストが表示されます。

(3)保護したいタイトルを選びます
手順2へ進みます。

次ページへつづく⇒

録画した番組を消さないように設定する



タイトル保護設定(つづき)

2. 「機能メニュー」を表示させます
   【青】ボタンを押す

3. 「タイトル保護設定」を選んで決定します

4. 「保護する」を選んで決定します
   - 保護設定したタイトルを編集または消去したいときは、「保護解除」を選んで決定してください。

5. 設定を終了します
   【終了】ボタンを押す

■ドラ丸録画されたタイトルをすべて保護したいとき

ドラ丸タイトルリストから一括保護できます。
- 詳しくは「ドラ丸で自動録画されたタイトルを自動消去されないようにする」(→3-111ページ)をご覧ください。

録画した番組を消さないように設定する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

ディスク保護設定

ディスクの録画内容を消さないよう、ディスク全体を保護できます。

お知らせ

- VRフォーマットのDVD-Rは、ファイナライズするとディスクの保護や解除ができなくなります。
- BD（ブルーレイディスク）をディスク保護設定したとき、録画制限のある番組はダビングできません。
- プレイリストがあるDVDはディスクの保護や解除ができません。

1. 保護したいディスクを挿入します

→1-38ページ

次ページへつづく⇒

録画した番組を消さないように設定する



ディスク保護設定(つづき)

2. ホーム画面を表示させます

   【ホーム】ボタンを押す

3. ①「設定」を選んで決定します

   ②「ディスク管理」—「BD」を選んで決定します

   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

録画した番組を消さないように設定する



ディスク保護設定(つづき)

4. 「ディスク保護」を選んで決定します

5. 「する」を選んで決定します
   - 保護設定を解除してダビングやタイトル名変更を行いたいときは、「しない」を選んでください。

6. 設定を終了します
   【終了】ボタンを押す

再生・消去・編集

タイトル（録画した番組）を消去する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

ご注意

- 消去したタイトルは復元できません。
- BD-RやDVD-Rはタイトルを消去しても残量は増えません。
- DVDでは、チャプターの消去はできません。
- タイトルを消去した際、消去が完了してから残時間が増えていきます。消去するタイトル数が多い場合は、残時間の反映に時間がかかる場合があります。

次のディスクはタイトルの消去ができません

- ファイナライズを行ったDVD-R
- ディスク保護を設定したBD（ブルーレイディスク）やDVD
- プレイリストがあるDVD

お知らせ

- 保護されたタイトルは消去できません。保護されたタイトルを消去したい場合は、保護解除（→4-121ページ）を行ってください。

タイトル（録画した番組）を消去する



録画リスト／ドラ丸タイトルリストから複数のタイトルを選んで消去する

不要なタイトル（録画した番組）あるいはチャプターを録画リストから消去することができます。

1. 消したいタイトルのある録画先を選びます

   【HDD/BD】ボタンを押す
   内蔵／外付けHDD、またはBD/DVDを選ぶ
   - BD/DVDの場合、ディスクを挿入（→1−38ページ）してください。

2. 録画リスト／ドラ丸タイトルリストで消したいタイトル（チャプター）を選びます

   【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す ⇒【上下左右カーソル】ボタンで選ぶ
   - まと丸リストのタイトルを消去したいときは、まと丸リストを選び決定します。

次ページへつづく⇒



録画リスト／ドラ丸タイトルリストから複数のタイトルを選んで消去する(つづき)

■ドラ丸タイトルリストから消去したいとき

(1)【ドラ丸】ボタンを押します
(2)消したい番組フォルダーを選択し決定します
- ドラ丸タイトルリストが表示されます。

(3)消したいタイトルを選びます
手順3へ進みます。

ヒント

- チャプターを選ぶには録画リストで【赤】ボタンを押し、「チャプター単位」を選びます。
- 録画リストで【青】ボタンを押し、機能メニューの「消去」からタイトルを消去することもできます。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

タイトル（録画した番組）を消去する



録画リスト／ドラ丸タイトルリストから複数のタイトルを選んで消去する(つづき)

3. 消去ボタンを押します

   【消去／3桁入力】ボタンを押す
   - タイトル選択消去画面が表示されます。
   - 他にも消去するタイトルがある場合は、消去したいタイトルを選んで【黄】ボタンを押すと複数選択ができます。

4. もう一度消去ボタンを押します

   【消去／3桁入力】ボタンを押す

5. 「する」を選んで決定します

6. 終了します

   【終了】ボタンを押す

再生・消去・編集

タイトル（録画した番組）を消去する



HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR	ビデオ	市販のBD/DVDビデオ	音楽用CD

再生中のタイトルを消去する

1. 再生中に消去ボタンを押します
   【消去／3桁入力】ボタンを押す
2. 「する」を選んで決定します
   - タイトルが消去されます。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

タイトル（録画した番組）を消去する



HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR | ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

ホーム画面から複数のタイトルを選んで消去する

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す
2. 「消す」を選んで決定します
   - ホームメニューの操作について詳しくは1-24ページをご覧ください。
3. タイトルを消去したいディスクを選んで決定します
4. タイトル選択消去画面から消したいタイトル（チャプター）を選びます

ヒント

- チャプターを選ぶにはタイトル選択消去画面で【赤】ボタンを押し、「チャプター単位」を選びます。

●1つのタイトル（チャプター）を選んで消去する場合
【上下左右カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

タイトル（録画した番組）を消去する



ホーム画面から複数のタイトルを選んで消去する(つづき)

●複数のタイトル（チャプター）を一度に選んで消去する場合

（1）【上下左右カーソル】ボタンで選び【黄】ボタンを押す
- 上記操作をくり返し、複数のタイトル（チャプター）を選べます。
- もう一度押すと、選択が解除されます。
- 選んだタイトルのチェックボックスにチェックマークが付きます（☑ ）。
- グループ内の録画リストに切り換えたときは、【青】ボタン（全タイトル選択）でグループ内のタイトルを一度に全て選択することができます。
- もう一度押すと、全タイトル選択が解除されます。

（2）選び終わったら【決定】ボタンを押す

次ページへつづく⇒



ホーム画面から複数のタイトルを選んで消去する(つづき)

5. 「する」を選んで決定します

   ⇒ 消去を実行して録画リストへ
   - 「しない」を選ぶと手順4で表示される画面に戻ります。

6. 終了します

   【終了】ボタンを押す

お知らせ

- 内蔵HDDのタイトルを消去する場合、消去するタイトルの内容をすばやく確認したいときは、【（ポップアップ）メニュー】ボタンを押して見どころ一覧を表示させます。ここでの見どころ一覧は、シーンの選択やシーン間隔の変更はできません。見どころ一覧については、4-12、4-97ページをご覧ください。

タイトル（録画した番組）を消去する



HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR | ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

タイトル（録画した番組）をすべて消去する

HDD（ハードディスク）やBD（ブルーレイディスク）、DVD内の全タイトルを消去します。

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

2. ①「設定」を選んで決定します

   ②「ディスク管理」を選び、タイトルを全消去したいディスクを選んで決定します

   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒



タイトル（録画した番組）をすべて消去する(つづき)

3. 「初期化」を選んで決定します
   - 対象のディスクが「HDD」の場合は、「放送番組全消去」または「動画アルバム全消去」を選んで決定します。

4. 「する」を選んで決定します

5. 「はい」を選んで決定します
   - 対象のディスクが「HDD」の場合は、カウントダウンが始まり、ゼロになると消去を開始します。消去を中止する場合は、カウントダウンの間に「中止」を選んで決定します。
   - 消去したタイトルは復元できませんのでご注意ください。

6. 終了します

   【終了】ボタンを押す

再生・消去・編集

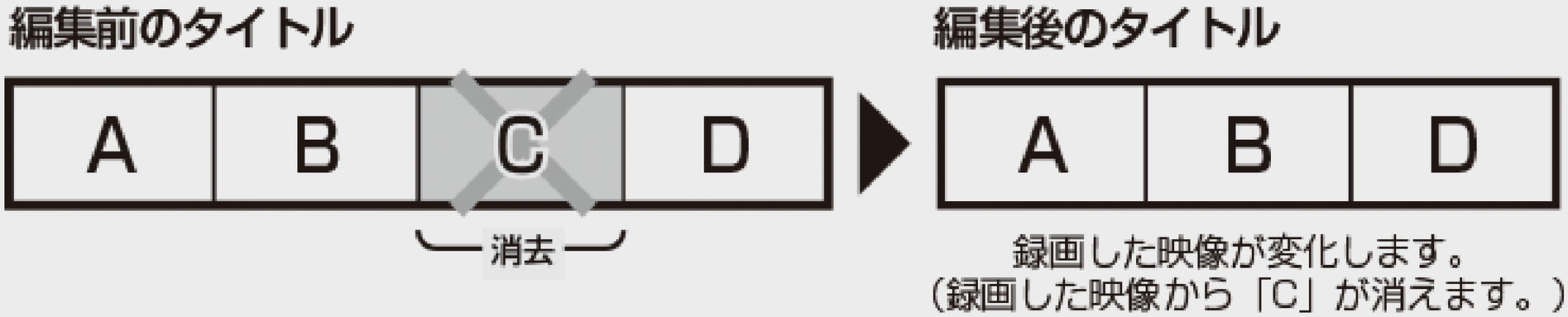
編集のあらまし

内蔵／外付けHDDやBD（ブルーレイディスク）に録画（ダビング）した番組を編集できます。

- DVDは編集できません。

録画した番組を編集する

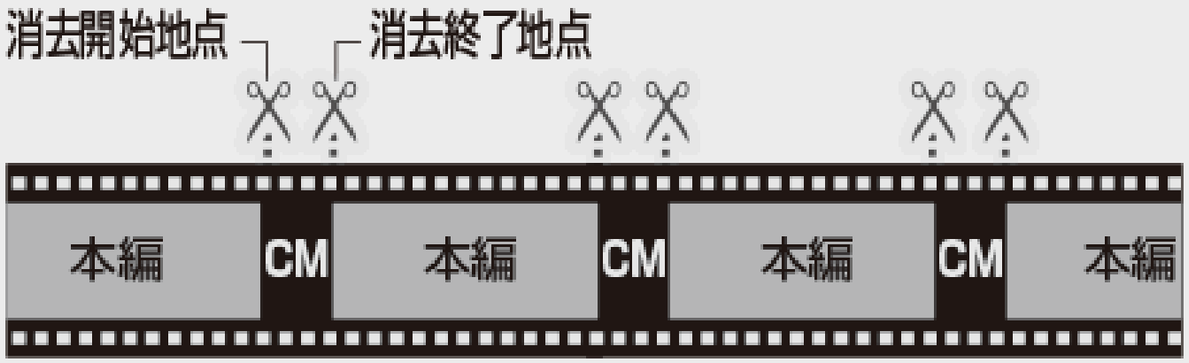
録画した番組を「タイトル」と呼びます。タイトルを編集すると、編集後は録画した映像そのものが変化します。



次ページへつづく⇒

録画した番組を編集する(つづき)

いらないシーンを消したい(本編以外のシーンを消すなど)



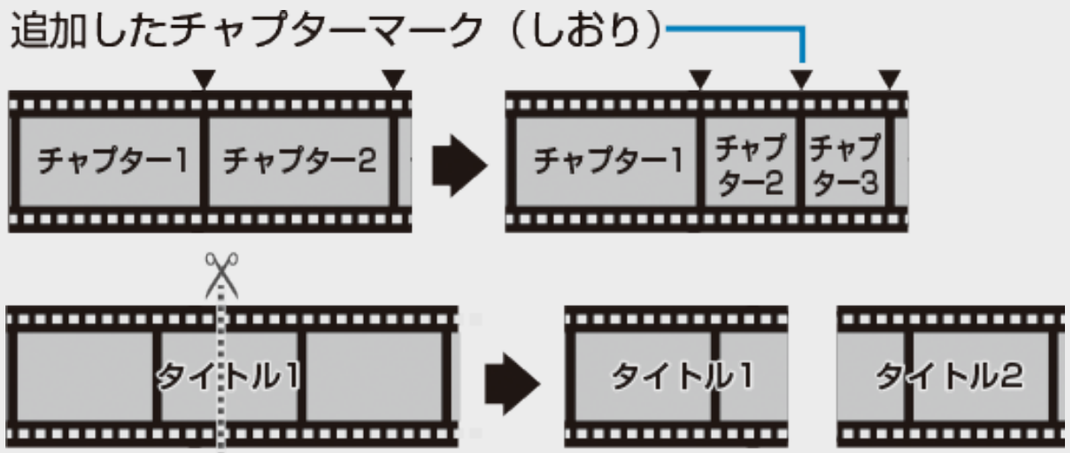
シーン(部分)消去	→4-141ページ

チャプター(章)編集・消去	
チャプター(章)消去	→4-156ページ

次ページへつづく⇒

録画した番組を編集する(つづき)

指定の場面で区切りたい(頭出しをしやすくするなど)



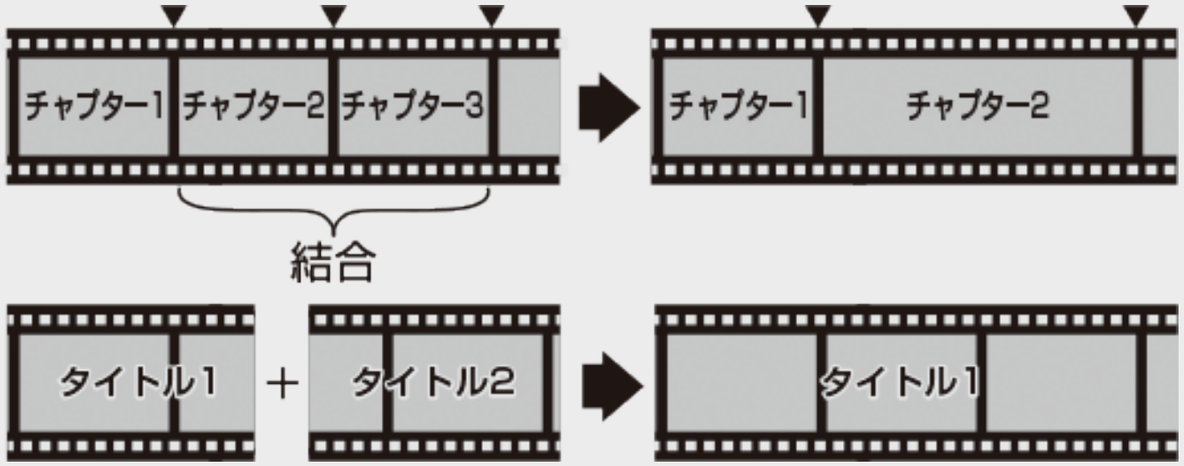
チャプター(章)編集・消去	
チャプター(章)分割	→4-147ページ

タイトル分割	→4-165ページ

次ページへつづく⇒

録画した番組を編集する(つづき)

場面をつなぎたい(停電で分割されたタイトルを結合するなど)



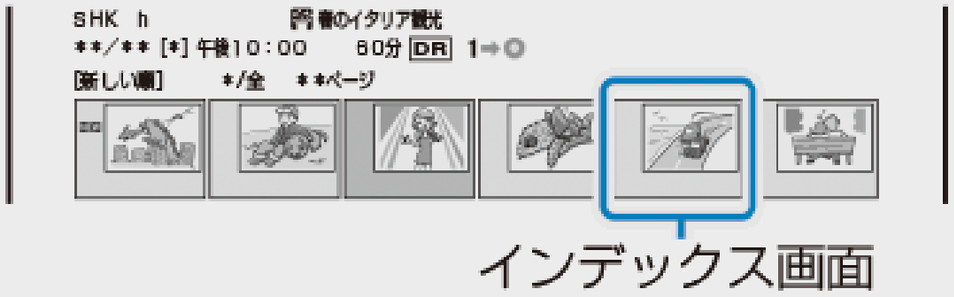
チャプター(章)編集・消去	
チャプター(章)結合	→4-150ページ

タイトル結合	→4-171ページ

次ページへつづく⇒

録画した番組を編集する(つづき)

画面リストの画面を変えたい(録画リストに一覧表示される子画面を、お好みのシーンに変更できます)



インデックス画面変更	→4-161ページ

重要

次のタイトルは編集できません。
- タイトル保護(→4-118ページ)を設定したタイトル
- ダビング予約を設定したタイトル

次の操作を行っている場合は、編集は行えません。
- 「録画1」「録画2」「録画3」「ホームネットワーク録画」で4番組同時録画中

録画した番組を編集する(つづき)

重要

本機でプレイリストを作ることはできません。

- 本機では、お気に入りのタイトルやシーンを集めたプレイリストを作ることができません。
- 他機でプレイリストを作ったディスクであれば、プレイリストの再生を楽しむことができます。ただし、プレイリストの編集はできません。

編集したあとに、次のようなことがあります。

- チャプターマークの追加やシーン(部分)消去などの編集を行った場合、編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。

DVDはタイトル名変更のみ可能です。
チャプターマークの追加やシーン消去などはできません。

ヒント

- 自動録画／ドラ丸録画された番組を編集したときは、通常タイトルとして保存されます。

再生・消去・編集

必要のないシーンを消去する（シーン消去）



HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

本編以外などのいらないシーンを消去します。

ご注意

- DVDのタイトルは、シーン消去ができません。
- BD-Rは、シーン消去を行っても残時間は増えません。
- 消したシーンは復元できませんので、消す内容を確認し十分に注意して操作してください。
- 編集した映像のつなぎ目が1秒程度ずれたり、静止画となる場合があります。

お知らせ

- シーン消去ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」（→12-37ページ）をご覧ください。

ヒント

- 「オートチャプター設定」（→10-8ページ）を「おまかせ」に設定して録画した番組は、CMの前後など音声の切り換わり部分にチャプターマークが自動で付き、チャプター分割されます。シーンを消去する際、CM部分を【次】ボタンまたは【前】ボタンで、頭出しして消去するなど便利な機能です。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

必要のないシーンを消去する（シーン消去）



1. シーンを消去したいタイトルの保存場所を選びます
   【HDD/BD】ボタンを押す
   - 【HDD/BD】ボタンを押すと、HDDモードとBD/DVDモードが切り換わります。
     詳しくは「モードの切り換え」（→1-63ページ）をご覧ください。
2. 録画リスト画面を表示させます
   【録画リスト／トップメニュー】ボタンを押す

■ドラ丸タイトルリストからシーン消去したいとき

（1）【ドラ丸】ボタンを押します

（2）シーン消去したい番組フォルダーを選択し決定します

- ドラ丸タイトルリストが表示されます。
  手順3へ進みます。

3. 編集したいタイトル（録画した番組）を選びます
4. 「機能メニュー」を表示させます
   【青】ボタンを押す

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

必要のないシーンを消去する（シーン消去）



5. 「編集」を選んで決定します

6. 「シーン（部分）消去」を選んで決定します

7. 再生を始めます

   【再生】ボタンを押す

8. 編集シーンの開始地点を決定します

   【一時停止】ボタンを押す ⇒【決定】ボタンを押す

   - 早送り中、早戻し中は【再生】ボタンを押してから【一時停止】ボタンを押します。シーン消去開始地点がずれたときは、【早戻し】ボタン（コマ戻し）または、【早送り】ボタン（コマ送り）を押して設定します。

ヒント

- 【戻る】ボタンを押すと選び直せます。

次ページへつづく⇒

必要のないシーンを消去する（シーン消去）



9. 手順7、8と同様の操作で終了地点を選んで決定します

   ⇒ 再生中のタイトルが一時停止します。

   ヒント

   - 【戻る】ボタンを押すと選び直せます。
   - チャプターの最後付近を終了地点に指定しようとすると最後が終了地点に選ばれます。

10. 事前に編集結果を確認できます

    【赤】ボタンを押す

11. 「する」を選んで決定します

    ⇒ 指定範囲の消去実行

    ヒント

    - 「しない」を選ぶと終了地点を選び直せます。

次ページへつづく⇒

必要のないシーンを消去する（シーン消去）



12. 「終了」を選んで決定します

⇒ 編集選択画面に戻る

ヒント

- 同じタイトル内でさらに消去を行う場合は「継続」を選んでください。
- 「緑 編集取消」が表示されているときは、【緑】ボタンを押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。

13. 編集を終了します

【終了】ボタンを押す

ヒント

- フレームカウンターは、一時停止中のみ表示されます。

再生・消去・編集

チャプターを分割／結合／消去する



ご注意

- タイトル保護（→4-118ページ）を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- DVDのタイトルは、チャプター結合／消去できません。
- 消したシーンは復元できませんので、消す内容を確認し十分に注意して操作してください。
- 編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。

お知らせ

- チャプター分割で追加されるチャプターマークは、再生・録画中に追加するチャプターマークと同じものです。
- チャプター（章）分割ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」（→12-37ページ）をご覧ください。

メモ

- 「緑 編集取消」が表示されているときは、【緑】ボタンを押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。
- フレームカウンターは、一時停止中のみ表示されます。

再生・消去・編集

チャプターを分割／結合／消去する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

チャプター分割

検索や編集に便利なようにチャプター（章）マークを追加して分割することができます。

ご注意

- DVDのタイトルは、編集操作でのチャプター分割ができません。
- 以下の数を超えてチャプターを追加することはできません。

内蔵HDD	最大40000チャプター
外付けHDD	最大40000チャプター
BD-RE（1層、2層）	最大1000チャプター
BD-RE/R（3層）、BD-R（4層）	最大19600チャプター

メモ

- この操作で行ったチャプター分割は、「チャプター結合」（⇒4-150ページ）で取り消すことができます。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

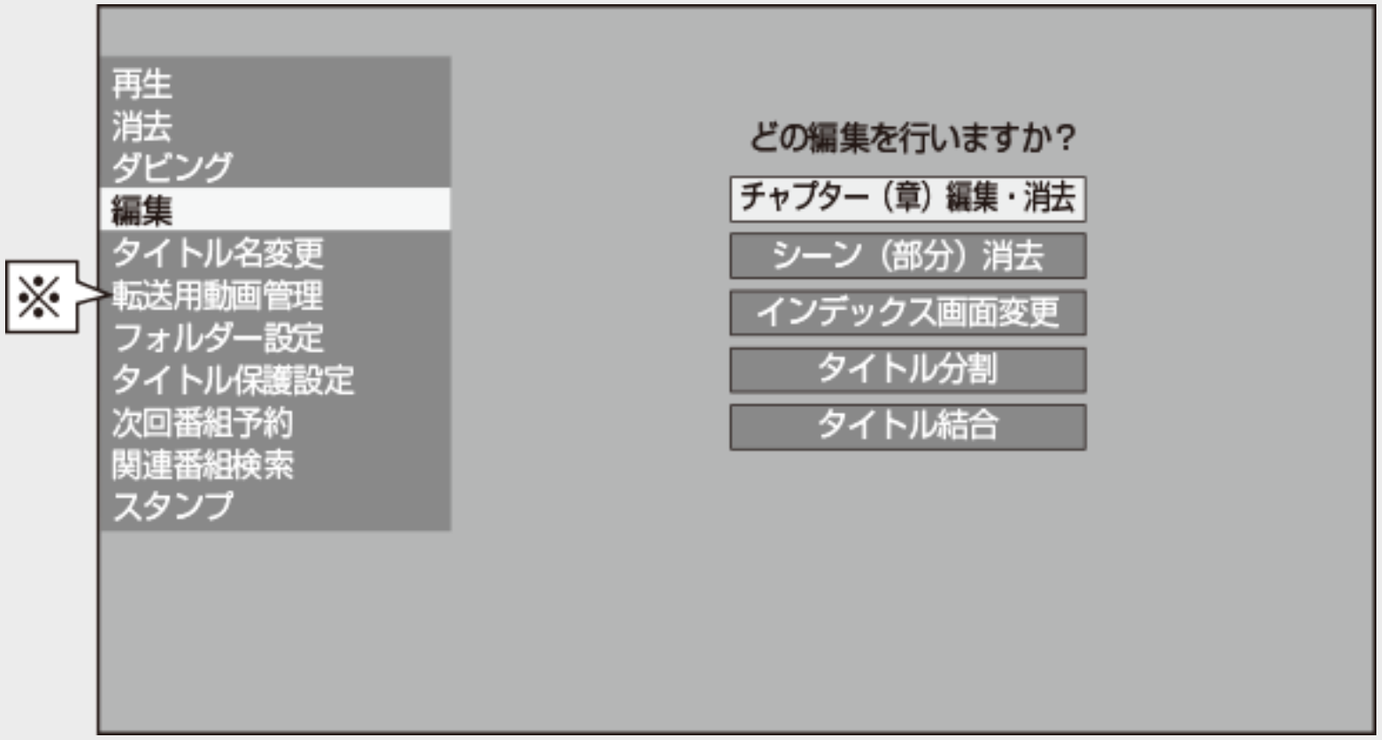
チャプターを分割／結合／消去する

チャプター分割(つづき)

1. 録画リスト／ドラ丸タイトルリストでタイトルを選び、「機能メニュー」から「編集」を選んで決定します
（→4-142～4-143ページの手順2～5）
確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. 「チャプター（章）編集・消去」を選んで決定します

HDDのタイトルを編集しているときの画面例



※ドラ丸タイトルリストでは転送用動画管理は表示されません。

次ページへつづく⇒



チャプター分割(つづき)

3. 再生を始めます

【決定】ボタンまたは【再生】を押す
●チャプターが複数あるとき
【左右カーソル】ボタンでチャプターを選んで再生します
- 【決定】ボタンでは一時停止画面となります。
- 【前】ボタンで前のページへ、【次】ボタンで次のページへ移動できます。

4. 分割地点で一時停止させます

【一時停止】ボタンを押す
- 早送り中、早戻し中は【再生】ボタンを押してから【一時停止】ボタンを押します。分割地点がずれたときは、【早戻し】ボタン(コマ戻し)または、【早送り】ボタン(コマ送り)を押して設定します。

5. チャプター分割を実行します

【決定】ボタンを押す

6. 編集を終了します

【終了】ボタンを押す

再生・消去・編集

チャプターを分割／結合／消去する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

検索や編集に便利なように連続したチャプター（章）をつなぐことができます。

チャプター結合

ご注意

- シーン消去（→4-141ページ）またはチャプター消去（→4-156ページ）によって区切られたチャプターは結合できません。

お知らせ

- 結合できるチャプターは、再生中にリモコンボタンによって分割したチャプター、オートチャプター設定（→10-8ページ）によって分割したチャプター、チャプター分割（→4-147ページ）により分割したチャプターです。

次ページへつづく⇒

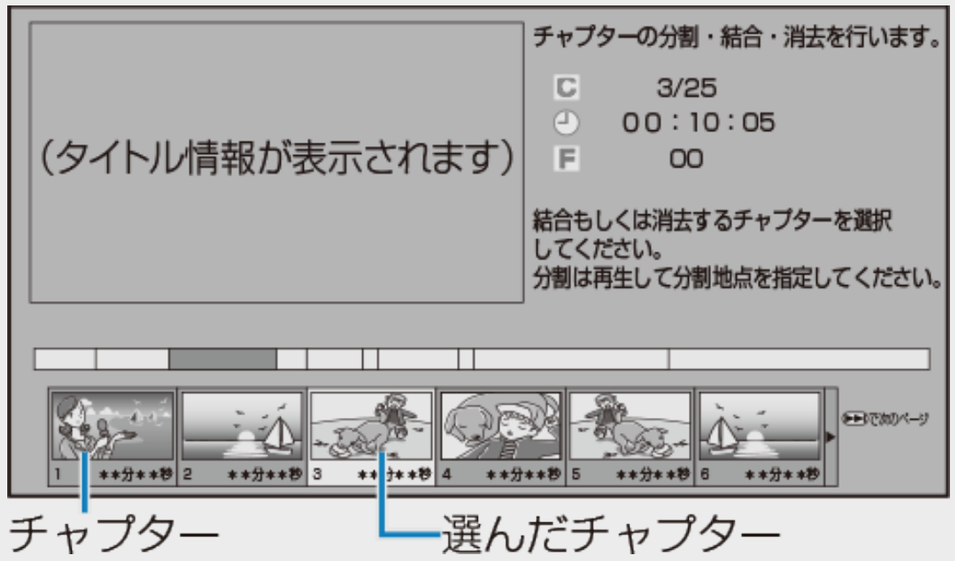


チャプター結合(つづき)

前または後ろのチャプター(章)とつなぐ

1. 4-148ページの「チャプター分割」の手順1～2を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. チャプターを選びます
   - 【前】ボタンで前のページへ、【次】ボタンで次のページへ移動できます。
     チャプター編集画面



次ページへつづく⇒



チャプター結合(つづき)

前または後ろのチャプター(章)とつなぐ(つづき)

3. チャプター結合を実行します

●前のチャプターとつなぐとき
【青】ボタンを押す
●後ろのチャプターとつなぐとき
【赤】ボタンを押す

ヒント

- プレビュー画面で再生中のチャプターに対しても、チャプター結合を実行できます。(実行後、プレビュー画面は一時停止します)

4. 編集を終了します

【終了】ボタンを押す

次ページへつづく⇒



チャプター結合(つづき)

複数のチャプター(章)を選んでつなぐ

1. 4-148ページの「チャプター分割」の手順1～2を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. つなぎたいチャプターの1つ目を選びます
   【左右カーソル】ボタンで選び【黄】ボタンを押す
   チャプター編集画面



選択したチャプターにアンダーラインが表示されます。

- プレビュー画面での再生中にチャプターを選択することもできます。
- 【前】ボタンで前のページへ、【次】ボタンで次のページへ移動できます。

次ページへつづく⇒



チャプター結合(つづき)

複数のチャプター(章)を選んでつなぐ(つづき)

3. 同じように2つ目 以降を選びます(50個まで)

チャプター編集画面



ヒント

- 選択したチャプターには、①②③…と番号が付きます。
- 選択を取り消すときは、もう一度【黄】ボタンを押します。
- 連続したチャプターでなければ結合できません。

次ページへつづく⇒



チャプター結合(つづき)

複数のチャプター(章)を選んでつなぐ(つづき)

4. チャプター結合を実行します

   【青】ボタンを押す

   ヒント

   - プレビュー画面での再生中も、選択したチャプターの結合を実行できます。(実行後、プレビュー画面は一時停止します)

5. 編集を終了します

   【終了】ボタンを押す

チャプターを分割／結合／消去する



HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

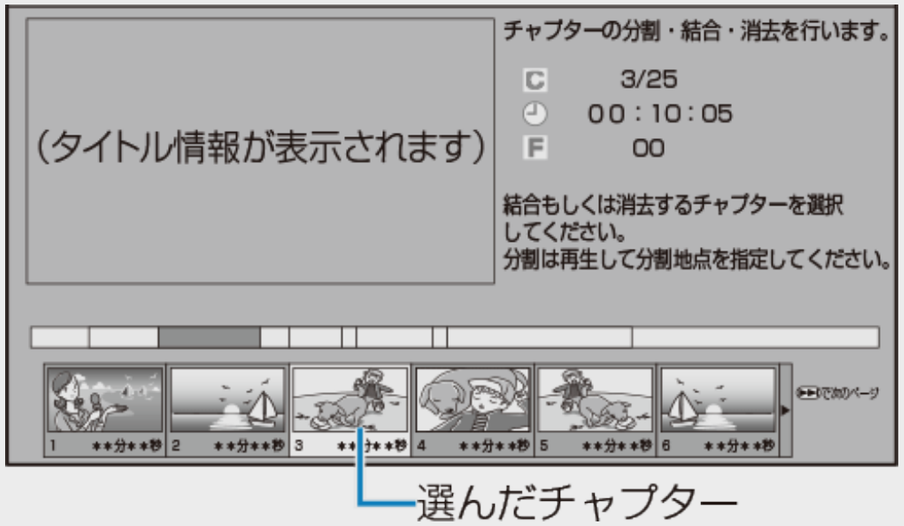
チャプター消去

いらないチャプター（章）をまとめて消すことができます。

1つのチャプター（章）を消す

1. 4-148ページの「チャプター分割」の手順1～2を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
2. 消したいチャプターを選びます
   - 【前】ボタンで前のページへ、【次】ボタンで次のページへ移動できます。

チャプター編集画面



次ページへつづく⇒



チャプター消去(つづき)

1つのチャプター(章)を消す(つづき)

3. チャプター消去を実行します

【緑】ボタンを押す
⇒ チャプター消去実行後、チャプター編集継続確認画面が表示されます。
- 【消去／3桁入力】ボタンを押しても消去することができます。

ヒント

- プレビュー画面で再生中のチャプターに対しても、チャプター消去を実行できます。(実行後、プレビュー画面は次のチャプターの先頭で一時停止します)

●他のチャプターも消したいとき⇒「継続」を選んで決定し、手順2、3を繰り返します。
●終了したいとき⇒「終了」を選んで決定します。
●チャプター消去を取り消したいとき⇒【緑】ボタン(消去取消)を押し、確認画面で「する」を選んで決定します。

4. 編集を終了します

【終了】ボタンを押す

次ページへつづく⇒



チャプター消去(つづき)

複数のチャプター(章)を選んで消す

1. 4-148ページの「チャプター分割」の手順1～2を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. 消したいチャプターの1つ目を選びます

   【左右カーソル】ボタンで選び【黄】ボタンを押す
   チャプター編集画面



選択したチャプターにアンダーラインが表示されます。

- プレビュー画面での再生中にチャプターを選択することもできます。
- 【前】ボタンで前のページへ、【次】ボタンで次のページへ移動できます。

次ページへつづく⇒



チャプター消去(つづき)

複数のチャプター(章)を選んで消す(つづき)

3. 同じように2つ目 以降を選びます(50個まで)

チャプター編集画面



ヒント

- 選択したチャプターには、①②③…と番号が付きます。
- 選択を取り消すときは、もう一度【黄】ボタンを押します。

次ページへつづく⇒



チャプター消去(つづき)

複数のチャプター(章)を選んで消す(つづき)

4. チャプター消去を実行します

【緑】ボタンを押す

ヒント

- プレビュー画面での再生中も、選択したチャプターの消去を実行できます。(実行後、プレビュー画面は一時停止します)

●他のチャプターも消したいとき
⇒「継続」を選んで決定し、手順2、3を繰り返します。

●終了したいとき
⇒「終了」を選んで決定します。

●チャプター消去を取り消したいとき
⇒【緑】ボタン(消去取消)を押し、確認画面で「する」を選んで決定します。

5. 編集を終了します

【終了】ボタンを押す

再生・消去・編集

画面リストを好みの画像に変える（インデックス画面変更）

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

インデックス画面は録画リスト（画面リスト）に表示される子画面です。
タイトルの内容がわかりやすいように、インデックス画面を変更できます。

ご注意

- タイトル保護（→4-118ページ）を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- DVDのタイトルは、インデックス画面を変更できません。
- インデックス画面を変更したタイトルをダビングしたときは、インデックス画面がズレてダビングされる場合があります。
- 内蔵／外付けHDDやBDに録画したタイトルのインデックス画面は、タイトルの先頭から約1分後になっています。

メモ

- 編集範囲を細かく設定したい場合は、4-164ページの「メモ」をご覧ください。

次ページへつづく⇒

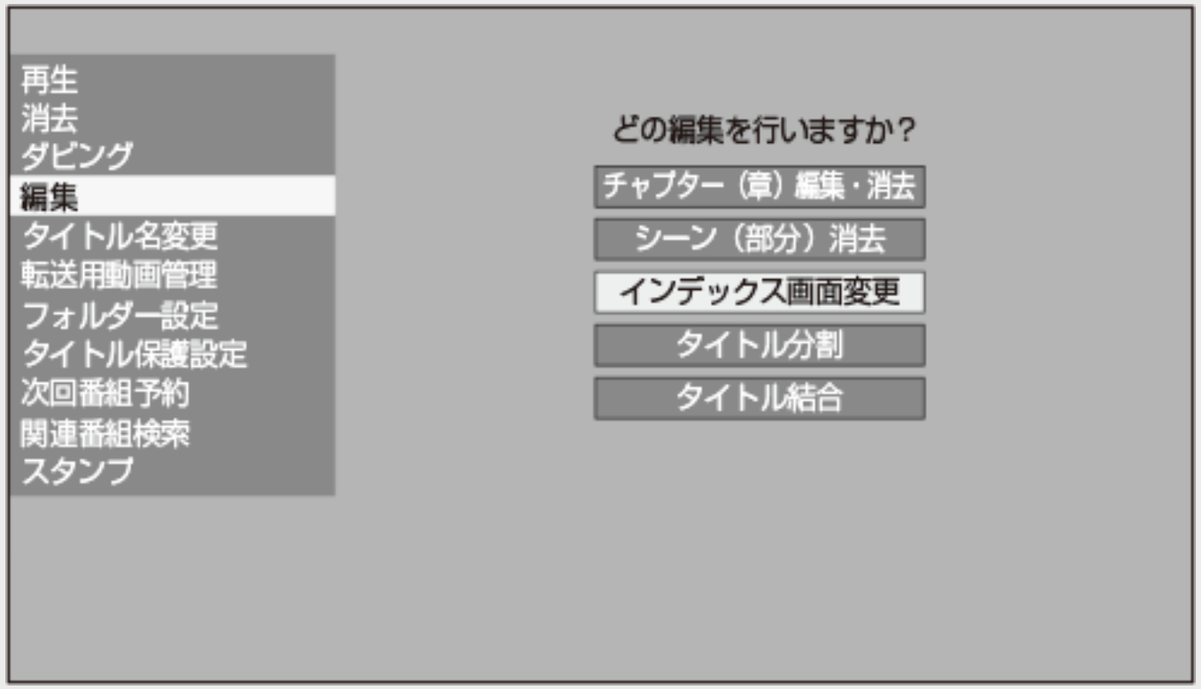
再生・消去・編集

画面リストを好みの画像に変える（インデックス画面変更）



1. 録画リスト／ドラ丸タイトルリストでタイトルを選び、「機能メニュー」から「編集」を選んで決定します（→4-142～4-143ページの手順2～5）
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. 「インデックス画面変更」を選んで決定します
   【上下カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す



次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

画面リストを好みの画像に変える（インデックス画面変更）



3. 再生を始めます

【再生】ボタンを押す

ヒント

- シーンを探すときに便利なボタン

【早戻し】ボタン/【早送り】ボタン、【10秒戻し】ボタン/【30秒送り】ボタン、【前】ボタン/【次】ボタン、【左右カーソル】ボタン（チャプター移動）、【青】ボタン（10分戻し）/【黄】ボタン（10分送り）

4. インデックス画面にしたいシーンで一時停止させます

【一時停止】ボタンを押す

- 早送り中、早戻し中は【再生】ボタンを押してから【一時停止】ボタンを押します。インデックス画面設定地点がずれたときは、【早戻し】ボタン（コマ戻し）または、【早送り】ボタン（コマ送り）を押して設定します。

次ページへつづく⇒

再生・消去・編集

画面リストを好みの画像に変える（インデックス画面変更）



メモ

■変更地点を細かく設定したい場合（コマ送り）

- 映像は1秒当たり30フレーム（コマ）で記録されています。より細かく設定したいときは、画面指定時にコマ送りによってフレーム単位で変更地点のシーンを選んでください。
  ①変更地点の手前で【一時停止】ボタンを押す
  ②【早送り】ボタンまたは【早戻し】ボタンを使ってコマ送り／コマ戻しでシーンを呼び出す
  - 押すとコマ送りされます。
  - 2秒以上押すとスロー再生になります。



- 画面指定時、チャプターの先頭付近に変更地点を指定しようとすると、先頭が変更地点に選ばれます。あるいは最後付近を変更地点に指定しようとすると最後が変更地点に選ばれます。

5. インデックス画面を決定します

【決定】ボタンを押す

タイトルを分割する

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

1つのタイトルを2つに分けたり分割することができます。
タイトル分割を行うと、タイトル名やタイトル情報は以下の内容になります。

タイトル名	分割した両方のタイトルが同じタイトル名になります。
録画情報(録画日時)	分割された箇所が録画終了時刻／録画開始時刻になります。
ダビング回数	分割前のダビング回数と同じです。
フォルダー設定情報	同じフォルダーのタイトルとして分割されます。
インデックス画面	タイトルを分割すると、先頭のタイトルは1分後の画面がインデックス画面となります。後ろのタイトルは分割地点がインデックス画面となります。
Wi-Fi転送用動画	削除されます。
番組カテゴリ／人名	分割した両方のタイトルが同じ番組カテゴリ／人名になります。
スタンプ	解除されます。

次ページへつづく⇒

タイトルを分割する(つづき)

お知らせ

- ディスク保護を設定したBD(ブルーレイディスク)はタイトルの分割ができません。
(→4-122ページ)
- 保護されたタイトルは分割できません。保護されたタイトルを分割したい場合は、保護解除
(→4-121ページ)を行ってください。
- 10秒以内のタイトル分割はできません。
- シャープ製以外のレコーダーで録画したBD(ブルーレイディスク)や、BDからHDD(ハードディスク)にダビングしたタイトルは、タイトル分割できない場合があります。
- 分割した後のタイトル数またはチャプター数がディスク内の上限を超える場合は、タイトル分割できません。

次ページへつづく⇒

タイトルを分割する(つづき)

お知らせ

タイトル／チャプターの最大数

内蔵HDD	タイトル数	3000タイトル※1	
	チャプター数	40000チャプター※1	
外付けHDD	タイトル数	3000タイトル	
	チャプター数	40000チャプター	
BD	タイトル数	200タイトル	
	チャプター数	1層、2層	1000チャプター
		3層、4層	19600チャプター

※1 動画アルバムと放送番組の合計

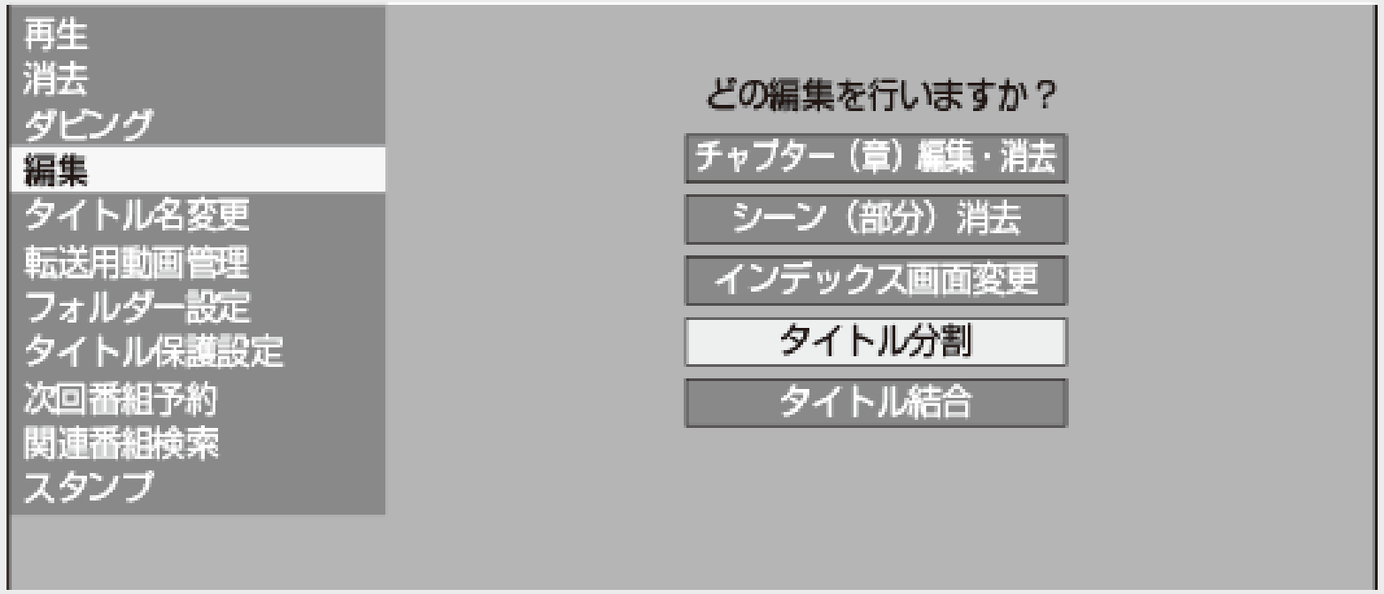
次ページへつづく⇒

タイトルを分割する(つづき)

1. 録画リスト／ドラ丸タイトルリストでタイトルを選び、「機能メニュー」から「編集」を選んで決定します
（→4-142～4-143ページの手順2～5）
確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. 「タイトル分割」を選んで決定します

HDDのタイトルを編集しているときの画面例



次ページへつづく⇒



タイトルを分割する(つづき)

3. 再生を始めます

   【再生】ボタンを押す

4. 分割地点で一時停止させます

   【一時停止】ボタンを押す
   - 早送り中、早戻し中は【再生】ボタンを押してから【一時停止】ボタンを押します。
   - タイトル分割地点がずれたときは、【早戻し】ボタン(コマ戻し)または、【早送り】ボタン(コマ送り)を押して設定します。

ヒント

■位置範囲を細かく設定したい場合(コマ送り)
- 映像は1秒当たり30フレーム(コマ)で記録されています。より細かく設定したいときは、分割地点指定時にコマ送りによってフレーム単位で分割したい地点のシーンを選んでください。

次ページへつづく⇒



タイトルを分割する(つづき)

5. タイトル分割を実行します
   【決定】ボタンを押す

6. 「する」を選んで決定します

ヒント

- 「しない」を選ぶと分割地点を選び直せます。

タイトルを結合する

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

2つのタイトルを1つに結合することができます。
結合できるタイトルは、下表の組み合わせになります。

先頭のタイトル	結合できるタイトル
録画画質DR(放送画質)のタイトル	録画画質DR(放送画質)のタイトルのみ結合できます。
録画画質2倍～12倍、HD○○のタイトル	録画画質2倍～12倍、HD○○のタイトルのどれとでも結合できます。
AVCHD方式デジタルカメラからダビングしたタイトル	AVCHD方式デジタルカメラからダビングしたタイトルのみ結合できます。1080pのタイトルは、1080pのタイトル同士のみ結合できます。
HDV方式ハイビジョンビデオカメラからダビングしたタイトル	HDV方式ハイビジョンビデオカメラからダビングしたタイトルのみ結合できます。
LAN録画したタイトル※	LAN録画したタイトルのみ結合できます。

※LAN録画したタイトルは、ハイビジョン画質どうし、標準画質どうしのみ結合が可能です。買換えお引っ越しダビングしたタイトルは結合できません。

次ページへつづく⇒

タイトルを結合する(つづき)

タイトル結合を行うと、タイトル名やタイトル情報は以下の内容になります。

タイトル名	先頭のタイトル名になります。
録画画質	録画画質2倍～12倍、HD〇〇のタイトルで録画画質の異なるタイトルを結合するときは、先頭のタイトルの録画画質になります。
ダビング回数	残り回数の少ない方の回数になります。
フォルダー設定情報	先頭のタイトルのフォルダーになります。
インデックス画面	先頭のタイトルのインデックス画面になります。
Wi-Fi転送用動画	削除されます。
番組カテゴリ／人名	先頭のタイトルの番組カテゴリ／人名になります。
スタンプ	解除されます。

次ページへつづく⇒

タイトルを結合する(つづき)

お知らせ

- ディスク保護を設定したBD(ブルーレイディスク)はタイトルの結合ができません。
(→4-122ページ)
- 保護されたタイトルは結合できません。保護されたタイトルを結合したい場合は、保護解除
(→4-121ページ)を行ってください。
- 結合したときのタイトル長が12時間を超える場合は、結合できません。
- シャープ製以外のレコーダーで録画したBD(ブルーレイディスク)からHDD(ハードディスク)にダビングしたタイトルは、タイトル結合できない場合があります。
- メーカーの違ったカメラからダビングしたタイトルは、方式が同じでも結合できない場合があります。
- タイトル保護(→4-118ページ)を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- 結合した後のチャプター数が上限を超える場合は、タイトル結合できません。

次ページへつづく⇒

タイトルを結合する(つづき)

チャプターの最大数

内蔵HDD	1タイトルにつき99チャプター 合計40000チャプター※	
外付けHDD	1タイトルにつき99チャプター 合計40000チャプター	
BD	1層、2層	1タイトルにつき98チャプター 合計1000チャプター
	3層、4層	1タイトルにつき98チャプター 合計19600チャプター

※ 動画アルバムと放送番組の合計

次ページへつづく⇒

タイトルを結合する(つづき)

1. 4-168ページの「タイトルを分割する」の手順2で「タイトル結合」を選んで決定します
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. 後ろにつなぎたいタイトルを選んで決定します



3. 「する」を選んでタイトル結合を実行します

ヒント

- 「しない」を選ぶと後ろに結合するタイトルを選び直せます。

タイトル名を変更する

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

録画した番組のタイトル名を、ご自分がわかりやすい名前に変更できます。内蔵／外付けHDDやBD（ブルーレイディスク）は全角40文字までのタイトル名を付けられます。

ご注意

次のディスクはタイトル名の変更ができません。

- 保護されたタイトルのタイトル名は変更できません。保護されたタイトルのタイトル名を変更したい場合は、保護解除（→4-121ページ）を行ってください。
- ファイナライズされたDVD-R/DVD-RW（ビデオフォーマット）

お知らせ

- 電子番組表のデータが取得できているときは、その番組表の番組名が自動的に付けられています。

次ページへつづく⇒



タイトル名を変更する(つづき)

1. 録画リスト／ドラ丸タイトルリストでタイトルを選び、「機能メニュー」を表示させます(→4-142ページの手順2～4)
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. 「タイトル名変更」—「変更する」を選んで決定します
   ⇒ ソフトウェアキーボードが表示されます。

3. タイトル名を変えます
   (1)文字を入力します(→5-69ページ)
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
   (2)入力が終了したら【黄】ボタン(完了)を押します
   - タイトルを変更したくない場合は、【終了】ボタンを押してください。

4. 操作を終了します
   【終了】ボタンを押す

ダビング・管理

本機でできるダビング

さまざまなダビングができます。操作をする前にお読みください。

タイトル（録画した番組）のダビング

内蔵HDD（ハードディスク）⇔ BD/DVD

- 内蔵HDD（ハードディスク）に録画した番組をBD（ブルーレイディスク）やDVDにダビングできます。
- タイトルの録画画質・ディスクの種類・フォーマットによって、実行できるダビングが異なります。
- 「録画可能」のタイトルはBDからHDDへのダビングが可能です。
- 「1回だけ録画可能」のタイトルは、BDからHDDへのダビング（ムーブ）が可能です。BD-Rの場合は、ムーブ後のBD-Rの残量は増えません。

ご注意

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- シャープ製以外のレコーダーで録画したディスクはダビングできない場合があります。
- 本機でタイトル結合した録画番組をDVDにダビングすると、元の2つ以上のタイトルに分割されます。
- プレイリストがあるDVDにはダビングできません。
- 放送番組以外の記録タイトル（動画アルバム、他機種で作成したSXP以下の録画画質で記録されたタイトル、LAN録画したタイトル、ネットワークダビングしたタイトル）はDVDにダビングできません。

お知らせ

ダビング予約について

- 就寝中など、本機を使わない時刻にダビングを実行できます。
→5-56ページ

タイトル名の変更について

- 録画した番組のタイトル名を、わかりやすい名前に変更できます。
→4-176ページ

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

本機でできるダビング

タイトル（録画した番組）のダビング(つづき)

ダビングできるディスクについては→11-15～11-21ページ

内蔵HDD（ハードディスク）⇔ BD/DVD(つづき)

「録画可能」のタイトル

	高速ダビング	録画画質 変換ダビング	操作のしかた （ページ）
内蔵HDD ⇔ ダビング ⇔ BD	○	○ BD→HDD時は 選択できません	5-25 5-38
内蔵HDD → CPRM対応 ダビング → DVD VR フォーマット	×	○	5-25
内蔵HDD → ダビングできません → DVD ビデオ フォーマット	×	×	—

※DVDからHDDへはダビングできません。
※BDに録画されている4K番組はダビングできません。

次ページへつづく⇒

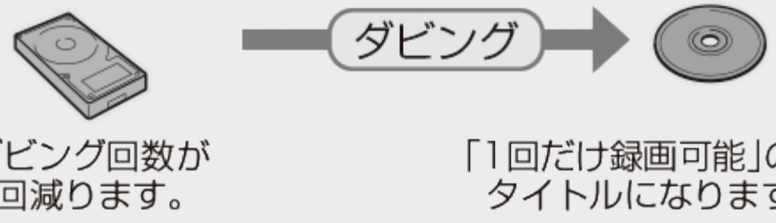
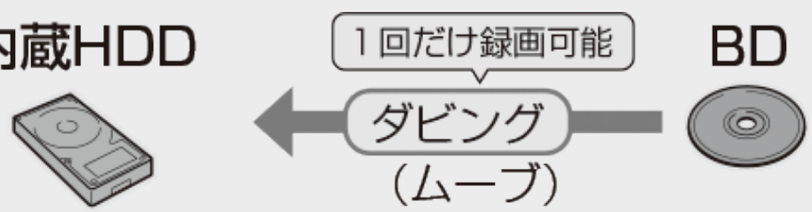
ダビング・管理

本機でできるダビング

タイトル（録画した番組）のダビング(つづき)

内蔵HDD（ハードディスク）⇔ BD/DVD(つづき)

「1回だけ録画可能」または「ダビング10」（デジタル放送）のタイトル

	高速ダビング	録画画質 変換ダビング	操作のしかた （ページ）
内蔵HDD → BD 	○	○	5-25
内蔵HDD → BD 	○	×	5-38

※BDに録画されている4K番組はダビングできません。

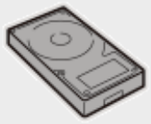
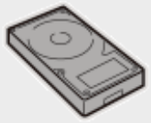
次ページへつづく⇒

本機でできるダビング

タイトル（録画した番組）のダビング(つづき)

内蔵HDD（ハードディスク）⇔ BD/DVD(つづき)

「1回だけ録画可能」または「ダビング10」（デジタル放送）のタイトル

	高速ダビング	録画画質 変換ダビング	操作のしかた （ページ）
内蔵HDD  CPRM対応 ダビング DVD  VR フォーマット	×	○	5-25
内蔵HDD  ダビングできません DVD  ビデオ フォーマット	×	×	—

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

本機でできるダビング

タイトル（録画した番組）のダビング(つづき)

内蔵HDD（ハードディスク）⇒内蔵HDD（ハードディスク）

- 内蔵HDD（ハードディスク）に録画した番組を内蔵HDDにダビングできます。
- タイトルの録画画質・種類によって、実行できるダビングが異なります。
- 「1回だけ録画可能」のタイトルは、高速ダビングできません。
- 「1回だけ録画可能」のタイトルは、録画画質変換ダビングを行うと、ダビング後にダビング元タイトルが消去されます。

「録画可能」のタイトル

	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
内蔵HDD  内蔵HDD	○	○※	5-25

※選択できる画質は「2倍」～「12倍」、「HD○○」画質です。

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

本機でできるダビング

タイトル（録画した番組）のダビング(つづき)

内蔵HDD（ハードディスク）⇒内蔵HDD（ハードディスク）(つづき)

「ダビング10」のタイトル

	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
内蔵HDD → ダビング → 内蔵HDD ダビング回数が1回減ります。 「1回だけ録画可能」のタイトルになります。	○	○※	5-25

※選択できる画質は「2倍」～「12倍」、「HD○○」画質です。

「1回だけ録画可能」のタイトル

	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
内蔵HDD → 1回だけ録画可能 → ダビング（ムーブ） → 内蔵HDD	×	○※	5-25

※選択できる画質は「2倍」～「12倍」、「HD○○」画質です。

次ページへつづく⇒

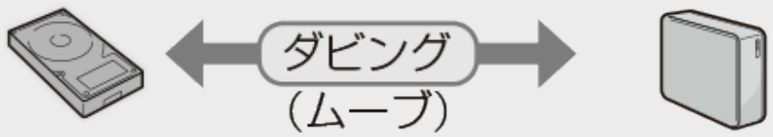
本機でできるダビング

タイトル（録画した番組）のダビング(つづき)

内蔵HDD（ハードディスク）⇔ 外付けHDD（ハードディスク）

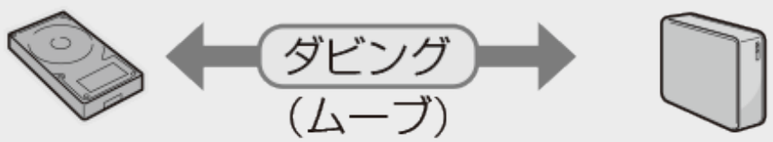
- 内蔵HDD（ハードディスク）に録画した番組を、外付けHDDにダビング（ムーブ）できます。
- ダビングはすべてムーブになります。ダビング後にダビング元タイトルが消去されます。

「録画可能」のタイトル

	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
内蔵HDD　外付けHDD 	○	○※	5-25 5-37

※選択できる画質は「2倍」～「12倍」、「HD○○」画質です。

「ダビング10」のタイトル

	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
内蔵HDD　外付けHDD  ダビング回数を維持したまま ムーブになります。	○	○※	5-25 5-37

※選択できる画質は「2倍」～「12倍」、「HD○○」画質です。

次ページへつづく⇒

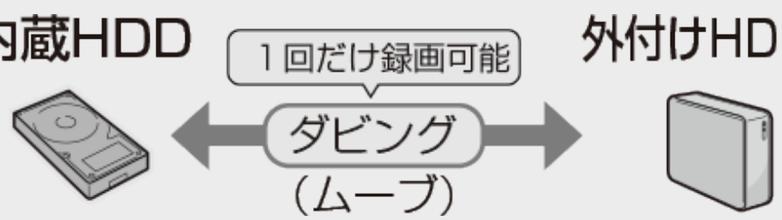
ダビング・管理

本機でできるダビング

タイトル（録画した番組）のダビング(つづき)

内蔵HDD（ハードディスク）⇔ 外付けHDD（ハードディスク）(つづき)

「1回だけ録画可能」のタイトル

	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
内蔵HDD  外付けHDD 	○	○※	5-25 5-37

※選択できる画質は「2倍」～「12倍」、「HD○○」画質です。

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

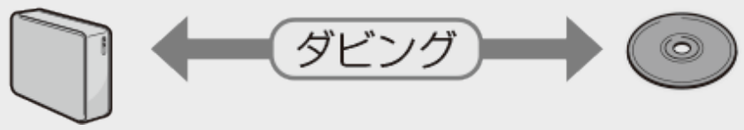
本機でできるダビング

タイトル（録画した番組）のダビング(つづき)

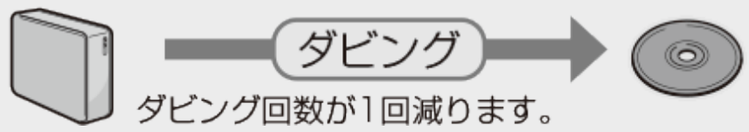
外付けHDD（ハードディスク）⇔ BD

- 外付けHDDに録画した番組をBD（ブルーレイディスク）にダビングできます。
- 「1回だけ録画可能」のタイトルは、ダビングを行うとダビング後にダビング元タイトルが消去されます。

「録画可能」のタイトル

	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
外付けHDD → BD※2 	○	○※1	5-37

「ダビング10」のタイトル

	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
外付けHDD → BD 	○	○※1	5-37

※1　選択できる画質は「2倍」～「12倍」、「HD○○」画質です。
※2　BDから外付けHDDには、録画画質変換ダビングできません。

次ページへつづく⇒

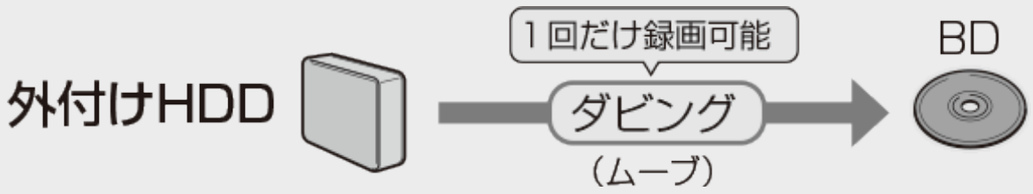
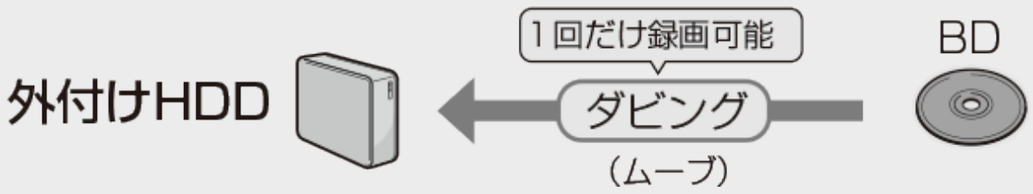
ダビング・管理

本機でできるダビング

タイトル（録画した番組）のダビング(つづき)

外付けHDD（ハードディスク）⇔ BD(つづき)

「1回だけ録画可能」のタイトル

	高速ダビング	録画画質 変換ダビング	操作のしかた （ページ）
	○	○※	5-37
	○	×	5-38

※選択できる画質は「2倍」～「12倍」、「HD○○」画質です。
※BDに録画されている4K番組はダビングできません。

次ページへつづく⇒

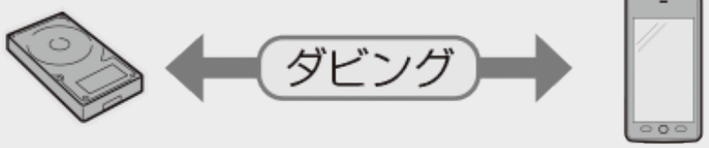
ダビング・管理

本機でできるダビング

タイトル（録画した番組）のダビング(つづき)

内蔵HDD（ハードディスク）⇔ スマートフォン

LAN接続でダビング（転送）

	高速ダビング	録画画質 変換ダビング	操作のしかた （ページ）
内蔵HDD　スマートフォン 	○	×	8-30・8-31

外付けHDD（ハードディスク）⇒ スマートフォン

LAN接続でダビング（転送）

	高速ダビング	録画画質 変換ダビング	操作のしかた （ページ）
外付けHDD　スマートフォン 	○	×	8-31

次ページへつづく⇒

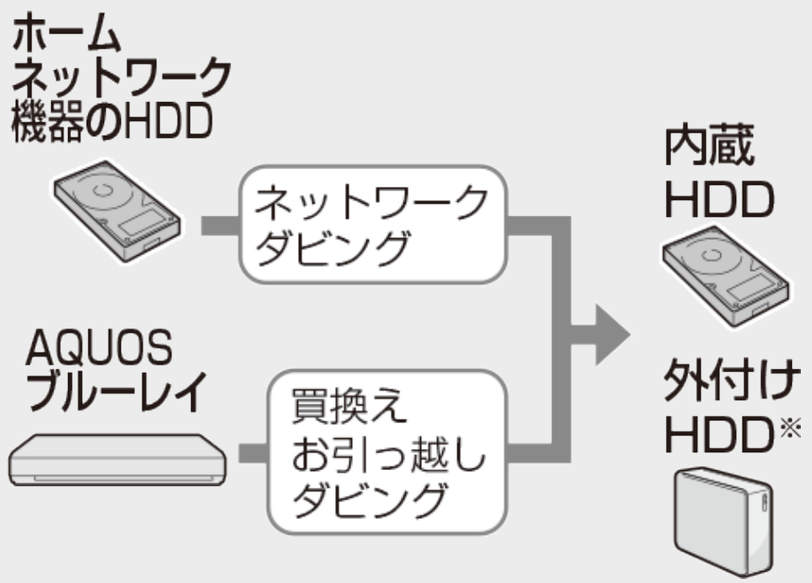
本機でできるダビング

タイトル（録画した番組）のダビング(つづき)

ホームネットワーク機器のHDD/AQUOSブルーレイ
⇒ 内蔵HDD（ハードディスク）
⇒ 外付けHDD（ハードディスク）

- 外付けHDDへ買換えお引っ越しダビング中、外付けHDDの録画、再生、ダビングはできません。

LAN接続でダビング

	高速ダビング	録画画質 変換ダビング	操作のしかた （ページ）
	○	×	5-39・5-52

※ネットワークダビングの場合、外付けHDDへは直接ダビングできません。

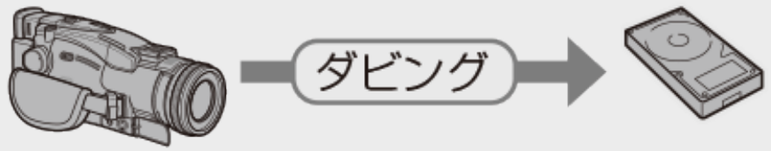
ダビング・管理

本機でできるダビング

ビデオカメラとのダビング

ビデオカメラ ⇒ 内蔵HDD

- ビデオカメラで撮影した映像を内蔵HDDにダビングできます。

	高速ダビング	録画画質 変換ダビング	操作のしかた （ページ）
ビデオカメラ　内蔵HDD 	○	×	5-59

次ページへつづく⇒

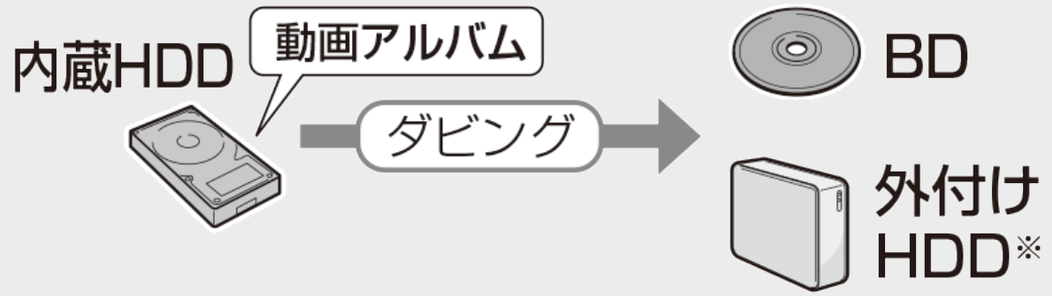
ダビング・管理

本機でできるダビング

ビデオカメラとのダビング(つづき)

ビデオカメラからHDDにダビングした映像
⇒ BD
⇒ 外付けHDD(ハードディスク)

動画アルバムの映像をダビング

	高速ダビング	録画画質 変換ダビング	操作のしかた (ページ)
	○	×	5-67

※動画アルバム内のタイトルを外付けHDDにダビングしたとき、ダビングしたタイトルは内蔵HDDから消去(ムーブ)されます。
※動画アルバム内のタイトルはDVDへのダビングはできません。

ダビング・管理

ダビングの種類と所要時間

本機には以下の2種類のダビング方法があります。

- ダビング時のディスク種類・残量により自動選別されます。

高速ダビング（きれいな画質のままダビングする）

元映像より短い時間で、画質を落とさずにダビングできます。

- HDD⇒DVDの場合は高速ダビングは行えません。
- 「1回だけ録画可能」のタイトルは、内蔵HDD→内蔵HDDの高速ダビングは行えません。

高速ダビングにかかる時間の目安

- 下記の表は、BSデジタルハイビジョン（HD）1時間番組を「BD-R Ver.1.3/6倍速」に高速ダビングしたときの時間の目安です。
- 「BD-R Ver.1.2/4倍速」、「BD-R Ver.1.3/6倍速」のディスク（LTH タイプ除く）は、記載されているダビングスピードより高速でダビングされます。ディスクによって、ダビング時間が異なりますので、記載されているダビングスピードより高速でダビングされない場合があります。

録画画質	2倍速（静音モード）時		6倍速（最高速モード）時	
	所要時間	倍速	所要時間	倍速
DR	約21分30秒	約3倍速	約8分	約7倍速
2倍	約11分	約5倍速	約4分	約15倍速
3倍	約7分30秒	約8倍速	約3分	約20倍速
5倍	約4分30秒	約13倍速	約2分	約30倍速
7倍	約3分30秒	約17倍速	約1分30秒	約40倍速
10倍／12倍	約2分30秒	約24倍速	約1分	約60倍速

HDDにHD放送（BS）1時間番組を録画し、表に記載の高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合の最速値です。

次ページへつづく⇒

ダビングの種類と所要時間

高速ダビング（きれいな画質のままダビングする）（つづき）

お知らせ

- BD-R Ver.1.3/6xを使い6倍速（最高速モード）ダビング中に別タイトルを再生するとダビングスピードが少し遅くなります。
- BD-R Ver.1.3/6xを使い6倍速（最高速モード）ダビングを行ったとき、ディスクや番組の記録状態によっては5-15ページの時間よりダビングにかかる時間が長くなる場合があります。また外付けHDDからBDへダビングしたときも、ダビングにかかる時間が長くなります。
- 録画するときに設定した録画画質、番組の長さ、ディスクの種類によって、かかる時間が異なります。

ダビング・管理

ダビングの種類と所要時間

録画画質変換ダビング（記録時間を優先してダビングする）

録画時間（録画画質）を変えてダビングできます。

- 「内蔵HDD（ハードディスク）→BD/DVD／外付けHDD」、「外付けHDD→BD」、「外付けHDD→内蔵HDD」、「内蔵HDD→内蔵HDD」のダビングの場合に行えます。
- ダビングには元の映像と同じ時間がかかります。

自動調整（画質選択に迷ったときおすすめ）

長時間のタイトルを１枚のディスクに入れたいときなどに便利な機能です。
→5−20ページ

- ディスクの残量を調べて録画画質が自動設定されます。

お知らせ

- 元の映像より高画質にはできません。
- BDから内蔵HDDへの録画画質変換ダビングは行えません。高速ダビングのみ可能です。
- 録画画質変換ダビングをしたとき、ダビング中の画面は放送画面となります。
- 動画アルバムやLAN録画したタイトルは録画画質変換ダビングできません。

次ページへつづく⇒

録画画質変換ダビング（記録時間を優先してダビングする）（つづき）

録画画質変換ダビングで選択できる録画画質

- HDDへ録画した番組の場合、録画画質により録画画質変換ダビングで選べる録画画質が異なります。（下表参照）

HDD内の番組の録画画質		録画画質変換ダビングで選択できる録画画質	
DR	⇒	BD/HDDへダビング	「DR」以外の録画画質を選べます。※
2倍、3倍、5倍、7倍、10倍、12倍、HD10～HD01	⇒		2倍～12倍、HD10～HD01の録画画質が選べます。（HDD内の番組の録画画質より高い画質は選択できません）
すべての録画画質	⇒	DVDへダビング	XP、SP、LP、MN65～MN13の録画画質が選べます。（HDD内の番組の録画画質より高い画質は選択できません。）

録画画質と録画可能時間については、13-8～13-16ページをご覧ください。
※HDDに480pの信号を録画したときは録画画質変換ダビングは行なえません。

ダビング・管理

ダビングと移動（ムーブ）について

「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10」番組のダビングには以下の点にご注意ください。

移動（ムーブ）

「1回だけ録画可能」番組と「ダビング10」番組の10回目を内蔵HDDからBD/DVD、スマートフォンへダビングすると移動（ムーブ）となり、内蔵HDDから消去されます。（外付けHDDからBD/DVDへダビングした場合も同様です）また、内蔵HDDから外付けHDDへダビングすると移動（ムーブ）となり、内蔵HDDから消去されます。

「ダビング10」番組をダビングする

内蔵HDDに録画された「ダビング10」番組は、BD/DVD、スマートフォンあるいは内蔵HDDへ10回までダビングが可能ですが、10回目は移動（ムーブ）となり、ダビング元の番組は内蔵HDDから消去されます。外付けHDDからBDへダビングした場合も同様です。
ただし、内蔵HDDから外付けHDDへダビングした場合、外付けHDDから内蔵HDDへダビングした場合はダビング回数を維持した状態で移動（ムーブ）となりダビング元から消去されます。

チャプター単位でダビングしたとき

1タイトルすべてがダビングできていなくても、1回のダビング操作で1回ずつ回数がカウントされます。（1回のダビング操作で複数のチャプターを選ぶこともできます）

- ダビングを途中で停止しても回数がカウントされます。

お知らせ

- 「1回だけ録画可能」「ダビング10」番組をDVDにダビングするには、CPRM対応ディスクをVRフォーマットしてお使いください。ダビングしたDVDはCPRM、DVD-R（VRフォーマット）に対応していないDVDプレーヤーでは再生できません。
- 「ダビング10」に対応していないデジタル放送もあります。

複数タイトルを１枚に収めてダビングする（自動調整）

複数のタイトルをダビングする場合、選択されている画質では1枚のディスクに入りきらないときは、収まるように「自動調整」が設定されます。

自動調整とは

- 選んだタイトルをダビングする際、ディスクの残時間が足りないときに、1枚のディスクに記録できる録画画質を選択しダビングする機能です。

ハイビジョン画質が変換されるとき

- 自動調整により録画画質が変換される場合は、次の14段階の中からダビングするディスクの残量に合わせて画質が最高となるものが選ばれます。
  HD10、HD09、HD08、HD07、HD06（2倍）、HD05、HD04、HD03、HD02（3倍）、HD01、5倍、7倍、10倍、12倍（HDに続く数字が大きいほうが高画質となります）
- ディスク残量によってはハイビジョン画質でなくなる場合もあります。
- ディスク残量が不足する場合や画質が大幅に低下する場合は、「⚠」マークを表示してお知らせします。

ダビング・管理

ダビングと移動（ムーブ）について

録画したタイトルを何枚かに分けてダビングする

長時間の番組や高画質で録画した番組を「内蔵HDDからBD/DVD」、「外付けHDDからBD/DVD」にダビングする場合、1枚のディスクでは入りきらないことがあります。この場合、以下の方法でタイトル（番組）を分割し、複数枚に分けてダビングしてください。

● タイトルを分割し、ダビングする（タイトルの分割のしかたについては、→4-165ページ）

● タイトルを分割せずに、分けてダビングする（チャプターの分割のしかたについては、→4-147ページ）

- 録画画質を選びたい場合は、自動調整以外の録画画質に設定してください。

ダビングができない場合

- 本機以外で録画されたディスクはダビングできない場合があります。BD（ブルーレイディスク）の場合、再生専用ディスクとして判別される場合があります。
- 「ディスク保護」（→4-122ページ）が「保護する」に設定されているディスクにはダビングできません。
- 99タイトル（または999チャプター）録画またはダビングされたDVD、あるいは200タイトル（または1層／2層ディスクに1000チャプター、3層ディスクに19600チャプター）録画またはダビングされたBDにはダビングできません。
- 1回だけ録画可能（ダビング10の番組でも残り1回）の番組はタイトル保護が設定されているとダビングできません。

● ダビング中の制限事項

- ホームネットワークでスマートフォンへダビング中のタイトルは、本機でダビングを行えません。

ダビング・管理

ダビングと移動（ムーブ）について

ダビング画質とダビングされる内容

		ダビング後の映像と音声		
		BD／HDD（ハードディスク）		
		DR（高速ダビング）	2倍／3倍／5倍 HD○○	7倍／10倍／12倍
ダビング元の映像・音声	マルチビュー放送 （ステレオ二重音声）	○	主映像 （音声は主・副両方ダビングされます）	主映像 （音声は、マルチ音声記録設定で設定されている音声）
	連動データ放送	○	○※1 ※2	○※1 ※2
	二重音声	○	○	○

※1　ダビング時に連動データを記録するか、削除するかの設定が行えます。
※2　工場出荷時は、連動データ放送を「記録しない」設定になっています。連動データ放送を記録したいときは、「ホーム」―「設定」―「録画・再生設定」の「連動データ記録設定」（→10-9ページ）を「記録する」に設定してください。

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

ダビングと移動（ムーブ）について

ダビング画質とダビングされる内容(つづき)

		ダビング後の映像と音声		
		BD／ HDD（ハードディスク）		
		DR（高速ダビング）	2倍／3倍／5倍 HD○○	7倍／10倍／12倍
ダビング元の映像・音声	5.1ch 音声	○	○	○
	字幕	○	○	○
	番組情報	○	○	○
	チャプター	○	○	○
	タイトル名※3	○	○	○
	インデックス画面	○	○	○

※3　電子番組表を使ってHDD（ハードディスク）に録画した番組をDVDにダビングしたとき、
㈱ ㈲ ㈫ Ⅱなどの表示がタイトル名の欄に表示されませんが、故障ではありません。（「＊」表示となります。）

ダビング・管理

タイトル（番組）のダビングをする



HDD	DR	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR	ビデオ	市販のBD/DVDビデオ	音楽用CD

内蔵HDDに録画した番組を、BD/DVDや内蔵／外付けHDDにダビングします。また、BD/外付けHDDから内蔵HDDにダビングすることもできます。
→5-37ページ

お知らせ

- ダビング中にディスクがいっぱいになると、ダビングが停止します。
- 今までお使いのAQUOSブルーレイに録りためた番組を、LAN経由で本機にダビングすることができます。詳しくは、「買換えお引っ越しダビング」（→5-39ページ）をご覧ください。

ヒント

- ディスクの残量を確認したいときは→3-4ページ
- ダビングを途中で止めるときは【停止／録画停止】ボタンを押します。
- ダビングしたDVDを他の機器で再生するときは、本機でファイナライズ処理（→5-83ページ）を行ってください。ファイナライズ処理を行わないと、再生できない場合があります。

ダビング・管理

タイトル（番組）のダビングをする

内蔵HDDからダビングする

[準備]BD/DVDにダビングするときは録画用のディスクを挿入します。

- 新品のディスクを挿入したとき
  ①初期化が始まります。しばらくお待ちください。
  初期化について
  →1-48ページ
  ②「ダビングする」を選んで決定します
  →5-26ページ 手順3へ
- すでに録画されているディスクのとき
  →5-26ページ 手順1へ

お知らせ

- 外付けHDDにダビングするときは、外付けHDDと本機の外付けHDD用端子をUSBケーブルで接続してください。
  →1-56ページ

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

タイトル（番組）のダビングをする



内蔵HDDからダビングする(つづき)

1. ホーム画面を表示させます
   - 【ホーム】ボタンを押す
2. 「ダビング」を選んで決定します
3. 「HDD HDD」を選んで決定します
4. ダビング先を選んで決定します

●BD/DVDにダビングするときは
⇒「放送番組」の「HDD→BD/DVD」を選んで【決定】ボタンを押す

●内蔵HDDにダビングするときは
⇒「放送番組」の「HDD→HDD」を選んで【決定】ボタンを押す

●外付けHDDにダビングするときは
⇒「放送番組」の「HDD→外付けHDD」を選んで【決定】ボタンを押す

- 「HDD→外付けHDD」は、外付けHDDが接続されていて使用可能な場合のみ表示されます。

次ページへつづく⇒



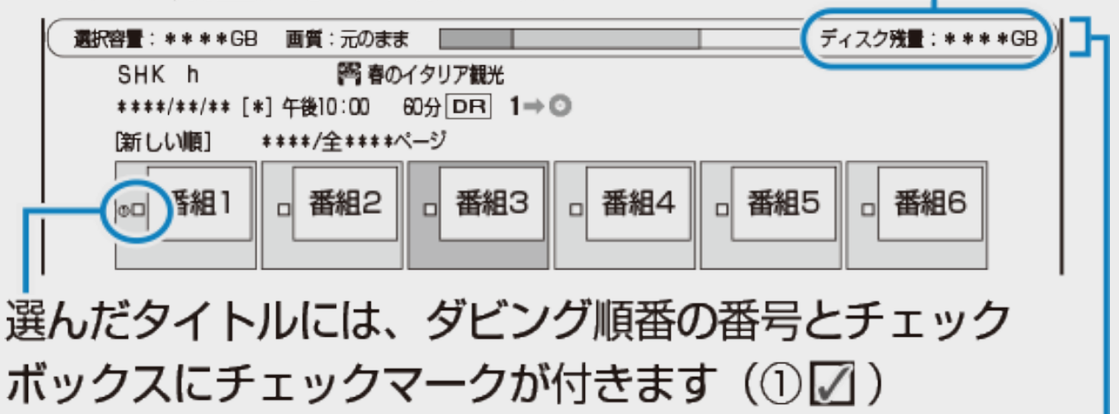
内蔵HDDからダビングする(つづき)

5. ダビングしたいタイトルを選びます

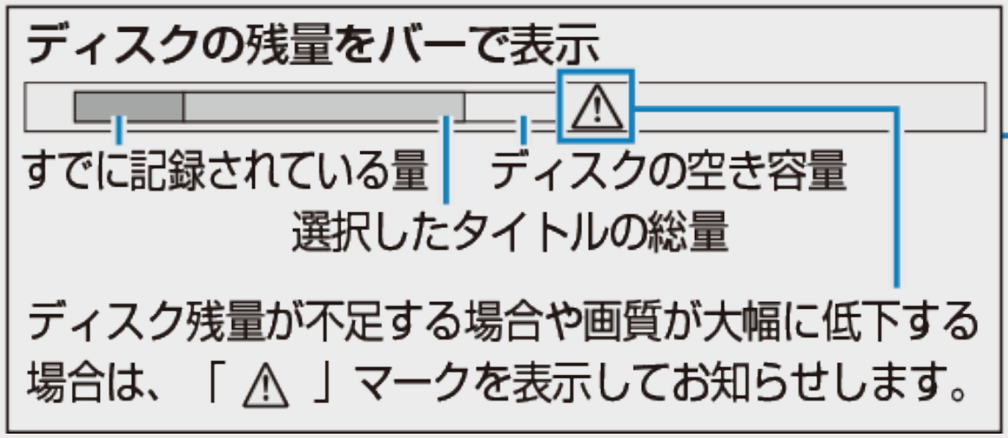
⇒タイトルの選びかたは5-28ページ

ダビング時に表示される
ディスク残量表示は目安です。

※ディスク残量（空き容量）



選んだタイトルには、ダビング順番の番号とチェックボックスにチェックマークが付きます（①☑）



次ページへつづく⇒

ダビング・管理

タイトル（番組）のダビングをする



内蔵HDDからダビングする(つづき)

お知らせ

※BDやDVD、外付けHDDなどのディスク容量は10進数（1000Byte=1KB）で計算した値を表記しておりますが、本体は2進数(1024Byte=1KB）で残量（容量）を表示しております。
そのため、画面表示ではディスク残量（容量）が少なく表示されます。

タイトル選択の操作例（HDD→BDの場合）

●1つのタイトルを選ぶとき→【上下左右カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す

●複数のタイトルを一度にダビングしたいとき

（1）【上下左右カーソル】ボタンで選び【黄】ボタン（複数選択）を押す

- これを繰り返して50タイトルまで選べます。
- 【黄】ボタンを押すごとにダビング選択⇔選択解除となります。
- 選んだ順にダビングされますが、録画リストの表示は録画日の順番となります。ダビングした順に表示させたい場合は録画リストの並べ換えで「ディスクへの録画順」を選びます。

（2）選び終わったら【決定】ボタンを押す

ヒント

- チャプターを表示しチャプター単位でダビングしたいとき
- グループ/検索画面からダビングしたいとき
→5-29ページ

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

タイトル（番組）のダビングをする



内蔵HDDからダビングする(つづき)

●チャプターを選ぶとき
(1)【上下左右カーソル】ボタンで選び【赤】ボタン（表示方法）を押す
(2)「チャプター単位」を選んで【決定】ボタンを押す

- 同一タイトル内のチャプターのみ選べます。
- ダビング10の番組のチャプターをダビングすると、タイトル全体のダビング回数が1回減ります。

●予約／ジャンル／フォルダー／キーワードのリストから選ぶとき
(1)【検索／チャプターマーク】ボタンを押す
(2)リストを選んで【決定】ボタンを押す



(3)ダビングしたいタイトルを選んで【決定】ボタンを押す

- 全タイトルを選ぶときは【青】ボタン（全タイトル選択）を押します。
- もう一度押すと、全タイトル選択が解除されます。
- グループ内のタイトルが50を超えるときは古い順の先頭から50タイトルが選択されます。

次ページへつづく⇒



内蔵HDDからダビングする(つづき)

6. 「すぐにダビング」を選んで決定します

●ダビングの種類や画質を選びたいとき（詳細設定）→5-31ページ
⇒ダビングが始まり、終了すると自動停止します。

- ダビング中は「DUB」ランプが点灯します。また、画面に進捗度合いが表示されます。
- 表示されるメッセージはダビングされる状態によって変わります。

●そのままの画質でダビングできないとき⇒「自動調整」の確認画面が表示されます。

- 「連動データを残して実行」あるいは「連動データを削除して実行」を選ぶとダビング開始画面になります。連動データを削除するとより高画質でダビングできます。（「連動データを削除して実行」は表示されない場合もあります）
- 「タイトルを選び直す」を選ぶと録画リストに戻ります。

●ダビング予約したいとき→5-53ページ

お知らせ

- 内蔵HDDのタイトルをダビングする場合、ダビングするタイトルの内容をすばやく確認したいときは、【（ポップアップ）メニュー】ボタンを押して見どころ一覧を表示させます。ここでの見どころ一覧では、シーンの選択やシーン間隔の変更はできません。見どころ一覧については、4-97ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

内蔵HDDからダビングする(つづき)

ダビングの種類や画質を選ぶ場合

「詳細設定」でダビングの種類や画質を手動で設定できます。

ご注意

- 録画画質DRで録画したデジタル標準（SD）放送を「２倍」～「12倍」または「HD〇〇」でダビングしたときは、ダビングしたタイトルのデータ量が大きくなる場合があり、録画可能時間は、ダビングしたタイトルの時間以上に減る場合があります。
- 「2倍」～「12倍」、「HD〇〇」で連動データを記録したときは、連動データのデータ量によっては表示される残時間までダビングできない場合があります。残時間に余裕を持ってダビングしてください。

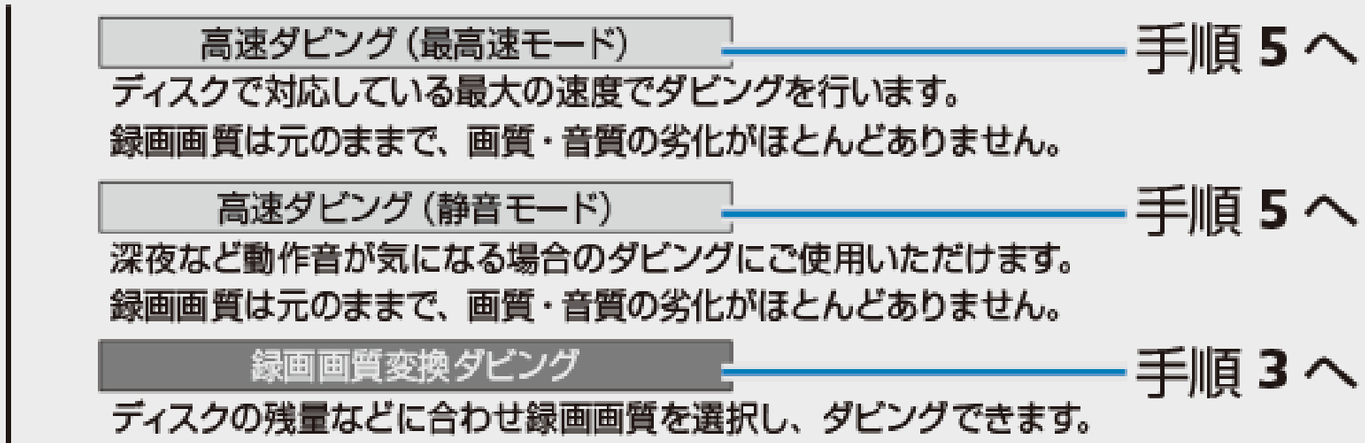
次ページへつづく⇒

内蔵HDDからダビングする(つづき)

ダビングの種類や画質を選ぶ場合(つづき)

1. 5-30ページの手順6で、「詳細設定」を選んで決定します
   - HDDに「1回だけ録画可能」のタイトルをダビングする場合は、手順3に進みます。
     確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. ダビングの種類を選んで決定します



- 高速ダビングはDVDが挿入されている場合選べません。
- HDDにダビングする場合、「高速ダビング（静音モード）」は選べません。
- 「高速ダビング（静音モード）」でもダビング音が気になる場合、番組と一緒に記録された連動データを削除したい場合は「録画画質変換ダビング」を選んでください。

次ページへつづく⇒



内蔵HDDからダビングする(つづき)

ダビングの種類や画質を選ぶ場合(つづき)

3. 画質を選んで決定します





- DVDにダビングするときに選べるのは「XP」「SP」「LP」です。
- ハイビジョン画質を選んだときは連動データを削除するかどうか選びます。
- 「する」または「しない」を選び【決定】ボタンを押します。

4. 「設定」で【決定】ボタンを押します

次ページへつづく⇒

内蔵HDDからダビングする(つづき)

ダビングの種類や画質を選ぶ場合(つづき)

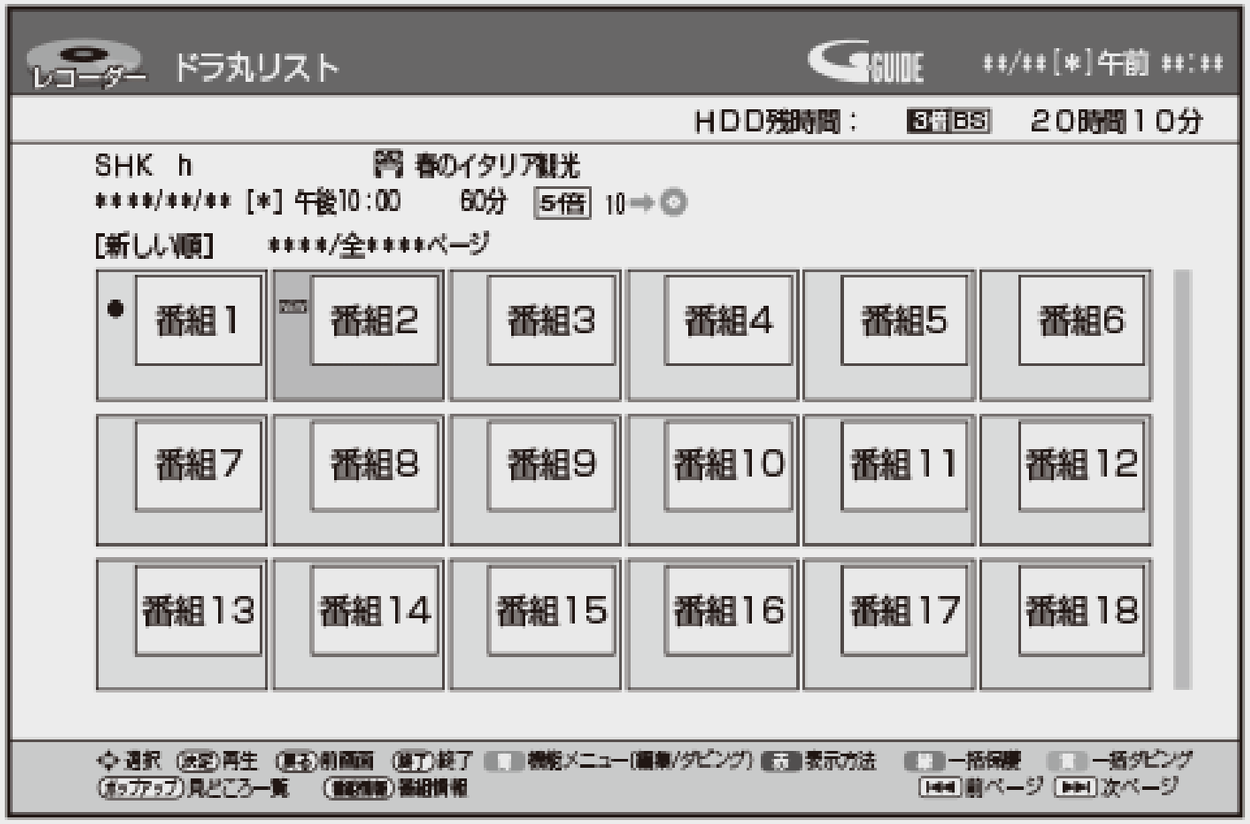
5. 「すぐにダビング」を選んで決定します
   ⇒ ダビングが始まり、終了すると自動停止します。
   - 途中で止めたいときは【停止／録画停止】ボタンを押します。
   - ディスクの残時間が不足しているときはお知らせ画面が表示されます。「する」を選ぶと残時間がなくなるまでダビングします。

ダビング・管理

タイトル（番組）のダビングをする

ドラ丸リストからダビングする

1. 【ドラ丸】ボタンを押します
2. ダビングしたい番組フォルダーを選んで決定します



3. 【黄】ボタン（一括ダビング）を押します

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

タイトル（番組）のダビングをする

ドラ丸リストからダビングする(つづき)

4. ダビング先を選択します

5. ダビングリスト画面が表示されます
   - 番組フォルダー内のタイトルが全てダビングタイトルとして選択されます。

●ダビングするタイトルを選択し直すときは
⇒ ダビングを解除したいタイトルを選び【黄】ボタンを押す

- 押すたびに、選択↔解除となります。

6. 決定します

7. 「すぐにダビング」を選び決定します
   ⇒ ダビングが始まり、終了すると自動停止します。
   - 詳細設定については5-31ページをご覧ください。
   - ダビング予約については5-53ページをご覧ください。

ダビング・管理

タイトル（番組）のダビングをする

外付けHDDからダビングする

お知らせ

外付けHDDからBDへのダビングについて

- SeeQVault対応外付けHDDを本機に接続し、ダビングしたときは、内蔵HDDへ高速ダビングのみ行えます。
- SeeQVault対応外付けHDDからBDへのダビングは行えません。

1. 5-26ページ「内蔵HDDからダビングする」の手順1～2を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. 「HDD外付けHDD」を選んで決定します
   - 「外付けHDD」は、登録済みの外付けHDDが接続されていて使用可能な場合のみ表示されます。

3. ダビング先を選びます
   - 内蔵HDDにダビングするときは⇒
     「外付けHDD→HDD」を選んで【決定】ボタンを押す
   - BDにダビングするときは⇒
     「外付けHDD→BD」を選んで【決定】ボタンを押す

4. 5-27ページの手順5からを行いダビングします

ダビング・管理

タイトル（番組）のダビングをする

BDから内蔵HDD、外付けHDDへダビングする

ご注意

- シャープ製以外のレコーダーで録画したBDは、ダビングできない場合があります。
- 録画制限のある番組をBDから内蔵HDDにダビングしたとき、ダビングしたタイトルはBDから消去（ムーブ）されます。
- 他機で録画したBDに著作権保護された映像が含まれているときは、ダビングできない場合があります。
- SeeQVault対応外付けHDDからBDへのダビングは行えません。

1. ダビングしたいタイトルが入ったBDを挿入します

2. 5-26ページ「内蔵HDDからダビングする」の手順1～2を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

3. ダビングの種類を選択します

4. 5-27ページの手順5からを行いダビングします
   - BD→HDD/外付けHDDの場合、「1回だけ録画可能」のタイトルのダビングはムーブとなり、BDから番組は消去されます。BD-Rからダビングしたときは、BD-Rのタイトルは見えなくなるだけで、BD-Rの空き容量は増えません。
   - BD→HDD/外付けHDDの場合、高速ダビングのみ可能です。（詳細設定は行えません）
   - 自動調整機能は働きません。HDDの容量が不足してダビングできないときは、不要なタイトルを消去してください。

買換えお引っ越しダビング

AQUOSブルーレイからダビングする

- 既にお持ちのAQUOSブルーレイに保存されている番組や動画アルバムを、LAN接続して（ネットワークを経由して）本機の内蔵HDD、外付けHDDへダビングできます。（買換えお引っ越しダビング）

本機とダビング元の機器をLANケーブルで接続する



※LANケーブルは、カテゴリー5以上のものをご使用ください。ストレートタイプ/クロスタイプどちらでもご使用できます。

- 本機とダビング元の機器をネットワークに接続しているときは「ダビング操作をする」（→5-46ページ）でダビング操作を行なってください。
- 本機のネットワーク接続については→8-15ページをご覧ください。
- ダビング元対応のAQUOSブルーレイについては
  http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/m_dubbing.html をご覧ください。

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

買換えお引っ越しダビング

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

ダビング元の機器（AQUOSブルーレイ）側のLAN設定

- 以下の設定は一例です。お使いの機器によっては操作が異なる場合がありますので、詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

1. 【ホーム】ボタンを押し、ホームメニューを表示させます

2. ①「設定」を選んで決定します
   ②「通信機能設定」―「ホームネットワーク設定」を選んで決定します

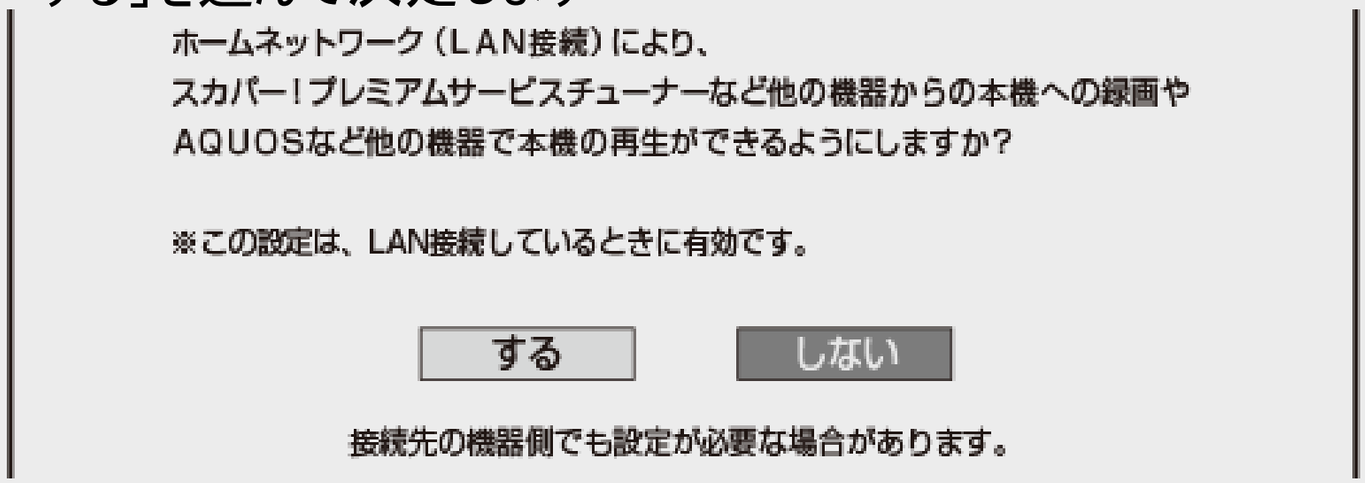


次ページへつづく⇒

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

ダビング元の機器(AQUOSブルーレイ)側のLAN設定(つづき)

3. 「する」を選んで決定します



4. ダビング元の機器が「無線」に設定されている場合は「有線」に設定します

5. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

買換えお引っ越しダビング

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

本機のLAN設定

1. 【ホーム】ボタンを押し、ホームメニューを表示させます

2. ①「 設定」を選んで決定します
   ②「 かんたん設定」―「ネットワーク設定」を選んで決定します

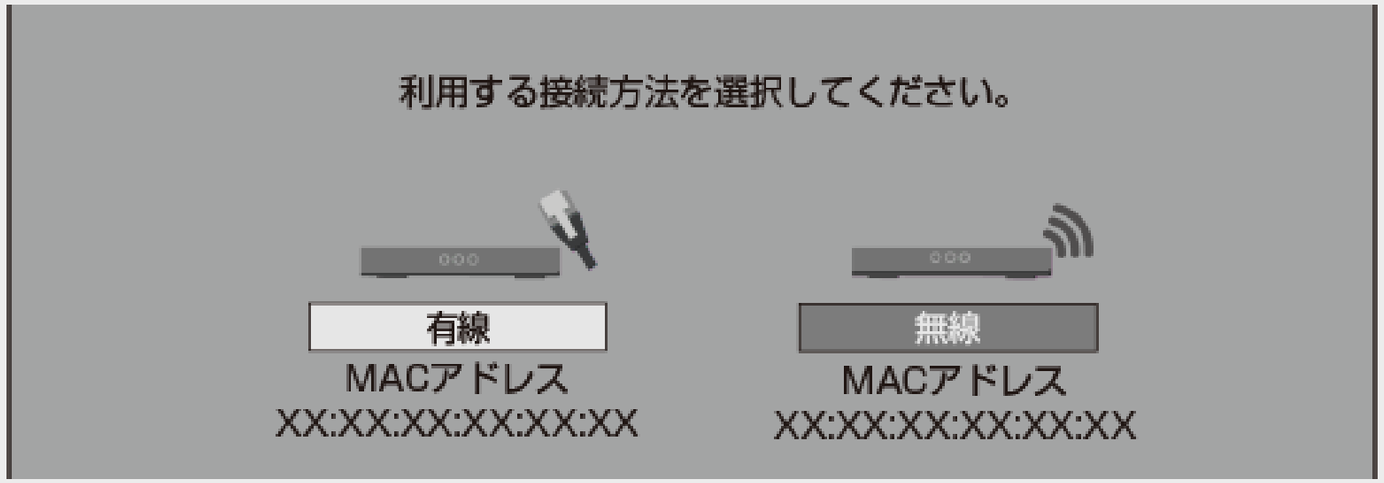


次ページへつづく⇒

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

本機のLAN設定(つづき)

3.「有線」を選んで決定します



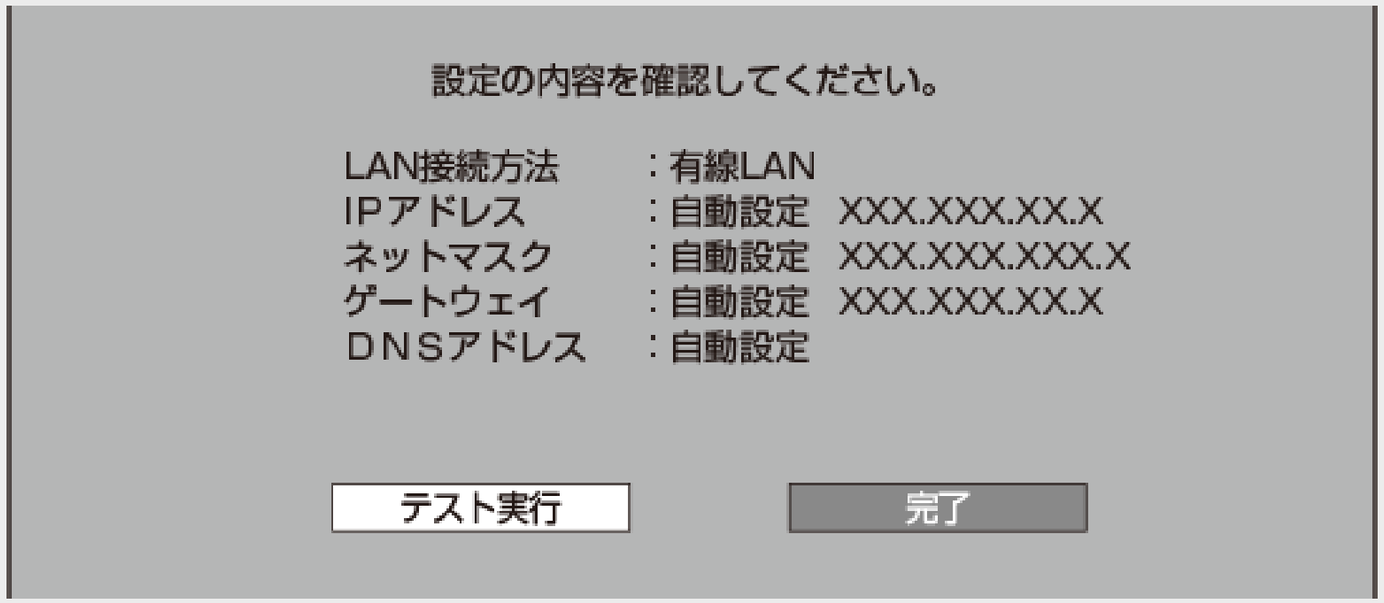
4.「設定する」を選んで決定します

次ページへつづく⇒

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

本機のLAN設定(つづき)

5. ネットワーク設定完了後に「完了」を選んで決定します



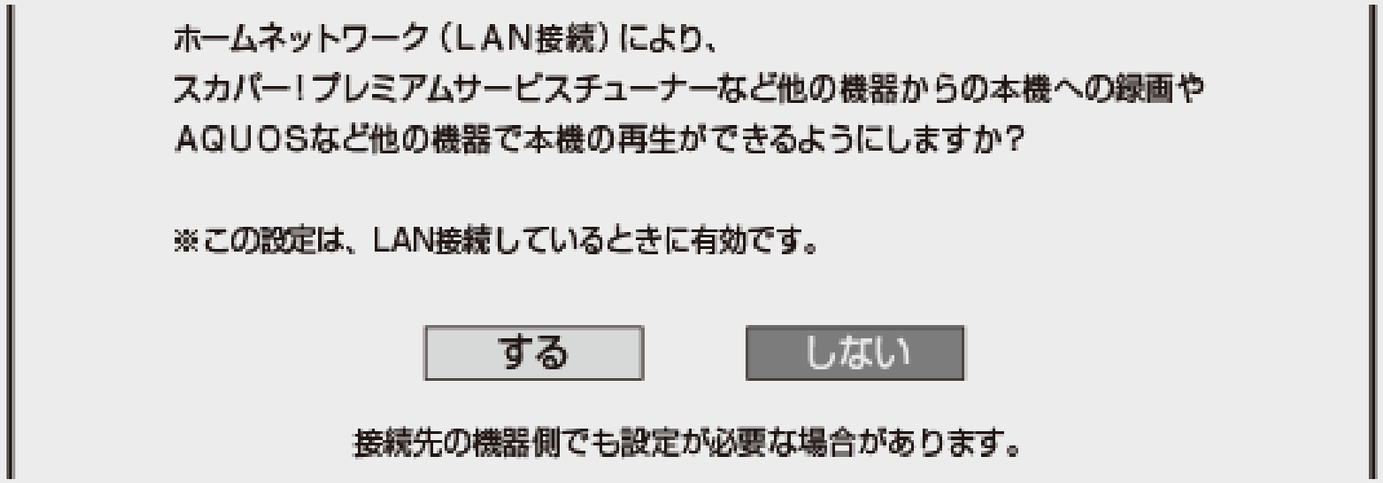
- 「テスト実行」を行なう必要はありません。
（「テスト実行」を行なったときは、エラー表示されますが問題はありません）

次ページへつづく⇒

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

本機のLAN設定(つづき)

6. ホームネットワーク「する」を選んで決定します



7. 「確認」で決定します

8. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

買換えお引っ越しダビング

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

ダビング操作をする

1. 【ホーム】ボタンを押し、ホームメニューを表示させます
2. 「 ダビング」―「 ネットワーク機器」を選んで決定します



外付けHDDが接続されている場合は、ダビング先を選択することができます。
ネットワーク機器　⇒　HDD
ネットワーク機器　⇒　外付けHDD

3. ネットワークに接続されている機器（サーバー）が検出されます。
   ダビング元の機器を選んで決定します。
4. ダビング元の機器のフォルダーが表示されます
   決定するとダビングしたいリストフォルダーが表示されます。リストフォルダーを選んで決定します。

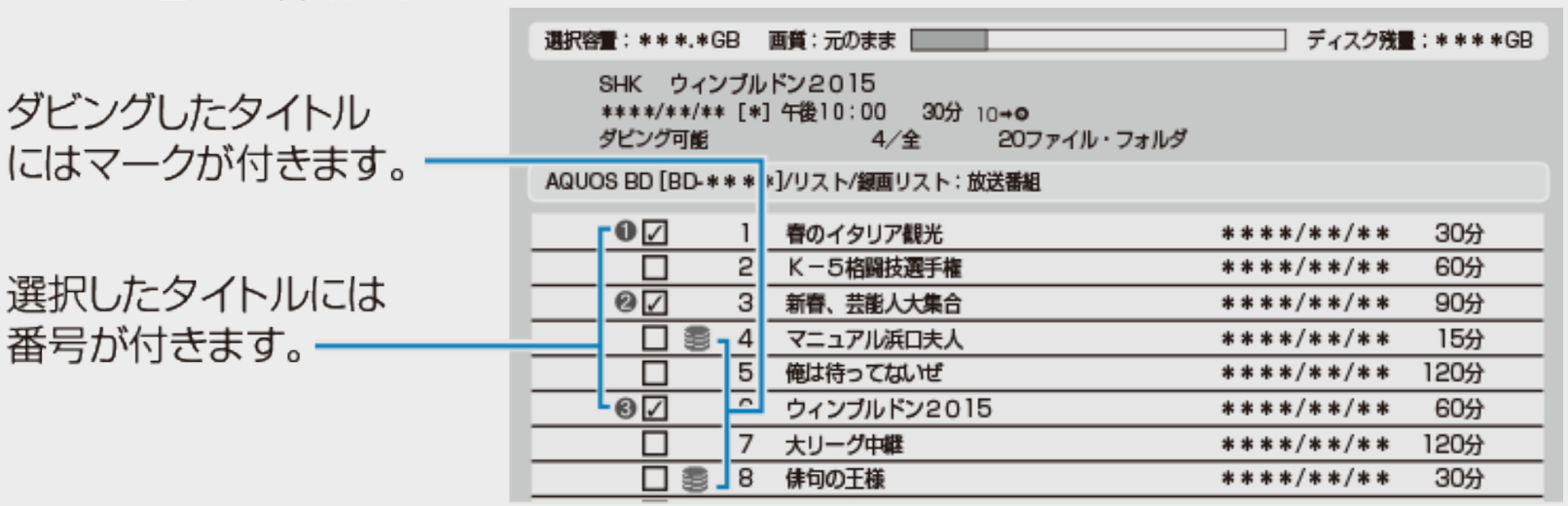
次ページへつづく⇒

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

ダビング操作をする(つづき)

5. ダビングしたいタイトルを選びます

タイトル選択の操作例



- 複数のタイトルを選択するときは、【黄】ボタンを押してチェックボックスにチェックマークを付けます（☑）。
- 【緑】ボタン（まとめて選択）を押すと、1度に100タイトルまで選択できます。
- 選択を解除するときは、そのタイトルを選び【黄】ボタンを押します。
- すべての選択を解除するときは、【赤】ボタンを押します。
- 【戻る】ボタンを押すと一階層上に移動します。選択したタイトルがある場合は、階層間を移動できません。

次ページへつづく⇒

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

ダビング操作をする(つづき)

6. 【決定】ボタンを押してダビングを実行します
7. 「する」を選び決定します
    - ダビング中はLANランプとDUBランプが点灯します。

ヒント

- ダビング予約には対応していません。
- ダビング元の機器やタイトルによっては、ダビングできない場合があります。
- つぎのタイトルはダビングできません。
    –タイトル保護が設定されている1回だけ録画可能のタイトル
    –視聴年齢制限のあるタイトル
    –写真アルバム内の写真
    –記録時間が短いタイトルや正常に録画されなかったタイトル

お知らせ

- 番組によりダビングまたはムーブ(移動)になります。
- コピー禁止の番組はダビングできません。
- アンテナ線を接続し、初期設定を行なってからダビング操作をしてください。
  本機の日時設定がされていないとダビング操作できません。
- お引っ越しダビングしたタイトルは結合できません。タイトル結合したい場合は、あらかじめダビング元の機器でタイトル結合してからダビング操作してください。

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

本機をネットワーク(LAN)接続する

- ダビング元の機器がLAN接続されているときは、本機もLAN接続することで買換えお引っ越しダビングが行なえます。LAN接続については、取扱説明書(付属品)17～18ページをご確認ください。

1. 【ホーム】ボタンを押し、ホームメニューを表示させます

2. ①「設定」を選んで決定します
   ②「かんたん設定」―「ネットワーク設定」を選んで決定します

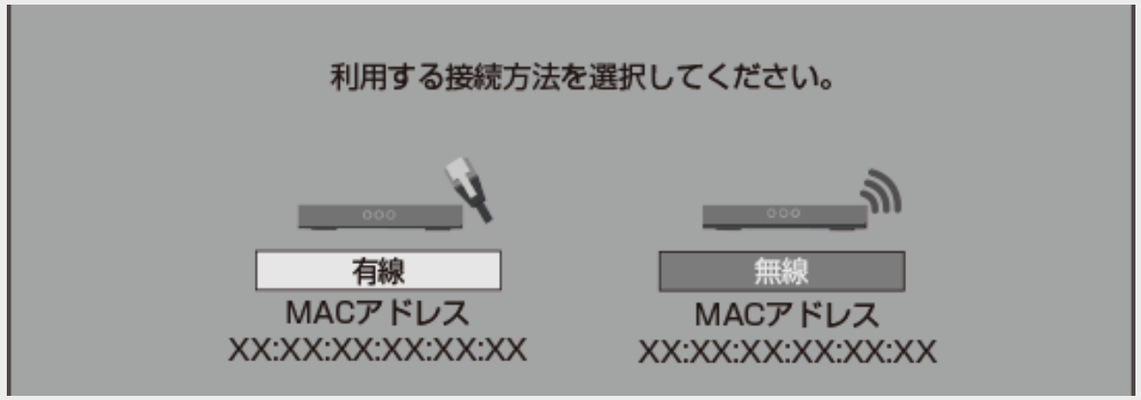


次ページへつづく⇒

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

本機をネットワーク(LAN)接続する(つづき)

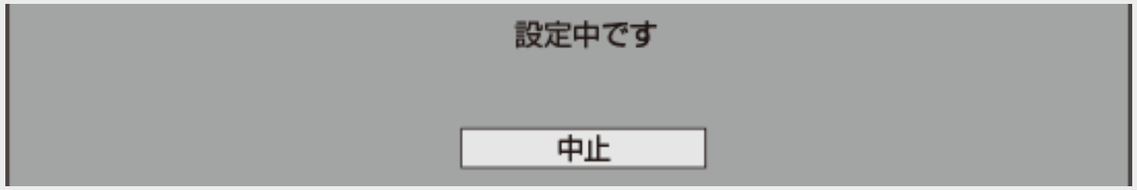
3. 「有線」または「無線」を選んで決定します



ダビング動作を安定させるため、有線接続をおすすめします。

4. 有線接続のときは「設定する」、無線接続のときは「簡単自動設定」または「詳細設定」を選んで決定します

無線接続で「簡単自動設定」を実行すると、アクセスポイントとの接続を自動で行います。利用するアクセスポイントのWPSボタンを5秒以上押してください。



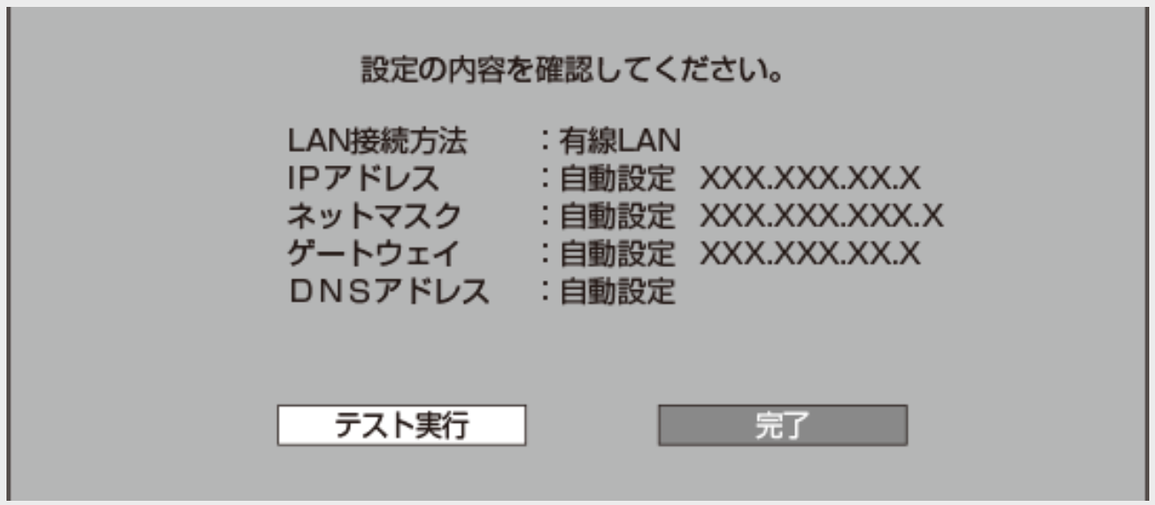
設定中は、「設定中です」の表示が点滅します。

次ページへつづく⇒

AQUOSブルーレイからダビングする(つづき)

本機をネットワーク(LAN)接続する(つづき)

5. LANに接続するためのテストをします。
   設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します



   - 「完了」を選ぶと設定は保存されますが、テストは行われません。
   - LAN設定の内容を確認(再設定)するときは手順5～6を行い再設定します。
   - テスト完了後は手順6へすすみます。
6. ホームネットワークを設定します。「する」または「しない」を選んで決定します
7. 「確認」で決定します
   ホーム画面に戻ります。
   買換えお引っ越しダビング操作は5-46～5-48ページをご覧ください。

ネットワーク機器からネットワークを使って内蔵HDDへダビングする

AQUOSに接続した外付けHDDや、スカパー! プレミアムサービスチューナーからネットワークを使って内蔵HDDへダビングできます。
動作確認済みのホームネットワーク対応機器については8−15ページに記載のホームページでご確認ください。

お知らせ

- 「スカパー! プレミアムサービスLink」(ダビング)は、録画したスカパー! プレミアムサービスの番組を、ホームネットワーク(家庭内LAN)内に接続された機器間でコピーまたはムーブできるネットワークダビングの機能です。スカパー! プレミアムサービス対応のDVR、USBハードディスク録画対応チューナーまたはダビング送信に対応した機器と「スカパー! プレミアムサービスLink」(ダビング)に対応した機器をネットワーク接続することで、機器間で番組をムーブ/コピーすることが可能です。
  ※ ラジオ番組は対応しておりません。

1. ダビング元の機器をLANに接続します
2. 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします→8−17ページ
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
3. ダビング元の機器のネットワーク設定を行います
   - 本機が、ダビング元の機器のダビング先になるように設定してください。設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
4. 本機の電源を「入」にし、ダビング元の機器で、本機をダビング先にしたダビング操作をします
   - ダビング操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
   - ダビング中はLANランプとDUBランプが点灯します。

ダビング・管理

ダビングを予約する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

時刻を予約して、夜間など本機を使わない時間にダビングすることができます。

ご注意

- ダビング予約ができるのは1件だけです。
- ファミリンク（HDMI）予約をお使いの場合は、ファミリンク予約録画の終了から、5分以上遅らせて「ダビング開始時刻」を設定してください。
- 録画予約とダビング予約が重複しているときは、メッセージが表示されます。
  重複している録画予約を取り消すか、ダビング予約の時間を変えて、再度設定してください。
- 130件（件数にはドラ丸、電子番組表予約、日時指定予約、ダビング予約、休止中の予約が含まれます）を超えての予約はできません。予約を取り消してください。（→3-64ページ）
- ダビング予約待機中は、ダビング元の消去や初期化、編集操作ができません。
- 予約録画の「重ね録り」を設定したタイトルをダビング予約する場合、ダビング予約の待機中に上書き番組が録画されると、正しくダビングできない場合があります。

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

ダビングを予約する

お知らせ

- ダビング予約を解除したいときは、予約リストから取り消してください。
- ダビング予約が完了するまで、他のダビングはできません。
- ダビング予約では「高速ダビング」を選んでもダビング元と同じ時間分の予約時間が必要です。
- 外付けHDDからBDへのダビング予約は設定できません。
- 予約録画の「重ね録り」を設定したタイトルをダビング予約する場合、ダビング予約の待機中に上書き番組が録画されると、正しくダビングできない場合があります。

メモ

- ダビング予約ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」をご覧ください。
（→12-41ページ）

次ページへつづく⇒

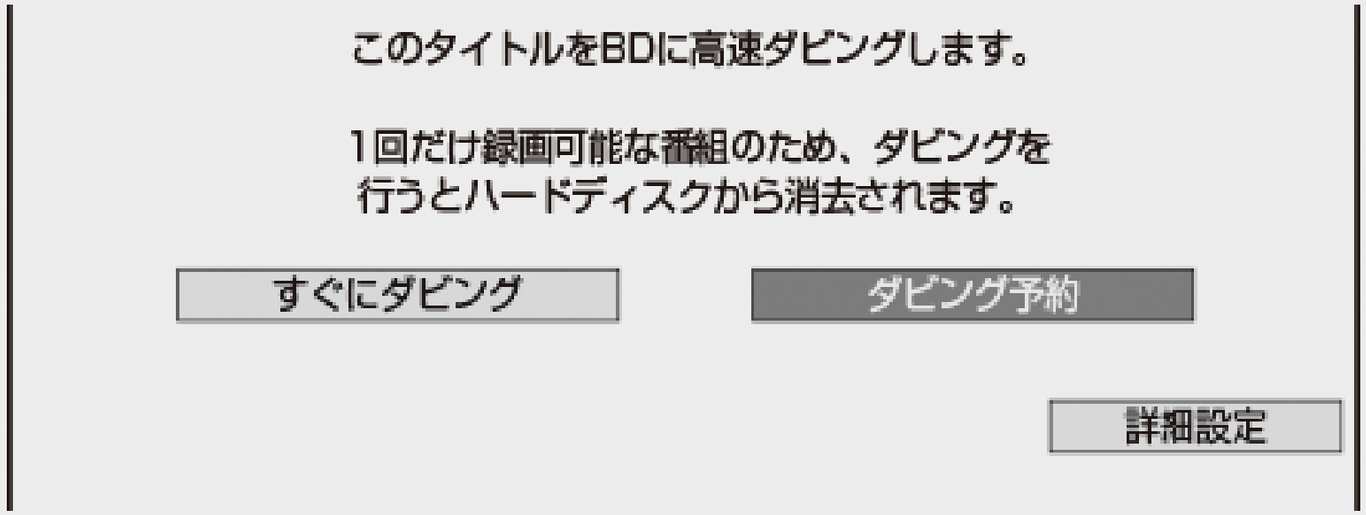
ダビング・管理

ダビングを予約する

1. ダビング操作を行います

   - HDD→BD/DVD/HDD/外付けHDD（5-25ページ）
   - 外付けHDD→HDD/BD（5-37ページ）
   - BD→HDD/外付けHDD（5-38ページ）
     確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. 「ダビング予約」を選んで決定します

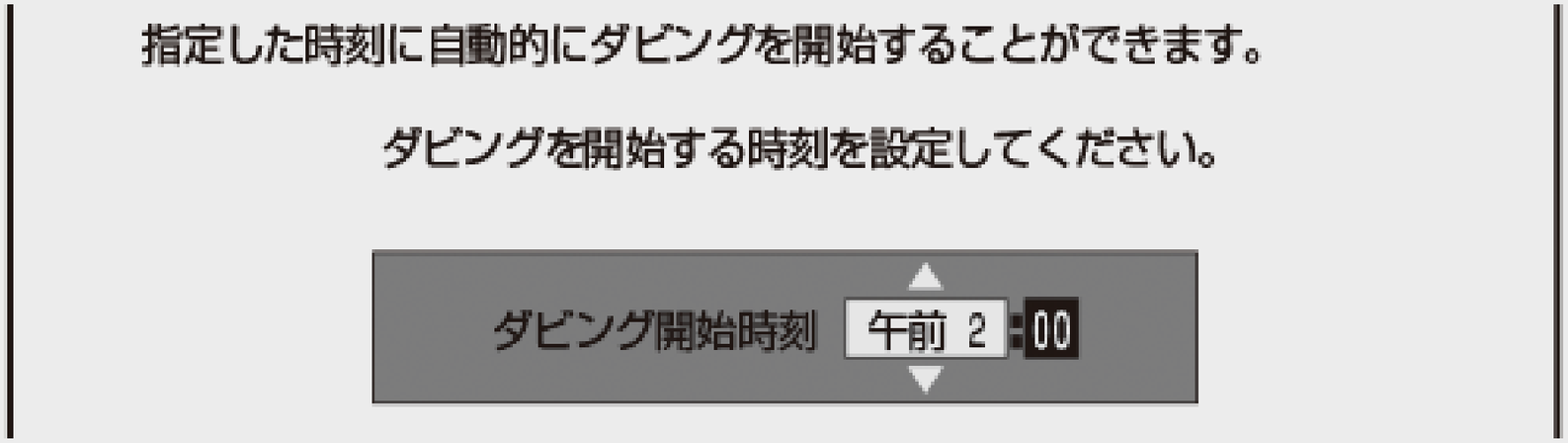


次ページへつづく⇒

ダビング・管理

ダビングを予約する

3. ダビング開始時刻（時・分）を選んで決定します



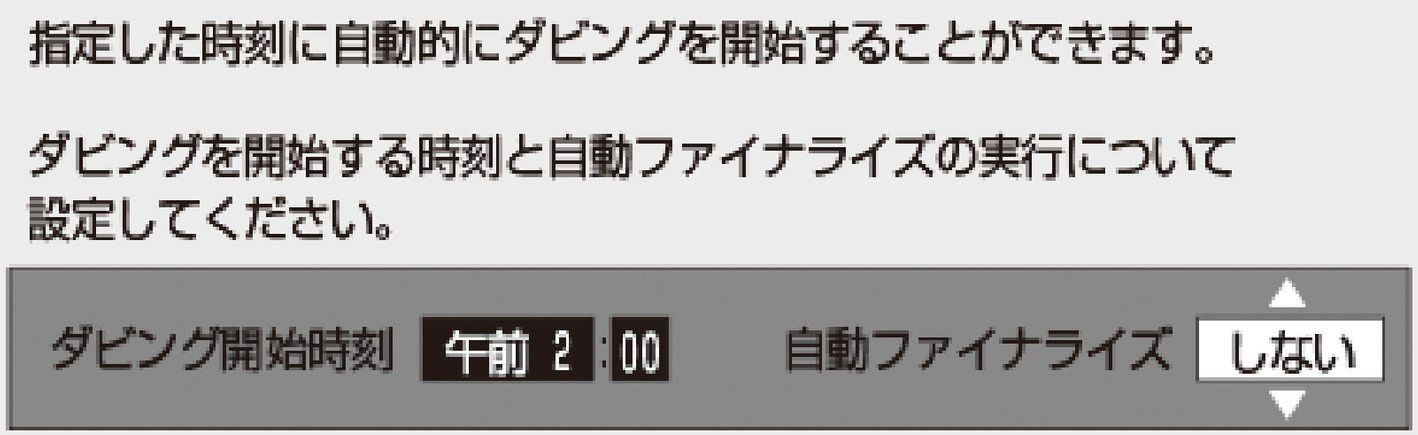
- 現在時刻から24時間以内の時刻が設定できます。

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

ダビングを予約する

●DVDにダビングするとき⇒自動ファイナライズするかどうか選びます。



- 自動ファイナライズを「する／しない」を選んで決定してください。ファイナライズとは本機でダビングしたDVDを他機器で再生するのに必要な処理です。ファイナライズはダビング終了後に自動的に行われます。（数分～約1時間以上：ディスクにより異なります。2層ディスクの場合はさらに時間を要します。）「する」に設定すると、ダビング元の録画時間とファイナライズのための時間の合計がダビング予約時間となります。

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

ダビングを予約する

4. 「設定」を選んで決定します
    - 【戻る】ボタンを押すと前画面に戻ります。

5. 予約を確認します

    確認で【決定】ボタンを押す

    ⇒ ダビング予約が完了しました。
    ●ダビング終了後に電源を切りたい場合は⇒ 予約完了後あるいはダビング開始後に電源ボタンを押します。
    - ダビング中に電源ボタンを押してもダビングが続行し、終了後自動で電源が切れます。

お知らせ

- 電源を切っても、予約時間になるとダビングが始まります。
- ダビング開始時刻を変更したいときは、予約リストから変更してください。
  （→3-64ページ）

ダビング・管理

AVCHD方式デジタルカメラからのダビング

お知らせ

- このダビングでは高速ダビングができます。
- このダビングでは録画画質変換ダビングはできません。

AVCHD方式デジタルカメラからHDDへのダビング

HDD	H.264	2倍/3倍	5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE	BD-R	DVD-RW/-R VR ビデオ	市販のBD/DVDビデオ	音楽用CD

AVCHD方式のデジタルカメラと本機をUSBケーブルで接続すると、デジタルビデオカメラに保存されている映像（動画）を内蔵HDD（ハードディスク）の「動画アルバム」にダビングすることができます。デジタルビデオカメラで撮影した写真（静止画）を内蔵HDD（ハードディスク）の「写真アルバム」に取り込むことができます。

ご注意

- 直接BDにダビングすることはできません。内蔵HDDにダビングしてからBDへダビングしてください。
- DVDにダビングすることはできません。
- 動画データ取り込み中、録画画質「DR」以外の予約録画が開始されたとき、Wi-Fi転送用動画を同時に記録する予約録画が開始されたときは取り込みが中断されます。
- 写真（静止画）は、外付けHDD、BDに取り込めません。

次ページへつづく⇒

AVCHD方式デジタルカメラからのダビング

AVCHD方式デジタルカメラからHDDへのダビング(つづき)

お知らせ

- 接続動作の確認を行ったビデオカメラの機種については、シャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/data/intro/bd_info01.html）でご確認ください。
- 接続動作の確認を行ったUSBカードリーダーの機種については、シャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/usb_cardreader.html）でご確認ください。
- 取り込める動画フォーマットはAVCHD方式です。MPEG2やHDV方式の動画はUSB接続で取り込めません。
- 取り込める静止画フォーマットはJPEGです。

メモ

接続しても取り込み画面にならない場合は以下をお確かめの上、操作し直してください。

- ビデオカメラの電源は入っていますか？
- カメラをUSB接続モードに切り換えていますか？
- USBケーブルを抜き差ししませんでしたか？

次ページへつづく⇒

AVCHD方式デジタルカメラからHDDへのダビング(つづき)

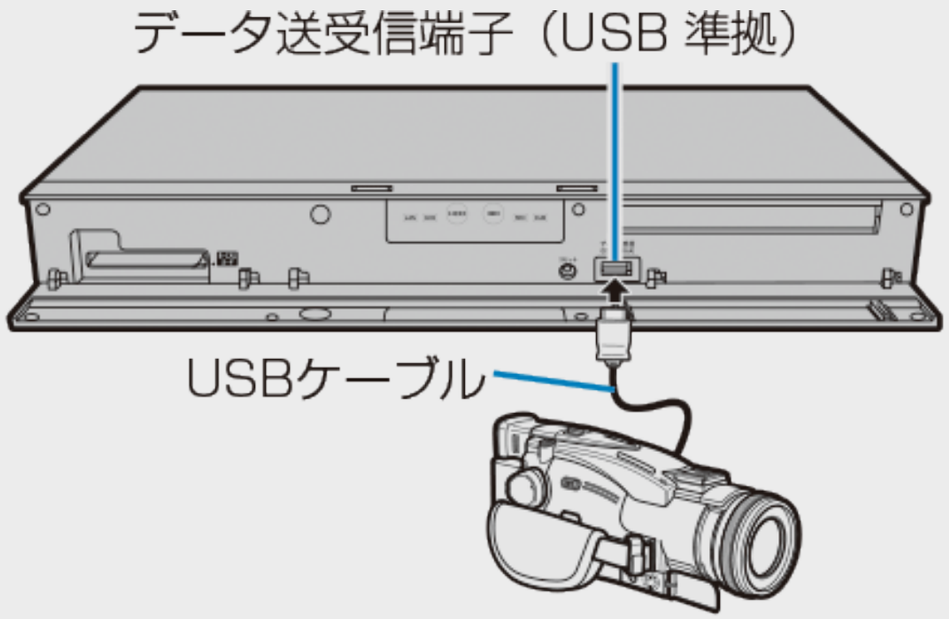
取りこみ可能なファイル/不可能なファイル

- FAT/FAT32/exFAT形式で記録された映像の取り込みに対応しています。
- AVCHD Ver2.0対応デジタルビデオカメラの“プログレッシブ映像”の取り込みに対応しています。
- 動作確認済みAVCHD対応ビデオカメラはシャープ サポート・お問い合わせページでご確認ください。
  http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/data/intro/bd_info01.html

次ページへつづく⇒

AVCHD方式デジタルカメラからHDDへのダビング(つづき)

1. デジタルビデオカメラと本機のデータ送受信端子をUSBケーブルで接続します



※ USBケーブルは、デジタルビデオカメラに付属のケーブルをお使いください。

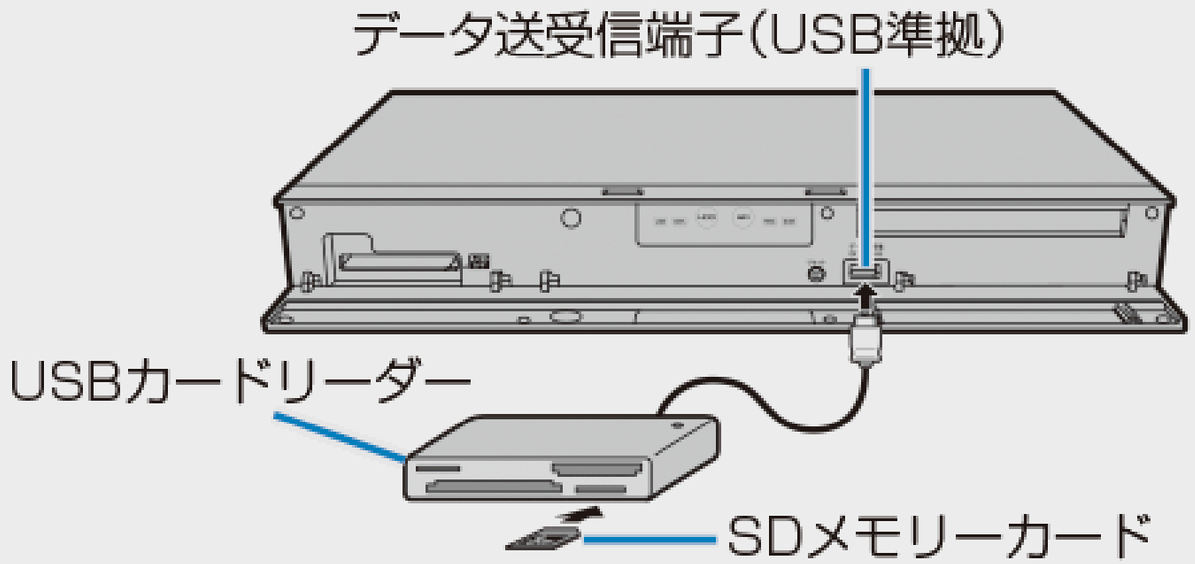
次ページへつづく⇒

AVCHD方式デジタルカメラからのダビング

AVCHD方式デジタルカメラからHDDへのダビング(つづき)

●USBカードリーダーを使ってダビングする場合

(1) SDメモリーカードをUSBカードリーダーに装着し、本機のデータ送受信端子にUSBケーブルで接続します。



(2) 5-65ページ「カメラの動画を取り込む」の手順1に進みます。

次ページへつづく⇒

AVCHD方式デジタルカメラからHDDへのダビング(つづき)

2. デジタルビデオカメラの電源を入れます

3. デジタルビデオカメラをUSBモードに切り換えます
   - 切り換え方法は、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

⇒しばらくすると、自動的に取り込み画面が表示されます。
→5-65ページ「カメラの動画を取り込む」手順1

- すでに取り込んでいて再度取り込むとき

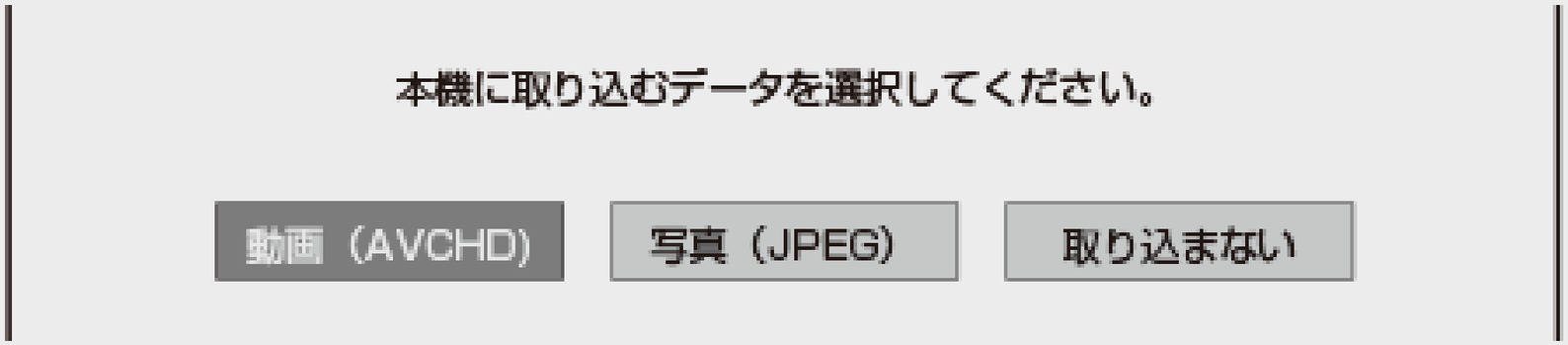
【ホーム】ボタンを押して【上下左右カーソル】ボタンで「ダビング」ー
「デジタルカメラ(USB接続)」を選んで【決定】ボタンを押します。

次ページへつづく⇒

AVCHD方式デジタルカメラからHDDへのダビング(つづき)

カメラの動画を取り込む

1. 「動画(AVCHD)」を選んで決定します



- 写真(静止画)を内蔵HDD(ハードディスク)に取り込むときは、「写真(JPEG)」を選んでください。(→7-3ページ)

次ページへつづく⇒

AVCHD方式デジタルカメラからHDDへのダビング(つづき)

カメラの動画を取り込む(つづき)

2. 取り込みたい映像を選んで決定します
   - デジタルカメラに記録されている映像が古い順に一覧表示されます。
   - 「録画日」「録画開始時刻」が映像の名前となります。

   ●映像の選びかた(カラーボタンの使い方)→5-28ページ
   - 内蔵HDDに取り込むときは99映像まで選べます。
   - 選択した複数の映像は、動画アルバムには1つのタイトルとして取り込まれます。(各AVCHDファイルはチャプターで分割された状態になります。)別々のタイトルとして取り込みたい場合は1つずつ、日付で管理したい場合は同一日動画選択でダビングしてください。

3. 「はい」を選んで決定します
   ⇒ 取り込みが始まります。
   - 取り込みが終了したら手順2で表示される画面に戻ります。
   - 一度取り込んだ動画には、マークが表示されます。
   - 電源を切ったりUSBケーブルを抜いたりすると、マークは表示されません。
   - 終了するときは【終了】ボタンを押します。

   ●動画アルバムに取り込んだ映像を見るには→4-16ページ

ダビング・管理

AVCHD方式デジタルカメラからのダビング

HDDに取り込んだビデオカメラ映像をダビングする

HDD | H.264 | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

内蔵HDD（ハードディスク）に取り込んだデジタルビデオカメラの映像は「動画アルバム」として保存されます。この「動画アルバム」からBDや、内蔵／外付けHDDにダビングできます。

1. 5-26ページ「内蔵HDDからダビングする」の手順1～3を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
2. ダビング先を選んで決定します
   ●BDにダビングするときは
   ⇒「動画アルバム」の「HDD→BD」を選んで【決定】ボタンを押す
   ●内蔵HDDにダビングするときは
   ⇒「動画アルバム」の「HDD→HDD」を選んで【決定】ボタンを押す
   ●外付けHDDにダビングするときは
   ⇒「動画アルバム」の「HDD→外付けHDD」を選んで【決定】ボタンを押す
   - 「HDD→外付けHDD」は、外付けHDDが接続されていて使用可能な場合のみ表示されます。
3. ダビングしたい映像を選んで決定します
   ●映像の選びかた
   →5-28ページ⇒ ダビング開始画面が表示されます。

次ページへつづく⇒

HDDに取り込んだビデオカメラ映像をダビングする(つづき)

4. 「すぐにダビング」を選んで決定します
   ⇒ ダビングが始まり、終了すると自動停止します。
   - 表示されるメッセージはダビングされる状態によって変わります。

●ダビング予約したいとき→5-53ページ
●ダビングの種類を選びたいとき(詳細設定)→5-31ページ

お知らせ

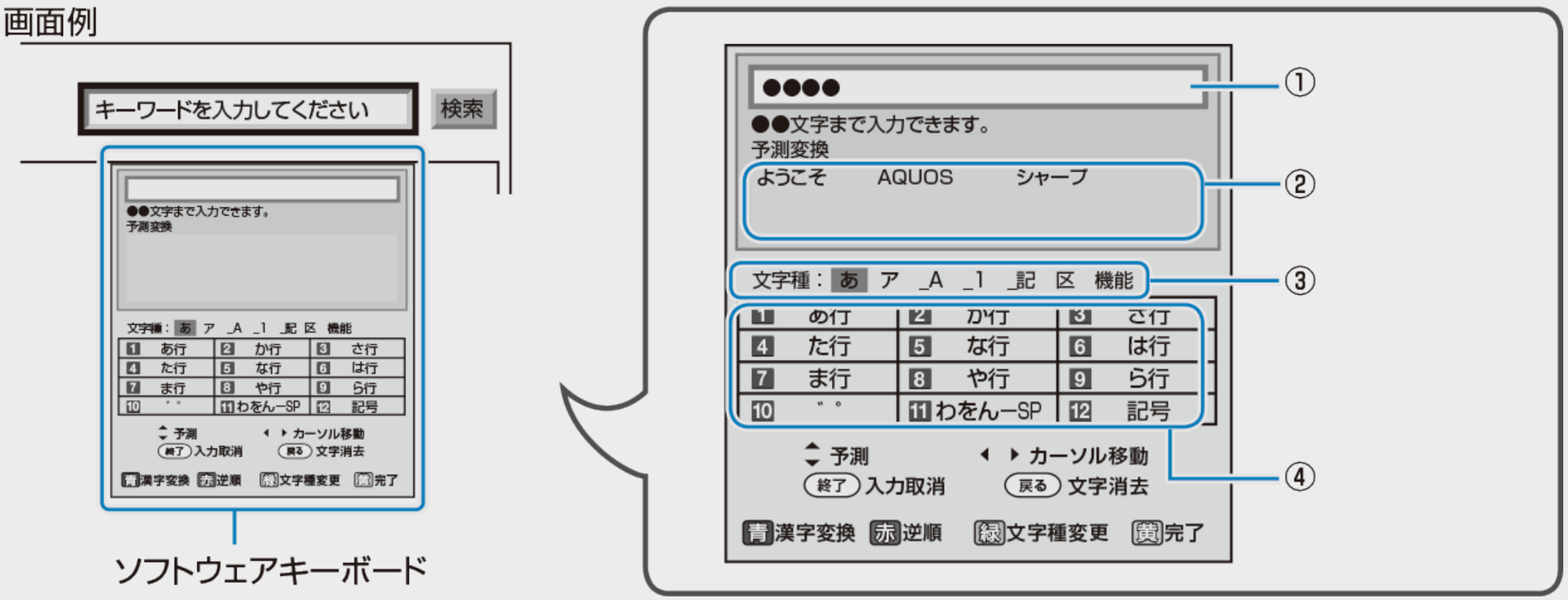
- 動画アルバム内のタイトルを外付けHDDにダビングしたとき、ダビングしたタイトルは内蔵HDDから消去(ムーブ)されます。

ダビング・管理

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

入力表示の編集、LAN設定をするときは、ソフトウェアキーボードで文字を入力します。ソフトウェアキーボードは、文字入力できる欄を選んで【決定】ボタンを押すと表示されます。

画面例



①入力中の文字が表示されます。
②予測変換候補が表示されます。画面は一例です。予測変換候補は保存された履歴によって変わります。また、番組情報からコピーしたキーワードを予測変換候補に登録することもできます。
③【緑】ボタンで文字の種類（文字種）を選びます。文字種によって、数字ボタンで入力できる文字が変わります。
④リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）で入力できる文字が表示されます。

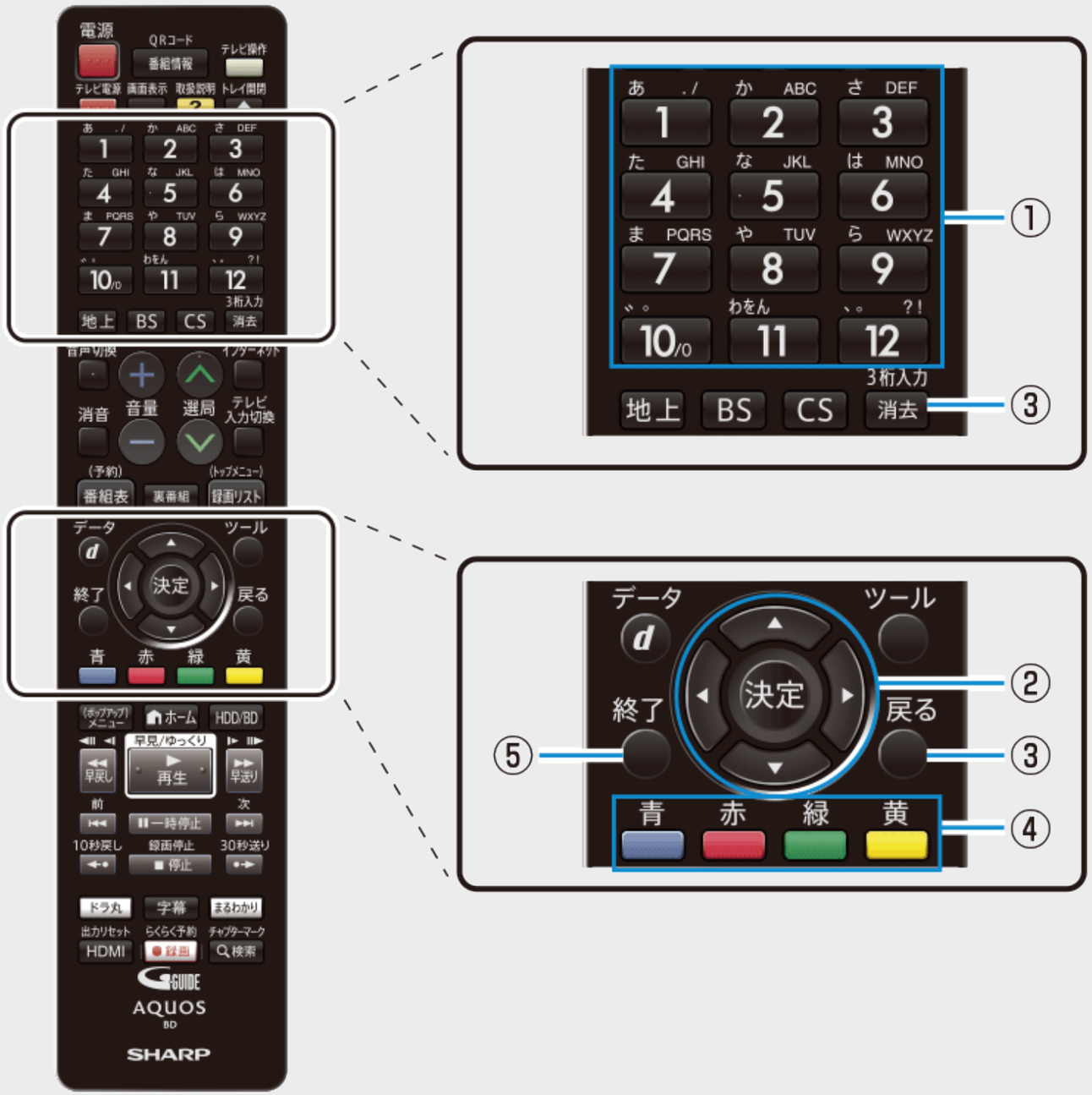
お知らせ

- シャープ製スマートフォンと本機をLAN接続している場合、スマートフォンで文字を音声入力することもできます。
- スマートフォンでコントロールするには、新たにアプリケーションソフトをインストールする必要があります。アプリケーションソフトについて詳しくは、シャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/info/voice_remo_con.html）でご確認ください。

次ページへつづく⇒

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

文字の入力に使うリモコンのボタン



①	• 文字を入力します。
②	• 入力欄のカーソルを移動します。 • 予測変換しているときは変換候補を選びます。 • 漢字変換しているときは、左右で変換する範囲を指定し上下で変換候補を選びます。
③	• 文字を消去します。 • 予測変換や漢字変換しているときは、変換を取り消します。
④	• 青：ひらがなを漢字に変換します。（漢字を入力できる欄のみ） • 赤：入力中の文字を「お」→「え」のように逆順に戻します。 • 緑：文字の種類（文字種）を選びます。 • 黄：文字入力を完了します。ソフトウェアキーボードが消えます。
⑤	• 現在の入力をすべて取り消します。ソフトウェアキーボードも消えます。

ダビング・管理

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）



文字入力のしかた

ここでは、例として「お早うございます」と入力する手順を説明します。

お知らせ

- 予測変換候補に入力したい文字が表示されている場合は、次の手順で語を入力します。
  ①【下カーソル】ボタンを押す
  ②【上下左右カーソル】ボタンで入力したい語を選び、【決定】ボタンを押す
- 入力中に文字を消去する場合は、【左右カーソル】ボタンでカーソルを移動し、【戻る】ボタンまたは【消去】ボタンを押します。

文字入力の制限について

- 内蔵／外付けHDD、BD（ブルーレイディスク）では全角40文字までタイトル名を入力できます。（入力できる文字数は機能により異なります）

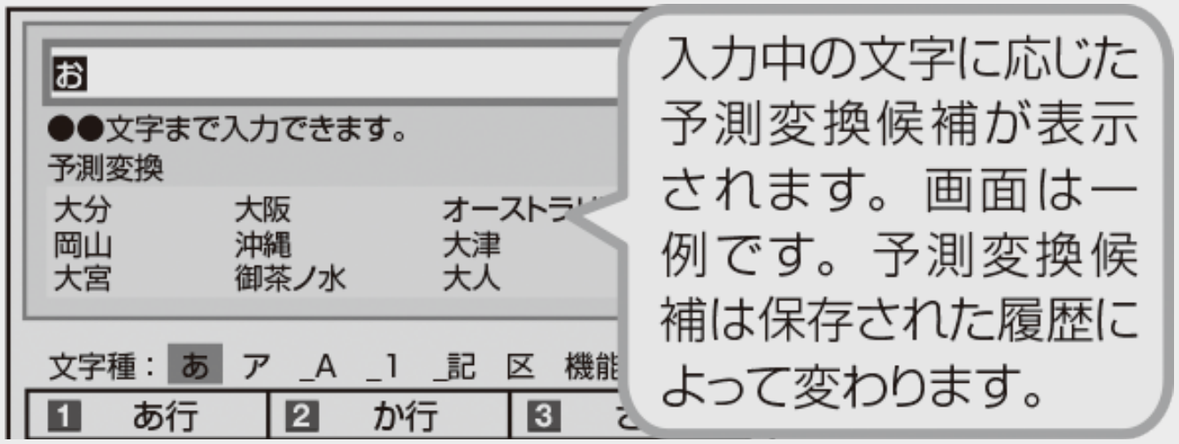
1. 予約名変更やタイトル名変更など、文字を入力できる欄を選んで決定します
   - ソフトウェアキーボードが表示されます。

次ページへつづく⇒



文字入力のしかた(つづき)

2. 「お」を入力します
   - 【1】ボタンを5回押します。押すたびに、文字が「あ」「い」「う」「え」「お」と変わっていきます。
   - カタカナ、英字、数字、記号などの文字種を選ぶときは、【緑】ボタン（文字種変更）を押して選びます。



次ページへつづく⇒



文字入力のしかた(つづき)

3. 同じようにして「は」、「よ」、「う」を入力します
   - 「゛」(濁点)や「゜」(半濁点)を入力するときは
     【10】ボタンを押します。押すたびに「゛」と「゜」が切り換わります。
   - 「っ」などの小さい文字を入力するときは
     【4】ボタンを6回押すと「っ」が入力されます。「ぉ」の場合は【1】ボタンを10回押します。
   - スペースを入力するときは
     【11】ボタンを6回押します。
   - 入力できる文字は
     「入力文字一覧表」→5-80ページ

次ページへつづく⇒

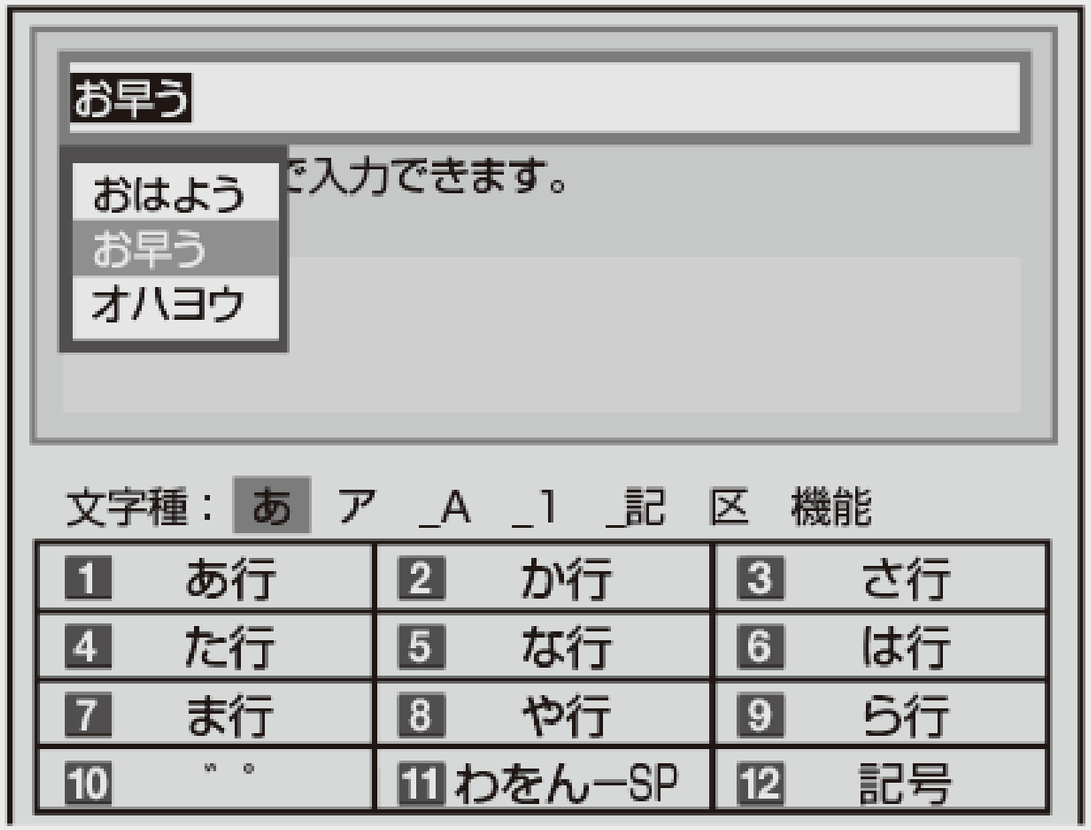
文字を入力する(ソフトウェアキーボード)



文字入力のしかた(つづき)

漢字やカタカナに変換するには

4. 入力欄の文字を変換します
   【青】ボタンを押す
   - 変換候補が表示されます。
   - 【左右カーソル】ボタンで変換する範囲を選べます。



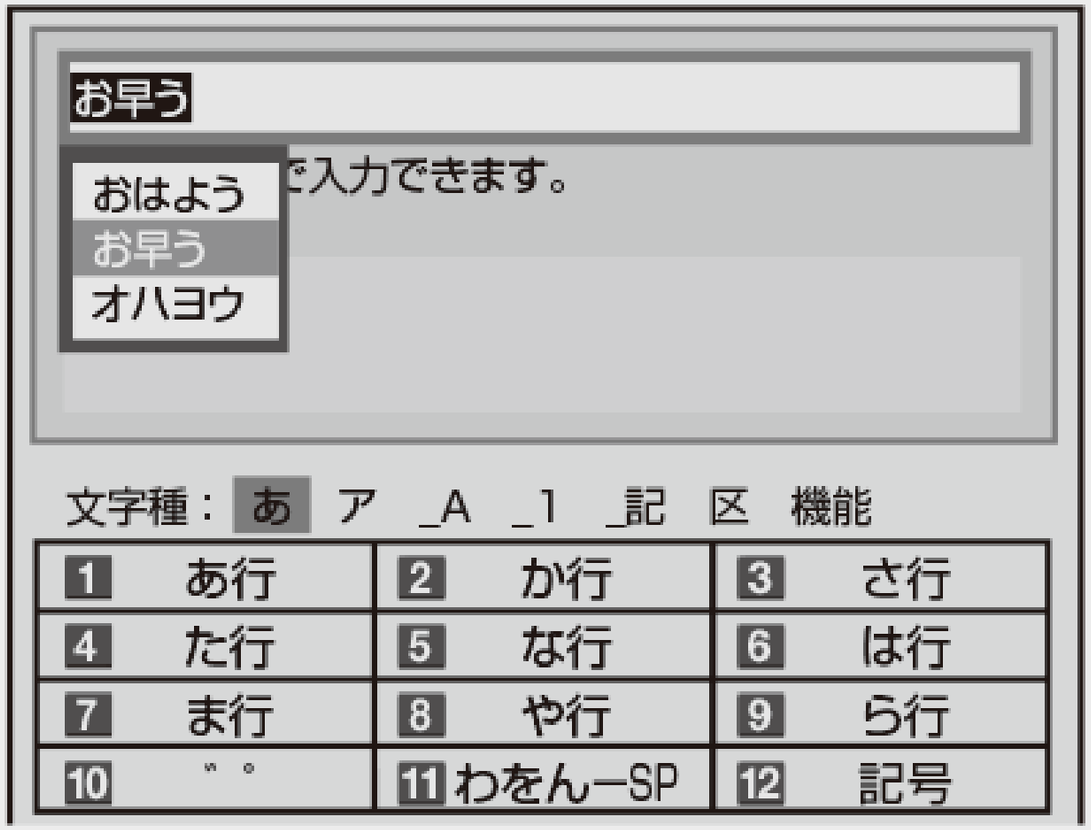
次ページへつづく⇒

文字を入力する(ソフトウェアキーボード)



文字入力のしかた(つづき)

5. 入力したい文字を選んで決定します
   - ここでは「お早う」を選びます。
   - 次に続く文字の予測変換候補が表示されます。



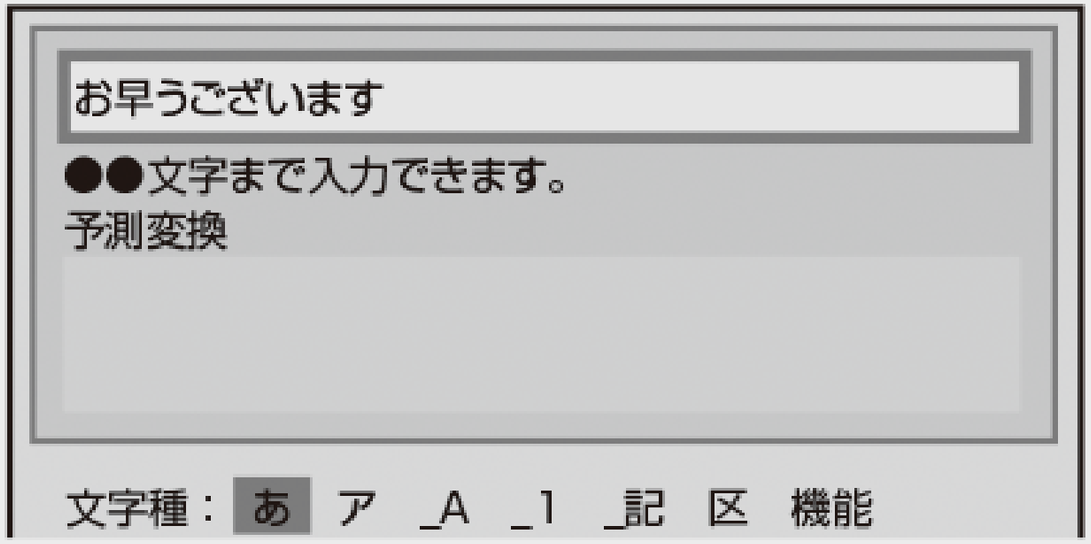
次ページへつづく⇒

文字を入力する(ソフトウェアキーボード)



文字入力のしかた(つづき)

6. 続けて文字を入力します
   【1】～【12】ボタンを押す
   - ここでは「ございます」と入力します。



   - 変換せずに続けて文字を入力する場合は、【決定】ボタンを押します。

7. 入力中の文字を確定します
   【黄】ボタンを押す
   - 手順1で選んだ入力欄に文字が入力されます。

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

文字を入力する(ソフトウェアキーボード)

文字入力のしかた(つづき)

区点コードから入力する
変換しても表示されない文字は、区点コードから選んで入力できます。

1. 文字種から「区」を選びます
   【緑】ボタン(文字種変更)を繰り返し押す



2. 入力したい文字を選んで決定します
   - 【1】～【10】ボタンを押して区点コード(3桁)を入力することもできます。

お知らせ

- 区点コードは第1水準と第2水準に分かれています。
- 第1水準は音読みの順番で並んでいます。
- 第2水準は部首の順番で並んでいます。

次ページへつづく⇒

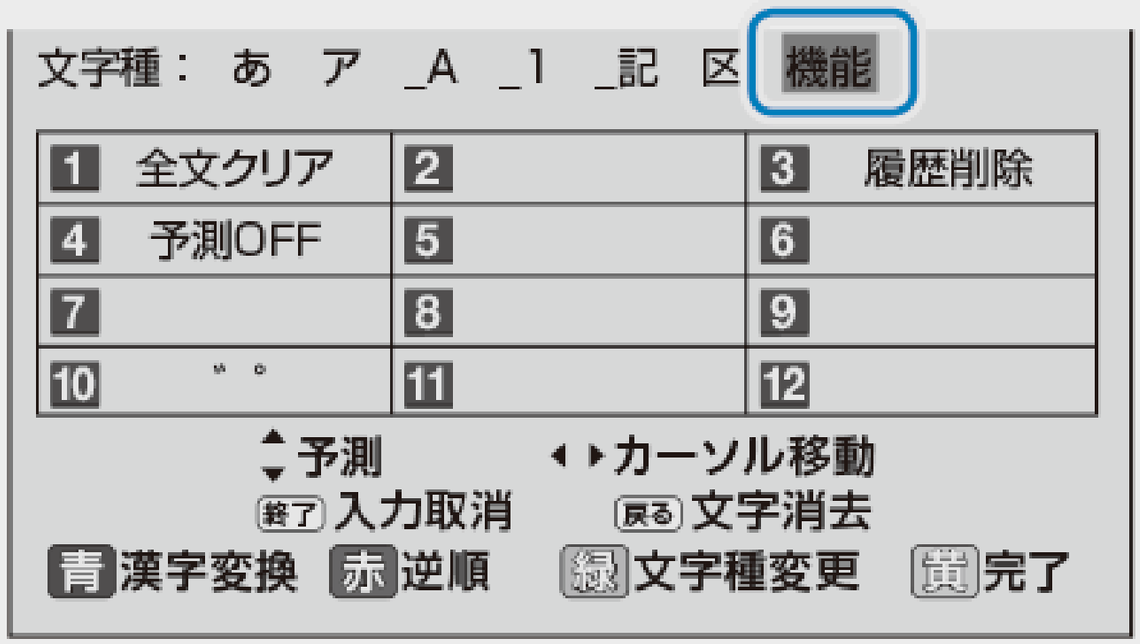
ダビング・管理

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

文字入力のしかた(つづき)

入力中の文字を全消去する
入力欄に表示されている文字をまとめて消去することができます。

1. 文字種から「機能」を選びます
   【緑】ボタン（文字種変更）を繰り返し押す



次ページへつづく⇒

文字入力のしかた(つづき)

2. 「全文クリア」を選びます
    - 【1】ボタンを押す。
    - 入力中の文字が全て消えます。
    - 続けて文字を入力するときは、【緑】ボタン（文字種変更）を押して、文字種を選んでください。

お知らせ

- 予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには
  ①【緑】ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ。
  ②【3】ボタンを押して「履歴削除」を選ぶ。
    - 予測変換候補が工場出荷時状態に戻ります。
- 予測変換機能を停止するには
  ①【緑】ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ。
  ②【4】ボタンを押して「予測OFF」を選ぶ。
    - 予測変換機能が停止し予測候補の表示欄が消えます。予測変換機能を使用するときは上記と同じ手順で「予測ON」を選んでください。

ダビング・管理

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

入力文字一覧表

- 文字種によって入力できる文字が変わります。

ひらがな（全角）

① あいうえお ぁぃぅぇぉ	② かきくけこ	③ さしすせそ
④ たちつてと っ	⑤ なにぬねの	⑥ はひふへほ
⑦ まみむめも	⑧ やゆよ ゃゅょ	⑨ らりるれろ
⑩ ゛゜	⑪ わをんー ゎ（スペース）	⑫ 、。？！・「 」

カタカナ（全角）

① アイウエオ ァィゥェォ	② カキクケコ	③ サシスセソ
④ タチツテト ッ	⑤ ナニヌネノ	⑥ ハヒフヘホ
⑦ マミムメモ	⑧ ヤユヨ ャュョ	⑨ ラリルレロ
⑩ ゛゜	⑪ ワヲンー ヮ（スペース）	⑫ 、。？！・「 」

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

入力文字一覧表(つづき)

半角英字／全角英字

① ．／＠：－	② ａｂｃＡＢＣ	③ ｄｅｆＤＥＦ
④ ｇｈｉＧＨＩ	⑤ ｊｋｌＪＫＬ	⑥ ｍｎｏＭＮＯ
⑦ ｐｑｒｓＰＱＲＳ	⑧ ｔｕｖＴＵＶ	⑨ ｗｘｙｚＷＸＹＺ
⑩ 全角／半角切換	⑪ （スペース）	⑫ ？！（）＿

半角数字／全角数字

① 1	② 2	③ 3
④ 4	⑤ 5	⑥ 6
⑦ 7	⑧ 8	⑨ 9
⑩ 0		⑫ 全角／半角切換

次ページへつづく⇒

文字を入力する(ソフトウェアキーボード)

入力文字一覧表(つづき)

半角記号

① . / @	② , : ;	③ _ − ¥
④ $ % &	⑤ # + *	⑥ = | ~
⑦ ” ’ ^ `	⑧ ( ) < >	⑨ [ ] { }
⑩ 全角／半角切換	⑪ (スペース)	⑫ ? !

全角記号

① ． ／ ＠ ・	② ， ： ；	③ ＿ ー ￥
④ ＄ ％ ＆	⑤ ＃ ＋ ＊	⑥ ＝ ｜ ￣ ～
⑦ ” ’ ＾ ‘	⑧ （ ） ＜ ＞	⑨ ［ ］ ｛ ｝
⑩ 全角／半角切換	⑪ (スペース)	⑫ ？ ！

お知らせ

- 入力欄によっては、英字、数字、記号の全角と半角の切り換えができない場合があります。

ダビング・管理

DVDを他の機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍 | SXP | XP | SP

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

本機でダビングしたDVDを他の機器で再生できるようにします（ファイナライズ）。

ご注意

- ファイナライズ中は、電源を切る、ディスクを取り出すなどすべての操作ができなくなります。このとき電源プラグをコンセントから抜かないでください。（ディスクが使えなくなる場合があります。）
- 本機でダビングしたディスクを他社のレコーダーやパソコンでファイナライズしたり、他社のレコーダーやパソコンで記録したディスクを本機でファイナライズすると、不具合が生じることがあります。
- DVD-Rはファイナライズすると、再生専用ディスクとなりタイトル名変更、追加ダビングやファイナライズ解除はできません。
- プレイリストがあるDVDはファイナライズができません。

お知らせ

- ファイナライズには数分～約1時間以上かかります。（録画タイトル数やディスクにより異なります。）
- ファイナライズ中に予約録画開始時刻となった予約録画は、実行されません。

次ページへつづく⇒

ダビング・管理

DVDを他の機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

1. ファイナライズしたいディスクを挿入します
   - →1−47ページ

2. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

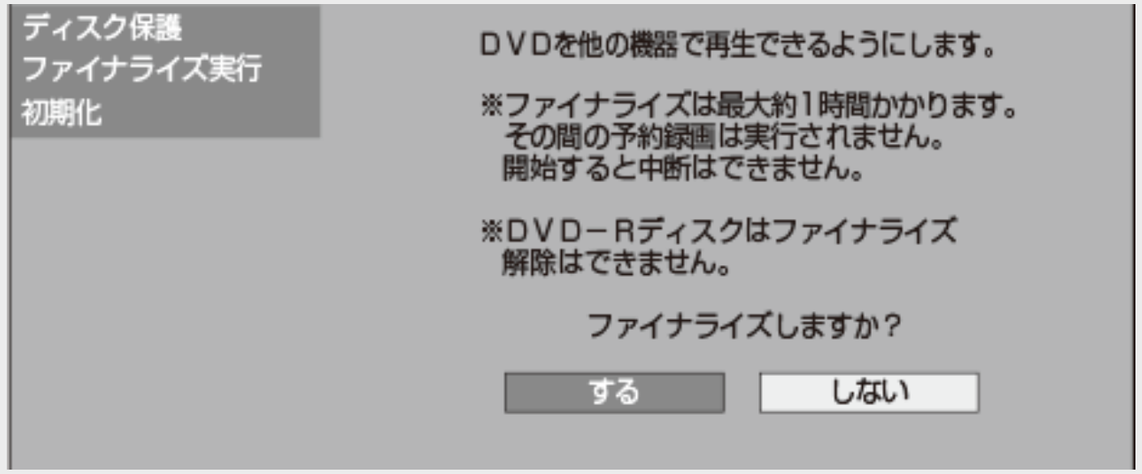
3. ①「設定」を選んで決定します
   ②「ディスク管理」―「BD/DVD」を選んで決定します
   - 設定メニューの操作について詳しくは1−28ページをご覧ください。

4. 「ファイナライズ実行」を選んで決定します

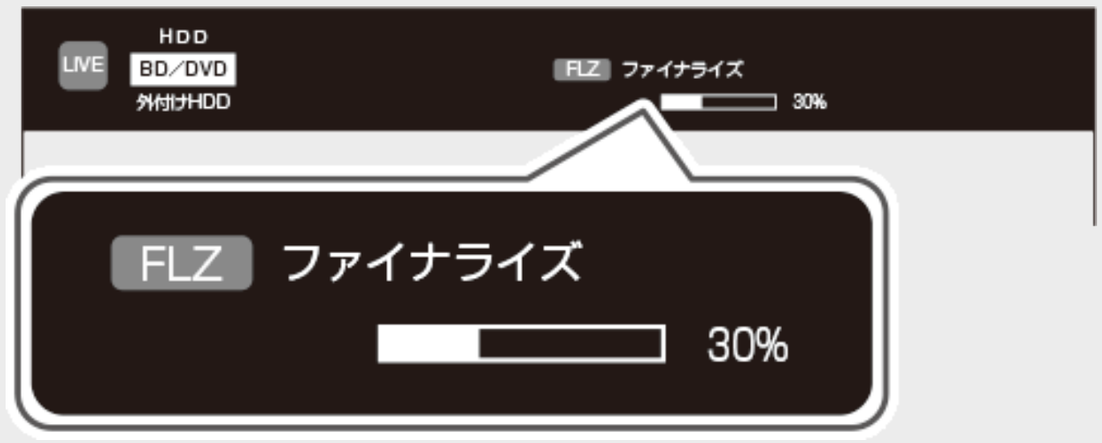
次ページへつづく⇒

DVDを他の機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

5. 「する」を選んで決定します



⇒ ファイナライズ実行



- ファイナライズが完了すると放送画面に戻ります。

ファミリンク

ファミリンクで操作する

- シャープ製のファミリンク対応テレビ「AQUOS」をお持ちの場合は、本機とHDMIケーブルで接続すると、ファミリンクならではの便利な連携機能で操作を楽しめます。
- 本機の再生などの操作にあわせて、テレビの電源を入れ、テレビの画面を本機の画面に切り換えたり、テレビで見ている番組をHDD（ハードディスク）に録画するなど連携機能で操作を楽しめます。
- AQUOSタイムシフト対応テレビ「AQUOS」をお持ちなら、テレビで視聴している番組を一時停止して、つづきから再生して見たり、ちょっと戻って視聴する連携機能が楽しめます。
- ファミリンク機能による連携操作を楽しむためには、ファミリンク設定（下記）を行ってください。

ファミリンクのための設定をする

- ファミリンクを楽しむための設定をします。 次ページのながれに沿って、テレビと本機の設定を行ってください。
（ファミリンク機能での録画はハードディスクに限定されます）
- AQUOSタイムシフトで視聴するときは、「ホーム」―「設定」―「本体設定」―「タイムシフト視聴設定」で「連動する」に設定します。

次ページへつづく⇒

ファミリンクのための設定をする(つづき)

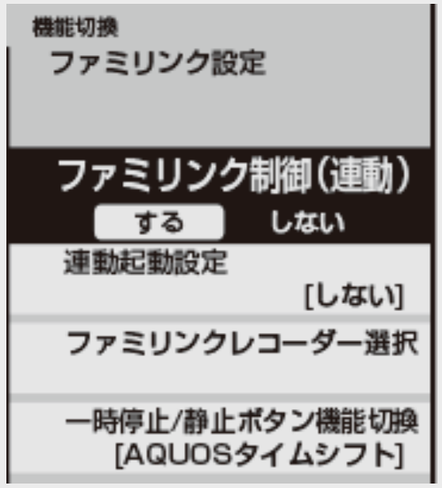
テレビ側の設定をします。

テレビ側の設定です。



- 設定はテレビの取扱説明書をご覧ください。

① 連動起動設定(ファミリンクのための設定)



- 本機の再生などの操作にあわせて、テレビの電源を入れ、テレビの画面を本機の画面に自動的に切り換えるための設定です。

「する」に設定します。

次ページへつづく⇒

ファミリンク

ファミリンクで操作する

ファミリンクのための設定をする(つづき)

テレビ側の設定をします。(つづき)

テレビ側の設定です。



- 設定はテレビの取扱説明書をご覧ください。
- AQUOSタイムシフト対応のテレビ側の設定です。

② 録画機器選択(ファミリンクのための設定)

- テレビで見ている番組を、本機に内蔵のHDD(ハードディスク)に録画するための設定です。

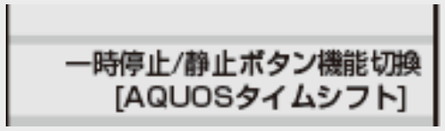
設定が必要です。

- 本機を接続している入力を選択します。



③ 一時停止/静止ボタン機能切換(AQUOSタイムシフトのための設定)

- テレビで見ている番組を、一時停止し、続きから視聴するAQUOSタイムシフトを楽しむための設定です。AQUOSタイムシフトについて詳しくは→2-63ページをご覧ください。



設定が必要です。

AQUOS タイムシフト	テレビのリモコンの一時停止/静止ボタンを押すとAQUOSタイムシフト機能として使用できます。
画面静止	テレビのリモコンの一時停止/静止ボタンを押すとテレビの静止画機能として使用できます。

設定完了したら次ページへ

次ページへつづく⇒

ファミリンクのための設定をする(つづき)

本機の「ファミリンク設定」が必要なときやAQUOSオーディオ(AQUOSサラウンド)を接続しているときは、次の設定を行います。

AQUOSオーディオ(AQUOSサラウンド)を接続しているときは、テレビ側の設定をします。

テレビ側の設定です。



ジャンル連動設定(ファミリンクのための設定)

- ファミリンク対応のAQUOSオーディオ(AQUOSサラウンド)を接続している場合に必要な設定です。
  工場出荷状態は「しない」に設定されています。

  AQUOSオーディオ(AQUOSサラウンド)をお使いになる場合は、設定が必要です。

- 設定は6-25ページをご覧ください。設定について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく⇒

ファミリンクのための設定をする(つづき)

本機側の設定をします。(工場出荷状態では、設定する必要はありません)

本機側の設定です。



ファミリンク設定(ファミリンクのための設定)

- テレビの操作で本機の電源を入れる／切る、本機の操作にあわせてテレビの画面を本機の画面に自動的に切り換えるなどの動作をさせるための設定です。
- 「ホーム」—「設定」—「本体設定」—「ファミリンク設定」が「しない」に変更されているときは、「する」に設定します。



工場出荷状態は「する」に設定されています。

- 初期設定で、本機のチャンネル設定をテレビと同じにしていない場合テレビの設定を取得する必要があります。「ホーム」—「設定」—「放送視聴設定」—「チャンネル設定」—「地上デジタル受信設定」—「チャンネルサーチ」を選んで【決定】ボタンを押し、画面の指示に従って設定します。その後、改めて「ファミリンク設定」を選んで決定してください。

ご注意

- 設定後番組表データが失われる場合があります。

ファミリンク

ファミリンクで操作する

ファミリンク機能選択メニューで操作する

テレビのファミリンク機能選択メニューから操作できる、ファミリンクの録画や再生について説明します。

1. テレビの電源を入れます

2. ファミリンク機能選択メニューを表示します

   操作はお使いのテレビ（AQUOS）によって異なります。
   詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

   操作例（ファミリンクⅡ対応テレビと接続）
   ①テレビのリモコンにあるファミリンクボタンを押します
   ②操作したい機器を選び決定します

次ページへつづく⇒

ファミリンク機能選択メニューで操作する(つづき)

3. 操作したい機能のボタンを選ぶ

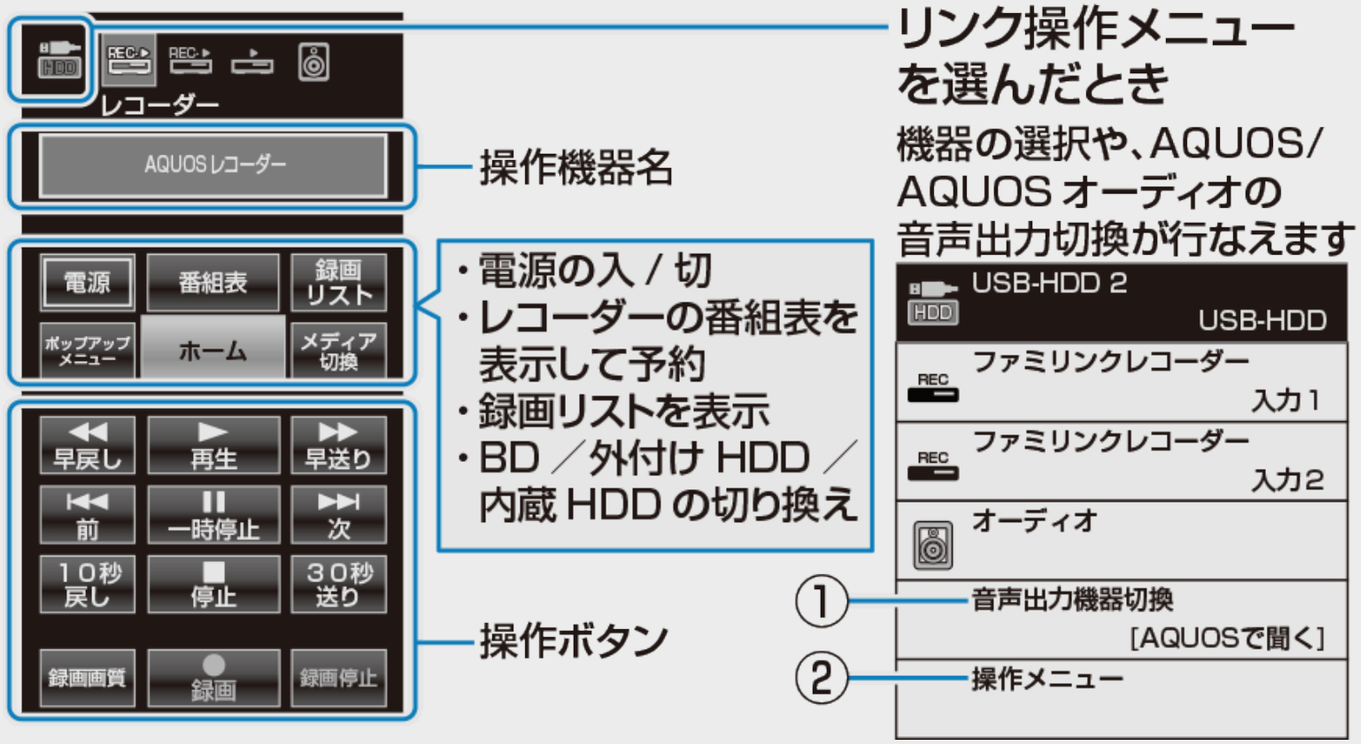
①音声出力機器切換 (→6-20ページ)

● AQUOSオーディオで聞く

- AQUOSとAQUOSオーディオ(AQUOSサラウンド)を接続している場合は、テレビのスピーカーからの音声を止めて、AQUOSオーディオ(AQUOSサラウンド)から音声を出力します。
- 本機に付属のリモコンで、AQUOSオーディオ(AQUOSサラウンド)の音量調整と消音の操作ができます。

● AQUOSで聞く

- AQUOSオーディオ(AQUOSサラウンド)のスピーカーからの音声を止めて、AQUOSから音声を出力します。



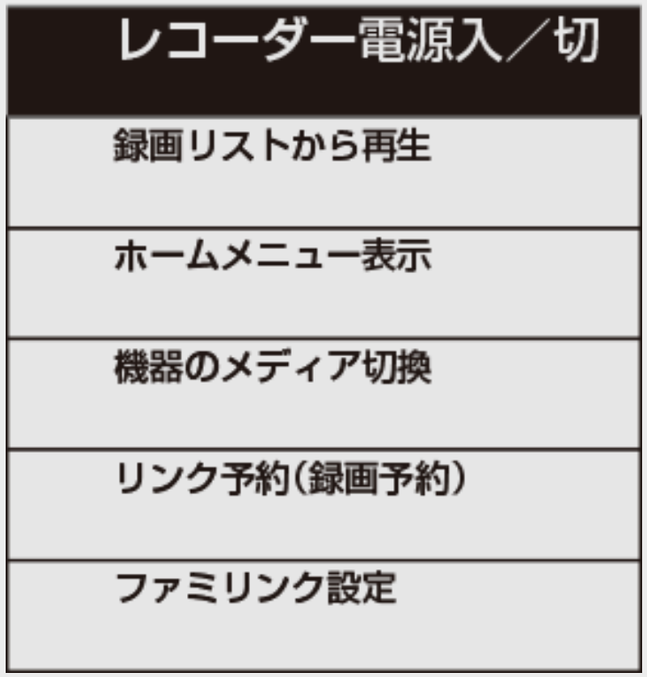
②操作メニュー→6-8ページ

次ページへつづく⇒

ファミリンク機能選択メニューで操作する(つづき)

操作メニューでできること

リンク操作
操作メニュー



レコーダー電源入／切	本機の電源を入／切します。
録画リストから再生	本機の録画リストを呼び出して、録画した番組を一覧から選んで再生できます。
ホームメニュー表示	本機のホーム画面を表示します。
機器のメディア切換	再生や録画をしたいメディア(HDD(ハードディスク)やBD/DVDなど)を選べます。「メディア切換」を選んで、決定ボタンを押すたびに操作するメディア「HDD」、「外付けHDD」、「BD/DVD」が切り換わります。 外付けHDDを本機に取り付けているとき、お使いのテレビによっては、「機器のメディア切換」機能が働かない場合があります。そのようなときは本機のリモコンでモードを切り換えてください。 (モード切換について詳しくは→1-63ページ)
リンク予約(録画予約)	本機の電子番組表を呼び出して、予約録画できます。
ファミリンク設定	テレビ側のファミリンク設定を行います。 詳しくは、テレビ(AQUOS)の取扱説明書をご覧ください。

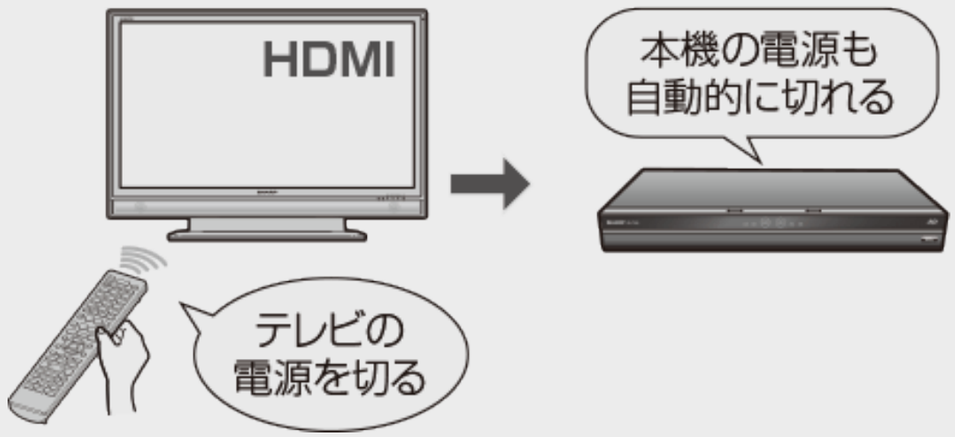
ファミリンク

ワンタッチ操作をする（ファミリンク）

リモコンを切り換えることなく本機とテレビを連携操作したり、テレビのリモコンで本機の再生操作をすることができます。

ご注意

本機とファミリンク対応テレビ「AQUOS」をHDMIケーブルで接続し、「ファミリンク設定」（→10−27ページ）が「する」になっている場合は、テレビの電源を切ると自動的に本機の電源も切れます。（ただし、録画中は録画が継続します）



- エコモードを「入」にしているときは、ファミリンクによる操作が行えません。
- ワンタッチ録画を行った際の録画画質は、本機に設定されている録画画質となります。

次ページへつづく⇒

ワンタッチ操作をする（ファミリンク）

本機のリモコンでテレビの入力も自動で切換（レコーダーに向けて操作します）

本機リモコンの下記のボタンを押すだけで、自動的にテレビがレコーダーからの入力（HDMI入力）に切り換わり、本機の画面が表示されます。

電源入からの操作でテレビの入力が切り換わります。

【番組表／予約】ボタン	本機の電子番組表を表示 • 本機のチューナーが、あらかじめデジタルチューナー（地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル）に切り換えられている場合に有効です。
【裏番組】ボタン	裏番組を表示
【ドラ丸】ボタン	ドラ丸リストを表示
【まるわかり】ボタン	まるわかり画面を表示
【録画リスト／トップメニュー】ボタン	録画リストを表示
【ホーム】ボタン	ホーム画面を表示
【再生】ボタン	本機の再生画面を表示

■BDビデオまたはDVDビデオのオートプレイ

再生専用ディスクのBDビデオまたはDVDビデオなどを挿入すると、自動的に再生が始まりテレビに映ります。

ワンタッチ操作をする（ファミリンク）

テレビで見ている番組をワンタッチ録画（テレビに向けて操作します）

【テレビ操作】ボタンを押し、【録画／らくらく予約】ボタンを押す　⇒　録画開始

本機の電源が待機状態でも自動的に電源が入り、テレビで見ている番組が録画できます。（本機のチャンネルが正しく切り換わらない場合は、6-5ページの「チャンネルサーチ」を行ってください）

お知らせ

- 録画したタイトルを消去や編集しているとき、ドラ丸で自動録画しているとき、またホームメニューの「設定」で設定しているとき、ファミリンクによる録画はできない場合があります。
- デジタル放送の録画時は、番組終了時刻になると自動で録画が停止します。

終了時刻より前に録画を終わりたいとき
⇒ レコーダーに向けて【停止／録画停止】ボタンを押します。

ファミリンク

テレビを見ながら録画予約する（ファミリンク）

本機またはテレビの電子番組表から録画予約ができます。下記の説明は一例です。接続しているAQUOSにより操作が異なる場合がありますので詳しくはAQUOSの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 録画したタイトルを消去や編集しているとき、またホームメニューの「設定」で設定しているとき、ファミリンクによる録画はできない場合があります。

お知らせ

- 「AQUOSレコーダーで予約する」を選んだときに表示されるレコーダーの番組表は、現在テレビ側で見ている放送の番組表となります。
- 有料放送を録画するときは、契約されているB-CASカードを本機に挿入してください。

予約の変更について

- 本機の電子番組表からの予約を変更する場合は、本機側で行ってください。（→3-64ページ）

次ページへつづく⇒

ファミリンク

テレビを見ながら録画予約する（ファミリンク）

本機の電子番組表を表示させて予約する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

接続しているAQUOSのファミリンク機能選択画面から、本機の電子番組表を表示し、録画予約をすることができます。

1. テレビの電源を入れます
2. 予約したいデジタル放送を選びます

【地上】【BS】【CS】ボタンを選ぶ

次ページへつづく⇒

ファミリンク

テレビを見ながら録画予約する（ファミリンク）

本機の電子番組表を表示させて予約する(つづき)

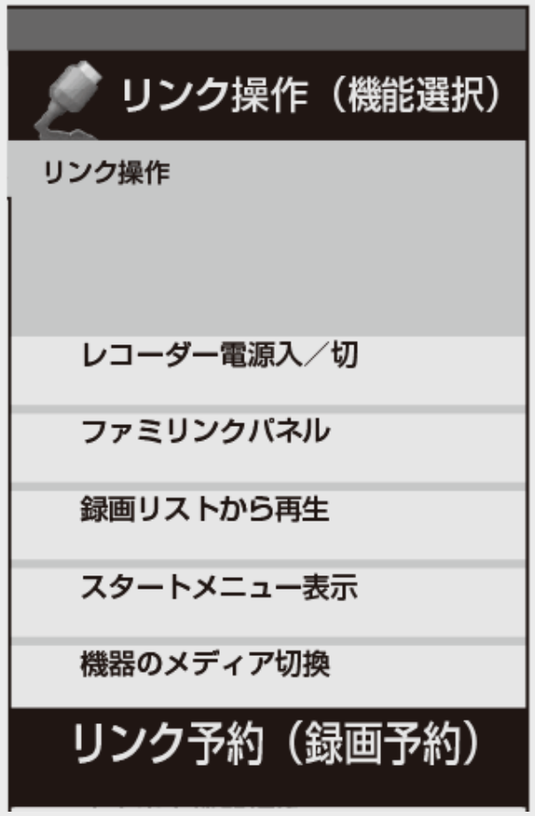
3. ファミリンク機能選択画面を表示させます
   操作はお使いのテレビ（AQUOS）によって異なります。
   詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
4. 「リンク予約（録画予約）」を選んで決定します

ファミリンクパネルから番組表を表示して予約



操作メニューから「リンク予約(録画予約)」を選んで決定

液晶テレビ「アクオス」の画面例



- レコーダーの電子番組表が表示されます。

次ページへつづく⇒

テレビを見ながら録画予約する(ファミリンク)

本機の電子番組表を表示させて予約する(つづき)

5. 本機の電子番組表で予約します
   - 予約について詳しくは→3-23ページ

開始時刻になると、録画が始まります。

ファミリンク

テレビを見ながら録画予約する（ファミリンク）

テレビの電子番組表で予約する

HDD | DR | 2倍/3倍 | 5倍/7倍/10倍/12倍

BD-RE | BD-R | DVD-RW/-R VR ビデオ | 市販のBD/DVDビデオ | 音楽用CD

- 内蔵HDD（ハードディスク）への録画になります。
- 録画画質は本体に設定されている録画画質となります。

ご注意

- エコモードを「入」にしているときは、テレビの電子番組表で予約したファミリンク予約は働きません。
- テレビの電子番組表で予約するときは、「毎週録画」または「毎日録画」などの設定はできません。

お知らせ

- ドラ丸録画とファミリンク予約録画が重なった場合は、ドラ丸録画が優先されます。

予約の変更について

- ファミリンク予約[1]（標準）の予約を変更する場合は、テレビ側で行ってください。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。

次ページへつづく⇒

ファミリンク

テレビを見ながら録画予約する（ファミリンク）

テレビの電子番組表で予約する(つづき)

1. 6-13ページ「本機の電子番組表を表示させて予約する」の手順1～2を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. テレビの電子番組表を表示させます

   【番組表／予約】ボタンを押す

3. テレビの電子番組表で予約します
   - テレビに付属の取扱説明書もお読みください。

4. 「ファミリンク録画予約」をします
   - テレビに付属の取扱説明書もお読みください。

開始時刻になると、録画が始まります。

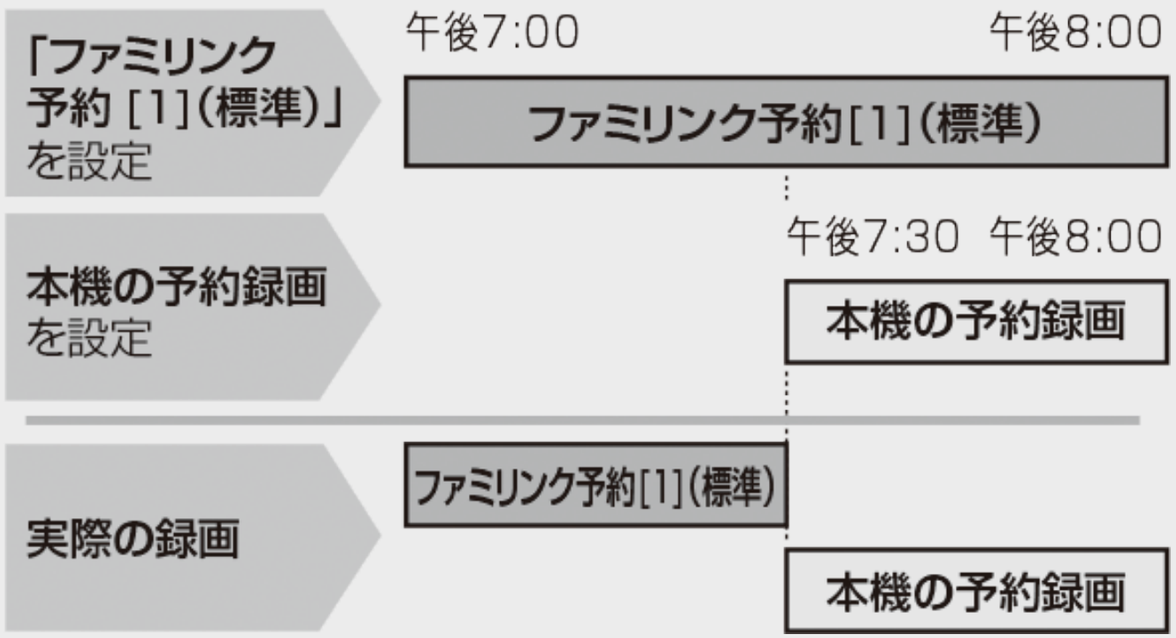
ファミリンク

テレビを見ながら録画予約する（ファミリンク）

ファミリンク予約と本機の予約録画の予約時刻が重なる場合のご注意

ファミリンク予約が正しく働かない組み合わせの例

本機の予約がファミリンク予約と重なる場合、「ファミリンク予約 [1]（標準）」録画が途中で終わります



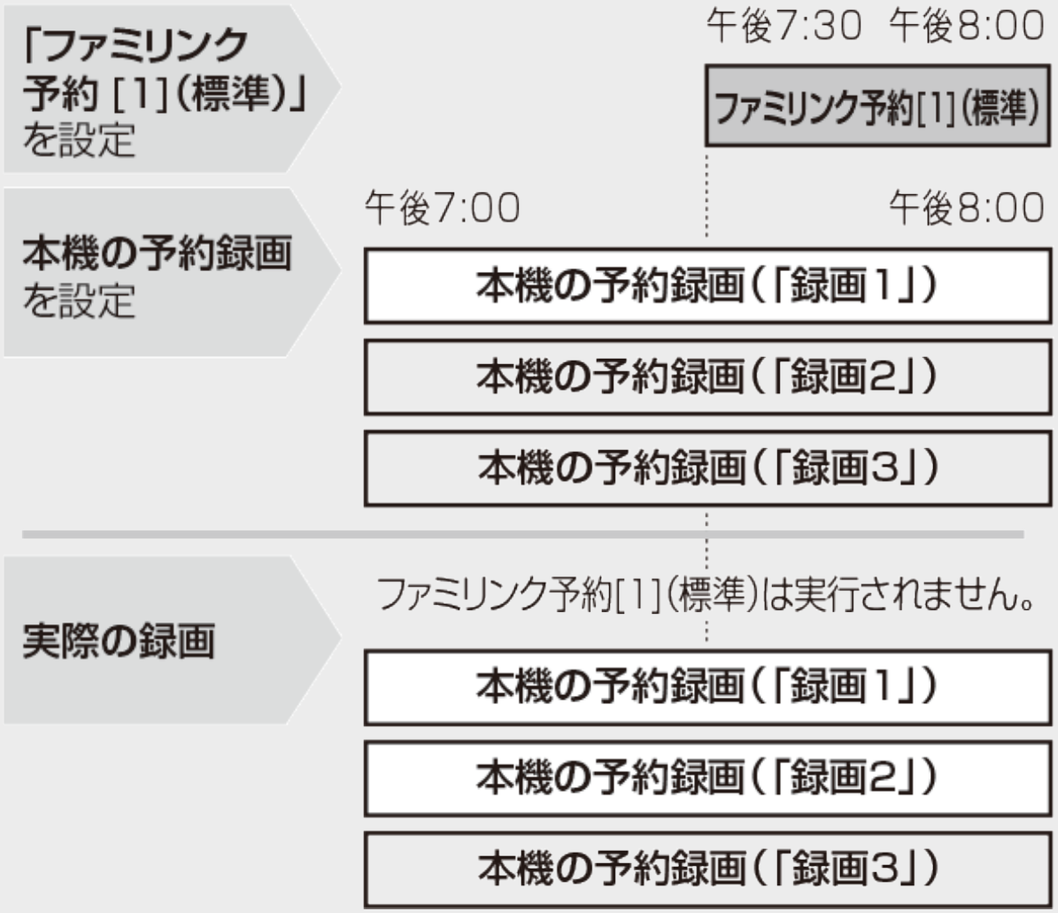
- 設定した予約時刻が、テレビの予約リストと本機の予約リストで重複しないことをご確認ください。
- 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送において、放送時間が重複している番組を録画したい場合は、本機の番組表で録画先と重ならない予約をしてください。操作については、3-57ページをご覧ください。
- 「ファミリンク録画予約」と本機の「予約録画」が重複しているときは、本機の予約録画が優先されます。そのため、「ファミリンク録画予約」で予約した番組が途中で終わる、または録画されていない場合があります。

次ページへつづく⇒

ファミリンク予約と本機の予約録画の予約時刻が重なる場合のご注意（つづき）

ファミリンク予約が正しく働かない組み合わせの例

複数番組を同時録画※している場合は、「ファミリンク予約[1]（標準）」録画が実行されません



テレビの種類によっては「ファミリンク予約[1]（標準）」「HDMIコントロール予約」と表示されるものがあります。

「ファミリンク録画予約」録画開始時刻の5分前までに、どちらかの録画操作を停止してください。

ファミリンク

AQUOSオーディオ（AQUOSサラウンド）で視聴する

リモコンを切り換えることなく本機とAQUOSオーディオを連携操作することができます。

- AQUOSオーディオで聞くためには、AQUOSオーディオとの接続が必要です。（→同梱取扱説明書）
- テレビのスピーカーからの音声を止めて、AQUOSオーディオから音声を出力します。

AQUOSオーディオから音声を出力する

1. テレビの電源を入れます

   【テレビ電源】ボタンを押す

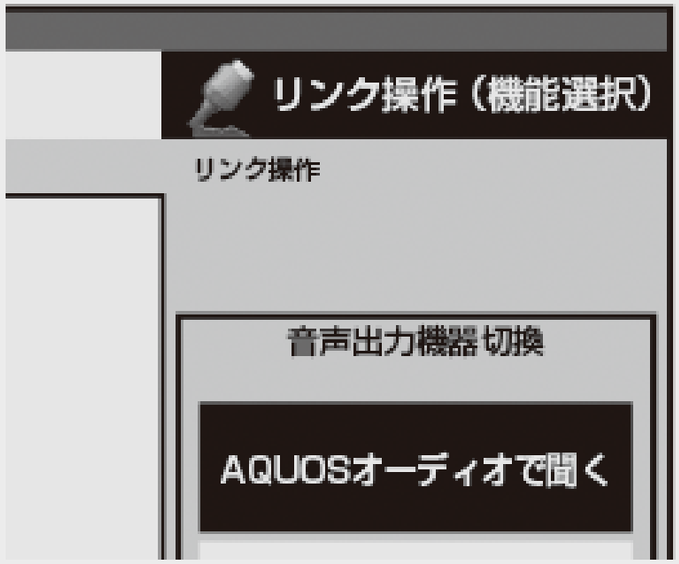
2. ファミリンク機能選択メニューを表示します

   操作はお使いのテレビ（AQUOS）によって異なります。
   詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく⇒

AQUOSオーディオから音声を出力する(つづき)

3. 「音声出力機器切換」―「AQUOSオーディオで聞く」を選んで決定します



液晶テレビ「AQUOS」の画面例

- テレビからの音声出力に戻したいときは、ファミリンク機能選択メニューで「AQUOSで聞く」を選んで決定します。

4. ファミリンク機能選択メニューを消します

操作はお使いのテレビ（AQUOS）によって異なります。
詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく⇒

AQUOSオーディオから音声を出力する(つづき)

お知らせ

- 「AQUOSオーディオで聞く」に設定中の場合は、テレビのスピーカーからは音声は出ません。テレビによってはヘッドホンの音声が停止します。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

AQUOSオーディオから音声を操作する

【音量】ボタンで音量を調整　【消音】ボタンで一時的に消音

- AQUOSオーディオから音声を出力しているときは、リモコンボタンでAQUOSオーディオを操作できます。
- 詳しくは本機と接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

ファミリンク

AQUOSオーディオ（AQUOSサラウンド）で視聴する

サウンドモードを自動で切り換える（ジャンル連動設定）

「ジャンル連動設定」を「する」に設定しておくと、AQUOSオーディオのサウンドモードが自動で適切なサウンドモードに切り換わります。

お知らせ

- DVD映像、市販のBD（ブルーレイディスク）やDVDビデオには、ジャンル情報がありません。この場合はファミリンク機能選択メニューから「サウンドモード切換」を選んで、手動で切り換えてください。→6-28ページ

■ジャンル連動設定とは

- デジタル放送の視聴中やデジタル放送を録画した番組を再生したときに、デジタル放送のジャンル情報「音楽」「映画」「ニュース」などに応じて、AQUOSオーディオのサウンドモードを自動で適切なサウンドモードに切り換えるための設定です。

■サウンドモードの一覧

- 表示は一例です。接続しているAQUOSオーディオ（AQUOSサラウンド）によりサウンドモードは異なります。
- 詳しくは、AQUOSオーディオ（AQUOSサラウンド）の取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく⇒

サウンドモードを自動で切り換える（ジャンル連動設定）（つづき）

放送のジャンル	放送の信号	サウンドモード
情報／ワイドショー／ドラマ／バラエティ／ ドキュメンタリー／趣味／教育／福祉／その他	ステレオ／マルチチャンネル	スタンダード
映画	ステレオ／マルチチャンネル	シネマ
アニメ／特撮	ステレオ	スタンダード
	マルチチャンネル	シネマ
ニュース／報道	ステレオ／マルチチャンネル	ニュース
音楽／劇場／公演	ステレオ／マルチチャンネル	ミュージック
スポーツ	ステレオ／マルチチャンネル	スポーツ

次ページへつづく⇒

サウンドモードを自動で切り換える（ジャンル連動設定）（つづき）

ジャンル連動設定

1. テレビの電源を入れます

   【テレビ電源】ボタンを押す

2. ファミリンク機能選択メニューを表示します

   操作はお使いのテレビ（AQUOS）によって異なります。
   詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく⇒

サウンドモードを自動で切り換える（ジャンル連動設定）（つづき）

ジャンル連動設定（つづき）

3. 「ファミリンク設定」を選んで決定します

液晶テレビ「AQUOS」の画面例



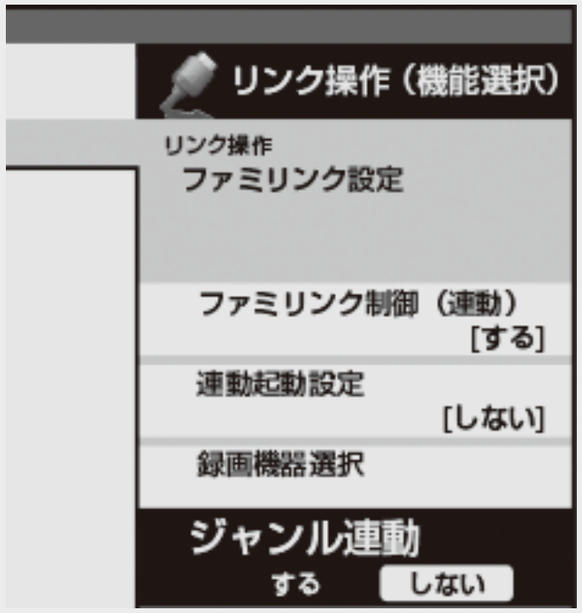
- テレビの機種によっては「HDMIコントロール設定」と表示されます。

次ページへつづく⇒

サウンドモードを自動で切り換える（ジャンル連動設定）（つづき）

ジャンル連動設定（つづき）

4. 「ジャンル連動」を選んで決定します



5. 「する」を選んで決定します

6. 終了します

【終了】ボタンを押す

ファミリンク

AQUOSオーディオ（AQUOSサラウンド）で視聴する

サウンドモードを手動で切り換える

市販のBDビデオ、DVDビデオなど、ジャンル情報のないディスクを再生するときは、AQUOSオーディオ（AQUOSサラウンド）のサウンドモードを手動で切り換えて楽しめます。
サウンドモード切換操作はファミリンク機能選択メニューで切り換えるテレビ、ファミリンク操作パネルで切り換えるテレビなどお使いのテレビによって異なります。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

1. テレビの電源を入れます

   【テレビ電源】ボタンを押す

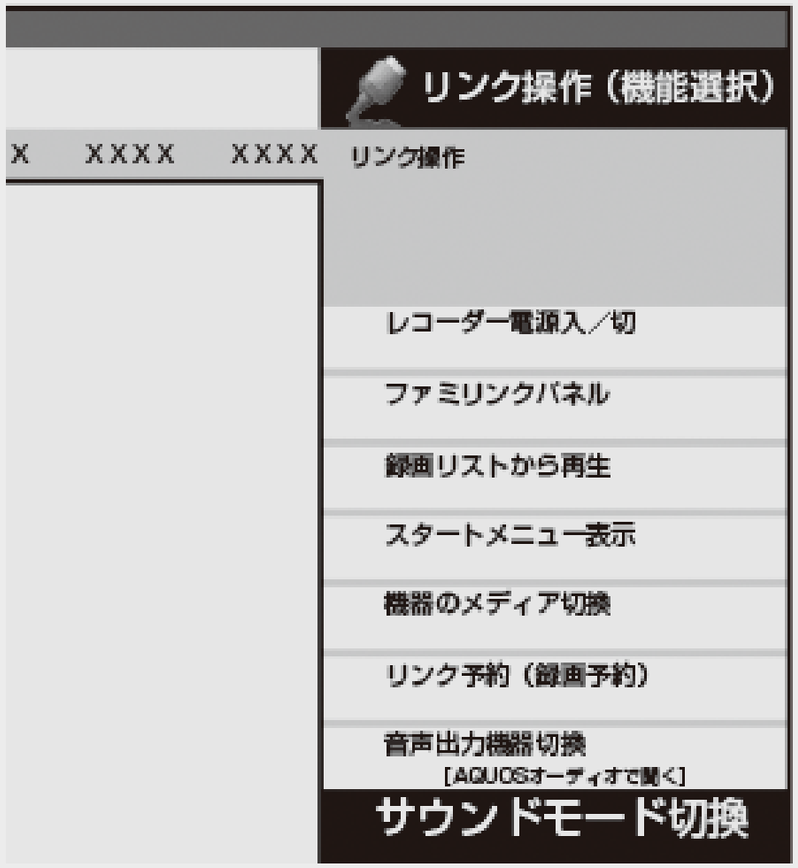
2. ファミリンク機能選択メニューを表示します

次ページへつづく⇒

サウンドモードを手動で切り換える(つづき)

3. 「サウンドモード切換」を選んで決定します

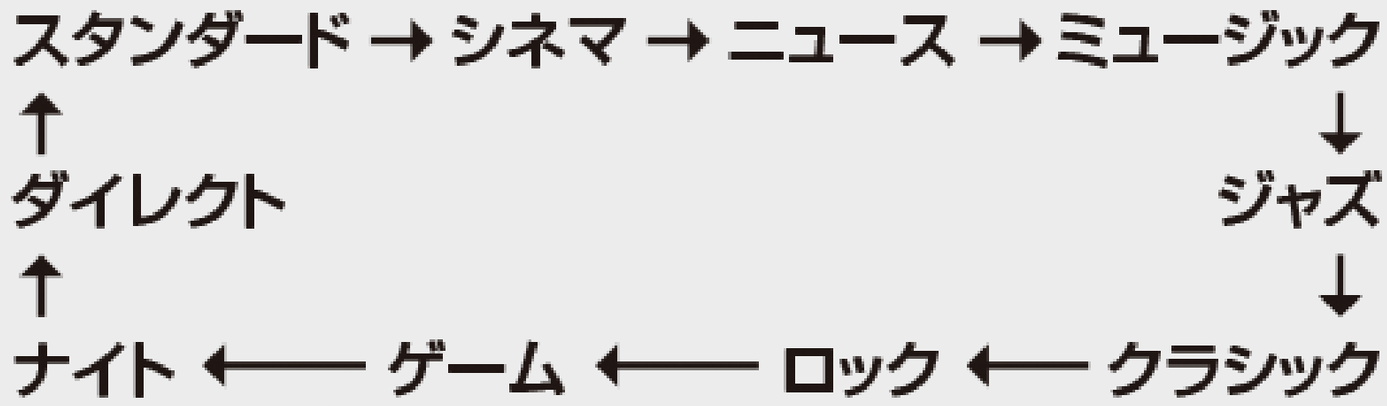
液晶テレビ「AQUOS」の画面例



- 「サウンドモード切換」で決定するたびに、次の順に切り換わります。

次ページへつづく⇒

サウンドモードを手動で切り換える(つづき)



- 表示は一例です。接続しているAQUOSオーディオ（AQUOSサラウンド）によりサウンドモードは異なります。
- 詳しくは、AQUOSオーディオ（AQUOSサラウンド）の取扱説明書をご覧ください。

4. ファミリンク機能選択メニューを消します

デジタルスチルカメラ

本機で写真を取り込む（フォトシステム）

デジタルスチルカメラ（USB端子搭載）やUSBメモリーから、静止画（写真データ）を内蔵HDD（ハードディスク）に保存して、テレビ画面で見ることができます。
内蔵HDDに保存した静止画（写真データ）をBD、USBメモリーにコピーすることもできます。（外付けHDD、DVD、CDにはコピーできません）

各種記録メディアでできること・できないこと

- 写真の取り込みや再生・内蔵HDDからのコピーなど、記録メディア（BD/DVD/CD/USBメモリー）によってできることが違います。

	写真の取り込み	再生	内蔵HDDからコピー
BD-RE/BD-R	○	○	○
DVD-RW（写真フォーマット）	○	○	×
CD-RW	×	○	×
CD-R	×	○	×
USBメモリー	○	×	○

ご注意

- 写真取り込み中は、録画やダビング操作、選局などの操作ができません。

ヒント

- クイック起動（→9-20ページ）が「する」に設定されているときは、本機の電源が切れていても写真を取り込めます。（自動的に電源が入ります）

次ページへつづく⇒

デジタルスチルカメラ

本機で写真を取り込む（フォトシステム）

お知らせ

- デジタルスチルカメラ内にある本機に取り込み済みの写真は取り込まれません。
- USBケーブルで接続しデジタルスチルカメラの電源を入れたとき、「接続された機器は対応しておりません」のメッセージが表示されたときは、写真の取り込みができません。接続したデジタルスチルカメラが「マスストレージクラス」のUSBに対応しているかご確認ください。詳しくは、カメラの取扱説明書をご確認ください。分からないときは、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
- 動作確認済のデジタルスチルカメラについては、シャープ サポート・お問い合わせページでご確認ください。（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/data/intro/dvdinfo07.html）
- 動作確認済のUSBカードーリーダーについては、シャープ サポート・お問い合わせページでご確認ください。（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/usb_cardreader.html）
- 接続した機器内に10000枚以上のファイルがある場合は、ファイル数を減らしてから再接続してください。
- ファイル数または容量により取り込みに時間を多く要する場合（数時間要する場合）があります。途中で止めたいときは、【停止】ボタンを押します。
- 番組表を表示させる、再生中など本機が動作中は、写真取り込みができません。
- 本機からは写真を送信できません。
- USBメモリーの抜き差しをむやみに繰り返さないでください。
- USBメモリーは本機の電源を切ってから取り外してください。

デジタルスチルカメラ

本機で写真を取り込む（フォトシステム）

デジタルスチルカメラ、USBメモリー、SDメモリーカードから写真を取り込む

取り込まれた写真は内蔵HDD（ハードディスク）の写真アルバムに保存されます。

■内蔵HDD（ハードディスク）に取り込める静止画（写真データ）について

ファイル形式	JPEGベースラインDCT準拠 JPEG（Exif2.2/DCF準拠） （プログレッシブJPEG／モーションJPEGは非対応）
ファイルサイズ	データ送受信端子受信時最大30MB
画像サイズ	最大縦6400×最大横9600（最小縦32×最小横32）
保存可能な枚数	最大10000枚
本機が認識できるフォルダ階層	8階層

次ページへつづく⇒

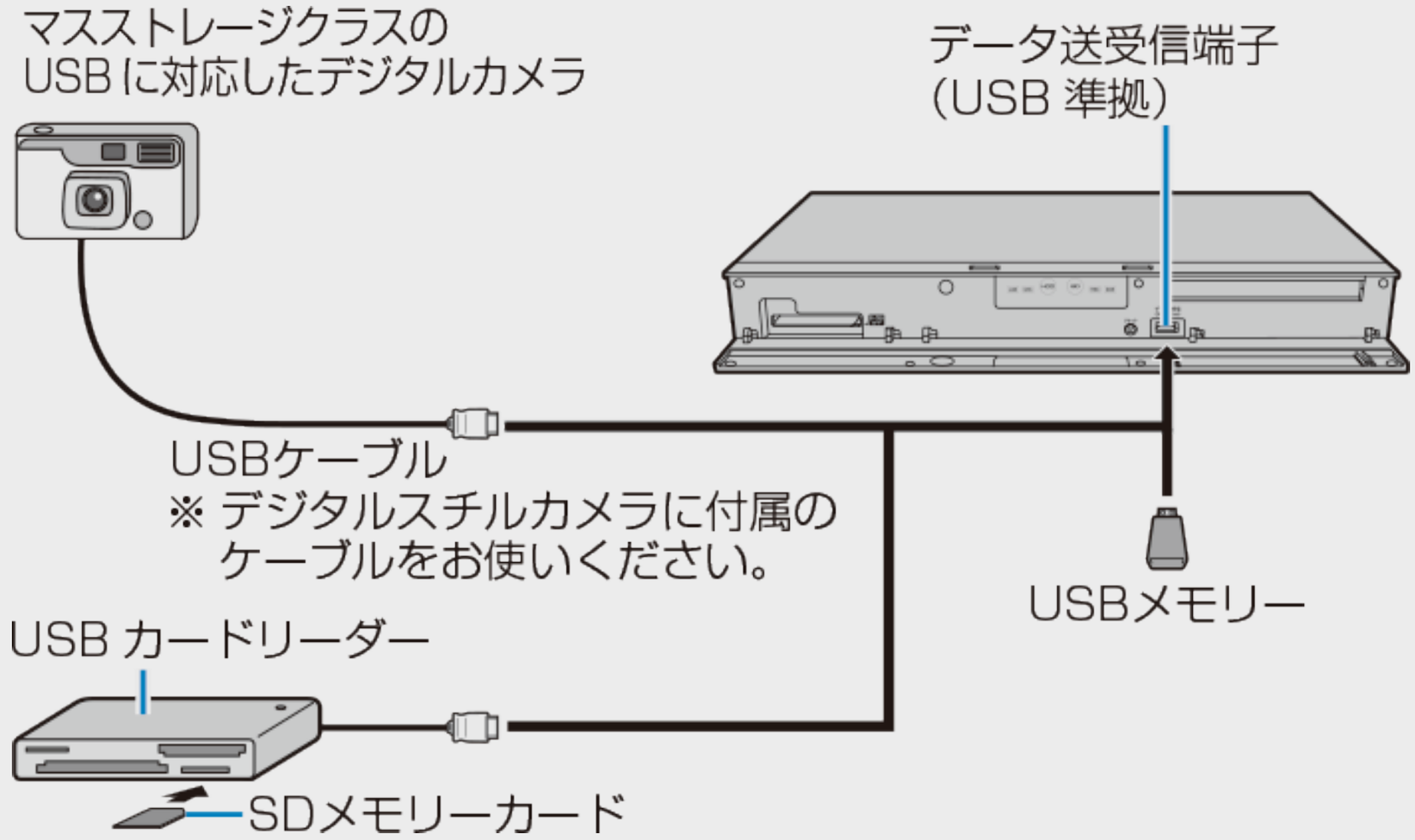
デジタルスチルカメラ

本機で写真を取り込む（フォトシステム）

デジタルスチルカメラ、USBメモリー、SDメモリーカードから写真を取り込む(つづき)

［準備］

①本体前面の扉を開きます
②デジタルスチルカメラ、USBメモリー、またはSDメモリーカードが装着されたUSBカードリーダーと本機のデータ送受信端子を接続します



次ページへつづく⇒

デジタルスチルカメラ

本機で写真を取り込む（フォトシステム）

デジタルスチルカメラ、USBメモリー、SDメモリーカードから写真を取り込む(つづき)

1. テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えます

2. デジタルスチルカメラを接続したときはカメラの電源を入れます

3. デジタルビデオカメラをUSBモードに切り換えます
   - 切り換え方法は、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

   ⇒しばらくすると、自動的に取り込み画面が表示されます。

4. 「 写真（JPEG）」を選んで決定します
   - 写真の取り込みが始まります。
   - 写真の取り込みが完了すると写真アルバム画面になります。
   - 「写真（JPEG）」を選んで決定すると、まだ内蔵HDD（ハードディスク）に取り込んでいない写真を、自動的に取り込みます。

■デジタルスチルカメラやSDメモリーカードに動画と写真がある場合に、動画を取り込みたいときや、動画しかないときは（→5-65ページ）

■動画を取り込んだあとに写真を取り込みたいときは
⇒「ホーム」―「ダビング」―「デジタルカメラ（USB接続）」を選んで決定します。（上記の手順4へ進みます）

BD−RE/−R、DVD−RW（写真フォーマット）の写真を内蔵HDDにコピーする

BD−RE/−R、DVD−RW（写真フォーマット）内の写真を、内蔵HDD（ハードディスク）にコピーすることができます。

お知らせ

- 内蔵HDD（ハードディスク）にコピーできる写真は、本機からコピーしたBD−RE/−Rとシャープ製レコーダーでコピーしたDVD−RW（写真用フォーマット）ディスクです。（内蔵HDD（ハードディスク）に保存されている写真と同じ写真は、コピーされません）
- BD−RE/−R、DVD−RWのフォルダ構成は内蔵HDD（ハードディスク）にコピーされません。

写真取り込みの際、次の場合はメッセージが表示されます。

- DVDに取り込む写真がない場合
  →新しい写真はありません
- 取り込みによって内蔵HDD（ハードディスク）が一杯になる場合
  →写真が一杯なのでこれ以上取り込めません。不要な写真を消去してください。
- ダビング予約の開始2分前
  →写真の取込を中断しました

次ページへつづく⇒

BD-RE/-R、DVD-RW（写真フォーマット）の写真を内蔵HDDにコピーする（つづき）

1. BD/DVD-RW（写真フォーマット）ディスクを挿入します

   DVD-RW（写真フォーマット）の場合
   - 内蔵HDD（ハードディスク）へ取り込むかどうかをたずねるメッセージが表示されます。「取り込む」を選んで決定します。
   - 写真の取り込みが開始され、表示部に取り込み枚数が表示されます。完了すると写真アルバム（HDD）が表示されます。
   - 取り込んだ写真はグループ化されます。
   - 「取り込まない」を選んだときは、内蔵HDD（ハードディスク）にコピーする操作は中止となります。取り込みを再開したいときは、ディスクを入れ直してください。
2. 【ホーム】ボタンを押し、ホーム画面から「写真アルバム」―「BD/DVD/CD」を選んで決定します

   各フォルダ単位で1枚目の写真が表示されます。
   - フォルダを選んで決定するとフォルダ内の写真が表示されます。
3. 「機能メニュー」を表示させ、「写真コピー」を選んで決定します

   【青】ボタンを押し【上下カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す
   - 手順2でグループを選んだときは、「この写真のみ」が「グループのみ」の表示に変わります。

次ページへつづく⇒

BD-RE/-R、DVD-RW（写真フォーマット）の写真を内蔵HDDにコピーする（つづき）

4. 「この写真のみ」または「一覧から選択」を選んで決定します

●選ばれている写真またはグループのみコピーしたいとき
- 「この写真のみ」または「グループのみ」を選んで【決定】ボタンを押します。さらに「する」を選んで決定すると、コピーが実行されます。

●複数の写真を選択してコピーするとき
- 「一覧から選択」を選び【決定】ボタンを押します。

5. 7-36ページ手順6から操作します。

デジタルスチルカメラ

内蔵HDDに保存した写真を見る

デジタルスチルカメラから内蔵HDD（ハードディスク）に取り込んだ静止画（写真）は、「ホーム」ー「写真アルバム」ー「HDD」で一覧表示させて確認することができます。

■画面表示



※ グループはアルバムの先頭に表示されます。

マーク	説明
NEW	まだ再生していない写真です。
	写真保護が設定されているときに表示されます。
	BDやUSBメモリーへの写真コピーやグループ作成、消去など、写真を複数選択するときに表示されます。
	グループ化された写真に表示されます。

次ページへつづく⇒

デジタルスチルカメラ

内蔵HDDに保存した写真を見る

■カラーボタンについて

カラーボタン	選択項目	できること	ページ
【青】ボタン 機能メニュー	スライドショー	再生する写真（「先頭の写真から」「この写真から」）を選択して、再生を開始します。	7−28
	消去	保存されている写真を消去します。	7−24
	写真グループ名設定	写真グループにお好きな名前をつけることができます。	7−22
	写真グループ作成	お気に入りの写真をグループ化して管理することができます。	7−17
	写真グループ解除	写真グループを選んだときは、グループのまとまりを解除します。グループ内の写真を選んだときは、選んだ写真のみがグループから解除されます。	7−19
	写真保護設定	今選ばれている写真を誤って消去しないように保護設定します。グループのときは「写真グループ保護設定」になります。	7−29
	写真コピー	内蔵HDDに保存されている写真を、BDやUSBメモリーにコピーして保存できます。	7−34

次ページへつづく⇒

■カラーボタンについて(つづき)

カラーボタン	選択項目	できること	ページ
【赤】ボタン 並べ換え	新しい順(撮影)	撮影日時の新しい順番に並べ換えます。	7-20
	古い順(撮影)	撮影日時の古い順番に並べ換えます。	
	新しい順(再生)	再生または取り込み日時の新しい順番に並べ換えます。	
	古い順(再生)	再生または取り込み日時の古い順番に並べ換えます。	
【緑】ボタン 写真再生設定	スライドショー速度	スライドショー再生時の写真表示の速さを設定します。	7-27
	リピート再生設定	スライドショーのリピート再生の設定をします。	
	ガイド表示設定	写真を再生したときの操作ガイドや、写真の情報を表示させるかを設定します。	

内蔵HDDに保存した写真を見る



写真を見るための基本操作

1. HDDモードを選びます
   【HDD/BD】ボタンを押す
   - 詳しくは「モードの切り換え」(→1-63ページ)をご覧ください。

2. 写真アルバム(HDD)を表示させます
   【ホーム】ボタンを押し、ホーム画面から「写真アルバム」—「HDD」を選んで決定する
   - 写真アルバム(HDD)が表示されます。

メモ

- 取り込んだ動画を見たいときは、【ホーム】ボタンを押し、「見る・編集」ーHDD(動画アルバム)を選択します。
- 録画リスト(HDD)で、【黄】動画アルバムでも選択できます。

次ページへつづく⇒

写真を見るための基本操作(つづき)

3. 見たい写真またはグループを選んで決定します

- グループには  マークが付いています。
- 写真アルバム(HDD)に戻るときは【戻る】ボタンを押します。
- グループを選んで決定したときは、グループ作成した写真一覧画面となります。
- 写真アルバム(HDD)に取り込んだ写真を見るとき、初めて見る写真は表示されるまで多少時間(数十秒間)がかかることがあります。一度見た写真は早く表示されます。
- 写真アルバム(HDD)で【前】ボタンまたは【次】ボタンを押すと、ページを戻す、または送ることができます。
- 【再生】ボタンを押すと、選んだ写真からスライドショー再生が始まります。
  再生中に最初の写真から再生するには【戻る】ボタンを押し、写真一覧画面で【青】ボタン(機能メニュー)を押します。「スライドショー」を選んで決定し、「先頭の写真から」を選び決定します。(→7-28ページ)

次ページへつづく⇒

デジタルスチルカメラ

内蔵HDDに保存した写真を見る

写真を見るための基本操作(つづき)

再生中の操作

●写真を回転させる

【緑】ボタンを押す

⇒左へ90度回転します。

【黄】ボタンを押す

⇒右へ90度回転します。

- スライドショー中でも静止画面でも回転させることができます。

●写真を消去する

【消去／3桁入力】ボタンを押す

⇒表示中の写真を消去します。(「する」を選んで決定します)

次ページへつづく⇒

写真を見るための基本操作(つづき)

再生中の操作(つづき)

● 操作ガイドの表示
【青】ボタンを押す
⇒操作ガイド表示の入／切をします。
- 画面の左上に「動作アイコン」、下側に操作できる機能とボタン(「操作ガイド」)を表示します。

● 写真切り換え
【左右カーソル】ボタン、【早戻し】ボタン、【早送り】ボタン、【前】ボタン、【次】ボタンを押す
⇒前後の写真に移動します。

● 写真情報の表示
【番組情報】ボタンを押す
- 写真情報のない項目は空欄となります。

次ページへつづく⇒

写真を見るための基本操作(つづき)

4. 写真を見終わったら

【停止／録画停止】ボタンを押す

- 【戻る】ボタンを押すと写真アルバム（HDD）画面に戻ります。

デジタルスチルカメラ

内蔵HDDに保存した写真を見る

写真をグループにまとめる

内蔵HDD（ハードディスク）に取り込んだ写真をグループに分けて整理します。

ご注意

- グループは保護されているとグループ作成できません。グループ保護解除してください。
（→7-29～7-30ページ）

1. 写真アルバム（HDD）で「機能メニュー」を表示させます

   【青】ボタンを押す

2. 「写真グループ作成」を選んで決定します

   ⇒写真選択画面表示

次ページへつづく⇒

写真をグループにまとめる(つづき)

3. グループにしたい写真を選びます
【上下左右カーソル】ボタンで選び【黄】ボタンを押す

● すでにあるグループに写真を追加したいとき
(1)先にグループ「 」を選択したあと、【黄】ボタンで決定します。
(2)追加したい写真を選び【黄】ボタンで決定します。
⇒選択した写真には「 」マークが付きます。

● 範囲を指定してグループ化するとき
(1)【青】ボタンを押して範囲指定画面を表示します。
(2)開始する写真を選んで【黄】ボタンで決定します。
(3)終了する写真を選んで【黄】ボタンで決定します。
⇒選択した写真には「 」マークが付きます。

- 【緑】ボタン(選択全解除)を押すと全ての選択が解除されます。
- 個々の写真を選択解除したいときは、【青】ボタン(個別指定)を押し、個別指定画面に戻してから【上下左右カーソル】ボタンで解除したい写真を選び【黄】ボタンを押します。押すたびに選択⇔解除となります。

4. グループ化を実行します
選択が完了したら【決定】ボタンを押す

次ページへつづく⇒

写真をグループにまとめる(つづき)

グループを解除する／任意の写真をグループから解除する

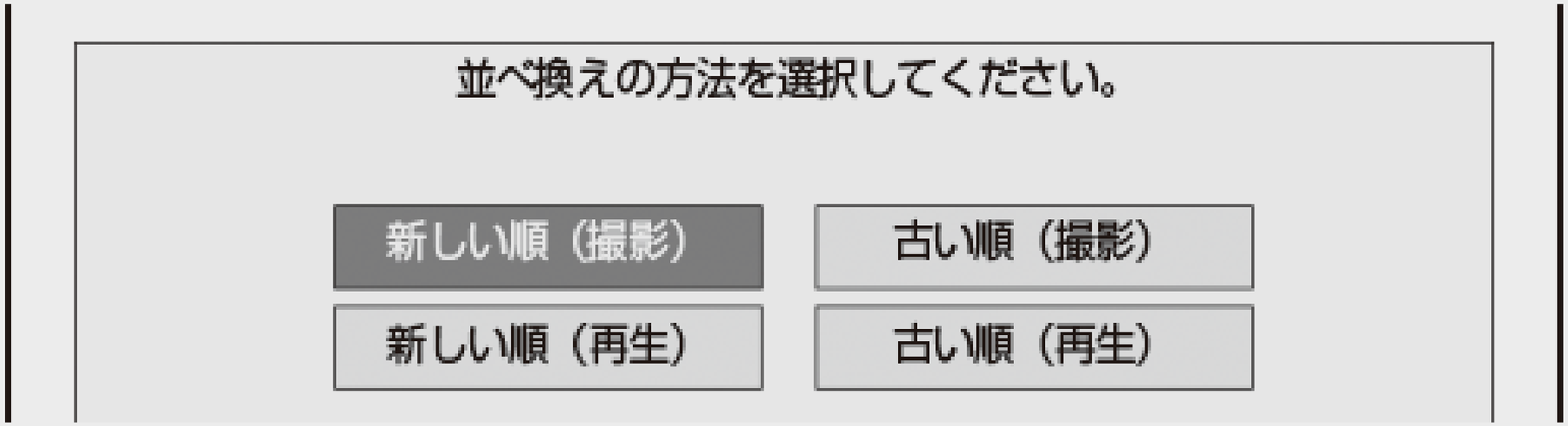
1. 写真アルバム(HDD)で解除したいグループ、またはグループ内の写真を選びます
2. 「機能メニュー」を表示させます
   【青】ボタンを押す
3. 「写真グループ解除」を選んで決定します
4. 「する」を選んで決定します

写真・グループを並べ換える

写真アルバム（HDD）の写真表示順序を並べ換え（ソート）します。

1. 写真アルバム（HDD）で、「並べ換え」を選びます

   【赤】ボタンを押す



- 並べ換え画面が表示されます。

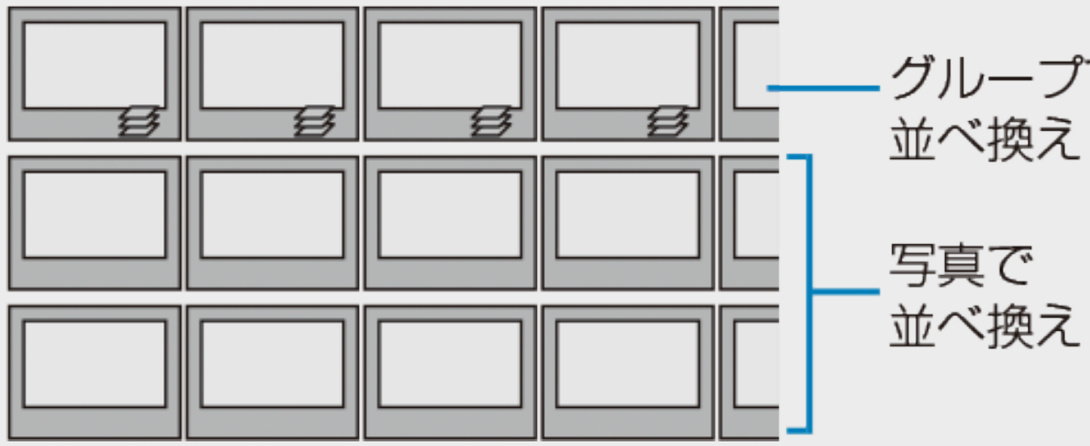
次ページへつづく⇒

写真・グループを並べ換える(つづき)

2. 並べ換え方法を選んで決定します

- 初期値は、古い順(撮影)に表示されます。
- 選択した並べ換え方法は保存され、次回も同様の順序で表示されます。
- グループは写真アルバム(HDD)の先頭に表示されます。
- グループと写真は、それぞれ選択された並べ換え順に表示されます。

例：グループがある場合



写真グループ名を設定する

写真グループにお好きなグループ名をつけることができます。

ご注意

- グループ保護されているグループは、保護解除しないとグループ名の設定はできません。
（→7-29～7-30ページ）

1. 写真グループを選んで「機能メニュー」を表示させます

   【青】ボタンを押す

2. 「写真グループ名設定」を選んで決定します

3. 「変更する」を選んで決定します

   - ソフトウェアキーボードが表示されます。

次ページへつづく⇒

写真グループ名を設定する(つづき)

4. 写真グループ名を入力します
   - 全角32文字まで入力できます。(「文字を入力する」→5-69ページ)
   - 記号を選択したとき、「/」「?」などの一部の半角記号は表示されません。
   - 写真グループ名入力時、区点コードは入力できません。

5. 手順2に戻ります

6. 終了します

【戻る】ボタンを押すと写真アルバム(HDD)に戻ります。
【終了】ボタンを押すとアルバムが終了します。

写真・グループを消去する

1. 写真アルバム（HDD）で消去したい写真またはグループを選んで「機能メニュー」を表示させます
   【青】ボタンを押す

2. 「消去」を選んで決定します

3. 「この写真のみ」「グループのみ」または「一覧から選択」を選んで決定します
   - 選ばれている写真またはグループを消去するときは、「この写真のみ」または「グループのみ」を選んで決定します。消去が実行されます。
   - 複数の写真またはグループを選んで消去するときは、「一覧から選択」を選んで決定します。手順4へ進みます。

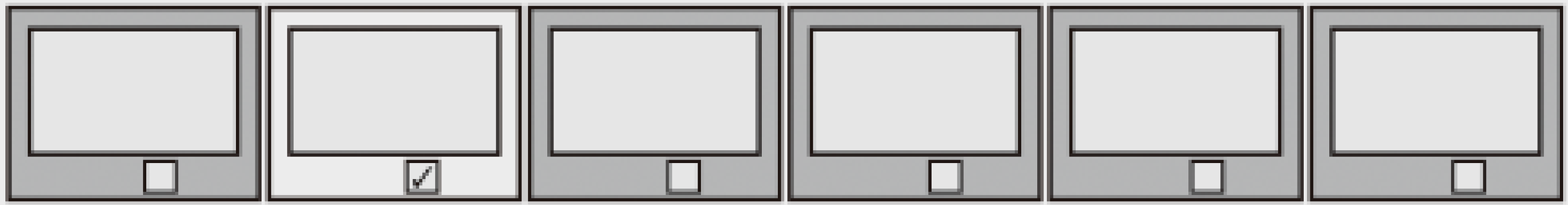
次ページへつづく⇒

写真・グループを消去する(つづき)

4. 消去したい写真を選んで【黄】ボタンで決定します

ヒント

- 複数の写真を選択できます。



⇒消去選択された写真には「☑」マークが付きます。

- 保護設定した写真は、消去できません。消去したい場合は保護解除してください。
(→7-29～7-30ページ)
- グループを選択したときは、グループ作成したすべての写真を消去します。
(保護設定した写真はのぞく)

● 範囲を指定して写真を消去するとき
(1)【青】ボタンを押して範囲指定画面を表示します。
(2)開始する写真を選んで【黄】ボタンで決定します。
(3)終了する写真を選んで【黄】ボタンで決定します。

- 個々の写真を選択解除したいときは、【青】ボタン(個別指定)を押し、個別指定画面に戻してから【上下左右カーソル】ボタンで解除したい写真を選び【黄】ボタンを押します。押すたびに選択⇔解除となります。

次ページへつづく⇒

写真・グループを消去する(つづき)

5. 消去を実行します
   【決定】ボタンを押す

6. 「する」を選んで決定します

7. 操作を終了します
   【終了】ボタンを押すとアルバムが終了します。

写真再生時の設定をする

1. 写真アルバム(HDD)で「写真再生設定」を選びます
   【緑】ボタンを押す

2. 設定したい項目を選んで決定します

項目	説明
スライドショー速度	「速め」「普通」「遅め」「ゆっくり」からスライドショーの写真表示速度を選びます。
リピート再生設定	スライドショーのリピート再生をするかしないか選んで決定します。
ガイド表示設定	「する」に設定すると、再生中に「操作ガイド」が常に表示されます。「しない」に設定すると、再生開始後約10秒間「操作ガイド」が表示され、自動的に消えます。

3. 設定を終了します
   - 【戻る】ボタンを押すと写真アルバム(HDD)に戻ります。
   - 【終了】ボタンを押すとアルバムが終了します。

写真を選択してスライドショーを見る

1. 写真アルバム（HDD）を表示させます

   【ホーム】ボタンを押し、ホーム画面から「写真アルバム」―「HDD」を選んで決定する

   - 写真アルバム（HDD）に取り込んだ写真を見るとき、初めて見る写真は表示されるまで多少時間がかかることがあります。一度見た写真は早く表示されます。

2. 写真を選択して「機能メニュー」を表示させます
   【上下左右カーソル】ボタンで選び【青】ボタンを押す

3. 「スライドショー」を選んで決定します

4. 「先頭の写真から」または「この写真から」を選んで決定します

   - スライドショー再生となります。
   - 写真アルバム（HDD）で写真を選択して【再生】ボタンを押すと、選択した写真からスライドショー再生が始まります。
   - リピート再生が設定されている場合、繰り返し再生します。
   - 一時停止するときは【一時停止】ボタンを押します。
   - 【再生】ボタンを押すと一時停止が解除されます。
   - 【停止／録画停止】ボタンを押すと写真アルバム（HDD）が終了し、放送視聴画面に戻ります。
   - 【戻る】ボタンを押すと写真アルバム（HDD）に戻ります。

デジタルスチルカメラ

内蔵HDDに保存した写真を見る

誤消去を防ぐために保護設定する

1. 写真アルバム（HDD）を表示させます

   【ホーム】ボタンを押し、ホーム画面から「写真アルバム」―「HDD」を選んで決定する

2. 保護したい写真、またはグループ化した写真を選びます

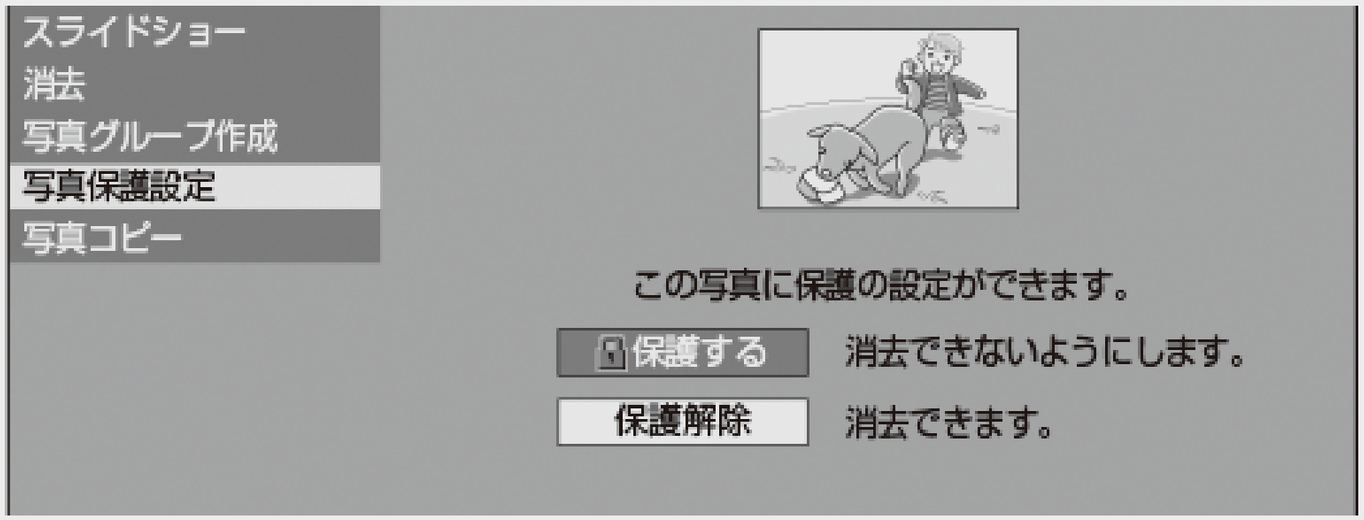
3. 「機能メニュー」を表示させます

   【青】ボタンを押す

次ページへつづく⇒

誤消去を防ぐために保護設定する(つづき)

4. 「写真保護設定」または「写真グループ保護設定」を選んで決定します
   写真保護設定の画面例



   - 「写真グループ保護設定」では、グループ化した写真の消去や変更をできないようにします。

5. 「保護する」を選んで決定します
   - 選ばれている写真が保護設定されます。
   - 保護設定された写真には マークが付きます。
   - 保護解除したいときは「保護解除」を選び【決定】ボタンを押します。
   - 【戻る】ボタンを押すと写真アルバム(HDD)に戻ります。

ディスク内の写真を再生する

シャープ製レコーダーで写真を記録したDVD-RWや、写真が記録されたBD-R/-RE、CD-R/-RWを再生する

1. 写真が記録されたディスクを挿入します
   - DVD-RW（写真フォーマット）ディスクを挿入したときは、「取り込まない」を選んで決定します。
2. 【ホーム】ボタンを押し、ホーム画面から「写真アルバム」―「BD/DVD/CD」を選んで決定します
   ⇒各フォルダ単位で1枚目の写真が表示されます。
   - 【緑】ボタン（写真再生設定）を押し、スライドショーやリピート再生設定を行うことができます。
3. 再生するフォルダを選んで決定します
   ⇒フォルダ内の写真が表示されます。
4. 【再生】ボタンを押します
   - スライドショー再生が始まります。
   - 決定を押すと選択した写真が再生されます。

次ページへつづく⇒

シャープ製レコーダーで写真を記録したDVD-RWや、写真が記録されたBD-R/-RE、CD-R/-RWを再生する(つづき)

■本機で再生できないファイル形式について

- JPEG以外の静止画（TIFFなど）は再生できません。
- JPEG形式でもファイルによっては再生できない場合があります。
- プログレッシブJPEGは再生できません。
- 動画ファイルや音声ファイル、またJPEGファイルであってもMOTION JPEGは再生できません。
- USBメモリーやSDメモリーカードに記録されている静止画を直接本機で再生することはできません。

■静止画を再生するとき、次のような場合があります。

- フォルダ数やファイル数、データの容量によっては、再生に時間がかかることがあります。
- EXIF情報は表示されません。EXIF（Exchangeable Image File Format）とは、主にJPEG圧縮で用いられる、画像ファイルに含まれる様々な情報を格納するための規格です。（詳しくはhttp://exif.orgをご覧ください）

次ページへつづく⇒

シャープ製レコーダーで写真を記録したDVD-RWや、写真が記録されたBD-R/-RE、CD-R/-RWを再生する(つづき)

■静止画を保存したCD-R/-RWディスクの再生について

- 音楽や映画などと静止画(JPEGファイル)が混在したディスクは、静止画(JPEGファイル)を再生できません。または、ディスクによってはまったく再生できません。
- 再生できるCDフォーマットは、ISO9660 level1と2(拡張フォーマットは除く)および、Joliet対応のみです。UDFフォーマットなど新たなフォーマットのディスクは再生できません。
- マルチセッション・ディスクは再生することができません。
- お手持ちのコンピュータで作成や修正、コピーなど、編集された静止画や、インターネット、メールなどから取り込んだ静止画は、再生できない場合があります。
- ファイル名やフォルダ名が半角英数字以外のときは、そのファイルやフォルダは認識できません。
- 本機は、次のようなデータが保存されたCD-R/-RWが再生できます。

EXIF情報を含んだ画像ファイル(「DCF」準拠のファイル)	
画像サイズ	最小縦32×最小横32～最大縦6400×最大横9600 ピクセル
フォルダ数	最大256
ファイル数	1フォルダ内最大256
ファイルサイズ	20MB以下
フォルダ階層	8階層のみ

デジタルスチルカメラ

内蔵HDDの写真をディスクにコピーする

写真データをBD-R/-RE、USBメモリーにコピーする

BD-R/-RE、またはUSBメモリーを用意します。
（→1-48ページ）

1. BD-R/-RE、またはUSBメモリーを挿入します

2. 写真アルバム（HDD）を表示させ、コピーしたい写真またはグループを選びます

   【ホーム】ボタンを押し、ホーム画面から「写真アルバム」―「HDD」を選んで決定する

   - グループ内の写真をコピーしたいときは、グループを選び決定します。グループ内の写真一覧画面になります。

3. 「機能メニュー」を表示させ、「写真コピー」を選んで決定します

   【青】ボタンを押し【上下カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す

   - 手順2でグループを選んだときは、「この写真のみ」が「グループのみ」の表示に変わります。

次ページへつづく⇒

写真データをBD-R/-RE、USBメモリーにコピーする(つづき)

4. コピー先「BD」または「USBメモリー」を選び決定します

5. 「この写真のみ」または「一覧から選択」を選んで決定します

●選ばれている写真またはグループのみコピーしたいとき
「この写真のみ」または「グループのみ」を選んで【決定】ボタンを押します。さらに「する」を選んで決定すると、コピーが実行されます。
●複数の写真を選択してコピーするとき
「一覧から選択」を選び【決定】ボタンを押し、手順6へ進みます。

次ページへつづく⇒

写真データをBD-R/-RE、USBメモリーにコピーする(つづき)

6. コピーしたい写真を選んで【黄】ボタンを押します
   - 選択された写真には「☑」マークが付きます。
   - 複数の写真、グループ化した写真を選択することができます。
   - 【黄】ボタンを押すたびに選択⇔解除となります。
   - 【緑】ボタン(選択全解除)を押すとすべての選択が解除されます。

     ● 範囲を指定して写真をコピーするとき
     (1)【青】ボタンを押して範囲指定画面を表示します。
     (2)開始する写真を選んで【黄】ボタンで決定します。
     (3)終了する写真を選んで【黄】ボタンで決定します。
   - 個々の写真を選択解除したいときは、【青】ボタン(個別指定)を押し、個別指定画面に戻してから【上下左右カーソル】ボタンで解除したい写真を選び【黄】ボタンを押します。押すたびに選択⇔解除となります。

7. 写真コピーを実行します

   【決定】ボタンを押す

8. 「する」を選んで決定します
   - 写真コピーを中断するには、【停止／録画停止】ボタンを押します。

次ページへつづく⇒

写真データをBD-R/-RE、USBメモリーにコピーする(つづき)

■本機でBD、USBメモリーに保存できる静止画(JPEGファイル)について

● 静止画(JPEG)ファイルについて

- 本機が保存できる静止画ファイルはJPEG形式の静止画ファイルです。
- 本機が保存できるJPEGファイルは「DCF」*準拠のファイルです。
- 「DCF」*準拠のJPEGファイルには、「.JPG」という拡張子が付いています。

＊「DCF」とは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の規格「Design rule for Camera File system」の略称です。主としてデジタルスチルカメラの画像ファイルを関連機器間で簡便に利用しあうことを目的として制定された規格です。ただし、「DCF」規格は機器間の完全な互換性を保証するものではありません。

本ロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。

お知らせ

- BDにコピーできる写真数は最大4000枚です。
- JPEG形式でもファイルによっては保存できない場合があります。
- フォルダ数やファイル数、データの容量によっては、コピーに時間がかかることがあります。
- ファイナライズを行ったディスクは、空き容量があっても写真の追加は行えません。ファイナライズは最後に行ってください。
- ファイナライズを行ったディスクはファイナライズ解除できません。

ホームネットワーク

インターネットの動画を楽しむ（4Kアクトビラ）

インターネットに接続し、「4Kアクトビラ」のコンテンツを楽しむことができます。

■インターネットの利用を制限するには

「ホーム」―「設定」―「通信機能設定」の「インターネット接続制限」（→10−47ページ）を「する」にすると、インターネットに接続できません。

- 「インターネット接続制限」の設定には暗証番号の設定が必要です。（→10−68ページ）

■クッキー（Cookie）を削除するには

「ホーム」―「設定」―「初期化・更新」の「個人情報初期化」（→10−54ページ）を行います。「個人情報初期化」を行うと、個人情報や予約内容、番組表データも消去されます。

次ページへつづく⇒

ホームネットワーク

インターネットの動画を楽しむ（4Kアクトビラ）

ヒント

- クッキー（Cookie）とは
  Webサイトから、本機に一時的に書き込まれる情報です。例えば、買い物ができるWebサイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれ、選んだ商品を確認するときや、商品の代金を計算するときに利用されます。

ご注意

- 動画をご覧になる場合、本機と回線終端装置をLAN接続してください。
  回線の使用状況や諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。
- 録画やダビング操作など同時動作を行なっている場合、一時的に画像の乱れや停止などが発生することがあります。
- 本機には、プロバイダーに接続するためのユーザーIDやパスワードを登録できません。接続に認証が必要なインターネット接続環境の場合は、ブロードバンドルーターに接続情報を登録してください。
- ホームネットワーク機能を使用中は、アクトビラは視聴できません。
- アクトビラ視聴中は、ホームネットワーク機能は使用できません。

ホームネットワーク

インターネットの動画を楽しむ（4Kアクトビラ）

必要な準備は

- ブロードバンド環境
- 本機のLAN接続
    - 有線LAN接続（→取扱説明書（付属品）17ページ）
    - 無線LAN接続（→9-67ページ、取扱説明書（付属品）18ページ）
- 本機のLAN設定
    - ネットワーク設定（かんたん設定）（→9-60ページ）
    - 有線LAN設定（→9-63ページ）
    - 無線LAN設定（→9-70ページ）

ヒント

- 4Kアクトビラをご利用になりたいときは、光回線（FTTH）が必要です。
- 4Kアクトビラをお楽しみになる場合は、インターネット回線は、実効速度40Mbps程度必要です。

ホームネットワーク

インターネットの動画を楽しむ（4Kアクトビラ）

4Kアクトビラとは

インターネットを利用してテレビ向けの情報を配信しているサービスです。「アクトビラ」が提供しています。サービスを楽しむための設定等はそれぞれのサービス画面に従い設定してください。また、一部有料のものがあります。

- 4Kアクトビラ
  インターネットのページ上で再生する映像コンテンツです。文字や写真と同時に映像も楽しめます。

お知らせ

- 本機は4Kアクトビラの「4K高画質」コンテンツには対応していません。

次ページへつづく⇒

ホームネットワーク

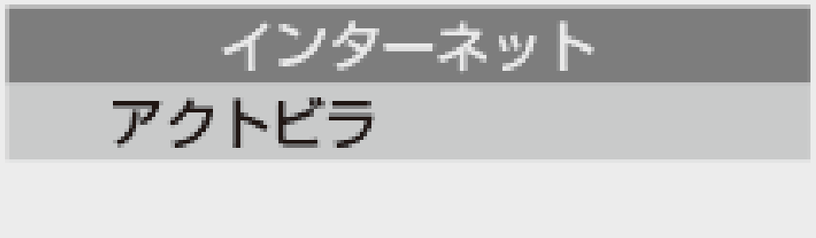
インターネットの動画を楽しむ（4Kアクトビラ）

4Kアクトビラとは(つづき)

4Kアクトビラを見る

1. 【インターネット】ボタンを押し、「アクトビラ」を選んで決定します

   【ホーム】ボタンを押し、ホーム画面の「インターネット」から「アクトビラ」を選んで決定しても4Kアクトビラを視聴できます。



- 選んだサービスの画面が表示されます。

次ページへつづく⇒

4Kアクトビラとは(つづき)

4Kアクトビラを見る(つづき)

2. 見たいコンテンツを選びます
    - 以降の操作は画面の表示に従って操作してください。例えば、【上下左右カーソル】ボタンで「再生」などの項目を選びます。
    - テレビの画面に戻すときは、【終了】ボタンを押します。
3. 頭出しや一時停止などの操作は、アクトビラ操作パネルでおこないます
    - アクトビラを終了するときは

(1) 【終了】ボタンを押します。
(2) 「する」を選んで【決定】ボタンを押します。

次ページへつづく⇒

4Kアクトビラとは(つづき)

アクトビラ操作パネルで操作する

「4Kアクトビラ」を再生しているとき、アクトビラ操作パネルを表示させ、一時停止、頭出しなどの操作も行えます。

1. アクトビラ操作パネルを表示させます

   【上下左右】いずれかのカーソルボタンを押す

   - アクトビラ操作パネルが表示されます。



   【左右カーソル】ボタンで選んで【決定】ボタンを押す

- 操作できるボタンは、動画コンテンツにより異なります。
- アクトビラ操作パネルはイメージです。画面に表示される操作パネルと異なる場合があります。

お知らせ

- アクトビラ操作パネルで操作したとき、つぎの動作に移るまで10秒程度時間がかかる場合があります。

ホームネットワーク

スマートフォン連携アプリケーションソフトについて

下記のアプリケーションソフトをスマートフォンなどにインストールすることで、BDレコーダーとの連携操作が行えます。

		スマートフォンの種類と対応アプリケーションソフト	
		Android™端末	iPhone/iPad iOS端末
機能名	Wi-Fi転送 • 本機に録画した番組や放送中の番組を別の部屋から視聴する。 （→8-19ページ）	AQUOSリモートプレーヤー	DiXiM Digital TV
	外からリモート視聴 • 本機に録画した番組や放送中の番組を外出先から視聴する。 （→8-28ページ）	AQUOSリモートプレーヤー	DiXiM Digital TV
	Wi-Fiダビング • 本機に録画した番組をスマートフォンにダビングする。 （→8-31ページ）	AQUOSリモートプレーヤー	DiXiM Digital TV

次ページへつづく⇒

ホームネットワーク

スマートフォン連携アプリケーションソフトについて

		スマートフォンの種類と対応アプリケーションソフト	
		Android™端末	iPhone/iPad iOS端末
機能名	ボイスリモコン • スマートフォンから本機をコントロールする。 （→9–77ページ）	レコーダーIPコントロール	レコーダーIPコントロール
	リモート予約 • 外出先から本機の録画予約をする。 （→9–85ページ）	AQUOSリモート予約	AQUOSリモート予約

アプリケーションソフトについて詳しくはシャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_smartphone.html）でご確認ください。

ホームネットワーク

スマートスピーカー対応について

- 本機をLANに接続することでスマートスピーカー（ Google Home ）で本機の基本的な操作が行えます。

お知らせ

- スマートスピーカーで本機を操作するにはスマートフォンに専用のアプリケーションソフトをインストールしてペアリングする必要があります。
  アプリケーションソフトについて詳しくは、シャープサポート・お問い合わせページでご確認ください。

シャープ サポート・お問い合わせ

シャープ　サポート・お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_smartphone.html

（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

◆スマートスピーカーで本機を操作する一部機能は2023年6月13日をもって終了しました。
詳しくは、シャープサポートページ・お問い合わせページ(https://jp.sharp/support/info/conversation_actions.html)をご確認ください。

スマートスピーカー設定をする

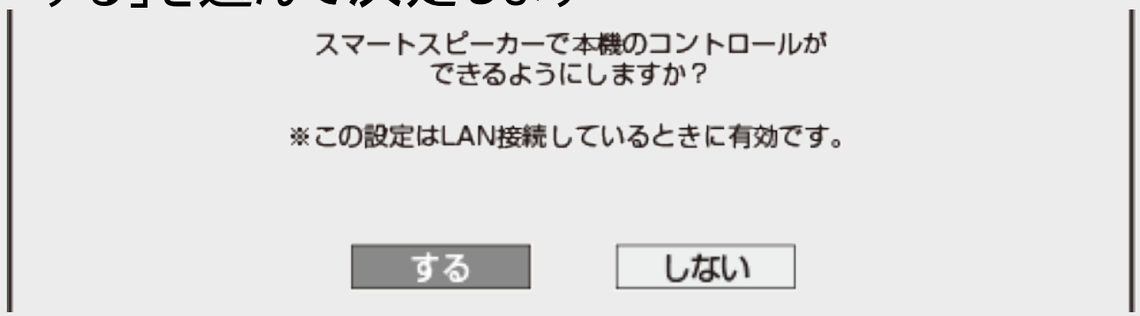
1. ホームメニューを表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

2. ①「🔧設定」を選んで決定します
   ②「📶通信機能設定」―「スマートスピーカー操作」を選んで決定します

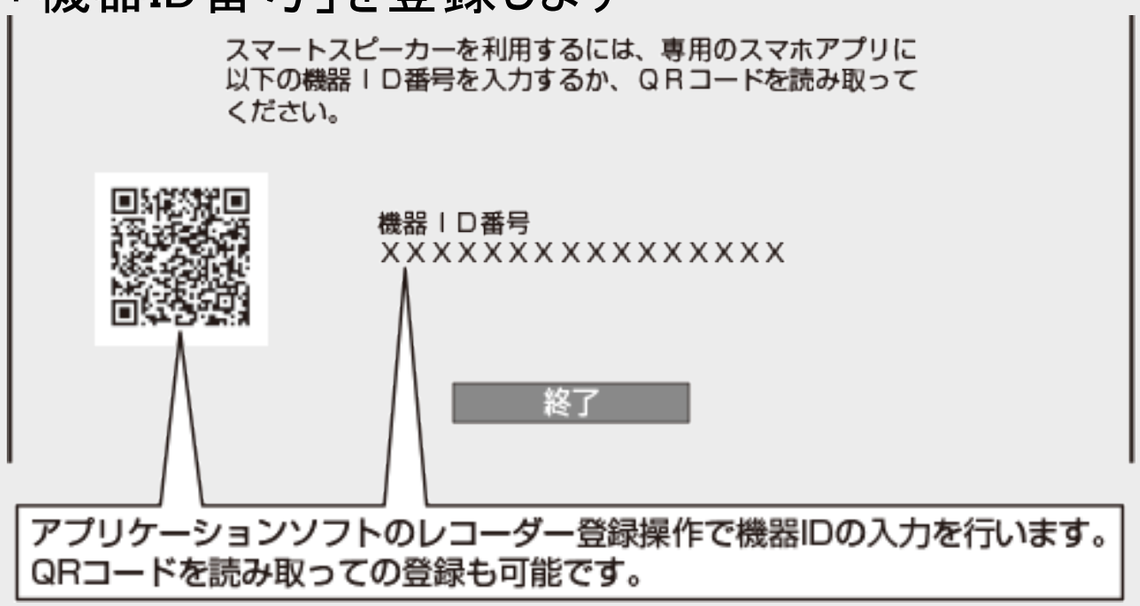
次ページへつづく⇒

スマートスピーカー設定をする（つづき）

3. 「する」を選んで決定します



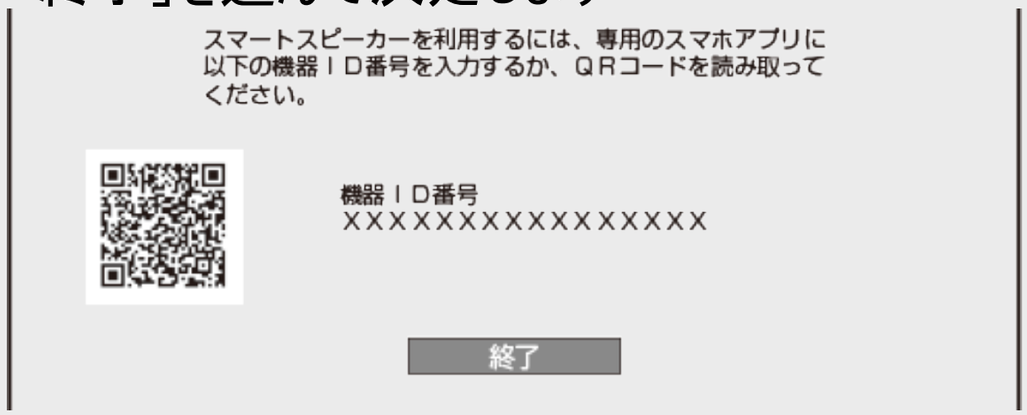
4. 「機器ID番号」が表示されますので、スマートフォンにインストールしたアプリケーションソフトを立ち上げ「機器ID番号」を登録します



次ページへつづく⇒

スマートスピーカー設定をする（つづき）

5. 「終了」を選んで決定します



6. 「スマートスピーカー」とリンク操作をします
   - リンク操作は、シャープサポート・お問い合わせページでご確認ください。

7. 操作ができるか確認します
   - （例）「電源ボタンを押して」「電源を入れて」など
     詳しくは、シャープサポート・お問い合わせページでご確認ください。



◆スマートスピーカーで本機を操作する一部機能は2023年6月13日をもって終了しました。
詳しくは、シャープサポートページ・お問い合わせページ(https://jp.sharp/support/info/conversation_actions.html)をご確認ください。

ホームネットワーク

スマートスピーカー対応について

本機をLANに接続することでスマートスピーカー（ Google Home ）で本機の基本的な操作が行えます。

レコーダーを操作

できること	音声操作例
電源操作	電源を入れて 電源を切って
番組表の検索	″ワールドカップ″を探して アニメの番組を教えて
録画番組の検索・再生	映画のタイトルを見せて→〇〇番を再生して 録画した″シャープ″の番組を教えて 昨日のドラマを再生して
再生操作	先頭に戻して 30分飛ばして

上記は一例です。詳しい設定や操作例はシャープサポート・お問い合わせページをご確認ください。

シャープ サポート・お問い合わせ

シャープ　サポート・お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_smartphone.html

（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

◆スマートスピーカーで本機を操作する一部機能は2023年6月13日をもって終了しました。
詳しくは、シャープサポートページ・お問い合わせページ(https://jp.sharp/support/info/conversation_actions.html)をご確認ください。

ホームネットワーク

ホームネットワークで楽しむ

本機をLAN（Local Area Network）に接続すると、ホームネットワーク機能を利用することができます。

ホームネットワーク機能とは

本機と別の部屋にあるホームネットワーク対応機器をLAN接続することで、ネットワークを通じて機器を操作し、映像と音声を送ることができます。

- ホームネットワーク機能でできること
  - 別の部屋にあるホームネットワーク対応のシャープ製液晶テレビ「AQUOS」やスマートフォンなどで本機の映像を見る。
  - LAN接続のスカパー! プレミアムサービスチューナー（または、スカパー! プレミアムサービス光チューナー）から本機に録画する。
  - ホームネットワーク対応、LAN接続のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスから本機に録画する。
  - ホームネットワーク対応のAQUOSに接続した外付けHDD、スカパー! プレミアムサービスチューナーやスマートフォンから、ネットワークを使って内蔵HDDへダビングできます。
  - AQUOSブルーレイから、ネットワークを使って内蔵HDD、外付けHDDへダビングできます。
    （SeeQVault-HDDへの直接ダビングはできません）

ホームネットワーク

ホームネットワークで楽しむ

必要な準備は

- ホームネットワーク対応機器が必要です。
- 動作確認済みの各対応機器についてはシャープ サポート・お問い合わせページでご確認ください。
  ー ホームネットワーク（動画再生） 対応のシャープ製液晶テレビ「AQUOS」（http://www.sharp.co.jp/support/aquos/doc/homenetwork.html）
  ー スカパー! プレミアムサービスチューナー（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_skphd_dub.html）
  ー ケーブルテレビ（CATV）ボックス（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_dlna_catv.html）
  ー AQUOSブルーレイ（http://www.sharp.co.jp/support/bd/）
- LAN接続でホームネットワークを利用する場合は、LAN接続とLAN設定が必要です。
- LAN接続
  - 有線LAN接続（→取扱説明書（付属品）17ページ）
  - 無線LAN接続（→9-67ページ、取扱説明書（付属品）18ページ）
- LAN設定
  - ネットワーク設定（かんたん設定）（→9-60ページ）
  - 有線LAN設定（→9-63ページ）
  - 無線LAN設定（→9-70ページ）

重要

- 無線LANを使用したときは、電波干渉や障害物等の影響でダビングや録画が不安定になる場合があります。そのようなときは、安定したダビングや録画を行うため、有線LANで接続してください。

次ページへつづく⇒

ホームネットワーク

ホームネットワークで楽しむ

ご注意

- 本機を無線LANでネットワーク接続している場合、無線LANのセキュリティ方式を「設定なし」（→9-72ページ）にするとホームネットワーク機能は使用できません。
- ホームネットワーク機能を利用し、ホームネットワーク（動画再生）対応のテレビから再生操作をするときは、本機の電源を「入」にしてください。本機の電源が切れているとテレビから再生が行えません。
- 「クイック起動設定」（→9-20ページ）を「する（常時）」に設定したときは、本機の電源を切った状態でも、ホームネットワーク対応のシャープ製液晶テレビ「AQUOS」から、内蔵HDDに録画したタイトルを視聴するための再生操作が行えます。
- 外付けHDDに録画したタイトルをホームネットワーク機能を利用して視聴する場合は、電源を「入」にしてから操作をしてください。
- アクトビラ視聴中は、ホームネットワーク機能は使用できません。

お知らせ

- 内蔵／外付けHDDに録画したタイトルを視聴できます。（SeeQVault-HDD、BD/DVDは視聴できません）
- ホームネットワークのみを利用するときは、プロバイダ契約は不要です。
- ホームネットワーク（動画再生）対応テレビやスカパー! プレミアムサービスチューナー（または、スカパー! プレミアムサービス光チューナー）、ホームネットワーク対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスと本機を直接LAN接続するときは、LANケーブルクロスタイプのご使用をおすすめします。
- 別売のネットワークアダプター「VR-NP1」をご利用になりますと、ホームネットワークに対応していないHDMI端子付きテレビでもホームネットワーク機能が楽しめます。

ホームネットワーク

ホームネットワークで楽しむ

ホームネットワークを設定する

1. ホームメニューを表示させます

   【ホーム】ボタンを押す

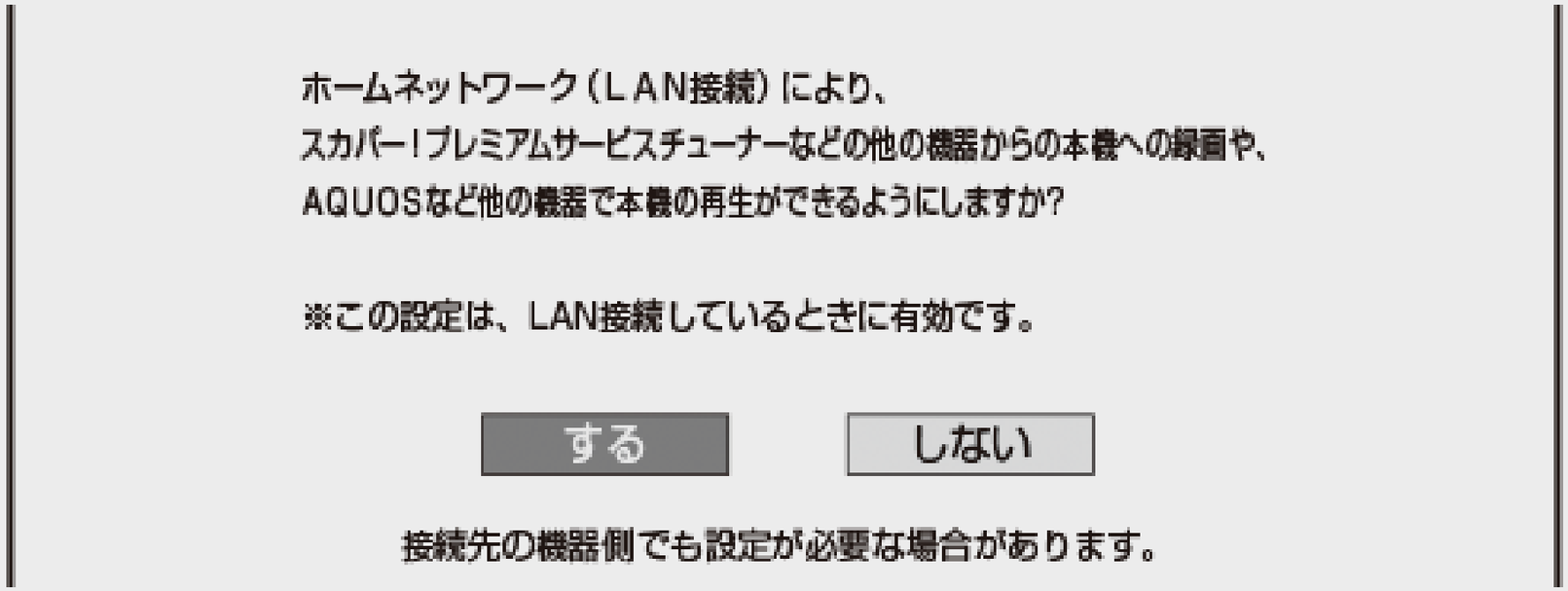
2. ①「設定」を選んで決定します
   ②「通信機能設定」—「ホームネットワーク設定」を選んで決定します

設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

ホームネットワークを設定する(つづき)

3. 「する」を選んで決定します



4. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

5. 接続先の設定をします

- ホームネットワークに対応したAQUOSと接続したとき、接続機器として本機を登録します。
- LAN接続のスカパー! プレミアムサービスチューナーやホームネットワーク対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスと接続したとき、録画機器として本機を登録します。
- 接続先の機器の設定については、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。

別の部屋にあるホームネットワーク対応機器で本機に録画した番組や静止画を見る

ホームネットワーク機能を利用すれば、他の部屋にあるホームネットワークに対応したシャープ製液晶テレビ「AQUOS」やスマートフォンなどで、内蔵／外付けHDDに録画したタイトルや静止画を見ることができます。（BD/DVDは視聴できません）

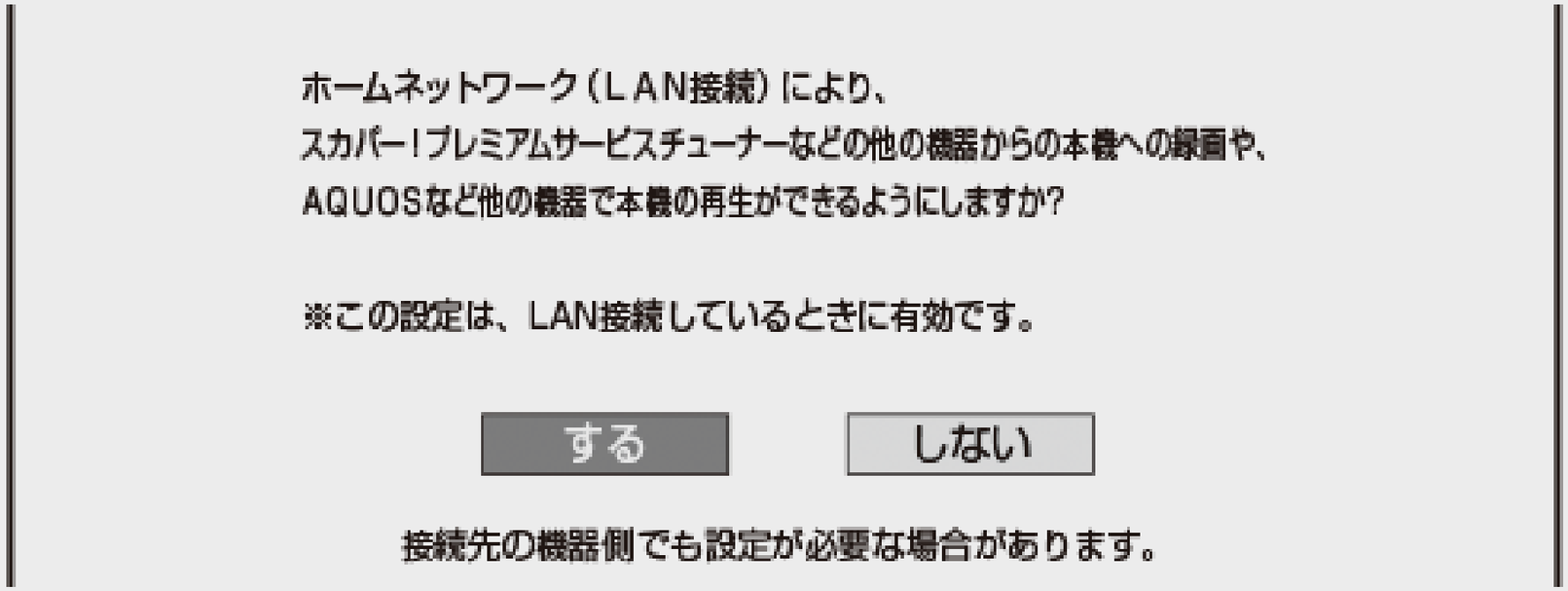
- 視聴できるのは1台のみです。同時に2台の機器で視聴することはできません。

1. ホームネットワーク（動画再生）に対応した機器をLANに接続します
    - 接続については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく⇒

別の部屋にあるホームネットワーク対応機器で本機に録画した番組や静止画を見る(つづき)

2. 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします



3. ホームネットワークに対応した機器で本機を設定します
   - 設定については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく⇒

別の部屋にあるホームネットワーク対応機器で本機に録画した番組や静止画を見る(つづき)

4. ホームネットワークに対応した機器で本機を視聴する操作を行います

操作については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機からホームネットワーク対応機器を操作することはできません。機器側から本機を操作してください。
- 本機に録画した番組(放送)をホームネットワーク対応機器で再生したとき、機器の再生能力によってはスムーズな再生映像とならない場合があります。
  お使いの機器の再生能力は、お使いの機器の取扱説明書でご確認ください。
- ダビング中のタイトルは、ホームネットワークで視聴することができません。
- Android端末をお使いの場合は、アプリケーションソフト「AQUOSリモートプレーヤー」で操作を行うことができます。詳しくはシャープ サポート・お問い合わせページ(http://www.sharp.co.jp/support/bd/)でご確認ください。

次ページへつづく⇒

別の部屋にあるホームネットワーク対応機器で本機に録画した番組や静止画を見る(つづき)

- iPhone/iPadをお使いの場合は、デジオン社のアプリケーションソフト「DiXiM Digital TV」で操作を行うことができます。アプリケーションの詳細については、デジオン社のホームページ(http://www.digion.com/)をご確認ください。(静止画は見られません)弊社は本アプリケーションに関して一切の責任を負いません。
- 「AQUOSリモートプレーヤー」、「DiXiM Digital TV」、をお使いの場合、2番組以上の録画中はスマートフォンからの再生はできません。また、スマートフォンの再生中に予約録画開始時間(録画開始2分前)になると再生は停止します。加えて、らくらく一発録画での2番組同時録画は実行できません。

ホームネットワーク

ホームネットワークで楽しむ

別の部屋にある機器で放送中の番組を視聴する

ホームネットワーク機能を利用すれば、他の部屋にあるホームネットワーク対応機器で、放送中の番組を視聴することができます。

- 視聴できるのは1台のみです。同時に2台の機器で視聴することはできません。
- 本機から放送番組を転送する際の画質を設定することができます。視聴映像がカクカクして見える、途切れたりする場合は、転送画質を変更することで視聴している映像が正常に見えることがあります。
- 対応機器については8-15ページに記載のホームページでご確認ください。

ご注意

- 本機からホームネットワーク対応機器を操作することはできません。機器側から本機を操作してください。
- 他の機器で視聴中は、内蔵HDDに放送を一時蓄積します。このため、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 本機のチューナーで選局できる番組のみ視聴することができます。LAN接続している機器の番組は視聴することができません。
- 本機で視聴可能な番組のみホームネットワークで視聴することができます。未契約の番組や録画禁止のコンテンツは視聴することができません。
- 本機の状態によっては予約録画開始2分前に、番組の転送を停止することがあります。
- 本機の電源を入れた状態、またはクイック起動待機状態（→9-20ページ）で視聴してください。
  視聴年齢制限された番組は視聴することができません。
- Android™端末をお使いの場合は、アプリケーションソフト「AQUOSリモートプレーヤー」で操作を行うことができます。詳しくはシャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/bd/）でご確認ください。

次ページへつづく⇒

別の部屋にある機器で放送中の番組を視聴する(つづき)

ご注意 (つづき)

- iPhone/iPadをお使いの場合は、デジオン社のアプリケーションソフト「DiXiM Digital TV」で操作を行うことができます。アプリケーションの詳細については、デジオン社のホームページ(http://www.digion.com/)をご確認ください。弊社は本アプリケーションに関して一切の責任を負いません。
- 「AQUOSリモートプレーヤー」、「DixiM Digital TV」、をお使いの場合、2番組以上の録画中はスマートフォンからの視聴はできません。また、スマートフォンの再生中に予約録画開始時間(録画開始2分前)になると再生は停止します。加えて、らくらく一発録画での2番組同時録画は実行できません。

次ページへつづく⇒

別の部屋にある機器で放送中の番組を視聴する(つづき)

1. ホームネットワーク対応機器をLANに接続します
   - 接続については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。
2. 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします
   →8-17ページ
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
3. ホームネットワーク対応機器で本機を設定します
   - 設定については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。
4. ホームネットワーク対応機器で本機を視聴する操作を行います
   - 操作については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

ホームネットワーク

ホームネットワークで楽しむ

転送動画の画質を選択する

ライブチューナー転送画質

電波状態が悪く（再生処理能力が低く）視聴映像がカクカクして見える、途切れたりする場合は、転送画質を低い画質に変更することで視聴している映像が正常に見えることがあります。

お知らせ

- 録画したタイトルは転送画質設定を行えません。録画されている画質で転送されます。

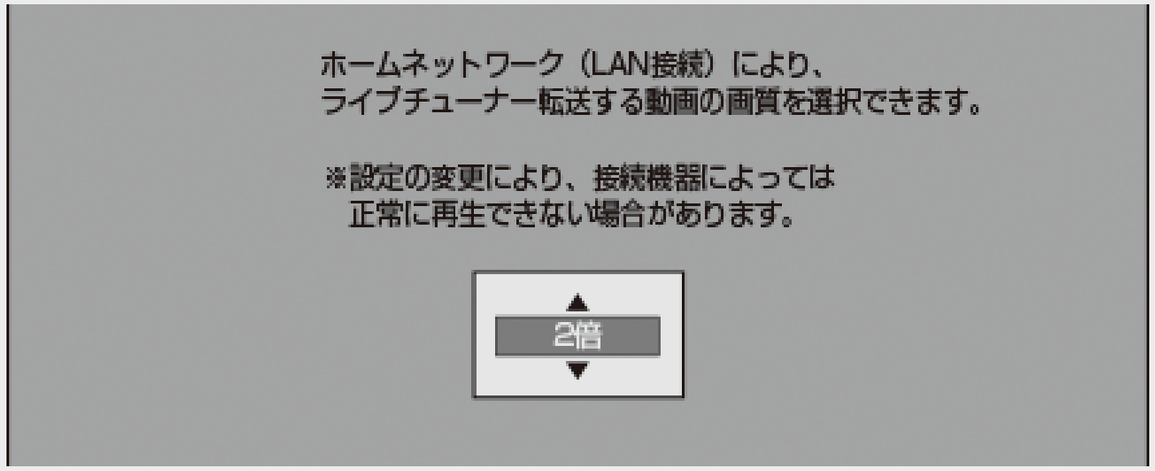
1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す
2. ①「設定」を選んで決定します
   ②「通信機能設定」―「ライブチューナー転送画質」を選んで決定します
   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

転送動画の画質を選択する(つづき)

ライブチューナー転送画質(つづき)

3. 転送する動画画質を【上下カーソル】ボタンで選択し、【決定】ボタンを押します



- 「DR」「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「10倍」から選択できます。（初期値は「2倍」です）

4. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

ホームネットワーク

ホームネットワークで楽しむ

外からリモート視聴をする

リモート視聴とは自宅の本機のハードディスクに録画してある番組や、本機のチューナーで受信できる放送中の番組を、外出先でもAndroid™端末（スマートフォン）、iPhone／iPadで視聴できる機能です。

- リモート視聴機能を使用するには、本機とスマートフォンやiPhone/iPadをインターネットに接続する必要があります。
- リモート視聴するには、宅内に無線LAN環境が必要です。スマートフォンやiPhone/iPadは、宅内の無線LANにWi-Fi接続してください。
- スマートフォンやタブレット端末に、専用アプリケーション（有償）が必要となります。
- Android™端末(スマートフォン)をご使用の場合は、「AQUOSリモートプレーヤー」（有償）が必要です。
- リモート視聴について詳しくはシャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/bd/info/remote_player.html ）でご確認ください。
- iPhone/iPadをご使用の場合は、デジオン社の「DiXiM Digital TV」（有償）が必要です。
- デジオン社の「DiXiM Digital TV」アプリケーションソフトを使用したリモート視聴操作の詳細については 、デジオン社のホームページ（http://www.digion.com/）をご確認ください。弊社は本アプリケーションに関して一切の責任を負いません。

次ページへつづく⇒

外からリモート視聴をする(つづき)

■専用アプリケーションソフト（有償）をダウンロードする前に

- ルーターの種類、または設定によってリモート視聴機能がご使用になれない場合があります。ご使用の前に、必ずお使いのルーターが推奨機種であるか、シャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/bd/info/remote_player.html ）でご確認ください。

スマートフォンのカメラで撮影した動画をレコーダーへダビングする

1. スマートフォンをLANに接続します
2. 8-25ページ「別の部屋にある機器で放送中の番組を視聴する」の手順2～3を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
3. スマートフォンで、本機をダビング先にしたダビング操作をします
   - ダビング操作については、スマートフォンのアプリケーションをご確認ください。

お知らせ

- 本機に対応するスマートフォンについては、シャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/bd/index.html）でご確認ください。

ホームネットワーク

ホームネットワークで楽しむ

本機で録画したタイトルをスマートフォンへダビングする

1. スマートフォンをLANに接続します
2. 8-25ページ「別の部屋にある機器で放送中の番組を視聴する」の手順2～3を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
3. スマートフォンで、本機に録画したタイトルを選び、ダビング操作をします
   - ダビング操作については、スマートフォンのアプリケーションをご確認ください。

お知らせ

- 転送用動画を作成していないタイトルをダビングしたときは、元の映像と同じ時間がかかります。
- 事前に転送用動画を作成（→3-49ページ）しておくと、ダビングにかかる時間が短くなります。
- 転送用動画を作成する場合の画質は、「ホーム」―「設定」―「録画・再生設定」―「転送用動画設定」（→10-5ページ）で設定できます。お使いの機器に合わせて画質を設定してください。
- 本機に対応するスマートフォンについては、シャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/bd/index.html）でご確認ください。
- Android™端末をお使いの場合は、アプリケーションソフト「AQUOSリモートプレーヤー」で操作を行うことができます（動画のみ対応）。詳しくはシャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/bd/）で御確認ください。
- iPhone/iPadをお使いの場合は、デジオン社のアプリケーションソフト「DiXiM Digital TV」で操作を行うことができます（動画のみ対応）。アプリケーションの詳細については、デジオン社のホームページ（http://www.digion.com/）をご確認ください。弊社は本アプリケーションに関して一切の責任を負いません。

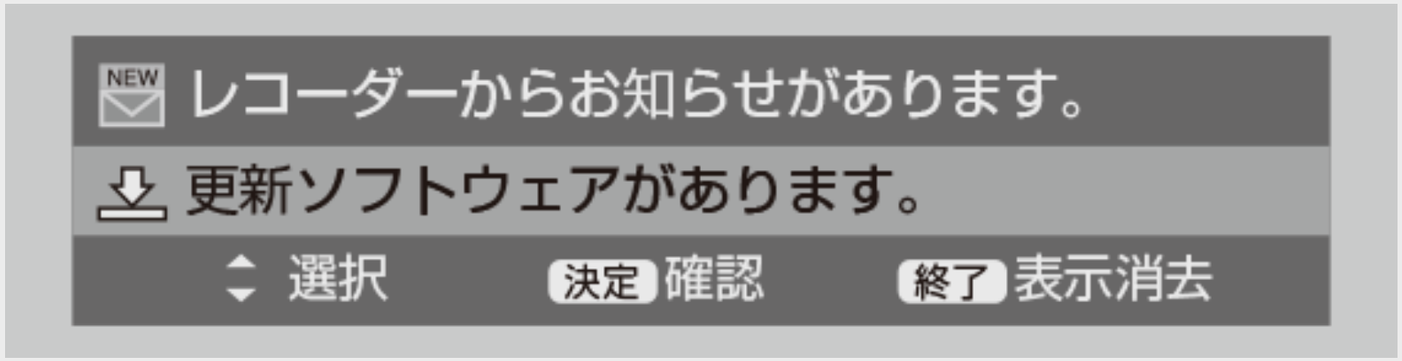
基本設定

本機から送られてくるメッセージや情報を見る（通知センター）

本機からのメッセージがあるときは通知センターが表示されます。

通知センターとは

通知センター画面例



HDDの残時間が少ないときや、本機からのお知らせがあるとき、ソフトウェアの更新があるとき、BDドライブのお手入れ時期となったときに、画面の左下にメッセージが表示されます。

お知らせ

- 通知センターを表示させたくない場合は、「ホーム」―「設定」―「本体設定」―「画面表示設定」の「通知センター設定」（→10-32ページ）で設定できます。

本機から送られてくるメッセージや情報を見る（通知センター）

HDD残量警告

HDDの残時間が少ないときに表示されます。

1. 通知センターから「HDDの残時間が〇時間未満です」を選んで決定します
   - メッセージの内容を確認します
     ⇒約5秒経過すると表示は消えます。
   - タイトルを削除（→4-125ページ）、BD/DVDや外付けHDDに移動（ムーブ）することをおすすめします。

次ページへつづく⇒

HDD残量警告(つづき)

通知センター表示（例）
HDDの残時間により、次のような表示が出ます。

通知センター表示	内容
HDDの管理情報が上限に達しています。	HDDの管理情報・タイトル数・チャプター数が上限に到達しているため、新たなタイトルを録画できません。
HDDに空きがありません。	HDDの残時間がありません。
HDDの残時間が1時間未満です。	現在の録画画質設定でHDDの残時間が1時間未満です。※1
HDDの残時間が5時間未満です。	現在の録画画質設定でHDDの残時間が5時間未満です。※1
HDDの残時間が少なくなっています。	HDDの残時間が不足しているため、自動録画が動作しない場合があります。
増設HDDの残時間が少なくなっています。	外付けHDDの残時間が不足しているため、自動録画が動作しない場合があります。

※1 残時間は、選択している録画画質のBSデジタル放送の場合の残時間です。

基本設定

本機から送られてくるメッセージや情報を見る（通知センター）

お知らせ確認

未読の受信メッセージ／受信機レポートがある場合に表示されます。

■受信メッセージ

放送局からのメッセージや情報を見ることができます。

■受信機レポート

以下のような、受信機に関係したレポートを読むことができます。

- 有料放送の課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したとき
- 予約を実行できなかったとき
- B-CASカードが壊れたとき

次ページへつづく⇒

基本設定

本機から送られてくるメッセージや情報を見る（通知センター）

お知らせ確認(つづき)

1. 「レコーダーからお知らせがあります」を選んで決定します
2. 「受信メッセージ一覧」または「受信機レポート」を選んで決定します

●「受信メッセージ一覧」を選んだとき
⇒見たいメッセージを選んで決定します。
- メッセージの内容を確認します。

●「受信機レポート」を選んだとき
⇒見たいメッセージを選んで決定します。
- 表示されたレポートの内容を確認します。

3. 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します
4. 設定を終了します

【終了】ボタンを押す

ソフトウェアの更新

ソフトウェア更新のメッセージが来ている場合、ソフトウェアを更新することができます。

- 「ホーム」―「設定」―「初期化・更新」の「ダウンロード設定」（→10-59ページ）が「する」の場合は自動で更新されます。

1. 「更新ソフトウェアがあります」を選んで決定します
2. ソフトウェアの更新を行います

●本機がインターネットに接続されていないとき
⇒「する」を選んで決定します。

- 以降は、電源待機中に放送波経由でソフトウェアをダウンロードし更新を行います。

⇒ソフトウェア更新（ダウンロード）中は「DATA」ランプが点灯します。

- 「クイック起動」機能は、ダウンロードを始める5分前になると一時的に解除されます。そのため、電源がすぐに入らない場合があります。

●本機がインターネットに接続されているとき
⇒「する」を選んで決定します。

- 最新のソフトウェアをネットワークサーバーからダウンロードし、更新を開始します。

重要

- データの更新中は、更新が完了するまで他の操作は行わないでください。
- データの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

BDドライブのお手入れ時期のお知らせ

BDドライブの使用時間がお手入れ目安になったときにお知らせします。

1. 「BDドライブのお手入れをおすすめします」を選んで決定します

2. 確認画面で内容を確認し「確認」で決定します

- 画面を確認すると次回のお手入れ時期となるまで表示は出ません。
- BDドライブのお手入れ方法について再度メッセージを確認したいときは、「ホーム」―「設定」―「かんたん設定」―「BDドライブのお手入れについて」で確認します。

基本設定

放送局から送られてくるメッセージや情報を見る

放送局からのメッセージや情報を見ることができます。

受信メッセージ確認

[準備]
テレビと本機の準備をします

→2-1ページ

1. ホーム画面を表示させます

   【ホーム】ボタンを押す

次ページへつづく⇒

受信メッセージ確認(つづき)

2. 「✉お知らせ」を選んで決定します

- 未読のお知らせがあるときは、「NEW」のマークが表示されます。
  【上下左右カーソル】ボタンで選び【決定】ボタンを押す



- 常時更新されていますので、「NEW」のマークが表示されているときは、メッセージをお読みください。

次ページへつづく⇒

基本設定

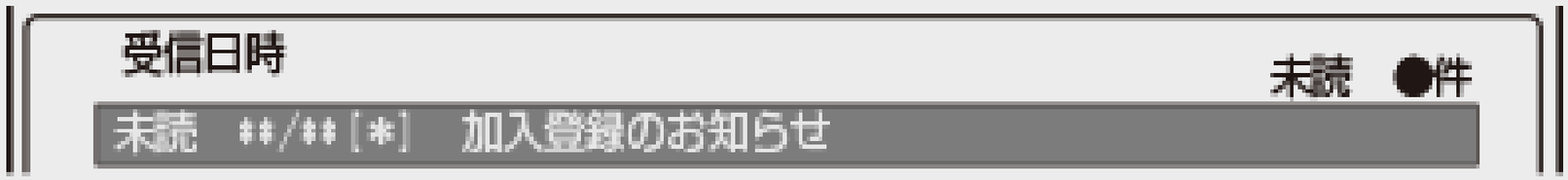
放送局から送られてくるメッセージや情報を見る

受信メッセージ確認(つづき)

3. 「受信メッセージ一覧」を選んで決定します

4. 見たいメッセージを選んで決定します

（例:「加入登録のお知らせ」を見る）

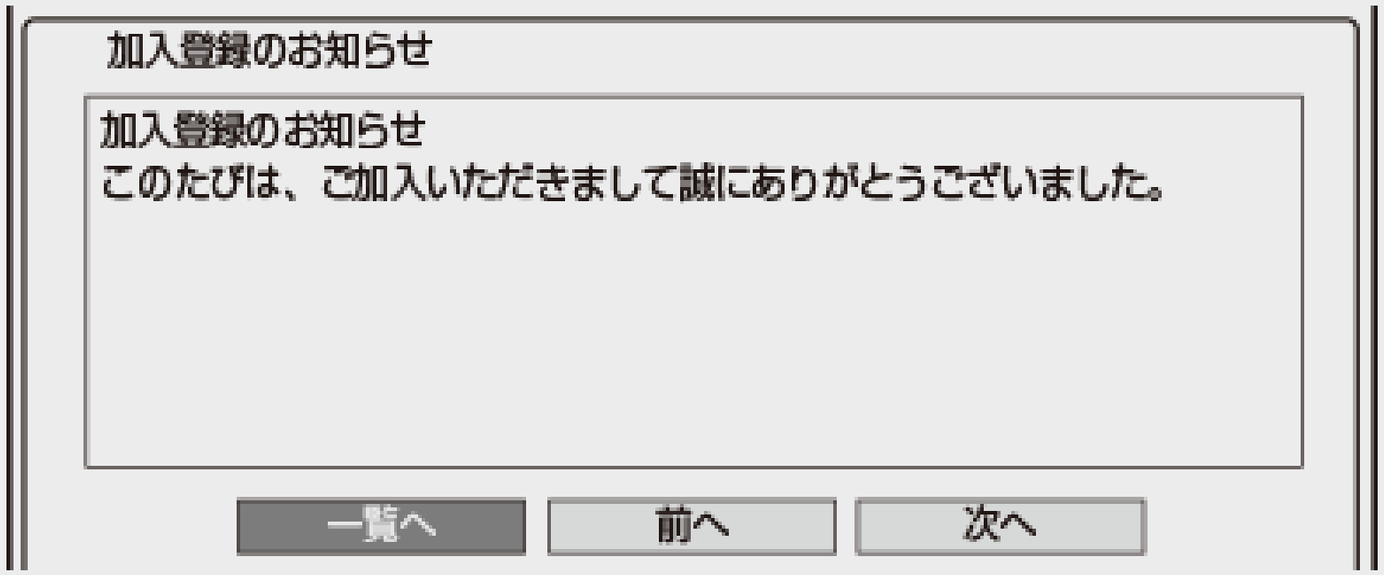


5. メッセージの内容を確認します

次ページへつづく⇒

受信メッセージ確認(つづき)

6. 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します



「一覧へ」　：　受信メッセージが一覧表示されます。
「前へ」　：　前のメッセージが見られます。
「次へ」　：　次のメッセージが見られます。

7. 設定を終了します

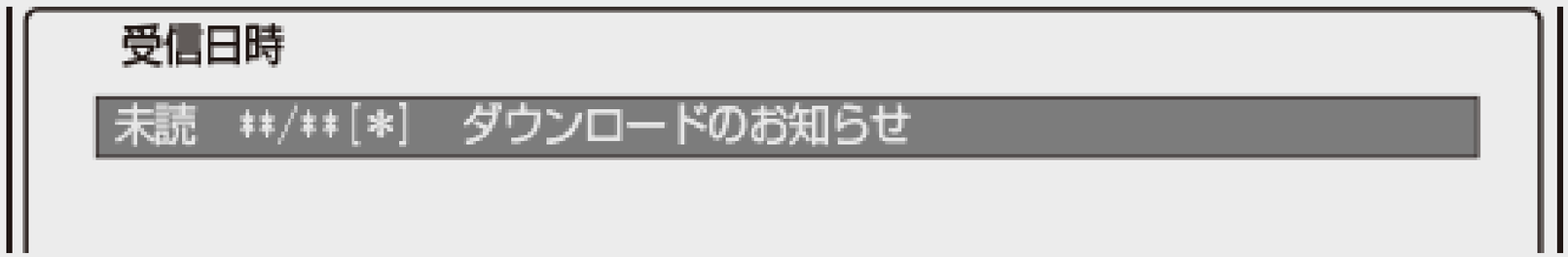
【終了】ボタンを押す

ダウンロードの手動実行

ダウンロードのお知らせメッセージが来ている場合、受信メッセージ一覧でソフトウェアを更新できます。

- 「ホーム」―「設定」―「初期化・更新」の「ダウンロード設定」（→10-59ページ）が「する」の場合は自動で更新されます。「しない」に設定している場合は、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」でソフトウェアを更新することができます。

1. 9-8～9-10ページ「受信メッセージ確認」の手順1～3を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
2. 「ダウンロードのお知らせ」を選んで決定します

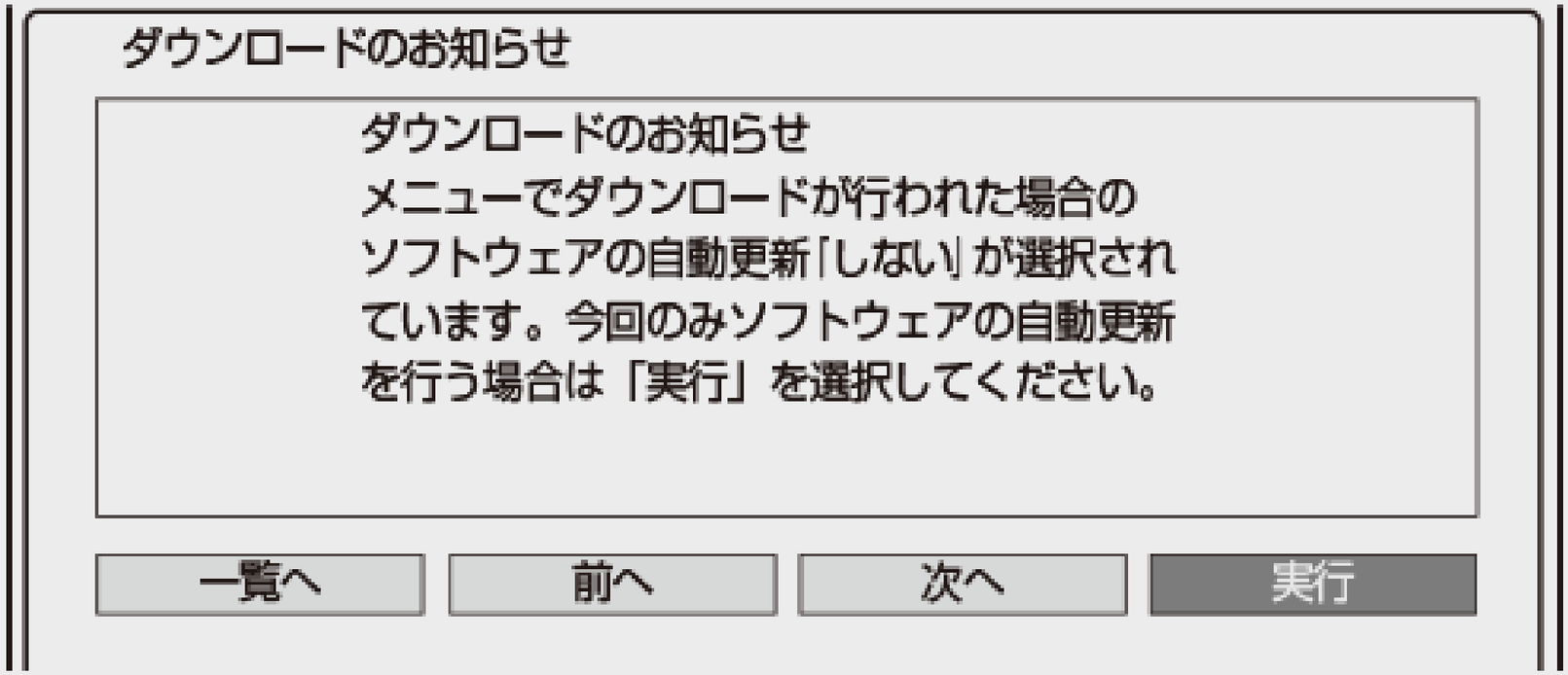


3. メッセージの内容を確認します

次ページへつづく⇒

ダウンロードの手動実行(つづき)

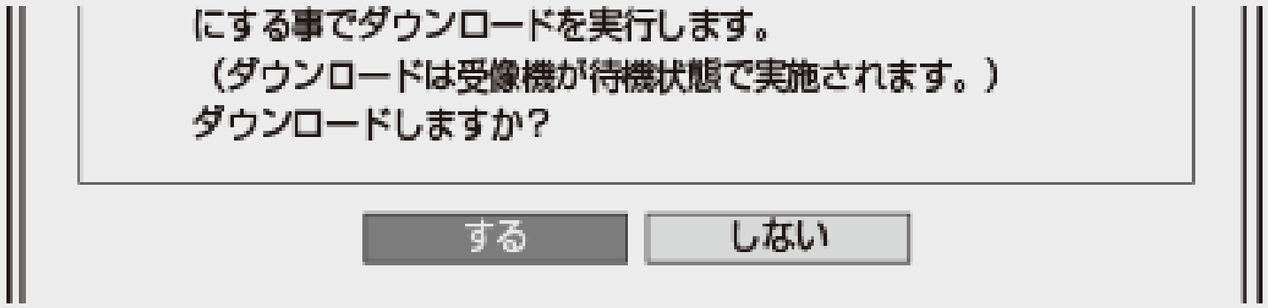
4.「実行」を選んで決定します



次ページへつづく⇒

ダウンロードの手動実行(つづき)

5. メッセージの内容を確認します
6. 「する」を選んで決定します



7. ディスクが本機に挿入されている場合は取り出し、リモコンの【電源】ボタンで本機の電源を切ります（電源待機状態にします）

⇒ソフトウェア更新（ダウンロード）中は「DATA」ランプが点灯します。

- 「クイック起動」機能は、ダウンロードを始める5分前になると一時的に解除されます。そのため、電源がすぐに入らない場合があります。

ボード（掲示板）確認（CS放送）／受信機レポート確認

■ボード

CS各ネットワークから送られてくるボード（掲示板）の情報を見ることができます。（ボード情報は消去することはできません）

■受信機レポート

以下のような、受信機に関係したレポートを読むことができます。

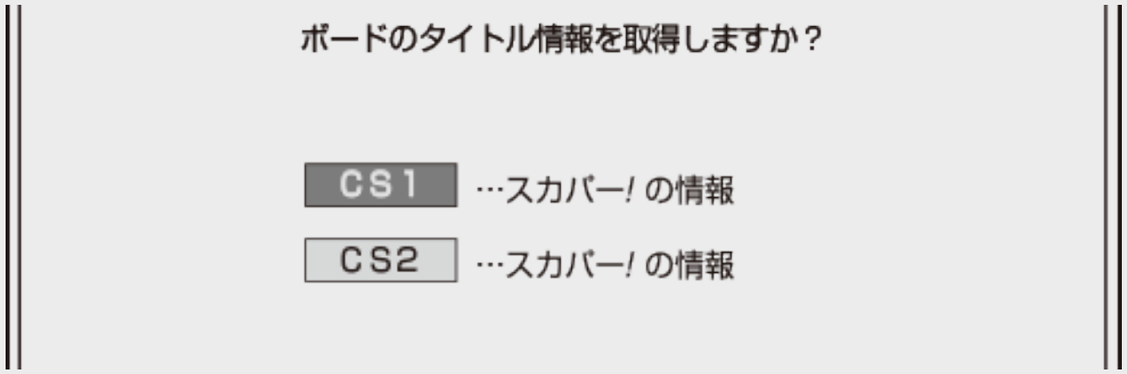
- 有料放送の課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したとき
- 予約を実行できなかったとき
- B-CASカードが壊れたとき

次ページへつづく⇒

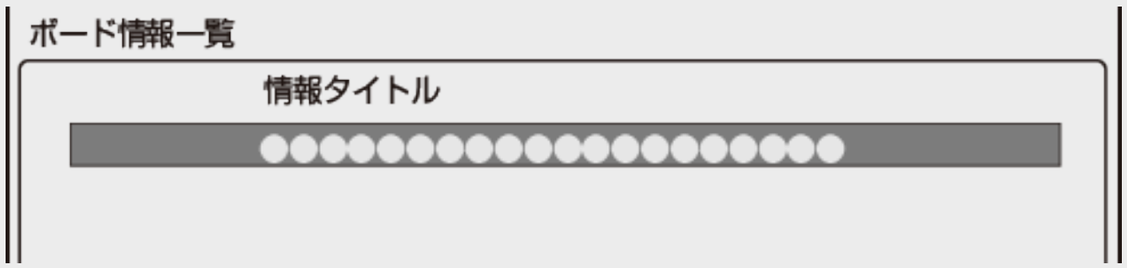
ボード(掲示板)確認(CS放送)／受信機レポート確認(つづき)

1. ホーム画面から「 お知らせ」を選んで決定します
2. 「ボード」または「受信機レポート」を選んで決定します

■「ボード」を選んだとき



⇒情報を見たいネットワークを選んで決定します



- メッセージの内容を確認します。

■「受信機レポート」を選んだとき

⇒見たいレポートを選んで決定します
表示されたレポートの内容を確認します。

次ページへつづく⇒

ボード(掲示板)確認(CS放送)／受信機レポート確認(つづき)

3. 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します
4. 設定を終了します

【終了】ボタンを押す

B-CASカード番号表示

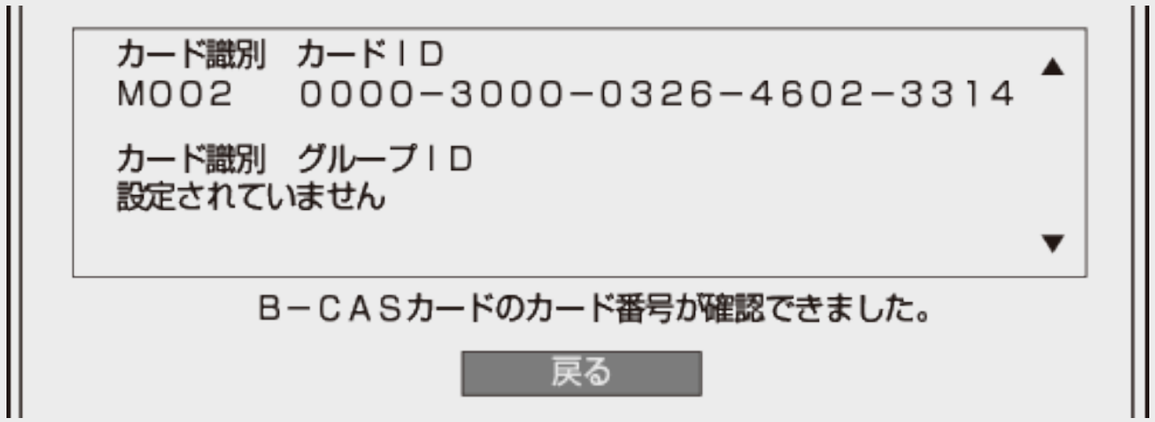
受信機レポートで報告された不具合に関して放送事業者のカスタマーセンターに連絡する場合には、B-CASカード番号が必要です。本機に挿入されているB-CASカード番号を表示します。

1. ホーム画面から「お知らせ」を選んで決定します
   - 詳しくは「受信メッセージ確認」(→9-8～9-9ページ)の手順1～2をご覧ください。
     確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
2. 「B-CASカード番号表示」を選んで決定します
3. 「実行」で決定します

次ページへつづく⇒

B-CASカード番号表示(つづき)

4. B-CASカード番号を確認します



「カード識別」: メーカー識別用のアルファベット1文字と3文字の数字からなります。
「カードID」　: カード固有の番号です。
「グループID」: 複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループIDが、異なるB-CASカードに書き込まれます。

5. 「戻る」で決定します
6. 設定を終了します
   【終了】ボタンを押す

ソフトウェアライセンス

- 「ソフトウェアライセンス」を選択すると、本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示することができます。

基本設定

クイック起動を設定する

- 待機状態からおもなボタンを押すだけで、すぐに起動するように設定できます。

ご注意

- 電源プラグを抜くときは、クイック起動を「しない」に設定してください。
- クイック起動の待機中は本体内部の回路がはたらいているため、後面の冷却ファンが回転するなどして、通常の待機（電源切）状態より消費電力が増加します。
- ダウンロードサービス時は開始5分前になると一時的にクイック起動が解除され、すぐに電源が入らない場合があります。
- クイック起動を「する」に設定すると、「しない」ときにくらべて待機時の消費電力が大きくなります。「する（時間指定）」の場合は、指定した時間帯以外で「しない」と同じ消費電力になります。

お知らせ

- 録画や再生操作は、クイック起動はできません。電源を入れてから操作してください。
- リモート予約設定で接続機器登録を行った場合は、クイック起動が自動的に「する（常時）」に設定されます。
- 接続するモニターや端子によってはクイック起動に多少時間がかかる場合があります。
- エコモード時はクイック起動は働きません。

次ページへつづく⇒

基本設定

クイック起動を設定する



1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

2. ①「 設定」を選んで決定します
   ②「 本体設定」―「クイック起動設定」を選んで決定します

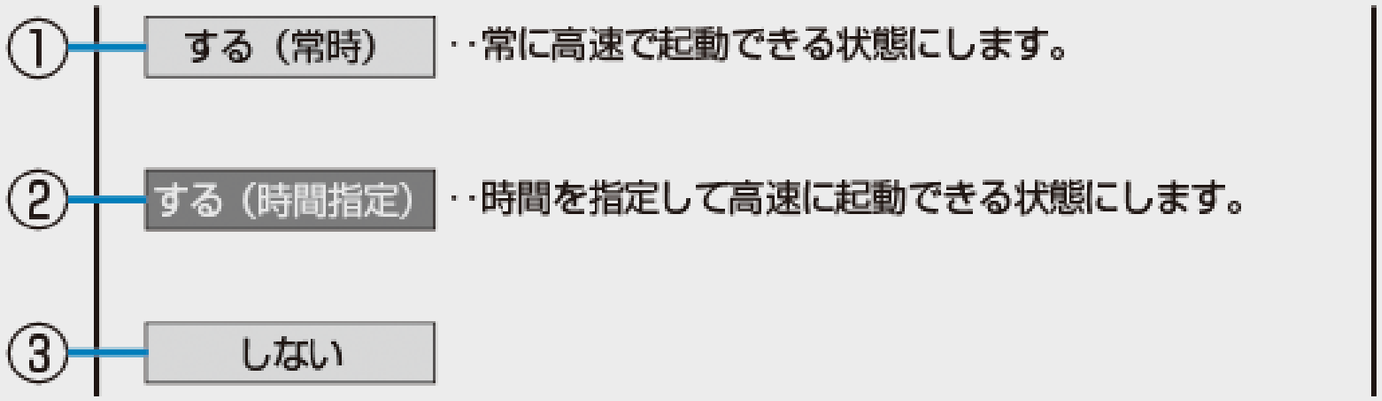
   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

基本設定

クイック起動を設定する

3. クイック起動を設定します



①電源が切れている状態から、「電源を入れる」「電子番組表を表示させる」「ホーム画面を表示させる」「録画リストを表示させる」などの操作がすぐに行えます。また、電源が入ったあと「録画」「再生」の操作がすぐに行えます。

②「する（常時）」と同じ操作が行える時間帯を3つまで設定できます。指定した時間帯以外は、待機時の消費電力を抑えるため「しない」と同じ状態で待機します。

③クイック起動しません。

- クイック起動を「する」に設定したときは、待機消費電力が増加します。
- クイック起動を「する（常時）」に設定しておくと、本機の電源を「切」にしていてもホームネットワーク機能を使って、ホームネットワーク（動画再生）対応のシャープ製液晶テレビ「AQUOS」から本機の再生操作が行えます。
- クイック起動を「する（常時）」に設定しておくと、本機の電源を「切」にしていてもスマートフォンからリモート予約が行えます。

次ページへつづく⇒

基本設定

クイック起動を設定する



4. クイック起動を設定します

【終了】ボタンを押す

⇒ クイック起動を「する」に設定したときは、
待機状態（電源切）で【電源】ボタン、【番組表／予約】ボタン、【ホーム】ボタン、【録画リスト／トップメニュー】ボタンのいずれかを押すと、すぐに操作ができるようになります。

基本設定

デジタル放送を視聴するための設定をする

引っ越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合、チャンネル設定が必要です。

デジタル放送設定のながれ

設定をする前にご確認ください。

デジタル放送用アンテナの接続とB-CASカードの準備はお済みですか？

● デジタル放送を視聴するときの接続をする →同梱取扱説明書

● B-CASカードを本機に挿入する →同梱取扱説明書24ページ

- 地上・BS・110度CSデジタル放送は、B-CASカードを挿入しないとご覧になれません。

1．地域と郵便番号を設定する →9-27ページ

- デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われている場合があります。
  お住まいの地域特有の放送が受信できるように、地域と郵便番号を設定してください。
- この設定は、地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する前に必ず設定してください。

次ページへつづく⇒

基本設定

デジタル放送を視聴するための設定をする

デジタル放送設定のながれ(つづき)

2. BS･110度CSデジタル放送を楽しむとき
BS･110度CS共用アンテナの設定をする
→9-30ページ
   - BS･CSアンテナ電源の設定をします。
   - 受信強度を確認し、アンテナの向きを調整します。

3. デジタル放送を楽しむとき
デジタル放送のチャンネル設定をして、電子番組表を受信する
   - 地上デジタル放送のチャンネルを自動で設定します。
→9-38ページ
   - 地上デジタル放送のチャンネル更新を有効にします。
→9-42ページ
   - 電子番組表(Gガイド)データを受信します。
→9-44ページ
   - デジタル放送のチャンネルを個別に設定します。
→9-47～9-52ページ

次ページへつづく⇒

デジタル放送を視聴するための設定をする

デジタル放送設定のながれ(つづき)

双方向番組に参加したい場合は

- デジタル放送では、テレビ上でのショッピングや、視聴者が参加できるクイズ番組なども放送されています。これらは、双方向通信を利用した番組です。
- 双方向番組はLAN接続で利用できます。

LANの設定をする

- LAN接続をします。→同梱取扱説明書
- 「デジタル放送接続制限」設定でLAN接続を(禁止)「しない」に設定します。→9-75ページ
  (工場出荷時は(禁止)「しない」に設定されています)
- LAN設定をします。→9-57～9-76ページ
  - ネットワーク設定(かんたん設定)→9-60ページ
  - 有線LAN設定→9-63～9-65ページ
  - 無線LAN設定→9-66～9-74ページ

お知らせ

- 通常のデジタル放送は、LAN接続を行わなくても楽しめます。

基本設定

デジタル放送を視聴するための設定をする

地域と郵便番号設定

お知らせ

- 地域と郵便番号の設定は、チャンネル設定前に必要な設定です。
- 緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送などは、地域によって放送内容が異なることがありますので、必ず地域設定を行ってください。

1. ホーム画面を表示させます

   【ホーム】ボタンを押す

2. ①「🔧設定」を選んで決定します

   ②「📺放送視聴設定」―「デジタル放送視聴設定」を選んで決定します

- 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

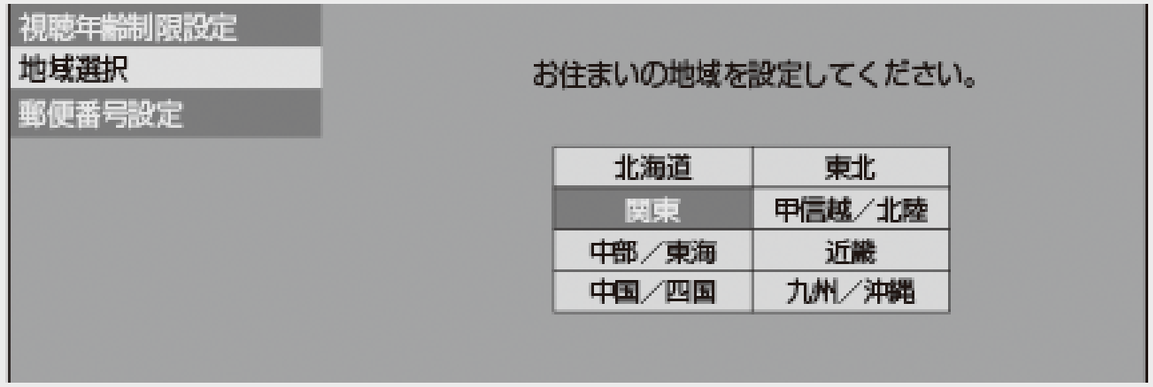
基本設定

デジタル放送を視聴するための設定をする

地域と郵便番号設定(つづき)

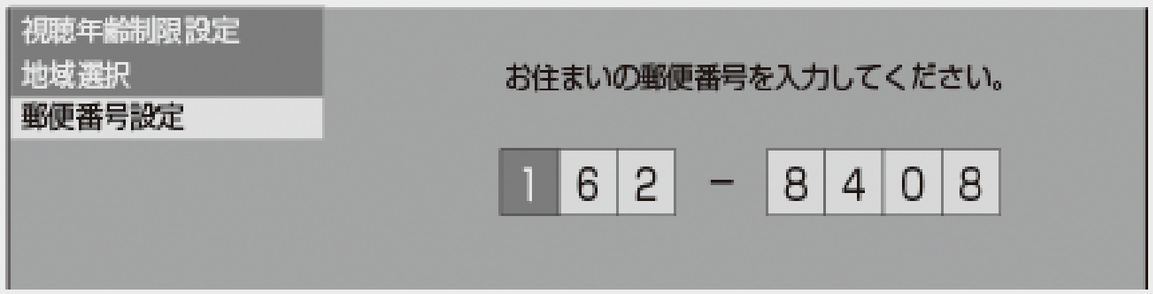
3. 「地域選択」を選んで決定します

4. 本機を使う地域を選んで決定します



5. 本機を使う都道府県を選んで決定します

6. 「郵便番号設定」を選んで決定します



次ページへつづく⇒

地域と郵便番号設定(つづき)

7. 郵便番号を入力して決定します

   【1】～【10】ボタンを押す
   - 入力を間違えたときは修正したい欄を選んで入力し直してください。
   - 「0」は【10】ボタンで入力します。
   - 【戻る】ボタンを押すと前の画面に戻ります。

8. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

基本設定

デジタル放送を視聴するための設定をする

BS・110度CS共用アンテナ設定

お知らせ

- BS・110度CS共用アンテナをはじめて設定した場合や引っ越しなどでアンテナを移動した場合は以下の設定が必要になります。
- 「受信強度表示」や「アンテナ電源設定」、「信号テスト」を選択しているときに表示される受信強度は、アンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な信号強度などを示すものではありません。

1. 「BSデジタル放送」を選局します
   【BS】ボタンを押す
   - 110度CSデジタル放送の場合は【CS】ボタンを押してください。
   - 画面に「放送が受信できません」と表示されても設定は行えます。

2. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

次ページへつづく⇒

BS・110度CS共用アンテナ設定(つづき)

3. ①「設定」を選んで決定します

   ②「放送視聴設定」―「アンテナ設定」を選んで決定します

   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。
   - 初期設定でBS・110度CS用アンテナ線の接続(→同梱取扱説明書)が設定済みの場合は、手順6に進んでください。

4. 「BS・CSデジタル」―「アンテナ電源設定」を選んで決定します

次ページへつづく⇒

BS・110度CS共用アンテナ設定(つづき)

5. 「 オート」または「入」、「切」を選んで決定します

「オート」

- 本体の電源が切れているときはアンテナ電源を「切」にします。電源が「切」でも、他の機器(テレビなど)からのアンテナ電源が供給されているときはアンテナ電源を「入」にします。電源入時は常にアンテナ電源を「入」にします。(工場出荷時の設定)

「入」

- 電源入／切にかかわらず常に電源を供給します。
- BS・CSアンテナへの電源供給を本機からのみ行うときは「入」に設定します。

「切」

- 共聴アンテナに接続している場合など、BS・110度CSアンテナへのアンテナ電源を供給する必要がないときに選びます。

次ページへつづく⇒

基本設定

デジタル放送を視聴するための設定をする

BS・110度CS共用アンテナ設定(つづき)

6. 受信強度が最大値になるようにアンテナの向きを調整します
   - 共聴タイプのアンテナの場合はこの操作は必要ありません。
   - 受信強度が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。
   - 詳しくは、販売店や電気工事店にご確認ください。

7. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

次ページへつづく⇒

BS・110度CS共用アンテナ設定(つづき)

アンテナの信号テストをするには

1. 9-30～9-31ページ「BS・110度CS共用アンテナ設定」の手順1～3を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
   - 地上デジタル放送の場合は手順1で【地上】ボタンを押してください。
2. 「BS・CSデジタル」―「信号テスト― BS」を選んで決定します
   - 地上デジタル放送の場合は「地上デジタル」―「信号テスト―地上D」を選んで決定してください。
   - 110度CSデジタル放送の場合は「BS・CSデジタル」―「信号テスト― CS」を選んで決定してください。

次ページへつづく⇒

BS・110度CS共用アンテナ設定(つづき)

アンテナの信号テストをするには(つづき)

3. 確認したい信号のチューナーを選んで決定します
- チューナーは、録画用のいずれかを選んで決定してください。

4. 確認したいチャンネルを選んで決定します
- 受信強度が60以上であることを確認してください。それよりも低い場合は、正常に受信できないことがあります。

5. 「終了」を選んで決定します

6. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

アッテネーター（減衰器）設定／BS・CS信号出力設定

BS・CS信号出力設定

- 本機と接続しているテレビがBS・110度CSデジタルチューナーを内蔵していないときは「しない」に設定することで待機時消費電力を抑えることができます。

アッテネーター（減衰器）設定

- 地上デジタル放送の電波が強すぎて、放送の映りが悪くなるとき、信号レベルを減衰させ、放送が映るようにするための設定です。
- 初期設定を行ったときは、自動でアッテネーターが設定されますので設定の必要はありません。
- 電波状態の確認は、「信号テスト」で確認できます。

次ページへつづく⇒

アッテネーター（減衰器）設定／BS・CS信号出力設定(つづき)

1. 9-30～9-31ページ「BS・110度CS共用アンテナ設定」の手順1～3を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

- 地上デジタル放送の場合は手順1で【地上】ボタンを押してください。

2. BS・CS信号出力設定をするとき
   (1)「BS・CSデジタル」―「信号出力設定」を選んで決定します
   (2)「する」または「しない」を選んで決定します
   - 「しない」に設定したときは、本機と接続しているテレビのBS・CS放送が映らなくなる場合があります。

   アッテネーターを設定するとき
   (1)「地上デジタル」―「アッテネーター設定」を選んで決定します
   (2)「入」を選んで決定します
   - 「入」に設定して、地上デジタル放送の映りが悪くなったときは「切」に設定しなおしてください。

3. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

基本設定

デジタル放送を視聴するための設定をする



地上デジタル放送のチャンネル自動設定

地上デジタル放送の受信にはUHFアンテナが必要です。

［準備］アンテナを接続します→同梱取扱説明書15ページ

1. リモコンの【地上】ボタンを押し「地上デジタル放送」を選局します
2. 地域と郵便番号の設定をします→9-27ページ
3. ホーム画面を表示させます

   【ホーム】ボタンを押す
4. ①「設定」を選んで決定します

   ②「放送視聴設定」―「チャンネル設定」を選んで決定します

   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

地上デジタル放送のチャンネル自動設定(つづき)

5. 「地上デジタル受信設定」を選んで決定します
6. 「チャンネルサーチ」を選んで決定します
7. 「する」を選んで決定します
8. 「全登録」を選んで決定します
   - 「追加登録」を選んだときは、追加された放送局を追加登録します。詳しくは「チャンネルの追加」(→9-53ページ)をご覧ください。

次ページへつづく⇒

地上デジタル放送のチャンネル自動設定(つづき)

9. テレビの設定を取得するか決定します

「する」

- ファミリンクに対応したテレビ(シャープ製)の設定情報を取得し、チャンネルをテレビと同じ設定にします。

「しない」

- テレビの設定を取得せずにチャンネルサーチを実行します。

「する」または「しない」を選んで決定

⇒ 自動設定が始まります。

- 自動設定を中止するときは「中止」で決定します。
- チャンネルが見つからないときは、アンテナやテレビと本機が正しく接続されているか確認してください。
- 自動設定を中止したときやチャンネルが見つからないときは、「再度実行」または「実行」で自動設定を再度行います。「終了」で手順6に戻ります。

次ページへつづく⇒

地上デジタル放送のチャンネル自動設定(つづき)

10. 「確認」または「終了」で決定します
11. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

基本設定

デジタル放送を視聴するための設定をする

地上デジタル放送のチャンネル更新設定

■地上デジタル放送のチャンネル更新（変更）について

- 地上デジタル放送のチャンネルが更新（変更）される場合があります。
  チャンネルが更新されたときは、チャンネルの更新に合わせてチャンネル設定を変更する必要があります。
- 本機は、「チャンネル更新設定」を「自動」に設定すると自動でチャンネル更新情報を取得し、更新開始日と更新開始日の翌日にチャンネルを自動で設定します。
- 通常は「自動」でご使用されることをおすすめします。

1. 9-38～9-39ページ「地上デジタル放送のチャンネル自動設定」の手順3～5を行います
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。
2. 「チャンネル更新設定」を選んで決定します
3. 「自動」を選んで決定します

次ページへつづく⇒

地上デジタル放送のチャンネル更新設定(つづき)

お知らせ

- チャンネル更新設定を「自動」に設定したとき
  - 設置直後に電源を切ったときは、約5分後に電源が入り更新情報を取得します。
  - チャンネル更新情報が更新されるたびに、本機の電源が入り更新情報を取得します。
  - 更新情報取得中は、「DATA」ランプが点灯します。
  - チャンネル更新当日と翌日に自動でチャンネルサーチを行いチャンネルを設定します。

基本設定

デジタル放送を視聴するための設定をする



地上デジタル放送の電子番組表データを受信する

お知らせ

- 「番組表取得設定」を「する」に設定し、設定した時刻に本機の電源が切のとき地上デジタル放送の電子番組表データを取得します。（地上デジタルは約20分、BSは約2時間かかります）
- 地上デジタル放送の各チャンネルを選局している間も、選んでいる放送局からそのチャンネルの番組表データが送られてきます。
- 電波状態（受信状態）によっては、電子番組表のデータを取得できない場合があります。
- 番組表が表示されない場合、受信できていないチャンネルを番組表で選んで【番組情報】ボタンを押しても番組表を受信できます。

1. 電子番組表を表示させます
   - 【番組表】ボタンを押す
2. 機能メニューを表示させます
   - 【ツール】ボタンまたは【青】ボタンを押す
3. 「番組表設定」を選んで決定します
4. 「番組表取得設定」を選んで決定します

次ページへつづく⇒



地上デジタル放送の電子番組表データを受信する(つづき)

5. 「する」または「しない」を選んで決定します

「する」

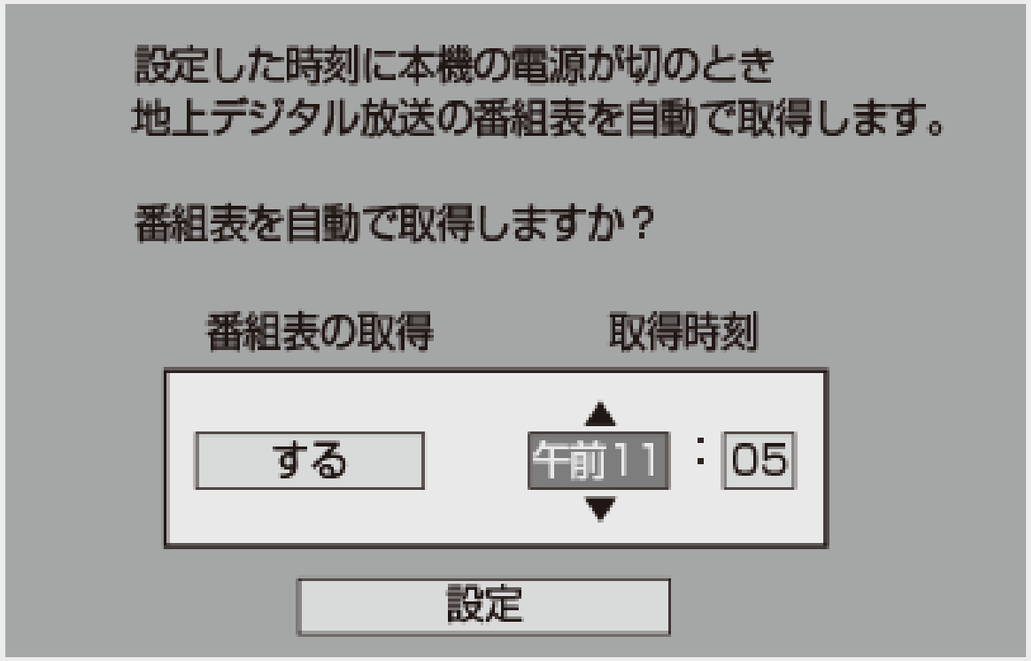
- 設定した時刻に電源が切であれば電子番組表データを取得します。

「しない」

- 視聴している放送局の電子番組表データだけを取得します。

6. 手順5で「する」にした場合、時刻を設定します

【左右カーソル】ボタンで選び【上下カーソル】ボタンで設定する



次ページへつづく⇒



地上デジタル放送の電子番組表データを受信する(つづき)

7. 「設定」を選んで決定します

8. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

9. 本機の電源を切ります

⇒「する」に設定した場合、指定した時刻に番組表データを自動受信します。

- 番組表データ受信中は「DATA」ランプが点灯します。(本機から動作音がします)

⇒ランプが消えるとデータ取得終了です。

- 電子番組表データを取得しおわると、本体内部の電源は自動的に切れます。(番組表データの取得には15分～90分程度かかります)

ヒント

- 指定した時刻に電源が入っているとき(自動録画中、予約録画中など)、または番組表取得中に電源を入れたときは、番組表取得ができません。この場合、次に電源を切った後、自動的に番組表を取得します。



チャンネルの個別設定

登録されたデジタル放送のチャンネルを確認し、登録先のリモコンの数字ボタンを変更したり、選局ボタンでの選局時にスキップするかどうか、あるいは地上デジタル放送のチャンネルに4桁目（枝番）がある場合の設定を行います。
工場出荷時、110度CSデジタル放送、データ放送（ラジオ放送）はリモコンの数字ボタンには登録されていません。

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

2. ①「設定」を選んで決定します
   ②「放送視聴設定」—「チャンネル設定」を選んで決定します
   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。
     確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

次ページへつづく⇒

基本設定

デジタル放送を視聴するための設定をする

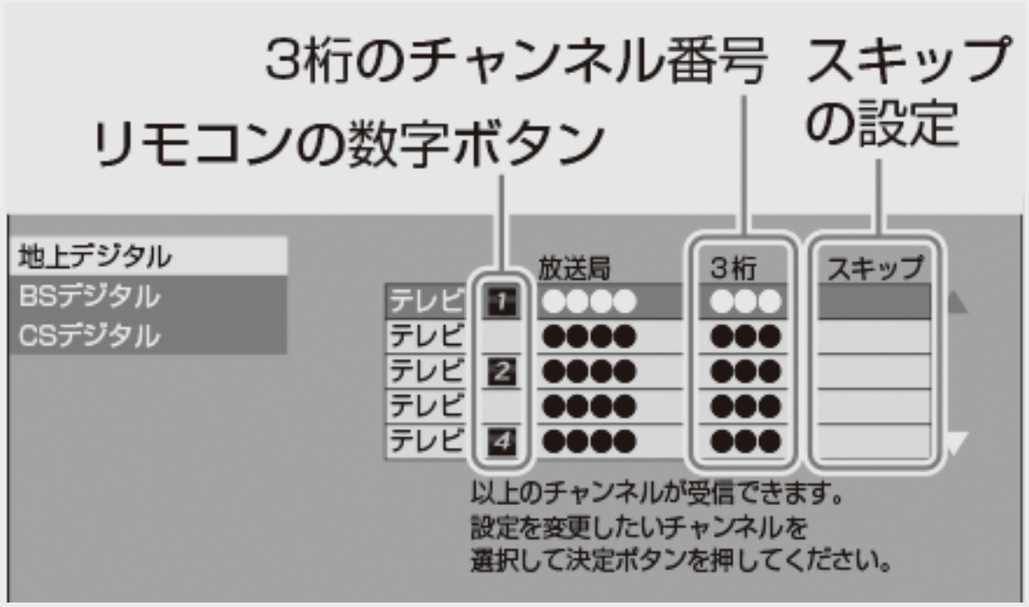


チャンネルの個別設定(つづき)

3. 「スキップ・リモコン番号」を選んで決定します

4. 目的のデジタル放送を選んで決定します

例：地上デジタル放送の場合



- 確認だけの場合は【終了】ボタンを押して設定を終わってください。

5. 変更したいチャンネルを選んで決定します

次ページへつづく⇒



チャンネルの個別設定(つづき)

登録先の数字ボタン変更

ここで選んだチャンネルを、お好きなリモコン番号に割り当てることができます。

6. 「数字ボタン」を選んで決定します

7. 変更したい番号を数字ボタン(【1】～【12】ボタン)で入力して決定します
   - 他のチャンネルの数字ボタンと重複した場合は「数字ボタンが重複しています。置き換えますか」画面が表示されます。置き換える場合は「確認」で決定してください。

8. 「確認」を選んで決定します

   ⇒数字ボタンの登録内容が変更されます。
   - 設定を終わる場合は【終了】ボタンを押します。

次ページへつづく⇒



チャンネルの個別設定(つづき)

視聴しないチャンネルのスキップ設定

手順5(→9-48ページ)で選んだチャンネルを、【選局】ボタンでの選局時にスキップさせることができます。

6. 「スキップ」を選んで決定します

7. 「する」を選んで決定します
   - 放送チャンネル一覧表のスキップ欄に「する」が表示されます。



   - 設定を終わる場合は【終了】ボタンを押します。

お知らせ

- スキップ設定をした後は、電源を一度切ってください。電源を再度入れるとチャンネルスキップが番組表にも反映されます。クイック起動を設定しているときは、電源ボタンを5秒以上押し続けエコモードで電源を切ってから、電源を入れてください。

次ページへつづく⇒

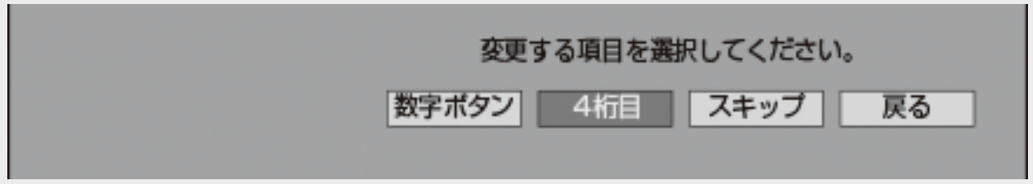


チャンネルの個別設定(つづき)

地上デジタル放送での4桁目(枝番)の変更

3桁チャンネル番号が重複している場合は4桁目(枝番)を変えて区別ができます。

6. 「4桁目」を選んで決定します



7. 変更する4桁目の数字を数字ボタン(【1】～【10】ボタン)で入力して決定します



- 4桁目(枝番)が重複した場合は「4桁目(枝番)を置き換えますか」画面が表示されます。置き換える4桁目(枝番)を入力して決定してください。
- はじめから4桁目(枝番)が「0」になっている場合は変更できません。

次ページへつづく⇒



チャンネルの個別設定(つづき)

地上デジタル放送での4桁目(枝番)の変更(つづき)

8. 「確認」を選んで決定します

⇒ チャンネルの4桁目が変更されます。

- 設定を終わる場合は【終了】ボタンを押します。

地上デジタル放送のチャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、チャンネルボタン(【1】～【12】ボタン)のチャンネル番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁のチャンネル番号は、放送地域内(都府県、北海道は7地域)ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、本機をお使いになる地域によっては、隣接する地域の放送も同じチャンネル番号で受信できることがあります。この場合は、さらにもう1桁を入力して選局することになります。その1桁の番号を「4桁目(枝番)」といいます。

基本設定

デジタル放送を視聴するための設定をする



チャンネルの追加

自動設定で登録した後に新たに開局した放送局を受信したい場合など、チャンネルを追加する場合の設定です。

1. ホーム画面を表示させます

   【ホーム】ボタンを押す

2. ①「設定」を選んで決定します

   ②「放送視聴設定」—「チャンネル設定」を選んで決定します

   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

3. 「地上デジタル受信設定」を選んで決定します

次ページへつづく⇒

チャンネルの追加(つづき)

4. 「チャンネルサーチ」を選んで決定します

5. 「する」を選んで決定します

6. 「全登録」または「追加登録」を選んで決定します
   - 「追加登録」を選んで決定すると、追加設定が始まります。新しいチャンネルが登録されます。
     ⇒ 手順8へ
   - 「全登録」を行うと、現在設定されているチャンネルをすべて登録し直します。
     ⇒ 手順7へ

次ページへつづく⇒

チャンネルの追加(つづき)

7. テレビの設定を取得するか決定します

「する」
- ファミリンクに対応したテレビ(シャープ製)の設定情報を取得し、チャンネルをテレビと同じ設定にします。

「しない」
- テレビの設定を取得せずにチャンネルサーチを実行します。

「する」または「しない」を選んで決定
⇒ 自動設定が始まります。
- 自動設定を中止するときは「中止」で決定します。
- チャンネルが見つからないときは、アンテナやテレビと本機が正しく接続されているか確認してください。
- 自動設定を中止したときやチャンネルが見つからないときは、「再度実行」または「実行」で自動設定を再度行います。「終了」で手順4に戻ります。

次ページへつづく⇒



チャンネルの追加(つづき)

8. 「確認」または「終了」で決定します

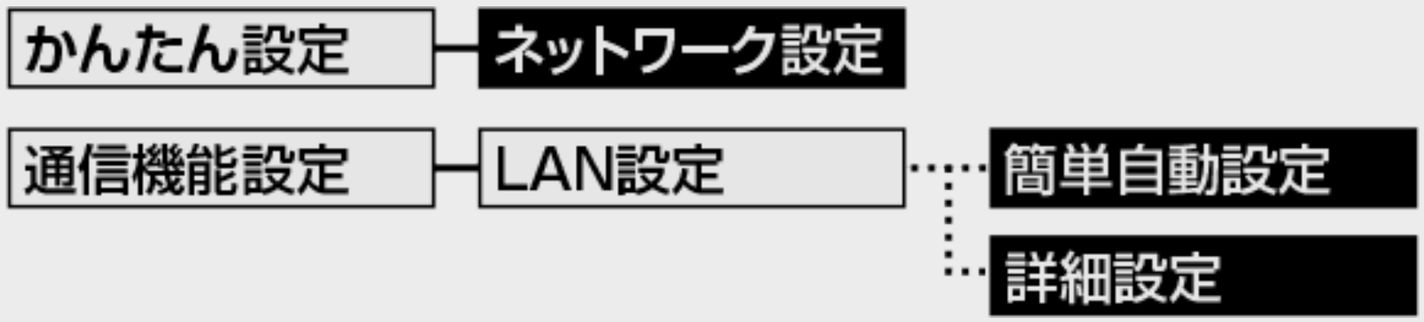
9. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

基本設定

LANの設定をする

LAN接続の方法は
→8-15ページ、
利用できるサービスは、
4Kアクトビラ
→8-1ページ、
ホームネットワークなど
→8-14ページをご覧ください。

有線LANまたは無線LANの接続設定は、次の設定項目で行います。



ネットワーク設定　…　LANを自動で設定し、ホームネットワーク機能の有効/ 無効を設定します。
簡単自動設定　…　LANを自動で設定します。
詳細設定　…　LANを手動で設定します。

次ページへつづく⇒

基本設定

LANの設定をする

DHCPサーバー機能のない(使用していない)モデムまたはルーターをお使いの場合は、本機の情報を入力します。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。確認後、メモしておくことをおすすめします。

- IPアドレス
- ネットマスク
- ゲートウェイ

DNSのアドレス

- プライマリ
- セカンダリ

次ページへつづく⇒

基本設定

LANの設定をする

ご注意

- プロバイダとインターネット接続の契約をしていない場合は、LAN接続での双方向サービスが楽しめません。
- 無線LANで接続する場合、本機でセキュリティ設定を行わないと、ホームネットワークはご使用できません。

お知らせ

- 電源を入れた状態でLANケーブルを接続したときは、回線接続ができない場合があります。



ネットワーク設定（かんたん設定）を行う

ご注意

- 「かんたん設定」—「ネットワーク設定」でLAN設定ができなかった場合は、「通信機能設定」—「LAN設定」で手動のLAN設定を行ってください。（→9-63、9-70ページ）

［準備］
電源を切った状態でLANケーブルを接続します

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】を押す

2. ①「 設定」を選んで決定します

   ②「 かんたん設定」—「ネットワーク設定」を選んで決定します

   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒



ネットワーク設定（かんたん設定）を行う(つづき)

3. 「有線」または「無線」を選んで決定します

4. 無線接続のときは「簡単自動設定」または「詳細設定」を選んで決定します
   - 無線接続で「簡単自動設定」を実行すると、アクセスポイントとの接続を自動で行います。利用するアクセスポイントのWPSボタンを5秒以上押してください。
   - 設定中は、「設定中です」の表示が点滅します。
     無線LAN接続で「詳細設定」を選択したときは
     ⇒ 9−70ページ「無線LAN設定を行う」へ

   有線接続のときは「設定する」で決定します

5. 設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します
   - 「完了」を選ぶと設定は保存されますが、テストは行われません。
   - LAN設定の内容を確認（再設定）するときは手順4を行い再設定します。

次ページへつづく⇒



ネットワーク設定（かんたん設定）を行う(つづき)

6. ホームネットワークを設定します
「する」または「しない」を選んで決定します
   - ホームネットワーク機能については、8−14ページをご覧ください。

7. 「確認」で決定します
   - ホーム画面に戻ります。

基本設定

LANの設定をする



有線LAN設定を行う

［準備］電源を切った状態でLANケーブルを接続します

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

2. ①「設定」を選んで決定します

   ②「通信機能設定」—「LAN設定」を選んで決定します

   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

3. 「変更する」を選んで決定します

   ヒント

   - 「初期化する」を選んで決定すると、LAN設定の内容が工場出荷時の状態に戻ります。

次ページへつづく⇒

有線LAN設定を行う(つづき)

4. 「有線」を選んで決定します
   - 「無線」を選んで決定すると、無線LANの設定になります。

5. 「簡単自動設定」または「詳細設定」を選んで決定します

「簡単自動設定」⇒ 手順9へ(→9-65ページ)
   - 「簡単自動設定」を選んで決定すると、自動で設定が始まります。

「詳細設定」⇒ 手順6へ

6. IPアドレスを設定します

(1) IPアドレス自動取得の「する」または「しない」を選んで決定します。

「する」
- IPアドレスを自動で取得します。
  (モデムまたはルーターのDHCPサーバー機能を利用します)
- IPアドレスを取得したら「確認」で決定します。手順8に進みます。

「しない」
- 「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を、ソフトウェアキーボードを使って入力します。(入力方法は、5-69ページをご覧ください)それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

(2) 「次へ」で決定します。

次ページへつづく⇒

有線LAN設定を行う(つづき)

7. DNSのIPアドレスを設定します
   - 「プライマリ」と「セカンダリ」のIPアドレスを、ソフトウェアキーボードを使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。
     「次へ」で決定します。

8. より詳細な設定をします
   「する」または「しない」を選んで決定します。
   - 通常は「しない」に設定してください。

9. 設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します
   - テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」は選べません。
   - 「完了」を選ぶと設定は保存されますが、テストは行われません。

●LAN設定の内容を確認(再設定)するときは
- 手順1～9を行い再設定します。

基本設定

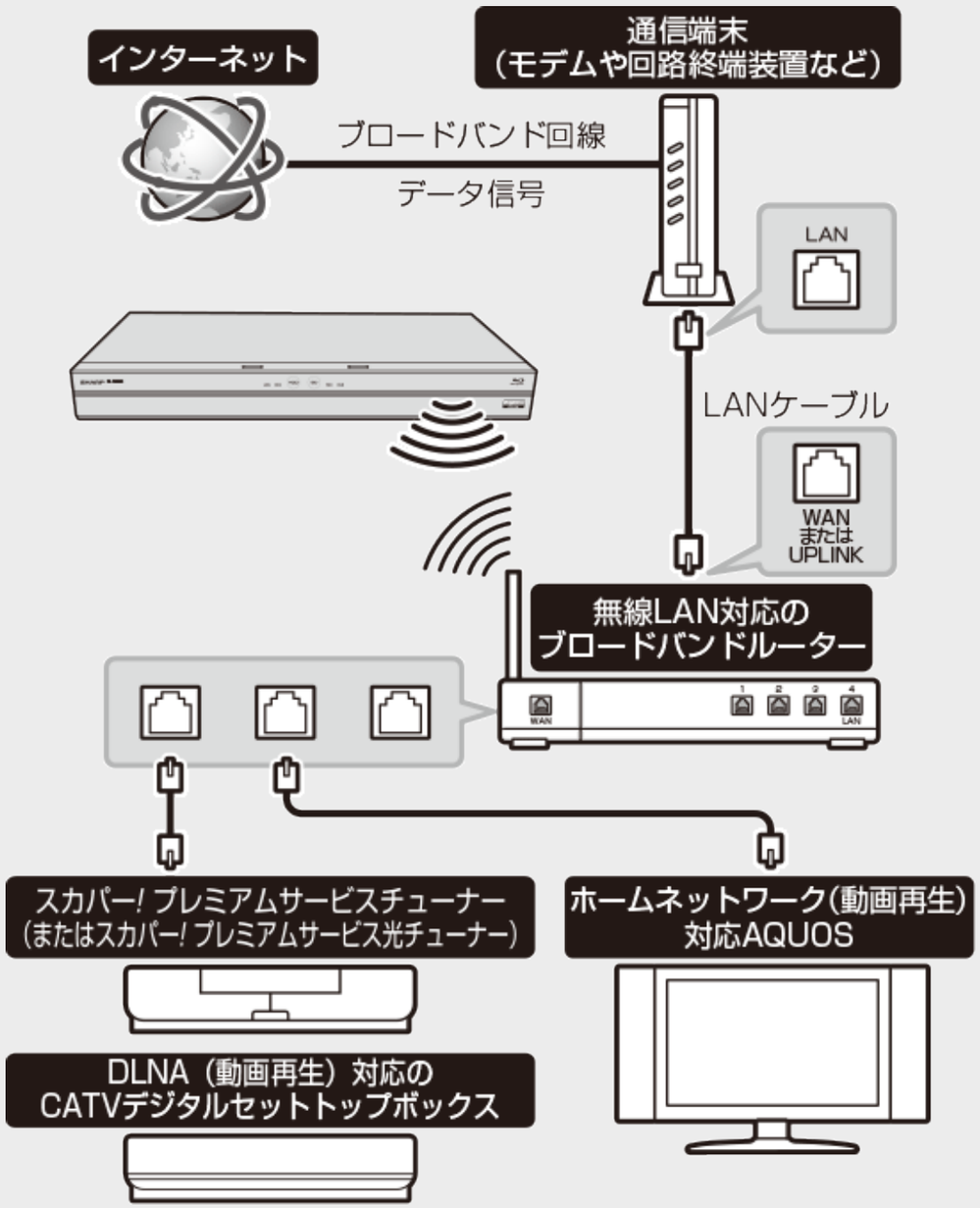
LANの設定をする

無線LAN設定の前に

- 無線LANは、すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。
- 無線LANは、距離や障害物の影響で伝送速度がさがったり、同一周波数を使う機器の影響でつながらないことがあります。
- 本機は公衆LANへの接続には対応しておりません。通信端末認定品の市販ルーターなどを用いてLAN接続をしてください。
- 本機を無線でLANに接続するには、無線LAN対応のブロードバンドルーター（アクセスポイント）への接続設定が必要です。（無線LANで利用できるサービスは、同梱取扱説明書をご覧ください）
- 無線LAN接続には本機と通信ができる無線LAN対応のブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
    - 本機は、無線LAN高速化規格IEEE802.11n、および無線LAN規格IEEE802.11a/g/bに対応しています。（IEEE802.11n での接続を推奨します）
    - 対応チャンネル2.4GHz帯：1～13ch対応チャンネル
      5GHz帯：36～48ch（W52）、52～64ch（W53）、100～140ch（W56）
    - 無線LANの接続方式について、詳しくはお使いの機器（ブロードバンドルーターなど）のメーカーにお問い合わせください。

次ページへつづく⇒

無線LAN設定の前に(つづき)



←接続例(回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります)

次ページへつづく⇒

無線LAN設定の前に(つづき)

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届いてしまいます。セキュリティに関する設定を行うことで、以下のようなことを防げます。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)。
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)。
傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)。コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)。
本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用してください。

次ページへつづく⇒

無線LAN設定の前に(つづき)

セキュリティ方式について

本機は、WEP、WPA2-PSK(TKIP/AES)のセキュリティ方式に対応しています。お使いのブロードバンドルーターが対応しているセキュリティ方式をご確認のうえ、より強固なセキュリティ設定をされることを推奨します。

セキュリティ方式		説明
WEP		WEPキーと呼ばれる暗号化キーでデータを暗号化する方式です。
WPA2-PSK	TKIP	強力な暗号化の規格であるTKIPと、さらに強力な暗号化の規格であるAESがあります。
	AES	

セキュリティキー(暗号化キー)について

各セキュリティ方式を設定する際に、暗号化を行うための鍵であるセキュリティキー(暗号化キー)の入力が必要となります。お使いのブロードバンドルーターの取扱説明書をご確認のうえ、セキュリティキー(暗号化キー)を入力してください。

基本設定

LANの設定をする

無線LAN設定を行う

ルーターがWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している場合、無線LANを自動で設定することができます。

ご注意

- ルーターがWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応していない場合、または「かんたん設定」—「ネットワーク設定」でLAN設定ができなかった場合は、手動で無線LAN設定を行ってください。

1. ホーム画面を表示させます

   【ホーム】ボタンを押す

2. ①「設定」を選んで決定します

   ②「通信機能設定」—「LAN設定」を選んで決定します

   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

3. 「変更する」を選んで決定します

   ヒント

   - 「初期化する」を選んで決定すると、LAN設定の内容が工場出荷時の状態に戻ります。

次ページへつづく⇒

無線LAN設定を行う(つづき)

4. 「無線」を選んで決定します
   - 利用可能なアクセスポイントが表示されます。
   - 「有線」を選んで決定すると、有線LANの設定になります。
5. 「簡単自動設定」または「詳細設定」を選んで決定します

「簡単自動設定」⇒ 手順12へ(→9-74ページ)
   - 「簡単自動設定」を選んで決定すると、自動で設定が始まります。

「詳細設定」⇒ 手順6へ

6. 利用するアクセスポイントを選んで決定します

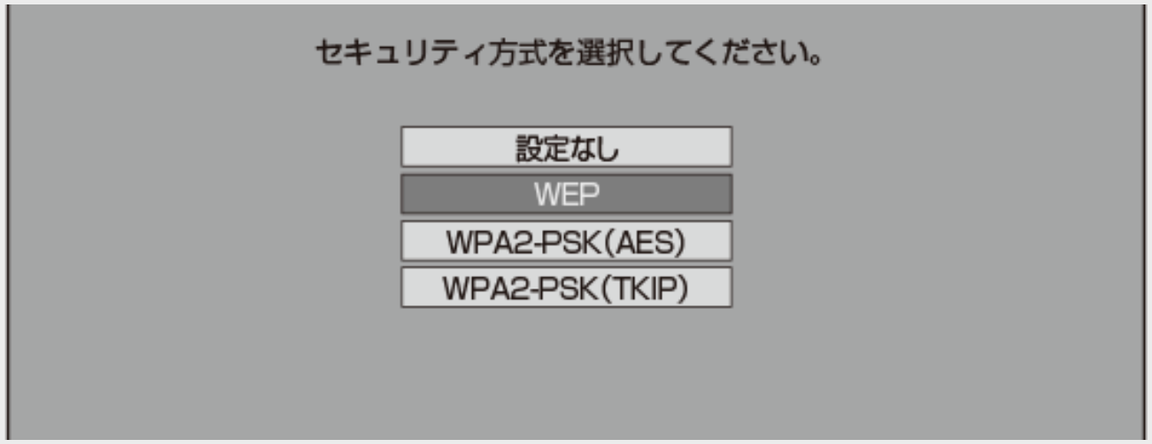


- 全角文字や半角カタカナを含むアクセスポイント名のルーター等とは接続できない場合があります。ルーター等のアクセスポイント名は、全角文字や半角カタカナを含まないように設定してください。
- 「その他」を選択したときは、アクセスポイント名をソフトウェアキーボードを使って入力し、「次へ」を選んで決定します。(入力方法は、5-69ページをご覧ください)

次ページへつづく⇒

無線LAN設定を行う(つづき)

7. セキュリティ方式を選んで決定します



- 「設定なし」を選んだ場合、ホームネットワーク機能(→8-14ページ)は使用できません。

8. セキュリティキーを入力し、「次へ」で決定します
   - セキュリティキーについては、お使いのルーターの取扱説明書をご覧ください。

9. 「テスト実行」を選んで決定します
   - アクセスポイントに接続できない場合は、手順4に戻ります。
     お使いのルーターの接続状況をご確認ください。

次ページへつづく⇒

無線LAN設定を行う(つづき)

10. IPアドレスを設定します

(1)IPアドレス自動取得の「する」または「しない」を選んで決定します。

「する」
- IPアドレスを自動で取得します。(モデムまたはルーターのDHCPサーバー機能を利用します)
- IPアドレスを取得したら「確認」で決定します。
  手順12(→9-74ページ)に進みます。

「しない」
- 「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を、ソフトウェアキーボードを使って入力します。
  (入力方法は、5-69ページをご覧ください)
  それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

(2)「次へ」で決定します。

11. DNSのIPアドレスを設定します

- 「プライマリ」と「セカンダリ」のIPアドレスを、ソフトウェアキーボードを使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。お使いのルーターの接続状況をご確認ください。

「次へ」で決定します。

次ページへつづく⇒

無線LAN設定を行う(つづき)

12. 設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します
    - テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」は選べません。
    - 「完了」を選ぶと設定は保存されますが、テストは行われません。

●LAN設定の内容を確認(再設定)するときは

- 手順1～12を行い再設定します。

基本設定

LANの設定をする

LAN通信を制限する

デジタル放送の双方向サービスのLAN接続、アクトビラへのインターネット接続をそれぞれ制限することができます。

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

2. ①「設定」を選んで決定します
   ②「通信機能設定」を選んで決定します
   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

3. 「デジタル放送接続制限」または「インターネット接続制限」を選んで決定します

デジタル放送接続制限	デジタル放送の双方向サービスの接続の制限
インターネット接続制限	アクトビラへの接続の制限

次ページへつづく⇒



LAN通信を制限する(つづき)

4. 4桁の暗証番号(→10-68ページ)を【1】～【10】ボタンを押して入力します
5. 「する」を選んで決定します
6. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

基本設定

パソコン/スマートフォンから本機をコントロールする(IPコントロール/ボイスリモコン)



IPコントロールとは、パソコンなどからLAN経由で本機をリモートコントロールする機能です。

- IPコントロール機能を使用するときは、あらかじめLAN接続とLAN設定を行ってください。(→取扱説明書(付属品)17～18ページ、9-57～9-76ページ)
- IPコントロールは、パソコン(PC)に使い慣れたかたのご利用をお願いいたします。

IPコントロールを設定する

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

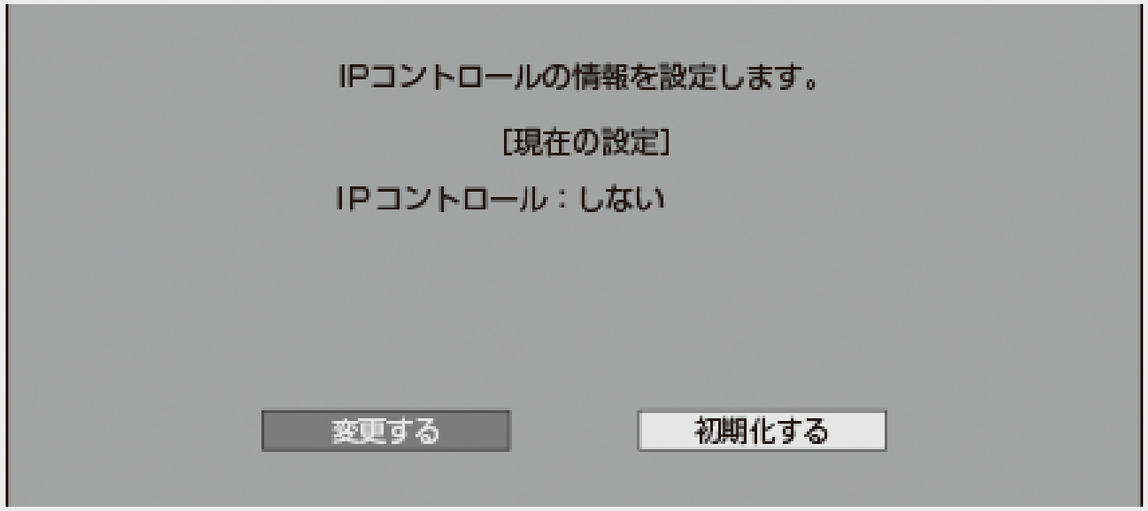
2. ①「設定」を選んで決定します

   ②「通信機能設定」―「IPコントロール操作」を選んで決定します
   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

IPコントロールを設定する(つづき)

3.「変更する」を選んで決定します



4.「する」を選んで決定します

次ページへつづく⇒

IPコントロールを設定する(つづき)

5. 必要な情報を入力します
   - 各項目はソフトウェアキーボードを使って入力します。(入力方法は、5-69ページをご覧ください)

設定項目	内容	初期値
機器名	本機の名称を英数字で入力します(最大12字)。お好みの名前に変更できます。	AQUOS BD
ログインID	本機にアクセスするときのログインIDを英数字(最大8文字)で入力します。	ー
パスワード	本機にアクセスするときのパスワードを英数字(最大8文字)で入力します。	ー
ポート番号	使用するポート番号を入力します。1025～65535の範囲で設定できます。	10002

- 「機器名」は、ターミナルソフトなどを使い接続する際に必要となる場合があります。
- 「ログインID」、「パスワード」は、ターミナルソフトなどで接続する際に必要となります。
- 「ポート番号」は、ターミナルソフトなどに入力する値を設定してください。

次ページへつづく⇒



IPコントロールを設定する(つづき)

6. 「完了」を選んで決定します

●IPコントロール情報を初期化したいときは

(1)手順3で「初期化する」を選び【決定】ボタンを押します。

(2)「する」を選んで【決定】ボタンを押します。

- IPコントロール情報が初期化されます。

7. 【終了】ボタンを押して設定を終了します

基本設定

パソコン/スマートフォンから本機をコントロールする(IPコントロール/ボイスリモコン)

パソコンからコントロールする

パソコンのターミナルソフトで本機に制御コマンドを送信し、本機をコントロールすることができます。

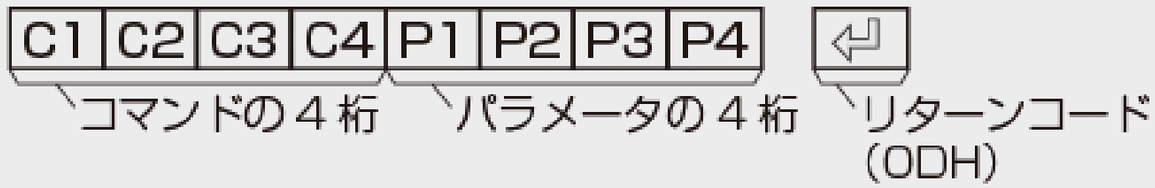
■通信のしかた

- パソコンからLANケーブルを通じてコマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。
- 本機がコマンドを処理すると、パソコンにレスポンスコードを送ります。

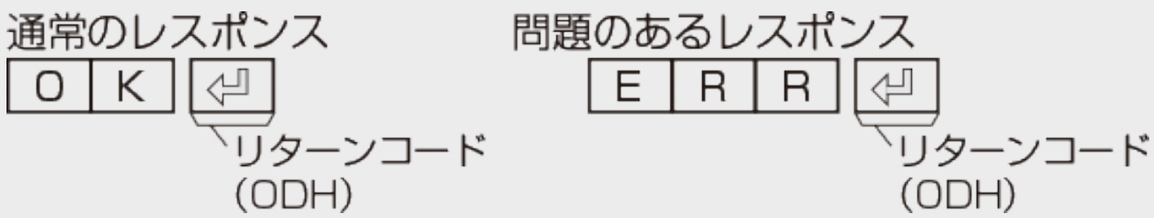
ご注意

- 複数のコマンドを連続して送信しないでください。連続してコマンドを送る場合は、本機からのレスポンスコードを受信してから、次のコマンドを送ってください。

コマンド(パソコンから本機へ)



レスポンス(本機からパソコンへ)

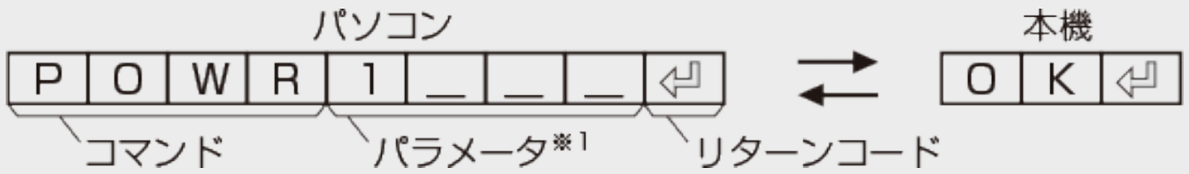


次ページへつづく⇒

パソコンからコントロールする(つづき)

■コマンド一覧

例:本機の電源を入れる場合



機能	コマンド				パラメータ※1			
電源入※2	P	O	W	R	1	_	_	_
電源切	P	O	W	R	0	_	_	_
再生	D	P	L	Y	_	_	_	_
停止	D	S	T	P	_	_	_	_
早送り	D	F	W	D	_	_	_	_
早戻し	D	R	E	V	_	_	_	_
頭出し(前)	D	S	K	B	_	_	_	_
頭出し(後)	D	S	K	F	_	_	_	_
一時停止	D	P	U	S	_	_	_	_

※1 パラメータの「_」はスペースを入力します。

※2「電源入」はクイック起動待機状態のときに受け付けます。

基本設定

パソコン/スマートフォンから本機をコントロールする(IPコントロール/ボイスリモコン)

スマートフォンからコントロールする

スマートフォンから本機をコントロールすることができます。

お知らせ

- スマートフォンでコントロールするには、新たにアプリケーションソフト「レコーダーIPコントロール」をインストールする必要があります。アプリケーションソフトについて詳しくは、シャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/info/voice_remo_con.html）でご確認ください。

■タッチパネルでコントロールする

スマートフォンに表示されるタッチパネルで、本機をコントロールすることができます。
一部使用できないボタン（操作）があります。

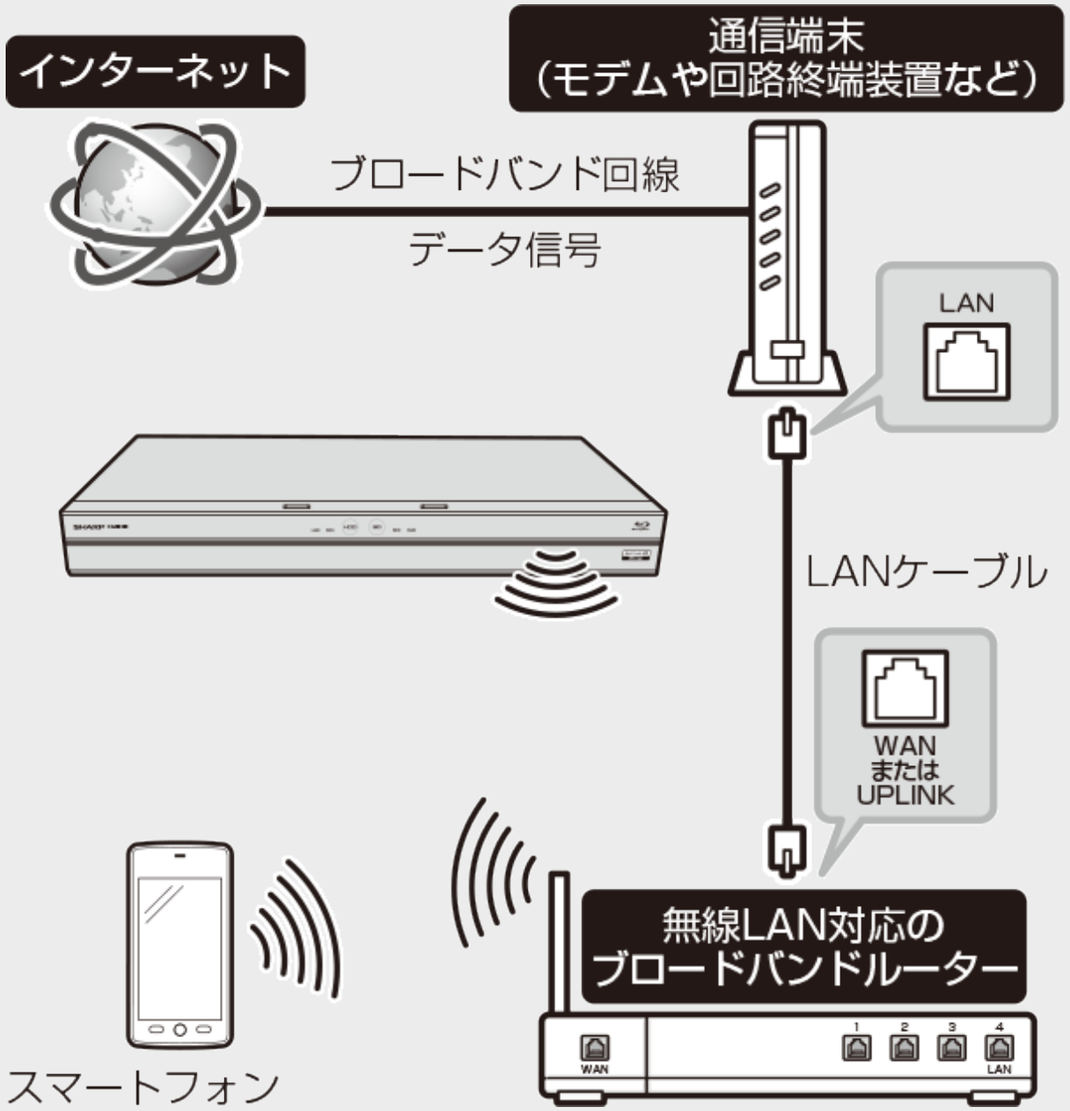
■音声入力でコントロールする（ボイスリモコン）

スマートフォンに音声を入力することにより、本機をコントロールしたり、番組を検索することができます。

次ページへつづく⇒

パソコン/スマートフォンから本機をコントロールする(IPコントロール/ボイスリモコン)

スマートフォンからコントロールする(つづき)



←接続例(回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります)

※スマートフォンはブロードバンドルーター経由でインターネットに接続してください。

※レコーダーIPコントロール(スマートフォンアプリ)をご使用の際は、本体が見える位置で操作してください。

基本設定

スマートフォンで予約する



リモート予約とは、スマートフォンから予約する機能です。予約し忘れた番組などを外出先からでも予約できます。
リモート予約機能を使用するときは、あらかじめLAN設定とインターネット接続を行ってください。
（LAN設定→同梱取扱説明書17～18ページ、9-57～9-76ページ）

お知らせ

- スマートフォンからリモート予約するには、新たにアプリケーションソフト「AQUOSリモート予約」をインストールする必要があります。アプリケーションソフトについて詳しくは、シャープ サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/bd/info/remote.html）でご確認ください。

リモート予約設定をする

1. ホーム画面を表示させます
   【ホーム】ボタンを押す

2. ①「設定」を選んで決定します

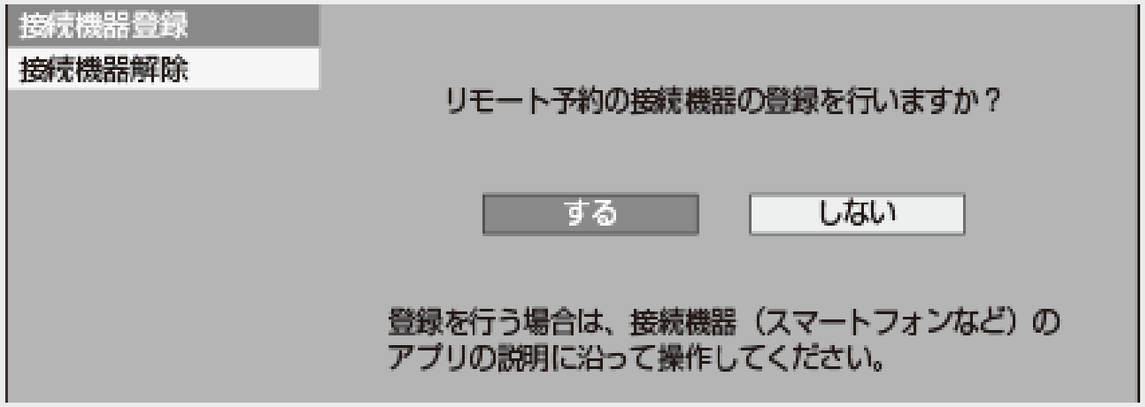
   ②「通信機能設定」―「リモート（宅外）予約設定」を選んで決定します

   - 設定メニューの操作について詳しくは1-27ページをご覧ください。

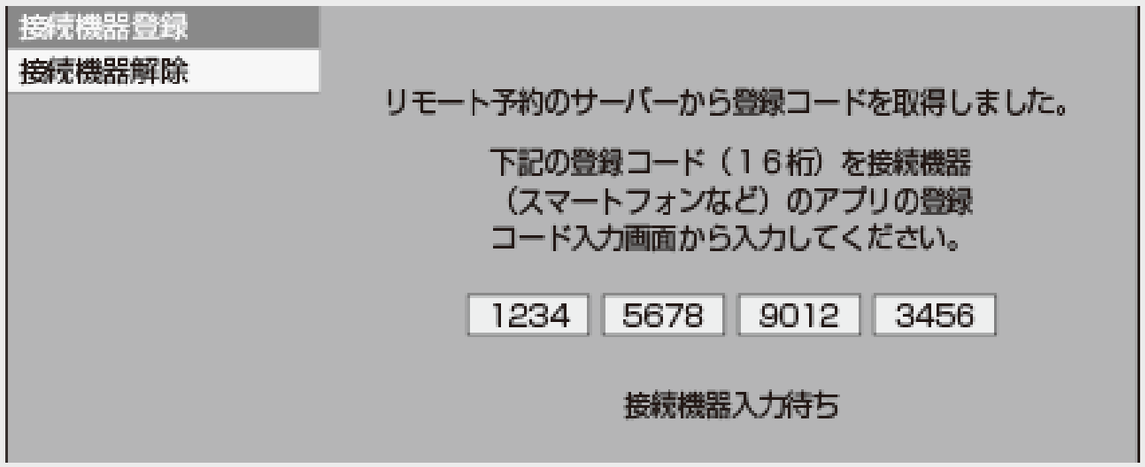
次ページへつづく⇒

リモート予約設定をする(つづき)

3. 「接続機器登録」を選んで決定します



4. 「する」を選んで決定します
   - リモート予約サーバーから「登録コード」を受信します。
   - 画面の登録コードは表示例です。



次ページへつづく⇒

リモート予約設定をする(つづき)

5. スマートフォンのアプリケーションソフトを立ち上げ、登録画面で「登録名」と「登録コード」を入力します
   - 画面の登録コードは表示例です。



次ページへつづく⇒

リモート予約設定をする(つづき)

6. スマートフォンの登録が完了すると本機に確認画面が表示されます
「OK」で決定します
   - 最大10台まで登録できます。
   - スマートフォンの登録が完了しないとリモート予約は行えません。

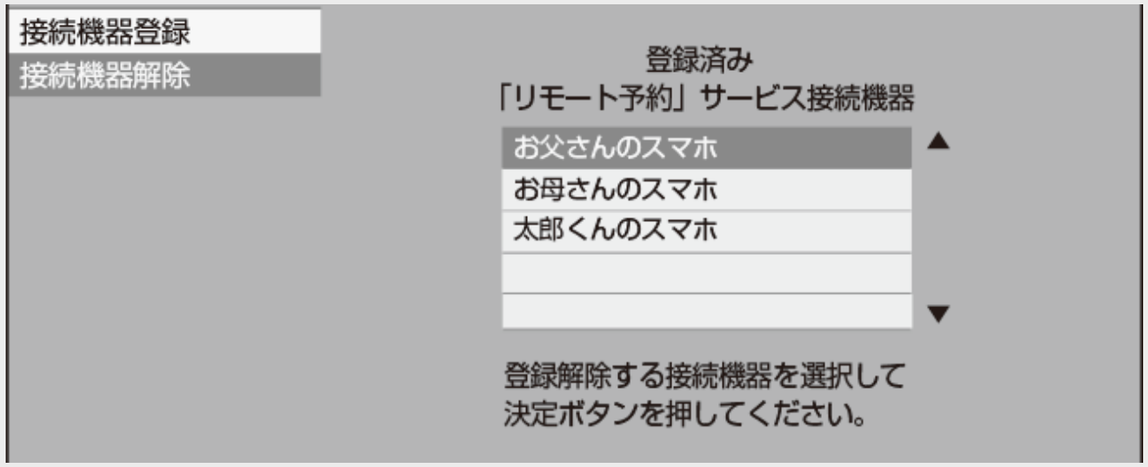
お知らせ

- 接続機器登録が完了すると、本機の「クイック起動設定」が「する（常時）」に設定されます。
- スマートフォンから予約設定するときは、本機の電源を「入」にしてください。「クイック起動設定」が「する（常時）」に設定されているときは、本機の電源を切った状態でもスマートフォンから予約設定が行えます。

登録したスマートフォンを解除する

1. 「リモート予約設定する」の手順3（→9-86ページ）で「接続機器解除」を選んで決定する
   確認後は【戻る】ボタンを押し当ページに戻ります。

2. 登録解除したいスマートフォンを選んで決定します



3. 「する」を選んで決定します
   - 登録解除が完了すると手順1の画面に戻ります。

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

- 「設定」には、録画や再生、本機の設置など、本機をより活用していただくための設定項目があります。本機の使用状況に応じて各項目を設定してください。
  各項目の説明や操作のしかたは、それぞれのページをご覧ください。

かんたん設定



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
1	初期設定	—	「次へ」 ↓ 「各設定」	初めて本機の電源を入れたときに行う初期設定と同じ内容です。チャンネル設定やクイック起動設定など、本機を初めて使うためのセットアップを行います。画面の指示に従って設定してください。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

かんたん設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
2	ネットワーク設定	―	「有線」「無線」	ネットワーク関連の設定をまとめて行います。有線LANか無線LANかの接続方法から始まり、IPアドレスやホームネットワークの設定を順に行います。画面の指示に従って設定してください。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

かんたん設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
3	増設HDD かんたん登録	外付けHDD	• SeeQVault対応外付けHDD 「SeeQVault-HDD」 「通常(録画用)」 • 通常(録画用)HDD 「する」「しない」	外付けHDDを使用するための設定をまとめて行います。外付けHDDの登録から名称変更までを一連の操作で行います。 画面の指示に従って設定してください。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

かんたん設定(つづき)



No.	メニュー項目名	設定項目	内容
4	BDドライブのお手入れについて	「確認」	ディスクの読み取り部分にゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。 そのような場合レンズクリーニングの案内をお知らせします。
5	リモコンのテレビ操作設定	本機のリモコンでテレビを操作するための、テレビメーカー設定ボタンを案内	本機のリモコンでテレビを操作するための、テレビメーカー設定ボタンを画面で案内します。

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

録画・再生設定



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
6	転送用動画 設定	—	「VGA」「QVGA」	内蔵HDDに予約録画するときに作成する、Wi-Fi転送用動画の画質を設定します。
7	デジタル放送 録画画質設定	—	「HD10」～「HD01」	【ツール】ボタンを押し、ツールメニューから「録画画質設定」—「HD○○」（ハイビジョン画質のマニュアル録画画質）を選んだときの画質の数値を設定することができます。 （→3-11ページ） 数値：大→高画質録画 数値：小→長時間録画

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
8	音声記録設定	マルチ音声記録設定	「音声1」 「音声2」 「マルチ音声」	マルチ音声(ステレオ二重音声)のデジタル放送番組を「7倍」「10倍」「12倍」の録画画質で録画、ダビングする場合の音声「音声1」「音声2」「マルチ音声」を設定します。 「音声2」を設定していて、音声2が放送されていないときは、「音声1」が記録されます。
		DVD音声記録設定	「音声1」 「音声2」	複数の音声がある番組をDVDに記録するときの音声を選択してください。 音声が1つしかない場合、「音声2」を選択していても「音声1」が記録されます。

次ページへつづく⇒

録画・再生設定(つづき)

■二重音声放送を録画するとき

- 二重音声放送を録画したときは、放送されている音声の種類と録画の種類(記録フォーマットや本機の設定)で記録される音声が異なります。

●内蔵／外付けHDDに録画するとき／BDにダビングするとき

本機の録画画質設定		DR／2倍／3倍／5倍／HD〇〇	7倍／10倍／12倍
放送の種類	マルチ音声※1 (ステレオ二重音声など)	すべての音声を記録します。	マルチ音声記録設定で設定されている音声を記録します。
	モノラル二重音声※2	主／副両方の音声を記録します。	

※1:デジタル放送で放送される場合があります。番組情報で「音声1」「音声2」などと表示されます。
例:「音声1は日本語のステレオ放送、音声2は外国語でステレオ放送を行っている番組」などをマルチ音声といいます。
※2:デジタル放送で放送される場合があります。番組情報で「主」「副」などと表示されます。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
9	オートチャプター設定	—	「おまかせ」 「10分」 「15分」 「30分」 「切」	録画するときに、自動的に入るチャプターの間隔を設定します。 「おまかせ」に設定すると、CMの前後などシーン(音声)の切り換わり部分に自動でチャプターマークを記録します。【次】ボタンで本編以外のシーンを飛ばし見できるなど便利です。(シーンによりCM以外の箇所にもチャプターマークが記録される場合があります)

次ページへつづく⇒

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
10	連動データ記録設定	—	「DR」の時： 「記録する※1」 「記録しない」	デジタル放送を録画する場合、テレビ放送と同時に送られてくる連動データ放送を、録画（記録）するか録画（記録）しないかを設定します。 ※1 工場出荷時の設定は、録画画質「DR」が「記録する」に設定されています。 ※2 工場出荷時の設定は、録画画質「2倍」～「12倍」、「HD○○」が「記録しない」に設定されています。 • 予約録画では、「詳細設定」で予約ごとに設定を切り換えることができます。（→3-53ページ） • 「記録する」に設定すると、連動データ放送のデータ量によりディスクへの録画可能時間は短くなります。
			「2倍」～「12倍」 「HD○○」の時： 「記録する」 「記録しない※2」	

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
11	ダビング時シーン作成設定	—	「する」 「しない」	BDや外付けHDDから内蔵HDDへダビングをするときに、見どころ一覧のシーンを作成するか作成しないかを設定します。 「する」に設定すると、見どころ一覧のシーンを作成しながらダビングをするときは、通常のダビングより時間がかかります。

次ページへつづく⇒

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
12	BD/DVD再生設定	視聴制限レベル	DVDビデオの視聴制限レベルを設定できます。	
			「切」	視聴制限を「切」にします。
			「レベル:1」	子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向けディスク(R指定含む)は再生できません。
			「レベル:2」～「レベル:3」	一般向けディスク(R指定を除く)と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け(R指定)ディスクは再生できません。
			「レベル:4」～「レベル:7」	一般向けディスク(R指定含む)と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
			「レベル:8」	全てのディスクを制限なしで再生できます。

次ページへつづく⇒

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目		内容
12	BD/DVD再生設定	視聴制限レベル	BDビデオ視聴制限年齢: BDビデオの視聴制限年齢を設定できます。	「無制限」	年齢制限をしません。
				「0歳を制限」～「99歳以下を制限」	0歳～99歳の間で年齢制限をします。
			国コード:国コード一覧参照		BD/DVDビデオの国コードを設定できます。 国コード一覧(→10-71ページ)

次ページへつづく⇒

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
12	BD/DVD再生設定	ディスク優先言語	字幕言語: 国コード一覧参照	画面に表示するメニューや、音声の言語を選択できます。 画面に表示されるメニューや音声の言語はディスクによって異なります。ディスク優先言語設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。 言語コード一覧(→10-71ページ)
			音声言語: 国コード一覧参照	
			メニュー言語: 言語コード一覧参照	

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
12	BD/DVD 再生設定	アングルマーク 表示	BD/DVDビデオのタイトルで、マルチアングルで録画されたシーンを再生中に、アングルマーク「」を画面に表示します。	
			「する」	アングルマークを表示します。
			「しない」	アングルマークを表示しません。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
12	BD/DVD再生設定	BDビデオ付加音声	BDビデオのメニューの操作音や付加音声(P in Pの音声など)を出力させるかどうかを選びます。 • DTS・ES 6.1ch 音声などで6.1ch以上の音声を出力したい場合は、「しない」に設定します。	
			「する」	操作音や付加音声を出力します。市販のBDビデオの「DTS・ES 6.1ch」音声など6.1ch以上の音声は、5.1ch音声になる場合があります。
			「しない」	操作音や付加音声を出力しません。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
12	BD/DVD 再生設定	BD-LIVE設定	BD-LIVE設定は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。 • BD-LIVE 対応のBDビデオには、インターネット経由(LAN経由)で追加の映像や字幕、通信対応のゲームなどができるものがあります。BD-LIVE設定で、インターネットへの接続の許可や禁止の設定ができます。	
			「許可する」	全てのディスクを許可します。
			「制限付き許可」	不正に作られたディスクなど、BD-LIVE番組制作者の証明書が含まれていないディスクのインターネットへの接続を制限します。
			「禁止する」	全てのディスクを禁止します。

次ページへつづく⇒

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
12	BD/DVD再生設定	3D切換設定	ブルーレイ3Dを、3Dまたは2Dのどちらで再生するか、設定できます。この設定は、「映像出力設定」―「フレームレート」(→10-20ページ)を「オート」にした場合に設定できます。 • 早送り、早戻し中は2D再生となります。	
			「オート」	3D映像で視聴するときに選択します。
			「2D」	2D映像で視聴するときに選択します。

次ページへつづく⇒

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
12	BD/DVD 再生設定	3D通知設定	ブルーレイ3Dの再生時に、再生に関する注意文を表示させるか表示させないかを設定します。 • 「する」を選ぶと、ブルーレイ3Dの再生時に注意文が表示されます。	
			「する」	再生時にブルーレイ3Dの注意文を表示します。
			「しない」	再生時にブルーレイ3Dの注意文を表示しません。

次ページへつづく⇒

録画・再生設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
12	BD/DVD 再生設定	BDビデオ用 データ消去	BDビデオ再生時の操作で動作が遅くなったり正常に再生しなくなる場合に、BDビデオデータの消去を行います。	
			「消去する」	内蔵HDD(ハードディスク)に記録されたBDビデオ用データをすべて消去します。
			「消去しない」	BDビデオ用データを消去せず残します。

ご注意

- 「BDビデオ用データ消去」を実行すると、BDビデオで個別に設定したブックマークや、ゲームのスコアなどが消去されて工場出荷時の状態に戻ります。

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

映像・音声設定



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目				内容
13	映像・音声出力設定	映像出力設定	する	解像度	4K	最大4K解像度で出力	4映像を楽しむ場合、「4K」を選択してください。
					1080	最大1080解像度で出力	4K非対応機器や4K非対応のHDMI端子に接続する場合、「1080」を選択してください。
				ビット数	36bit	最大36bitで出力	Ultra HDブルーレイ再生でHDR（ハイダイナミックレンジ）映像を楽しむ場合などに、「36bit」を選択してください。
					24bit	最大24bitで出力	HDR非対応（Y8bit/Cb8bit/Cr8bit)の4K対応テレビと接続したときは「24bit」を選択してください。
				フレームレート	オート	オート	Ultra HDブルーレイなどの映画ソフトを24pで楽しむ場合は、「オート」を選択してください。
					60p	60pで出力	Ultra HDブルーレイなどのベースバンド24p映画ソフトを「60p」映像で楽しむ場合に設定してください。
			しない				設定の変更をしません。

お知らせ

- 映像出力設定したとき、映像が出ず黒画面となったときはそのまま約15秒お待ちください。設定されず元の設定に戻ります。
- 解像度4K、ビット数36bit、フレームレートをオートに設定し、映像が出なくなったときは、18Gbps対応のHIGH SPEED（カテゴリー2）HDMIケーブルを使用しているか確認ください。
- 解像度4Kで映像表示するには、「4K60p HDCP ver.2.2」対応端子に接続してください。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

映像・音声設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
13	映像・音声出力設定	音声出力設定	「オート」 「PCM」	HDMI端子から出力する音声方式を設定します。 「オート」:ドルビーデジタルなどのデコーダーを内蔵したHDMI機器と本機を接続しているときに選択します。接続されている機器に適した音声方式で音声を出力します。 「PCM」:PCM対応のHDMI機器と本機を接続しているときに選択します。ドルビーデジタル、DTS、AACなどの各種音声方式で記録された音声をデコードし、PCMで出力します。 ※ドルビーデジタル音声を再生する場合、PCM 2ch音声に変換して出力します。 • 設定が完了すると設定確認画面になります。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

映像・音声設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
13	映像・音声出力設定	音声出力レベル	音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、平均的な音量で再生します。セリフが聞きづらいときに調整します。 ※設定する際は、音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。	
			「オート」	ドルビーTrueHD音声を再生しているときはディスク情報に基づいた音声出力レベルを自動で調整します。ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス音声を再生したときはシフトに設定された音声が出力されます。
			「切」	記録されている音声をそのまま出力します。
			「ノーマル」	ドルビーデジタル音声を再生したとき、ダイナミックレンジを調整し、セリフの部分を聞こえやすいように調整します。
			「シフト」	「シフト」に設定するとより効果が強くなります。（音声が正常に聞こえないときは「切」にしてください）

次ページへつづく⇒

映像・音声設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
13	映像・音声出力設定	HLG⇒HDR10変換※	「入」	HLG方式の4K放送を録画したBDを再生しているとき、接続している4KテレビがHLG方式に対応されておらず、HDR10に対応しているときにHDR10の信号に変換して出力します。
			「切」	HLG信号をHDR10に変換しないで、SDR(標準)信号で出力したい場合に選択します。

※本機を接続している4Kテレビや接続しているHDMI端子がHLG、HDR10に対応していない場合はSDR(標準)信号で出力します。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

映像・音声設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
14	画質調整	プロジェクター モード※	「入」	接続しているプロジェクターに合わせ、視聴に適した画質に調整し出力します。 プロジェクターと接続するときは「入」に設定することをおすすめします。
			「切」	この機能を使いません。

※シャープ製液晶テレビなどと接続しているとき、ファミリンク設定が「する」の場合設定できません。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

映像・音声設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
14	画質調整	モスキートNR(ノイズリダクション)設定	「切」 「入」	画像の輪郭部分で生じる、チラツキノイズを低減します。

次ページへつづく⇒

映像・音声設定(つづき)

お知らせ

- 再生したタイトルの画質を調整することができます。「アクオス純モード」が表示されているときは、シャープ製テレビ「AQUOS」、「AQUOS クアトロン」、「AQUOS クアトロン プロ」、「4K対応AQUOS」に最適な画質の映像が出力されています。
- 「アクオス純モード」対応のAQUOSについては、シャープホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/data/intro/familink_01.html ）でご確認ください。
- 長時間録画画質で録画された番組を再生するときは、お好みに応じて設定を調整することをおすすめします。

ご注意

- 映像によっては、映像にスジが入ったりちらつくなど、正常な映像にならない場合があります。

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

本体設定



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
15	ファミリンク 設定	—	「する」 「しない」	「ファミリンク」を搭載したシャープ製のテレビとHDMIケーブルで接続したとき、テレビから本機を操作できるようにするか、しないかを設定します。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
16	画面表示設定	タイムバー表示設定	再生状態に応じて、タイムバーの自動表示をさせるかどうかを設定できます。 ※BD/DVDビデオ再生時はタイムバーは表示されません。	
			「する」	再生開始時、早見・早聞き再生時、スキップ操作時、一時停止操作時などにタイムバーが約5秒間表示されます。早送り／早戻し時は動作中常時表示されます。
			「しない」	タイムバーを自動表示しません。

次ページへつづく⇒

ホームメニューの各種設定をする

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
16	画面表示設定	メッセージ 表示設定	本機の再生中に、本機の動作に関するメッセージが表示されることがあります。 再生中のタイトルの字幕にメッセージが重なるのを避けるなど、メッセージを表示したくない場合は、「しない」に設定すると、メッセージのいくつかを非表示にできます。	
			「する」	HDD（ハードディスク）やBD（ブルーレイディスク）/DVD/CDの再生中に、本機の動作に関するメッセージを表示します。
			「しない」	HDDやBD/DVD/CDの再生中は、予約開始またはディスク挿入／取り出しに関するメッセージを表示しません。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
16	画面表示設定	チャンネル表示設定※	「する」 「しない」	タイトルを再生したときにチャンネル情報を表示させるか表示させないかを設定します。
		字幕表示設定	「する」 「しない」	デジタル放送で字幕のある番組を視聴しているときに、常に字幕を表示させるかさせないかを設定します。

※録画タイトルの冒頭部分再生時には、前の番組の情報が表示される場合があります。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
16	画面表示設定	文字スーパー設定	デジタル放送では、災害が発生すると画面に文字情報を表示する場合があります。本機で受信した放送の視聴中や再生中に、災害発生時の文字情報を表示させるかどうかを設定できます。	
			「第1言語を表示」	デジタル放送で送られてくる第1言語※1の文字スーパーを表示します。
			「第2言語を表示」	デジタル放送で送られてくる第2言語※1の文字スーパーを表示します。
			「表示しない」	文字スーパーを表示しません。※2

※1 第1言語や第2言語は、放送局や番組によって指定されます。
※2 文字スーパーによっては、強制的に表示するものもあります。

次ページへつづく⇒

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
16	画面表示設定	通知センター設定	HDD残時間・管理情報数	選択している録画画質でHDDの残時間が少なくなったこと／HDDの管理情報数・タイトル数・チャプター数が上限に達したことを通知するか設定できます。
			レコーダーからのお知らせ	未読の受信メッセージや受信機レポートがあることを通知するか設定できます。
			ソフトウェア更新	ネットワークもしくは放送波経由でソフトウェアの更新ができることを通知するか設定できます。
			BDドライブのお手入れ	BDドライブのお手入れ時期をお知らせします。
		リモコン番号不一致表示	「する」「しない」	本機のリモコン番号設定とは異なるリモコン番号の信号を受信した場合に、リモコン番号が一致しないメッセージを表示させるかさせないかを設定します。
		動画サムネイル設定	録画リスト	画面リストでの各タイトルのサムネイルとまと丸のサムネイルを音声付き動画にするか設定できます。
			ドラ丸リスト	ドラ丸リストでの各ドラマのサムネイルを音声付き動画にするか設定できます。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	設定項目	内容
17	本体ランプ設定	電源を入れたときに「HDD」「BD」ランプを点灯させるか消灯させるかを設定します。	
		「する」	電源が入っているときに「HDD」「BD」ランプを点灯させます。
		「しない」	電源を入れても「HDD」「BD」ランプは点灯しません。

次ページへつづく⇒

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
18	タイムシフト視聴設定	「する」	放送視聴時にタイムシフト視聴をするための設定です。 (→2-57ページ) • タイムシフト視聴設定を行うと、電源が自動的に「切」になります。再度電源を入れ直すと、設定が有効になります。	
			「連動しない」	電源を入れている間は視聴中の番組を90分ぶん自動録画しタイムシフト視聴が行なえます。
			「連動する」	テレビで視聴しているチャンネルに連動して90分ぶん自動録画し、AQUOSタイムシフト視聴が行なえます。
		「しない」	—	タイムシフト視聴しません。

次ページへつづく⇒

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
19	クイック起動設定	—	素早く電源を入にして、番組表などを表示することができます。 (→9-20ページ) • 「クイック起動」が設定されている状態で「ダウンロードサービス」を行うとき、ダウンロードサービスを開始する5分前になると、一時的に「クイック起動」設定を解除します。そのため、すぐに電源が入らない場合があります。	
			「する(常時)」	「電源を入れる」「電子番組表を表示させる」「ホーム画面を表示させる」などの操作や、「録画」「再生」の操作がすぐにできる設定です。
			「する(時間指定)」	「する(常時)」と同じ操作が行える時間帯を3つまで設定できます。指定した時間帯以外は、待機時の消費電力を抑えるため「しない」の設定と同じになります。
			「しない」	クイック起動設定を「切」にします。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
20	無操作オフ設定	—	「する」 「しない」	操作をしない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。 • 無操作オフ機能は、再生や録画(ダビング)を行っているときは働きません。

次ページへつづく⇒

ホームメニューの各種設定をする

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
21	リモコン番号 設定	—	「リモコン番号1」 「リモコン番号2」 「リモコン番号3」	リモコン番号を設定できます。 （→同梱取扱説明書）

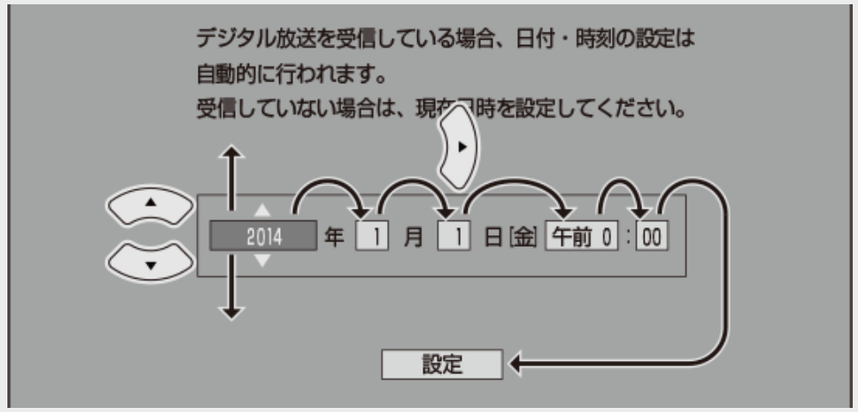
次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
22	日付・時刻設定	—	年月日時分	予約設定の前に時計が合っていることを確認し、合っていない場合は時計を合わせてください。デジタル放送を受信すると自動的に日付・時刻が設定されますので、この設定は不要です。 【上下左右カーソル】ボタンの左右で選び上下で設定する 

次ページへつづく⇒

本体設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
23	暗証番号設定	—	「する」 「しない」	本機は視聴年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときなどに、暗証番号を使います。 (→10-68ページ)

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

放送視聴設定



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名		設定項目	内容
24	チャンネル設定	地上デジタル受信設定	チャンネルサーチ	「する」 「しない」	地上デジタル放送のチャンネルサーチができます。 (→9-38ページ)
			チャンネル更新設定	「自動」 「手動」	地上デジタル放送のチャンネル情報を自動で更新するか、手動で更新するか設定できます。 (→9-42ページ)

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

放送視聴設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
24	チャンネル 設定	スキップ・リモコン 番号	「地上デジタル」 「BSデジタル」 「CSデジタル」	各放送のチャンネルスキップの設定と、リモコン番号の設定ができます。 （→9-47ページ）

次ページへつづく⇒

放送視聴設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名		設定項目	内容
25	アンテナ設定	受信強度表示		—	アンテナの受信強度を表示します。
		地上デジタル	信号テスト-地上D	「録画1用」 「録画2用」 「録画3用」	地上デジタル放送の信号テストを行うことができます。(→9-34ページ)
			アッテネーター設定	「入」 「切」	地上デジタル放送のアッテネーター(減衰器)を設定できます。(→9-36ページ)

次ページへつづく⇒

放送視聴設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
25	アンテナ設定	BS・CSデジタル	アンテナ電源設定	「オート」「入」「切」	BS・CSデジタル放送のアンテナ電源設定ができます。(→9-30ページ)
			周波数設定	数字ボタンで周波数を入力	BS・CSデジタル放送の任意の周波数で受信強度を確認できます。
			信号テストーBS	「録画1用」「録画2用」「録画3用」	BSデジタル放送の信号テストを行うことができます。(→9-34ページ)
			信号テストーCS	「録画1用」「録画2用」「録画3用」	CSデジタル放送の信号テストを行うことができます。(→9-34ページ)
			信号出力設定	「する」「しない」	BS・CSデジタル放送の信号を出力するかしないかを設定できます。(→9-36ページ)

次ページへつづく⇒

放送視聴設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
26	デジタル放送視聴設定	視聴年齢制限設定	「○○歳」 (数字ボタンで年齢を入力) 「無制限」	年齢制限のある番組の視聴を制限するための設定です。年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。 ※あらかじめ暗証番号の設定(→10-68ページ)をしておくことが必要です。
		地域選択	地域を選択	地上デジタル放送の地域情報(緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報)をお住まいの地域に合わせる設定です。 (→9-27ページ)
		郵便番号設定	数字ボタンで郵便番号を入力	
27	デジタル放送接続制限	—	「する」 「しない」	デジタル放送の双方向サービスのLAN接続を制限するか設定できます。※ (→9-75ページ)

通信機能設定



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
28	LAN設定	—	LAN接続の設定ができます。 （→9-63、9-70ページ）	
			「変更する」	LAN接続の設定を変更します。
			「初期化する」	LAN接続の設定を初期化します。
29	ホームネットワーク設定	—	「する」 「しない」	ホームネットワークを利用するか設定できます。 （→8-17ページ）

次ページへつづく⇒

通信機能設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
30	リモート(宅外)視聴設定	スマートフォンやタブレット端末で本機に録画した番組や放送番組が宅外でも視聴できるように設定できます。(→8-28ページ)		
		リモート視聴設定	「はい」「いいえ」	リモート視聴を利用するための本体の設定を行ないます。
		接続機器解除	「する」「しない」	登録されているスマートフォンなどの登録情報を削除します。
31	リモート(宅外)予約設定	接続機器登録	「する」「しない」	スマートフォンで本機の予約をするための設定です。(→9-85ページ)
		接続機器解除	「する」「しない」	

※あらかじめ暗証番号の設定(→10-68ページ)をしておくことが必要です。

次ページへつづく⇒

通信機能設定(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
32	IPコントロール操作	—	「変更する」「初期化する」	パソコン／スマートフォンから本機をコントロールするための設定です。（→9-77ページ）
33	ライブチューナー転送画質	—	「DR」「2倍」～「10倍」	ライブチューナー転送の画質を設定できます。（→8-26ページ）
34	スマートスピーカー操作	—	「する」「しない」	スマートフォンを使用して使用してペアリングするための機器ID番号を表示します。設定について詳しくはシャープサポート・お問い合わせページをご確認ください。（→8-10ページ）
35	インターネット接続制限	—	「する」「しない」	アクトビラへのインターネット接続を制限するか設定できます。※（→9-75ページ）
36	プライバシーポリシー	—	「同意する」「同意しない」	AQUOS視聴ランキングやAQUOS録画ランキング機能を利用したいときは同意いただく必要があります。また、お客様から取得する情報や利用目的等もプライバシーポリシー同意画面に記載されておりますので、同意の際は必ずお読みください。

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

ディスク管理



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
37	BD/DVD	ディスク保護	「する」 「しない」	ディスクの録画内容を消さないよう、ディスク全体を保護できます。 (→4-122ページ)
		ファイナライズ実行／解除	「する」 「しない」	本機でダビングしたDVDを他の機器で再生できるようにしたり、ファイナライズされたディスクを再び記録できるようにします。 (→5-83ページ)
		初期化	「する」 「しない」	ディスクに録画した番組などをすべて消去し、初期状態に戻します。 (→1-48ページ)

次ページへつづく⇒

ディスク管理(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
38	外付けHDD	取り外し	「する」 「しない」	外付けHDDを本機から取り外す場合に実行します。 (→1-61ページ)
		名称変更	「変更する」 「変更しない」	外付けHDDの名称変更をします。 (→1-61ページ)

次ページへつづく⇒

ディスク管理(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
38	外付けHDD	初期化	SeeQVault対応外付けHDD：「SeeQVault-HDD」「通常(録画用)」	未フォーマットのSeeQVault対応外付けHDDを「SeeQVault-HDD」として初期化し、本機(シャープ製SeeQVault対応機器)で使用できるようにします。(→1-61ページ)
			通常(録画用)外付けHDD：「する」「しない」	外付けHDDに録画した番組などをすべて消去し、外付けHDDをお買い上げ時の状態に戻します。(→1-61ページ)

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

ディスク管理(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
38	外付けHDD	登録※1	「する」 「しない」	外付けHDDを「通常(録画用)」としてご使用になるとき、本機に登録します。(→1-61ページ)
		登録解除※1	「外付けHDD1」～「外付けHDD8」	「通常(録画用)」として本機に登録されている外付けHDDの登録を解除します。(→1-61ページ)
		使用有効期限※2	XXXX年 XX月XX日	SeeQVault対応外付けHDDを「SeeQVault-HDD」として使用できる有効期限を表示します。本機をネットワークに接続しておきますと、有効期限は自動的に更新されます。(→1-61ページ)

※1　通常(録画用)外付けHDDで設定できる項目です。
※2　SeeQVault対応外付けHDDを使用するための情報有効期限です。

お知らせ

- 初期化により消去されたタイトルは元に戻せません。大切なタイトルは、内蔵HDDにダビングしてから初期化してください。
- 登録解除した外付けHDDは本機で使用できなくなります。再度登録すると使用できますが、記録されているタイトルは全て消去されます。

次ページへつづく⇒

ディスク管理(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
39	HDD	放送番組全消去	「する」 「しない」	内蔵HDD内の録画した放送番組をすべて消去します。 (→4-133ページ)
		動画アルバム全消去	「する」 「しない」	内蔵HDD内の動画アルバムをすべて消去します。 (→4-134ページ)

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

初期化・更新



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
40	設定リセット	—	「リセットする」 「リセットしない」	システムに保存している情報を初期状態（工場出荷時の状態）に戻します。（→同梱取扱説明書） • リセットを実行すると、予約内容、番組表データは消去されますが、HDD内の録画番組は消去されません。また、暗証番号の設定はリセットされません。 • 設定リセットを行うと、自動的に電源は「切」となります。 • リモコン番号は「1」に戻ります。

次ページへつづく⇒

初期化・更新(つづき)



ご注意

- 外付けHDD使用時、「全ての情報を消去」を選ぶと、外付けHDDに記録したタイトルは再生できなくなります。

No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
41	個人情報初期化	個人情報初期化	• 本機には、放送局とデータの送受信をするために入力した、お客様の個人情報が記憶されています。本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い、情報を消去してください。 • 録画したタイトルは消去されません。録画したタイトルも消去したい場合は、ハードディスクの初期化を行ってください。 • ドラ丸リストに登録されている番組は放送終了扱いとなります。登録されている番組を継続して録画をするときは番組表で予約設定してください。 • 個人情報初期化を行うと、設定が工場出荷時の状態に戻り、自動的に本機の電源が切れます。 • リモコン番号は「1」に戻ります。	
			「全ての情報を消去」	個人情報が初期化されます。
			「外付けHDD情報を残して消去」	外付けHDDの登録情報を残して、個人情報が初期化されます。
			「しない」	個人情報が残ります。

次ページへつづく⇒

初期化・更新(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
41	個人情報初期化	内蔵ハードディスク初期化	「はい」 「いいえ」	内蔵HDD(ハードディスク)に録画した番組などをすべて消去し、内蔵HDDをお買い上げ時の状態に戻します。 お買い上げ時、内蔵HDDは初期化された状態ですので、初期化の必要はありません。 以下のようなときに初期化をします。 • 内蔵HDD内の番組を消去しても空き容量(残量時間)が増えないとき。 • 本機のエラーが発生し、リセット操作をしても改善されないとき。 • 内蔵HDD内のタイトル(録画した番組)をすべて消去し、リフレッシュさせたいとき。

ご注意

- 初期化により消去されたタイトルは元に戻せません。大切なタイトルは、BD(ブルーレイディスク)にダビングしてから初期化してください。

次ページへつづく⇒

ホームメニューの各種設定をする

初期化・更新(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
42	システム動作テスト	—	「テスト実行」	B-CASカードが正しく装着されているかなどをテストすることができます。 • テストに失敗したときは、「B-CAS(ビーキャス)カードを挿入する」(→同梱取扱説明書24ページ)が正しく行われているかどうか、ご確認ください。 • 本機のソフトウェアのバージョン情報を確認することもできます。

次ページへつづく⇒

初期化・更新(つづき)



No.	メニュー項目名	サブメニュー項目名	設定項目	内容
43	ソフトウェアの更新	USBメモリー	USBメモリーを使用して本機のソフトウェアを更新できます。 • USBメモリーは本体前面のデータ送受信端子に差し込んでください。正しく差し込まれていないときは更新できません。	
			「開始する」	USBメモリー内の更新ファイルで本機のソフトウェアを更新します。
			「開始しない」	更新しません。

次ページへつづく⇒

初期化・更新(つづき)



No.	メニュー 項目名	サブメニュー 項目名	設定項目	内容
43	ソフトウェアの 更新	ネットワーク	「する」 「しない」	本機をインターネットに接続している場合、最新のソフトウェアをネットワークサーバーからダウンロードし更新できます。

ご注意

- 暗証番号を設定している場合は入力してください。
- ソフトウェアの更新をしようとしたとき、30分以内に予約が設定されている場合は更新できません。予約終了後に更新を行ってください。
- ディスクを取り出してから行ってください。

次ページへつづく⇒

各種設定

ホームメニューの各種設定をする

初期化・更新(つづき)



No.	メニュー 項目名	サブメニュー 項目名	設定項目	内容
44	ダウンロード設定	—	「する」 「しない」	電源「切」のとき自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行うかどうかを設定します。(ソフトウェアを自動更新することで本機の機能改善などに対応することができます)ダウンロード中は、「DATA」ランプが点灯します。

次ページへつづく⇒

初期化・更新(つづき)

ダウンロードサービスについて

- ダウンロードサービスとは、地上デジタル放送およびBSデジタル放送の電波を利用してソフトウェアの更新を行うサービスのことです。
- ダウンロードサービスによりソフトウェアの更新が行われるときは、本機の電源が自動的に入ります。ソフトウェアの更新中は、本機前面のHDDランプとBDランプ、RECランプが点滅(点灯)します。
- ダウンロード中は、ダウンロードを示すメッセージが表示されます。
- ダウンロードサービス中は、電源コードを抜いたりリセット操作を行わないでください。

各種設定

ツールメニュー項目の一覧と使いかた

放送視聴中

- 放送視聴中に【ツール】ボタンを押すと、以下の操作ができます。

ツールメニュー項目		内容
字幕		【決定】ボタンを押すと、字幕の入/切や切り換えができます。
視聴設定	音声切換	主音声や副音声など、音声を切り換えます。
	映像切換	映像を切り換えます。
録画画質設定		録画画質の設定をします。
テレビ／ラジオ／データ		デジタル放送の種類（テレビ放送／ラジオ放送／独立データ放送）を切り換えます。
タイトル指定再生		BDビデオやDVDビデオが挿入されていて、BD/DVDモードのときに、タイトルを指定して再生します。（ディスクによっては表示されない場合があります）

各種設定

ツールメニュー項目の一覧と使いかた

再生中

- HDDに録画した番組やディスクの再生中に【ツール】ボタンを押すと、以下の操作ができます。

ツールメニュー項目		内容
字幕		字幕の入/切や切り換えができます。
視聴設定	タイトル(トラック)選択	再生しながら視聴設定画面でまとめて設定を行うことができます。 詳しくは4-111～4-117ページをご覧ください。
	チャプター選択	
	再生経過時間(タイムサーチ)	
	音声切換	
	アングル番号／映像切換	
	HDMI音声出力アンプ優先	
	ディレイ	
	リピート再生	

各種設定

ツールメニュー項目の一覧と使いかた

ドラ丸リスト表示中（個別タイトルを選択しているとき）

- ドラ丸リストの個別タイトル選択中に【ツール】ボタンを押すと、以下の操作ができます。

ツールメニュー項目	内容
再生	録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を再生します。一度再生し、途中で停止したタイトルをはじめから見たいときに選択します。
消去	録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を消去できます。DVDは、消去できません。
ダビング	内蔵/外付けHDDに録画した番組をBDにダビングしたり、さまざまなダビングをしたりできます。
編集	内蔵/外付けHDDに録画した番組、BDにダビングした番組の編集操作が行なえます。
タイトル名変更	タイトル名を変更することができます。わかりやすいタイトル名に変更しておくと番組を探すときに便利です。
フォルダー設定	録画リストで選んだタイトルを、フォルダーに分けて分類・整理できます。
タイトル保護設定	タイトルを保護します。誤って編集や消去を防止するときに設定します。
関連番組検索	録画したタイトルに関連する「番組カテゴリ」や「人名」の番組を番組表から検索し、予約できます。
スタンプ	放送番組を録画したタイトルにお好みのスタンプを貼り付けることができます。（8種類の中から1つ選択）貼り付けたスタンプは録画リストに表示されます。グループリストでスタンプごとに表示することもできます。

各種設定

ツールメニュー項目の一覧と使いかた

番組表表示中

- 番組表の表示中に【ツール】ボタンを押すと、以下の操作ができます。

項目	サブ項目	内容	参照ページ
番組表	通常表示	通常の日別番組表を表示します。	2-24
	チャンネル別表示	チャンネル別番組表を表示します。	2-26
	マイ番組表	番組表設定で登録したマイ番組表を表示します。	2-28 2-48
裏番組	—	現在放送中の番組一覧を表示します。	2-29 2-37
マイ検索	—	登録している人名が出演する番組や登録されているキーワード、ジャンルなどの番組を検索し表示します。	2-38
番組検索	キーワード検索	キーワード(ラグビーなど)を入力し番組を検索します。	2-39
	ジャンル検索	ジャンルを選択して番組を検索します。	2-41
	人名検索	お気に入りの出演者の頭文字を入力し、表示された出演者が出演している番組を検索できます。	2-43
	番組カテゴリ検索	各カテゴリーの番組が検索できます。	2-45

次ページへつづく⇒

各種設定

ツールメニュー項目の一覧と使いかた

番組表表示中（つづき）

- 番組表の表示中に【ツール】ボタンを押すと、以下の操作ができます。

項目	サブ項目	内容	参照ページ
おすすめ・特集	—	放送局で選定した、おすすめ・特集番組一覧が表示されます。	2-46
予約リスト	—	予約リストを表示します。	3-65
録画画質設定	—	録画や予約録画で通常使用する録画画質を設定します。	3-13 13-37
日時指定予約	—	日時指定予約画面を表示します。	3-39～ 3-46
番組表設定	マイ番組表設定	自分で必要なチャンネルのみを登録しておくことで、マイ番組表が表示できます。	2-48
	ジャンル色設定	番組表に表示される番組のジャンルを色分け表示させるか設定します。	2-48
	表示文字設定	番組表に表示される文字に関する設定を行います。	2-49
	チャンネル表示設定	チャンネル表示に関する設定を行います。	2-50
	放送ネットワーク設定	番組表の放送ネットワーク（地上・BS・CS放送）の表示方法を変更できます。	2-50
	番組表取得設定	番組表の番組情報を取得する時間を設定します。	2-51 9-44

各種設定

ツールメニュー項目の一覧と使いかた

録画リスト表示中（個別タイトルを選択しているとき）

- 録画リストの個別タイトル選択中に【ツール】ボタンを押すと、以下の操作ができます。

ツールメニュー項目	内容
再生	録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を再生します。一度再生し、途中で停止したタイトルをはじめから見たいときに選択します。
消去	録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を消去できます。DVDは、消去できません。
ダビング	内蔵/外付けHDDに録画した番組をBDにダビングしたり、さまざまなダビングをしたりできます。
編集	内蔵/外付けHDDに録画した番組、BDにダビングした番組の編集操作が行なえます。
タイトル名変更	タイトル名を変更することができます。わかりやすいタイトル名に変更しておくと番組を探すときに便利です。
転送用動画管理	Wi-Fi転送用動画の作成／消去ができます。
フォルダー設定	録画リストで選んだタイトルを、フォルダーに分けて分類・整理できます。
タイトル保護設定	タイトルを保護します。誤って編集や消去を防止するときに設定します。
次回番組予約	録画したタイトルの次回放送番組を番組表から検索し、予約できます。
関連番組検索	録画したタイトルに関連する「番組カテゴリ」や「人名」の番組を番組表から検索し、予約できます。
スタンプ	放送番組を録画したタイトルにお好みのスタンプを貼り付けることができます。（8種類の中から1つ選択）貼り付けたスタンプは録画リストに表示されます。グループリストでスタンプごとに表示することもできます。

各種設定

ツールメニュー項目の一覧と使いかた

録画リスト表示中（まと丸リストを選択しているとき）

- 録画リストをタイトルごとにまとめて表示しているとき、「まと丸リスト」選択中に【ツール】ボタンを押すと、以下の操作ができます。

ツールメニュー項目	内容
消去	まとめたタイトルを、一括で消去します。
ダビング	まとめたタイトルを、一括でダビングします。
タイトル保護設定	まとめたタイトル保護を、一括で設定／解除します。

各種設定

視聴制限のための設定をする

暗証番号を設定する

視聴制限のための暗証番号を設定します。

ご注意

- 初期化したときは、データ放送などで、再度情報の入力が必要となります。また、ポイント情報なども初期化されます。

お知らせ

- 暗証番号は忘れないように必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

- 「ホーム」―「設定」―「初期化・更新」―「個人情報初期化」で個人情報を初期化することでリセットされます。他の設定項目もリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

次ページへつづく⇒

各種設定

視聴制限のための設定をする



暗証番号を設定する(つづき)

1. 「ホーム」—「設定」—「本体設定」—「暗証番号設定」を選んで決定します

2. 「設定する」を選んで決定します
   - 設定済みの暗証番号を変更するときは「変更する」を選んで決定します。「解除する」を実行すると設定済みの暗証番号が解除されます。

3. 4桁の暗証番号を入力します
   - 【1】～【10】ボタンを押す

4. 確認のためもう一度入力します

5. 「確認」で決定します
   - 【終了】ボタンを押して終了します。

視聴制限のための設定をする



視聴制限とディスク優先言語を設定する

視聴制限で国コード、ディスク優先言語で言語コードを設定します。

お知らせ

- 「ディスク優先言語」で選ぶ国コード・言語コードについては10-71ページをご覧ください。

1. 「ホーム」—「設定」—「録画・再生設定」—「BD/DVD再生設定」を選んで決定します
2. 「視聴制限レベル」を選んで決定します
3. 暗証番号を入力します（10-69ページ）
4. それぞれ選んで決定します
   - 視聴制限レベルについては10-11ページをご覧ください。
   - 国コードについては10-71ページをご覧ください。
5. 「ディスク優先言語」を選んで決定します
6. それぞれの項目の言語を選んで決定します
   - 【終了】ボタンを押して終了します。

次ページへつづく⇒

各種設定

視聴制限のための設定をする

視聴制限とディスク優先言語を設定する(つづき)

国コードの一覧表

アメリカ
カナダ
日本
ドイツ
フランス
イギリス
イタリア
スペイン
スイス
スウェーデン
オランダ
ノルウェー
デンマーク
フィンランド
ベルギー
香港
シンガポール
タイ
マレーシア
インドネシア
台湾
フィリピン
オーストラリア
ロシア
中国

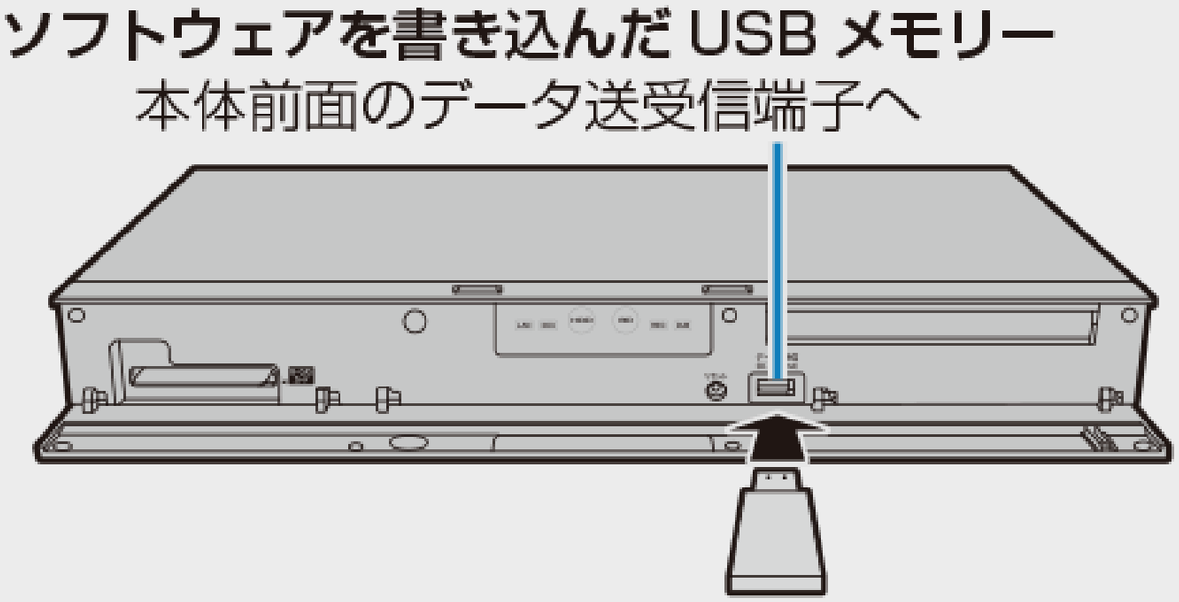
言語コードの一覧表

ＡＡ アファル語	ＦＹ フリジア語	ＬＶ ラトビア語、レット語	ＳＬ スロベニア語
ＡＢ アブハジア語	ＧＡ アイルランド語	ＭＧ マダガスカル語	ＳＭ サモア語
ＡＦ アフリカーンス語	ＧＤ スコットランドゲール語	ＭＩ マオリ語	ＳＮ ショナ語
ＡＭ アムハラ語	ＧＬ ガルシア語	ＭＫ マケドニア語	ＳＯ ソマリ語
ＡＲ アラビア語	ＧＮ グアラニ語	ＭＬ マラヤーラム語	ＳＱ アルバニア語
ＡＳ アッサム語	ＧＵ グジャラート語	ＭＮ モンゴル語	ＳＲ セルビア語
ＡＹ アイマラ語	ＨＡ ハウサ語	ＭＯ モルダビア語	ＳＳ シスワティ語
ＡＺ アゼルバイジャン語	ＨＩ ヒンディ語	ＭＲ マラータ語	ＳＴ セストゥ語
ＢＡ バジキール語	ＨＲ クロアチア語	ＭＳ マレー語	ＳＵ スンダ語
ＢＥ ベラルーシ語	ＨＵ ハンガリー語	ＭＴ マルタ語	ＳＶ スウェーデン語
ＢＧ ブルガリア語	ＨＹ アルメニア語	ＭＹ ミャンマー語	ＳＷ スワヒリ語
ＢＨ ビハーリー語	ＩＡ 国際語	ＮＡ ナウル語	ＴＡ タミール語
ＢＩ ビスラマ語	ＩＥ 国際語	ＮＥ ネパール語	ＴＥ テルグ語
ＢＮ ベンガル語、バングラ語	ＩＫ イヌピック語	ＮＬ オランダ語	ＴＧ タジク語
ＢＯ チベット語	ＩＮ インドネシア語	ＮＯ ノルウエー語	ＴＨ タイ語
ＢＲ ブルトン語	ＩＳ アイスランド語	ＯＣ プロバンス語	ＴＩ ティグリニャ語
ＣＡ カタロニア語	ＩＴ イタリア語	ＯＭ アファン語（オロモ語）	ＴＫ トゥルクメン語
ＣＯ コルシカ語	ＩＷ ヘブライ語	ＯＲ オリヤー語	ＴＬ タガログ語
ＣＳ チェコ語	ＪＡ 日本語	ＰＡ パンジャブ語	ＴＮ セツワナ語
ＣＹ ウェールズ語	ＪＩ イディッシュ語	ＰＬ ポーランド語	ＴＯ トンガ語
ＤＡ デンマーク語	ＪＷ ジャワ語	ＰＳ パシュトー語	ＴＲ トルコ語
ＤＥ ドイツ語	ＫＡ グルジア語	ＰＴ ポルトガル語	ＴＳ ツォンガ語
ＤＺ ブータン語	ＫＫ カザフ語	ＱＵ ケチュア語	ＴＴ タタール語
ＥＬ ギリシャ語	ＫＬ グリーンランド語	ＲＭ ラエティ＝ロマン語	ＴＷ トウィ語
ＥＮ 英語	ＫＭ カンボジア語	ＲＮ キルンディ語	ＵＫ ウクライナ語
ＥＯ エスペラント語	ＫＮ カンナダ語	ＲＯ ルーマニア語	ＵＲ ウルドゥ語
ＥＳ スペイン語	ＫＯ 韓国語	ＲＵ ロシア語	ＵＺ ウズベク語
ＥＴ エストニア語	ＫＳ カシミール語	ＲＷ キニャルワンダ語	ＶＩ ベトナム語
ＥＵ バスク語	ＫＵ クルド語	ＳＡ サンスクリット語	ＶＯ ボラピュク語
ＦＡ ペルシャ語	ＫＹ キルギス語	ＳＤ シンド語	ＷＯ ウォロフ語
ＦＩ フィンランド語	ＬＡ ラテン語	ＳＧ サンゴ語	ＸＨ コーサ語
ＦＪ フィジー語	ＬＮ リンガラ語	ＳＨ セルビアクロアチア語	ＹＯ ヨルバ語
ＦＯ フェロー語	ＬＯ ラオス語	ＳＩ シンハラ語	ＺＨ 中国語
ＦＲ フランス語	ＬＴ リトアニア語	ＳＫ スロバキア語	ＺＵ ズール語

ソフトウェアを更新する

USBメモリーを使用してソフトウェアを更新する

地上デジタル放送およびBSデジタル放送を受信していないときや、CATVなど外部チューナーを経由して放送を受信しているときなど、放送の電波を通してソフトウェアの更新ができない場合は、USBメモリーを使用してソフトウェアの更新が行えます。
ソフトウェアの更新を行う際は、予めパソコン等を使用して更新用ソフトウェアをUSBメモリーに書き込んでおく必要があります。



次ページへつづく⇒

USBメモリーを使用してソフトウェアを更新する(つづき)

■ソフトウェアの更新情報について

- ソフトウェアの更新情報は、パソコンを使用してシャープホームページ内のサポート・お問い合わせページでご確認ください。
  【シャープ サポート・お問い合わせページ⇒ http://www.sharp.co.jp/support/bd/index.html 】
- 更新用ソフトウェアが公開されているときは、パソコンにダウンロードした後、USBメモリーにコピーしてください。

重要

- データの更新中は、USBメモリーを取り外さないでください。
- データの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

お知らせ

- ソフトウェアの更新をしようとしたとき、30分以内に予約が設定されている場合は更新できません。予約終了後に更新を行ってください。

ネットワークサーバーからソフトウェアを更新する

本機をインターネットに接続しているときは、最新のソフトウェアをネットワークサーバーからダウンロードし更新が行えます。

重要

- データの更新中は、更新が完了するまで他の操作は行わないでください。
- データの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

お役立ち情報

録画の組み合わせと録画中にできること

録画・予約録画をする前にお読みください。

録画中にできること

本機では、地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタル放送の「録画1」、「録画2」、「録画3」での3番組同時録画が可能です。

録画している番組				録画中にできること						
	ファミリンク録画（地デジ・BS・CS）	ホームネットワーク録画※1	転送用動画を録画	別番組の選局（視聴）※1	別番組の録画ボタンによるらくらく一発録画	同時再生／追いかけ再生	ホームネットワーク再生※1※5	編集	ダビング	
									高速ダビング※2	録画画質変換ダビング※2
1番組録画（地デジ・BS・CS）	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○
	●	—	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	●	—	○	○	○	×	○	○	○
	—	—	●	○	○	○	○	○	○	○
	●	—	●	○	○	○	○	○	○	○
	●	●	●	○	○	○	×	○	○※3	○

（○：同時動作できる　×：同時動作できない）
上記の表は一例です。本機の動作状態によっては、上記の表と異なる場合があります。
※1～※5→11-4ページ

次ページへつづく⇒

録画中にできること(つづき)

本機では、地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタル放送の「録画1」、「録画2」、「録画3」での3番組同時録画が可能です。

録画している番組				録画中にできること						
	転送用動画を録画	ホームネットワーク録画※1	ファミリンク録画（地デジ・BS・CS）	別番組の選局（視聴）※1	別番組の録画ボタンによるらくらく一発録画	同時再生／追いかけ再生	ホームネットワーク再生※1※5	編集	ダビング	
									高速ダビング※2	録画画質変換ダビング※2
2番組録画※4（地デジ・BS・CS）	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	—	●	×	×	○	○	○	○※3	×
	—	●	—	○	○	○	×	○	○※3	○※3
	●	—	—	○	○	○	○	○	○	○
	●	—	●	×	×	○	○	○	○※3	×
	—	●	●	○	○	○	×	○	○※3	○
	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×

（○：同時動作できる　×：同時動作できない）
上記の表は一例です。本機の動作状態によっては、上記の表と異なる場合があります。
※1～※5→11-4ページ

次ページへつづく⇒

録画中にできること(つづき)

本機では、地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタル放送の「録画1」、「録画2」、「録画3」での3番組同時録画が可能です。

録画している番組				録画中にできること						
									ダビング	
	ファミリンク録画（地デジ・BS・CS）	ホームネットワーク録画※1	転送用動画を録画	別番組の選局（視聴）※1	別番組の録画ボタンによるらくらく一発録画	同時再生／追いかけ再生	ホームネットワーク再生※1 ※5	編集	高速ダビング※2	録画画質変換ダビング※2
3番組録画※4（地デジ・BS・CS）	—	—	—	×	×	○	○	○	○※3	×
	—	●	—	×	×	×	×	×	×	×
ファミリンク録画（地デジ・BS・CS）				○	○	○	○	○	○	○
ホームネットワーク録画※1				○	○	○	×	○	○	○

（○：同時動作できる　×：同時動作できない）
上記の表は一例です。本機の動作状態によっては、上記の表と異なる場合があります。
※1～※5→11-4ページ

次ページへつづく⇒

録画中にできること(つづき)

※1 3番組録画中は録画中の番組のみの選局となります。(ホームネットワークで録画している番組は視聴できません)
※2 外付けHDDへの録画中は、外付けHDDのダビングはできません。
※3 内蔵HDD⇔内蔵HDDのダビングは、DR画質で3番組録画中はできません。
※4 Wi-Fi転送用動画は1番組のみ記録できます。
※5 お使いのネットワーク機器や、アプリケーションソフトにより、再生できないなど動作条件が異なる場合があります。

ダビングできる組み合わせとダビング中にできること

ダビング中にできること

ダビングの組み合わせ			ダビング中にできること						
				内蔵 HDD					
ダビング元	ダビング先	ダビング種類	放送視聴	1 番組 2 番組 録画 ※1	3 番組 録画 ※1	追いかけ / 同時 録画再生 ※1	HDD再生	ホーム ネット ワーク 録画/再生	BD/DVD ディスク 再生 ※4
内蔵 HDD から	BD へ	高速ダビング	○	○	○	○	○	○	ー
		録画画質変換 ダビング	○	○	×	○	○		
	DVD へ	録画画質変換 ダビング	○	○	×	○	○	○	ー
	外付け HDD へ※5	高速ダビング	○	○	○	○	○	○	○
		録画画質変換 ダビング			×				
	内蔵 HDD へ	高速ダビング	○	○	○※3	○	○	○	○
		録画画質変換 ダビング			×	○	○		

上記の表は一例です。本機の動作状態によっては、上記の表と異なる場合があります。
※1～※5→11-7ページ

次ページへつづく⇒

お役立ち情報

ダビングできる組み合わせとダビング中にできること

ダビング中にできること(つづき)

ダビングの組み合わせ			ダビング中にできること						
				内蔵 HDD					
ダビング元	ダビング先	ダビング種類	放送視聴	1 番組 2 番組 録画 ※1	3 番組 録画 ※1	追いかけ / 同時 録画再生 ※1	HDD再生	ホーム ネット ワーク 録画/再生	BD/DVD ディスク 再生 ※4
BD から※2	内蔵 HDD へ	高速ダビング	○	○	○	○	○	○	ー
	外付け HDD へ※5	高速ダビング	○	○	○	○	○	○	ー
外付け HDD から※5	内蔵 HDD へ	高速ダビング	○	○	○	○	○	○	○
		録画画質変換 ダビング			×				
	BD へ	高速ダビング	○	○	○	○	○	○	ー
		録画画質変換 ダビング			×				

上記の表は一例です。本機の動作状態によっては、上記の表と異なる場合があります。
※1～※5→11-7ページ

次ページへつづく⇒

ダビング中にできること(つづき)

※1 Wi-Fi転送用動画の同時録画を除きます。
※2 BDに録画されている4K放送番組や市販のBDソフトはダビングできません。録画制限のある番組は、タイトル保護／ディスク保護が設定されているとHDD（ハードディスク）にダビングできません。（シャープ製以外のレコーダーで録画したBDは、HDD（ハードディスク）にダビングできない場合があります）
※3 録画画質「DR」で録画中のときは高速ダビングできません。
※4 録画画質変換ダビング中は、市販のBDビデオは再生できません。
※5 外付けHDDへのダビング中、外付けHDDからダビング中は、外付けHDDの録画、再生はできません。

お役立ち情報

ディスクの種類とおもにできること

●HDD（ハードディスク）にデジタル放送をそのままの画質（ハイビジョン画質）で録画
録画画質をDRに設定することでデジタル放送から送られてくる信号をそのまま録画できます。
ハイビジョン画質や5.1ch音声をそのまま録画できます。
録画画質は、デジタル放送の番組に合わせHD（ハイビジョン）またはSD（標準）となります。

●HDD（ハードディスク）に録画画質を選んで録画
録画画質（2倍～12倍、HD○○）を選んで録画できます。
2倍～12倍、HD○○では放送データを圧縮したハイビジョン画質で5.1ch音声をそのまま録画できます。

●BD（ブルーレイディスク）にダビング
HDD（ハードディスク）に録画したハイビジョン番組を、ハイビジョンのままダビングできます。
任意の録画画質でダビングすることもできます。

●DVDへ「VRフォーマット」でダビング
任意の録画画質でダビングできます。
記録したディスクはVRフォーマット対応のDVDプレーヤーでのみ再生できます。
また、デジタル放送の「1回だけ録画可能」「ダビング10」の番組をDVD-RW/-R（CPRM対応）ディスクに記録することができます。

次ページへつづく⇒

お役立ち情報

ディスクの種類とおもにできること

●おもにできること／できないこと

	内蔵HDD	外付けHDD	BD-RE(SL/DL)※1 BD-R(SL/DL) BD-RE XL BD-R XL	DVD
	DR/ 2～12倍/ HD○○	DR/ 2～12倍/ HD○○		VRフォーマット
デジタル放送録画（ダビング）	○	○	（○）	（○）
ファミリンク録画	○	×	×	×
ハイビジョン画質での録画（ダビング）	○	○	（○）	×
デジタル放送5.1ch音声記録	○	○	○	×

※1　本機はBDへ放送を直接録画できません。BDに記録したいときは、HDDに録画してからダビングしてください。

※2　DVD-RW/-R（CPRM対応）ディスクでのダビングのみ可能。

次ページへつづく⇒

お役立ち情報

ディスクの種類とおもにできること

●おもにできること／できないこと

	内蔵HDD	外付けHDD	BD-RE(SL/DL) BD-R(SL/DL) BD-RE XL BD-R XL	DVD
	DR/ 2～12倍/ HD○○	DR/ 2～12倍/ HD○○		VRフォーマット
字幕記録	○	○	○	×※3
連動データ記録	○※1	○※1	○	×
ステレオニヶ国語 音声記録（マルチ音声）	○※2	○※2	○	×
モノラルニヶ国語 音声記録	○	○	○	○
高速ダビング	○	○	○	×

※1～※3→11-12ページ

次ページへつづく⇒

お役立ち情報

ディスクの種類とおもにできること

●おもにできること／できないこと

	内蔵HDD	外付けHDD	BD-RE(SL/DL) BD-R(SL/DL) BD-RE XL BD-R XL	DVD
	DR/ 2～12倍/ HD○○	DR/ 2～12倍/ HD○○		VRフォーマット
追いかけ再生	○	○	×	×
同時録画再生	○	○	×	×
任意のチャプター設定	○	○	○	×
シーン消去	○	○	○	×
チャプター消去	○	○	○	×
フレーム単位編集	○	○	○	×

次ページへつづく⇒

●おもにできること／できないこと

※1 「ホーム」―「設定」―「録画・再生設定」の「連動データ記録設定」に従い記録されます。予約録画では予約ごとに設定することもできます。
※2 録画画質「7倍」「10倍」「12倍」で録画したとき、記録される音声は「ホーム」―「設定」―「録画・再生設定」―「音声記録設定」―「マルチ音声記録設定」で設定されている音声です。（→10-6ページ）
※3 字幕が映像として送られてきている場合のみ可能です。（字幕の入／切の切換ができない映像のみ録画されます。）

お役立ち情報

本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク(以下のディスク以外は再生できません)

ディスクの種類		再生できる条件		
		ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
ULTRA HD Blu-ray™	UltraHDブルーレイ	12cm盤	BDMVフォーマット	音声＋映像（動画）
Blu-ray Disc™ BDビデオ	リージョンコードA（Aを含む）、または「All Region（オールリージョン）」のディスク、ブルーレイ3D™			
BD-RE	SL（1層）Ver. 2.1/2.2、DL（2層）Ver. 2.1/2.2、XL（3層）Ver. 3.0/3.1		BDAVフォーマット HDVフォーマット※1	音声＋映像（動画）
BD-R	SL（1層）Ver.1.1/1.2/1.2LTH TYPE/Ver.1.3/1.3LTH TYPE/Ver1.4 DL（2層）Ver.1.1/1.2/1.3/1.4、XL（3層/4層）Ver. 2.0/2.2			音声＋映像（動画）JPEGファイル
DVD VIDEO DVD VIDEO DVDビデオ	リージョンコードALLまたは2の含まれるディスク	12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット	音声＋映像（動画）

※1 HDV方式のディスクは、再生できない場合があります。

次ページへつづく⇒

お役立ち情報

本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク(以下のディスク以外は再生できません)(つづき)

ディスクの種類		再生できる条件		
		ディスクの大きさ	録画方式(フォーマット)	再生できる内容
DVD-RW DVD-R DVD-R DL		12cm盤 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット AVCHDフォーマット※2 (ファイナライズ済ディスク)	音声＋映像 (動画)
			写真フォーマット※3 (DVD-RWのみ)	JPEGファイル
DVD+RW, DVD+R, DVD+R DL		12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット (ファイナライズ済ディスク)	音声＋映像 (動画)
DVD-RAM [カートリッジからディスクを取り出せるタイプ]	4.7/9.4 GB	12cm盤 8cm盤	VRフォーマット AVCHDフォーマット※2	音声＋映像 (動画)
音楽用CD		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
CD-R CD-RW		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
			JPEGファイルを記録したディスク	JPEGファイル

※2 再生できるディスクは、ビデオカメラで撮影したディスクです。パソコンなどで作成したディスクは再生できない場合があります。

※3 シャープ製レコーダーで録画した写真フォーマットのディスクのみ。

お役立ち情報

本機で使えるディスクについて

本機でダビング・再生できるディスク

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ダビングするときには、12cm盤のディスクをご使用ください。

ディスクの特長		ディスクの種類	
		BD-RE SL（1層）、DL（2層）、XL（3層）	BD-R SL（1層）、DL（2層）、XL（3層）、XL（4層）
ディスクのバージョン	SL（1層）	Ver. 2.1/2.2	Ver.1.1/1.2/1.2LTH TYPE/ Ver.1.3/1.3LTH TYPE/Ver1.4
	DL（2層）	Ver. 2.1/2.2	Ver.1.1/1.2/1.3/1.4
	XL（3層）	Ver. 3.0/3.1	Ver. 2.0/2.2
	XL（4層）	—	Ver. 2.0/2.2
新品のディスクを使うときに初期化が必要		○	○
ダビングしたあとで再初期化ができる		○	×
HDDに録画したデジタル放送のダビング	録画可能	○（コピー）	○（コピー）
	ダビング10	○※1（コピー／ムーブ）	○※1（コピー／ムーブ）
	1回だけ録画可能	○※2（ムーブ）	○※2（ムーブ）
	録画禁止	×	×

※1～※2→11-16ページ

次ページへつづく⇒

お役立ち情報

本機で使えるディスクについて

本機でダビング・再生できるディスク(つづき)

ディスクの特長		ディスクの種類	
		BD-RE SL(1層)、DL(2層)、XL(3層)	BD-R SL(1層)、DL(2層)、XL(3層)、XL(4層)
HDDからのダビング種類	高速	○	○
	録画画質変換	○	○
ダビングしたあと他の機器で再生できる		○	○
繰り返し録画		○	×
追加録画		○	○

※1 HDDに録画した「ダビング10」の番組は、BD(ブルーレイディスク)に9回コピーできます。10回目にダビングすると移動(ムーブ)になり、ダビングした番組はHDDから消去されます。

※2 HDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組をBDにダビングする場合は、移動(ムーブ)となり、ダビングした番組はHDDから消去されます。

次ページへつづく⇒

本機でダビング・再生できるディスク(つづき)

ディスクの特長	ディスクの種類			
	DVD-RW※1		DVD-R※1/DVD-R DL※1	
	VRフォーマット	ビデオフォーマット	VRフォーマット	ビデオフォーマット
ディスクのバージョン	Ver.1.1, Ver.1.1/2x Ver.1.2/4x, Ver.1.2/6x	非対応	Ver.2.0, Ver.2.0/4x Ver.2.0/8x, Ver.2.1/4x Ver.2.1/8x, Ver.2.1/16x Ver.3.0/ 8x	非対応
新品のディスクを使うときに初期化が必要	○		○	
ダビングしたあとで再初期化ができる	○		×	

※1～※6→11-20ページ

次ページへつづく⇒

お役立ち情報

本機で使えるディスクについて

本機でダビング・再生できるディスク(つづき)

ディスクの特長		ディスクの種類			
		DVD-RW※1		DVD-R※1/DVD-R DL※1	
		VRフォーマット	ビデオフォーマット	VRフォーマット	ビデオフォーマット
HDDに録画したデジタル放送のダビング	録画可能	○（コピー）	非対応	○（コピー）	非対応
	ダビング10	○※2（コピー／ムーブ）		○※2（コピー／ムーブ）	
	1回だけ録画可能	○※3（ムーブ）		○※3（ムーブ）	
	録画禁止	×		×	

※1～※6→11-20ページ

次ページへつづく⇒

本機でダビング・再生できるディスク(つづき)

ディスクの特長		ディスクの種類			
		DVD-RW※1		DVD-R※1/DVD-R DL※1	
		VRフォーマット	ビデオフォーマット	VRフォーマット	ビデオフォーマット
HDDからのダビングスピード	高速	×	非対応	×	非対応
	1倍速	○		○	
ダビングしたあと他の機器で再生できる		DVD-RW対応のDVDプレーヤーでのみ再生できます。※4		VRフォーマットのDVD-R対応機器で再生できます。※5	
繰り返し録画		○		×	
追加録画		○		○※6	

※1～※6→11-20ページ

次ページへつづく⇒

お役立ち情報

本機で使えるディスクについて

本機でダビング・再生できるディスク(つづき)

ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS規格に合格したディスクをご使用ください。
規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質・音質の保証はいたしかねます。

※1 デジタル放送をDVDにダビングするときは、CPRM対応のディスクをお使いください。
※2 HDDに録画した「ダビング10」の番組は、BD（ブルーレイディスク）やDVDに9回コピーできます。10回目にダビングすると移動（ムーブ）になり、ダビングした番組はHDDから消去されます。
※3 HDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組をBDやDVDへダビングする場合は、移動（ムーブ）となり、ダビングした番組はHDDから消去されます。
※4 ファイナライズ処理が必要な場合もあります。DVD-RW対応のDVDプレーヤーには、下記の表示が付いています。

RW COMPATIBLE これは、DVDレコーダーでVR（ビデオレコーディング）フォーマット記録されたDVD-RWが再生できる機能を示しています。

DVD-RW（CPRM対応）に録画した「1回だけ録画可能」「ダビング10」の番組は、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。DVDプレーヤーによっては再生できないものもあります。

※5 DVD-RをVRフォーマットで初期化してダビングしたディスクは、DVD-R VRフォーマット対応のDVDプレーヤーで再生できます。DVD-R VRフォーマット対応のDVDプレーヤーでも再生できないときは、ファイナライズをしてください。
DVD-R（CPRM対応）にダビングした「1回だけ録画可能」「ダビング10」の番組は、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。（再生できない機器もあります。）
※6 ディスクに残量がある限り、ダビングができます。ただし、ファイナライズ処理をすると以降のダビングができなくなります。（ファイナライズ解除はできません。）

本機で使えるディスクについて

本機でダビング・再生できないディスク

- 次のディスクは、本機でダビング・再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

CDG、フォトCD、ビデオCD、CD-ROM、CD-TEXT、CD-EXTRA、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVDオーディオ、HD DVD、AVCREC方式やHD Rec規格で記録したDVDなど

その他、特殊な形のディスク（ハート型や六角形のディスクなど）

●DVD-R DL（2層）ディスクについて

- DVD-R DL（2層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。

お役立ち情報

本機で使えるディスクについて

本機で再生できないディスク

- 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

BDビデオ	• リージョンコード「A」または「All Region」以外のディスク（正式な販売地域以外のディスク）、リージョンコードの記載がないディスクは、NTSC方式のディスクであれば再生できることもあります。 • PAL方式、SECAM方式のディスク
BD-RE※ BD-R※	• BD-RE Ver.1.0は本機で再生できません。 • カートリッジタイプのディスクは再生できません。
DVDビデオ※	• リージョンコード「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） • PAL方式、SECAM方式のディスク（海外で製造されたディスク）
DVD-RW※ DVD+RW※ DVD-RAM※ DVD-R※ DVD+R※	• データが記録されていないディスク • ファイナライズされていないディスク 次のディスクは再生できない場合があります。 • DVD-R（VRフォーマット）ディスク • DVD-R DL（2層）ディスク • DVD+R DL（2層）ディスク

※無許諾のディスク（海賊版のディスク）、業務用のディスク、他のレコーダーやパソコンで記録したディスクは、再生できない、または正常な再生映像とならない場合があります。

次ページへつづく⇒

本機で再生できないディスク(つづき)

- 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

CD-R CD-RW	• データが記録されていないディスク • ファイナライズされていないディスク • 音楽CDフォーマット、JPEGファイル以外のフォーマットで記録されたディスク • 音楽や映画などと静止画(JPEGファイル)が混在したディスクは、静止画(JPEGファイル)を再生できません。 または、ディスクによってはまったく再生できません。 • ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。 • ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては再生できません。
音楽用CD	• 著作権保護を目的とした信号(コピーコントロール信号)の入ったCDは再生できない場合があります。 • DTS音声とリニアPCM音声が混在しているディスクは再生できない場合があります。本製品は、CD(コンパクトディスク)規格に準拠した音楽用CDの再生を前提として設計されています。
ビデオCD	• ビデオCDは本機で再生できません。
DTS CD	• リニアPCM音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

お役立ち情報

BDについて

推奨ディスク

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ディスクによっては本機との相性により、性能を十分に発揮できない（使用できない）場合がありますので、弊社で確認済みの下記メーカー製ディスクの使用をおすすめします。

BD-REに準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー			
Ver.2.1	TDK	三菱ケミカルメディア	ソニー	パナソニック

BD-RE XLに準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー	
Ver.3.0	ソニー	パナソニック

BD-Rに準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー			
Ver.1.1	TDK	三菱ケミカルメディア	ソニー	パナソニック
Ver.1.2	TDK	三菱ケミカルメディア	ソニー	パナソニック
Ver.1.2 LTH TYPE	太陽誘電（That's）			
Ver.1.3	TDK	三菱ケミカルメディア	ソニー	パナソニック
Ver.1.3 LTH TYPE	太陽誘電（That's）		三菱ケミカルメディア	

BD-R XLに準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー	
Ver.2.0	三菱ケミカルメディア	ソニー
Ver.2.2	ソニー	

メーカーによっては生産終了となっている場合があります。

ダビングしたBDを他の機器で再生するときは

- 本機でダビング（録画）したディスクを他の機器で再生するときは、ディスクの種類や録画方式（フォーマット）により、再生できる機器の条件が異なります。
- LAN接続のスカパー! プレミアムサービスチューナーから録画（ダビング）したBD（ブルーレイディスク）は、本機以外では再生できない場合があります。

BDはファイナライズ操作は不要です。

	ディスクの種類／録画方式（フォーマット）	ファイナライズ	再生できる機器の条件※1
DR録画	BD-R/-RE BDAV	–	ほとんどのBDプレーヤーで再生できます。
2倍～12倍・HD○○で録画	BD-R※2/-RE MPEG4AVC/H.264	–	MPEG4AVC/H.264に対応した機器で再生できます。
3層、4層のディスクにダビング	BD-R XL（3層、4層） BD-RE XL（3層）	–	BD-R/-RE XLに対応した機器で再生できます。
AVCHD方式のデジタルビデオカメラからダビング	BD-R※2/-RE AVCHD	–	AVCHDに対応した機器で再生できます。

※1 再生する機器が再生の条件を満たしているかについては、お使いの機器メーカーにお問い合わせください。
※2 BD-R Ver1.3 LTHディスクの場合は、再生機器がBD-R Ver1.3 LTHに対応している必要があります。

お役立ち情報

BDについて

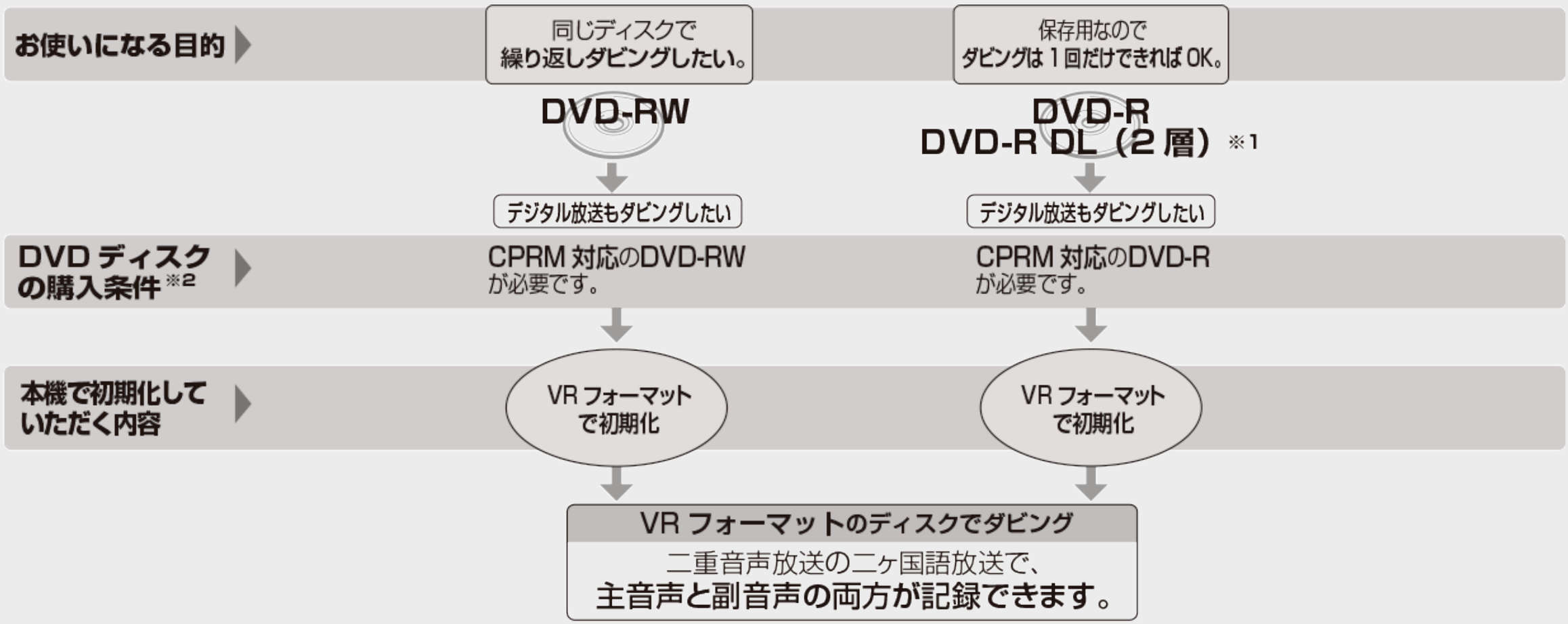
本機で記録(ダビング)したBDが再生可能なBDレコーダー／BDプレーヤーについて

- 記録方式や記録に使用したディスクにより、他機での再生が制限されます。
  ※下記の表に該当していても、ディスクの状態や記録内容によっては、再生できない場合があります。
  他機での再生を保証するものではありません。

	記録方式／ディスクの種類	再生可能なBDレコーダー／BDプレーヤー
記録方式	DR(MPEG2-TS)記録	ほとんどのBDレコーダー／BDプレーヤーで再生が可能です。
	2倍～12倍／HD○○(MPEG4 AVC/H.264)記録	MPEG4 AVC/H.264に対応したBDレコーダー／BDプレーヤーで再生が可能です。
ディスクの種類	BD-R Ver.1.2 LTH TYPEディスク、BD-R Ver.1.3 LTH TYPEディスクに記録	BD-R Ver.1.2 LTH TYPEディスク、BD-R Ver.1.3 LTH TYPEディスクに対応したBDレコーダー/BDプレーヤーで再生が可能です。
	BD-R XL Ver.2.0/Ver.2.2(3層／4層)、BD-RE XL Ver.3.0/Ver.3.1(3層)に記録	BD-R XL Ver.2.0/Ver.2.2(3層／4層)、BD-RE XL Ver.3.0/Ver.3.1(3層)に対応したBDレコーダー／BDプレーヤーで再生が可能です。

ディスクの種類とフォーマットについて

- DVD−RW/−R ディスクとフォーマットの種類を、お使いになる目的に合わせてお選びください。



※1 DVD−R DL（2層）ディスクは機器によって、ファイナライズを行ったディスクでも再生できない場合があります。
※2 DVD−RWまたはDVD−Rを購入するときは、デジタル放送がダビングできるCPRM（デジタル放送）対応のディスク購入をおすすめします。

次ページへつづく⇒

ディスクの種類とフォーマットについて(つづき)

DVD−RWを使うとき

- 新品のDVD−RWを挿入すると自動的にVRフォーマットで初期化されます。
- ダビングしたDVD−RWを新品同様に使いたいときは、もう一度初期化します。

※初期化すると、ダビングした内容はすべて消去されます。

DVD−R VRフォーマットについて

- 新品のDVD−Rは、VRフォーマットで初期化できます。
- DVD−RをVRフォーマットで初期化できるのは、未使用の状態で、1回だけです。
- 不要なタイトルを削除できますが、削除した分のデータ容量は復帰しません。

お役立ち情報

DVDについて

推奨ディスク

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ディスクによっては本機との相性により、性能を十分に発揮できない（使用できない）場合がありますので、弊社で確認済みの下記メーカー製ディスクの使用をおすすめします。

DVD-R（for General Ver.2.0/1x-8x、Ver.2.1/16x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー		
Ver.2.0/4×	太陽誘電（That's）	三菱ケミカルメディア	日立マクセル
Ver.2.0/8×	太陽誘電（That's）	三菱ケミカルメディア	
Ver.2.1/16×	太陽誘電（That's）	三菱ケミカルメディア	

DVD-R DL（2層/for General Ver.3.0/4x-8x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー
Ver.3.0	三菱ケミカルメディア
Ver.3.0/4×	三菱ケミカルメディア
Ver.3.0/8×	三菱ケミカルメディア

メーカーによっては生産終了となっている場合があります。

次ページへつづく⇒

推奨ディスク(つづき)

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ディスクによっては本機との相性により、性能を十分に発揮できない(使用できない)場合がありますので、弊社で確認済みの下記メーカー製ディスクの使用をおすすめします。

DVD-RW(Ver.1.1/1x-2x、Ver.1.2/4x-6x)に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー		
Ver.1.1/2×	三菱ケミカルメディア	日本ビクター(JVC)	TDK
Ver.1.2/4×	三菱ケミカルメディア	日本ビクター(JVC)	

メーカーによっては生産終了となっている場合があります。

お知らせ

- 上記推奨メーカー製のディスクにつきましては、実際にテストを行い、動作の確認ができたものですが、ディスクごとの相性に対して動作を保証するものではありません。
- デジタル放送などのコピー制御信号の含まれた番組をダビングするときは、CPRM対応のDVD-RW/-Rディスクを VRフォーマットで使用してください。

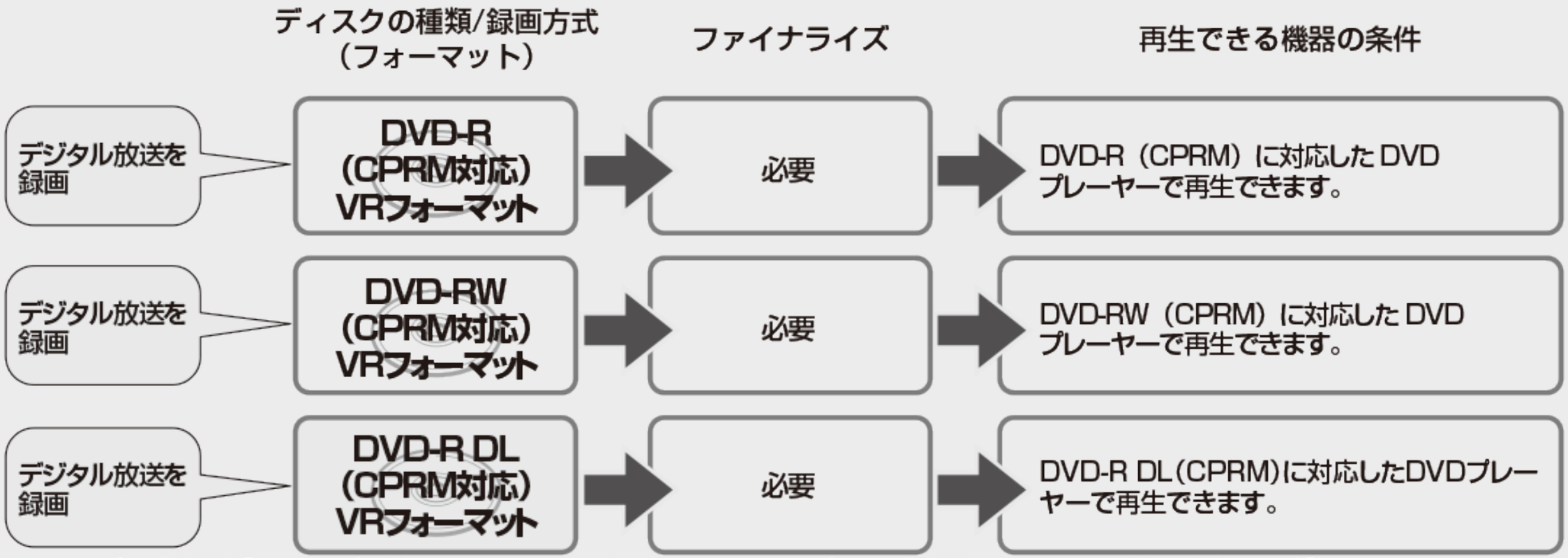
ダビングしたDVDを他の機器で再生するときは

- 本機でダビング（録画）したディスクを他の機器で再生するときは、ディスクの種類や録画方式（フォーマット）により、再生できる機器の条件が異なります。
  通常は、ダビングした後にファイナライズすると、他の機器でも再生できる（互換性のある）ディスクができあがります。（ファイナライズのしかたについては5-83ページをご覧ください。）

ディスクの種類/録画方式（フォーマット）	ファイナライズ	再生できる機器の条件
DVD-R VRフォーマット	必要	DVD-R VR フォーマットに対応した DVD プレーヤーで再生できます。
DVD-RW VRフォーマット	必要	DVD-RW に対応した DVD プレーヤーで再生できます。
DVD-R DL VRフォーマット	必要	DVD-R DL の VR フォーマットに対応した DVD プレーヤーで再生できます。

次ページへつづく⇒

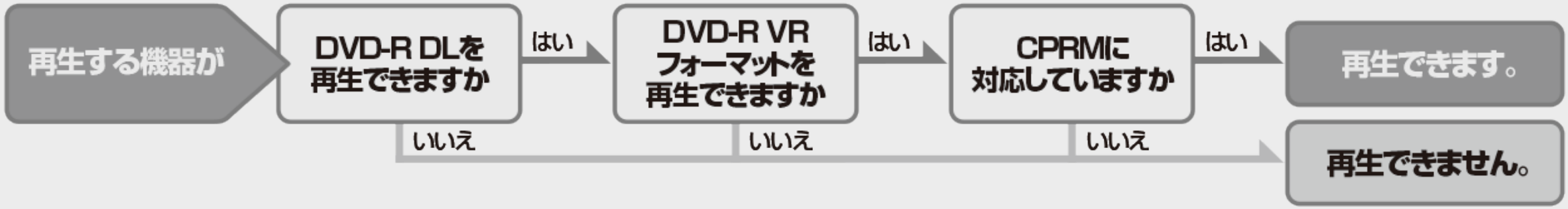
ダビングしたDVDを他の機器で再生するときは(つづき)



※再生する機器が再生の条件を満たしているかについては、お使いの機器メーカーにお問い合わせください。

例：再生できる機器の条件

DVD-R DLディスク(CPRM対応)にデジタル放送をダビングし、他の機器で再生したいとき



お役立ち情報

放送の種類について

地上デジタル放送

テレビ放送　データ放送

BSデジタル放送

テレビ放送　データ放送

110度CSデジタル放送

テレビ放送　データ放送

高画質・高音質な、デジタル方式の放送です。
ただし、録画やダビングに制限がある放送もあります。

デジタル放送の特徴

テレビ放送	従来のアナログ放送にくらべて、高画質・高音質なテレビ放送が楽しめます。
データ放送	静止画や文字によって、さまざまな情報を提供する放送です。
電子番組表（Gガイド）	番組表や番組情報を提供します。
HD／SD放送	デジタル放送にはハイビジョン放送（HD放送）と、スタンダード放送（SD放送…従来画質の放送）があります。
字幕	映画などの番組では、字幕が放送されます。
双方向サービス	クイズ番組に参加したり、アンケートに答えたりすることができます。

次ページへつづく⇒

お役立ち情報

放送の種類について

衛星デジタル放送の専用サービス

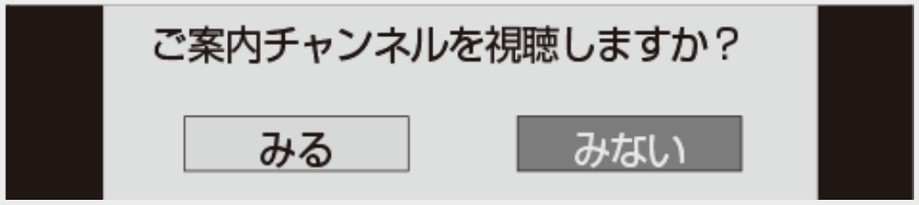
自動仮視聴サービスについて

- 有料で提供されるBSデジタル放送または110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、受信契約が必要です。ただし、放送事業者（チャンネル）によってはB-CASカードを使い始めてから一定の期間は視聴できる場合があります。（仮視聴期間といいます）これは、契約促進を目的としたサービスです。お客様が別途に契約を行わない場合は、放送事業者の決めた仮視聴期間を過ぎますと、番組が視聴できなくなります。（録画もできません）
- 有料放送を本機で視聴・録画するには、契約済みのB-CASカードを本機に挿入しておく必要があります。（有料放送は、未契約のB-CASカードでは視聴・録画が行えません）（→同梱取扱説明書）

ご案内チャンネルの表示

- お客様が未契約の有料放送を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示と共に、契約をご案内する番組への切換えを促す画面が表示されることがあります。

画面例



次ページへつづく⇒

衛星デジタル放送の専用サービス(つづき)

デジタル放送のその他の特徴

臨時放送(臨時編成サービス)
- スポーツ中継などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。

イベントリレーサービス
- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。本機はBSデジタル放送を予約録画していた場合、延長された番組を自動的に追従します。(地上デジタル放送は、マルチチャンネル内でイベントリレー放送された場合のみ自動的に追従します)

緊急警報放送
- 地震などの際の緊急警報放送です。

マルチビューサービス
- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大3つの映像が放送されるサービスです。視聴設定画面で切り換えます。

ボード(掲示板)
- プラットフォーム(スカパー!)単位でいろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。
詳しくは9-15ページをご覧ください。

デジタル放送のコピー制御について

デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。
コピー制御信号の種類やデジタル放送をダビングできるディスクについては、11-8～11-32ページをご覧ください。

コピー制御信号について

デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。

録画可能	制限なしに録画・ダビングが可能です
録画禁止	録画できません（視聴のみ）
1回だけ録画可能	録画できますが、HDD（ハードディスク）からBD（ブルーレイディスク）またはDVD、携帯電話（スマートフォン）などへダビングするとHDDのデータが消えます（ムーブ）
ダビング10※1	録画できます。HDDからBDまたはDVD、携帯電話（スマートフォン）などに9回までコピーできます。10回目はコピーではなく、移動（ムーブ）となり、HDDからはデータが消えます。

※1 外部チューナーを経由してHDD（ハードディスク）に録画したデジタル放送の番組は、「ダビング10」の番組であっても「1回だけ録画可能」の番組となります。そのため、BDまたはDVDにダビングすると、HDD（ハードディスク）のデータが消去され、移動（ムーブ）となります。

次ページへつづく⇒

デジタル放送のコピー制御について(つづき)

B-CASカードについて

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはIC(集積回路)が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して確実に差し込んでください。
- デジタル放送の画質は常に一定で劣化することはありません。これは、デジタル方式で録画やダビングする場合も同じです。このため、放送局は数字データを暗号に置き換え、録画やダビングできる回数に制限をかけて送信しています。この暗号は本機では解読できないようになっていて、B-CASカードが暗号を解く鍵の役割をしています。
- デジタル放送を見るには、B-CASカードを本機に差し込んでおく必要があります。
  ※有料放送は、視聴契約しないと視聴できません。

B-CAS(ビーキャス)カード



次ページへつづく⇒

デジタル放送のコピー制御について(つづき)

「ダビング10」について

- ダビング10とは、従来「１回だけ録画可能」であったデジタル放送番組を、レコーダー自身に内蔵しているチューナーで受信して内蔵ハードディスクに録画したものに限り、BD（ブルーレイディスク）などへ９回までコピーができ、10回目は移動（ムーブ）となるコピー回数を緩和した機能です。
- デジタル放送番組のすべてがダビング10になるわけではありません。
- ダビング10のデジタル放送番組は、CPRMまたはAACSなどのコンテンツ保護技術に対応した録画機器および録画用BDを使用したときに記録(ダビング）できます。本機はCPRMおよびAACSコンテンツ保護技術を採用しています。
- 本機はコンテンツ保護技術「SeeQVault（シーキューボルト）」に対応しています。SeeQVault対応のUSBハードディスクに放送番組をダビングしたときは「ダビング10」の番組でも「1回だけ録画可能」な番組として記録されます。

※CPRM (Content Protection for Recordable Media)とは、デジタル放送番組に対するコンテンツ保護技術の一つです。デジタル放送番組を録画・再生する場合は、機器がこの技術に対応していることが必要です。
※AACS(Advanced Access Content System)とは、コンテンツ保護技術の一つです。デジタル放送番組をBDに録画・再生する場合は、機器およびBDがこの技術に対応していることが必要です。

次ページへつづく⇒

デジタル放送のコピー制御について(つづき)

用語の解説

コピー	オリジナルの映像を残したまま複製が可能なことです。
移動(ムーブ)	ハードディスクに録画した番組の保存場所を変える(移動する)ことです。(移動後は、ハードディスクに録画されていた番組は自動的に消去されます)
1回だけ録画可能	放送番組から1回だけ録画できることで、コピー(複製)はできません。(ダビングすると移動(ムーブ)となります)

故障かな？と思ったら

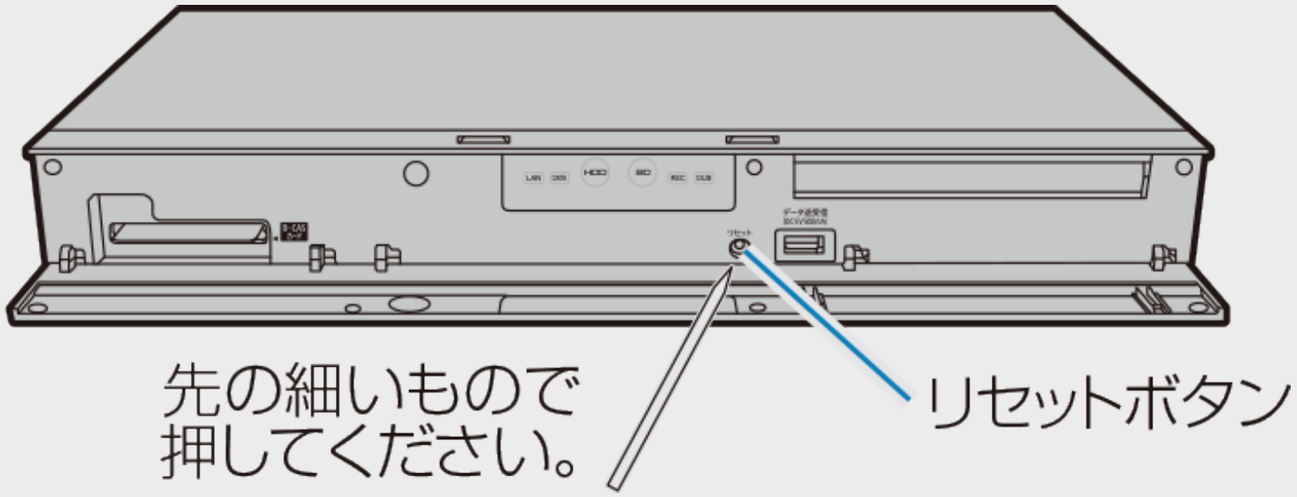
お問い合わせの前に

次のような現象は故障ではない場合がありますので、修理をお申しつけになる前にお確かめください。

操作ができないときは、まず次のことをお確かめください

- リセットボタンを押して電源を入れなおしてください。
  →同梱取扱説明書

リセットのしかた



ご注意

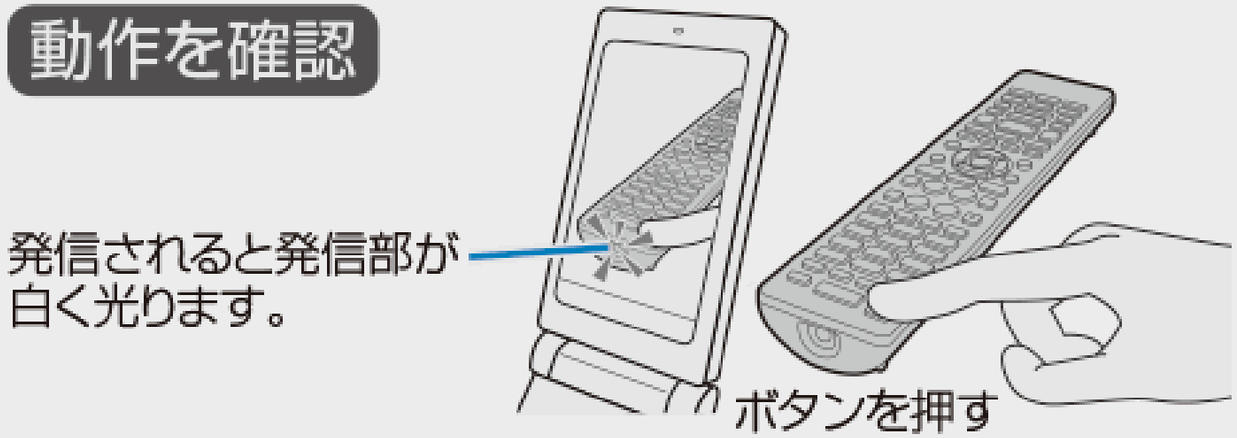
- シャープペンシルや鉛筆等の先端が折れ易いものを使用すると、折れた異物が中に入り故障の原因となりますので、使用しないでください。

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

リモコンで操作ができないときは、まず次のことをお確かめください

- リモコンの乾電池は消耗していませんか？
  リモコンの乾電池は正しくセットされていますか？→同梱取扱説明書
- 携帯電話のカメラ機能やデジタルカメラでリモコンの発信部を見ると発信状態が確認できます。
  お使いの機器によっては確認できない場合があります。
- リモコンの操作範囲内で操作していますか？
  向きは正しいですか？
  →同梱取扱説明書



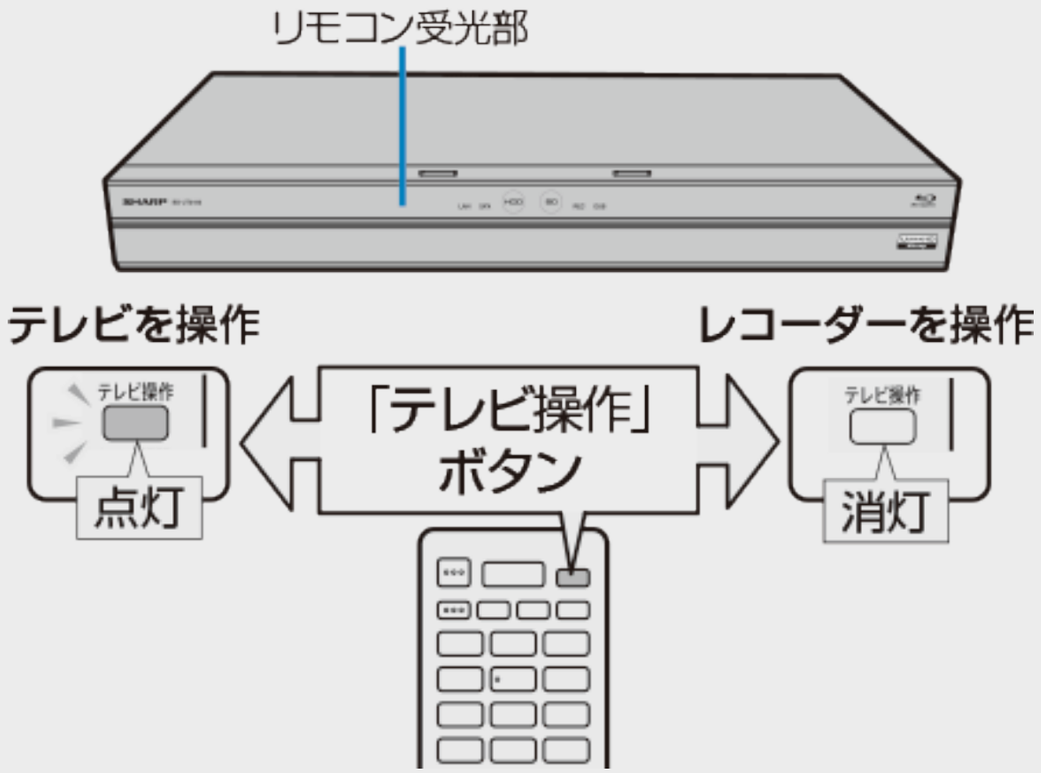
次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

リモコンで操作ができないときは、まず次のことをお確かめください(つづき)

- リモコン番号は正しく設定されていますか？
  →10-37ページ、同梱の取扱説明書30ページ
  LANランプとDATAランプは点滅しませんでしたか。点滅したときはリモコン番号が正しく設定されていません。
  →12-45ページ、同梱の取扱説明書30ページ
  リモコン側のリモコン番号設定を本体側のリモコン番号に合わせます。
- テレビの操作ボタンが働かないときは
  - 右記テレビ操作ボタンが点灯した状態で操作しているか確認ください。
  - テレビメーカー設定が正しいか確認してください。
    (→同梱の取扱説明書30ページ)
- テレビの入力切換(外部入力)は正しく切り換えましたか？
  →2-3ページ
  テレビの入力を本機を接続した外部入力に切り換えてください。



故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

サポートページやスマートフォン用アプリケーションの紹介、機能別情報などをスマートフォンなど携帯端末で確認

- 「ホーム」―「インターネット」―「スマートフォンで確認」をご覧ください。
- サポートページやスマートフォン用アプリケーションの紹介、機能別情報など、各情報毎にQRコードを画面に表示します。スマートフォンなど携帯端末でQRコードを読み取り各情報画面にアクセスできます。

＜サポートページとスマートフォンアプリの紹介＞

弊社ホームページにスマートフォンでＱＲコードからアクセスできます。

サポートページを見る	スマホで外から視聴する	スマホで外から予約する	スマホで音声操作する
より詳しい情報や Q&A 情報など	「AQUOS リモートプレーヤー」アプリについて	「AQUOS リモート予約」アプリについて	「レコーダー I Pコントロール（ボイスリモコン）」アプリについて
http://www.sharp.co.jp/support/sp/bd/index.html	http://www.sharp.co.jp/support/bd/info/remote_player.html	http://www.sharp.co.jp/support/bd/info/remote.html	http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/info/voice_remo_con.html

他の情報を見る

サポート情報の紹介　　製品詳細情報の紹介

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

サポートページやスマートフォン用アプリケーションの紹介、機能別情報などをスマートフォンなど携帯端末で確認(つづき)

<困ったときのサポート情報の紹介>

弊社ホームページにスマートフォンでＱＲコードからアクセスできます。

ビジュアルガイドを見る

操作手順を動画や写真でご紹介

http://www.sharp.co.jp/support/sp/bd/visualguide.html

接続ナビを見る

アンテナや外付けＨＤＤなどとの接続方法をご紹介

http://www.sharp.co.jp/support/bd/antnavi/

故障診断ナビを見る

故障かな？とお困りのときに

https://cs.sharp.co.jp/trouble_check/div/sp/bd/index.html

Ｑ＆Ａ情報を見る

よくあるご質問などをご紹介

http://www.sharp.co.jp/support/sp/bd/faq.html

他の情報を見る

製品詳細情報の紹介　スマホアプリの紹介

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

サポートページやスマートフォン用アプリケーションの紹介、機能別情報などをスマートフォンなど携帯端末で確認(つづき)

＜製品に関する詳しい情報の紹介＞

弊社ホームページにスマートフォンでＱＲコードからアクセスできます。

取扱説明書ダウンロード

本機の説明書を確認

http://www.sharp.co.jp/support/sp/bd/download.html

携帯端末などで QR コードを読み取り、「取扱説明ガイド」を確認できます。

機種別情報を見る

機種別にサポート情報をご紹介

http://www.sharp.co.jp/support/sp/bd/product/

機能別情報を見る

仕様などの詳細情報をご紹介

http://www.sharp.co.jp/support/bd/function.html

製品情報を見る

AQUOS ブルーレイに関する情報ページ

http://www.sharp.co.jp/bd/

他の情報を見る

スマホアプリの紹介

サポート情報の紹介

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

サポートページやスマートフォン用アプリケーションの紹介、機能別情報などをスマートフォンなど携帯端末で確認(つづき)

■画面に表示されるQRコードから誘導されるサイトについてのご注意
（QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です）

- 当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。
- スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。
  アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負うものではありません。
- 当社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

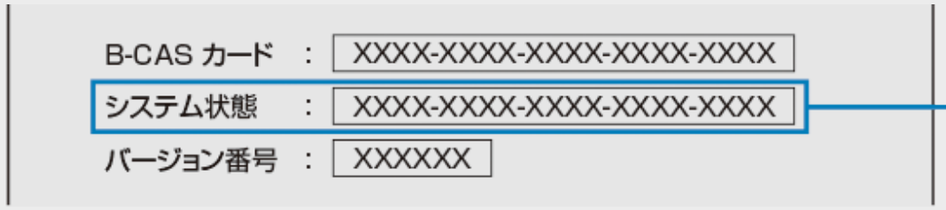
故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

状態表示コードの確認方法

本機は、セットの状態を数字（状態表示コード）で表示する機能を搭載しております。（自己診断機能）
お問い合わせの際、適切な対応を行うために、表示される数字（状態表示コード）をお聞きする場合があります。

- 「ホーム」ー「設定」ー「初期化・更新」ー「システム動作テスト」で【決定】ボタンを押し「テスト実行」を行ないます。



- 確認いただきたい状態表示コードは「システム状態」に表示されている数字です。
- 状態表示コードで全ての状態が把握できるわけではありませんので、あらかじめご了承ください。

システム状態のコード表示について

システム状態：0000 - xxxx - xxxx - xxxx - 0000

自己診断結果を表示
（状態表示コード）

故障かな？と思ったら

リモコン

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
本機のリモコンで操作すると、他のDVD機器（当社製）やテレビも動作してしまう	他のDVD機器（当社製）の場合は、本機のリモコン番号を切り換えてください。	10-37 同梱取扱説明書30ページ
	リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。	—
本機のリモコンでテレビの操作ができない	リモコンに、テレビのメーカー指定の設定をしてください。	10-4 同梱取扱説明書29ページ

故障かな？と思ったら

画面が映らない／音が出ない

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
スピーカーから音が出ない、音が歪む	一時停止またはスロー再生／早送り／早戻し中は、音声が出ません。	4-87〜4-91
	再生可能なディスクか確かめてください。	11-13
	HDMIケーブルが抜けかかっていませんか。テレビと本機の電源を切り、HDMIケーブルの接続を確認してください。	—
	DTS収録のDVD音声は、HDMI出力端子から出力されます。本機のHDMI出力端子をDTS対応アンプまたはデコーダーとデジタル接続してください。	—
2つの音が混ざって聞こえる	音声切換が間違っていませんか。【音声切換】ボタンを押し、音声を切り換えます。ただし、ダビング時は、デジタル音声出力は音声切換できません。	2-20 4-105
音声が切り換わらない	ステレオ音声やモノラル音声は、音声が切り換わりません。	—
	本機がビットストリーム（AAC）出力状態のときは、モノラル二重音声の音声切換ができません。テレビ側で音声を切り換えてください。本機で切換操作をしたいときは、「音声出力設定」を「PCM」に設定してください。出力される音声は「PCM」音声となります。	10-21

故障かな？と思ったら

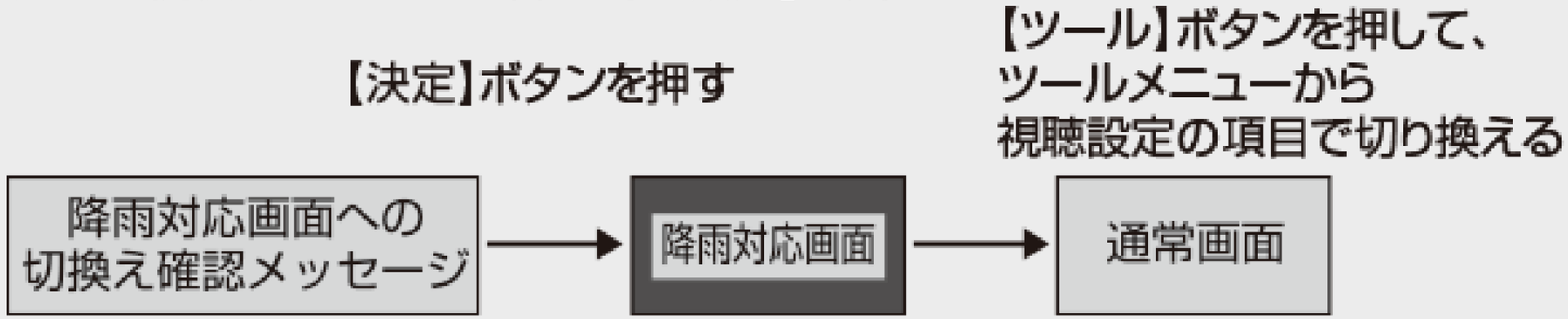
強い雨や雪、雷の日に映像が映らない

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
積雪や豪雨などによる一時的な映像障害	衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。	12-12
BS・CSデジタル放送の電波障害	雷が発生するとBS・CSデジタル放送の電波が乱れ、画面にブロックノイズが出たり映像・音声が途切れることがあります。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

強い雨や雪、雷の日に映像が映らない

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
BSデジタル放送の降雨対応放送について	BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できないことがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。  ※降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ可能です。 ※降雨等によって受信しにくくなった場合、自動的に録画が停止することがあります。（録画中は、降雨対応画面に切り換えられません） ※通常画面に戻したいときは、【ツール】ボタンを押し、ツールメニューから視聴設定の項目「アングル番号／映像切換」で切り換えます。	—

故障かな？と思ったら

映像が正常に映らない

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
映像がでない	テレビのHDR対応HDMI端子に本機を接続していて映像が出ないときは、HDMIケーブルが18Gbps対応のHIGH SPEED（カテゴリー2）に対応していない場合があります。リモコンの【HDMI出力リセット】ボタンを5秒以上長押ししてください。映像出力設定がリセットされます。	10-20
画面の上下左右に黒い帯が出る	4:3の放送をDR以外の画質で録画したときは、テレビで見た映像と異なって見える場合があります。そのようなときは、テレビの画面サイズを変更してください。	—
画面に四角のノイズが出る	デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。	—
	電波状態が悪い場合や、電波が乱れている場合などでは、ブロック状の画像が目立つことがあります。	—
受信状態が悪く、映像が乱れる（正常に見えない）	アンテナケーブルがきちんと接続されているか確認してください。	同梱取扱説明書
	BS・110度CS放送用アンテナの向きを調整してください。	9-30～9-35
	アクトビラは回線の使用状況や諸条件（ノイズなど）によって通信速度が低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。	8-2
	無線LANでアクトビラ、スカパー! プレミアムサービスチューナーまたはLAN接続のCATVデジタルセットトップボックスと通信しているときは、電波干渉や障害物などの影響で映像が乱れる場合があります。そのようなときは、有線LAN接続を行ってください。	同梱取扱説明書

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

映像が正常に映らない

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
映像が停止する	本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。	—
	HDD（ハードディスク）やBD（ブルーレイディスク）の特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	—
	電波状態が悪くなっていませんか。	12-67
3D映像が2D再生になる	「ホーム」—「設定」—「録画・再生設定」—「BD/DVD再生設定」—「3D切換設定」で「オート」に設定してください。	10-17
	早送り、早戻し中は2D再生となります。	—
	接続しているテレビは3D対応のテレビですか。	—

故障かな？と思ったら

録画

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画が中断されている	同じ録画先に連続した番組が予約設定されたときは、次の予約の録画準備のため、前の番組の最後が数十秒録画されません。	3-32
録画したが何も録画されていない	放送のない（放送が終了している）チャンネルを録画しているときは、映像のない状態で録画されます。電波状態の悪いチャンネルを録画したときも、映像のない状態で録画される場合があります。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

録画

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画ができない、録画が途中で止まる	内蔵／外付けHDD、BDの残量は足りていますか。残量を確認してください。	3-4
	SeeQVault対応外付けHDDをSeeQVault-HDDとして初期化したときは、放送の直接録画（予約録画）は行えません。	—
	内蔵／外付けHDD、BD内に記録できるタイトル数やチャプター数は制限を超えていませんか。 （制限について詳しくは→同梱取扱説明書をご覧ください） タイトル結合や録画の状態により、HDDやBDの管理情報が変化し、録画できるタイトル数が少なくなる場合があります。このようなときには、管理情報が上限を超えている、または、管理情報が一杯であることをお知らせするメッセージが表示されます。	—
	録画を始めた状態、録画中の状態をご確認ください。 • 再生中は、録画の操作ができません。 • 本機が内蔵／外付けHDD、BDを判別し終える前に、録画の操作を始めませんでしたか。HDDランプまたはBDランプが白色点灯するまで、操作はお待ちください。 • 録画中に電源プラグを抜いてしまったり、停電になったりしませんでしたか。	—
	録画が禁止された映像は録画できません。	—
	デジタル放送は、電波状態が悪い場合は録画できません。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

録画

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ワンタッチ録画ができない／ファミリンク機能で録画しようとしたが録画されない	「ワンタッチ録画」とは、今テレビで見ている番組をファミリンク機能を使って録画する機能です。ワンタッチ録画は本機が停止状態のときに働きます。	6-11
	エコモードを「入」にしていませんか。エコモードが「入」のときは働きません。	2-7
ファミリンクの録画停止が働かない（テレビのリモコンで録画停止ができない）	本機のリモコンの【停止／録画停止】ボタンを押します。	3-18

故障かな？と思ったら

電子番組表が表示されない

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送の電子番組表が表示されない	「番組表取得設定」を「する」に設定し、取得したい時刻を設定してください。その後電源「切」の状態で、設定した時刻から15分～90分程度取得動作をします。	9-45
	電子番組表で「番組データがありません。放送局を選び[番組情報]ボタンで番組表を更新してください。」と表示された放送局があるときは、その放送局の欄を選んで【番組情報】ボタンを押します。番組表が自動で更新されます。その放送局を2分程度受信しても電子番組表が更新されます。	2-30
電子番組表の出演者や番組の写真が表示されない	出演者や番組の写真はインターネットに接続しないと表示されません。	2-37

故障かな？と思ったら

予約録画

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
予約ができない	番組予約の合計が130番組（ドラ丸、番組表予約、日時指定予約、休止中の予約を含む）になっているときは、録画予約ができません。このときは「ドラ丸リスト」「予約リスト」で不要な予約を取り消してください。	3-64
予約録画の開始・終了時刻が微妙にずれる	同じ録画先に連続した予約が設定されている場合、次の番組の先頭から録画を開始するため、前の番組は予約録画終了時刻よりも早く録画が終了します。	3-32
	番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

予約録画

こんなときは	ここを確かめてください		ページ
予約したのに録画されていない、途中で切れている	録画先の状態を確認してください。「録画ができない、録画が途中で止まる」をご確認ください。		12-16
	録画開始時刻に右記の状態であった場合は、録画されません。	録画画質変換ダビング中（録画開始時刻から5分前までに、操作を終えてください）	—
		BD（ブルーレイディスク）のタイトル名変更中など（録画開始時刻の5分前までに、操作を終えてください）	—
		予約待機中／録画中に停電がありませんでしたか。録画中に電波状態が悪くなったり停電などで録画が中断された場合は、その番組が正常に録画できません。	—
		録画先の残量は十分でしたか。残量が少ない場合、不要なタイトル（録画した番組）を消去してください。	3-4 4-125
		録画予約を「休止」にしていませんでしたか。	3-69
		放送時間が変更されていませんか。	—
		番組が延長されていませんでしたか。	—
		温度の低い場所で使用すると、HDDが準備状態になることがあります。予約実行前しばらくの間、電源を「入」のままにしておきます。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

予約録画

こんなときは	ここを確かめてください		ページ
予約したのに録画されていない、途中で切れている(つづき)	ホーム画面の「お知らせ」の「受信機レポート」を確認してください。		9-16
	録画開始時刻に右記の状態であった場合は、録画されません。	途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。	—
		予約した番組の前の番組が時間延長になりませんでしたか。予約を開始しようとしたときに、放送局から送られてくる番組の開始時刻の情報が正しく更新されていない場合があります。この場合は予約が失敗となります。日時指定予約の場合、前の番組が延長しそうなときは最大延長時間を加味し、予約することをおすすめします。	3-35
「番組延長設定」をしたのに、途中で番組が終わっている	デジタル放送の場合、放送局から番組延長の情報が送られてこないと番組延長機能が働きません。		—
録画予約した番組が消されている	毎週・毎日録画予約した番組を詳細設定の「保存設定」で「重ね録り」に設定しませんでしたか。「重ね録り」に設定した番組は、自動的に上書き録画されます。		3-51
	ドラ丸録画した番組は4週間が経過すると自動で消去されます。		3-110
BSデジタル放送のデータ放送が記録されていない	データ放送(ラジオ放送)は記録できません。		—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

予約録画

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
LAN接続のスカパー! プレミアムサービスチューナーまたはCATVのデジタルセットトップボックスから予約設定ができない、または録画できない	本機の電源を切っていませんか。予約設定は本機の電源を入れた状態で行ってください。	—
	スカパー! プレミアムサービスチューナーまたはCATVのデジタルセットトップボックスと本機をLAN接続する必要があります。	—
	「ホームネットワーク設定」が「する」に設定されていますか。	8-17〜8-18
	スカパー! プレミアムサービスチューナーまたはCATVのデジタルセットトップボックスでの設定は行いましたか。	3-113 3-117
「AQUOS」の電子番組表から「ファミリンク録画予約」をしたが予約録画が働かない	テレビの主電源を切りませんでしたか。	—
	エコモードを「入」にしていませんか。エコモードが「入」のときは働きません。	2-7
予約録画した番組が複数のタイトルに分かれてしまう	録画中に停電となり録画が停止した後、停電復帰により録画が再開されたタイトルは別タイトルとして録画されます。一つのタイトルにしたいときは、編集のタイトル結合を行います。	4-175
	放送局のイベントリレーサービスがある番組は、延長「入」で予約録画していると自動的に別のタイトルとして録画されます。	3-36

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

予約録画

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
自動録画に登録した条件で番組が検索されない	番組情報に登録した条件（キーワード／ジャンル／特徴など）が含まれない場合は、番組は検索されません。	—
	登録済みの通常予約と時間帯が重なった場合、予約されずに「該当番組なし」と表示される場合があります。	—
自動録画で検索された番組が録画されない	自動録画と通常予約の録画時間帯が重なった場合、通常予約が優先されて自動録画は実行されません。自動録画の番組を確実に録画するには、電子番組表で予約してください。	3-82
	自動録画に登録した条件（キーワード／ジャンル／特徴など）に該当する番組の時間帯が重なった場合は、優先度が高い条件の番組が録画されます。	3-82
	他の予約が重なった時や視聴年齢制限に該当した条件の番組は、自動録画が番組の途中で中止になったり、録画されない場合があります。	3-83
	3分未満の番組は録画されません。	3-83

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

予約録画

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ドラ丸録画で設定したチャンネルの番組が録画されない	ドラ丸録画と通常予約の録画時間帯が重なった場合、通常予約が優先されてドラ丸録画は実行されません。自動録画の番組を確実に録画するには、【緑】ボタンを押し、予約を確定してください。	3-82
	他の予約が重なった時や視聴年齢制限に該当した条件の番組は、ドラ丸録画が番組の途中で中止になったり、録画されない場合があります。	3-82
	ドラ丸録画の録画時間帯が重なった場合、先に登録された番組が優先されて録画されます。	3-82
	3分未満の番組は録画されません。	3-83
ドラ丸リストに番組が表示されない	ドラ丸リストに登録（表示）される番組は、地上デジタル放送やドラ丸設定で個別に設定したBS放送チャンネルの新しい連続ドラマまたはアニメ、バラエティ番組です。	3-94
	ドラ丸設定で設定されている時間以外の番組は表示されません。	3-98
	番組情報データが取得されていない状態では表示されません。	—
ドラマが勝手に録画される	ドラ丸が設定されていませんか。ドラ丸リストから不要な番組を削除してください。	3-112
	ドラ丸を「切」にしてください。全てのドラ丸リストが「予約停止」となります。	3-98

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

予約録画

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
リモート予約設定した番組が録画されない	本機の動作状態やネットワーク環境、リモート予約サーバーの状態によっては予約録画されない場合があります。	9-85
	本機が番組表データを取得できていない場合や、予約情報を取得できていない場合は予約録画されません。	
	番組開始直前にリモート予約した場合は予約録画されない場合があります。	

故障かな？と思ったら

フォトシステムで楽しむ

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
写真の取り込みができない	データ送受信端子にUSBケーブルを接続して写真の取り込みが行えるのは、マスストレージクラスに対応したデジタルスチルカメラです。	7-2
パソコンでCD-R/-RWにコピーしたJPEGファイルが再生できない	CD-Rフォーマットは、ISO9660またはJolietフォーマットですか。その他のフォーマットは再生できません。	7-33

故障かな？と思ったら

ファミリンク機能

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ファミリンク機能が使えない	エコモードを「入」にしていませんか。エコモードが「入」のときは働きません。	2-7
ファミリンク機能が正常に働かない	電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜くと、ファミリンク機能が正常に働かない、正しく動作しない、などの場合があります。電源の入／切は、HDMIケーブルの接続が済んでから行ってください。	—
	テレビのファミリンク設定はお済みですか。	—
	エコモードを「入」にしていませんか。エコモードが「入」のときは働きません。	2-7
	HDMIケーブルの接続先を変えた場合、ファミリンク機能が正しく働かない場合があります。そのようなときは、本機の電源を入れ、テレビの電源を入れ直しファミリンク機能が正しく働くかご確認ください。	—

AQUOSタイムシフトが動作しない、または違ったチャンネルになる	• 本機を接続しているテレビはAQUOSタイムシフトに対応していますか。
	• 本機のタイムシフト設定は「連動する」に設定されていますか。
	• つぎの場合AQUOSタイムシフトは働きません。
	  • 再生中
	  • インターネット使用中
	  • テレビ放送以外の番組を録画しているときや、BDレコーダーが録画中で選局できない状態のとき
		2-63～2-67

	テレビと本機のチャンネル設定で地域設定が違っていませんか。地域設定が違っていると正しく選局されない場合があります。	—

故障かな？と思ったら

再生

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
BD（ブルーレイディスク）やDVDが再生できない	リモコンの【HDD/BD】ボタンでBD/DVDモードに切り換えていますか。	4-31
	BDビデオまたはDVDビデオの場合、リージョンコード（再生可能地域番号）が一致しているか確認してください。	11-13
	他のBDレコーダーでH.264長時間録画されたBDは再生できない場合があります。	—
	再生可能ディスクか確かめてください。	11-13
	PAL、SECAM方式のディスクは再生できません。	—
	AVCREC方式やHD Rec規格で記録したDVDは、再生できません。	—
	DVDの場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。	—
	本機内部のつゆつき（結露）を除去してください。	—
	ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。	1-42
	ディスクを取り出して表裏を確認してください。	1-41

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

再生

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
BDビデオが正常に再生できない／再生動作が遅い	BD-JAVAを採用したBDビデオを利用したときは、ソフトに記録されているデータを内蔵HDDに記録しておくことで映像を見ながらゲームなどを楽しむことができます。BD-JAVAを採用した複数のBDビデオを利用した場合、まれに、再生時の操作で動作が遅くなったり、正常に再生しなくなる場合があります。そのようなときは、「BDビデオ用データ消去」を行ってください。	4-63 10-19
	「BDビデオ用データ消去」を実行すると、BDビデオで個別に設定したブックマークや、ゲームのスコアなどが消去されます。	10-19
本機でダビングしたディスクを他のプレーヤーで再生できない	「ダビングしたBDを他の機器で再生するときは」をご確認ください。	11-25
	「ダビングしたDVDを他の機器で再生するときは」をご確認ください。	11-31
ハードディスクにダビングしたAVCHD記録の番組が録画リストに出ない	録画リストには、放送番組と動画アルバムの2つがあります。録画リストでリモコンの【黄】ボタン（動画アルバム）を押し、動画アルバムに切り換えてください。	4-16
他のDVDレコーダーで録画・編集したDVDが途中で再生されなくなる	他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストは、12時間以上再生できません。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

再生

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れる	ディスクの記録面に傷や汚れ（指紋）が無いかお確かめください。ディスクに汚れ（指紋）が付着しているときは汚れを落としてください。	1-43
	ディスクの読み取り部分にゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。	1-44
つづき再生が働かない	市販のBDビデオ、DVDビデオ、BD-RE/-R、DVD-RW/-Rディスク、音楽用CDは、ディスクを取り出すと、つづき再生されません。	4-75
	BONUS VIEWやBD-LIVEなどのBDJ（Java）に対応したBDビデオはつづき再生が働かない場合があります。	4-75

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

再生

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
BDやDVDの映像を、ビデオデッキなどに録画したりビデオデッキなどを通して再生すると、再生画面が乱れる	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号が入っているディスクの場合、ビデオデッキなどを経由して再生したり、ビデオデッキなどに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	—
市販のBDビデオまたはDVDビデオを再生中、吹き替え音声が切り替わってしまう	市販のBDビデオまたはDVDビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。	—
市販のBDビデオやDVDビデオを再生すると音量が小さくなる	BDビデオやDVDビデオは、収録されている音声の音量レベルにより、再生時の音量が小さくなる場合があります。ドルビーデジタルで音声を収録したディスクの場合は、「音声出力レベル」を「シフト」に設定することで音量を大きくすることができます。	10-22

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

再生

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画リスト（録画番組一覧）が表示されない	本機をリセットしてください。	12-1
	上記を確認しても表示されない場合は、HDD（ハードディスク）の異常が考えられます。お買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。	13-4
録画リストのタイトル名に「*」が表示される	視聴年齢制限を設定しているとき、年齢制限されている番組は、「*****」と表示されます。	4-2 10-11
録画リストに「2倍」や「XP」などの画質表示が出ない	DVDの場合、ディスクをトレイから取り出すと画質表示は出なくなります。	—
	LAN接続でスカパー! プレミアムサービスを録画した番組は、画質表示が出ません。	—
録画した最後の数秒間が再生されない	他機で録画（ダビング）したディスクの場合、録画を停止した位置と番組の終了位置が多少ずれることがあります。	—
	同じ録画先に連続した予約が設定されている場合は、先に録画した番組の終了時間が数秒早くなるため、番組の最後が録画されません。	3-32

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

再生

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
別室にあるホームネットワーク（動画再生）対応のテレビで本機の映像が見られない （ホームネットワーク機能が使えない）	LAN設定を行いましたか。	9-63 9-70
	ホームネットワーク（動画再生）対応シャープ製液晶テレビ「AQUOS」で本機を選択していますか。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。	—
	「ホームネットワーク設定」を「する」に設定していますか。	8-17～ 8-18
	本機から出力できるのは、ハードディスクに録画したタイトルのみです。BD/DVD/CD/写真は出力できません。	8-16
	本機が電源「切」のときは、ホームネットワーク機能は働きません。	8-16
	電源を切った状態で再生操作を行いたいときは「クイック起動設定」を「する（常時）」に設定してください。	9-20
	アクトビラ視聴中は、ホームネットワーク機能は使用できません。	8-2

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

再生

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
静止画再生／コマ送り再生がうまくいかない	DVD-RW/-Rディスク（VRフォーマット）以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。	4-88
	市販のBDビデオやDVDビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものがあります。	4-88
	Ultra HDブルーレイ、BDビデオ、DVDの場合、コマ戻し再生はできません。	4-90
早送り／早戻し（サーチ）がうまくいかない	ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。	4-91
	タイトルをまたぐサーチはできません。（音楽用CDは除く）BD・DVDの場合は、再生状態になります。	4-90

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

再生

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
スロー再生がうまくいかない	タイトルをまたぐスロー再生はできません。	4-89
同時録画・再生できない／再生が中断される	重ね録りで録画した番組を再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止し、重ね録りされます。（番組は消去されます）	3-51
再生できないタイトルがある	正常に録画されなかった映像は再生できません。	—
	録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。	—
	受信機レポートで停電等により録画が中断されなかったか確認してください。	9-15
連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できない、スロー再生などの特殊再生ができない	マルチビューサービス放送をHDD（ハードディスク）に録画して主映像以外の映像を再生すると、連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。	—
	「連動データ記録設定」が、「記録しない」に設定されていないか確認してください。予約録画で個別に「連動データ設定」を「記録しない」に設定したタイトルも連動データ放送は記録されません。	10-9

故障かな？と思ったら

録画タイトル

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
自動録画で録画した番組が消えてしまった	自動録画で録画された番組、ドラ丸録画された番組はHDDの残時間が少なくなった場合に自動消去されます。自動消去されないようにするためには、録画されたタイトルを保護してください。	3-93 4-118
	ドラ丸録画した番組は4週間経過すると自動的に消去されます。4週間未視聴状態がつづいた番組フォルダーは、録画された番組も含めて自動的に消去されます。	3-110

故障かな？と思ったら

編集

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
シーン（部分）消去ができない	DVDの「シーン（部分）消去」はできません。	—
チャプター（章）分割ができない	内蔵HDDに録画したタイトルのチャプター数が1タイトルあたり99チャプター、総チャプター数が40000あるときは、それ以上分割することはできません。	4-147
チャプター（章）結合ができない	「シーン（部分）消去」または「チャプター（章）消去」で自動的に記録されたチャプターは結合できません。	4-141 4-150
シーン（部分）消去で削除したのに、早戻しすると削除した映像の一部が一瞬映る	消去終了地点を設定した箇所によっては、早戻しした際にシーン消去した映像の一部が一瞬映ることがあります。これは、映像データを特定の単位で処理するために起こるもので、故障ではありません。	—
編集が中断される	内蔵／外付けHDDの編集中に録画予約開始時刻になると、編集を中断し、録画予約が実行されます。	—

故障かな？と思ったら

ダビング

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD（ハードディスク）や外付けHDDからDVDへダビングできない	デジタル放送を録画したタイトルをDVDにダビングする場合は、CPRM対応のDVD-RW/-Rディスクを VRフォーマットで初期化してからダビングしてください。	—
動画アルバム内のタイトルがDVDへダビングできない	動画アルバム内のタイトルをディスクにダビングする場合は、BDを使用してください。DVDへのダビングはできません。	—
HDD（ハードディスク）から、BD（ブルーレイディスク）へダビングできない	HDDが再生中の場合は、高速ダビングのみ行えます。BD・DVDが再生中の場合は、ダビングできません。	—
	本機でダビングできるBDを挿入してありますか。 • 本機でダビングできるディスクについては →11-15、11-24ページ • ディスクの残量は足りていますか。 • ディスクが保護されていませんか。	3-4 4-122 11-15
	ダビングを始めた状態、ダビング中の状態をご確認ください。 • 本機がディスクを判別し終える前に、ダビングの操作を始めませんでしたか。BDランプが白色点灯するまで、操作はお待ちください。 • ダビング中に電源プラグを抜いてしまったり、停電になったりしませんでしたか。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

ダビング

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD（ハードディスク）から、BD（ブルーレイディスク）へダビングできない(つづき)	1枚のディスクに記録できるタイトルやチャプター数は制限を超えるとダビングすることはできません。（制限について詳しくは同梱取扱説明書をご覧ください） タイトル結合や録画の状態により、ディスク管理情報が変化し、ダビングできるタイトル数が少なくなる場合があります。このようなときには、管理情報が上限を超えている、または、管理情報が一杯であることをお知らせするメッセージが表示されます。	—
	傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な録画ができない場合があります。	1-42
	他のBDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を行ったディスクでは、ダビングができない場合があります。	—
	シャープ製以外のレコーダーで録画されたディスクへはダビングできない場合があります。	—
	他機で長時間録画したディスクは、ダビングができない場合があります。「ダビングができない場合」をお読みください。	5-21
	ダビング時の制限事項があります。「ダビング画質とダビングされる内容」、「ダビングできる組み合わせとダビング中にできること」をご覧ください。	5-22 11-5

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

ダビング

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD（ハードディスク）からBD（ブルーレイディスク）にダビングしたら、HDDからタイトルが消えてしまった	ダビングしたタイトルが①「1回だけ録画可能」、②「ダビング10」の番組で9回までコピー済みではありませんか。このような場合は、複製が禁止されているので、BDへダビングすると複製ではなく移動（ムーブ）となり、HDDからは消去されます。	5-19
	移動（ムーブ）となるタイトルを複数選択してダビング中、ダビングを途中で止めると、ダビング完了したタイトルはHDDから消去されます。	5-19
HDD（ハードディスク）から外付けHDDにダビングしたら、HDDからタイトルが消えてしまった	内蔵HDDから外付けHDDへダビングすると複製ではなく移動（ムーブ）となり、内蔵HDDからは消去されます。（SeeQVault-HDDへダビングしたときは複製され、1回だけ録画可能番組として保存されます）	5-19
HDDに録画された「1回だけ録画可能」または「ダビング10」のタイトルがダビングできない	内蔵HDDに録画された「1回だけ録画可能」のタイトルは、内蔵HDDへ高速ダビングできません。録画画質変換ダビングのみ可能です。（元の録画画質のタイトルは、削除されます）	5-5

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

ダビング

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ダビング予約ができない	ダビング先の状態を確認してください。「録画ができない、録画が途中で止まる」をご確認ください。	12-16
	番組予約の合計が130番組（ドラ丸、電子番組表予約、日時指定予約、休止中の予約を含む）になっているときは、ダビング予約ができません。このときは、「予約リスト」で不要な予約を取り消してください。	3-64
	ダビング予約は、1件のみ可能です。	—
	1回だけ録画可能（ダビング10の番組でも残り1回）の番組はタイトル保護が設定されているとダビング予約ができません。	—
	録画中や、別の予約録画を設定した時間と重なる時間のダビング予約はできません。予約リストで予約内容を確認してください。	3-64
	外付けHDDからBDへのダビング予約はできません。	5-54
ダビング予約したのにダビングされていない	ダビング開始時刻に下記の状態であった場合は、ダビングされません。 • 再生中は、ダビング開始時刻の3分前までに、操作を終えてください。 • ダビング中は、ダビング開始時刻の3分前までに、操作を終えてください。 • ファミリンク（HDMI）予約をお使いの場合は、ファミリンク予約録画の終了から5分以上遅らせて「ダビング開始時刻」を設定してください。	—
高速ダビングすると、動作音が大きくなる	「高速ダビング（最高速モード）」時は、ディスクの回転数が上がるため、動作音が大きくなりますが故障ではありません。「高速ダビング（静音モード）」または「録画画質変換ダビング」を選択すると、動作音は抑えられます。	5-32
DVD-R DL（2層）ディスクにダビングがうまくできない	VRフォーマットのディスクにダビングしたときは、連続でダビングできる時間は9時間です。	—
	他社のレコーダーで記録されたDVD-R DL（2層）ディスクでは、ダビングができない場合があります。	—

故障かな？と思ったら

本体の音／動作

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源を「切」にしたのに動作音がする	録画予約、ダウンロード、番組表情報取得、B-CASカード内の契約情報の更新などを実行しているときなど、本体内部の温度が上昇すると冷却のためファンが回転して動作音がします。	1-8
	クイック起動待機中は本体内部の電源が入っているため、本体内部の温度が上昇すると冷却のためファンが回転し動作音がします。 電源を切った後、数分間は本体の電源が入った状態となります。	9-20
ディスクトレイを閉めても出てきてしまう	再生できるディスクかどうか、確認してください。	11-13
	表と裏を間違えていませんか。	1-39
	録画されていないDVD-RAMを挿入していませんか。	—
ディスクトレイが出ない	ダビング画面または消去画面を表示させていませんか。画面を終了させてから操作してください。	—
	本体のリセットボタンを押して本機をリセットしてください。「REC」、「LAN」、「DATA」ランプが点滅します。電源が切れ、待機ランプが点灯してから、トレイ開閉ボタンを押し電源を入れてください。	12-1
何も操作していないのに音がする	電源が入った状態で一定時間何も操作していないとき、HDD（ハードディスク）の動作音がする場合があります。	—
電源を入れると「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでBS/CS電源を「切」にしました。」のメッセージが出て操作できない	メッセージが出ても放送が受信できるときは、終了ボタンを押し、「BS・CSデジタル」—「アンテナ電源設定」を「切」に設定してください。	9-30～9-33
	メッセージが出て放送が受信できないときは、電源を切り、アンテナ線の接続を確認してください。	—

故障かな？と思ったら

その他

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
リモコンの【ホーム】ボタンを押してもホーム画面が表示されない	メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。	—
	テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えてから、リモコンの【ホーム】ボタンを押してください。	—
	録画画質変換ダビング中は、ホーム画面を表示できません。	—
使用中に本体が熱くなる	本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してお使いください。	—
	「BS・CSデジタル」—「アンテナ電源設定」を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体キャビネットの温度が多少高くなります。	9-30〜9-33
本機を接続したら、一部の4K放送/8K放送が映らない	BS・CSアンテナ線を本機を経由して4K・8Kテレビに接続したときは、左旋放送が視聴できません。3224MHz対応の分配器を使用して、本機と4K・8Kテレビそれぞれアンテナ線を接続してください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

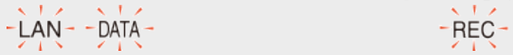
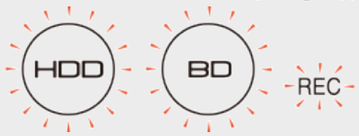
その他

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
「アクオス純モード」にならない	アクオス純モード対応の「AQUOS」とHDMIケーブルで接続していますか。	10-26
	「ファミリンク設定」は「する」になっていますか。	6-5 10-27
ディスクを取り出すことができない	リセットボタンを押して本体の電源を切ります。HDDランプ、BDランプが消灯したら、トレイ開閉ボタンを押します。	12-1
ディスク容量が少なく表示される	BDに表記されている容量の計算方法と本体に表示されるディスク残量（容量）の計算方法が違うためです。	5-28

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

本体ランプのエラー表示一覧表

本体ランプの状態	エラー内容
LANとDATAが交互に点滅 	準備中です • しばらく待って点滅が終了してから電源を入れてください。
LANとDATAが同時点滅 	リモコン番号が違っています • 本機とリモコンの番号を合わせて、ご使用ください。
DATAが点滅 	動作エラー • 一度電源を切り、電源を入れ直してください。
LANとDATAとRECが同時点滅 	リセット中です • ランプが消灯後、操作してください。
HDDとBDとRECが同時点滅 	ソフトウェア更新中です • ランプが消灯するまで何も操作をせずお待ちください。

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■録画や再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
この操作はできません。	• 他の動作を行っているため操作できないとき ⇒他の動作が終了してから操作してください。	—
このディスクは再生できません。	• 本機で再生できないディスクが入っているとき ⇒ディスクを確かめて入れ直してください。 ⇒録画中に停電したり、誤って電源コードを抜きませんでしたか。そのようなディスクは認識できなくなる場合があります。	11-13 11-15 11-21
このディスクは録画できません。 ディスクを読み込めませんでした。	• 本機で記録（ダビング）できないディスク（CD-Rなど）や傷、汚れのあるディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき • 本機が対応していないディスクを入れたとき ⇒録画用ディスクを挿入し直してください。 ⇒ディスクを確かめて入れ直してください。	11-13 11-15 11-21
再生できません。	• ディスクに傷や汚れがあるなど、途中で再生できなくなったとき • 記録状態が悪く途中で再生できなくなったとき ⇒再生を停止し、ディスクを確かめて入れ直してください。	11-13 11-15 11-21

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■録画や再生時のメッセージ(つづき)

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
システムエラーが発生しました。 電源を「切」にします。	• 電源「入」のときに、HDD（ハードディスク）に問題が生じたとき（自動的に電源が切れます）	—
本体背面のファンが正しく動作していません。背面ファンをご確認ください。電源を「切」にします。 本体背面のファンが正しく動作しない可能性があります。ファンをご確認ください。	• 本体背面ファンが止まっている • 正常に動作していない ⇒一度電源を切り、再度電源を入れ直してください。 ⇒リセットボタンを押し、再度電源を入れ直してください。 ※上記を行っても改善されないときは、販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。	12-1 13-4
選局・再生に失敗しました。 チャンネルを切り換えてください。	• 受信状況、再生状況により、処理が間に合わないとき • 放送視聴時に電波状態が悪く選局に失敗したとき • 再生時に記録したデータが壊れていて再生に失敗したとき ⇒別のチャンネルに切り換えてお楽しみください。 ⇒チャンネルが切り換わらないときは、本体のリセットボタンを先の細いもので押してください。 ※状況が改善されない場合は、販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。	12-1 13-4

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■録画や再生時のメッセージ(つづき)

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
チャプターが記録できる上限を超えましたので録画できません。不要なタイトルやチャプターを消去してから録画してください。 管理情報の上限を超えるため、このタイトル同士は結合できません。 管理情報が上限を超えましたのでこの操作はできません。不要なタイトルを消去してから行なってください。 管理情報が上限を超えましたので、この操作はできません。不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。 管理情報が上限を超えましたので、これ以上録画できません。不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	• タイトルやチャプターマークが、記録できる上限を超えたとき • タイトル数が制限を超えているとき • 編集操作でタイトルを結合したり、停電等で録画した番組が自動で結合された場合など、編集操作や録画の状態により、HDDやBDの管理情報が変化し、録画できるタイトル数が少なくなる場合があります。このようなときには、管理情報が上限を超えている、または、管理情報が一杯であることをお知らせするメッセージが表示されます。 ⇒HDD(ハードディスク)、BD(ブルーレイディスク)の場合は、不要なチャプターを消去するかチャプターを結合してください。 ⇒タイトル数やチャプター数の制限を確認してください。	4-125～ 4-134 4-150～ 4-160

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■録画や再生時のメッセージ(つづき)

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
ディスクが修復できませんでした。	• BDやDVD−RW/−Rディスクのダビング中に停電があった場合、停電回復後データの修復を自動的に行いますが、ディスクに傷や汚れなどがあり修復できなかったとき	—
電源プラグの抜き差しやリセット操作などによりディスク確認中です。完了まで10分以上かかる場合があります。	• リセット操作により、電源を切ったり、電源が切れる前に電源プラグを抜いた場合など • 停電などにより、HDDやBD、DVD−RW/−Rディスクにディスク情報が正しく書き込まれない状態で録画が停止した場合など ⇒HDD（ハードディスク）やBD、DVD−RW/−Rディスクの確認が完了するまでお待ちください。確認は10分以上かかる場合があります。	—
ディスクを読み込めませんでした。 ディスクを取り出した後、一旦電源を「切」にしてください	• ディスクに傷があるなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき、表示が出てきます • 本機で対応していないディスクを入れたとき ⇒ディスクを確かめて入れ直してください。	1−42 11−13 11−21
ハードディスクにエラーが発生しましたので操作できません。 ライブ視聴のみ可能です。お早めに最寄の販売店またはシャープ修理相談センターまでご連絡ください。	⇒一度HDD（ハードディスク）を初期化してください。初期化しても改善されないときはなるべくお早めにお買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。	1−50 13−4
ファイナライズできませんでした。／初期化できませんでした。	• ディスクに傷、汚れなどがあるとき ⇒ディスクを確かめて入れ直してください。	1−43

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■録画や再生時のメッセージ(つづき)

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
再生が停止しました。再生されているコンテンツはCinavia®により保護されており、この装置上での再生が許可されていません。詳細はhttp://www.cinavia.com をご覧ください。メッセージコード 1	• 著作権保護された映像が含まれたBD、DVDを再生したとき • 著作権保護された映像が含まれたBDをダビングしたとき Cinaviaの通告 この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。 Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comのCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。 Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, SanDiego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。	—
コピーが停止しました。コピーされているコンテンツはCinavia® によって保護されており、この装置でのコピーが許可されていません。詳細については、http:// www.cinavia.com をご覧ください。メッセージコード2		
音声出力は一時的にミュート状態になっています。再生音量を調整しないでください。再生されているコンテンツはCinavia® によって保護されており、この装置上での再生が認可されていません。詳細はhttp://www.cinavia.com をご覧ください。メッセージコード3		
コピーを停止しました。このコンテンツはCinavia®で保護されており、そのためこの装置からはコピーが許可されていません。詳細は http://www.cinavia.com をご覧ください。メッセージコード4		

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■スローなどの特殊再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
ハードディスク準備中です。 操作できません。	• HDD（ハードディスク）が準備中のとき ⇒準備が終わるまでは放送視聴のみ可能です。操作可能になるまで、しばらくお待ちください。（寒い場所で使用している場合など、HDD（ハードディスク）の温度が低くなっていると、HDD（ハードディスク）の準備に時間がかかることがあります）	—

■BD/DVDへのダビング時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
1度にダビングできる数を超えています。次回のダビングで選択してください。	• 下記制限を超えてタイトルを選択しようとしたとき ⇒放送番組は、最大50タイトル（または50チャプター）ずつダビングしてください。	5-28
デジタル放送のダビングには、BDを使用するか、CPRM対応のDVDをVRフォーマットに初期化してご使用ください。	⇒BDにダビングするか、CPRM対応のDVD-RW/-RディスクをVRフォーマットで初期化して、ダビングしてください。	1-48 11-15

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■編集・消去・タイトル名変更時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
結合できないチャプターです。	• 同一タイトル内でシーン消去やチャプター消去をした際にできるチャプターは結合できません。	4-150
チャプターが記録できる上限を超えましたのでこの操作はできません。不要なタイトルやチャプターを消去してから操作してください。	• 編集結果がチャプター数上限を超えるとき ⇒内蔵／外付けHDD、BDの場合は、チャプター結合により、不要なチャプターマークを消去してから編集してください。	4-156

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■ファミリンク録画時のメッセージ

テレビ画面表示		ページ
S05	録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 ⇒録画ができない放送や番組、または録画ができない記録メディア（DVDなどの録画媒体）です。番組内容または録画メディアを確認してください。	—
S06	録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 ⇒ファミリンク録画ができない放送です。 ⇒ファミリンク録画機能を使用せず、本機の録画機能をご利用ください。	—
S07		—
S09	録画に失敗しました。 ⇒ファミリンク録画機能を使用せず、本機の録画機能をご利用ください。	—
S10		
S11		
S12		

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■ファミリンク録画時のメッセージ(つづき)

テレビ画面表示		ページ
S13	録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	—
S14	⇒この放送や番組は録画することができません。 ⇒番組内容を確認してください。	—
S16	録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。 ⇒録画メディア（内蔵HDD・外付けHDDなどの録画媒体）を確認してください。	—
S18	録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。 ⇒現在録画中のため、新たに録画できません。	—
S19	録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。 ⇒書き込み禁止の録画メディアです。録画メディアを確認してください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■ファミリンク録画時のメッセージ(つづき)

テレビ画面表示		ページ
S21	録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。 ⇒録画メディアに録画できません。録画メディアを確認してください。	—
S22	録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。 ⇒録画メディアの容量を確認してください。	—
S23	録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。 ⇒視聴制限を解除して再度録画を設定してください。	—
S31	録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。 ⇒録画機器を確認してください。	—

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■AQUOSタイムシフト時のメッセージ

テレビ画面表示	
AQUOSタイムシフトを使用するために、ファミリンクレコーダーの電源を「入」にしました。	ファミリンクレコーダーが連動起動したとき
ファミリンクレコーダーが録画中などによりAQUOSタイムシフトができない状態です。	BDのタイムシフト不可の状態
AQUOSタイムシフトの準備中です。この操作はできません。	起動、チャンネル切換直後追随録画できないとき

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■データ送受信端子からの写真・動画取り込みに関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
写真が一杯なのでこれ以上取り込めません。不要な写真を消去してください。	• アルバム内の写真が10000枚となったため、写真の取り込みができない ⇒大切な写真はBDにコピーするなどして、アルバム内の写真を消去してから操作してください。	7-24 7-34
写真の取り込みができなくなりました。 接続を確認してください。	• 写真取り込み中に、接続機器の電源を切ったり、接続ケーブルを抜くなどして取り込みができなくなった	—
写真を取り込む場合は、放送視聴に戻って録画などが終わってから再接続してください。	• 録画や再生など本機が動作しているときに、デジタルスチルカメラをデータ送受信端子に接続した ⇒本機が動作中は取り込みができません。動作を停止（放送視聴状態）にしてから操作してください。	7-2
接続された機器には対応していません。	• デジタルスチルカメラのUSB通信がマスストレージクラスに対応していない ⇒データ送受信端子から入力可能なデジタルスチルカメラはマスストレージクラスに対応した機器です。詳しくはお使いのメーカーにお問い合わせください。	7-4

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■データ送受信端子からの写真・動画取り込みに関するメッセージ(つづき)

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
動画の取り込みができなくなりました。	• 転送側機器または、内蔵HDD（ハードディスク）にエラーが発生し、動画データの取り込みができない ⇒本機側のエラーの場合は、内蔵HDD（ハードディスク）を初期化してください。初期化しても改善されないときはなるべく早めにお買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。	1-50 13-4
タイトルが一杯のため中断しました。不要なタイトルを消去してください。	• 動画データの取り込み中に、タイトルやチャプターマークが、記録できる上限を超えたとき ⇒タイトル数やチャプター数の制限を確認してください。 ⇒HDD（ハードディスク）内のタイトルを消去し、空き容量を増やしてから再接続してください。 ⇒HDD（ハードディスク）内のタイトルの、不要なチャプターを消去するかチャプターを結合してください。	4-125～ 4-134 4-150～ 4-160

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■USBメモリーからのソフトウェア更新に関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
取り込み可能なファイルがありません。	• 更新用ソフトウェアがUSBメモリーにない • 複数個の更新用ソフトウェアがUSBメモリーにある • 更新用ソフトウェアがUSBメモリーの直下に書き込まれていない。（フォルダー等を作り書き込まれている） ⇒弊社サポート・お問い合わせページ（http://www.sharp.co.jp/support/）へアクセスし、更新用ソフトウェアをUSBメモリーに入れてください。 ⇒USBメモリーには、1つの更新用ソフトウェアを入れてください。 ⇒USBメモリーにフォルダーを作らず、更新用ソフトウェアを直接書き込んでください。	10-72

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■内蔵HDDへの写真コピーに関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
写真のコピーができないため中断しました。 ×××× 枚コピーしました。	• ディスクの空き容量が一杯になったり、写真保存枚数が制限一杯になったことから中断したとき	—
ディスクに保存できる枚数を超えています。 写真の枚数を少なくして操作してください。	• ディスクに保存されている写真が10000枚ある ⇒ディスクへコピーできる枚数は最大10000枚です。 ⇒不要な写真を消去してください。	7-24

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■グループ作成（写真）に関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
グループ数が一杯なので作成できません。 不要なグループを解除してください。	• グループ数が100グループとなっている ⇒アルバム内に設定できるグループ数は最大100グループです。不要なグループをグループ解除してから操作してください。	7-19
グループをこれ以上増やせません。 （グループへの追加は可能です）	• グループ数が100グループとなっているのにグループを作成しようとした ⇒アルバム内に設定できるグループ数は最大100グループです。 不要なグループをグループ解除してから操作してください。	7-19

■写真再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
写真が再生できません。	• 写真データの読み込みに失敗したとき ⇒アルバムを一度終了し、操作し直してください。	—
	• 写真ファイルが壊れているとき	—

■電子番組表（Gガイド）表示時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
データがありません。取得するには電源を「切」にして6時間以上お待ちください。	• 番組カテゴリ／人名のデータが取得できていない ⇒電源を「切」にして6時間以上お待ちください。	2-33

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■無線LANの接続設定に関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
内容を確認し、正しく入力してください。	• セキュリティキーが間違っている ⇒セキュリティキーを正しく入れなおしてください。	9-69 9-72
	• アクセスポイントが間違っている ⇒アクセスポイントを正しく入れなおしてください。	9-71
アクセスポイントに接続できませんでした。	• アクセスポイントが間違っている ⇒アクセスポイントを正しく入れなおしてください。	9-71
設定内容や接続先機器を確認してください。	• 設定内容や接続先機器に間違いがある ⇒設定内容や接続先機器を確認してください。	9-70～ 9-74

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■外付けHDDに関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
外付けHDDが認識できません。接続機器の確認、または接続をし直してください。	• 外付けHDDが認識できない ⇒外付けHDDが正しく接続されているか確認してください。	1-56
外付けHDDが接続されました。外付けHDDの登録を行ってください。	• 未登録の外付けHDDを接続した ⇒外付けHDDを本機に登録してください。	1-57
複数の外付けHDDが接続されています。1台のみ本機に接続してください。 外付けHDDが既に接続されています。後から接続した外付けHDDは使用できません。	• USBハブなどを使用し複数台の外付けHDDを接続した ⇒本機に接続できる外付けHDDは１台のみです。1対1接続にしてください。	1-56

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■外付けHDDに関するメッセージ(つづき)

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
ケーブルの抜き差しやリセット操作などにより外付けHDDのディスクを確認しています。 完了まで10分以上かかる場合があります。	• 外付けHDDの取り外し操作をせずにケーブルなどを抜き差しした ⇒外付けHDDを本機から取り外すときは、必ず所定の取り外し操作を行ってください。	1-60
外付けHDDを認識できなくなりました。 一度本体の電源を切り、再度電源を入れ直してください。	• 外付けHDDの取り外し操作をせずにケーブルなどを抜いたため、外付けHDDが認識できなくなった ⇒外付けHDDを本機から取り外すときは、必ず所定の取り外し操作を行ってください。	1-60

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■その他のメッセージ

テレビ画面表示		エラーの内容と対応	ページ
A102	このB-CASカードは使用できません。 正しいB-CASカードを挿入してください。	B-CASカードが割れているなど、破損していたり、ICチップが壊れている ⇒B-CASカードを一度抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。	11-37 同梱取扱説明書
A107	このB-CASカードには必要な情報がありません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	ご覧のチャンネル用のB-CASカードではありません ⇒ご覧のチャンネル用のB-CASカードを挿入してください。	11-37 同梱取扱説明書
C000	アクセスできませんでした。	接続したが、サーバーへのアクセスができないとき ⇒一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。	—
C204	アクセスできませんでした。	接続したが、サーバーへのアクセスができないとき ⇒ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■その他のメッセージ(つづき)

<table>
<tr><th colspan="2">テレビ画面表示</th><th colspan="2">エラーの内容と対応</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>C208</td><td>サーバー証明書が不正のため、アクセスを中断します。</td><td colspan="2">放送で送られたルート証明書が信頼できないため、アクセスを中断したとき
⇒ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>C209</td><td>サーバー証明書に問題があり、アクセスを中断します。</td><td colspan="2">放送で送られたルート証明書の形式が不正なため、アクセスを中断したとき
⇒ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>E201</td><td>• 天候の影響やアンテナの接続状況などにより、受信状態が悪くなっています。</td><td rowspan="3">降雪や降雨障害などの電波障害またはアンテナの方向や角度がずれたことによりアンテナ信号が弱くなったとき</td><td>⇒アンテナの向きがずれていませんか。</td><td>9-30</td></tr>
<tr><td>—</td><td>• ライブ放送の受信状態が回復しました。
• 降雨対応画面選択中です。</td><td>⇒受信強度は60以上ありますか。アンテナ信号テストで受信強度を確認してください。</td><td>9-34</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>⇒降雪や降雨により電波障害が起こりアンテナ信号が弱くなる場合があります。</td><td>12-12</td></tr>
</table>

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■その他のメッセージ(つづき)

テレビ画面表示		エラーの内容と対応	ページ
E202	放送が受信できません。 • リモコンの [地上] [BS] [CS] を押して見たい放送が受信できるか確認してください。 • アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けやゆるみがないかを確認してください。 – 地上デジタル用とBS・CS用の挿し間違い – アンテナからの入力、テレビへの出力の挿し間違い	• アンテナが接続されていないときや、放送が受信できないとき • 電波状態が悪く放送が受信できないとき ⇒アンテナ線やチャンネル設定は正しいですか。	同梱取扱説明書 9-24～9-56
E203	現在放送されていません。 • 番組表などで放送時間を確認してください。 • 地上デジタル放送の場合は、「地域設定」と「チャンネル設定」を確認してください。 • アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けやゆるみがないかを確認してください。 – 地上デジタル用とBS・CS用の挿し間違い – アンテナからの入力、テレビへの出力の挿し間違い	• 悪天候により、一時的に放送が受信できないとき ⇒天候が回復するまでしばらくお待ちください。 • 選ばれている放送局で、番組の放送が終了している ⇒選ばれている放送局で、番組が放送されていないときに表示されます。	—
E204	○○チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	• 放送の無いチャンネルを選局したとき ⇒番組表などでチャンネルを確認してください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■その他のメッセージ(つづき)

テレビ画面表示		エラーの内容と対応	ページ
—	• 放送が受信できないため録画を停止しライブ放送に戻りました。 • 放送が受信できないため録画を停止しました。	• アンテナが接続されていないときや、放送が受信できないとき • 電波状態が悪く放送が受信できないとき ⇒アンテナ線やチャンネル設定は正しいですか。	同梱取扱説明書 9-24～9-56
E400	データが受信できません。	• 電波障害等によりデータを受信できない場合など ⇒一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。	—
E401	対象地域外のため、データを表示できません。 この受信機では、データを表示できません。	• 対象地域外のデータ放送を選局しているとき ⇒別のチャンネルを選局してお楽しみください。	—
E402	データの表示に失敗しました。	• 選んだチャンネルのデータの表示に失敗したとき ⇒一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■その他のメッセージ(つづき)

テレビ画面表示		エラーの内容と対応	ページ
—	アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しているとき ⇒ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	—
—	地上デジタル放送のチャンネル更新に失敗しました。 アンテナの接続状況や調整を確認してから地上デジタル放送の受信チャンネルの設定を行ってください。	• 地上デジタル放送のチャンネル更新ができない ⇒地上デジタル放送のチャンネル設定をやり直してください。	9-38

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら

エラーメッセージ（例）

■その他のメッセージ(つづき)

テレビ画面表示		エラーの内容と対応	ページ
—	リモコンと本機のリモコン番号が異なります。 数字ボタン2を押しながら決定ボタンを6秒以上押してリモコンの設定を変更してください。	• リモコンと本機のリモコン番号が異なるとき ⇒リモコン側のリモコン番号を変更してください。 （このメッセージが表示されないように設定することもできます。）	10-32
—	入力した番号のチャンネルが見つかりません。	• 番組表を表示中にリモコンの数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力し、その番号が見つからないとき ⇒入力した3桁のチャンネル番号が正しいか確認してください。	—
—	登録項目数が一杯なのでこれ以上登録できません。不要な登録を解除してください。	• 「マイ検索」が20件登録されている状態で、さらに「マイ検索へ登録」をしたとき ⇒不要な登録を削除してください。	2-38

困ったときは

保証とアフターサービス

保証書（別添）

●保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

●保証期間
お買いあげの日から1年間です。保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等や、出張修理を行なった場合の出張料は、保証期間内、保証期間外にかかわらずお客様のご負担となります。

使い方や修理のご相談など

●修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談室にお問い合わせください。
（→13-6ページ）

補修用性能部品の保有期間

●当社は、ブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品を、製品の製造打切後8年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

困ったときは

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは　<持込修理>

●「故障かな? と思ったら」(→12-1ページ)や「故障診断」(→同梱取扱説明書66ページ)を調べてください。
●SHARPオンラインサポートページの「Q&A よくあるご質問」や「故障診断ナビ」でも確認できます。

SHARP オンラインサポート:http://www.sharp.co.jp/support/

●それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●修理のご依頼は、保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

●お買い上げの販売店が分からない場合は、宅配業者引き取りサービス(有料)もご利用頂けます。(→13-6ページ)

次ページへつづく⇒

困ったときは

保証とアフターサービス

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

愛情点検



長年ご使用のレコーダーの点検を！
こんな症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、電源を切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

困ったときは

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記～13-7ページに記載の窓口にアクセスしてください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

いつでも便利なWebサービス【シャープ オンラインサポート】

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト!

オンラインサポート トップページ

http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ　お問い合わせ　検索

スマートフォンからでもご利用いただけます。

引き取り修理のご依頼、進捗確認も24時間サポート

インターネットから修理のお申し込み

http://www.sharp.co.jp/support/repair.html

シャープ　修理相談　検索

スマートフォンからでもご利用いただけます。

■取扱説明ガイドに掲載のＱＲコードから誘導されるサイトについてご注意事項があります。取扱説明ガイドの最終ページをご確認ください

■製品の「よくあるご質問」への回答を24時間音声ガイダンスでご案内(電話オペレーターにはつながりません)
自動音声案内 フリーダイヤル（携帯電話からもご利用いただけます） 0120 - 001 - 252

次ページへつづく⇒

困ったときは

お客様ご相談窓口のご案内

AV機器訪問サポートのご案内 …… 「使いかたが判らない」、「機器の接続が苦手」などのお客様に、有料の訪問サポートをご用意しています。

サービス名	対象機種	価格※4	内　容
使いかたレッスン※1	ブルーレイ機器全般	10,000円+税/訪問	ブルーレイレコーダーの基本操作をお教え致します。(1時間レッスン)※3
インターネット接続サービス※1	ブルーレイ機器全般	10,000円+税/訪問	インターネット機能付き製品のインターネット接続・設定を行ないます。
周辺機器接続サービス※2	ブルーレイ機器全般	8,000円+税/訪問	AQUOSと接続、AQUOSオーディオ機器との接続を行ないます。

※1 シャープ製品に限ります。　※2 他社製品との接続も承ります。　※3 30分レッスンも承ります。(最大1時間まで)
※4 価格は2019年1月のもので変更する場合があります。

お申込み・お問い合わせは
シャープマーケティングジャパン株式会社
カスタマーサービス社　訪問サポートセンター

フリーダイヤル
0120 - 565 - 506

受付時間（日曜日・祝日・当社指定休日を除く）
●月曜～土曜：**9:00～17:45**

●本サポートのご提供は、シャープの国内サービス会社　シャープエンジニアリング株式会社(沖縄地区:沖縄シャープ電機株式会社)、またはシャープの国内サービス会社が選定したサービス提供会社が実施いたします。
●本サポートの実施にあたり、別途必要となる周辺機器(無線LANルーターなど)および部品に関する費用、インターネット接続料金はお客様負担となります。インターネットの接続には、別途回線業者やプロバイダーとの契約が必要です。
●本サポートは、予告なく中止または内容を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。　●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2019.1)

次ページへつづく⇒

困ったときは

お客様ご相談窓口のご案内

■ご贈答品などでお買い上げの販売店がわからないときは

※当社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
0120 - 001 - 251

携帯電話からは、ナビダイヤル
0570 - 550 - 113

受付時間（年末年始を除く）●月曜～土曜：9:00～18:00　●日曜・祝日：9:00～17:00

■フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話	FAX
050 - 3852 - 5122	06 - 6792 - 5993
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

「宅配業者引き取りサービス」のご案内
※サービスエリア：日本国内地域。ただし、沖縄県を除く。

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
0120-001-251

携帯電話からは、ナビダイヤル
0570-550-113

ご転居やご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理が依頼できない場合や、上記窓口にお持込みできない場合に、お電話で依頼いただきますと、当社指定の宅配業者がお客様のご都合の良い日時にご自宅に訪問してお預かりし、弊社で修理完了後ご自宅までお届けするサービスです。

■ご利用料金：当「宅配業者引き取りサービス」のご利用は保証期間内・外共に有料です。　往復運送費＋梱包資材費＋代引き手数料がかかります。
※修理料金は、保証期間内は保証書記載の「保証規定」に準じます。また、保証期間外は有料です。

■お引き取りの時間は次の時間帯よりお選びいただけます。

午前中	14:00～16:00	16:00～18:00	18:00～21:00

※交通事情などの理由により、ご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

次ページへつづく⇒

困ったときは

お客様ご相談窓口のご案内

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。
個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報の開示・訂正、利用訂正等の請求その他お問い合わせは、シャープ株式会社個人情報ご相談窓口にご連絡ください。
電話番号：[06-6792-8004（受付時間：平日、9:00～12:00、13:00～17:00）]
個人情報の取扱いの詳細については、http://www.sharp.co.jp/privacy/index-j.html をご参照ください。

困ったときは

仕様

HDD（ハードディスク）での録画画質と録画時間

内蔵HDD（ハードディスク）に録画する場合です。

録画画質			録画時間※1 マニュアル 録画画質	2B-C10BT3	2B-C20BT3
デジタル放送録画時	DR（放送画質）	デジタルハイビジョン（HD）放送（BS/110度CSデジタル）		約89時間	約179時間
		デジタルハイビジョン（HD）放送（地上デジタル）		約125時間	約253時間
		デジタル標準（SD）放送		約177時間	約358時間

※1 表中の数値は、JEITA「CPR-3104 準拠 録画基準画像」を用いて確認しました。

デジタル標準（SD）放送を録画したとき

- 録画画質を「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD〇〇」に設定しているとき、7倍相当の録画時間となります。

次ページへつづく⇒

HDD（ハードディスク）での録画画質と録画時間(つづき)

内蔵HDD（ハードディスク）に録画する場合です。

録画画質		録画時間※1 マニュアル 録画画質	2B-C10BT3	2B-C20BT3
デジタル放送録画時		HD10	約133時間	約268時間
		HD09	約142時間	約286時間
		HD08	約152時間	約307時間
		HD07	約163時間	約330時間
	2倍	HD06	約177時間	約358時間

※1 表中の数値は、JEITA「CPR-3104 準拠 録画基準画像」を用いて確認しました。

デジタル標準（SD）放送を録画したとき

- 録画画質を「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD〇〇」に設定しているとき、7倍相当の録画時間となります。

次ページへつづく⇒

HDD（ハードディスク）での録画画質と録画時間(つづき)

内蔵HDD（ハードディスク）に録画する場合です。

録画画質		録画時間※1 マニュアル 録画画質	2B-C10BT3	2B-C20BT3
デジタル放送録画時		HD05	約193時間	約391時間
		HD04	約212時間	約429時間
		HD03	約236時間	約477時間
	3倍	HD02	約265時間	約537時間
		HD01	約303時間	約613時間

※1 表中の数値は、JEITA「CPR-3104 準拠 録画基準画像」を用いて確認しました。

デジタル標準（SD）放送を録画したとき

- 録画画質を「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD〇〇」に設定しているとき、7倍相当の録画時間となります。

次ページへつづく⇒

HDD（ハードディスク）での録画画質と録画時間(つづき)

内蔵HDD（ハードディスク）に録画する場合です。

録画画質		録画時間※1 マニュアル 録画画質	2B-C10BT3	2B-C20BT3
デジタル放送録画時	5倍		約442時間	約893時間
	7倍		約619時間	約1251時間
	10倍		約880時間	約1777時間
	12倍		約1054時間	約2128時間

※1 表中の数値は、JEITA「CPR-3104 準拠 録画基準画像」を用いて確認しました。

デジタル標準（SD）放送を録画したとき

- 録画画質を「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD〇〇」に設定しているとき、7倍相当の録画時間となります。

次ページへつづく⇒

HDD（ハードディスク）での録画画質と録画時間(つづき)

お知らせ

- 録画（ダビング）した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。
- タイムシフト（→10-34ページ）を設定している場合は上記の表より録画時間が短くなります。
- 録画画質を「DR」、「2倍」～「12倍」、「HD〇〇」にしているとき、デジタル放送受信中に表示される残量時間は、受信中のデジタル放送（HD：ハイビジョン放送／SD：標準テレビ放送）が録画できる残量時間です。（残量表示は、目安です。録画できる時間の表示ではありません）
- 「DR」は、連動データを記録した場合の録画時間の目安です。録画時間は、その性能を保証するものではなく、実際の録画では、入力映像やその他の条件により表記の時間を下回る場合があります。
- 連動データを記録した場合、「2倍」～「12倍」「HD〇〇」の録画時間は、連動データ放送のデータ量により、実際に録画できる時間は記載値よりも短くなります。

BD（ブルーレイディスク）での録画画質と録画時間

「for VIDEO」「for GENERAL」「録画用」表記があるディスクをお使いください。

録画画質			マニュアル録画画質	録画時間※			
				BD-RE/BD-R（片面1層25GB）	BD-RE/BD-R（片面2層50GB）	BD-RE XL/BD-R XL（片面3層100GB）	BD-R XL（片面4層128GB）
ダビング時	DR（放送画質）	デジタルハイビジョン（HD）放送（BS/110度CSデジタル）		約2時間10分	約4時間20分	約8時間40分	約11時間10分
		デジタルハイビジョン（HD）放送（地上デジタル）		約3時間00分	約6時間10分	約12時間10分	約15時間40分
		デジタル標準（SD）放送		約4時間20分	約8時間40分	約17時間20分	約22時間20分

2層BDへの録画可能時間は、最大49時間50分です。
※表中の数値は、JEITA「CPR-3104 準拠 録画基準画像」を用いて確認しました。

次ページへつづく⇒

BD（ブルーレイディスク）での録画画質と録画時間(つづき)

「for VIDEO」「for GENERAL」「録画用」表記があるディスクをお使いください。

録画画質			マニュアル録画画質	録画時間※			
				BD-RE/BD-R（片面1層25GB）	BD-RE/BD-R（片面2層50GB）	BD-RE XL/BD-R XL（片面3層100GB）	BD-R XL（片面4層128GB）
ダビング時		デジタル標準（SD）放送を録画したとき • 録画画質を「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD〇〇」に設定しているとき、7倍相当の録画時間となります。	HD10	約3時間10分	約6時間30分	約13時間	約16時間40分
			HD09	約3時間20分	約6時間50分	約13時間50分	約17時間50分
			HD08	約3時間40分	約7時間20分	約14時間50分	約19時間
			HD07	約4時間	約8時間	約16時間	約20時間30分
	2倍		HD06	約4時間20分	約8時間40分	約17時間20分	約22時間20分

2層BDへの録画可能時間は、最大49時間50分です。
※表中の数値は、JEITA「CPR-3104 準拠 録画基準画像」を用いて確認しました。

次ページへつづく⇒

BD（ブルーレイディスク）での録画画質と録画時間(つづき)

「for VIDEO」「for GENERAL」「録画用」表記があるディスクをお使いください。

録画画質			マニュアル録画画質	録画時間※1			
				BD-RE/BD-R（片面1層25GB）	BD-RE/BD-R（片面2層50GB）	BD-RE XL/BD-R XL（片面3層100GB）	BD-R XL（片面4層128GB）
ダビング時		内蔵HDDに録画したデジタル標準（SD）放送をダビングしたとき • 録画画質を「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD〇〇」に設定しているとき、7倍相当の録画時間となります。	HD05	約4時間40分	約9時間30分	約19時間	約24時間20分
			HD04	約5時間10分	約10時間20分	約20時間50分	約26時間40分
			HD03	約5時間40分	約11時間30分	約23時間10分	約29時間40分
	3倍		HD02	約6時間30分	約13時間	約26時間10分	約33時間30分
			HD01	約7時間20分	約14時間50分	約29時間50分	約38時間20分
	5倍			約10時間50分	約21時間50分	約43時間30分	約55時間50分
	7倍			約15時間10分	約30時間40分	約61時間10分	約78時間20分
	10倍			約21時間40分	約43時間40分	約87時間20分	約111時間50分
	12倍			約26時間	約49時間50分	約104時間 ※2	約134時間

2層BDへのダビング可能時間は、最大49時間50分です。
※ 1 表中の数値は、JEITA「CPR-3104 準拠 録画基準画像」を用いて確認しました。
※ 2 BDの残時間が100時間以上あるときは、「分」表示はされません。

DVDでの録画画質と録画時間

内蔵HDDからのダビングのみ行えます。「for VIDEO」「for GENERAL」「録画用」表記があるディスクをお使いください。

録画画質	マニュアル録画画質	DVD-RW（片面1層 4.7GB） DVD-R（片面1層 4.7GB）の録画時間	DVD-R DL （片面2層 8.5GB） の録画時間
XP	MN65	約60分	約110分
	MN53	約90分	約160分
SP	MN37	約120分	約210分
	MN27	約150分	約270分
	MN20	約180分	約320分
	MN16	約210分	約380分
LP	MN13	約240分	約430分

英数字

1080i (1125i)
有効走査線1080本、インターレース(飛び越し走査)方式。デジタルハイビジョンの高画質です。総走査線数を使って「1125i」と呼ぶこともあります。

1080p (1125p)
有効走査線1080本、プログレッシブ(順次走査)方式。総走査線数を使って「1125p」と呼ぶこともあります。

3D
人はものを見るときに右目・左目それぞれ、わずかに異なった映像を見ています。これを「視差」と呼び、脳の処理により奥行き感や立体感を認知します。3D映像はこの「視差」を応用し、右目用、左目用の映像を交互に高速表示することにより2つのイメージを立体感のある映像として脳に認識させる技術です。3Dの視聴には、3Dに対応したテレビなどが必要です。

3番組同時録画
本機は、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送において、「録画1」「録画2」「録画3」での録画用にデジタル放送のチューナーを3つ搭載しています。3番組同時録画はその3つのチューナーを使用し、同時に3番組を録画する機能です。

次ページへつづく⇒

用語の解説

英数字

480i (525i)
有効走査線480本、インターレース（飛び越し走査）方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。
総走査線数を使って「525i」と呼ぶこともあります。

480p (525p)
有効走査線480本、プログレッシブ（順次走査）方式。総走査線数を使って「525p」と呼ぶこともあります。

AAC
音声圧縮方式の一つで国際的な標準規格である、Advanced Audio Coding の略です。
地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送の映像圧縮方式である「MPEG-2」に採用されています。MPEG-1に採用されている音声圧縮方式「MP3」より、1.4倍ほど圧縮効率が高くなっています。

AACS
Advanced Access Content Systemの略で、コンテンツ保護技術の一つです。デジタル放送番組をBDに録画・再生する場合は、機器およびBDがこの技術に対応していることが必要です。

次ページへつづく⇒

英数字

AQUOSタイムシフト
AQUOSタイムシフト対応AQUOSと本機を接続したときは、テレビ視聴中に一時停止し、一時停止した箇所から視聴したり、ちょっと戻って視聴するなどAQUOSと連携し、本機のチューナーを利用したタイムシフト視聴が楽しめます。

AVCHD
ハイビジョン動画記録フォーマットであり、8cmDVDへの記録をH.264/MPEG-4 AVC方式で行うものです。

BD-LIVE（BDライブ）
インターネットに接続したブルーレイディスクプレーヤーを通じて、特典映像などのさまざまな情報をダウンロードできるサービスです。

CATV
ケーブルテレビ（有線放送）のことです。

CATVパススルー
ケーブルテレビ配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
本機で受信できるのは次の周波数帯です。UHF帯／VHF帯／ミッドバンド（MID：C13～C22）帯／スーパーハイバンド（SHB：C23～C63）帯

次ページへつづく⇒

困ったときは

用語の解説

英数字

CPRM（Content Protectionfor Recordable Media）
デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。デジタル放送の「1回だけ録画可能」「ダビング10」などの録画制限のある番組を録画・ダビングするには、CPRM対応の録画用DVDが必要です。

DD2ch
ドルビーデジタル2chの略です。

DLNA
デジタル家電やパソコンなどを相互接続するためのガイドラインです。ネットワーク経由で異なる機器間でデータのやり取りができ、レコーダーで録画した映像を他の部屋のテレビで見ること等ができます。

DTS
DTS社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

DVD-R DL
- 片面2層のDVD-Rのことです。
- VRフォーマットで使用しているとき、連続で録画できる時間は9時間です。

次ページへつづく⇒

困ったときは

用語の解説

英数字

Gガイド（電子番組表）
- テレビの画面に表示される番組表のことです。番組表から視聴したい番組や、予約録画したい番組を選べます。
- 番組表データを取得中は、「DATA」ランプが点灯します。

HDMI
High Definition Multimedia Interface の略で、ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のコードで接続できるデジタルAVインターフェースです。デジタル信号を圧縮せずに転送するので、高品位な画質・音質をシンプルな接続で楽しむことができます。

HDR
「High Dynamic Range（ハイダイナミックレンジ）」の略称で、映像に記録できる明るさ情報（輝度）のレンジを拡大する技術のことです。HDR映像には従来より多くの輝度情報が収録されており、明暗差の大きな映像などで従来では再現できなかった明部・暗部の諧調表現が可能となり高コントラストでリアリティあふれる映像を再現します。

JPEGファイル
静止画ファイルを圧縮する技術の1つです。ファイル容量を小さくできるので、デジタルスチルカメラやインターネットなどで、広く使われています。

LAN
Local Area Network（ローカル・エリア・ネットワーク）の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。
一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。本機のLAN接続方法はLANケーブルで接続する有線LANと、ワイヤレスで接続する無線LANがあります。無線LAN接続には、無線LANに対応したブロードバンドルーターが必要です。

次ページへつづく⇒

用語の解説

英数字

LAN録画
LANの接続先から録画する機能です。本機は、スカパー! プレミアムサービスからの録画またはホームネットワーク対応のCATVデジタルセットトップボックスからの録画ができます。

PCM（Pulse Code Modulation）
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つです。音楽CDはこの方式を利用しています。

RW コンパチブル（RW COMPATIBLE）
VRフォーマットで記録されたDVD-RWが再生できる機能を示しています。
この機能があるDVDプレーヤーには、RW COMPATIBLE 表示があります。

SDR
「Standard Dynamic Range」の略称で、標準的な明るさ情報（輝度）で表示する技術です。HDR映像と比較すると、暗い部分が黒く潰れたり、明るい部分が白く浮いて見えたりする場合があります。

SeeQVault
SeeQVault対応機器で記録されたHDコンテンツを別のSeeQVault対応機器でも楽しむことができる技術です。シャープ製以外の機器での動作は保証しておりません。

Ultra HDブルーレイ
4K解像度に、広色域、HDRの要素技術を備えた新規格のブルーレイのことです。

次ページへつづく⇒

困ったときは

用語の解説

あ行

アクトビラ
インターネットを利用して、テレビやレコーダーで映画やドラマ等を視聴する、動画配信サービスです。本機は「4Kアクトビラ」を楽しむことができます。
※本機は4Kアクトビラの「4K高画質」コンテンツには対応しておりません。

アンテナ電源設定
BS・110度CSデジタル放送用アンテナに本機からアンテナ電源を供給するかしないかを設定します。

インターネット
本機のインターネット機能は、アクトビラの動画配信サービス「4Kアクトビラ」を楽しむための機能です。

エコモード
電源「切」のときの待機電力を抑えるための機能です。

次ページへつづく⇒

用語の解説

あ行

追いかけ再生
内蔵／外付けHDDに録画しながら、録画中の番組を再生して見ることができます。

オリジナル／プレイリスト
他機で作成したプレイリストの再生が楽しめます。（本機でプレイリストを作ることはできません）

オリジナル
テレビ放送などを録画した映像（タイトル）を「オリジナル」と呼びます。

プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。（本機でプレイリストを作ることはできません）

音声出力レベル
BDビデオやDVDビデオの再生で、ドルビーデジタル音声の平均音声を上げるかどうかを設定する機能です。

次ページへつづく⇒

困ったときは

用語の解説

か行

買換えお引っ越しダビング
今まで使っていたAQUOSブルーレイに録画されている番組を、ネットワーク（LAN）を経由して本機へダビングできます。
対応機種はシャープ サポート・お問い合わせページでご確認ください。（http://www.sharp.co.jp/support/bd/ ）

高速ダビング
パソコン上でのデータコピーのように、タイトル（録画した番組）を画質を劣化させることなく、そのままの画質でダビングする機能です。

次ページへつづく⇒

困ったときは

用語の解説

さ行

視聴制限（パレンタルレベル）
デジタル放送やBDビデオ、DVDビデオの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

自動調整
HDD（ハードディスク）からBDへダビングするとき、1枚のディスクに収まるようにタイトルの記録時間に合わせて録画画質を選択し、録画する機能です。

写真用フォーマット
デジタルスチルカメラからHDD（ハードディスク）に取り込んだ写真をDVD-RWにコピーするための専用フォーマットです。本機はDVDへのフォーマット（初期化）は行なえません。

初期化
BD・DVDを録画／ダビングできるようにすることです。本機ではDVDの場合VRフォーマットのみ初期化できます。

スカパー! プレミアムサービス
通信衛星を利用した衛星放送（CSデジタル放送）サービスです。スカパー! プレミアムサービスチューナー（または、スカパー! プレミアムサービス光チューナー）と本機をLANケーブルで接続することで、スカパー! プレミアムサービスをハイビジョン録画することができます。

スカパー! プレミアムサービスLink
スカパー! プレミアムサービスチューナー、または、スカパー! プレミアムサービス光チューナーと「スカパー! プレミアムサービスLink」対応器をホームネットワーク（家庭内LAN）に接続することによって、スカパー! プレミアムサービスのハイビジョン番組（視聴年齢制限付番組を含む）をハイビジョン画質のままで録画やネットワークダビング（ムーブ/コピー）出来ます。対応機器またはスカパー! プレミアムサービスDVRに録画した番組は他の部屋でも再生・視聴できます。
※録画、ダビング（ムーブ/コピー）、再生などの機能があり、お使いになる対応機器により、利用可能な機能が異なります。詳しくはスカパー! 公式ページまたは対応機器の仕様をご確認ください。

次ページへつづく⇒

さ行

スキップ
選局をしたときに放送のないチャンネルをとばして選局できる機能です。

スタンプ
内蔵HDDに録画した番組にお好みのスタンプを貼り付け、管理したり、グループ表示でスタンプ別に表示させ確認、再生することもできます。

スマートスピーカー対応
本機をLANに接続することでスマートスピーカー（ Google Home ）で本機の基本的な操作が行えます。
設定や操作について詳しくはシャープサポート・お問い合わせページでご確認ください。

シャープ サポート・お問い合わせ
シャープ　サポート・お問い合わせ　検索
http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_smartphone.html
（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

双方向番組
地上デジタル放送でのサービスで放送局との双方向通信を行い、テレビ上でのショッピングや視聴者が参加できるクイズなどの番組です。

外付けHDD
本機後面の外付けHDD用端子にUSB接続して使用できるハードディスクです。

次ページへつづく⇒

さ行

ソフトウェアの更新（アップデート）
通常は地上デジタル放送や、BSデジタル放送の放送電波を通じてソフトウェアの更新を自動で行います。デジタル放送が受信できない場合は、シャープのホームページからUSBメモリーにソフトウェアをダウンロードして更新が行えます。また、インターネットに接続している場合は、サーバーから更新用ソフトウェアをダウンロードし更新を行うこともできます。

た行

タイムシフト
本機は放送視聴中に、タイムシフト視聴設定で90分ぶんを自動で録画することができます。これにより、後から放送をさかのぼって視聴することができます。

ダウンロードサービス
地上デジタル放送およびBSデジタル放送の電波を通して本機の性能を向上させるソフトウェア更新サービスを行うことができます。このサービスをダウンロードサービスといいます。ダウンロードを行うことでデジタル放送の新しいサービスに対応することも可能になります。

ダビング10
- 「ダビング10」の番組は、本機に録画したあとBDやDVDへ10回までのダビングが可能です。ただし、10回目は移動（ムーブ）となり、ダビングするとハードディスクから番組が消去されます。
- すべてのデジタル放送が「ダビング10」に対応しているわけではありません。「1回だけ録画可能」の番組は1回のみの移動（ムーブ）となります。

チャプター
ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

困ったときは

用語の解説

た行

つづき再生
ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

デジタル放送の種類
デジタル放送は、ハイビジョン放送（1080i）と標準放送（480i）の2つの放送があります。
- HD放送……ハイビジョン放送のことです。
- SD放送……標準スタンダード放送のことです。

電子番組表（Gガイド）
- テレビの画面に表示される番組表のことです。番組表から視聴したい番組や、予約録画したい番組を選べます。
- 番組表データを取得中は、「DATA」ランプが点灯します。

同時録画再生
録画しながら、録画済みの番組を再生して見ることができる機能です。

次ページへつづく⇒

用語の解説

た行

独立データ放送
テレビ放送とは別に送られてくるサービスで、ニュースや天気予報、株価などの情報を見ることができます。

ドラ丸
地上デジタル放送やBSデジタル放送で連続放送される「ドラマ、アニメ、バラエティ」の新番組を、初回から毎回自動で内蔵HDDに録画する機能です。2回目以降の「ドラマ」または「アニメ」、「バラエティ」番組をドラ丸録画したいときは、番組表から「ドラ丸」番組として設定できます。

ドルビーTrueHD
ドルビーデジタルプラスと比べてより高音質で多チャンネルに対応した、新しい音声圧縮技術です。原音と同じ音質で音声を再生できます。HDMIケーブルを使ってドルビーTrueHD対応のAVアンプやサラウンド機器と接続することで、最大7.1chのサラウンド音声が楽しめます。

ドルビーデジタルプラス
ドルビーデジタルと比べてより高音質で多チャンネルに対応した、新しい音声圧縮技術です。HDMIケーブルを使ってドルビーデジタルプラス対応のAVアンプやサラウンド機器と接続することで、最大7.1chのサラウンド音声が楽しめます。

次ページへつづく⇒

は行

ビットストリーム
圧縮されたデジタル信号のことです。このデジタル信号をそのまま出力することをビットストリーム出力といいます。ビットストリーム出力した音声信号を再生するためには、ドルビーTrueHDやDTS-HDなどに対応したオーディオ機器とHDMIケーブルを使って接続することが必要です。

ファイナライズ
DVD-RW/-Rを他の機器でも再生できるようにすることです。

ファミリンク機能
ファミリンク機能とは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用し、HDMIで規格化されているテレビやDVDレコーダー、AVアンプを制御するためのコントロール機能です。テレビのリモコンでレコーダーを再生したり、録画、予約録画などが行えます。

次ページへつづく⇒

は行

ファミリンク予約
テレビを見ながら、テレビの電子番組表で本機へ予約録画できる機能です。予約した番組を本機の内蔵HDDへ予約録画できます。

フォトシステム
デジタルスチルカメラの写真をハードディスクに保存してテレビで見ることができる機能です。

プログレッシブ（順次走査）方式
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対し、1フレームを1つの画像で表示する方法です。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対し、初めから1秒を60フレームで構成することで高品質な画像を再現できます。

ブロックノイズリダクション
低い録画画質で録画した番組の再生時、動きの速い部分で生じるブロック状のノイズを軽減します。

用語の解説

は行

プロバイダ
一般にはインターネットサービスプロバイダ（ISP、インターネット接続業者）のことをいいます。電話回線などを使って顧客のコンピューターをインターネットに接続するほか、メール利用などのサービスを行うことがあります。

ホームネットワーク
それぞれの機器からインターネットに接続できるようにするために「LAN」で各機器をネットワーク接続することです。本機で録画した映像を他の部屋のテレビで視聴することや、スカパー! プレミアムサービスチューナー、ホームネットワーク対応のCATVデジタルセットトップボックスから本機で録画することができます。

次ページへつづく⇒

用語の解説

ま行

まと丸
録画リスト内にある番組タイトル名が同じ番組をまとめてリスト表示します。

マルチアングル
BD・DVDビデオの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です）

マルチ音声
デジタル放送やBD・DVDビデオの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

マルチビューサービス放送
地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号を利用した放送です。最大3つの映像を同じチャンネルで楽しめます。対応した信号を放送局側が送信する必要があります。

次ページへつづく⇒

ま行

まるわかり（番組内容まるわかり）
再生したい録画番組のシーンを分単位で表示させ、選んだところから再生が行える機能です。

見どころ一覧（見どころポップアップ）
録画リストや、再生中のタイトルの見どころ一覧を表示します。見たいシーンから再生することができます。

モスキートノイズリダクション
画像の輪郭部分等で生じるチラツキを軽減します。

や行

ゆっくり再生
再生中に音声が聴きとりにくいときに、ゆっくりしたテンポで聴くことができる機能です。

次ページへつづく⇒

ら行

リージョンコード（再生可能地域番号）
BDビデオやDVDビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョンコードといいます。
本機では、BDビデオはリージョンコード「A」、DVDビデオはリージョンコード「2」または「ALL」のソフトが再生できます。

リセット操作
操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない場合や、電源が切れない場合に本体のリセットボタンを押し、システムをリセットしたときは自動で電源が切れ、システムをリセットすることができます。

リニアPCM音声
BD・DVD・音楽用CDに用いられている信号記録方式です。

リモート視聴
スマートフォンやタブレット端末で本機に録画した番組や放送番組が宅外でも視聴できます。

リモート予約
リモート予約とは、スマートフォンから予約する機能です。予約し忘れた番組などを外出先からでも予約できます。

リモコン番号
本機を操作するためのリモコンの信号の種類です。リモコン番号は、「リモコン番号1」「リモコン番号2」「リモコン番号3」の3種類があります。

次ページへつづく⇒

ら行

連続再生
まと丸リストやドラ丸リスト内の番組を古い順から連続再生します。

録画画質
録画するときの画質を設定することができます。ビデオテープの標準（SP）/3倍（EP）と同じように、本機のHDD（ハードディスク）またはBDに録画するときは以下の録画画質を設定できます。

DR	デジタル放送をそのままの画質でHDD（ハードディスク）に予約・録画したいときに設定する録画画質です。BDに放送画質のままダビングしたいときも、DRに設定して録画します。
2倍、3倍	圧縮したハイビジョン画質で、デジタル放送を長い時間録画できる録画設定です。
5倍、7倍、10倍、12倍	圧縮したハイビジョン画質で、デジタル放送をより長時間録画できる録画設定です。
HD〇〇	圧縮したハイビジョン画質を10段階の中から選択できるマニュアル設定です。

録画画質変換ダビング
ダビングする際に、録画画質を変更してダビングする機能です。
（ダビング元の映像より高画質になることはありません）

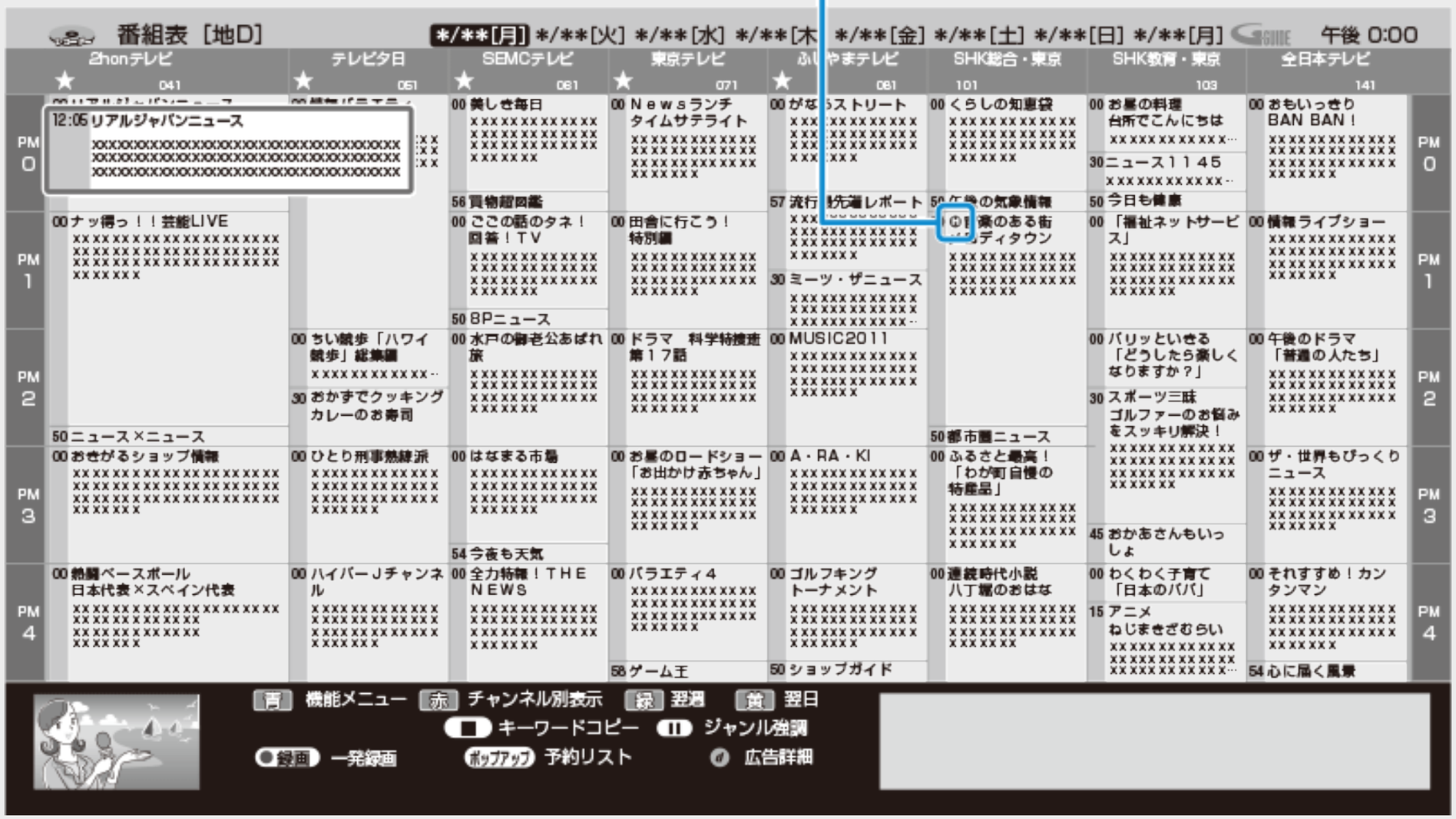
録画リスト
録画した番組が一覧で確認できるリスト画面です。録画リストは、画面リストとタイトル名リストが選択できます。

困ったときは

画面に表示されるマーク

番組表に表示されるマーク(⇒番組表については2-24ページ)

番組の情報と録画予約の情報を示すマーク



各マークの詳細については→13-39ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

困ったときは

画面に表示されるマーク

番組表に表示されるマーク(⇒番組表については2-24ページ)(つづき)

番組の情報と録画予約の情報を示すマーク

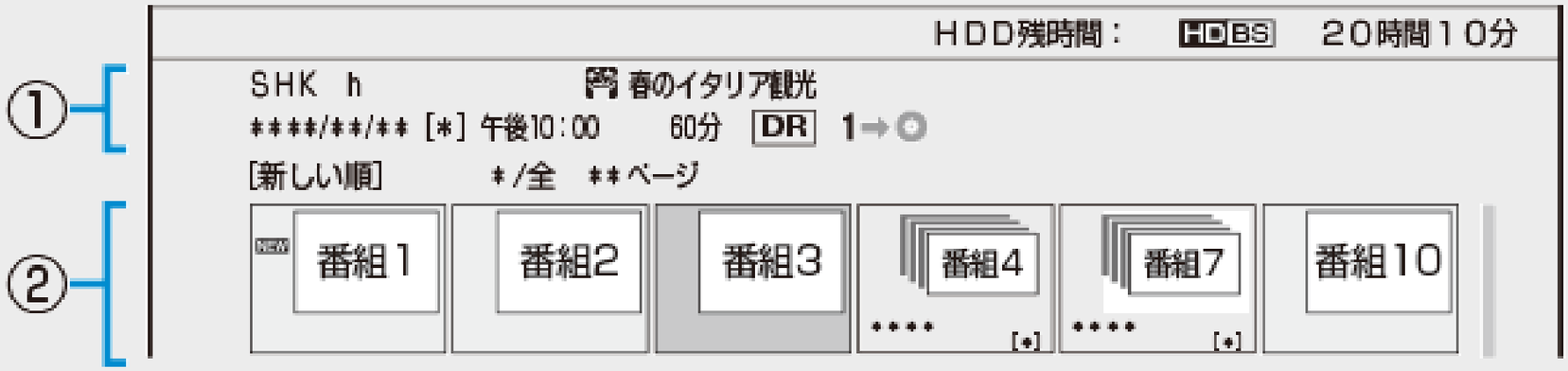
H	内蔵HDDに録画予約している番組
D	ドラ丸で予約されている番組
U	外付けHDDに録画予約している番組
A	登録した条件で自動録画される番組

次ページへつづく⇒

録画リスト／写真リストまたはドラ丸リストに表示されるマーク

（⇒録画リストについては4-1ページ、ドラ丸リストについては3-94、3-102ページ）

録画リスト



次ページへつづく⇒

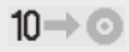
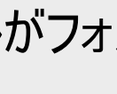
困ったときは

画面に表示されるマーク

録画リスト／写真リストまたはドラ丸リストに表示されるマーク

（⇒録画リストについては4-1ページ、ドラ丸リストについては3-94、3-102ページ）（つづき）

①選択しているタイトル情報

	「タイトル保護」が設定されているタイトル（録画した番組）。予約録画時に詳細設定で「消さないで」を設定して録画した番組。
	「重ね録り番組」として録画された番組。（内蔵／外付けHDD）
	「ダビング10」の番組。数字「10」はダビングできる回数を示しています。ダビングするたびに数が減ります。（内蔵／外付けHDD）
	「1回だけ録画可能」な番組、または「ダビング10」の番組で9回ダビングした番組。ダビングすると移動（ムーブ）になり、HDDからデータがなくなります。（内蔵／外付けHDD）
	HDD（ハードディスク）に録画したタイトルがフォルダー設定されているときに、 が表示されます。（内蔵／外付けHDD）
	Wi-Fi 転送用動画を同時録画したタイトル。 （内蔵HDD）

次ページへつづく⇒

困ったときは

画面に表示されるマーク

録画リスト／写真リストまたはドラ丸リストに表示されるマーク

（⇒録画リストについては4-1ページ、ドラ丸リストについては3-94、3-102ページ）（つづき）

② タイトルの最初の画面情報など

NEW	まだ再生していないタイトル（録画した番組）。 BDは、ディスクを取り出すと表示されません。
チャプター	画面リストに表示されているのがチャプター（章）であることを示します。（HDD、BDのみ）
	動画アルバムリストを表示していることを示します。
AUTO	登録した条件で自動録画されたタイトル。
ドラ丸	ドラ丸で自動録画されたタイトル。
1080p	動画アルバムに記録されている1080pのタイトル。

・写真リストのマーク（⇒写真リストについては7-9ページ）

NEW	まだ再生していない写真。
	写真保護が設定されている写真。
	グループ化された写真。

次ページへつづく⇒

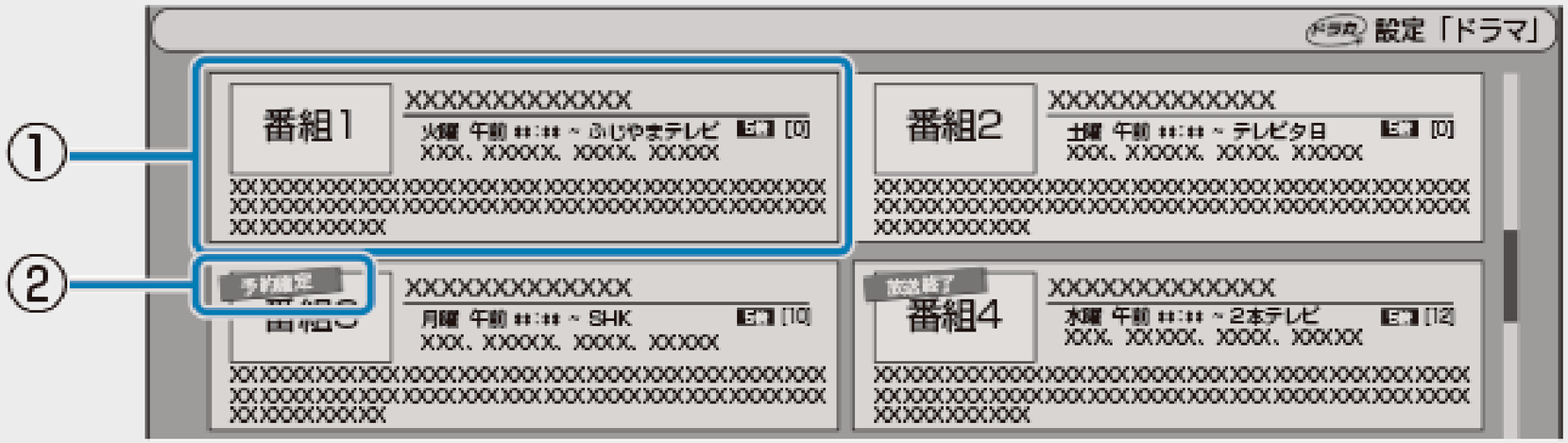
困ったときは

画面に表示されるマーク

録画リスト／写真リストまたはドラ丸リストに表示されるマーク

（⇒録画リストについては4-1ページ、ドラ丸リストについては3-94、3-102ページ）（つづき）

ドラ丸リスト



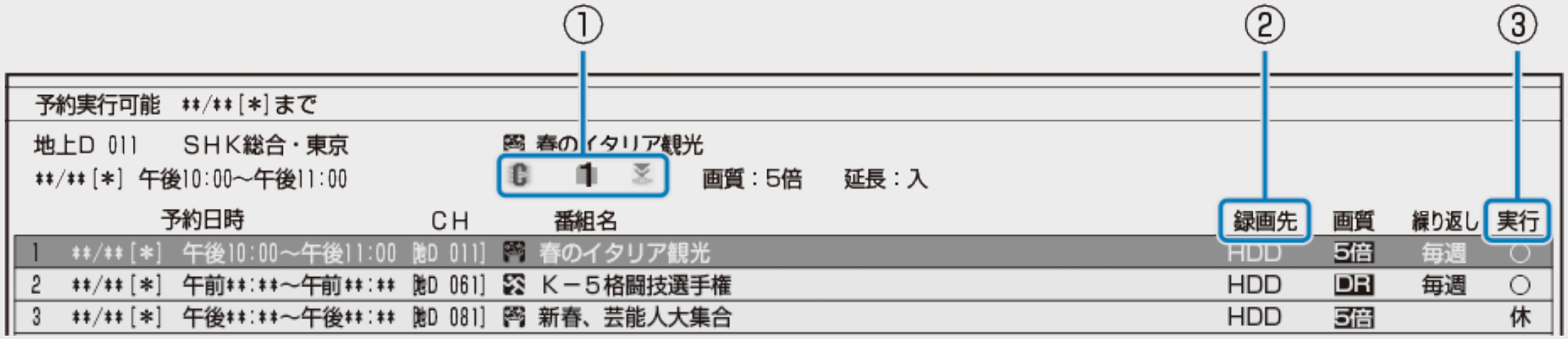
ドラ丸リストのマーク（⇒ドラ丸リストについては3-94、3-102ページ）

① 番組フォルダー		ドラ丸リストに登録された番組です。
②	予約確定	予約を確定した番組に表示されます。
	予約停止	予約を停止した番組に表示されます。
	放送終了	放送が終了した番組に表示されます。
	もうすぐ削除	録画タイトルが全て未視聴状態で自動削除1週間前となったときにお知らせします。

困ったときは

画面に表示されるマーク

予約リストに表示されるマーク
（⇒予約リストについては3-64ページ）



	予約日時	CH	番組名	録画先	画質	繰り返し	実行
1	**/**[*] 午後10:00～午後11:00	地D 011	春のイタリア観光	HDD	5倍	毎週	○
2	**/**[*] 午前**:**～午前**:**	地D 061	K－5格闘技選手権	HDD	DR	毎週	○
3	**/**[*] 午後**:**～午後**:**	地D 081	新春、芸能人大集合	HDD	5倍		休

次ページへつづく⇒

画面に表示されるマーク

予約リストに表示されるマーク
(⇒予約リストについては3-64ページ)(つづき)

①		コピーに制限がある番組の予約 • ダビング10または1回だけ録画可能な番組
		予約録画の詳細設定で保存設定の「消さないで」を設定した予約
		予約録画の詳細設定で保存設定の「重ね録り」を設定した予約
		連動データ放送を同時に録画する予約
		予約録画の詳細設定で「フォルダー設定」した予約。～が表示されます。
② 録画先	HDD	内蔵HDDへの録画予約
	外付けHDD	外付けHDDへの録画予約
③※1 予約実行可能表示	○	録画可能な予約
	×	HDD(ハードディスク)の残時間の不足または記録できるタイトル数の制限を超えているため録画が実行できない予約
	休	休止状態になっている予約
		「録画1」での録画中
		「録画2」での録画中
		「録画3」での録画中

※1 「毎日予約」「毎週予約」の場合は、次回の予約録画が実行可能かどうかを表示します。

索引

数字・記号・アルファベット

数字・記号 | A～G | H～Z

五十音

あ行 | か行 | さ行

た行 | な行 | は行

ま行 | や行 | ら行

索引

英数字	
1回だけ録画可能	5-1～5-12, 5-19, 11-15, 11-36, 11-39
2画面	4-69
3D（3D対応BD）	4-72, 13-17
3D切換設定	10-17
3D通知設定	10-18
3番組同時録画	3-56, 11-1～11-4, 13-17
AAC	10-21, 13-18
AACS	11-38, 13-18
AQUOSタイムシフト	2-63～2-67, 6-1
AVCHD記録方式	4-16, 4-171, 5-59, 11-14, 13-19
B-CASカード	1-5, 9-18, 11-37, 同梱取扱説明書
BD/DVD再生設定	10-11, 10-70
BD-LIVE(BDライブ)	4-70
BD-RE（SL, DL, XL）	1-48, 4-147, 11-8～11-26, 13-13
BD-R（SL, DL, XL）	1-48, 4-147, 11-8～11-26, 13-13
BDビデオ	4-61, 4-88, 4-106, 10-15, 11-13～11-26
BDランプ	1-2, 1-8, 2-6
BONUS VIEW™	4-69
BS・110度CSデジタルアンテナ端子	1-6, 同梱取扱説明書
BS・110度CSデジタル放送	11-33, 同梱取扱説明書

次ページへつづく⇒

索引

英数字	
BS・CS信号出力設定	9-36, 10-43
CATV	3-117, 13-19, 同梱取扱説明書
CATVパススルー方式	13-19
CPRM	11-38, 13-20
DLNA	13-20
DL（ダウンロードサービス）	9-12, 10-60, 13-28
DR	3-1, 5-15, 5-22, 11-9, 13-8, 13-13
DTS音声	10-21, 13-20, 同梱取扱説明書
DVD-R	1-48, 11-8～11-23, 11-27, 13-16
DVD-RW	1-48, 11-8～11-23, 11-27, 13-16
DVDビデオ	4-62, 4-106, 11-13
F型コネクター	同梱取扱説明書
Gガイド	2-24, 3-23, 13-21
HDD残量警告	9-2
HDDランプ	1-2, 1-8, 2-2, 2-6
HD○○（HD録画画質）	3-1, 3-10, 13-9, 13-14
HDMIケーブル	同梱取扱説明書
HDMI出力端子	1-6, 同梱取扱説明書
HDR	13-21
IPコントロール操作	9-77, 10-47
JPEGファイル（静止画）	7-3, 7-37, 11-13

次ページへつづく⇒

索引

英数字	
LAN設定	9-57, 9-60, 9-63, 9-70
LANダビング	1-9, 5-39, 5-52
LAN端子	1-7, 同梱取扱説明書
LAN録画	1-9, 3-114, 3-118, 13-22
QRコード	2-14, 4-34, 12-4
SeeQVault対応外付けHDD	1-54, 1-58, 13-22
Ultra HDブルーレイ	13-22
USB	1-4, 5-62, 7-4, 10-72
VRフォーマット	11-14

次ページへつづく⇒

索引

あ行	
アクオス純モード	10-26
4Kアクトビラ	1-34, 8-1, 8-4, 13-23
アッテネーター（減衰器）設定	9-36
アルバム	1-35, 4-16, 7-9～7-37
写真アルバム	1-35, 7-9, 7-12
動画アルバム	1-32, 4-16, 4-31, 5-14
アングル	4-109, 4-114, 11-35
アングル番号	4-114
アングルマーク	4-114, 10-14
暗証番号設定	10-39, 10-68
アンテナ接続	同梱取扱説明書
アンテナ設定	9-30, 9-34, 10-42
アンテナ端子	1-6, 同梱取扱説明書
アンテナ電源（BS・CS）	9-30, 10-43, 同梱取扱説明書
インターネット接続制限	9-75, 10-47
インデックス	4-1, 4-161, 5-23
インデックス画面変更	4-161
映像・音声設定	10-20
映像切換	2-19, 4-109, 4-114

次ページへつづく⇒

索引

あ行	
エコモード	2-7
枝番	2-12, 9-51
お知らせ（ホーム画面）	9-9
おまかせオートチャプター	10-8
オリジナル	4-20, 13-24
音楽用CD	4-58
音声切換	2-20, 4-105, 4-114

次ページへつづく⇒

索引

か行	
買換えお引っ越しダビング	5-39～5-51, 13-25
画質調整	10-24
画面表示	1-11, 3-5, 13-38
画面表示設定	10-28
画面リスト	4-1, 4-4
乾電池	同梱取扱説明書
機能メニュー	2-35, 4-20
クイック起動	9-20, 10-35, 同梱取扱説明書
区点コード	5-77
国コード一覧表	10-71
グループ	4-16, 4-43, 7-17, 13-42
グループ作成	7-17
言語コード(字幕、音声、メニュー) 一覧表	10-71
個人情報初期化	10-54
コマ送り再生	4-90, 4-164

次ページへつづく⇒

索引

さ行	
再生	1-16, 1-32, 4-1, 4-29, 4-58, 4-87, 7-11
10秒戻し	4-96
30秒送り	4-95
頭出し(スキップ)	4-94
一時停止	2-57, 4-88
「今のシーンをもう一度」視聴(タイムシフト視聴)	2-57
追いかけ再生	4-81, 13-24
コマ送り再生	4-90
サーチ(早送り／早戻し)	2-60, 4-83, 4-90
スキップ再生	4-80, 4-94
スライドショー再生	7-10, 7-13, 7-28
スロー再生／逆スロー再生	4-89
静止画再生	4-88
つづき再生	4-75
ディスクの再生	4-31, 4-58, 4-87
同時録画再生	4-84, 13-29
早見・早聞き再生	4-78
ゆっくり再生	4-78, 13-35
リピート再生	4-101, 4-116, 7-11, 10-62
連続再生	4-8, 13-37

次ページへつづく⇒

索引

さ行	
再生経過時間(カウンター表示)	4-99
再生できないディスク	11-21
再生できるディスク	11-15
システム動作テスト(自己診断機能)	10-56, 12-8
視聴設定	4-102, 4-110
視聴年齢制限設定	10-44
自動録画	3-81
字幕	1-16, 2-22, 4-108
字幕言語	4-108
字幕表示設定	10-30
写真アルバム	7-9
写真用フォーマット	13-26
受信強度	9-30
受信機レポート	9-4
受信メッセージ	9-4, 9-8
消去	1-33, 3-34, 4-125, 4-129, 7-24
シーン(部分)消去	4-141
タイトル全消去する	4-133
タイトル選択消去	3-34, 4-126
チャプター消去	4-156

次ページへつづく⇒

索引

さ行	
初期化	1-36, 1-48, 1-51, 1-61, 10-54, 13-26
BD、内蔵HDD（ハードディスク）の初期化	1-48, 1-51
外付けHDDの初期化	1-59, 10-50
ハードディスク初期化	1-50
推奨ディスク	11-24
スカパー! プレミアムサービス	3-113, 8-14, 8-18
スカパー! プレミアムサービスLink	3-114
スカパー! プレミアムサービスチューナー	3-56, 3-113, 8-14, 8-18
スキップ	4-78, 4-80, 9-48
スタンプ	4-26
スマートスピーカー	8-10
スマートフォンで確認（QRコード）	12-4
設定	10-1
設定リセット	10-53
選局	1-18, 2-10, 3-15, 3-19
双方向サービス（双方向通信）	11-33, 同梱取扱説明書
外付けHDD	1-7, 1-53, 1-59, 3-53, 5-7, 5-11, 10-49, 12-63
外付けHDD用端子	1-7, 1-56
ソフトウェアの更新	9-6, 10-32, 10-57, 10-72

次ページへつづく⇒

索引

た行	
タイトル	4-4, 4-8, 4-20, 4-38, 4-112, 4-118, 4-126
タイトル結合	4-138, 4-171
タイトル番号（トラック番号）	3-9, 4-112
タイトル分割	4-137, 4-165
タイトル保護設定（保護する／保護解除）	3-111, 4-9, 4-118
タイトル名変更	4-23, 4-176
タイトル名リスト	4-6
タイムシフト視聴	2-57, 13-28
タイムバー表示	4-99, 10-28
ダウンロードサービス	10-60, 13-28
ダウンロード設定	10-59
ダビング	5-1～5-82
高速ダビング	5-2～5-16, 5-22, 5-32, 11-5, 11-10, 13-25
自動調整	5-17, 5-20, 5-30, 13-26
ダビング10	5-3, 5-7, 5-19, 11-15, 13-28
ダビング・再生できないディスク	11-21
ダビング・再生できるディスク	11-13

次ページへつづく⇒

索引

た行	
地域選択（地上デジタル放送）	9-28, 10-44
地上デジタル（UHF）アンテナ端子	1-6, 同梱取扱説明書
地上デジタルチャンネルの自動設定	9-38
地上デジタル放送	1-34, 11-33
チャプター	3-9, 4-7, 4-94, 4-112
チャプター（章）結合	4-150
チャプター（章）分割	4-147
チャプター番号	3-9, 4-112, 4-117
チャプターマーク（しおり）を付ける	4-92, 4-147, 10-8
チャンネル更新設定	9-42, 10-40
チャンネルスキップ	9-47～9-50, 10-41
チャンネル設定	9-38, 9-42, 9-47, 9-53, 10-40
ちょっと待って視聴	2-57, 2-64
ちょっと戻っテレビ	2-58, 2-67
通信機能設定	9-63, 9-70, 9-77
通知センター	2-9, 9-1, 10-32
ツール	1-14, 2-11, 2-19, 2-35, 4-20, 10-61
ディスクの種類	11-8
ディスクのバージョン	11-15

次ページへつづく⇒

索引

た行	
ディスクメニュー	4-62, 4-67
ディスク優先言語（字幕言語／音声言語／メニュー言語）	10-13, 10-70
データ送受信端子	1-4, 5-62～5-63, 7-4
デジタル放送視聴設定	9-27, 10-44
デジタル放送接続制限	9-75, 10-44
テレビメーカー指定（設定）	10-4, 同梱取扱説明書
電源の入れかた・切りかた	2-6
電源プラグ	1-7, 12-49, 同梱取扱説明書
電源ボタン	1-1, 1-11, 1-38, 2-2, 2-6, 2-8
電子番組表の取得	2-30～2-31, 9-44
転送用動画記録設定	3-49
転送用動画設定	10-5
トップメニュー	4-66
ドラ丸	3-30, 3-94～3-112, 4-3～4-4
取扱説明ガイド	1-37
ドルビーデジタル	10-21～10-22, 13-30, 同梱取扱説明書

次ページへつづく⇒

索引

な行	
並べ換え	4-5, 7-11, 7-20～7-21
二重音声番組（マルチ音声）	2-20～2-21, 3-2, 4-105～4-107, 4-114, 5-22, 13-34
ネットワーク設定	8-17～8-18, 9-60～9-62
ネットワークダビング	5-46～5-52

次ページへつづく⇒

索引

は行	
番組検索	2-23, 2-35, 2-39～2-45, 4-15
番組情報（QRコード）	2-14, 4-34
番組内容まるわかり	4-10
番組表（Gガイド）	2-24, 3-23, 13-21
番組表取得設定（番組情報取得時間の設定）	2-36, 9-44, 10-65
番組表設定	2-48～2-51, 9-44
ビジュアルホームメニュー	1-22
日付・時刻設定（時計合わせ）	10-38
ビデオフォーマット	11-13～11-14
ファイナライズ	5-83
ファミリンク機能・操作	6-1～6-30
ファミリンク設定	6-1, 10-27
フォトシステム	7-1, 13-32
フォルダー	4-16, 4-47
フォルダー設定	4-24, 4-49
ブルーレイ3D™	4-72, 11-13
プレイリスト	4-40, 13-24
フレーム単位	4-164, 4-169, 11-11
編集	4-135～4-177
ボイスリモコン	8-9, 9-83

次ページへつづく⇒

索引

は行	
放送切換	2-11, 2-25, 3-19, 3-24
放送視聴設定	10-40
ボード(掲示板)	9-15, 11-35
ホームネットワーク	3-113～3-118, 8-14～8-31
ホームネットワーク設定	8-20, 10-45
ホームメニュー	1-22
保護／保護解除	3-111, 4-118, 7-29
保存設定	3-51
ポップアップメニュー	4-68
本機で使えるディスク	11-13
本体ランプ	1-8
本体ランプ設定	10-33

次ページへつづく⇒

索引

ま行	
まと丸	4-8, 13-34
マニュアル録画画質（MN）	3-10, 13-8～13-16
まるわかり（番組内容まるわかり）	4-10, 13-35
見どころ一覧（見どころポップアップ）	4-12, 4-97, 13-35
ムーブ	5-19, 11-39
モード切換	1-63
文字サイズ	4-7
文字スーパー設定	10-31
文字入力	5-69

次ページへつづく⇒

索引

や行	
郵便番号設定	9-27
予約時のメッセージ	3-60～3-63
予約の確認・取り消し・休止・変更	3-32, 3-64～3-73
予約の重複	3-61
予約名設定・変更	3-47
予約リスト	3-64, 13-44
予約録画	3-23～3-55
延長予約	3-35
重ね録り(保存設定)	3-51, 3-66, 13-45
消さないで(保存設定)	3-51, 3-66, 13-45
ダビング予約	5-53～5-58
毎日予約／毎週予約	3-28, 3-42

次ページへつづく⇒

索引

ら行	
ランプ(本体)	1-8～1-10
リピート再生	4-101, 4-116, 7-11, 10-62
リモート視聴	8-28, 13-36
リモート予約	9-85～9-88, 13-36
リモコン番号	1-10, 10-37, 13-36, 同梱取扱説明書
連動データ記録設定	10-9
連動データ設定	3-50
連動データ放送	2-17, 3-2, 5-22
録画	3-1, 3-14～3-18, 3-113, 3-117, 11-1～11-4
同時録画再生	4-84～4-86, 11-1～11-12
らくらく一発録画	3-14～3-22
ワンタッチ録画	6-11
録画画質	3-2, 3-13, 3-45, 3-67, 13-8～13-15, 13-37
録画画質変換ダビング	5-17～5-18, 5-32, 11-5～11-7, 13-37
録画画質変更	3-13, 3-45
録画・再生設定	10-5～10-19
録画先	3-44, 3-66～3-67
録画時間	13-8～13-16
録画終了時刻	3-21～3-22, 3-43
録画リスト	4-1～4-28

索引

- 本製品は、VC-1ポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人のお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品は、MVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)MVC規格準拠のビデオ(以下「MVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)MVCビデオ(個人のお客様により符号化されたMVCビデオ、および／またはMVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したMVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- Google、Google Home は、Google LLC の商標です。

製品登録のお願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、シャープの会員サービス〈COCORO MEMBERS〉でご愛用製品の登録をお願いいたします。（登録無料）

スマートフォンはこちらから

https://cocoromembers.jp.sharp

■取扱説明ガイドに掲載のQRコードから誘導されるサイトについてのご注意

（QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です）

- 当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。
- スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。
  アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負うものではありません。
- 当社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

シャープ株式会社 本社　590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地